

# 理化学研究所百年史

## 第Ⅲ編 資料

このpdf版は刊行版に訂正を加えました。訂正箇所については  
ホームページ掲載の正誤表を御参照ください。

表紙の揮毫は松本紘理事長による。

理化学研究所創立時の名称にならない、旧字体を用いている。

# 目次

## 第Ⅲ編 資料

### 凡例

年表	2
役員・所長・センター長一覧	11
財務資料から見る理研の経理の概況	15
基礎科学研究等課題の推移	17
理化学研究所の外部評価	25
科学講演会開催実績一覧	36
年度別国・地域別外国人研究者受入数	40
年度別外来研究者等受入数	44
国際協力の現状	46
受賞一覧	69
建物使用区分の概要	125
組織の推移	137
研究室の推移	153
理研の収入と支出および人員の推移	306
執筆者および協力者一覧	308
編集後記	310

### 凡例

1. 『理化学研究所百年史』は、1917（大正6）年の創設より2017（平成29）年に至る理化学研究所100年の歴史と研究成果を、編集委員会が編集したものである。「第Ⅰ編 歴史と精神」「第Ⅱ編 研究と成果」「第Ⅲ編 資料」の全3巻により構成されている。
2. 本「第Ⅲ編 資料」は資料編であるが、年表、経理、組織を含む理研全体の機構に関わる歴史的にも重要な資料を取り上げている。
3. 本史に先立つ13年前に刊行された『理研精神八十八年』（全2巻）のうちの一つが資料編であり、現在もウェブ上で閲覧できるが、資料としての性格、継続性を考え、本「第Ⅲ編」では重複を嫌わず必要事項を全て掲載した。
4. 本「第Ⅲ編」の記述は原則、2017年3月までである。

# 年 表



年  
表

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1911 (明治44)			1.11 カイザー・ヴィルヘルム協会創立 (ドイツ)
1913 (大正2)	6. 高峰讓吉 国民科学研究所の必要性を提唱 6.23 高峰讓吉 築地精養軒にて「国民科学研究所設 立の必要性」について演説		
1914 (大正3)	3.19 「化学研究所設立の請願」を貴衆両議院に請願 (議會散会のため目的達せられず)		7.28 第一次世界大戦勃発
1915 (大正4)	6.9 「理化学研究所設置」を決定(第36回帝国議會) 6.24 「理化学研究所」設立協議会開催(設立委員 渋沢栄一 以下18名)		1915-16年 アインシュタイン 一般相 対性原理を発表
1916 (大正5)	1.21 大隈重信内閣総理大臣宛に「理化学研究所」の 設設計画に際し政府の補助を建議 3.6 理化学を研究する公益法人の国庫補助に関する 法律公布 7.3 大隈重信首相 理化学研究所の設立発起協議会 開催		
1917 (大正6)	3.19 財団法人理化学研究所に対する民間寄附金の申 込済総額218万7000円に達し、財団法人設立 認可申請 3.20 財団法人理化学研究所設立 渋沢栄一を設立者総代として(財)理化学研 究所の設立を申請。皇室からの御下賜金、政府か らの補助金、民間からの寄附金を基にわが国の 産業の発展に資することを目的に東京・文京区 駒込の地に設立 伏見宮貞愛親王殿下を総裁に奉載 3.28 副総裁 菊池大麓 副総裁 渋沢栄一 4.26 皇室より御下賜金(毎年10万円ずつ、10年間) 6.29 長岡半太郎、池田菊苗 入所 初代所長 菊池大麓 物理学部長 長岡半太郎 化学部長 池田菊苗 8.19 菊池大麓 急逝 10.12 第2代所長 古市公威 11.12 鈴木梅太郎 入所		11.7 ロシア十月革命
1918 (大正7)	5.24 大河内正敏 入所 7.10 仁科芳雄 研究生として入所 12.19 真島利行 理研で最初の特許 インドールの製 造法	7. 富山県で米騒動	
1919 (大正8)	秋 鈴木梅太郎 合成酒の製造研究に着手		
1920 (大正9)		1.10 国際連盟に正式加入	
1921 (大正10)	4.5 仁科芳雄 留学 9.30 古市公威所長、櫻井錠二副所長辞職 10.7 第3代所長 大河内正敏 本多光太郎 入所 仁科芳雄 研究員に	4.11 尺貫法を廃し、メートル法採用	
1922 (大正11)	1.1 主任研究員制度発足(主任研究員が裁量権を もって研究室を主宰する制度)14研究室設置 1.24 池田菊苗ら「アドソール」関連の最初の特許 5.8 理研欧文報告創刊 6.7 理研彙報創刊 9.1 加藤セチ(理研初の女性研究者) 入所 9.13 高橋克己 ビタミンAをタラの肝油から分離抽出		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1923 (大正12)	4.1 日本で初めてビタミンAを販売 6.30 第2代総裁 伏見宮博恭王殿下 10.4 辻村みちよ 入所	9.1 関東大震災 (M7.9) 理研の被害は約3万円 (全研究費 18万1044円)	
1924 (大正13)	1.15 高橋克己 特許 ビタミンA抽出法 1.22 黒田チカ (日本女性の大学入学第1号) 入所 5.15 寺田寅彦 入所 11.20 鈴木庸生ら 「ウルトラジン」 関連の最初の特許 12.1 鯨井恒太郎ら 「アルマイト」 関連の最初の特許	1.26 皇太子裕仁親王 (昭和天皇) ご成婚	
1925 (大正14)	4.1 中谷吉郎 入所		7.29 ハイゼンベルグが行列力学を発表
1926 (大正15/ 昭和元)	11.15 海老原敬吉ら 特許 ピストンリング製造法	12.25 天皇崩御 (大正天皇) 裕仁親王 践祚	1.27 シュレーディンガーが波動方程式を発表
1927 (昭和2)	11.25 理化学興業 (株) 創立 (理研の研究を支援し、研究と発明から新産業を創出する会社で、後の理研産業団の中核となった)	4.20 保井コノ 理学博士 (東京大学) 日本における女性博士第1号	3.23 ハイゼンベルグが不確定性原理を発表
1928 (昭和3)	12.25 仁科芳雄 帰国		9. アレクサンダー・フレミングがペニシリンを発明
1929 (昭和4)	6.26 今富祥一郎 特許 金属マグネシウム製造法 11.18 黒田チカ 理学博士 (東北大学) 理学博士として保井コノに続き2番目	11. 昭和恐慌始まる (-1933)	10.24 世界恐慌始まる (-1936)
1931 (昭和6)	6.8 加藤セチ 理学博士 (京都大学) 日本で3番目	5.15 五・一五事件 犬飼毅首相暗殺	この年 国際科学会議 (ICSU) 設立 1. アーネスト・ローレンスとリビングストン サイクロトロン実験に成功 水素分子イオンを8万eVに加速 9.18 柳条湖事件 (満州事変勃発)
1932 (昭和7)	4.1 朝永振一郎 入所 6.28 櫻井季雄 特許 陽感光紙の製造法	12.28 財団法人日本学術振興会設立認可	
1933 (昭和8)	3.14 三菱造船 (株) より同社研究所 (現日本アイソトープ協会) の建物および諸設備一切および岩崎家より土地2912.64坪 (9628.6m <sup>2</sup> ) 寄附	3.27 国際連盟脱退 12.23 皇太子明仁親王誕生	1.30 ヒトラーが独首相に就任、ナチス政権獲得 10.19 ドイツ 国際連盟脱退
1934 (昭和9)	3. 理研ピストンリング 設立		
1935 (昭和10)	2. 理研特殊鉄鋼 設立 8. 理研電線 設立 10. 理研紡織 設立 12. 理研コランダム 設立		
1936 (昭和11)	2. 理研感光紙 設立 7.1 理研鋼材 設立	2.26 二・二六事件 高橋是清蔵相暗殺 11.25 日独防共協定	
1937 (昭和12)	4. 仁科芳雄、わが国初のサイクロトロン (26インチ 28トン) を製作 4.28 長岡半太郎、本多光太郎が第1回文化勲章を受賞 6. 理研護謨工業 設立 7. 理研電具 設立	7.7 盧溝橋事件 (日中戦争勃発) 11.16 日独伊防共協定	12.11 イタリア王国 国際連盟脱退
1938 (昭和13)	3. 理研金属 設立 4.1 武見太郎 入所 4. 理研鍛造、理研科学映画 設立 7. 理研酒工業 設立 9.20 湯川秀樹 入所 10. 理研ピストンリングと理研特殊鉄鋼の合併により理研重工業 設立	4.1 国家総動員法公布 (5.5施行)	3.13 ナチス・ドイツ オーストリア併合
1939 (昭和14)	3. 理研計器 設立	5.12 ノモンハン事件	9. 第二次世界大戦勃発 10.19 国立科学研究センター (CNRS) 設立 (フランス)

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1940 (昭和15)		9.27 日独伊三国軍事同盟	5.27 エドウィン・マクミラン サイクロトロンで93番元素Np-238を合成（最初の元素合成の報告）
1941 (昭和16)	7. 理研重工業ほか6社の合併により理研工業 設立	12.8 太平洋戦争勃発	
1942 (昭和17)	3.20 創立25周年記念祝賀式開催、『研究二十五年』発行		
1943 (昭和18)	12. 大サイクロトロン（60インチ、210トン）完成		11.9 イタリア王国 無条件降伏
1944 (昭和19)		12.7 東南海地震（M7.9）	
1945 (昭和20)	4.13-14 東京空襲により駒込の建物の3分の2、設備のほとんどを失う	3.10 東京大空襲	5.7 ドイツ 降伏文書に調印
	8.8-15 仁科芳雄らは新型原子爆弾と確認、広島・長崎を相次いで科学的調査	8.6 広島に原爆投下される 8.9 長崎に原爆投下される 8.10 ポツダム宣言受諾、太平洋戦争終結	
	11.24 サイクロトロン2基は、米国占領軍により破壊され海洋に投棄される	9.2 降伏文書に調印	
	12.6 大河内正敏 A級戦犯として指定、12.13巣鴨拘置所に収監、翌年4月釈放		
1946 (昭和21)	10.25 大河内正敏 財団理研所長辞任	11.3 日本国憲法公布（1947.5.3施行）	
	11.11 第4代所長 仁科芳雄		
1947 (昭和22)	1. 過度経済力集中排除（財閥解体指令）により理研産業団解体		
	6. ペニシリン（肺炎等治療薬）の培養に成功		
1948 (昭和23)	3.1 「財団法人理化学研究所に関する措置に関する法律」に基づき財団理研は解散、株式会社科学研究所（第1次）設立 初代社長 仁科芳雄	12.19 GHQ、経済安定9原則を指令	2.26 カイザー・ヴィルヘルム協会解散、マックス・プランク協会設立（ドイツ）
			6.26 ウィリアム・ショックレー、バイポーラトランジスタの特許申請
1949 (昭和24)		10. 湯川秀樹 ノーベル物理学賞受賞	10.1 中華人民共和国成立
1950 (昭和25)	10. ストレプトマイシン（結核治療薬）の製造に着手		5. 国立科学財団（NSF）設立（アメリカ） 6.25 朝鮮戦争勃発
1951 (昭和26)	1.10 仁科芳雄 没	9.8 サンフランシスコ講和条約署名（1952.4.28発効） 日米安全保障条約署名	
	2. 第2代社長 阪谷希一		
1952 (昭和27)	8.4 （第1次）（株）科学研究所の研究部門と生産部門の事業を分離し、研究部門のみを継承した（第2次）（株）科学研究所設立 初代会長 亀山直人、初代社長 村山威士 生産部門は科研化学（株）〔現科研製薬（株）〕となる		
	12.29 小型サイクロトロン完成（3号機）		
1953 (昭和28)		2.1 NHKテレビ放送開始	
1954 (昭和29)		1954.1-1957.6 神武景気	3.1 第五福竜丸が米国の水爆実験によって死の灰を浴びる
			9.29 欧州原子核研究機構（CERN）設立
1956 (昭和31)	2.4 （第2次）（株）科学研究所解散 （第3次）（株）科学研究所設立 初代会長 亀山直人、初代社長 村山威士	1.1 原子力委員会設置	
		5.19 科学技術庁設置（2001、文部省と統合）	
	10. 第2代会長 村山威士、第2代社長 佐藤正典	6. 日本原子力研究所設立（統合により、現在は国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構）	
		7. 金属材料技術研究所設立（統合により、現在は国立研究開発法人 物質・材料研究機構） 8.10 原子燃料公社設立（1967、動力炉・核燃料開発事業団に吸収）	

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
		12.18 日本が国際連合に加盟	
1957 (昭和32)		1.29 南極東オングル島に上陸 昭和基地建設 7. 放射線医学総合研究所発足 (現在は国立研究開発法人) 8. 日本科学技術情報センター発足 (現在は国立研究開発法人 科学技術振興機構)	7.1-1958.12.31 国際地球観測年 (IGY) 10.4 人工衛星 スプートニク1号打ち上げ (ソ連)
1958 (昭和33)	10.21 理化学研究所法に基づき株式会社科研 (第3次) は解散、特殊法人理化学研究所設立 初代理事長 長岡治男	3.24 第1回科学技術白書発表 10.14 東京タワー完成	1.1 欧州原子力共同体 (EURATOM) 設立 7.29 航空宇宙局 (NASA) 設立 (アメリカ)
1959 (昭和34)	12. 初代副理事長 坂口謹一郎	2. 科学技術会議設置	10.7 ルナ3号が月の裏側を撮影 (ソ連)
1960 (昭和35)			9.14 石油輸出国機構 (OPEC) 結成
1961 (昭和36)	7.1 開発部門を分離 新技術開発事業団発足 [現在は国立研究開発法人科学技術振興機構/JST]	12. 日米科学協力委員会第1回会合開催	4.12 ポストーク1号 有人宇宙飛行に成功 (ソ連)
1962 (昭和37)		8.30 国産飛行機 YS-11試験飛行に成功	
1963 (昭和38)	3.30 埼玉県大和町 (現和光市) の土地22万3641m <sup>2</sup> (約6万7700坪) を政府より現物出資	4. 国防防災科学技術センター発足 (現在は国立研究開発法人防災科学技術研究所)	11.22 ジョン・F・ケネディ アメリカ大統領暗殺
1964 (昭和39)		10.1 東海道新幹線開通 10.10-10.24 第18回夏季オリンピック (東京オリンピック) 開催	
1965 (昭和40)		10.2 朝永振一郎、Julian Seymour Schwinger、Richard Phillips Feynman ノーベル物理学賞受賞 11.-1970.7. いざなぎ景気	
1966 (昭和41)	5. 駒込から大和研究所 (現和光地区) への移転開始 10. 160cmサイクロトロン完成、試運転開始 12.17 第2代理事長 赤堀四郎	4.1 無機材質研究所発足 (統合により、現在は国立研究開発法人物質・材料研究機構)	
1967 (昭和42)	3.24 大和研究所 (現和光地区) 開所 6.5 主たる事務所の所在地「文京区本駒込」を「大和町」へ変更	8.3 公害対策基本法制定 10.2 動力炉・核燃料開発事業団設立 (統合により、現在は国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)	
1968 (昭和43)	10. 『理研ニュース』創刊 10.18 明仁皇太子殿下 (今上天皇) 大和研究所行啓	10.17 川端康成 ノーベル文学賞受賞	
1969 (昭和44)		6.12 原子力船「むつ」進水 10.1 宇宙開発事業団設立 (統合により、現在は国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)	3.1 超音速旅客機 コンコルド処女飛行 (英国) 7.20 アポロ計画による月の有人探査、アポロ11号月面到着 (アメリカ)
1970 (昭和45)	4.15 第3代理事長 星野敏雄	2.11 東大宇宙航空研究所 初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げに成功	
1971 (昭和46)		4.21 科学技術会議5号答申 (総合的科学技術の基本について) 6.17 沖縄返還調印 7.1 環境庁発足 (2001、環境省に) 10. 認可法人海洋科学技術センター設立 (現在は国立研究開発法人)	12.2 マルス3号が火星に軟着陸 (ソ連) 12.23 「がんの10年」 (アメリカ)
1972 (昭和47)	3.31 板橋分所 (宇宙線研究室) の土地約3819m <sup>2</sup> (約1100坪) が政府から現物出資	5. 科学技術会議 ライフサイエンス懇談会設置 9.29 日中国交正常化	3.1 『成長の限界』刊行 (ローマクラブ)
1973 (昭和48)		10.23 江崎玲於奈、Ivar Giaever、Brian David Josephson ノーベル物理学賞受賞	10. 石油輸出国機構 (OPEC) 原油生産削減 (第1次オイルショック)
1974 (昭和49)	5.1 ライフサイエンス推進部を駒込に設置 11.16 理研OB会発足	7. 第1回日仏科学技術協力混合委員会開催 サンシャイン計画発足	

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
		10.8 佐藤栄作元首相、Seán MacBride ノーベル平和賞受賞	
1975 (昭和50)	4.16 第4代理事長 福井伸二	5. 日独科学技術協力協定にもとづく第1回合同委員会開催	2. 組換えDNA分子に関するアシロマ会議 5.30 欧州宇宙局 (ESA) 設立
1976 (昭和51)		10.29 科学技術庁に地震予知推進本部を設置	
1977 (昭和52)	3.8 和光隣接地約1万m <sup>2</sup> (約3000坪)が政府より現物出資		
1978 (昭和53)	11.18 第1回科学講演会開催	5. 航空・電子等技術審議会設置	
1979 (昭和54)		5.2 エネルギー分野の研究開発に関する日米協力協定 6.28 第5回先進国首脳会議(東京サミット)開催 8.9 科学技術会議第8号答申(遺伝子組換え研究の推進について) 8. 組換えDNA実験指針ガイドラインを決定	3.28 アメリカ、スリーマイル島原子力発電所で放射能漏れ事故 1979-80年 第2次オイルショック
1980 (昭和55)	3. リニアック完成 4.22 第5代理事長 宮島龍興 7.31 遺伝子組換え研究施設(P1~P4)、茨城県筑波郡谷田部町(現つくば市)に建設方針を決定	3. 筑波研究学園都市概成	
1981 (昭和56)		9. 日米エネルギー協定に基づく「光合成による太陽エネルギー転換プロジェクト」を取り決め 10. 創造科学技術推進制度(ERATO)発足 10.18 福井謙一、Roald Hoffmann ノーベル化学賞受賞	4.12 スペースシャトル初飛行(アメリカ)
1982 (昭和57)	5.4 中国科学院と研究協力協定		
1983 (昭和58)	2.23 研究室業績レビュー開始	1.27 青函トンネル開通	この年 ESPRIT (European Strategic Program on Research in Information Technology) 発足
1984 (昭和59)	1.30 パスツール研究所(仏国)と姉妹研究所 3.31 組換えDNA実験棟完成 5.3 連邦科学産業研究機構(オーストラリア)と研究協力協定 6.28 マックス・プランク協会(独国)と研究協力協定 10.1 ライフサイエンス筑波研究センター(現筑波研究所)を筑波研究学園都市(茨城県つくば市)に開設、初代所長 深田栄一	4.24 科学技術会議第10号答申(ライフサイエンスの研究開発基本計画) 11.27 科学技術会議第11号答申(長期展望に立った科学技術の振興の基本方針について)	
1985 (昭和60)		3.17-9.16 国際科学技術博覧会(科学万博つくば'85)開催 6.1 男女雇用機会均等法成立 7.1 臨時行政改革審議会発足(答申は翌年6.10)	
1986 (昭和61)	10.1 国際フロンティア研究システム(I期)を現和光地区に開設、初代システム長 久保亮五	3. 科学技術政策大綱閣議決定 8.13 H-Iロケット打ち上げに成功 12. バブル景気始まる	1.28 スペースシャトル「チャレンジャー」爆発事故(アメリカ) 4.26 チェルノブイリ原発事故(ソ連)
1987 (昭和62)	1.23 リングサイクロトロン完成 9.30 「理化学研究所と親しむ会」発足	4.1 国鉄分割、JR7社発足 10.12 利根川進 ノーベル生理学・医学賞受賞	2.23 超新星SN 1987A観測される 6.8 ベネチア・サミットでヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム提案 11. 地球温暖化に関するペラジオ会議(持続可能な開発の概念を提唱)



年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1988 (昭和63)	4.22 第6代理事長 小田稔	3.13 青函トンネル開業	この年 国際熱核融合炉計画 (ITER) 発足 気候変動に関する政府間パネル：IPCC が設置
	6.30 P4実験開始 (つくば)		4.30 ヒトゲノム機構 (HUGO) 設立
			8.23 スペシャル301条 (アメリカ) (知的財産権に対する対外制裁)
			9. 国際宇宙ステーション計画 (ISS) 計画 発足
1989 (昭和64/ 平成元)	3.31 P4実験終了 (つくば)	1.7 天皇崩御 (昭和天皇) 明仁親王踐祚	11.10 ベルリンの壁崩壊
	4.1 埼玉大学と連携大学院設立 (2017.4.1現在連携大学院は39校)	1.19 「しんかい6500」進水	
	10.1 基礎科学特別研究員制度発足		
	10.5 徳仁皇太子殿下理化学研究所 (和光) 行啓		
	10.25 インドネシア技術評価応用庁と研究協力協定		
11.4 韓国科学技術研究院と姉妹協定			
1990 (平成2)	10.1 フォトダイナミクス研究センターを仙台市に開設、初代センター長 西澤潤一		4.20 ハッブル宇宙望遠鏡の打ち上げ (アメリカ)
1991 (平成3)	5. 特別研究室制度発足		1.17 湾岸戦争勃発
	11.13 大型放射光施設SPring-8建設開始		12.25 ソビエト連邦崩壊
1992 (平成4)	3.12 天皇陛下理化学研究所 (和光) 行幸	4.24 科学技術政策大綱	6.3 リオデジャネイロ地球サミット：国連環境会議
		9.12 日本人初の宇宙飛行士 毛利衛が宇宙で材料実験	
1993 (平成5)	6.21 第1回「理研アドバイザー・カウンシル」を開催		11.1 欧州連合 (EU) 発足
	10.1 第7代理事長 有馬朗人 バイオ・ミメティックコントロール研究センターを名古屋に開設、センター長 伊藤正美		
1994 (平成6)	4.5 韓国化学研究所と姉妹協定	2.4 H-IIロケット打ち上げに成功	3. 国際科学技術センター (ISTC) 設立 5.6 英仏海峡トンネル開通
		4.5 高速増殖原型炉「もんじゅ」が臨界	
		7.8 日本人初の女性宇宙飛行士 向井千秋が宇宙実験	
		10.13 大江健三郎 ノーベル文学賞受賞	
1995 (平成7)	4.28 英国ラザフォード・アップルトン研究所 (RAL) にRAL支所を開設、初代支所長 永嶺謙忠	1.17 阪神・淡路大震災 (M7.3)	
	10.23 ヘルシンキ工科大学 (フィンランド) と研究協力協定	3.20 地下鉄サリン事件	
		3.24 1万m級無人探査機「かいこう」が1万911.4mの潜航に成功 11.15 科学技術基本法制定	
1996 (平成8)	6.25 ワイツマン研究所 (イスラエル) と研究協力協定	7.2 科学技術基本計画閣議決定	7.5 培養細胞からの核移植による羊“ドリー”誕生 (英国)
	7.1 理研ベンチャー第1号設立、フォトンチューニング (株) [現 (株) メガオプト] (2017.4.1現在20社、累計43社)	10. 日本科学技術情報センターと新技術開発事業団が統合し、科学技術振興事業団が発足	
	10.1 ジュニア・リサーチ・アソシエイト制度発足 地震国際フロンティア研究プログラムを開始、初代研究リーダー 上田誠也		
1997 (平成9)	9.19 第1回特許フェア開催		5.3 IBM Deep Blueがチェス王者ガリリ・カスバロフに勝利 7.4 マーズ・パスファインダがエアバックを使って火星に着陸 (アメリカ) 12.1 第3回気候変動枠組条約締約国会議 (地球温暖化防止京都会議)
	9.23 国立研究所 (カナダ) と研究協力協定		
	10.1 播磨研究所 (兵庫県佐用郡) 発足、所長 上坪宏道 脳科学総合研究センターを和光本所内に開設、初代所長 伊藤正男 米国ブルックヘブン国立研究所 (BNL) に理研BNL研究センターを開設、初代センター長 李政道		
	10.6 大型放射光施設SPring-8 供用開始		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1998 (平成10)	1.27 地震国際フロンティア研究センターを兵庫県三木市に開設(2001年度から独立行政法人防災科学技術研究所へ移管)、初代センター長 亀田弘行	5.6 大学等技術移転促進法(TLO法)制定	11.20 国際宇宙ステーション(ISS)建設開始
	8.1 第8代理事長 小林俊一	6.12 行政改革基本法制定(中央省庁等改革基本法)	
	10.1 ゲノム科学総合研究センターを開設、初代所長 和田昭允 理研-MIT脳科学研究センターを開設	7.4 日本初の火星探査機「のぞみ」が打ち上げに成功(火星軌道への投入は断念) 10.1 動力炉・核燃料開発事業団が核燃料サイクル機構に改組(現在は日本原子力研究開発機構)	
1999 (平成11)	6. 脳科学総合研究センターで電気ポットに毒物混入(時効)	1. すばる望遠鏡(アメリカ・ハワイ)完成	1.1 通貨ユーロ利用開始
	10.1 国際フロンティア研究システムをフロンティア研究システムに改称、初代システム長 丸山瑛一	8.13 産業活力の再生及び産業活動の革新に関する特別措置法制定	1.24 情報技術イニシアチブ(IT <sup>2</sup> )を開始
		9.30 民間核燃料施設(JCO)で臨界事故	
2000 (平成12)	4.1 横浜研究所発足、初代所長 吉良爽 植物科学研究センターを横浜研究所内に開設、初代センター長 杉山達夫 遺伝子多型研究センターを横浜研究所内に開設、初代センター長 豊島久真男 ライフサイエンス筑波研究センターを筑波研究所に改組、初代所長 宮林正恭 発生・再生科学総合研究センターを筑波研究所内に開設、初代センター長 竹市雅俊	10.18 Alan Jay Heeger, Alan Graham MacDiarmid, 白川英樹 ノーベル化学賞受賞	1.21 ナノテクノロジー・イニシアティブ(アメリカ)
		12.6 ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律成立	
2001 (平成13)	1.1 バイオリソースセンターを筑波研究所内に開設、初代センター長 森脇和郎(就任4.1) 7.6 免疫・アレルギー科学総合研究センターを横浜研究所に開設、初代センター長 谷口克	1.6 省庁統合、文部省と科学技術庁を統合し、文部科学省設立 総合科学技術会議設置	9.11 同時多発テロ(アメリカ)
		6.21 国立研究機関が独立行政法人へ特殊法人等改革基本法制定	
		10.11 William S. Knowles, 野依良治, K. Barry Sharpless ノーベル化学賞受賞	
2002 (平成14)	4.1 主任研究員研究室群(和光)を中央研究所として組織化、初代所長 井上頼直 神戸研究所を兵庫県神戸市に開所、初代所長 柴田勉 発生・再生科学総合研究センターを神戸研究所に移設	10.8 Raymond Davis Jr., 小柴昌俊, Riccardo Giacconi ノーベル物理学賞受賞	
		10.9 John B. Fenn, 田中耕一, Kurt Wütrich ノーベル化学賞受賞	
2003 (平成15)	9.30 特殊法人理化学研究所解散	3.1 知的財産基本法施行	2.1 スペースシャトル「コロンビア」空中分解(アメリカ)
	10.1 独立行政法人理化学研究所設立、初代理事長 野依良治	5.9 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ	4.14 ヒトゲノム解読完了宣言
		7.16 国立大学法人法公布(10.1施行) 10.1 特殊法人が独立行政法人へ 宇宙科学研究所・航空宇宙技術研究所・宇宙開発事業団を統合し、独立行政法人宇宙研究開発機構(JAXA)を設立	
2004 (平成16)	4.1 研究ブライオリティー会議発足 産業界との「融合的連携研究制度」発足	1.19 自衛隊イラク派遣開始	12.26 スマトラ沖地震
	4.7 りけんキッズわこう運営開始	4.1 海洋科学技術センターと東京大学海洋研究所(研究船・運行)を統合し海洋研究開発機構設立 国立大学等が国立大学法人へ	
	4.9 東京大学と連携協力協定		
	9.28 「新発見の113番元素」を発表		
2005 (平成17)	1. 理研科学者会議発足	1.26 京都議定書発効	8.8 イネゲノム塩基配列解読終了(国際コンソーシアム)
	4.1 知的財産戦略センター開設	3.25-9.25 日本国際博覧会(愛知万博) 「愛・地球博」	
	7.1 感染症研究ネットワーク支援センター開設		
	9.1 分子イメージング研究プログラム開設		
10.1 放射光科学総合研究センター開設			
2006 (平成18)	1.1 次世代スーパーコンピュータ開発実施本部設置 シンガポール連絡事務所設置	9.30 国産旅客機YS-11、商用のもの全機退役	8.24 国際天文学連合により、冥王星が惑星から除外、新設された準惑星に分類
	3.1 X線自由電子レーザー計画推進本部設置		
	4.1 仁科加速器研究センター開設		
	10.3 天皇后両陛下下理化学研究所(和光)行幸啓		
	12.28 超伝導リングサイクロトロン完成		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
2007 (平成19)	4.1 分子イメージング研究プログラムを神戸研究所に開設	7.16 新潟県中越沖地震 (M6.8) 9.14 月観測衛星「かぐや」打ち上げ	2.2 国際連合気候変動に関する政府間パネル (IPCC)、地球温暖化で、100年後の地球の平均気温が、20世紀末に比べ1.1-6.4℃上昇という予測を発表
2008 (平成20)	3.31 ゲノム科学総合研究センター廃止 4.1 第2期中期計画スタート 中央研究所、フロンティア研究システムを統合し、基幹研究所開設 オミックス基盤研究領域、生命分子システム基盤研究領域及び生命情報基盤研究部門を開設 遺伝子多型研究センターをゲノム医科学研究センターへ改称 10.1 分子イメージング研究プログラムを改組し、分子イメージング科学研究センターを開設	10.7 南部陽一郎、小林誠、益川敏英 ノーベル物理学賞受賞 10.8 下村脩、Martin Chalfie、Roger Yonchien Tsien ノーベル化学賞受賞	5.12 四川大地震 (中国) 9.15 世界金融危機 (リーマン・ブラザーズ破綻)
2009 (平成21)	9.8 主任研究員が背任罪で逮捕	2.13 かぐやのデータにより、世界最初の月全体の地形図および重力地図が、国立天文台や国土地理院などの研究者チームにより作製 5.21 裁判員制度施行 7.19 宇宙実験棟「きぼう」完成 11.13 事業仕分け (省庁が行う449事業が対象)、次世代スーパーコンピュータプロジェクト予算凍結の判定	この年 世界天文年2009
2010 (平成22)	4.1 社会知創成事業開設 感染症研究ネットワーク支援センターを新興・再興感染症研究ネットワーク推進センターに改称 7.1 計算科学研究機構開設	6.13 小惑星探査機「はやぶさ」帰還 10.6 根岸英一、鈴木章、Richard Fred Heck ノーベル化学賞受賞	
2011 (平成23)	4.1 生命システム研究センター開設 HPCI計算生命科学推進プログラム開設 6. 開発中のスーパーコンピュータ「京」TOP500で性能世界第一位	3.11 東日本大震災 (M9.0)、福島第一原子力発電所事故	この年 世界化学年 7.21 スペースシャトル全機退役
2012 (平成24)	3.7 X線自由電子レーザー施設「SACLA」供用開始 9.28 スーパーコンピュータ「京」共用開始	10.8 John Gurdon、山中伸弥 ノーベル生理学・医学賞受賞	7.4 欧州合同原子核研究機構 (CERN)、LHC実験により新たな粒子を発見したと発表 この年 世界人口70億人を突破
2013 (平成25)	4.1 基幹研究所の一部を改組し、創発物性科学研究センター開設 基幹研究所の一部を改組し、光子工学研究領域開設 基幹研究所の一部と植物科学研究センターを統合し、環境資源科学研究センター開設 ゲノム医科学研究センターと免疫・アレルギー科学総合研究センターを統合し、統合生命医科学研究センター開設 分子イメージング科学研究センター、生命分子システム基盤研究領域、オミックス基盤研究領域を統合し、ライフサイエンス技術基盤研究センター開設 予防医療・診断技術開発プログラム開設 グローバル研究クラスター開設 新しい主任研究員制度と理研科学者会議発足		10.4 CERN、昨年7月に発見した新粒子をヒッグス粒子と確定
2014 (平成26)	2.13 理研の研究不正に関する通報窓口に、研究所職員が発表した論文に疑義がある、との相談 STAP論文問題発生 7.2 STAP細胞に関する研究論文の取り下げ 9.12 「滲出型加齢黄斑変性に対する自家iPS細胞由来網膜色素上皮 (RPE) シート移植に関する臨床研究」第一症例目の被験者に対し、移植実施 11.21 発生・再生科学総合研究センターを改組し、多細胞システム形成研究センター開設	5.14 若田光一宇宙飛行士 国際宇宙ステーションより帰還、初の船長任務と日本人最長の一度の宇宙滞在188日と通算348日を達成 6.6 独立行政法人通則法の一部を改正する法律成立 (2015.4.1施行) 9.27 御嶽山噴火 多数の死傷者が出る 10.7 赤崎勇、天野浩、中村修二 ノーベル物理学賞受賞	

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
2015 (平成27)	3.31 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター廃止	10.5 William Cecil Campbell、大村智、屠呦呦 ノーベル生理学・医学賞受賞	11.13 パリ同時多発テロ事件
	4.1 独立行政法人理化学研究所の名称を国立研究開発法人理化学研究所に変更 初代理事長 松本紘	10. マイナンバー通知開始	
	7.1 社会知創成事業を産業連携本部へ改称	10.6 梶田隆章、Arthur Bruce McDonald ノーベル物理学賞受賞	
	12.31 113番元素の命名権獲得		
2016 (平成28)	3.1 科学技術ハブ推進本部設置	4.14- 熊本地震 4.16 (M7.3) が本震とされている	2.11 LIGOで重力波を検出 (検出は2015.9.14)
	3.30 運営・改革モニタリング委員会による再発防止策の最終確認	5.11 特定国立研究開発法人による研究開発等の促進に関する特別措置法成立 (10.1施行)	6.23 英国、国民投票でEU離脱を決定
	4.14 革新知能統合研究センター開設	10.3 大隅良典 ノーベル生理学・医学賞受賞	11.4 地球温暖化対策パリ協定発効
	10.1 特定国立研究開発法人に指定		
	11.1 数理創造プログラム開設		
	11.30 113番元素の元素名が「nihonium (ニホニウム)」、元素記号が「Nh」に決定		
2017 (平成29)	3.28 「滲出型加齢黄斑変性に対する他家iPS細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植に関する臨床研究」の1例目の移植手術の実施		
	4.26 理化学研究所創立百周年記念式典開催 日本郵便から「理化学研究所創立100周年」記念切手発行		

# 役員・所長・センター長一覧



役員・所長・センター長一覧

## 役員（特殊法人）

	氏名	在任期間	
理事長	長岡治男	1958.10.21 ~ 1962.10.21 ~ 1966.10.20	
	赤堀四郎	1966.12.17 ~ 1970.4.14	
	星野敏雄	1970.4.15 ~ 1974.4.14 1974.4.16 ~ 1975.4.15	
	福井伸二	1975.4.16 ~ 1979.4.16 ~ 1980.4.22	
	宮島龍興	1980.4.22 ~ 1984.4.22 ~ 1988.4.21	
	小田稔	1988.4.22 ~ 1992.4.22 ~ 1993.9.30	
	有馬朗人	1993.10.1 ~ 1996.9.30 ~ 1998.5.20	
	小林俊一	1998.8.1 ~ 2002.7.31 ~ 2003.9.30	
	副理事長	坂口謹一郎	1959.12.9 ~ 1962.5.4
住木諭介		1962.10.21 ~ 1966.10.21 ~ 1970.6.15	
一宮虎雄		1973.5.1 ~ 1975.9.13	
宮崎友喜雄		1976.5.20 ~ 1980.5.17	
中根良平		1983.5.16 ~ 1987.5.15	
加藤泰丸		1987.6.1 ~ 1990.5.9	
佐田登志夫		1990.5.9 ~ 1993.9.17	
長柄喜一郎		1993.9.18 ~ 1995.8.23	
雨村博光		1995.8.24 ~ 1998.8.1	
吉良爽		1998.8.1 ~ 2001.7.31	
小川智也		2001.8.1 ~ 2003.9.30	
理事		島田晋	1958.11.13 ~ 1962.11.13 ~ 1966.11.12
		前田陽吉	1962.6.1 ~ 1966.6.1 ~ 1970.5.31
	菅義夫	1966.2.1 ~ 1970.1.31	
	杠文吉	1966.2.1 ~ 1967.3.1	
	仲谷泰吉	1967.3.2 ~ 1971.3.2 ~ 1975.3.1	
	藤井久男	1967.3.2 ~ 1971.3.2 ~ 1975.3.1	
	一宮虎雄	1970.2.1 ~ 1973.4.30	
	高橋正春	1970.6.1 ~ 1974.6.1 ~ 1978.5.31	
	宮崎友喜雄	1973.5.1 ~ 1976.5.19	
	楠田脩一	1975.3.2 ~ 1978.5.1	
	森脇大五郎	1975.3.10 ~ 1979.3.9	
	山本幸雄	1975.4.4 ~ 1979.4.3	
	曾田範宗	1976.5.20 ~ 1980.5.19	
	朝野武彦	1978.5.2 ~ 1978.12.4	
	安尾俊	1978.6.1 ~ 1982.5.31	
	西本靖	1978.12.5 ~ 1980.5.17	
	熊田登	1979.5.1 ~ 1983.4.30	
	中根良平	1980.6.10 ~ 1983.5.15	
	大沢陽太郎	1980.12.8 ~ 1984.12.8 ~ 1986.12.7	
	深田栄一	1980.12.15 ~ 1984.12.14	
	仲光佐直	1982.6.22 ~ 1986.6.21 ~ 1987.9.17	
	清水文聰	1983.5.16 ~ 1985.3.31	
	加藤泰丸	1983.7.7 ~ 1987.5.31	
	吉田清太	1984.12.15 ~ 1986.1.11	

	氏名	在任期間
理事	佐田登志夫	1986.5.9 ~ 1990.5.8
	藤岡淳介	1986.12.8 ~ 1990.12.8 ~ 1992.12.7
	井上一郎	1987.6.1 ~ 1991.5.31
	長柄喜一郎	1987.9.18 ~ 1991.9.18 ~ 1993.9.17
	雨村博光	1990.5.9 ~ 1994.5.8 ~ 1995.8.23
	高橋信孝	1991.6.1 ~ 1995.5.31
	上坪宏道	1992.12.8 ~ 1996.12.7 ~ 1998.3.31
	宮川壽夫	1993.9.18 ~ 1996.9.30
	吉良爽	1995.6.1 ~ 1998.7.31
	坂内富士男	1995.8.24 ~ 1999.8.23 ~ 2001.1.31
	藤原正彦	1996.10.1 ~ 2000.8.31
	小川智也	1998.4.1 ~ 2001.7.31
	宮林正恭	1998.8.1 ~ 2002.7.31 ~ 2003.7.25
	柴田勉	2000.9.1 ~ 2003.9.30
	井上頼直	2001.2.1 ~ 2003.9.30
監事	堀佑司	2001.8.1 ~ 2003.7.31
	谷畑勇夫	2003.4.2 ~ 2003.9.30
	小中元秀	2003.7.26 ~ 2003.9.30
	谷口寛	1958.11.13 ~ 1960.11.13 ~ 1962.11.12
	藤村重任	1962.11.16 ~ 1964.8.9
	井上健太郎	1964.8.17 ~ 1966.8.16
	山本松夫	1966.8.17 ~ 1968.8.17 ~ 1970.8.17 ~ 1971.12.15
	吉田清	1958.11.13 ~ 1960.5.26
	藤田茂	1960.7.14 ~ 1962.7.14 ~ 1964.7.14 ~ 1966.7.13
	小沢俊郎	1966.7.14 ~ 1968.7.14 ~ 1970.7.13
	安藤鎮正	1970.7.20 ~ 1972.7.20 ~ 1974.7.19
	楠田脩一	1971.12.24 ~ 1973.12.24 ~ 1975.3.1
	高富味津雄	1974.7.20 ~ 1976.7.19
	朝野武彦	1975.3.2 ~ 1977.3.2 ~ 1978.5.1
	安尾俊	1976.7.20 ~ 1978.5.31
	杉本明	1978.5.2 ~ 1980.5.2 ~ 1982.5.1
	堀純郎	1978.6.1 ~ 1980.5.31
	清水文聰	1982.5.2 ~ 1983.5.15
	桐澤昭夫	1983.5.16 ~ 1985.5.16 ~ 1987.5.15
	山田隆夫	1987.5.16 ~ 1989.5.16 ~ 1990.5.16 ~ 1991.6.16
	菊池貞二	1991.6.16 ~ 1992.7.23
櫻井溥	1992.7.24 ~ 1994.7.23 ~ 1996.7.23 ~ 1997.7.31	
関理夫	1997.8.1 ~ 1999.7.31 ~ 2000.10.17	
塚腰勇	2000.10.18 ~ 2002.10.18 ~ 2003.9.30	

## 役員（独立行政法人）

	氏名	在任期間
理事長	野依良治	2003.10.1 ~ 2015.3.31

	氏名	在任期間
理事	小川 智也	2003.10.1 ~ 2004.10.14
	柴田 勉	2003.10.1 ~ 2005.9.30
	井上 頼直	2003.10.1 ~ 2005.3.31
	谷畑 勇夫	2003.10.1 ~ 2004.1.14
	小中 元秀	2003.10.1 ~ 2005.7.14
	大熊 健司	2004.1.15 ~ 2010.3.31
	土肥 義治	2004.10.15 ~ 2010.12.31
	武田 健二	2005.4.1 ~ 2011.3.31
	坂田 東一	2005.7.16 ~ 2007.7.5
	大河内 眞	2005.10.1 ~ 2009.3.31
	倉持 隆雄	2007.7.6 ~ 2008.7.10
	藤嶋 信夫	2008.7.11 ~ 2010.7.29
	古屋 輝夫	2009.4.1 ~ 2015.3.31
	川合 眞紀	2010.4.1 ~ 2015.3.31
	藤田 明博	2010.7.31 ~ 2013.3.31
	田中 正朗	2011.1.1 ~ 2012.9.18
	大江田 憲治	2011.4.1 ~ 2015.3.31
	坪井 裕	2012.9.19 ~ 2015.3.31
	米倉 実	2013.4.1 ~ 2014.10.23
	有信 睦弘	2014.10.24 ~ 2015.3.31
監事	藤井 隆	2003.10.1 ~ 2005.9.30
	林 剛	2003.10.1 ~ 2005.6.23
	橋本 孝伸	2005.7.1 ~ 2009.6.30
	加藤 武雄	2005.10.1 ~ 2007.9.30
	柘田 太郎	2007.10.1 ~ 2010.12.31
	廣川 孝司	2009.7.1 ~ 2011.9.30
	魚森 昌彦	2011.1.1 ~ 2013.3.31
	清水 至	2011.10.1 ~ 2015.3.31
	伊藤 健二	2013.4.1 ~ 2015.3.31

## 役員（国立研究開発法人）

	氏名	在任期間
理事長	松本 紘	2015.4.1 ~
	松本 洋一郎	2015.4.1 ~
理事	有信 睦弘	2015.4.1 ~
	加藤 重治	2015.4.1 ~ 2017.3.31
	小安 重夫	2015.4.1 ~
	羽入 佐和子	2015.4.1 ~ 2016.3.31
	板倉 周一郎	2017.4.1 ~
	小谷 元子	2017.4.1 ~
監事	清水 至	2015.4.1 ~
	伊藤 健二	2015.4.1 ~ 2015.9.30
	松尾 康博	2015.10.1 ~

## 所長・センター長（特殊法人）

	役職	氏名	在任期間
所長	筑波研究所長	宮林 正恭	2000.4.1 ~ 2003.7.25
		井上 頼直	2003.7.26 ~ 2003.9.30
	播磨研究所長	上坪 宏道	1997.10.1 ~ 1998.3.31
		小川 智也	1998.4.1 ~ 1999.3.31
		坂内 富士男	1999.4.1 ~ 2001.1.31
		井上 頼直	2001.2.1 ~ 2002.3.31
		堀 佑司	2002.4.1 ~ 2003.3.31
		柴田 勉	2003.4.1
		谷畑 勇夫	2003.4.2 ~ 2003.9.30
	横浜研究所長	吉良 爽	2000.4.1 ~ 2001.7.31
		小川 智也	2001.8.1 ~ 2003.9.30
	神戸研究所長	柴田 勉	2002.4.1 ~ 2003.9.30
	副所長	播磨研究所副所長	井上 頼直
飯塚 哲太郎			2002.6.1 ~ 2003.9.30
センター長	中央研究所長	井上 頼直	2002.4.1 ~ 2003.9.30
	ライフサイエンス筑波研究センター所長	深田 栄一	1984.10.1 ~ 1984.12.14
		仲光 佐直	1984.12.15 ~ 1987.9.17
		井上 一郎	1987.9.18 ~ 1990.5.8
		雨村 博光	1990.5.9 ~ 1993.9.17
		高橋 信孝	1993.9.18 ~ 1995.5.31
		吉良 爽	1995.6.1 ~ 1998.7.31
	国際フロンティア研究システム長	小川 智也	1998.8.1 ~ 2000.3.31
		久保 亮五	1986.10.1 ~ 1991.9.30
		伊藤 正男	1991.10.1 ~ 1998.2.28
	フロンティア研究システム長	永井 克孝	1998.3.1 ~ 1999.9.30
		丸山 瑛一	1999.10.1 ~ 2003.9.30
	フォトダイナミクス研究センター長	西澤 潤一	1990.10.1 ~ 1991.1.31
田崎 京二		1991.2.1 ~ 1998.9.30	
西澤 潤一		1998.10.1 ~ 2003.9.30	
バイオ・ミメティックコントロール研究センター長	伊藤 正美	1993.10.1 ~ 1998.12.28	
	佐田 登志夫	1998.12.28 ~ 2001.9.30	
地震国際フロンティア研究プログラム研究リーダー	細江 繁幸	2001.10.1 ~ 2003.9.30	
	上田 誠也	1996.10.1 ~ 2002.3.31	
脳科学総合研究センター所長	伊藤 正男	1997.10.1 ~ 2003.4.1	
	甘利 俊一	2003.4.1 ~ 2003.9.30	
地震防災フロンティア研究センター長	亀田 弘行	1998.1.1 ~ 2001.3.31	
ゲノム科学総合研究センター所長	和田 昭允	1998.10.1 ~ 2003.9.30	
植物科学研究センター長	杉山 達夫	2000.4.1 ~ 2003.9.30	
発生・再生科学総合研究センター長	竹市 雅俊	2000.4.1 ~ 2003.9.30	

	役職	氏名	在任期間
センター長	遺伝子多型研究センター長	豊島久真男	2000.4.1 ~ 2003.9.30
	バイオリソースセンター長	森脇和郎	2001.1.1 ~ 2003.9.30
	免疫・アレルギー科学総合研究センター長	谷口 克	2001.7.1 ~ 2003.9.30
プロジェクト管理役	ゲノム科学総合研究センター	栗原良樹	2002.4.2 ~ 2003.9.30
	遺伝子多型研究センター	藤原正彦	2000.10.1 ~ 2003.3.31
	植物科学研究センター	尾野了一	2000.7.1 ~ 2003.3.30
	免疫・アレルギー科学総合研究センター	加藤武雄	2001.9.1 ~ 2003.9.30
海外	発生・再生科学総合研究センター	関 理夫	2000.11.17 ~ 2003.9.30
	理化学研究所RAL支所長	永嶺謙忠	1995.4.1 ~ 2002.3.31
	理研BNL研究センター長	岩崎雅彦 李 政道	2002.4.1 ~ 2003.9.30 1997.10.1 ~ 2003.9.30

**所長・センター長 (独立行政法人)**

	役職	氏名	在任期間
所長	和光研究所長	上坪宏道	2003.10.1 ~ 2004.3.31
		茅 幸二	2004.4.1 ~ 2008.3.31
		土肥義治	2008.4.1 ~ 2010.3.31
		小川智也	2010.4.1 ~ 2013.3.31
	和光事業所長	小川智也	2013.4.1 ~ 2014.3.31
		古屋輝夫	2014.4.1 ~ 2014.12.31
		齋藤茂和	2015.1.1 ~ 2015.3.31
	筑波研究所長	森脇和郎	2003.10.1 ~ 2008.3.31
		小幡裕一	2008.4.1 ~ 2013.3.31
	筑波事業所長	小幡裕一	2013.4.1 ~ 2015.3.31
	播磨研究所長	飯塚哲太郎	2003.10.1 ~ 2005.9.30
		壽榮松宏仁	2005.10.1 ~ 2008.3.31
		倉持隆雄	2008.4.1 ~ 2008.7.10
		藤嶋信夫	2008.7.11 ~ 2010.3.31
		石川哲也	2010.4.1 ~ 2013.3.31
	播磨事業所長	石川哲也	2013.4.1 ~ 2015.3.31
	横浜研究所長	小川智也	2003.10.1 ~ 2010.3.31
		大熊健司	2010.4.1 ~ 2013.3.31
	横浜事業所長	加藤孝男	2013.4.1 ~ 2014.3.31
		鈴木 貴	2014.4.1 ~ 2015.3.31
神戸研究所長	竹市雅俊	2003.10.1 ~ 2013.3.31	
神戸事業所長	齋藤茂和	2013.4.1 ~ 2014.7.25	
	小畔敏彦	2014.7.26 ~ 2015.3.31	
	加藤武雄	2003.10.1 ~ 2005.9.30	
副所長	横浜研究所副所長	栗原良樹	2003.10.1 ~ 2004.8.31
		袴着 実	2004.9.1 ~ 2005.3.30
		大森勝良	2005.4.1 ~ 2006.6.29
		船橋英夫	2006.7.12 ~ 2009.7.13
		関 理夫	2000.11.17 ~ 2003.9.30

	役職	氏名	在任期間
副所長	横浜研究所副所長	河原正行	2008.7.11 ~ 2011.9.1
		野家 彰	2009.7.14 ~ 2012.3.30
		加藤孝男	2012.4.1 ~ 2013.3.31
	播磨研究所副所長	壽榮松宏仁	2004.12.1 ~ 2005.9.30
		木田光春	2006.2.1 ~ 2012.9.30
	神戸研究所副所長	関 理夫	2003.10.1 ~ 2004.6.15
		船橋英夫	2004.5.31 ~ 2006.7.11
		岩橋理彦	2006.7.12 ~ 2007.7.5
		村田貴司	2007.7.6 ~ 2009.3.30
		田中正朗	2009.7.15 ~ 2010.12.30
齋藤茂和		2011.4.1 ~ 2013.3.13	
センター長	中央研究所長	上坪宏道	2003.10.1 ~ 2004.3.31
		茅 幸二	2004.4.1 ~ 2008.3.31
	フロンティア研究システム長	丸山瑛一	2003.10.1 ~ 2005.3.31
		玉尾皓平	2005.4.1 ~ 2008.3.31
	基幹研究所長	玉尾皓平	2008.4.1 ~ 2013.3.31
	創発物性科学研究センター長	十倉好紀	2013.4.1 ~ 2015.3.31
	光量子工学研究領域長	緑川克美	2013.4.1 ~ 2015.3.31
	環境資源科学研究センター長	篠崎一雄	2013.4.1 ~ 2015.3.31
	フォトダイナミクス研究センター長	潮田資勝	2003.10.1 ~ 2005.9.30
	バイオ・ミメティックコントロール研究センター長	細江繁幸	2003.10.1 ~ 2008.9.30
脳科学総合研究センター長	甘利俊一	2003.10.1 ~ 2008.3.31	
	田中啓治	2008.4.1 ~ 2009.3.31	
	利根川 進	2009.4.1 ~ 2015.3.31	
ゲノム科学総合研究センター	センター所長 和田昭允	2003.10.1 ~ 2004.3.31	
	センター長 榑 佳之	2004.4.1 ~ 2008.3.31	
オミックス基盤研究領域長	林崎良英	2008.4.1 ~ 2013.3.31	
生命分子システム基盤研究領域長	横山茂之	2008.4.1 ~ 2013.3.31	
生命情報基盤研究部門長	豊田哲郎	2008.4.1 ~ 2013.3.31	
植物科学研究センター	杉山達夫	2003.10.1 ~ 2005.3.31	
	篠崎一雄	2005.4.1 ~ 2013.3.31	
発生・再生科学総合研究センター長	竹市雅俊	2003.10.1 ~ 2014.11.20	
多細胞システム形成研究センター長	柳田敏雄	2014.11.21 ~ 2015.3.31	
統合生命医科学研究センター長	遺伝子多型研究センター長	豊島久真男	2003.10.1 ~ 2005.3.31
		中村祐輔	2005.4.1 ~ 2008.3.31
	ゲノム医科学研究センター長 (改称)	中村祐輔	2008.4.1 ~ 2010.3.31
		鎌谷直之	2010.4.1 ~ 2011.12.18
	免疫・アレルギー科学総合研究センター長	久保充明	2011.12.19 ~ 2013.3.31
谷口 克	2003.10.1 ~ 2013.3.31		
小安重夫	2013.4.1 ~ 2015.3.31		

	役職	氏名	在任期間
センター長	バイオリソースセンター長	森脇和郎	2003.10.1 ~ 2005.3.31
		小幡裕一	2005.4.1 ~ 2015.3.31
	放射光科学総合研究センター	飯塚哲太郎	2005.10.1 ~ 2006.9.30
		石川哲也	2006.10.1 ~ 2015.3.31
	感染症研究ネットワーク支援センター長	永井美之	2005.7.1 ~ 2010.3.31
	新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター長	永井美之	2010.4.1 ~ 2013.3.31
	仁科加速器研究センター長	矢野安重	2006.4.1 ~ 2009.9.30
		延與秀人	2009.10.1 ~ 2015.3.31
	情報基盤センター長	姫野龍太郎	2003.10.1 ~ 2015.3.31
	分子イメージング科学研究センター長	渡辺恭良	2008.10.1 ~ 2013.3.31
	ライフサイエンス技術基盤研究センター長	渡辺恭良	2013.4.1 ~ 2015.3.31
	生命システム研究センター長	柳田敏雄	2011.4.1 ~ 2015.3.31
	知的財産戦略センター長	丸山瑛一	2005.4.1 ~ 2007.3.31
		齋藤茂和	2007.4.1 ~ 2010.3.31
	社会知創成事業本部長	土肥義治	2010.4.1 ~ 2013.6.16
		大江田憲治	2013.6.17 ~ 2013.7.31
		藤田明博	2013.8.1 ~ 2015.3.31
		大熊健司	2004.10.1 ~ 2007.3.31
	構造プロテオミクス研究推進本部長	大熊健司	2004.10.1 ~ 2007.3.31
	次世代スーパーコンピュータ開発実施本部長	野依良治	2006.1.1 ~ 2012.6.30
計算科学研究機構長	平尾公彦	2012.7.1 ~ 2013.3.31	
X線自由電子レーザー計画推進本部長	坂田東一	2006.3.1 ~ 2007.7.5	
	倉持隆雄	2007.7.6 ~ 2008.7.10	
	藤嶋信夫	2008.7.11 ~ 2010.7.29	
	土肥義治	2010.7.30 ~ 2010.7.31	
	藤田明博	2010.8.1 ~ 2010.12.31	
	田中正朗	2011.1.1 ~ 2011.3.31	
	岩崎雅彦	2003.10.1 ~ 2004.3.31	
理化学研究所RAL支所長	松崎禎一郎	2004.4.1 ~ 2012.3.31	
	Philip King	2012.4.1 ~ 2015.3.31	
理化学研究所BNL研究センター長	N. P. Samios	2003.10.1 ~ 2013.3.31	
	S. H. Aronson	2013.4.1 ~ 2015.3.31	

	役職	氏名	在任期間
所長	神戸事業所長	小畔敏彦	2015.4.1 ~ 2017.3.31
		深井宏	2017.4.1 ~
センター長	創発物性科学研究センター長	十倉好紀	2015.4.1 ~
	量子工学研究領域長	緑川克美	2015.4.1 ~
	環境資源科学研究センター長	篠崎一雄	2015.4.1 ~
	生命システム研究センター長	柳田敏雄	2015.4.1 ~
	多細胞システム形成研究センター長	濱田博司	2015.4.1 ~
	脳科学総合研究センター長	利根川進	2015.4.1 ~ 2017.6.30
		合田裕紀子 (代行)	2017.7.1 ~
	統合生命医科学研究センター長	小安重夫	2015.4.1 ~ 2015.9.30
		山本雅	2015.10.1 ~
	バイオリソースセンター長	小幡裕一	2015.4.1 ~
	ライフサイエンス技術基盤研究センター長	渡邊恭良	2015.4.1 ~
	計算科学研究機構長	平尾公彦	2015.4.1 ~
	放射光科学総合研究センター長	石川哲也	2015.4.1 ~
	仁科加速器研究センター長	延與秀人	2015.4.1 ~
	革新知能統合研究センター長	松本洋一郎	2016.4.14 ~ 2016.6.30
		杉山将	2016.7.1 ~
	情報基盤センター	姫野龍太郎	2015.4.1 ~
	産業連携本部長	藤田明博	2015.4.1 ~
	科学技術ハブ推進本部長	松本洋一郎	2016.3.1 ~ 2017.3.31
		小寺秀俊	2017.4.1 ~
グローバル研究クラスター長	玉尾皓平	2015.4.1 ~	
副理事	研究政策審議役	山崎泰規	2015.4.1 ~
		石井俊輔	2015.4.1 ~
副理事	副理事	宍戸博	2015.4.1 ~
		岡谷重雄	2017.4.1 ~
海外	理化学研究所RAL支所長	Philip King	2015.4.1 ~
	理化学研究所BNL研究センター長	S. H. Aronson	2015.4.1 ~

## 所長・センター長 (国立研究開発法人)

	役職	氏名	在任期間
所長	和光事業所長	齋藤茂和	2015.4.1 ~
	筑波事業所長	小幡裕一	2015.4.1 ~ 2016.3.31
		船田孝司	2016.4.1 ~
	播磨事業所長	石川哲也	2015.4.1 ~
横浜事業所長	鈴木貴	2015.4.1 ~	



# 財務資料から見る理研の経理の概況



## 収入・支出

理研の財政は政府から交付される運営費交付金と国庫補助金、寄附金、政府・民間からの受託研究収入、特許権収入、研究助成金等から構成される。特殊法人時代に長らく理研の主たる財政基盤であった政府出資金は2003（平成15）年10月の独立行政法人発足以降、運営費交付金に代わり、会計処理や決算においても企業会計原則が導入されている。

特殊法人発足時より収入支出は年々増加し、その推移は（図1）に示すとおりである。1998（平成10）年以降、政府の科学研究の推進に伴い予算規模が急激に増加し、2000（平成12）年を頂点として現在も高い水準を維持している。

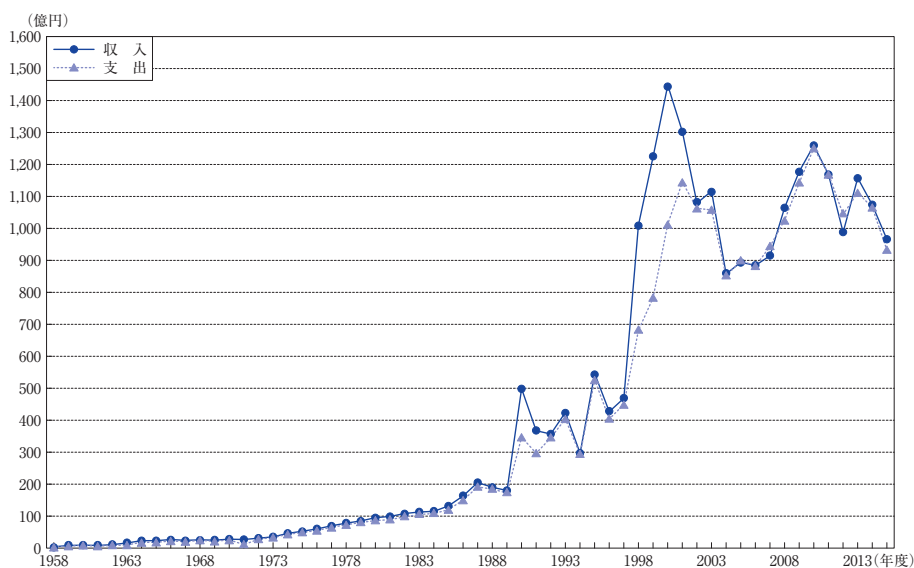


図1 収入支出の推移

## 資本金

また、1958（昭和33）年の特殊法人発足時10億4140万円であった資本金は2003（平成15）年9月30日の特殊法人終了時点で6212億9675万5千円となったが、独立行政法人発足時に政府出資金、民間出資金等を整理したことにより、2472億2740万1千円に大幅に減資した。2005（平成17）年日本原子力研究所（当時）のSPring-8運営からの撤退を受けて、関連資産を承継したことから増加したが、その後は大きな変動はない。資本金の推移は（図2）に示す通りである。

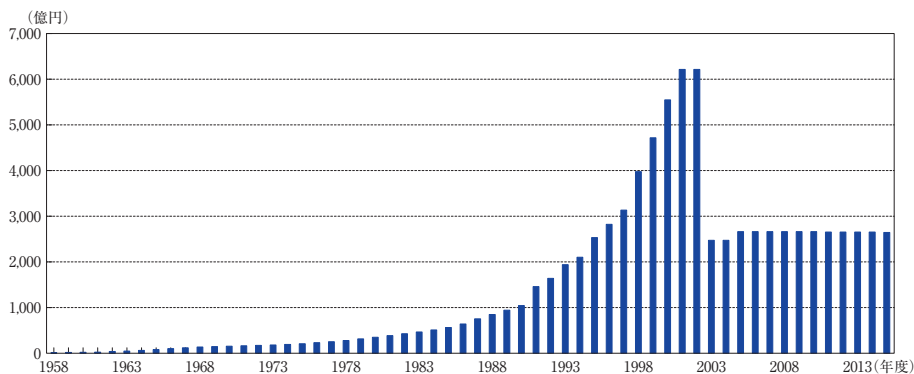


図2 資本金の推移

### 寄附金

理研では、運営費交付金の他に特許権の実施、研究の受託、技術指導、研究者の受託研修等の業績により自己収入の確保に注力している。独立行政法人発足に伴い民間出資の募集は停止しているが、民間からの寄附金については、一般寄附金に加え使途特定寄附金や募集特定寄附金として受け入れを行っている。寄附金の推移は（図3）に示す通りである。

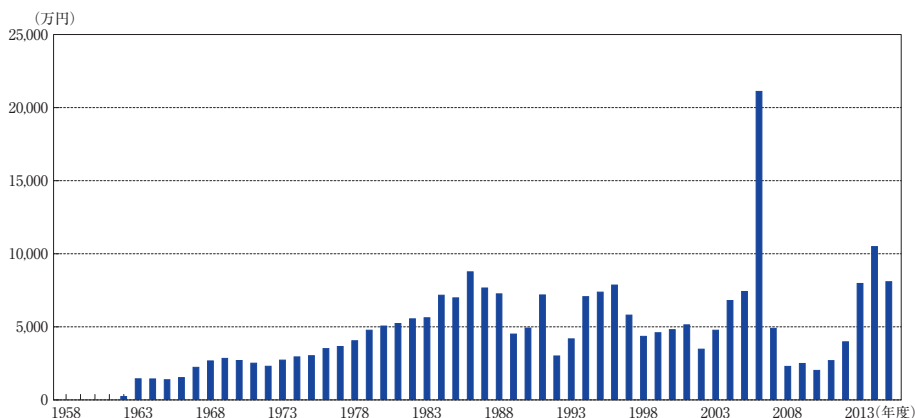


図3 寄附金の推移  
独立行政法人化以降、実際に費用に充当した寄附金を収益として計上しているため、寄附金を受領した時期とずれが有る。2006（平成18）年の急激な上昇は寄附金を活用してSPring-8の産業利用ビームラインを整備したことによる。

### 目的積立金

独立行政法人発足以降、当該事業年度に発生した利益の内、経営努力として主務大臣の承認を受けた金額について、翌年度に目的積立金として業務運営の財源としている。

理研の目的積立金は、研究所の経営努力の有効な指標として特許権収入の額に基づき算出されており、各年度計画において、重点的に実施すべき研究開発に係る経費、エネルギー対策に係る経費、知的財産管理・技術移転に係る経費、職員の資質の向上に係る経費、研究環境の整備に係る経費、広報に係る経費等に充当することとしている。目的積立金の推移は（図4）に示す通りである。

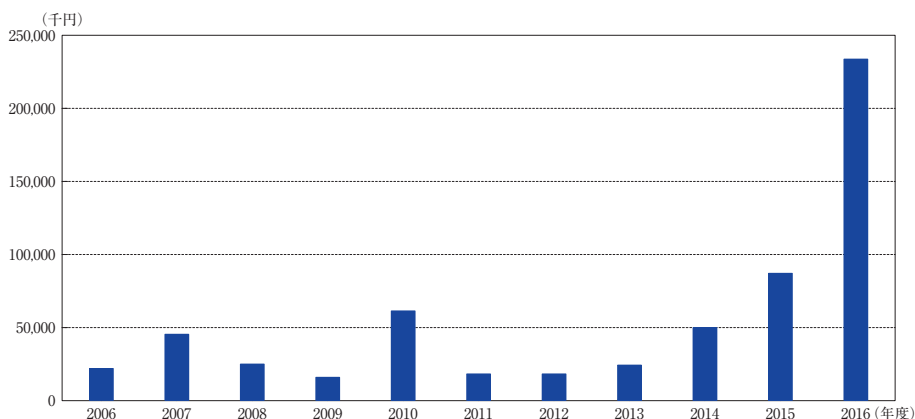


図4 目的積立金の推移  
2007（平成19）年と2012（平成24）年については、中期目標期間を繰越することから前中期目標期間繰越積立金として大臣承認を受けた額の中の目的積立金相当額。

# 基礎科学研究等課題の推移



研究課題	担当研究室	期間
<b>1・総合研究</b>	(研究室名は研究実施時の名称)	
(1) レーザーの理化学的応用に関する研究	マイクロ波物理研究室他	1968~1970
(2) 理工学における情報認識及び処理に関する研究	情報科学研究室他	1971~1973
(3) 固体表面の微視的研究とその応用	変形工学研究室他	1974~1976
(4) イオンビームによる物性研究とその応用	金属物理研究室他	1977~1979
(5) 活性有機物質の構造と機能の動的解明に関する研究	抗生物質研究室他	1980~1981
<b>2・重点研究</b>		
(1) 硼化物、窒化物、珪化物及び硫化物系耐熱材料の開発に関する研究	半導体研究室他	1964~1966
(2) 量子エレクトロニクスの研究	マイクロ波物理研究室他	1964~1965
(3) 低温交換法による同位体分離の研究	同位元素研究室他	1964~1965
(4) 核酸及び核酸関連物質に関する研究	微生物学研究室他	1965~1967
(5) 宇宙線特別研究	宇宙線研究室他	1965~1984
(6) 単結晶構造解析の自動化に関する研究	結晶物理研究室他	1966~1968
(7) 無機錯体溶液の物理化学的研究	無機化学研究室他	1967~1969
(8) 高分子圧電材料の研究	生体高分子物理研究室他	1969~1970
(9) 不整反応の研究	高分子化学研究室	1970~1972
(10) 炭化水素及び同関連物質の醗酵に関する研究	醗酵工学研究室他	1970~1972
(11) 深海用自動計測ブイの開発	海洋物理研究室他	1971~1973
(12) 電気化学的合成、分離、分析法に関する研究	無機化学研究室	1973
(13) 光ビーム干渉法とその応用に関する研究	光学計測研究室	1973~1974
(14) 内湾の海水交流機構に関する研究	海洋物理研究室	1974~1976
(15) 光ICの基礎研究	半導体工学研究室	1975
(16) ガスレーザーのプラズマ物理学的研究	プラズマ物理研究室	1975
(17) 弱塩基性有機化合物の活性化による新合成法に関する研究	有機化学第2研究室	1976~1978
(18) 新磁性材料開発のための電子構造解析手法の研究	磁性研究室	1976~1978
(19) 食品の貯蔵に関する微生物並びに生化学的研究	放射線生物学研究室	1976~1979
(20) 数式処理システムの開発	情報科学研究室	1977~1978
(21) 非晶体材料の構造研究法の開発	結晶物理研究室	1979~1981
(22) 生体結晶の物性研究	生物物理研究室	1979~1981
(23) 熱帯植物に含まれる新生理活性物質の研究	植物化学研究室	1979~1981
(24) 昆虫の習性行動及び生理過程における選択的阻害による害虫防除剤の開発研究	昆虫薬理研究室他	1980~1981
(25) 海洋遠隔探査技術の開発研究	海洋物理研究室他	1980~1981
(26) 極微細高輝度イオンビーム装置の開発	半導体工学研究室他	1981
<b>3・特定総合研究</b>		
(1) 超電導体/狭バンド半導体接合素子に関する研究	マイクロ波物理研究室他	1980
(2) エネルギー植物の光合成生産及び炭化水素等の分析に関する研究	植物薬理研究室	1980
(3) かび産生物質の免疫障害に関する研究	農薬合成第1研究室	1980
(4) 細胞成分の分離に関する研究	微生物学研究室	1980
(5) 腸内微生物叢と生育環境及び発育との関連に関する研究	動物薬理研究室	1980
(6) 安全な宿主ベクター系の開発に関する研究	微生物生態学研究室他	1981
(7) 高輝度イオンビームによるレジストレスプロセス開発研究	半導体工学研究室他	1982~1983
(8) 極限構造の制御とその応用	半導体工学研究室他	1984~1985
(9) 吸着剤を用いる選択的合成反応開発研究	触媒研究室他	1982~1984
(10) 海洋遠隔探査研究	海洋物理研究室他	1982~1984
<b>4・工業化研究</b>		
(1) 自動記録式粘弾性測定装置の試作	原子物理研究室	1964
(2) 自動記録式摩擦試験機の試作	精密工学研究室	1964
(3) チタン蒸着膜による薄膜回路の試作	半導体研究室	1964
(4) 矩形ヒステリシス活性を有するフェライト単結晶コアの試作	磁性研究室	1965
(5) 押し拡げ形 [EXpanding die form-ing] に関する研究	塑性加工研究室	1965
(6) 電子ビームマイクロウェルダの試作	精密工学研究室	1966
(7) 薄膜単結晶の製作	半導体工学研究室	1966
(8) 微生物の連続培養に関する研究	醗酵工学研究室	1966
(9) 農業用抗生物質ポリオキシンの開発研究	抗生物質研究室	1966
(10) 自動記録式高温相転位測定装置の試作研究	セラミックス研究室	1967
(11) 連続超音波ドレッシング装置の試作研究	精密工学研究室	1967
(12) ホルムアルデヒドとC4オレフィンを原料とするイソプレンの製造方法	高分子化学研究室	1967
(13) イオンビーム不純物注入装置の試作	半導体工学研究室	1968
(14) 超音波振動切削用ユニット及び専用正面旋盤の試作研究	機械計測研究室	1968
(15) 単磁区軟磁性フェライトコアの開発	磁性研究室	1968
(16) 新しいプラズマジェットの実用化とその応用	電気材料研究室	1969
(17) 計算機用図形入出力端末装置の研究	情報科学研究室	1969
(18) 軸流分子ポンプの試作研究	機械計測研究室	1969

研究課題	担当研究室	期間
(19) 計算機用写真記憶装置の研究	情報科学研究室	1970
(20) 新農業用抗生物質の研究	抗生物質研究室	1970
(21) アルカリプロテアーゼの試作と応用	微生物学研究室	1970
(22) ダイヤモンド研磨メタルシートの製造法の確立	精密工学研究室	1971
(23) 超音波振動による結合度制御といしの開発	機械計測研究室	1971
(24) プラズマジェットによる物質処理法の研究	プラズマ物理研究室	1971
(25) 高電圧用火花ギャップスイッチに関する研究	プラズマ物理研究室	1972
(26) 新甘味性物質の開発	有機合成化学研究室	1972
(27) イソブチレンよりメタクリル酸及びそのエステル合成	高分子化学研究室	1972
(28) 高湿度感湿素子の研究	プラズマ物理研究室	1973
(29) 細菌類細胞の溶解酵素の応用に関する研究	微生物学研究室	1973
(30) 多段気体まきこみ式培養装置に関する研究	醗酵工学研究室	1973
(31) 抗血栓材料の開発研究	生体高分子物理研究室	1974
(32) フェライトX線造影剤用電磁石の試作研究	磁性研究室	1974
(33) 多孔質物質を用いた管型微生物培養装置の工業化に関する研究	化学工学研究室	1974
(34) ガスレーザーを用いた極微量大気汚染物質の高感度検出装置の開発	マイクロ波物理研究室	1975
(35) 計算機による高精度カラー図形の処理に関する研究	情報科学研究室	1975
(36) 超微粒子磁性体による重金属の濃縮、分離、回収法に関する研究	磁性研究室他	1975
(37) 環状デキストリン製造の工業化に関する研究	微生物生態学研究室	1976
(38) 微生物培養の自動管理の研究	微生物学研究室	1976
(39) 金属含有スラッジの不溶化と再資源化処理の実用化	化学工学研究室	1976
(40) 発泡金属の化学装置への開発	粉粒体工学研究室他	1977
(41) 電気化学分析装置の開発	無機化学研究室	1977
(42) 3次元形状自動計測システムの開発	情報科学研究室他	1977
(43) 異形固体粒子の選別法の開発研究	粉粒体工学研究室	1978
(44) 鋼材の表面合金化の開発研究	変形工学研究室他	1978
(45) 磁気利用による物質の濃縮、分離、回収システムの開発研究	磁性研究室他	1978
(46) 耐久性のある診断用カタラーゼの工業化に関する開発研究	微生物生態学研究室	1979
(47) スペックルを用いたシステム表面形状の自動計測の研究	光学計測研究室	1979
(48) 半導体検出器を利用した医学用陽電子カメラの開発	磁性研究室他	1979
(49) 芳香族置換オレフィン製造法の開発	有機化学第1研究室	1980
(50) ベータ・ラクタマーゼの生産と精製	微生物生態学研究室	1980
(51) 高強度鋼板の曲げ部強度試験法の開発	変形工学研究室	1980
(52) 粉粒体の形状測定・解析装置の開発	粉粒体工学研究室	1981
(53) 新型高性能ガス検知器の開発	固体化学研究室他	1982
(54) せん断場鋳造法の開発に関する研究	摩擦工学研究室他	1982
(55) 動物薬抗生物質カチオノマイシンの開発	抗生物質研究室	1983
(56) 多軸応力場可変試験機の開発	変形工学研究室	1983~1985
(57) 中国産微生物源農薬の開発	抗生物質研究室他	1986~1987
(58) 同位体選択的なシリコン膜の開発	触媒研究室他	1988~1989
<b>5・国際共同研究</b>		
(1) 未知な昆虫毒、魚毒、貝毒等の医薬・農薬への開発研究	農薬化学第2研究室他	1986~1987
(2) ECRプラズマによる表面改質と物性研究	プラズマ物理研究室他	1988~1990
<b>6・日米研究協力</b>		
(1) 核酸関連物質の超微量解析に関する研究	抗生物質研究室	1989~1991
(2) 多機能トンネル顕微鏡の開発と応用に関する総合研究	表面界面工学研究室他	1989~1991
(3) デジタル結晶成長法の開発と応用に関する研究	レーザー科学研究グループ	1990~1992
<b>7・原子力関係研究</b>		
(1) 核融合に関する研究	核融合研究室	1963~1982
(2) ガンマー線に関するパラフィンから脂肪酸合成に関する研究	放射線化学研究室	1963
(3) 放射線による食品等の保存と熟成に関する研究	放射線生物学研究室	1963~1966
(4) 核酸関連物質の放射線障害保護効果に関する研究	放射線生物学研究室	1963
(5) サイクロトロンによるRIの製造濃縮方法に関する研究	サイクロトロン研究室	1963~1965
(6) 海洋投棄用放射性廃棄物容器に関する研究	海洋物理研究室	1963~1966
(7) 有機低分子化合物の反跳化学反応の研究	放射線化学研究室他	1964~1966
(8) 放射線障害に対する新防薬剤の開発と作用機作に関する研究	放射線生物学研究室他	1964~1976
(9) 半導体放射線検出器に関する研究	電気材料研究室	1964~1966
(10) 自然放射線並びにfall outによる外部被曝線量の評価に関する研究	放射線研究室	1964~1970
(11) 放射線解析による核種の決定に関する研究	放射線研究室	1965
(12) 160cmサイクロトロンによる総合研究	サイクロトロン研究室他	1966~1982
(13) 放射線解析による混合核種の決定	放射線研究室	1966~1971
(14) 放射線食品照射に関する基礎的研究	放射線生物学研究室	1967~1981
(15) 海洋物理、化学的にみた放射性廃液と濁りに関する研究	海洋物理研究室	1969~1971

研究課題	担当研究室	期間
(16) 環境放射線による情報の迅速解析に関する研究	放射線研究室他	1971~1973
(17) 放射線核種による海洋環境の汚染に関する研究	海洋物理研究室他	1972~1973
(18) 環境における中性子線の情報の把握と線量に関する研究	放射線研究室	1974~1982
(19) 新海底測流調査	海洋計測工学第1研究室	1978~1980
(20) 重イオン加速器による総合研究	サイクロトロン研究室他	1978~1982
<b>[重イオン科学総合研究]</b>		
(1) 超重元素生成反応に関する計測技術の開発	サイクロトロン研究室他	1983~1985
(2) 高励起重イオンの放出するX線及び電子線の研究	原子過程研究室他	1983~1985
(3) 極微量物質の分析法の開発	核化学研究室他	1983~1985
(4) 重イオン損傷の生物・化学機構に関する研究	放射線生物学研究室他	1983~1985
(5) 重イオン照射による固体材料の損傷と核融合炉材料評価法の研究	金属物理研究室他	1983~1985
(6) 超重元素及び新不安定同位元素の研究	加速器基盤研究部他	1986~2002
(7) 中間子・ミュオン粒子、中性子及び放射性原子の発生とその応用研究	磁性研究室他	1986~1999
(8) 高エネルギー高電離重イオンによる原子物理の研究	原子過程研究室、原子物理研究室等	1986~2002
(9) 重イオンによる生物効果研究	放射線生物学研究室他	1986~2002
(10) 不安定核ビームを用いた核科学の研究	RIビーム科学研究室	1990~2002
(11) リングサイクロトロンによる高温・高密度原子核の研究	延與放射線研究室他	1986~
i) スピン物理研究	延與放射線研究室他	1995~
ii) 理研BNL研究センター (アメリカ)	延與放射線研究室他	1997~
(12) ミュオン科学研究 (理研RAL支所・イギリス)	岩崎先端中間子研究室	2000~
<b>[原子力基盤技術開発研究]</b>		
(1) 原子力用短波長レーザーの開発研究	レーザー科学研究グループ	1988~1989
(2) 原子力レーザー技術開発研究	レーザー科学研究グループ	1990~2002
(3) 原子力用プラント内保全作業用ロボットシステムの研究開発	化学工学研究室他	1988~1993
(4) 放射線測定技術の高度化に関する研究	宇宙放射線研究室他	1991~1993
<b>[原子力基盤技術総合的研究]</b>		
(1) 原子力新レーザーの開発研究	半導体工学研究室他	1989~1993
(2) 原子力用人工知能を具備した原子力施設のシステム評価研究	化学工学研究室他	1989~1993
(3) 放射線による染色体異常の高速自動解析システムに関する研究	放射線生物学研究室	1989~1993
(4) 放射性核種の環境中移行の極地規模総合的モデルに関する研究	微生物制御研究室	1991~1995
(5) 陽電子ビームの発生・制御技術の高度化に関する研究	サイクロトロン研究室	1994~1998
(6) 高輝度放射光の先端利用のための基盤技術の研究	半導体工学研究室他	1994~1998
(7) 自律型プラントのための分散協調知能化システムの開発	生化学システム研究室他	1998~1998
(8) 原子力用レーザー実用化の研究開発	レーザー科学研究グループ	1998~1998
(9) 新たなDNA解析手法を応用した放射線突然変異の検出・解析技術の開発	細胞生理学研究室他	1998~1998
(10) 原子力用構造物の巨視的/微視的損傷の計算力学的解析法の開発とその応用	素形材工学研究室	1998~1998
(11) 陸域環境における放射性核種の移行に関する動的解析モデルの開発	微生物制御研究室他	1998~1998
(12) 高品質陽電子ビームの高度化研究	半導体工学研究室他	1999~2003
(13) マルチレーザーの製造技術の高度化研究	細胞生理学研究室他	1999~2003
<b>[原子力基盤技術利用研究]</b>		
(1) 原子力用レーザー技術の利用研究		
i) X線非線形光学応用技術開発研究	レーザー物理工学研究室他	1998
ii) 軟X線レーザーの高度化・先端利用研究	半導体工学研究室他	1998~2002
(2) 放射性ナノ粒子の計測・制御技術の開発	レーザー反応工学研究室	1998~2003
(3) 放射線障害修復機構の解析による生体機能解明研究	細胞生理学研究室他	1999~2003
(4) 放射線核種の土壌生態圏における動的解析モデルの研究	微生物制御研究室他	1999~2003
(5) 人間共存型プラントのための知能化技術の開発	生化学システム研究室他	1999~2003
(6) 計算科学的手法による原子力施設における物質挙動に関する研究	素形材工学研究室他	1999~2003
(7) 高速量子現象計測のためのアト秒パルス技術の開発	レーザー物理工学研究室	1999~2003
<b>[レーザー法によるウラン同位体分離・濃縮研究]</b>		
(1) 赤外レーザーによるウラン同位体の分離・濃縮に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1985~1987
(2) ガスレーザー高度化技術研究	レーザー科学研究グループ他	1987
(3) ウラン濃縮に関するレーザー科学応用研究	レーザー科学研究グループ他	1988~1992
(4) 分子レーザー法ウラン濃縮に関するブレイクスルー研究	レーザー科学研究グループ他	1993~1998
<b>[機動的先端研究/バイオクロストーク機能研究]</b>		
<b>[原子力用短波長レーザーの開発研究]</b>		
<b>[原子力用プラント内保全作業用ロボットシステムの研究開発]</b>		
<b>[RIビームファクトリー研究]</b>		
<b>8・農業関係研究</b>		
(1) 細胞壁合成阻害剤及びアミノ酸農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1971~1973
(2) 幼若ホルモン及びその関連化合物の害虫防除への利用	昆虫薬理研究室他	1972~1974
(3) 植物の生育調節に関する研究	植物化学研究室他	1973~1975
(4) 抗植物ウイルス剤の開発に関する研究	微生物薬理研究室他	1974~1976
(5) ニカメイチュウの性フェロモンに関する研究	昆虫薬理研究室他	1975~1977
(6) 合成及び天然新植物生長抑制物質に関する研究	植物化学研究室他	1977~1980

研究課題	担当研究室	期間
(7) 速分解・非残留性農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1977～1982
(8) りんし目昆虫の性フェロモンの実用化に関する研究	昆虫薬理研究室他	1978～1980
(9) 多年生雑草防除剤開発に関する研究	生物試験室他	1979～1982
(10) 選択毒性を基盤とした昆虫神経系に作用する新しい害虫防除剤の開発に関する研究	昆虫薬理研究室他	1981～1983
(11) 難防除病害対策農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1983
(12) 殺菌剤の開発	微生物薬理研究室他	1984～1986
(13) 殺虫剤の開発	昆虫薬理研究室他	1984～1986
(14) 除草・生長調節剤の開発	植物薬理研究室他	1984～1986
(15) 殺菌剤の創製	微生物制御研究室他	1987
(16) 殺虫剤の創製	昆虫生態制御研究室他	1987
(17) 除草・生長調節剤の創製	植物生活環制御研究室他	1987
<b>9・生物科学特定研究</b>		
(1) 生体高分子及び顆粒の理化学的研究	化学工学研究室他	1972～1979
(2) 生態系における細胞と個体の理化学的研究	微生物学研究室他	1973～1979
(3) 生体生理活性物質の生物有機化学的研究	抗生物質研究室他	1974～1979
<b>10・特別研究</b>		
(1) 新反応場化学研究	有機合成化学研究室他	1985～1997
(2) 新生物制御科学研究	抗生物質研究室他	1988～1992
(3) 超電導材料研究	摩擦工学研究室他	1988～1994
(4) メゾフィス化学研究	無機化学物理研究室他	1991～1996
<b>11・レーザー科学研究</b>		
(1) レーザーの誘起化学反応の研究	マイクロ波物理研究室他	1976
(2) 光情報処理技術の基礎研究	半導体工学研究室他	1976
(3) 新しい高性能レーザーの研究	半導体工学研究室他	1976
(4) レーザー分光に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1977～1984
(5) レーザー光化学に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1977～1984
(6) 新レーザー技術に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1977～1990
(7) レーザー重元素同位体分離に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1985～1990
(8) 新しい計測法の研究開発	レーザー科学研究グループ他	1987～1990
(9) 臨界領域のレーザー化学に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1988～1990
(10) 高効率極端波長レーザーの開発に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
(11) 新レーザーの開発に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
(12) レーザー分子制御化学に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
(13) 表面ダイナミクスに関する研究	レーザー科学研究グループ他	1991～1996
<b>12・太陽光エネルギー科学研究／光合成科学研究</b>		
(1) 光合成科学に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(2) 光合成生産に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(3) 膜系光物性に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(4) 有機・金属光化学に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1979～1989
(5) 人工光合成に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1990～1999
(6) 光合成機構に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1990～1999
(7) 超分子系電子移動に関する研究	太陽光エネルギー科学研究グループ	1995～1998
<b>13・ライフサイエンス関係研究</b>		
(1) 老化制御指標研究		1977～1985
(2) バイオリアクター研究		1977～1985
(3) 人工臓器研究		1977～1985
(4) 知能機械研究		1977～1985
(5) 生物活性物質研究		1977～1985
(6) 新微生物利用技術研究		1980～1989
(7) 安全な宿主・ベクター系の開発に関する研究	微生物生態学研究室他	1982～1984
(8) 活性有機物質の構造と機能の動作解明に関する研究	抗生物質研究室他	1982
(9) 昆虫の習性行動及び生理過程における選択的阻害による害虫防除剤の開発研究	昆虫薬理研究室他	1982～1983
(10) 未知な昆虫毒・魚毒・貝毒等の医薬・農薬への開発研究	農薬化学第2研究他	1984～1985
(11) 腸内フローラに及ぼす食物繊維の役割	動物薬理研究室他	1985
(12) 神経系遺伝子発現産物研究		1987～1989
(13) 免疫系遺伝子発現産物研究		1987～1996
(14) 遺伝子構成研究		1987～1990
(15) 神経系機能解析研究		1990～1996
(16) バイオデザイン研究	バイオデザイン研究グループ	1990～1999
(17) ヒトゲノム解析研究		1991～1995
(18) 体細胞機能転換研究	分子腫瘍学研究室	1997～1999

研究課題	担当研究室	期間
(19) 生体防御ネットワーク研究 [遺伝子科学研究]	分子遺伝学研究室	1997~1999
(1) 新しい組換え体の安全性評価研究	安全評価研究室他	1984~1993
(2) ヒトがんの遺伝子に関する研究	分子腫瘍学研究室他	1984~1993
(3) ヒトレトロウイルス遺伝子発現機構解析研究	分子腫瘍学研究室他	1988~1997
(4) レトロウイルス遺伝子発現機構解析研究	分子細胞生物学研究室	1998~2001
(5) ヒトがん総合研究	分子遺伝学研究室	1994~1999
<b>14・基礎科学研究</b>		
(1) 高エネルギー・トランジェント現象の研究	宇宙放射線研究室他	1991~2003
(1) 原子スケール・サイエエンジニアリング	表面化学研究室他	1993~1997
(2) MRサイエンス研究	分子光化学研究室他	1994~1998
(2) 高エネルギーX線用超伝導ウィグラーの調査研究	プラズマ物理研究室	1996~1998
(4) マルチバイオプローブ研究	抗生物質研究室他	1997~2001
(3) コヒーレント科学研究	レーザー物理学研究室他	1997~2002
(6) 原子スケール・サイエエンジニアリング (第II期)	表面化学研究室他	1998~2001
(5) エッセンシャル反応研究	有機合成化学研究室他	1998~2002
(7) MRサイエンス研究 (第II期)	分子光化学研究室他	1999~2001
(8) 低速量子ビーム研究	原子物理研究室他	1999~2003
(9) 環境分子科学研究	高分子化学研究室他	1999~2003
(3) 全天X線監視装置の利用・高度化研究	宇宙放射線研究室他	1999~2004
(10) バイオアーキテクト研究	中野生体膜研究室他	2000~2004
(11) リアルタイム生体ナノマシン観測技術開発	構造生物化学研究室他	2001~2003
(14) 多次元量子検出器の開発・応用研究	イメージ情報研究ユニット	2002~2003
(15) ハイブリッドレーザー・プロセッシング	緑川レーザー物理学研究室他	2002~2004
(12) モレキュラーアンサンブル	加藤分子物性研究室他	2002~2005
(13) 次世代ナノサイエンステクノロジー	川合表面化学研究室他	2002~2006
(17) コヒーレント科学研究 (第II期)	緑川レーザー物理学研究室他	2003~2004
(16) ケミカルバイオロジー研究	長田抗生物質研究室他	2003~2007
(18) 物質の創成研究	本林重イオン核物理研究室他	2003~2007
(19) 生体内タンパク質分子動態観測技術開発研究	前田構造生物化学研究室他	2004~2004
(20) エキゾチック量子ビーム研究	山崎原子物理研究室他	2004~2008
(21) 環境分子科学研究 (第II期)	前田バイオ工学研究室他	2004~2008
(22) バイオアーキテクト研究 (第II期)	中野生体膜研究室他	2005~2009
(23) 自発的進化系研究	牧島宇宙放射線研究室他	2005~2009
(24) 電子複雑系科学研究	高木磁性研究室他	2005~2009
(25) 分子アンサンブル研究	加藤分子物性研究室他	2006~2011
(26) 動的水和構造と分子過程研究	鈴木化学反応研究室他	2007~2010
(27) 次世代ナノサイエンス・テクノロジー研究 (第II期)	川合表面化学研究室他	2007~2011
(28) スーパー・アナライザー開発テクノロジー研究	大森素形材工学研究室他	2007~2011
(29) 物質の創成研究 (第II期)	櫻井Fl物理研究室他	2008~2012
(30) 極限エネルギー粒子観測装置の開発研究	或崎計算宇宙物理研究室他	2008~2012
(31) リピドダイナミクス研究	小林脂質生物学研究室他	2009~2013
(32) クリーン化学研究	侯有機金属化学研究室他	2009~2013
(33) 細胞システム研究	平野染色体ダイナミクス研究室他	2010~2014
(34) 極限粒子ビームをもちいたエマージング科学領域の開拓研究	東原子分子物理研究室他	2011~2015
(35) 分子システム研究	田原分子分光研究室他	2012~2016
(36) 多階層問題に対する数理・計算科学	初田量子ハドロン物理学研究室他	2013~2017
(37) 奇妙な粒子の極限測定による基礎物理学の探索	原子物理特別研究ユニット他	2014~2018
(38) 脂質の統合的理解	佐甲細胞情報研究室他	2014~2018
(39) 共生の生物学	粘膜システム研究グループ他	2015~2019
(40) 細胞進化	平野染色体ダイナミクス研究室他	2015~2019
(41) 動的構造生物学	杉田理論分子科学研究室他	2016~2020
<b>15・基盤技術開発</b>		
(1) 極限環境関係技術の開発	極限環境技術室	1988~1992
(2) ラビッド・プロトタイプングシステムの開発	研究基盤技術部	1993~1997
(3) 脳磁界計測装置の開発	表面界面工学研究室	1995~1997
(4) ラビッドファブリケーション技術の開発	基盤技術開発室	1998~2002
(5) 極限環境メカトロニクスシステムの開発	技術開発促進室	1998~2002
<b>16・情報関連研究</b>		
(1) 数式処理システムの開発研究	情報科学研究室	1976~1983
[計算科学技術推進]		
(1) 分子動力学シミュレーション専用計算機の開発	計算科学研究室	1995~1998
(2) 金属材料成形・変形シミュレーション	素形材工学研究室	1995~1999

研究課題	担当研究室	期間
(3) 生体高分子の機能構造シミュレーション	電子計算機室	1995~1999
(4) 地球シミュレータ用並列ソフトウェア開発	素形材工学研究室	1997~2001
(5) 量子化学専用計算機の開発	情報基盤研究部	1999~2003
(6) 生体力学シミュレーション研究	情報基盤研究部	1999~2003
(7) タンパク質生体内ダイナミクスシミュレーション研究	情報基盤研究部	1999~2003
(8) 形状情報ハンドリング技術の開発研究	情報基盤研究部	2000~2001
(9) 類似度検索専用計算機の開発研究	情報基盤研究部	2000~2004
(10) 糖鎖・核酸の構造・機能シミュレーション研究	情報基盤研究部	2000~2004
(11) 生体の形状情報の数値化およびデータベース構築研究	生体力学シミュレーション特別研究ユニット	2003~2007
(12) 生体力学シミュレーション研究 (第Ⅱ期)	生体力学シミュレーション特別研究ユニット	2004~2008
[情報技術活用研究]		
(1) ITBL構築技術開発研究	情報環境室	2001~2003
(2) ITBL利用技術開発研究	情報基盤研究部	2001~2003
(3) 先端的ITによる技術情報統合化システムの構築に関する研究開発 (ものづくり情報技術統合化研究プログラム)	素形材工学研究室	2001~2003
<b>17・放射光研究</b>		
(1) 大型放射光施設開発研究	サイクロトロン研究室他	1987~1988
(2) 大型放射光施設開発研究及びマシン系開発研究	大型放射光施設研究開発グループ	1989
(3) 電子蓄積リング系研究開発	大型放射光施設計画推進室開発グループ	1990
(4) 光学・測定系研究開発	大型放射光施設計画推進本部	1991~1993
(5) 特定利用ビームライン開発研究	大型放射光施設計画推進本部	1991
(6) 理研ビームライン開発研究	放射光構造生物学研究推進グループ	1994
(7) 放射光利用開発研究	大型放射光施設計画推進本部	1995~1997
	北村X線超放射研究室他	1997~
	原子過程研究室他	1987~1988
	大型放射光施設研究開発グループ	1989
	大型放射光施設計画推進室開発グループ	1990~1991
	大型放射光施設計画推進本部	1992~1993
	大型放射光施設計画推進本部	1994
	放射光構造生物学研究推進グループ	1995~2000
	放射光構造生物学研究推進グループ	2001~
	放射光物理科学研究推進グループ	1998~2000
	放射光物理科学研究推進グループ	2001~
(8) 利用系研究開発		
(9) 構造生物学研究		
(10) 構造生物学研究 (第Ⅱ期 バイオクリスタロミクス)		
(11) 物理科学研究 (高度干渉性放射光利用技術開発研究)		
(12) 物理科学研究 (第Ⅱ期 高度干渉性放射光利用技術開発研究)		
<b>18・放射光利用連携研究</b>		
(1) 生命科学研究		
i) メンブレンダイナミクス研究	メンブレンダイナミクス研究グループ	1999~
ii) ストラクチュローム研究	ストラクチュローム研究グループ	1999~
(2) 物質科学研究		
i) 量子材料研究	量子材料研究グループ	2000~
<b>19・タンパク質の大量構造解析事業</b>		
	先端タンパク質結晶学研究グループ (ハイスループットファクトリー)	2001~
<b>フロンティア研究の推移</b>		
(1) 生体ホメオスタシス研究		
i) クロモソームの機能発現構造の研究	クロモソーム研究チーム	1986~1991
ii) バイオメディアの構造及び機能の研究	バイオメディア研究チーム	1986~1991
iii) 老化とフローラとの相関の研究	フローラ研究チーム	1986~1991
iv) 植物ホメオスタシスの遺伝的・物質的制御に関する研究	植物制御研究チーム	1986~1991
(2) フロンティア・マテリアル研究		
i) 量子化素子の研究	量子化素子研究チーム	1986~1991
ii) 分子素子の研究	分子素子研究チーム	1986~1991
iii) 生物素子の研究	生物素子研究チーム	1986~1991
(3) 思考機能研究		
i) 思考電流の研究	思考電流研究チーム	1988~1996
ii) 思考ネットワークの研究	思考ネットワーク研究チーム	1988~1994
iii) シナプス機構の研究	シナプス機構研究チーム	1994~1996
iv) アルゴリズムの研究	アルゴリズム研究チーム	1988~1996
v) 脳統合機能の研究	脳統合機能研究チーム	1996~1997
vi) 記憶学習機構の研究	記憶学習機構研究チーム	1996~1997
vii) 脳機能構造の研究	脳機能構造研究チーム	1996~1997
(4) 植物ホメオスタシス研究		
i) 分子機構の研究	分子機構研究チーム	1991~1999
ii) ホルモン機能の研究	ホルモン機能研究チーム	1991~1999
(5) 糖鎖機能研究		
i) 糖細胞情報の研究	糖細胞情報研究チーム	1991~1999



研究課題	担当研究室	期間
ii) 糖遺伝情報の研究	糖遺伝情報研究チーム	1991~1999
iii) 糖情報工学の研究	糖情報工学研究チーム	1991~1999
(6) ナノスコピック構造材料研究		
i) ナノ電子材料の研究	ナノ電子材料研究チーム	1991~1999
ii) ナノ有機フォトニクス材料の研究	ナノ有機フォトニクス材料研究チーム	1991~1999
iii) エキゾチック・ナノ材料の研究	エキゾチック・ナノ材料研究チーム	1991~1999
(7) 情報処理研究		
i) 脳回路モデルの研究	脳回路モデル研究チーム	1994~1997
ii) 情報表現の研究	情報表現研究チーム	1994~1997
iii) 知能実現機能の研究	知能実現機能研究チーム	1994~1997
(8) ニューロン機能研究		
i) 機能分子の研究	機能分子研究チーム	1995~1997
ii) シグナル伝達機能の研究	シグナル伝達機能研究チーム	1995~1997
iii) 細胞内情報伝達の研究	細胞内情報伝達チーム	1995~1997
iv) 細胞骨格の研究	細胞骨格研究チーム	1995~1997
(9) 生体超分子システム研究		
i) 糖鎖発現制御の研究	糖鎖発現制御研究チーム	1999~
ii) 糖鎖機能の研究	糖鎖機能研究チーム	1999~
iii) スフィンゴ脂質発現制御の研究	スフィンゴ脂質発現制御研究チーム	1999~
iv) スフィンゴ脂質機能の研究	スフィンゴ脂質機能研究チーム	1999~
(10) 時空間機能材料研究		
i) 局所時空間機能の研究	局所時空間機能研究チーム	1999~
ii) 散逸階層構造の研究	散逸階層構造研究チーム	1999~
iii) 励起子工学の研究	励起子工学研究チーム	1999~
iv) トポケミカルデザインの研究	トポケミカルデザイン研究チーム	1999~
(11) 単量子操作研究		
i) デジタル・マテリアルの研究	デジタル・マテリアル研究チーム	2001~
ii) 巨視的量子コヒーレンスの研究	巨視的量子コヒーレンス研究チーム	2001~
iii) 量子ナノ磁性の研究	量子ナノ磁性研究チーム	2001~
iv) 量子現象観測技術の研究	量子現象観測技術研究チーム	2001~
(12) ものづくり情報化技術統合化研究		
i) ポリュームCADの研究開発	ポリュームCAD開発チーム	2004~
ii) VCATの研究開発	VCAT開発チーム	2004~
iii) 製品機能シミュレーションの研究開発	製品機能シミュレーションチーム	2004~
iv) 加工成形シミュレーションの研究開発	加工成形シミュレーションチーム	2004~
v) VCADのものづくり応用研究	VCADものづくり応用チーム	2004~
vi) 事業化の推進	事業化推進チーム	2004~
(13) ナノサイエンス研究		
i) ナノサイエンスにかかるとプロジェクト研究	利用研究チーム (20サブチーム)	2004~
ii) 最先端ナノ技術の開発と支援	研究技術開発・支援チーム	2004~
(14) 融合的連携研究		
i) 次世代ナノバッテリーの研究	次世代ナノバッテリー研究チーム	2004~
ii) テラヘルツ生体センシングの研究	テラヘルツ生体センシング研究チーム	2004~
iii) エラストマー精密重合の研究	エラストマー精密重合研究チーム	2004~
iv) ナノ機能材料の研究	ナノ機能材料研究チーム	2004~
v) 高効率LEDデバイスの研究	高効率LEDデバイス研究チーム	2004~
vi) 複合機能発現材料の研究	複合機能発現材料研究チーム	2004~
vii) 高感度長波長光センシングの研究	高感度長波長光センシング研究チーム	2004~
(15) フォトダイナミクス研究 (I期)		
i) 光発生・計測の研究	光発生・計測研究チーム	1990~1998
ii) 光物性の研究	光物性研究チーム	1990~1998
iii) 光反応の研究	光反応研究チーム	1990~1998
iv) 光生物の研究	光生物研究チーム	1990~1998
(16) フォトダイナミクス研究 (II期)		
i) 光発生・計測の研究	光発生・計測研究チーム	1998~
ii) 光物性の研究	光物性研究チーム	1998~
iii) 光反応の研究	光反応研究チーム	1998~
iv) 光生物の研究	光生物研究チーム	1998~
v) 表面フォトダイナミクス研究	表面フォトダイナミクス研究チーム	1998~
(17) バイオ・ミメティックコントロール研究 (I期)		
i) 運動回路網の研究	運動回路網研究チーム	1993~2001
ii) 運動遺伝子研究	運動遺伝子研究チーム	1993~2001
iii) 生体ミメティックセンサーの研究	生体ミメティックセンサー研究チーム	1993~2001
iv) 制御系理論の研究	制御系理論研究チーム	1993~2001
(18) バイオ・ミメティックコントロール研究 (II期)		
i) 生物制御システムの研究	生物制御システム研究チーム	2001~

研究課題	担当研究室	期間
ii) 運動系システム制御理論の研究	運動系システム制御理論研究チーム	2001～
iii) 生物型感覚統合センサーの研究	生物型感覚統合センサー研究チーム	2001～
iv) 環境適応ロボットシステムの研究	環境適応ロボットシステム研究チーム	2001～
(19) 地震国際フロンティア研究		
i) 地殻電磁現象の観測	地殻電磁現象観測チーム	1996～2002
ii) 地殻電磁現象の解析	地殻電磁現象解析チーム	1999～2002
(20) 地震防災フロンティア研究		
i) 災害過程シミュレーションの研究	災害過程シミュレーションチーム	1999～2002
ii) 災害情報システムの研究	災害情報システムチーム	1998～2001
iii) 破壊・脆弱性の評価	破壊・脆弱性評価チーム	1998～2001

※上記の「基礎科学研究等課題の推移」は、特別研究を継承したものです。特別研究は、基礎科学研究に発展し、この他に各センターでもその他の基礎科学研究が展開していますが、上記表では割愛しました。独立行政法人化、国立研究開発法人化により研究推進体制が大きく変わり、研究組織を立ち上げる場合が多く、課題として取り上げるものは減少しました。

## 理研アドバイザーカウンスル

理研は、その研究活動や経営に関して、理事長に対して評価・助言を受けるため、世界的な大学・研究機関や企業などで活躍してきた外部有識者により構成される「理研アドバイザー・カウンスル（RAC）」を設置している。理研は、わが国の大学・研究機関などに先駆けて、特殊法人時代の1993（平成5）年にRACを初めて実施し、現在まで10回実施しており、以下に第10回までのRACからの提言を示す。

第1回 1993年6月21日-24日

議長 Heinz A. Staab, Former President of Max-Planck-Institute, Max-Planck-Institute for Medical Research, Germany

所見

1. 理研は優れた研究成果を上げている。その成果は広く国際会議、レフェリーのついで雑誌等で学会に周知されている。
2. 理研は、既にその研究計画の質を評価する制度を備えている。理研の経営陣がこの制度をさらに拡大して2年に一度の国際的な委員会、つまりこのRACによって研究計画と運営方針とを点検しようとしていることは賞賛されて良い。
3. 理研の施設は、内部及び外部からの研究者に対して、優れたそしてユニークな、分野間にまたがる研究の機会を提供している。
4. 理研は、国内および国外からの研究者がその研究計画に参加することを奨励し助成している。理研で働く外国人研究者の数は、近年急速に増え、現在その数は極めて多い。
5. 理研は、研究室に滞在する大学院生の仕事によって得るところが多く、関心を共有する大学との接触を歓迎すべきこととして奨励している。
6. 理研のフロンティア研究システムは、特に重要で質の高い斬新な研究を促進している。

提言

1. 定年制研究者の採用方法の改善
2. 定年制研究者の採用年齢の引き上げ
3. 所内および外部との研究交流の促進
4. 大学院生の参加の拡大
5. 大規模研究施設の利用体制の整備による研究者の負担の軽減

第2回 1995年6月26日-6月29日

議長 George W. Clark, Professor of Physics, Massachusetts Institute of Technology, USA

## 所見

1. 理研は、絶えず優れた研究成果を上げており、その成果は、国際会議や査読のある学会誌で周知されている。
2. 理研は、2年前の第1回RAC会議で出された提言に応じて、さまざまな分野で有効な対策を講じた。
3. 理研は、数々の分野で威力のあるかつユニークな施設を開発し、国内および海外の研究者にこれらの施設を広く開放し利用の便宜をはかってきた。この理研の開放性と寛容は高く評価されてよい。特に注目すべき点は、SPring-8およびRIビームファクトリーにおいても、広範囲の研究者が利用できるように計画が進められている点である。
4. 理研がさらに押し進めようとしているポストクのプログラムは、日本および海外の科学の発展に非常に役立つ。つまり、ポストク研究者は理研に新しい考えと情熱をもたらし、すぐれた人材のプールになり、理研や他の研究機関はその中から期限付きあるいは終身職の候補者を選ぶことができるようになる。
5. 理研は、研究室相互および異なる分野にまたがる研究協力や共同研究を効果的に行う制度を作り上げてきた。こうした制度は研究室制度の硬直化を和らげている。

## 提言

1. 定年制研究者は国際的にも認められた研究者に限ること  
若手研究者は期限付き契約研究員として採用、ポストク経験を積ませる
2. より有望な研究課題が生じた場合、方向転換を容易にするように改善
3. 定年制研究者を少数に抑え、研究室のプログラムを遂行する人材は期限付きポストクを充てる  
定年制研究者は独立した研究室かサブグループの主宰者に活用
4. 優秀な研究者の定年後の活用方策の確立（管理的業務は負わせない）

## 第3回 1998年5月31日-6月5日

議長 Sir Gordon Higginson, Former Vice Chancellor, University of Southampton, UK

## 提言

1. 理研の独自性の維持を政府に働きかける
2. 知的所有権の企業化開拓は少数の専門家グループで行うこと
3. 今後5年から10年に亘る研究戦略を策定すること
4. 多様化を犠牲にしてもある程度テーマを集中化
5. 研究室レビューの間隔4年程度に短縮  
分野全体（あるいは関連グループ全体）を見渡すレビューの実施の検討

## 第4回 2000年6月4日-7日

議長 Henry G. Friesen, Chair, Board of Genome Canada, Canada

## 提言

1. 理研の未来像、戦略、独自性等を明らかにする戦略計画の策定と研究戦略策定のためのプライオリティー委員会の設置
  - IL：領域選定における戦略性の追求。透明度の高い業績評価制度の確立
  - BSI：センターの発展計画の実行。多少の終身職ポジションの配分も考慮
  - GSC：研究課題の優先順位を決める。将来計画の作成とプロジェクト全体の見直し
  - FRS：戦略的展望の再検討。領域選考メカニズムの明確化
2. 国内外の優秀な研究者確保のための具体的計画の作成
3. センター群とILという両システムの調和と相乗効果の確保
4. 国内外の研究・開発機関との共同研究等の推進、技術移転部門の整備
5. (個々のACの報告に対する横断的提言) 理研の科学は世界上位10%に入るべき。常に科学の質が優先されるべき

第5回 2004年6月7日-9日

議長 Henry G. Friesen, Chair, Board of Genome Canada, Canada

## 提言

1. 理研の将来についてしっかりした科学的展望を構築せよ
  - (a)オープンかつ説明責任が果たせるプロセスを通じて理研の科学的統治の構造を再検討せよ
  - (b)理研における基礎研究活動を支援する長期計画を作成せよ
2. 理研理事長の役割の強化
  - (a)理事長に答申する外部の助言委員会を作れ
  - (b)研究所長、センター長の地位を強化せよ
3. 戦略的連携関係を築く努力をせよ
  - (a)内部戦略的プログラムの範囲を広げよ
4. ポスドクと理研で働く大学院生の資質向上のための施策を作れ
  - (a)理研で働く大学院生を支援するプレドクフェローシッププログラムを作れ
  - (b)理研での契約終了前に求職中のすべてのスタッフを支援せよ
5. 理研の技術移転の枠組みを再点検せよ
  - (a)トランスレーショナルリサーチを支援する枠組みを構築せよ
6. 理研で働く外国人科学者を増やせ
  - (a)理研の研究管理職クラスで女性の日本人科学者を増やせ
7. 経営および管理・運営の業務で、最良の方策を実行せよ
  - (a)整合性のある長期的人事戦略をせよ
  - (b)大規模施設や資源収集の運営における最良の方策を創出せよ

第6回 2006年6月7日-9日

議長 Dr. Zach W. Hall, President, California Institute for Regenerative Medicine, USA

## 概要

1. 第5回RAC提言に対する顕著な進捗を確認
2. 理研の研究水準は世界最高峰の研究機関に匹敵
3. 透明で裾野の広い統治の仕組を構築、研究所運営でも大きく前進
4. 国際的な指導力発揮の時期に突入、「ブランド」、国際的認知度構築が必要提言

## 1a. 科学と技術の強化：

「発見と革新」というセンターおよび研究所の中核使命を守り育てること。研究所の方針やイニシアチブにより引き続き内部協力を支援・奨励すべき。バイオインフォマティクスの強化。

## 1b. 科学的統治の強化の継続：

研究課題のプライオリティを決める機能の充実。理研内の最高意思決定レベルで科学的価値観を強くかつ明解に表明すること。

## 2. 理研の科学系人材及び科学文化を充実させること：

女性科学者、特に日本人女性科学者を増やす。国際的に人材を採用する努力を継続。理研全体で科学的事項や事務的事項の両方について英語の使用を増やす。国際大学院の開設の可能性を含め、理研で受け入れる大学院生を増やす最適な手段を検討。

## 3. 社会に対する理研の貢献度を増すようにすること：

医療機関との提携を拡大、成果の医療への活用を促進。技術移転を進め、社会への貢献を促進。一般市民に科学と理研について知ってもらう教育活動を拡充。科学分野においてアジア諸国と連携関係を築くべき。

## 4. 理研の認知度と国際的地位の向上：

外部のコンサルタントや専門家を起用してコミュニケーションを支援・拡大。世界に向けて理研の認知度を高める努力を強化。

## 5. 理科系文化と人文系文化の交流の推進：

人間的な価値観を満足させる「人間」事業としての科学について、広く日本の文化層を啓蒙する構想を継続するべき。

第7回 2004年4月22日-24日

議長 Dr. Zach W. Hall, Emeritus Vice Chancellor, University California, San Francisco, USA (Founding President, California Institute for Regenerative Medicine)

## 概要

1. 第6回RAC提言に対する理研の対応は非常に良好
2. 理研は、科学の最先端にある学際研究を行う理想的な場
3. 創造力のある個人、特に若手、中堅、日本人女性研究者の発掘と育成に期待
4. 理研内外とのさらなる連携を進め、科学の進歩に貢献することに期待提言

## 1. 個人の科学的創造力の強化

資金援助、指導助言、所内交流により若手、中堅の研究者を育成・支援するとともに、自由発想に基づくボトムアップ研究への支援を維持・強化。理研の女性研究者と女性の研究室リーダーの数を増やす。目標として、今後4年間、新規採用PIの25%を女性とする。臨床研究者の研究機会を拡充するために、臨床フェロウシッププログラムを創設する。

#### 2. 優れた研究成果の達成を促すためのイニシアチブ

RIビームファクトリーの運転サポートを増強。環境科学分野等の新たな研究分野への進出。研究プライオリティの意思決定のため、独自性のある科学情報入手機能をより一層強める。大規模施設における公平かつ透明性のある運転経費を利用者に課金できるシステムを含むビジネスプランを設立。事務ACを設置をはじめ事務環境の改善に向けた取り組み。ヒトを研究対象にする研究に関する理研の基準の確立

#### 3. 理研内での連携

理研内の複数センターで兼務できる研究者を任命し、学際領域における人的交流と研究協力を促進することを検討。研究所をまたがる一つ以上の学際研究プログラムを設立

#### 4. 理研と社会

研究者としての経歴のさまざまなレベルで大学との人事交流を促進。知的財産戦略の強化を継続し、研究利益の社会への還元を促進。意見調査や一般市民とのコミュニケーション活動を通して、理研に対する良いイメージを発信。

#### 5. 理研と国際的科学界

ヒトの遺伝子データの公開に関する理研の方針を検証して、国際標準のコンプライアンスを充たすものであることを確認する。国際的に卓越した人材を事務・研究両方において集めるためバイリンガル化のさらなる推進が必要。研究活動の国際的な中核であり続け、アジアおよび全世界において理研への認識を高める。

### 第8回 2011年10月26日-28日

議長 Dr. Rita R. Colwell, Distinguished University Professor, Center for Bioinformatics & Computational Biology, University of Maryland, USA (Former Director of National Science Foundation, America)

#### 概要

1. 社会知創成事業の創設をはじめとして前回RACの提言に対して、理研が対応を行ったことを高く評価
2. 基礎科学研究を革新的かつトランスレーショナルな研究開発で補うことに重点を置き、課題解決型で分野横断型の連携を重視している野依理事長の次期中期計画（2013年-2018年）のビジョンを強く支持する
3. 理研は、重要でありながらも日本では十分に活用されていない人材、すなわち女性と外国籍の研究者の雇用と機会を増やす取り組みをさらに強化すべき
4. 基礎科学技術（ST）から科学、技術、イノベーション（STI）（それによっ

て再建、改革（R）に貢献）へと焦点を広げようとしているが、この新しい歩みには、先見の明と優れた洞察力に基づく選択と優先事項の設定（選択と集中）も必要

#### 提言

1. 第3期に向けた再編（伝統と変化とのバランス）  
基礎科学研究と革新的な開発研究を相補的に推進し、課題解決型および分野横断型の連携を重視する次期中期計画を強く支持
2. 社会知創成事業  
層別化医療もしくは先制医療を新たな分野として重視することが必要である
3. 研究基盤  
ユーザーインターフェースおよび技術支援を利用希望者全員が利用できることが重要
4. 科学、技術、イノベーションの新しい方向性  
重複と非効率を排除し、協力の可能性を開くため、多くの生物学系研究センター間の垣根を取り払い、設備と重点項目の統合・調整を検討すべき
5. 女性科学者の機会増大  
女性研究指導者や女性研究者、外国人研究者の増員と環境整備が必要
6. 大学院生のためのプログラム  
大学院生の受け入れを支援するプログラムを策定・推進することが必要
7. 科学的助言組織  
経営陣に対する科学的助言組織をより効率的にするための統合を検討すべき
8. 理研のアイデンティティと知名度の向上

第9回 2014年11月10日-13日

議長 Dr. Rita R. Colwell, Distinguished University Professor, Center for Bioinformatics & Computational Biology, University of Maryland, USA (Former Director of National Science Foundation, America)

#### 概要

1. 前回RACの提言に対して、理研が積極的かつ包括的な対応を行ったことを高く評価
2. 特定国立研究開発法人制度は、政府にとって、最先端の基礎科学研究所に投資し、重点分野を強力に推進する絶好の機会。理研が指定されることを支持
3. 個々の研究を、革新的・挑戦的な分野横断型プロジェクトへと戦略的に育成していることは、科学的な発見のみならず経済成長や社会的利益への貢献につながるもの。日本全体の研究の模範例の一つであり、政府からより強力な支援を受けるに値する
4. 国際的な研究機関である理研は、女性研究者を増加する対策を率先して講じる必要

#### 提言

1. 安定した資金の確保



- 複数年にわたり安定した研究費を確保できるよう、政府や主要機関と協調して対応すべき
2. 主任研究員制度への支援  
理研の研究組織改革を進める上で要であり、手厚い支援がなされるべき
  3. 発見とイノベーションのバランス  
理研は基礎科学研究所であるとともに、日本の発展に貢献するよう努力する必要
  4. 分野融合の奨励  
異分野横断型センターの成功を土台に、交流や連携の機会を強化すべき
  5. 効果的コミュニケーション  
成果にふさわしい評価を得るため、自らの立場をより積極的に明確化すべき
  6. 大学や研究機関等との密接な協力  
クロスアポイントメントをより推奨すべき
  7. イノベーション推進を目指した産業界との連携  
国際的企業との関係を構築することを推奨
  8. 臨床へのトランスレーションと医薬品開発  
加齢黄斑変性のiPS細胞による治療が既に治験段階にあることに感銘を受けた
  9. 国際環境  
外国人研究者への支援の強化をさらに進めるべき
  10. ジェンダーバランスの推進  
女性研究者、とくに幹部クラスの採用をなお一層重点化すべき
  11. 事務業務の卓越性  
ワールドクラスの研究所にならって、一層の事務効率性の向上の努力が必要
  12. 科学の公正性の文化を補強する  
あらゆるレベルで盛んに議論し、公正性の文化を浸透させることが重要
  13. CDBのSTAP問題と再生に関するコメント  
センター予算の削減といった制裁措置は国際常識から外れており、問題の抑制にはつながらない

第10回 2016（平成28）年12月13日-16日

議長 Sir Colin Blakemore, Professor of Neuroscience and Philosophy,  
Institute of Philosophy, School of Advanced Study, University of  
London, UK (Former Medical Research Council Chief Executive)

概要

RACは松本理事長が所内外連携による更なる異分野融合をはじめとした次の100年に向けたビジョンを示したことを歓迎し、それについて支持する。

1. 第9回RAC提言への対応  
第10回RACは、第9回RACの提言に対する理研の対応を評価。効率的な業務運営、ダイバーシティをさらに推し進めることを推奨。
2. 第4期中長期計画

ライフサイエンスの横断的な研究体制を構築する計画を評価。トランスレーショナルリサーチを推進するために経営の強化を提案。数物・物質科学研究においても世界を先導し新たな分野を生み出している。また、今後も基盤施設への資源投入等を維持するべき。

### 3. 科学力展開プランの達成に向けた取組

科学力展開プランに示された取り組みは道半ばであるものの、すでに大きな進展が認められる。

### 4. 理研が新たに着手すべき分野

理研の基礎研究を医療及び工学等の応用分野へ展開するため、他機関・大学との連携を推進するべき。

## 提言

### 1. 組織改編

総合的にライフサイエンスの研究開発を実施するための再編を支持。センターの名称の重要性を指摘。開拓研究本部の構想については注意深く制度設計することが必要。

### 2. 理研のビジョンを実現するための戦略

理研の全体的な将来に向けた戦略はSWOT分析等を踏まえて慎重に設計されるべき。この検討には若手研究者を参画させるべき。

### 3. 人材に関する方針

無期雇用の目標設定は優れた研究者を活用するために有効な方策であるが、短期間に進めるべきではない。また、労働契約法の改正は研究所の人事制度に困難な選択をもたらしているが、これが研究者のみに不利益を与えることになる事態は避けなければならない。

### 4. 女性の活用

リーダーとして女性を登用する努力をこれまで以上に進めるべき。

### 5. 世界レベルでの人材の確保

英語の公用語化の推進は一定の進展がみられる（例：RACにおいて同時通訳を廃止）。国際的な人材確保のため、更なる環境整備を進めるべき。

### 6. 広報活動

研究活動に対する国民理解を進めるため、コミュニケーションの専門家が現場の研究者と話し合う機会を増やす、研究者に重要性を理解させ、活動に参加させる等の努力を進めるべき。

### 7. 次回のRACに向けた要望

理研の研究活動全体を把握するため、各センター、技術基盤、開拓研究本部等を含めて幅広くプレゼンテーションを行うとともに、若手や女性研究者によるプレゼンテーション等を設けることをお願いしたい。

## 独立行政法人評価

理研は独立行政法人として、毎年度および中長期計画期間に合わせた評価を国から受けることとなっている。以下に第1期から第3期の平成27年度までの評定を記載するとともに、各中期計画期間（第3期については年度ごと）における評価結果の概要を記載する。

なお、2013（平成25）年度までは文部科学省に設置された独立行政法人評価委員会により評価されていたが、独立行政法人通則法の改正にともない大臣による評価となった。これにあわせて評定基準も改正されており、2013年度まではS-A-B-C-F（Aが標準）の5段階であったものが2014年度以降S-A-B-C-D（Bが標準）となっている。

### 第1期、第2期における独立行政法人評価の概要

#### 第1期（2003年度-2007年度）

評定：

業務の質の向上：A

業務運営の効率化：A

財務内容の改善：A

- 理事長の明確な運営戦略「野依イニシアチブ」のもと、理事長を中心とする強いリーダーシップによって、研究内容、研究マネジメント、国際評価、それぞれの領域で確実な成果をあげ、国内では比類なきレベルにあるとともに、外国との相対的地位確保は、この5年間で著しい足跡を残してきている。理研内部において、研究領域の開拓、戦略的研究の推進、研究基盤整備・活用等、多様な研究の進め方が共存し、レベルの高い研究、社会を先導する研究所運営がなされるとともに、外部の諸機関との適切な連携・協力等が実践されている。
- 研究成果については、ほぼ全項目にわたって目標を達成するとともに、さらにそれを越える期待以上の世界的にも優れた研究成果が多数得られている。
- 自律的な研究所運営を支える仕組みの確立、研究資源の効果的な活用を図るためのシステム改革、働きやすい環境づくりの整備などにより、理研で働く研究者のモチベーションが高く維持されるとともに、優秀な研究者が理研に結集するとともに、有能な人材を輩出していると評価できる。
- 「世の中に役立つ理研」、「文化に貢献する理研」といった、理研の存在意義に関わるより高次の目標を実現するためにも、高度な研究成果を社会に還元し、国民生活や文化、教育の向上に貢献するための取組を、研究活動と同様の重要性をもって、より一層積極的に推進することが望まれる。また、理研の活動に対する国民の理解を得るための取組をさらに強化すべきである。

## 第2期（2008年度-2012年度）

評価：

業務の質の向上：A

業務運営の効率化：A

財務内容の改善：A

- 全体として、第2期中期目標期間を通じ、わが国の研究開発機能の重要な担い手の一つとして、国家的・社会的ニーズを踏まえた戦略的・重点的な研究開発、最高水準の研究基盤の整備と共用などの使命を十分に果たしてきたものと認められる。
- 新領域開拓のための先端的融合研究の推進については、動的カシミール効果の実証、反水素原子の1000秒以上の閉じ込め成功などの顕著な研究成果をあげ、着実に領域を育成、発展させ、2011（平成23）年度の生命システム研究センター、第3期中期目標期間に設立された創発物性科学研究センター、環境資源科学研究センターなど戦略的な研究開発を行うセンターの創設につなげるなどの成果を挙げてきた。これを踏まえ、第3期中期目標期間に向けて、基幹研究所が担っていた先端的融合研究の推進を通じ新領域を開拓する機能を全センターに展開すべく、体制刷新を行ったことを評価する。
- 戦略的・重点的な研究開発については、世界初となるiPS細胞による再生医療（加齢黄斑変性治療）の実現に向けた基礎研究、前臨床研究を重ねて安全性を確認し、実際に臨床研究の実施計画を厚生労働省に申請するなど、基礎研究から実用に結びつく研究までを戦略的に推進し、世界的にも注目される顕著な成果を多数挙げてきたことを評価する。
- 最先端の研究基盤の構築・運用については、X線自由電子レーザー施設SACLA、次世代スーパーコンピュータ「京」という高度な施設を予定通り完成、供用するのみでなく、これらが高い技術を反映し世界一の性能を発揮したことや、他の既存研究基盤も含め極めて安定した運用を行い、科学技術の発展に貢献していることを評価する。

## 第3期（2013年以降）における独立行政法人評価の概要

## 2014年度

総合評価：B

国立研究開発法人の目的・業務、中長期目標等に照らし、法人の活動による成果、取り組み等について諸事情を踏まえて総合的に勘案した結果、研究成果の創出面、マネジメント面において「研究開発成果の最大化」に向けて適正、効果的かつ効率的な業務運営が進められている。

(ポイント)

- 2014年度の理化学研究所（以下「理研」という）の活動において、各研究分野で世界を牽引する、あるいは当該分野の研究や産業等への幅広い応用が期待される特筆すべき研究開発成果を創出しており、研究開発成果の最大化に向けて実績を上げていると高く評価。

- 業務運営の効率化等マネジメントに係る項目（産学官連携の基盤構築およびその推進、研究環境の整備、情報発信、適切な事業運営に向けた取組の推進等）については、全体として計画通り、着実に取組が進められていると評価。
- STAP現象に関する論文に係る研究不正問題以後の対応については、2013年度業務実績評価において途上であったことから、2014年度業務実績評価において確認することとして6項目の指摘事項を挙げた。これらについて取組状況を確認したところ、各項目に係るマネジメント改革に着実に取り組まれ関連規定の整備や体制構築が終わり、その運用が始められていることを確認した。今後、整備した体制・規程等を着実に運用し取組の実効性を高めていくことが求められる。

## 2015年度

総合評定：A

国立研究開発法人の目的・業務、中長期目標等に照らし、法人の活動による成果、取組等について諸事情を踏まえて総合的に勘案した結果、適正、効果的かつ効率的な業務運営の下で「研究開発成果の最大化」に向けて顕著な成果の創出や将来的な成果の創出の期待等が認められる。

(ポイント)

- 戦略的・重点的な研究開発の推進については、各研究領域において順調に年度計画を遂行するのみならず、科学的に顕著な成果が創出されている他、若手研究者の受入れおよび育成に積極的に力を入れているなど適切な運営も行われていると評価。
- 研究基盤の強化についても、線形加速器を用いて生成・同定した113番元素の命名権獲得という科学史に残る成果を創出するだけでなく、スーパーコンピュータ「京」や大型放射光施設SPring-8といった施設の安定的な運用を通し、他の研究機関、大学、企業の研究成果の土台となり、産業や先端研究に貢献を行っているとの評価。
- 業務運営面については、経営と研究運営の改革を推進するため研究資源の効率化を図るなど、順調に計画を遂行していると評価された。特に、ほぼすべてB評定となっていたマネジメントに関する項目においても取り組みが高く評価され、「実用化につなげる効果的な知的財産戦略の推進」「論文、シンポジウム等による成果発表」「研究資源配分の効率化」においてA評定となった。

# 科学講演会開催実績一覧



科学講演会開催実績一覧

日 時	講演者	講演題目	来聴者数
第1回 (1978.11.18) 13:00~17:00 経団連ホール	霜田 光一 (レーザー科学・主任研究員) 田村 三郎 (招聘研究員) 宮崎友喜雄 (副理事長)	レーザーの原理と応用 理研の歩みとライフサイエンス 宇宙線をつかまえる	539名
第2回 (1979.10.25) 13:00~17:00 大阪科学技術センター	宇野木早苗 (海洋物理・主任研究員) 松山 晃 (放射線生物学・主任研究員) 赤堀 四郎 (相談役) 三隅二不二 (大阪大学・教授)	内海・内湾における潮の流れ 放射線の生物作用とその応用 ライフサイエンスの目標 リーダーシップ行動の科学	185名
第3回 (1980.10.30) 13:00~17:00 経団連ホール	後藤 英一 (情報科学・主任研究員) 長倉 三郎 (理論有機化学・主任研究員) 柴田 和雄 (招聘研究員)	計算機による数式処理とその応用 分子設計 —分子の構造と機能はどこまで解明されたか— 光合成と生命	250名
第4回 (1981.10.15) 12:30~17:30 愛知県産業貿易館西館	福井 伸二 (相談役) 曾田 範宗 (研究顧問) 安藤 忠彦 (微生物学・主任研究員) 田丸 謙二 (固体化学・主任研究員)	名古屋地区とのかかわりあい トライボロジ (tribology) とはなにか 遺伝子組換えにおける酵素の活用 触媒作用はどのようにして起こるか	198名
第5回 (1982.10.15) 13:00~17:00 経団連ホール	吉田 清太 (変形工学・主任研究員) 島 誠 (地球科学・主任研究員) 堀越 弘毅 (微生物生態学・主任研究員)	日本の自動車車体の鋼板とプレスとそれらの評価法 明日の資源を探し求めて宇宙と深海底へ 好アルカリ性微生物の世界	297名
第6回 (1983.10.18) 13:00~17:20 勾当台会館 (仙台)	見里 朝正 (微生物薬理・主任研究員) 光岡 知足 (動物薬理・主任研究員)	これからの作物保護 —農業と食品の安全性— 成人病予防と食生活 —腸内細菌とのかかわりあいを考える—	370名
第7回 (1984.10.24) 13:00~17:20 日刊工業ホール	上坪 宏道 (サイクロトロン・主任研究員) 深見 順一 (昆虫薬理・主任研究員) 難波 進 (レーザー科学・主任研究員)	理研の加速器科学の変遷と研究の現状 性フェロモンを利用した農作害虫の防除 ビーム工学と超LSI	294名
第8回 (1985.10.25) 13:00~18:00 九州厚生年金会館	豊田 浩一 (半導体工学・主任研究員) 雀部 博之 (生体高分子物理・主任研究員) 岩木 正哉 (ビーム解析室・研究員) 村田 朋美 (新日鉄第1技研特別基礎第3研所長)	レーザー科学とその応用の新しい動向 ハイブリッド材料の開発研究 イオン注入による新しい表面層の創成 機能性材料としての錆	317名
第9回 (1986.10.29) 13:00~17:00 経団連ホール	駒形 和男 (ライフサイエンス培養生物部・部長) 遠藤 勲 (化学工学・主任研究員) 井川 洋二 (分子腫瘍学・主任研究員)	微生物の多様性 バイオリクターの最近の動向 遺伝子研究の医学への応用	443名
第10回 (1987.10.27) 13:00~17:00 名古屋国際サロン	中川 威雄 (変形工学・主任研究員) 粕谷 敬宏 (マイクロ波物理・主任研究員) 坂倉 照好 (真核生物・主任研究員)	ファインセラミックスの成形と加工 レーザーの新しい応用を求めて 癌細胞は周囲と何を話し合っているか	250名
第11回 (1988.10.20) 12:50~16:30 虎ノ門パストラル	後藤 英一 (情報科学・主任研究員) 堀越 弘毅 (微生物生態学・主任研究員) 小田 稔 (理事長)	磁束量子パラメトロンと超高感度磁束計 極限微生物 星空を飾る超新星の爆発 —藤原定家とマゼランとケプラー—	450名
第12回 (1989.10.24) 12:40~17:10 富山県民会館	井上 頼直 (太陽光エネルギー科学・主任研究員) 青柳 克信 (レーザー科学・主任研究員) 佐田登志夫 (理事)	植物の光エネルギー変換素子 —光合成系— 最近のエレクトロニクス材料の発展 もの造りの技術の発展と21世紀の機械工場	291名
第13回 (1990.10.16) 12:40~16:50 経団連ホール	永嶺 謙忠 (金属物理・主任研究員) 磯野 清 (抗生物質・主任研究員) 青野 正和 (表面界面工学・主任研究員)	21世紀を担う粒子、ミュオン 抗生物質と生命科学 表面科学が拓く世界	391名
第14回 (1991.10.29) 12:40~17:10 ホテル福岡ガーデンパレス	谷畑 勇夫 (リニアック・主任研究員) 伊藤 正男 (国際フロンティア研究システム・グループディレクター) 国武 豊喜 (九州大学工学部・教授)	元素創成と不安定核 —短寿命核がなければ、あなたはいなかった— 脳の不思議 超薄膜がめざす技術革新	333名
第15回 (1992.10.2) 12:40~17:30 経団連ホール	小田 稔 (理事長) 八木 江里 (東洋大学工学部・教授) 菅野 卓雄 (国際フロンティア研究システムフロンティア・マテリアル研究グループ・グループディレクター) 高橋 信孝 (理事)	21世紀を拓く研究所を目指して 日本の科学史における理化学研究所の役割 —第二次大戦前— 波としての電子と極微細構造 —ナノ・エレクトロニクス— 植物生活環の制御と植物ホルモン —ジベレリンを中心として—	336名
第16回 (1993.10.22) 13:00~17:00 仙台市・仙台ホテル	田崎 京二 (国際フロンティア研究システムフォトダイナミクス研究センター・センター長) 吉良 爽 (反応物理化学・主任研究員) 桜井 成 (植物生活環制御・主任研究員)	眼と光 電子移動という単純な反応 —亀の甲ばかりが化学ではない— 花成ホルモンを追う —花芽の形成を誘導するホルモンを求めて—	197名

日時	講演者	講演題目	来聴者数
第17回 (1994.10.26) 14:00~17:05 ヤクルトホール	伊藤 正男 (国際フロンティア研究システム・システム長) 御子柴克彦 (分子神経生物学・主任研究員) 甘利 俊一 (国際フロンティア研究システム 情報処理研究グループ・グループディレクター)	脳と心 脳がつくられるしくみ 脳とコンピュータ —人工頭脳の実現に向けて—	427名
第18回 (1996.11.25) 13:00~16:25 和光市民文化センター 「サンアゼリア」	上坪 宏道 (理事) 平尾 泰男 (科学技術庁・放射線医学総合研究所・所長) 矢野 安重 (サイクロトロン研・主任研究員) 谷畑 勇夫 (リニアック・主任研究員)	重イオン科学への扉を開く がん治療における重粒子線への期待 理研サイクロトロン10年間の歩みと今後の展開 理研加速器研究施設における研究10年	355名
第19回 (1997.10.30) 13:00~17:00 ホテルサンガーデン姫路	上坪 宏道 (理事) 飯塚哲太郎 (生物物理化学・主任研究員兼理論構造生物学・主任研究員) 川合 真紀 (表面化学・主任研究員)	21世紀の光「SPRING-8」 加速器の進歩から生まれた新しい生物学 —構造生物学研究— 原子・分子をあやつる	331名
第20回 (1998.10.9) 13:00~16:45 横浜ロイヤルパーク ホテルニッコー	和田 昭允 (ゲノム科学総合研究センター・所長) 林崎 良英 (ゲノム科学総合研究センター遺伝子構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 榎 佳之 (ゲノム科学総合研究センターゲノム領域構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 横山 茂之 (ゲノム科学総合研究センタータンパク質構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター)	ゲノム科学総合研究と新しいセンターの役割 ゲノム科学と遺伝子エンサイクロペディアが切り拓く新しい世界 生命の設計図“ゲノム”を読む  タンパク質の形と働きに基づくゲノムの理解	558名
第21回 (1999.10.26) 13:30~16:50 経団連ホール	丸山 瑛一 (フロンティア研究システム・システム長) 国武 豊喜 (フロンティア:時空間機能材料研究グループ・グループディレクター) 鈴木 明身 (フロンティア:生体超分子システム研究グループ・グループディレクター) 江崎玲於奈 (ノーベル物理学賞受賞者・前筑波大学長)	フロンティア研究の新展開 材料研究の新しい動き —「時空間機能材料」研究とは何か— 情報認識・伝達の新しいしくみ —生体超分子システム研究の目指すもの— <b>〈特別講演〉</b> 変革の時代 —科学者の歩んだ50年の道—	635名
第22回 (2000.11.6) 14:00~17:10 パシフィコ横浜会議センター	吉 良 爽 (横浜研究所長・副理事長) 和田 昭允 (ゲノム科学総合研究センター・センター所長) 林崎 良英 (ゲノム科学総合研究センター遺伝子構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 横山 茂之 (ゲノム科学総合研究センタータンパク質構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 榎 佳之 (ゲノム科学総合研究センターゲノム構造情報研究グループ・プロジェクトディレクター) 杉山 達夫 (植物科学研究センター・センター長) 豊島久真男 (遺伝子多型研究センター・センター長)	横浜研究所について ゲノム科学総合研究センターの特徴と戦略 RIKEN Mouse Genome Encyclopedia Project  タンパク質の構造と機能  ヒトゲノム全解読国際プロジェクト —理研GSCの役割と貢献— 植物科学研究センターの発足にあたって 遺伝子多型研究について	689名
第23回 (2001.11.12) 13:30~17:00 東京国際フォーラム  「最先端のITが切り拓く科学技術」	牧野内昭武 (ものづくり情報技術統合化研究グループ・プログラムディレクター) 姫野龍太郎 (情報環境室・室長)  小長谷明彦 (ゲノム科学総合研究センター遺伝子ネットワークモデル化研究チーム・チームリーダー) 戎崎 俊一 (情報基盤研究部・部長)	ものづくりのためのIT道具を創る —理研で始まったV-CADプロジェクト— 人体と流れのシミュレーションが拓く世界 ～血流から魔球まで～ ポストゲノム時代のバイオフィオマティクス  ベタマシンで探るユニバース (森羅万象)	283名
第24回 (2002.7.8) 14:00~17:30 神戸ポートピアホテル  「発生・再生研究が切り拓く世界—神戸研究所開所を記念して—」	竹市 雅俊 (発生・再生科学総合研究センター・センター長) 相澤 慎一 (ボディプラン研究グループ・グループディレクター)  近 藤 滋 (位置情報研究チーム・チームリーダー) 阿形 清和 (進化発生研究グループ・グループディレクター) 西川 伸一 (幹細胞研究グループ・グループディレクター)	発生・再生とは? 動物の体造り  動物の模様つくる化学反応の波 切っても切ってもプラナリア —再生の不思議— 再生医学の夢	538名
第25回 (2003.10.30) 14:00~17:20 東京国際フォーラム  「なるほど! 脳の中身が見えてきた!」	利根川 進 (MIT Picower学習と記憶研究センター・センター長) 伊藤 正男 (脳科学総合研究センター・特別顧問 記憶学習機構研究チーム・チームリーダー) 甘利 俊一 (脳科学総合研究センター・センター長 脳数理研究チーム・チームリーダー)	学習と記憶の機構  脳の設計図は果たして読めるのか —脳科学の夢—  21世紀の脳科学	1220名
第26回 (2004.10.20) 13:30~17:30 経団連ホール 経団連会館14階  「分子から始まる新しい科学」	藤 嶋 昭 (東京名誉教授/財団法人神奈川科学技術アカデミー・理事長) 鈴木 俊法 (理化学研究所中央研究所鈴木化学反応研究室・主任研究員) 鈴木 正昭 (岐阜大学大学院医学研究科・教授) 野良 良治 (理化学研究所・理事長)	光触媒が活躍する  化学反応を探る —分子線とレーザーによる反応のスナップショット— 人の中の分子を見る 力量ある化学合成にむけて	506名

日 時	講演者	講演題目	来聴者数
第27回 (2005.10.11) 13:00~17:10 神戸国際会議場 3階国際会議室  「光がつなぐ『現在・過去・未来』」	北村 英男 (播磨研究所北村X線超放射線研究室・主任研究員) 樋口 隆康 (京都大学・名誉教授／(財)泉屋集古館・館長) 斎藤 通紀 (神戸研究所発生・再生科学総合研究センター哺乳類生殖細胞研究チーム・チームリーダー) 渡辺 恭良 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学・教授)	夢の光：X線自由電子レーザー Spring-8による考古資料の活用：古鏡の研究 生殖細胞：全遺伝情報を刷新・継承する仕組みとは？  ポジトロン医学・分子イメージングの推進	216名
第28回 (2006.10.26) 13:30~17:00 丸ビルホール  「コンピュータ科学が導くひと、モノ、環境の未来像。」	茂木健一郎 (ソニーコンピュータサイエンス研究所・シニアリサーチャー) 泰地真弘人 (ゲノム科学総合研究センター背システム情報生物学研究グループ高速分子シミュレーション研究チーム・チームリーダー) 姫野龍太郎 (情報基盤センター・センター長／次世代スーパーコンピュータ開発実施本部開発グループ・グループディレクター) 茅 幸二 (和光研究所・所長)	心を持ったコンピュータは実現可能か？  世界最速の専用計算機MDGRAPGE-3とタンパク質のシミュレーション  スーパーコンピュータによるシミュレーションと次世代開発プロジェクト  予測の時代の科学研究	391名
第29回 (2008.2.2) (2007年度) 13:00~17:30 丸ビルホール  「免疫が未来を開拓する」	石川 文彦 (免疫・アレルギー科学総合研究センターヒト疾患モデル研究ユニット) 斉藤 隆 (免疫・アレルギー科学総合研究センター・副センター長) 谷口 克 (免疫・アレルギー科学総合研究センター・センター長) 岸本 忠三 (大阪大学大学院生命機能研究科・教授)	免疫系ヒト化マウスは医療革命の礎に  一分子を追跡し免疫の謎を解き明かす  アレルギーは克服できるのか  自己免疫疾患の抗体療法	435名
第30回 (2009.2.28) (2008年度) 13:00~17:30 丸ビルホール  「人類社会と科学 ―健康を科学する―」	辨野 義巳 (バイオリソースセンター微生物材料開発室) 平井 優美 (植物科学研究センター代謝システム解析チーム) 中村 祐輔 (ゲノム医科学研究センター・センター長) 春日 雅人 (国立国際医療センター研究所・所長)	あなたの腸は何歳ですか？ ―大切な腸内環境コントロール― 野菜の健康機能成分を作る遺伝子を発見！ 患者さんに優しいオーダーメイド医療 肥満はなぜ体に悪いのでしょうか？	483名
第31回 (2009.12.5) 13:00~17:30 丸ビルホール  「人類社会と科学 ―国際ネットワークで感染症制圧を！―」	永井 美之 (感染症研究ネットワーク支援センター・センター長) 鈴木 陽 (東北大学大学院医学系研究科微生物学分野・助教) 林崎 良英 (オミックス基盤研究領域・領域長) 笹月 健彦 (国立国際医療センター・名誉総長)	感染症に国境なし、感染症研究に国境あり  子どもを風邪から護る：フィリピン拠点での取り組み 新型インフルエンザの迅速検出に向けて 〈特別講演〉 感染症と発がん	340名
第32回 (2010.10.9) 13:00~17:30 丸ビルホール  「人類社会と科学 ―低炭素・持続的社會を目指すグリーンイノベーション―」	篠崎 一雄 (植物科学研究センター長・社会知創成事業バイオマス工学研究・プログラムディレクター) 岩田 忠久 (東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻・准教授／社会知創成事業バイオマス工学研究プログラムバイオマス利活用研究グループ・客員主管研究員) 十倉 好紀 (基幹研究所物質機能創成研究領域・領域長) 相澤 益男 (内閣府総合科学技術会議議員)	植物バイオマスがもたらす、地球にやさしい持続可能な社会 ―理研バイオマス工学研究プログラムの挑戦― 未来を拓け！環境にやさしいプラスチック  創・省エネルギーに向けて物理科学が実現する夢 〈特別講演〉 グリーン・イノベーション	354名
第33回 (2011.11.26) 14:00~17:30 丸ビルホール  「人類社会と科学 ―脳とこころ―」	黒崎 政男 (東京女子大学文理学部哲学科・教授) 馬塚れい子 (脳科学総合研究センター言語発達研究チーム・チームリーダー) 片岡 洋祐 (分子イメージング科学研究センター細胞機能イメージング研究チーム・チームリーダー) 田中 啓治 (脳科学総合研究センター認知機能表現研究チーム・チームリーダー)	〈特別講演〉 脳の解明は何を解明するのか 赤ちゃんのこぼの獲得から脳とこころにせまる  あなたの疲れ、長く続いていませんか？ ―疲労を科学して見えてきたもの― エキスパートの直観を司る脳の仕組み	約360名
第34回 (2012.9.29) 14:00~17:30 丸ビルホール  「人類社会と科学 ―躍動する知的好奇心」	野依 良治 (理事長) 橋本 幸士 (橋本数理物理学研究室・准主任研究員) 黒田 公美 (脳科学総合研究センター黒田親和性社会行動研究ユニット・ユニットリーダー) 田中 拓男 (田中メタマテリアル研究室・准主任研究員)	〈特別講演〉 科学に国境はない。しかし、科学者には祖国がある 異次元宇宙と現実世界 愛着と子育て：親子関係を支える行動の脳内メカニズム  メタマテリアル ―光を操り、光と遊ぶ	356名



日時	講演者	講演題目	来聴者数
第35回 (2013.10.19) 14:00~17:30 丸ビルホール [理研百年へ 一未踏への挑戦]	森田 浩介 (仁科加速器研究センター超重元素研究グループ・グループディレクター/九州大学理学研究院物理学部門基礎粒子系物理学・教授) 侯 召 民 (環境資源科学研究センター先進機能触媒研究グループ・グループディレクター) 高橋 政代 (発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト・プロジェクトリーダー)	新元素の探索 ―現代の錬金術― 窒素分子を常温・常圧で切る ―より良いアンモニア合成法をめざして― iPS細胞を用いた網膜細胞治療	338名
第36回 (2014.11.30) 14:00~16:50 東京コンベンションホール [理研百年へ 一受け継がれる理研精神]	猪股 秀彦 (多細胞システム形成研究センター体軸動態研究チーム・チームリーダー) 肥山詠美子 (仁科加速器研究センター肥山ストレンジネス核物理研究室・准主任研究員) 平山 秀樹 (平山量子光素子研究室・主任研究員)	濃度勾配のスケーリング ―生物の形を相似形にするメカニズム― ミクロな世界の3体・4体問題へのいざない 紫外線LEDの開発 ―殺菌・浄水、医療市場を目指して―	212名
第37回 (2015.11.15) 14:00~17:05 丸ビルホール [理研百年へ 一科学の力]	小安 重夫 (理事) 石田 康博 (創発物性科学研究センター超分子機能化学部門創発生体関連ソフトマター研究チーム・チームリーダー) 藤井眞一郎 (統合生命医科学研究センター免疫細胞治療研究チーム・チームリーダー) 矢橋 牧名 (放射光科学総合研究センターXFEL研究開発部門ビームライン研究開発グループ・グループディレクター)	研究成果最大化に向けての取り組み アクアマテリアル：ほとんどが水でできた、究極のエコ材料 がんに立ち向かう免疫へかじ取りをする新しい薬を創る 未来をひらく新しい光 ―X線自由電子レーザー-SACLA―	268名
第38回 (2016.11.3) 14:00~16:30 丸ビルホール [理研百年へ 一果てなき探求]	小安 重夫 (理事) 玉尾 皓平 (グローバル研究クラスター・クラスター長研究顧問) 延與 秀人 (仁科加速器研究センター・センター長) 森田 浩介 (仁科加速器研究センター超重元素研究グループ・グループディレクター)	理化学研究所の最新研究成果のご紹介 周期表から見た新元素 宇宙暦138億年にわたる元素創生 アジア初、日本発の新元素「ニホニウム」	303名
(2017.1.22) 13:30~16:10 秋田県児童会館みらいあ 子ども劇場けやきシアター [理化学研究所科学講演会in秋田]	小安 重夫 (理事) 辨野 義己 (辨野特別研究室・特別招聘研究員) 田中 拓男 (田中メタマテリアル研究室・准主任研究員)	理化学研究所のご紹介 “腸内細菌”が健康寿命を決める！～大切な腸内環境コントロール～ メタマテリアルで何する？	238名
(2017.2.5) 14:00~16:20 NBCビデオホール [理化学研究所科学講演会in長崎]	有信 睦弘 (理事) 倉谷 滋 (倉谷形態進化研究室・主任研究員) 久保 充明 (統合生命医科学研究センター・副センター長)	理化学研究所のご紹介 カメの起源は進化のトリック ゲノムでわかるあなたの医療	195名
(2017.2.25) 14:00~16:20 高知城ホール [理化学研究所科学講演会in高知]	小安 重夫 (理事) 古関 明彦 (統合生命医科学研究センター・副センター長) 渡辺 恭良 (ライフサイエンス技術基盤研究センター・センター長)	理化学研究所のご紹介 三毛猫にみがないいわけ 疲労に克つ	242名

# 年度別国・地域別外国人研究者受入数



年度別国・地域別外国人研究者受入数

国・地域名	年度	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
アラブ首長国連邦																		
イエメン共和国																		
イスラエル国				1				1	1	1				1			3	1
イラク共和国													1	1	1			
イラン・イスラム共和国															2			
インド		1	1				2	1	2	2	5	1	1	4	5	7	5	7
インドネシア共和国		3	2	2	5	8	7	7	13	8	4			3	2	2	2	6
シリア・アラブ共和国																		
シンガポール共和国							1	1	1						2	3	3	2
スリランカ民主社会主義共和国																		
タイ王国								3	5	2	2	1	1	1	1	1	1	1
大韓民国		2	1	3	8	7	10	9	10	14	25	2	4	12	21	23	25	39
台湾		1	1	1	4	2	4	4	2	3	4			1	1	4	4	6
中華人民共和国			1	1	7	15	21	26	23	32	36		4	23	49	69	92	104
トルコ共和国		1															1	1
ネパール連邦民主共和国																		
パキスタン・イスラム共和国						1	1	1	1									
パレスチナ																		
バングラデシュ人民共和国																1	2	2
フィリピン共和国									1		2							
ベトナム社会主義共和国																		1
香港																		
マレーシア																	1	
ミャンマー連邦共和国																	1	1
モンゴル国																		
ヨルダン・ハシェミット王国																		
レバノン共和国																		
アルジェリア民主人民共和国															1	1	1	
エジプト・アラブ共和国						1		1	1	1				1	1	1		
エチオピア連邦民主共和国															1			
ガーナ共和国																1	1	
ケニア共和国																		1
ジンバブエ共和国																		
スーダン共和国																		
セネガル共和国																		
チュニジア共和国																		
ナイジェリア連邦共和国																		
モロッコ王国																		
大洋州					1	4	2	1	1	1			2	2	3	1	1	4
オーストラリア連邦																		
ニュージーランド		1																1
フィジー共和国																		
欧州											1			1	1	1	2	2
アイルランド																		
イタリア共和国		1												2	2	1	3	1
英国			2	5		2	2	3	5	2	3		1	6	11	10	14	12
オーストリア共和国								1	1	1	1							
オランダ王国		1								1	1		1	2	2	2	1	1
キプロス共和国																		
ギリシャ共和国											1	1	1	3	3	2		
スイス連邦			1					1	1	1				1	2	1	1	4
スウェーデン王国		2		1					1	1		1	1	1	1	1	2	4
スペイン王国														1	1	2		

1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
																					3	1
																		1	1	1	1	1
3	3	1	2	4	1	1	2	1	2	2	1	2	2	1			1	1	1		2	
	1																					
1	2	2	3	2	4	5	6	6	10	7	7	7	9	11	14	11	7	10	11	8	11	
9	22	32	35	37	42	34	32	24	27	31	17	19	24	23	30	37	39	40	41	36	34	
6	2	5	3		1	3	2	3	4	6	3	2	4	4	4	6	6	11	9	10	12	
												1					1	1				
4	1	1	1	2	1	1			1	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	
						1	2	2	1	1	2	2	1					1	1	1	1	
2	3	5	8	7	6	7	5	9	8	5	6	9	13	12	8	7	8	8	14	14	15	
38	43	53	52	58	59	44	43	47	55	49	44	44	54	57	67	86	88	71	70	64	71	
3	7	3	2	2	2	4	6	7	11	9	4	9	13	13	20	19	21	21	30	33	37	
107	118	154	134	130	128	118	118	124	129	129	107	109	114	119	135	133	141	149	151	169	174	
1	1								1	1				1	2	2	3	4	5	4	4	
					1	1			1	1	1	1	2	4	4	4	6	7	11	9	5	
					1									1	3	3	4	10	9	6	5	
															1	1						
2	2	2	1	3	4	7	7	7	7	8	4	2	3	6	8	10	7	4	7	8	13	
2	2	3	1	2	2			1	3	4	2	2	2	3	4	5	4	7	10	6	8	
2	6	5	14	17	9	7	11	10	11	13	11	14	8	11	13	12	10	12	22	22	21	
														1	1	1	1	2			5	
3	2	3	5	5	4	5	7	8	8	9	6	8	6	8	9	10	12	25	27	23	18	
1										2	2	1	1									
1	1										1	1					1	1	1	2	1	
									1	1	1	1	2					1				
		1	1	1	3	2				1												
1	1	1			1	1				1											1	
				2	2	2	6		1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	3	5	7	
												1	1					1				
						1	1											1	1	1		
														1	1							
								1	1									1	1			
								1	3	3	2										1	
												1							1	2	1	
				1	1																	
7	8	6	6	3	5	8	4	6	8	9	6	7	10	13	13	16	11	8	11	11	11	
2	2	1	2	1		2		1		1		1	1	2	1			1	2	1	1	
1																				1	1	
14	6	13	10	16	16	11	10	21	19	14	7	10	12	12	14	10	13	14	13	20	19	
20	19	28	21	20	20	19	26	21	34	27	14	19	15	15	22	26	27	28	25	18	18	
2	1	1	1	2	1	1	1	3	2	3		2	1	1	1	1		1				
3	3	7	6	3	4	8	8	5	7	10	9	4	8	4	6	6	5	6	4	3	5	
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
1	2	1	2	6	5	3	1	5	3	3	2	4	2	1	1	2	4	4	6	7	2	
4	3	6	2	1	4	3	3	6	4	5	4	2	1	1	6	6	7	8	8	6	5	
14	6	5	5	10	6	2	4	5	8	8	5	4	9	9	8	8	9	7	9	12	6	
	1	2			2	4	2	5	6	7	2	2	3	2	5	5	12	6	6	5	5	

国・地域名		年度		1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	
ソ ヴ イ エ ト 社 会 主 義 共 和 国 連 邦	アゼルバイジャン共和国																				
	アルメニア共和国																				
	ウクライナ																			1	
	ウズベキスタン共和国																				
	エストニア共和国																				
	ジョージア																				
	タジキスタン共和国										1	3	2								
	ベラルーシ共和国																		1	1	
	モルドバ共和国																				
	ラトビア共和国																1	1	2	2	
	リトアニア共和国																				
	ロシア連邦																1	7	8	16	
	チェコスロバキア社会主義共和国	チェコ共和国		1					1					1			1				
	スロバキア共和国																				
デンマーク王国		1																1	1		
ドイツ連邦共和国		1	6	4	3	3	9	8	11	7	8			1	2	7	11	19	34	38	
ドイツ民主共和国						1		1					1								
ノルウェー王国			1																1	2	
ハンガリー									1	1	1	1			2	2	3	1	2	4	
フィンランド共和国					1						1	1	1	1	1	2	1	3	1	4	
フランス共和国		1	1	3	2	1	5	3	2	4	2				1	2	4	6	6	11	
ブルガリア共和国																1	2	2	3	3	
ベルギー王国																	1			3	
ポーランド共和国			1	1					1	1						1		1	3	6	
ポルトガル共和国				1	1							1	1		1	1	1	1			
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア 社 会 主 義 連 邦 共 和 国	クロアチア共和国																				
	スロベニア共和国																				
	セルビア・モンテネグロ																				
	ボスニア・ヘルツェゴビナ																				
	マケドニア共和国																				
	ユーゴスラビア連邦共和国																				
ルーマニア																			1	5	
中 南 米	アルゼンチン共和国				1													1	1		
	ウルグアイ東方共和国															1	1	1			
	キューバ共和国																				
	コロンビア共和国																				
	チリ共和国																				
	ブラジル連邦共和国		1										2			1	1	5	5		
	ベネズエラ・ボリバル共和国																				
	ペルー共和国																				
ボリビア多民族国				1	1			1	1												
メキシコ合衆国													1								
北 米	アメリカ合衆国		7	13	6	12	13	10	15	15	18	13		2	3	7	16	14	24	28	
	カナダ			1	1				1	1		1	2			2	4		2	4	
そ の 他										クウェート国(中東)											
合計		24	33	33	46	59	76	93	102	105	118	10	30	96	162	197	261	333			

一部を除き、国・地域名は基本的に2017年の外務省ホームページの表記に従っています。(http://www.mofa.go.jp)  
 ユーゴスラビア連邦共和国は1992年～2003年、セルビア・モンテネグロは2003年～2006年、現在はセルビア共和国、モンテネグロ。  
 レイアウトの都合上、その他に掲出した国があります。ザイール共和国は当時。

1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
							2	2	3	2												
1		1	3	5	3	3	5	5	2	3	1						1	1	1			
	1		2	5	5	3	5	3	5	7	2	3	7	1			1	2	4	3	5	
											1	1	1	1	1			3	3	3	3	
	1																					
			1																			
			1	1	1	1	1	1														
			1	1	1	1	1	2	1	1	1				1	1	1	1				
								1	1	1							1	1	1			
				1	1	1	1	1						1			1	1	1			
							1	1	1	1					1	2	2	1	1	1	2	
21	43	37	33	69	67	58	44	41	37	42	22	22	29	11	13	13	10	15	10	12	14	
	3			2	1	4	5	4	4	9	6	4	1	1					1	1	1	
				2	2	3	4	2	2	1	2	2	2	1	1	2	1	2	2	2	2	
1	2	3	1			1	2		2	1		1	2	2	7	9	9	3	2	4	9	
44	33	36	59	55	31	42	43	36	43	37	22	31	39	34	34	29	29	35	37	36	41	
3	2	1	1						1	2	1			2	1							
2	7	3	5	11	7	8	11	7	10	6	5	5	7	3	4		4	2	6	6	3	
2	1		2	1	4	4	3	8	4	6	2	1	2	1	1	1	3	4	4	5	4	
15	27	27	22	26	29	23	31	24	25	42	25	26	31	28	29	25	33	33	36	38	42	
4	6	4	2	3	3	4	3	4	4	7	5	6	5	3	2	3	1	1	1	1	1	
	1	3	2	3		1	1		2	3	3	3	2	2		1	6	4	4	3	4	
9	9	10	7	4	5	9	8	7	6	7	4	4	7	4	5	2	5	5	5	7	10	
	1	2	2	1	1				1			1										
					1	1	1							1	1	1	1					
					1	1	3	1	3	1										1	2	
								1	1	1												
							1										1					
					1	1																
	2	1			1	1																
2	6	7	5	13	14	9	10	7	9	7	2	4	4	3	4	4	3	1	2	1	3	
				1	2	1	1								1	1					1	
								2	1	1	1											
				1	1		2	2													1	
			1		2	2	1	1	1								2	1	1	1	2	3
								1									1	1				
1	3	7	2	2	1	1	2	4	4	5	3	3	4	3	4	5	5	3	2	1	1	
									1							1	1					
							1								1	2	1	1				
									1													
	1		2	1	1	2	1	2	2		2			1		1	4	1	1	1	3	4
37	41	47	37	61	59	58	57	65	66	53	34	40	33	41	38	44	45	42	45	43	45	
10	6	7	7	10	10	8	15	9	9	17	5	4	4	4	9	14	15	23	21	18	18	
	リビア (アフリカ)					モナコ公 国 (欧州)	トリニ ダード・ トバゴ共 和国 (中南米)			南アフリ カ共和国 (アフリカ)								アイスラ ンド共和 国、アル バニア共 和国 (欧州)				
	1					1	1			1								2				
406	465	538	516	613	591	558	575	580	630	641	421	456	509	490	566	597	634	663	702	703	742	

※1988年より集計方法が異なります。1988年、1989年については十分なデータが残っていません。

※2003年～2005年：年間の延べ人数。客員等も含む。

※2006年～2008年：各年10月1日付けデータ。研究員・テクニカルスタッフ・長期滞在の客員研究員・訪問研究員・学生等。

※2009年～2016年：各年10月1日付けデータ。研究員・テクニカルスタッフ・訪問研究員・学生等（特任職員含む）。

# 年度別外来研究者等受入数



年度別外来研究者等受入数

種別	年度	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
(常勤)	委託研究生	35	35	23	32	42	45	35	36	56
	研究生	} 143 }	} 75 }	} 81 }	} 81 }	} 143 }	} 110 }	} 117 }	} 177 }	} 41 }
	研修生									
	小計	178	110	104	113	185	155	152	213	238
(非常勤)	客員研究員	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	嘱託	92	92	112	132	136	97	99	113	107
	小計	92	92	112	132	136	97	99	113	107
	計	270	202	216	245	321	252	251	326	345
種別	年度	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975
(常勤)	委託研究生	42	55	69	112	94	93	93	91	88
	研究生	34	36	33	20	7	22	34	40	31
	研修生	113	126	152	159	158	160	169	166	170
	小計	189	217	254	291	259	275	296	297	289
(非常勤)	客員研究員	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	嘱託	114	117	126	142	145	158	167	172	168
	小計	114	117	126	142	145	158	167	172	168
	計	303	334	380	433	404	433	463	469	457
種別	年度	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
(常勤)	流動研究員	16( 4)	29( 7)	24( 6)	38( 7)	36( 8)	42( 9)	46( 9)	40( 8)	38( 13)
	委託研究生	31( 0)	77( 1)	68( 0)	55( 1)	96( 0)	120( 5)	126( 3)	151( 3)	140( 0)
	研究生	36( 4)	38( 4)	38( 5)	33( 0)	33( 0)	30( 5)	29( 4)	22( 3)	17( 1)
	研修生	165( 1)	200( 1)	204( 3)	208( 0)	219( 1)	226( 2)	215( 1)	272( 1)	278( 4)
	小計	248( 9)	344( 13)	334( 14)	334( 8)	384( 9)	418( 21)	416( 17)	485( 15)	473( 18)
(非常勤)	客員研究員	14( 0)	14( 0)	14( 0)	15( 0)	16( 0)	15( 0)	15( 0)	25( 0)	26( 0)
	嘱託	208( 10)	200( 13)	230( 10)	245( 25)	279( 23)	293( 25)	340( 43)	434( 62)	488( 75)
	小計	222( 10)	214( 13)	244( 10)	260( 25)	295( 23)	308( 25)	355( 43)	459( 62)	514( 75)
	計	470( 19)	558( 26)	578( 24)	594( 33)	679( 32)	726( 46)	771( 60)	944( 77)	987( 93)
種別	年度	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993
(常勤)	流動研究員	41( 15)	31( 12)	42( 14)	44( 15)	42( 16)	40( 14)	35( 13)	41( 24)	46( 30)
	委託研究生	195( 11)	204( 5)	184( 11)	176( 14)	168( 3)	140( 0)	140( 0)	140( 0)	41( 0)
	研究生	13( 2)	15( 0)	27( 0)	35( 0)	41( 0)	30( 3)	24( 2)	32( 3)	50( 5)
	研修生	290( 6)	331( 2)	361( 11)	347( 11)	39( 7)	407( 15)	487( 23)	511( 27)	601( 16)
	小計	539( 34)	581( 19)	614( 36)	602( 40)	290( 26)	617( 32)	686( 38)	724( 54)	738( 51)
(非常勤)	客員研究員	25( 0)	22( 0)	18( 0)	18( 0)	14( 0)	13( 0)	13( 0)	11( 0)	11( 0)
	嘱託	485(124)	528( 88)	593( 85)	727(124)	728(154)	808(134)	891(165)	957(161)	1,096(207)
	小計	510(124)	550( 88)	611( 85)	745(124)	742(154)	821(134)	904(165)	968(161)	1,107(207)
	計	1,049(158)	1,131(107)	1,225(121)	1,347(164)	1,032(180)	1,438(166)	1,590(203)	1,692(215)	1,845(258)

種別	年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
(常勤)										
流動研究員		38( 19)	—	—	—	—	—	—	—	—
奨励員		—	57( 15)	73	48	53	241	314	—	—
協力員		—	9( 6)	102	142	138	—	—	—	—
委託研究生		39( 4)	44( 2)	49	31	29	19	26	38	38
研究生		52( 0)	35( 2)	10	649	603	659	780	925	1,083
研修生		622( 37)	601( 32)	797						
小計		751( 60)	746( 57)	1,031	870	823	919	1,120	963	1,121
(非常勤)										
客員研究員		8( 0)	962(252)	1,235	1,256	1,325	1,786	1,721	1,765	1,789
嘱託		1,184(240)	282( 22)	338						
小計		1,192(240)	1,244(274)	1,573	1,256	1,325	1,786	1,721	1,765	1,789
計		1,943(300)	1,990(331)	2,604	2,126	2,148	2,705	2,841	2,728	2,910

種別	年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
委託研究生・研究員		—	—	—	15( 4)	11( 3)	6( 2)	13( 4)	7( 2)	9( 4)
研究生		64	70	61	48( 7)	57( 13)	86( 29)	101( 35)	111( 36)	98( 33)
研修生		958	1,063	1,103	1,107(252)	1,077(226)	1,054(214)	1,083(239)	1,146(247)	1,066(220)
実習生		—	—	—	15( 7)	11( 5)	16( 6)	26( 3)	9( 2)	20( 9)
小計		1,022	1,133	1,164	1,185(270)	1,156(247)	1,162(251)	1,223(281)	1,273(287)	1,193(266)
客員研究員		1,779	1,736	2,058	2,369(297)	2,706(307)	2,888(313)	3,161(358)	3,283(361)	3,231(357)
嘱託		—	—	—	87( 10)	70( 13)	61( 12)	65( 13)	76( 14)	74( 11)
小計		1,779	1,736	2,058	2,456(307)	2,776(320)	2,949(325)	3,226(371)	3,359(375)	3,305(368)
計		2,801	2,869	3,222	3,641(577)	3,932(567)	4,111(576)	4,449(652)	4,632(662)	4,498(634)

種別	年度	2012	2013	2014	2015	2016
委託研究生・研究員		13( 6)	—	—	—	—
研究生		132( 43)	60	66	53	60
研修生		1,103(222)	1,088	1,116	1,127	1,207
実習生		17( 3)	—	—	—	—
小計		1,265(274)	1,148	1,182	1,180	1,267
客員研究員		3,384(377)	2,727	2,926	3,099	3,033
嘱託		79( 9)	—	—	—	—
小計		3,463(386)	2,727	2,926	3,099	3,033
計		4,728(660)	3,875	4,108	4,279	4,300

\*1 2003～2016は年度末時点、()内は外国人の内数

#### 研究系職員における女性の比率

種別	年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
定年制研究系職員*1		12.4%	12.6%	12.7%	12.4%	12.3%	11.7%	12.4%	11.9%	11.7%
任期制研究系職員*1		39.2%	38.2%	39.1%	39.7%	38.5%	37.9%	37.0%	38.9%	38.9%
全研究系職員*1		34.3%	34.0%	34.9%	35.6%	34.4%	33.6%	33.1%	35.0%	35.1%
全研究者		16.7%	16.9%	15.7%	16.6%	16.7%	16.4%	16.1%	17.2%	16.7%

種別	年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
定年制研究系職員*1		11.0%	10.1%	9.7%	9.9%	9.3%	9.9%
任期制研究系職員*1		38.0%	38.1%	38.5%	37.8%	36.9%	37.2%
全研究系職員*1		34.2%	34.3%	34.6%	33.9%	33.2%	33.4%
全研究者		16.2%	15.2%	14.6%	14.1%	14.1%	14.0%

\*1 テクニカルスタッフ、アシスタント含む  
2003～2016は年度末時点、2017は年度当初

# 国際協力の現状



相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
国際組織	ヒトゲノム国際研究同盟	ゲノム及び臨床データ共有により人の健康増進を目指す国際研究連盟への参加	2013. 6	無期限	IMS
	JLESC (Joint Laboratory for Extreme-Scale Computing)	エクサスケールコンピュータの開発等を目指すヴァーチャル連携研究室 (JLESC) 設置 (仏・国立情報学・自動化研究所、米・イリノイ大、米・国立アルゴンヌ研究所、スペイン・バルセロナスバコンセンター、独・ユーリッヒ研究所及び理研)	2015. 3	2018. 5	AICS
多国間	東南アジア、中南米等	研究者をバイオテクノロジー関係研究室に受け入れ、研修を実施	1985. 4	1991. 3	国際協力事業団(JICA)のプログラムによる
	2カ国10機関	バイオデザイン国際共同研究にかかる研究費、研究者派遣滞在費等の支援	1990.10	2001. 3	DRI
	アメリカ アリゾナ大学/チリ カトリック教皇大学	医薬・農業への応用に向けた生理活性物質の発見のための植物収集に関する共同研究	1991.10	1993. 3	DRI
	アメリカ アルゴンヌ国立研究所先端光源/フランス 欧州放射光施設	第三世代放射光研究に関する協力のための3極覚書	1993. 5	無制限	RSC
	国際ヒトゲノムシーケンス決定コンソーシアム 6カ国20機関	ヒト染色体の長腕のクローンに基づいた解析による配列決定 日本は21、22番染色体の分析に大きく寄与	1991	2006. 3	GSC
	地震国際フロンティアプログラム 5カ国5機関	地震先行電磁気現象の観測法およびデータ処理について	1996.10	2001. 3	地震国際フロンティアプログラム
	アメリカ マサチューセッツ工科大学、NASA/シンガポール大学	ガンマ線バースト探査衛星HETE-2を利用した高エネルギートランジェント天体の探査	1997. 8	MIT 2007. 3 NASA 2005.12 NUS 2009. 3	DRI/ASI
	カリフォルニア大学バークレー校、国立科学基金、CNRS等	事務職員海外研修派遣制度 事務系職員に国際経験を積ませるため、海外の関係諸機関等への派遣を実施	1998. 1	不明	総務部
	地震防災フロンティアプログラム 7カ国8機関	アジア・太平洋地域に適した津波軽減技術の開発とその体系化に関する研究	1999.12	2001.3	地震防災フロンティアプログラム
	FANTOM (Functional Annotation of Mammalian cDNA and Genome) プロジェクト 6カ国30機関以上	マウスゲノムエンサイクロペディアプロジェクト (理研内) で収集した、かつてない大規模な遺伝子データである、完全長cDNA配列の機能注釈について、ルールや方法の取り決めを行い、遺伝子の機能注釈を効率的に行なうシステムを開発した。	2000	2001	GSC
	OECD CERiプロジェクト 5カ国8機関	OECD教育研究革新センターが教育の革新とその実践のためにやっている研究事業のひとつ「学習科学と脳研究プロジェクト」の研究ネットワークのひとつ、「生涯に亘る学習のネットワーク」にかかる研究協力を実施	2000		BSI
	アジア連携大学院協定 韓国 釜山大学校/中国 北京大学/台湾 国立交通大学/ベトナム ハノイ科学大学/タイ カセサート大学/マレーシア マレーシア科学大学	連携大学院	2001. 1	2008~2011 IPA協定などへ移行	
	チンパンジーゲノム配列決定コンソーシアム 5カ国15機関	(1)チンパンジーゲノム配列地図の作成とヒトゲノム配列との詳細な照合 (2)チンパンジー22番染色体の配列決定とヒト21番染色体との比較解析 (3)チンパンジーY染色体の配列決定	2001. 3	2004	GSC
	マウス完全長cDNAクローンをを用いた共同研究 5カ国12機関	マウスゲノムエンサイクロペディアプロジェクト (理研内) で収集した完全長cDNAクローンを理研より外部機関に提供	2001. 6	FANTOMに引継ぎ	GSC
FANTOM2 8カ国約50機関	60,770セットのマウス完全長cDNAの塩基配列および機能注釈を行い、世界で初めて哺乳類の完全長cDNAの標準化を行った。	2001	2002	GSC	



相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
多国間	FANTOM3 13カ国約80機関	完全長cDNA技術に加え新たに開発したCAGE法を使い、ゲノムの約2%の領域しか転写されていないという従来の常識を覆し、実際には63%以上がRNAとして転写されていることを示した。さらに、これまで100個程度しか知られていなかったノンコーディングRNA(ncRNA)が、2万3000個以上も存在することを明らかにし「RNA新大陸」の発見として教科書を書き換える成果を得た。また、転写産物の73%以上がセンス/アンチセンスペアとして転写されていることも発見した。	2002	2005	GSC
	ENCODE (Encyclopedia of DNA elements) プロジェクト 10カ国以上80機関以上	米国NIHが主導する、ヒトゲノムのすべての機能要素の解析を目指す国際プロジェクト。理研はプロジェクトの第一、第二フェーズ(～2012)に参画し、独自に開発したCAGE法により、大きく貢献した。理研は現在参画していない。	2003. 9	継続中	GSC、OSC
	FANTOM4 約15カ国約50機関	単球細胞の分化過程における転写開始点(TSS)の動的活性をdeepCAGE法で経時的に解析した。得られた各プロモーターからの遺伝子発現レベルのデータと転写因子結合部位の推定データを使い、転写制御ネットワークモデルを構築した。また、転写開始RNA(tiRNA)、レトロトランスポゾン由来の転写産物の発見、転写因子間相互作用による制御機構の関係についても報告した。	2006	2009	GSC、OSC
	ドイツ電子シンクロトロン研究所/アメリカスタンフォード大学 スタンフォード線形加速器センター/日本 JASRI	放射光科学分野での4者協力	2006.12	2011.12	RSC
	FANTOM5 20カ国以上約100機関	ほ乳類の体を構成する多くの初代培養細胞、臓器や多数の細胞株において、転写産物や転写因子、プロモーター、エンハンサーの活性をCAGE法を用いて測定した。また、ある細胞から特定の細胞種への分化など、細胞の表現型が変わるとき、遺伝子から離れた位置にあり遺伝子の転写効率に関わる制御を行うエンハンサーの活性化が、一連の遺伝子発現の変化に先行して起きることを明らかにした。長鎖ノンコーディングRNA(lncRNA)のヒトゲノム上での正確な位置や配列の特徴、細胞や組織での発現パターンを示した「ヒトlncRNAアトラス(地図)」を報告した。正確なlncRNAの転写開始点や、ヒトの代表的な細胞における発現パターンも記載した。	2009	2015	OSC、予防医療、CLST/DGT
	韓国国家研究素材センター/中国科学院 微生物研究所微生物資源中心	バイオリソースに関する3者協力	2009. 9	2020.10	BRC
	イタリア バレルモ大学/スウェーデン ストックホルム大学	免疫・アレルギー分野連での3者での連携大学院プログラム	2011. 5	2016. 5	IMS
	コロンビア 熱帯農業国際センター/ベトナム農業科学院 農業遺伝学研究所	植物科学における協力(キャッサバ分子育種研究での国際連携研究室設置)	2012. 7	2017. 7	CSRS
	シンガポール 南洋理工大学/タイ チュラロンコン大学	自然科学・医学、及び社会科学、人文学における協力のための3者覚書	2014.12	2019.12	
	ロシア・カザン大学 基礎医学生物学研究所/順天堂大学 医学部	予防医療に関する3者協力	2015. 1	自動更新	PMI
	FANTOM6 20カ国以上約60機関	FANTOM6 ヒトゲノム中の長鎖ノンコーディングRNA(lncRNA)の網羅的な機能解明	2015	継続中	CLST/DGT
	アメリカ システムズバイオロジー研究所/ドイツ テュービンゲン大学 個別化医療センター	マイクロバイオーム・慢性炎症等に関する研究者交流等覚書	2016.10	2018. 3	IMS
アイルランド	ダブリン大学 アイルランドシステムバイオロジー研究所	システムバイオロジーおよび免疫学に関する研究者交流等枠組み協定	2010. 3	2018. 3	IMS、QBIC
アメリカ合衆国	デュボン社	—	1985. 7	1994. 6	DRI
	イリノイ大学、ジョージア大学他	日米エネルギー研究開発協力の一環として、光合成による太陽エネルギー変換に関する研究者交流等	1986.10	2001. 7	
	アリゾナ大学	新生物制御科学研究(砂漠植物からの新規天然物質の応用)	1988. 4	1993. 3	DRI
	ワシントン大学	—	1988. 6	1990. 9	BRC
	カンザス州立大学	基礎原子物理分野での協力覚書	1991.10	2009. 3	ASI
	ジョンズ・ホプキンス大学	ゲノム科学研究	1992. 9	1995. 3	BRC

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
アメリカ合衆国	ブルックヘブン国立研究所	相対論的重イオン衝突施設 (RHIC) における共同研究 (理研BNLセンターを設置)	1993	2018. 4	RNC
	カリフォルニア大学バークレー校	研究協力取極め (植物科学等生物学分野における研究)	1995. 2	2005. 2	DRI/PSC
	テネシー大学メンフィス校	生物学分野での科学者交流・シンポジウム開催・科学技術情報交換等	1997. 4	2002. 4	BRC
	コロンビア大学	計算科学・核物理分野における研究協力 (量子色力学用スパコン研究開発等)	1997. 7	自動更新	RNC
	マサチューセッツ工科大学	脳科学分野での協力協定 (理研-MIT神経回路遺伝学研究センターの設置 当初は理研-MIT神経科学研究センターの設置)	1998.10	2018. 3	BSI
	スタンフォード大学、ハワード・ヒューズ医学研究所	ゲノム科学研究 (FANTOM共同研究)	1999. 6	2005. 6	GSC
	ハーバード大学	ゲノム科学研究 (FANTOM共同研究)	1999. 7	2002. 7	GSC
	アイオワ大学	脳科学における共同研究等	1999.12	2000.12	BSI
	国立衛生研究所	ゲノム科学分野での共同研究の実施	1999.12	2005. 9	GSC
	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	脳科学分野の協力 (神経遺伝学での研究者交流)	2000. 1	2005. 9	BSI
	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	脳科学に関する研究者交流等	2000. 5	無期限	BSI
	中部アメリカ地震センター、米国地震工学研究センター	(2001年3月防災研に移管)	2000. 5	2001. 3	FRS
	カリフォルニア・パシフィック・メディカル・センター	ゲノム科学分野での共同研究 (抗癌作用遺伝子発現解析)	2000.12	2005.12	GSC
	カリフォルニア工科大学	ゲノム科学分野での研究協力 (G-蛋白を介した遺伝子発現変動の解析)	2001. 1	2005.12	GSC
	カリフォルニア大学バークレー校	ゲノム科学分野での研究協力 (脳の遺伝子発現パターン解析/遺伝子による免疫システムの調節に関する研究)	2001. 8 / 2002. 2	2005.12	GSC
	SSPコンソーシアム	植物ゲノム科学における共同研究等 (シロイヌナズナ完全長cDNAの全長塩基配列決定および機能アノテーション)	2002. 1	2004. 1	GSC
	ボーイズタウン研究所病院、ネブラスカ大学メディカルセンター	ゲノム科学分野での共同研究 (遺伝子構造・機能研究)	2002. 1	2005.12	GSC
	アルゴンヌ国立研究所パルス中性子源施設	中性子光学素子に関する研究者交流等	2002. 4	2006. 3	
	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	脳科学分野の協力 (慢性多点電極記録システムの開発のための共同研究)	2002. 7	2004. 7	BSI
	アラバマ大学	天体物理学 (大型光学素子開発) に関する研究者交流・共同研究等	2002. 9	2017. 9	ILs
	ニューヨーク州立大学バッファロー校	ゲノム科学に関する共同研究の実施	2003. 3	2005.12	GSC
	ハーバード大学	ゲノム科学共同研究 (cDNAライブラリー作製)	2003. 4	2006. 3	GSC
	ミシガン大学 メディカルスクール	ゲノム科学分野での共同研究 (脳下垂体前葉に存在する細胞の分子的な制御の解明)	2003. 5	2007. 3	GSC
	テキサス大学 生物医科学大学院	発生再生生物学・再生創薬研究等に関する覚書	2003. 5	2014. 6	CDB
	ノースカロライナ大学チャペルヒル校	ゲノム科学に関する共同研究 (FANTOM2) の実施	2003. 8	2006. 3	GSC
	ローレンスバークレー国立研究所 先端放射光源	放射光物理学に関する覚書 (真空封止型アンジュレーターの開発研究等)	2004. 2	無期限	RSC
	トマス・ジェファーソン大学	細胞内シグナルトランスダクションネットワークのモデル化と試験研究・成長要因因子受容体レセプター共同研究	2004. 3	2007. 9	GSC
	ハーバード大学 メディカルスクール	ゲノム～オミックス科学分野の共同研究 (アフリカツメガエルRNAとベクターによるライブラリー作成)	2004. 4	2009. 4	OSC
	ミシガン大学 医学部	ゲノム科学分野での共同研究 (マウスの脳発生における転写因子の機能分析)	2004. 4	2007. 4	GSC
	デューク大学	脳科学研究 (日本語、英語、中国語の音声発達の言語共通研究)	2004. 7	2009.10	BSI
	イリノイ大学	ゲノム科学における共同研究等 (蜂の脳を用いた遺伝子解析)	2004.10	2016. 3	CLST
	ラホヤ免疫アレルギー研究所	免疫・アレルギー分野での協力覚書	2004.10	無期限	IMS
	国立環境衛生科学研究所	脳科学分野での共同研究	2005. 4	2007.10	BSI

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
アメリカ合衆国	ミシガン州立大学 量子科学研究所、物理天文学部	物性物理学分野での研究協力覚書(量子計算機とHe界面上及び超伝導体中の量子ビットの物性解明)	2005. 7	2018. 3	CEMS
	アレン脳科学研究所	ゲノム科学分野における共同研究(マウスcDNAクローンをを用いた脳機能に関する遺伝子の研究)	2005. 8	2008. 8	OSC
	ワシントン大学	免疫学分野における共同研究(自己免疫制御研究)	2005. 9	2007. 8	RCAI
	ノースカロライナ州立大学	免疫・アレルギー分野での共同研究(新規免疫療法の効果に関する研究)	2006. 1	2010. 6	RCAI
	アルゴンヌ国立研究所 先端光源	放射光科学に関するJASRIとの3者覚書	2006. 3	2018. 3	RSC
	アリゾナ大学	新規変異マウス研究(生体レベルにおける遺伝子の機能研究)	2006. 3	2009. 3	BRC
	ハワード・ヒューズ医学研究所、ケースウェスタンリザーヴ大学	ゲノム科学分野での3者間の研究協力(新規変異マウス研究)	2006. 3	2009. 3	BRC
	ハワード・ヒューズ医学研究所、ハーバード大学	ゲノム科学分野での研究協力(新規変異マウス研究)	2006. 3	2009. 3	BRC
	アルバート・アインシュタイン医科大学	ゲノム科学分野での研究協力(新規変異マウス研究)	2006. 6	2009. 6	BRC
	ハーバード大学	脳科学分野における研究者交流(学部学生の実習受入)	2007. 7	更新手続中	BSI
	ハーバード大学	自然科学・応用科学・工学分野における研究協力覚書(特に、ナノ科学・計算科学)	2007.10	2008.10	ASI
	ミシガン州立大学 国立超伝導サイクロトロン研究所	加速器科学分野での研究覚書	2008. 1	更新手続中	RNC
	国立衛生研究所・薬理遺伝学研究ネットワーク、国立一般医学研究所、国立がん研究所、国立心臓・肺・血液研究所	薬理遺伝学分野での研究協力	2008. 4	期限未定	IMS
	カリフォルニア大学バークレー校 機械工学科	素形材工学分野における研究交流覚書	2008. 6	2018. 3	ILs
	カンザス州立大学	原子物理学分野での研究協力覚書(超高速レーザー研究等)	2009. 3	2012. 3	ASI
	アルゴンヌ国立研究所 先端光源	覚書(XFELオシレーター開発に係る研究協力)	2009. 4	2012. 4	RSC
	ブルックヘブン国立研究所 国立放射光源II	放射光科学に関するJASRIを含めた3者覚書	2009. 5	自動更新	RSC
	トレド大学	表面界面創成技術に関する研究協力覚書	2009. 7	2014. 7	ILs
	カリフォルニア大学サンディエゴ校 生物科学部門	植物科学分野における研究交流覚書	2010.10	2020.10	CSRS
	SLAC国立加速器研究所	自由電子X線レーザー加速器開発のための研究協力覚書	2012. 2	2017. 2	RSC
	イリノイ大学 国立スーパーコンピューター応用センター	計算科学・計算機科学分野の協力覚書	2012.10	2019. 8	AICS
	メリーランド大学	計算機・計算科学分野での研究協力覚書	2013. 2	2019. 2	AICS
	ブラウン大学 物理学科	NMR機器工学に関する研究協力覚書	2013. 5	2018. 5	CLST
	アイオワ州立大学 教養科学部	自然科学に関する覚書(自然科学に関する研究学術材料・情報の交換、教員・研究者交流、共同会議・セミナーの実施、共同研究プロジェクトの実施等)	2013. 8	2018. 8	ILs
	アルゴンヌ国立研究所 アルゴンヌ先導計算施設	計算科学・計算機科学分野の協力覚書(共同研究や関連研究者・スタッフ・学生の交流等)	2013.11	2016.11	AICS
	テキサス大学 M. D. アンダーソンがんセンター	がんに関する予防医療・診断研究等に関する覚書	2014. 4	2019. 4	PMI
	国立高磁場研究所	NMR機器工学開発・高温超電導研究に関する研究交流・共同研究	2014. 8	2018. 8	CLST
	カリフォルニア大学バークレー校 機械工学科、精密製造センター	形材工学分野における研究交流覚書	2014.11	2017.11	ILs
	ハーバード・スミソニアン天体物理学センター	天文物理学分野での研究者交流等	2016. 6	2018. 6	iTHES
	イリノイ大学シカゴ校 化学科	表面界面科学に関する研究者交流等覚書	2016. 6	2021. 6	ILs
	イリノイ大学シカゴ校 化学科	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による博士課程学生の受入れ	2016. 6	2021. 6	
	豊田工業大学シカゴ校	機械学習に関する研究者交流等覚書	2016.12	2021.12	AIP
インテル社	計算機・計算科学分野での研究協力	2017. 1	研究協力終了迄	AICS	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
アルゼンチン共和国	国立ラプラタ大学 獣医・遺伝学研究所	動物・獣医学分野での覚書(共同研究、研究者交流等)	2007.8	2017.3	ILs
アルメニア共和国	アルメニア国立科学アカデミー L. A. オーベリ生理学研究所	脳科学分野での研究者交流等	2000.10	無期限	BSI
イスラエル国	ワイツマン研究所	包括的学術交流覚書	1996.7	自動更新	
イタリア共和国	国立核物理研究所	重イオン物理に関する共同研究(理研、INFN双方の加速器施設を利用して実施)、合同シンポジウム等を実施	1991.10	2021.7	RNC、ILs
	新技術エネルギー環境局	原子核物理に関する共同研究、研究者交流を実施	1997.5	無期限	RNC
	国立生物工学系大学連合研究所	ゲノム科学分野における協力	2000.11	2005.11	GSC
	認知処理研究大学共同センター(ECONA)	脳科学研究(視覚作動記憶の情報統合研究)覚書	2007.10	2012.3	BSI
	トリノ大学	計算科学分野における協力	2007.10	2017.7	ILs
	ローマ第2大学	計算科学分野における協力	2008.3	2014.3	ILs
	パレルモ大学	免疫・アレルギー研究における協力	2009.9	2012.9	IMS
	ローマ第2大学	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による博士課程学生の受入れ	2010.2	2015.2	
	パレルモ大学	戦略的IPA連携大学院協定による学生の受入れ	2011.5	2016.5	
	国際高等学院	計算科学分野における協力	2011.5	2021.5	AICS
	欧州理論核物理学センター	理論核物理学における協力	2013.1	2019.1	RNC
	国際高等学院	脳科学分野における協力	2014.2	2019.2	BSI
	癌研究財団 分子癌研研究所	生命医学分野での協力	2014.7	2018.3	CLST
	トレント大学 心理・認知科学科	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2016.2	2021.2	
	ローマ第2大学	高エネルギー宇宙線観測に関する覚書	2016.9	2018.3	ILs
イラン・イスラム共和国	シャヒード・ベヘスチ医科大学医学部生理学科、イラン生理学・薬理学協会、イラン理論物理・数学研究所	認知機能表現に関する研究(2005.4からイラン理論物理・数学研究所との協力に)	2000.11	2007.3	BSI
インド	先端技術センター	加速器科学分野における協力	1996.4	2001.4	DRI
	国立脳科学研究センター 生物工学科	脳科学分野における協力	1999.10	無期限	BSI
	インド工科大学 生物科学・生物工学部門	脳科学分野における協力	2002.10	2007.3	BSI
	国立脳科学研究センター	ポリグルタミン病分子病態に関する共同研究	2003.4	2005.3	BSI
	インド国立生物科学センター	再生生物学等に関する研究協力覚書	2004.3	2013.9	CDB
	科学技術省科学技術局	包括的協力覚書	2006.12	自動更新	
	タタ・コンサルタンシー・サービス	バイオインフォマティクス分野における協力	2007.8	2010.8	ASI
	インド工科大学ボンバイ校	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2009.3	2019.3	
	インド科学大学	放射光と自由電子レーザー分野での協力	2011.2	2014.2	RSC
	インド科学振興研究所	戦略的IPA連携大学院協定による学生の受入れ	2012.10	2017.10	
	インド科学教育研究大学(プネ)	神経科学分野での協力	2013.4	2018.4	BSI
	ジャワハルラル・ネルー先端科学研究センター、インド科学大学	3者間の学術・研究協力交流覚書	2013.6	2018.6	
	科学技術省生物工学局	包括的協力覚書	2013.9	自動更新	
	国立生物科学センターコンソーシアム	包括的学術・研究協力交流覚書	2013.9	2018.9	
	インド工科大学カラガプール校 医科学・工学院	脳科学に関する教育・研究学術協力	2014.8	2019.8	BSI
	アミティー大学 応用科学研究所	量子凝縮系物理学分野での協力	2015.3	2020.3	ILs
	インドネシア共和国	原子力庁	食品貯蔵に関する微生物学および生化学的研究等における協力	1977.1	1983年度
バジャジャラン大学		熱帯植物に含まれる新生理活性物質の研究等における協力	1979年度	1981年度	DRI
バジャジャラン大学、技術開発応用庁		熱帯産微生物および植物の生物工学的開発に関する研究における協力	1985.1	1987.3	DRI
技術評価応用庁		包括的研究協力協定(植物学分野での研究者受入れ)	1989.11	自動更新	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
インドネシア共和国	原子力庁 バサジュマ同位体照射センター	医薬・農業利用に関する研究における協力	1984.4	1987年度	DRI
	バンドン工科大学、パジャジャラン大学、スラバヤ工科大学、ガジャマダ大学、インドネシア大学	インドネシアの他機関との協力(共同研究の実施、スクール、ワークショップ等の開催、研究者・学生の交流)	2008.6	2018.9	RNC
	パジャジャラン大学	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2010.10	2020.10	
	Yarsi大学 医学部	遺伝子多型研究における協力	2012.8	2018.3	IMS
	バンドン工科大学 理学部	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2013.1	2018.1	
	ハサヌディン大学 農学部農学科	重イオン照射関連農業科学における協力	2014.12	2019.3	RNC
	インドネシア大学 理学部	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による博士課程学生の受入れ	2017.2	2022.2	
ウクライナ	ウクライナ国立工科大学(キエフ工科大学)	放射光科学分野での協力	2013.6	2019.8	RSC
英国	ロンドン大学 キングスカレッジ	太陽光エネルギー科学における協力	1986.2	1989.2	DRI
	英国医学研究会議 放射線生物研究所	放射線生物学における協力	1987.10	1993.12	DRI
	科学技術施設会議	ラザフォードアップルトン研究所ミュオン施設における共同研究の実施(理研RAL支所を設置)	1990.9	2018.3	RNC
	ブリストル大学 ロング・アシュトン・リサーチ・ステーション	植物制御に関する研究協力	1991.6	1996.7	DRI
	バース大学 物理学科	計算科学分野における共同研究	1997.1	2003.12以前	
	CCLRCダレスベリー研究所	計算科学分野における協力(大規模な分子動力学シミュレーションによる物性の研究)	1997.5	2003.12以前	
	科学技術施設会議	中性子科学における協力	1998.9	2008.9	RNC
	CCLRCダレスベリー研究所	放射光科学および構造生物学における協力	2000.12	2005.12	播磨研
	メディカル・リサーチ・カウンシル	ゲノム科学における基礎から応用に至る総合的研究に関する研究協力	2001.10	2006.12	GSC
	サンダーランド大学 ビジネススクール	脳科学分野における研究協力	2003.4	2007.3	BSI
	ケンブリッジ大学	共同研究の実施(量子現象観測技術研究)	2003.9	2008.8	ASI
	ニューキャッスル大学	脳科学分野における研究者交流等	2005.10	2010.10	BSI
	ダイヤモンド放射光施設	放射光科学に関するJASRIとの3種協定	2006.3	2021.3	RSC
	ロンドン大学 神経科学研究所	脳科学分野における協力(研究者・ポスドク・大学院生交流、共同研究)	2006.7	2016.12	BSI
	エジンバラ大学	システム計算生物学における研究者交流等	2006.11	2010.11	RCAI
	インペリアルカレッジ、ダイヤモンド放射光施設	放射光研究とその構造生物学への応用に関する3者間の覚書	2008.9	2013.9	CLST
	リバプール大学	放射光科学分野における協力覚書	2009.1	2019.7	RSC
	セインズベリー研究所	植物科学分野における研究協力(研究者交流、情報交換、共同研究等の実施)	2010.3	2018.3	CSRS
	リバプール大学	包括的学術研究協力・交流協定	2010.10	2020.10	
	リバプール大学	戦略的IPA連携大学院協定による学生の受入れ	2010.10	更新手続中	
	欧州富士通研究所	専門家ネットワークの育成、開発・ノウハウ共有のための覚書	2010.12	2014.3	AICS
	セント・アンドリュース大学 理学部	物性物理学に関する研究者交流等協力覚書	2011.1	2014.1	ASI
	サリー大学	核物理学	2015.8	2017.8	RNC
レディング大学	数値モデル、データ同化及び関連分野の研究協力覚書	2017.2	2022.2	AICS	
オーストラリア連邦	オーストラリア国立大学	熱帯・亜熱帯の植物生長調整物質に関する協力	1982.7	2003.12以前	DRI
	連邦科学産業研究機構	包括的研究協力取極め	1984.5	自動更新	
	クイーンズランド大学	ゲノム科学分野での協力(研究者交流・共同研究)	2001.8	2008.5	OSC
	国立神経科学施設	脳科学分野での協力(研究者交流・共同研究等)	2005.9	2008.9	BSI
	クイーンズランド大学 クイーンズランド脳研究所	脳科学分野での協力(研究者交流・共同研究等)	2007.9	2018.10	BSI
	オーストラリア放射光施設	放射光科学におけるJASRIを含めた3者覚書	2008.12	2018.12	RSC

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
オーストラリア連邦	メルボルン大学 ARCコヒーレントX線科学COE	放射光科学分野での協力	2010.10	2013.10	RSC
	オーストラリア原子力科学技術機構	放射光科学分野での協力	2011.8	2019.8	RSC
	オーストラリア国立大学 国立計算機インフラストラクチャー	計算科学分野での協力	2012.11	2018.11	AICS
	マッコーリー大学 言語学科	言語獲得研究に関する協力	2014.4	2019.4	BSI
	モナッシュ大学 生医学・心理科学部	生医学分野での協力	2014.8	2019.8	IMS
	モナッシュ大学	短期国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度の実施	2016.10	2021.10	
オーストラリア共和国	ウィーン工科大学 理論物理研究所	原子物理学分野における協力	2000.3	2015.3	ILs
	ウィーン天然資源・生命科学大学 化学科	システム糖鎖生物学分野における協力	2012.10	2017.10	ILs
	ステファン・マイヤー原子核物理研究所	ハドロン物理における協力	2015.2	2019.2	RNC
オランダ王国	エラスムス大学 医学遺伝学センター	ライフサイエンス分野での協力	1997.6以前	2003.12	DRI
	オランダ科学捜査研究所	遺伝子多型研究における協力	2009.10	2013.3	IMS
	アイントホーフェン工科大学	加速器科学およびコヒーレントX線技術に関する協力	2015.2	2018.2	RSC
	アムステルダム自由大学 地球・生命科学科	発生物学分野における協力	2015.9	2020.9	CDB
カタール国	カタール財団 研究開発部門	生命科学分野における協力	2014.4	2015.4	
	カタール生医学研究所	予防医療研究における協力連携のための趣意書	2014.12	2016.11	PMI
	ハマド医療法人 がん治療・研究センター	予防医療研究に関する臨床的研究協力	2016.4	2019.4	PMI
カナダ	国家研究会議	包括的研究協力覚書	1997.9	2012.9	
	トロント大学附属小児病院	オミックス科学分野における協力	2001.1	2009.1	OSC
	ヘルスネットワーク大学 オンタリオ癌研究所	脳科学分野における協力	2003.3	2005.3	BSI
	マギル大学	発生物学分野における協力	2004.9	2007.9	CDB
	Mount Sinai病院 (オンタリオ)	ゲノム科学分野における共同研究	2004.11	2007.11	GSC
	国家研究会議	ゲノム科学分野における共同研究	2004.12	2007.12	GSC
	国家研究会議 植物生体工学研究所	植物科学における協力	2006.8	2009.4	PSC
	TRIUMF研究所	加速器技術開発および加速器科学における協力	2009.7	2014.7	RNC
	マギル大学	包括的学術研究協力・交流覚書	2010.7	2020.7	
	マギル大学	量子科学協力に関するパートナー協定	2012.8	2014.8	ASI
	トロント大学 Terrence Donnelly細胞・生分子研究センター	ケミカルバイオロジー分野における協力	2012.11	2017.11	CSRS
	カナダ放射光施設	放射光科学におけるJASRIも含めた3者協定	2012.11	2018.11	RSC
	オンタリオゲノム研究所	オーダーメイド医療における協力	2014.3	2018.3	IMS
	トロント大学	生命科学分野における夏季学生受け入れ	2015.3	2020.3	CLST
	国家光学研究所 光学・ホトニクス・レーザーセンター	レーザー開発協力	2016.5	2018.3	RAP
ギリシャ共和国	生物医学研究センター "Alexander Fleming"	ゲノム科学分野における協力	2002.1	2008.1	GSC
	パトラス大学 医学部 生理学部神経生理ユニット	脳科学分野における協力	2003.4	2006.3	BSI
	パトラス大学 衛生科学院 薬理学科	医科学分野における協力	2014.9	2019.9	IMS
ジョージア	トビリシ州立大学	遺伝学・ゲノム科学分野における協力	2011.5	2016.5	CLST
シンガポール共和国	テマセク生命科学研究所	発生物学における研究交流	2003.7	2014.5	CDB
	科学技術研究庁 (A*STAR)	包括的協力覚書	2005.9	2022.3	
	南洋理工大学 理学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011.8	2021.8	
	南洋理工大学	包括的学術・研究協力および交流	2011.9	2021.9	
	国立シンガポール大学	包括的学術・研究協力および交流	2012.1	2022.1	
	南洋理工大学	人間生物学・脳神経科学に関する覚書	2017.1	2020.1	BSI, IMS, CLST
テマセク工業専門学校	がん免疫治療に関する研究協力覚書	2017.3	2018.3	IMS	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター	
ジンバブエ共和国	アフリカ・バイオ医科学・技術研究所	遺伝子多型研究に関する協力	2009. 1	2018. 3	IMS	
	科学技術開発省	遺伝子多型研究に関する協力	2010. 3	2013. 3	IMS	
スイス連邦	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	反陽子・水素共同実験 (ASACUSA) の実施	1998.12	継続予定	ILs	
	ポールシェラー研究所	放射光科学分野における協力	2000.10	2006. 9	播磨研	
	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	スピン物理学における協力	2003. 1	2009. 1	RNC	
	ベルン大学	ゲノム科学における共同研究	2003. 7	2006. 7	GSC	
	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	低速反陽子研究 (Alphaプロジェクト) の実施	2005.12	2013.12	ILs	
	ポール・シェラー研究所	放射光科学におけるJASRIとの3者協定 (前述、2000年10月からの2者協力の後継)	2006.10	2018. 9	RSC	
	ポール・シェラー研究所	加速器科学分野における協力	2008. 5	2017. 5	RNC	
	スイス連邦工科大学チューリッヒ校	包括的協力協定	2009.12	2020. 7		
	スイス連邦工科大学チューリッヒ校	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による博士課程学生の受入れ (当初、ETHZ生物システム科学・工学科と締結したものを2017年1月付で全学対象として更新)	2012. 3	2022. 1		
	テラ財団	放射光科学における協力 (欧州合同原子核研究機関でのテラ財団による実験のための機器提供)	2013. 4	2013.12	RSC	
	スイス連邦工科大学ローザンヌ校	脳科学分野における協力 (Human Brain Projectのグラントに関する協定)	2013.10	2016. 3	BSI	
	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	核物理分野における協力 (マイクロパターンガス検出器の開発とその読み出し回路の共同開発への参加)	2014. 1	2018.12	RNC	
	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	核物理分野における協力 (ALICE実験に関する連携と交流)	2014. 5	継続予定	RNC	
	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	両機関間の複数の実験プロジェクト全体にかかる枠組み協力協定	2014. 8	無期限		
	ポール・シェラー研究所	中性子光学素子の研究開発に関する学術協力覚書 (京大・原子炉実験所との3者覚)	2017. 3	2022. 3	RAP	
スウェーデン王国	ルント大学	原子物理学、ナノテクノロジー分野での協力	1995. 7	2013. 3	ILs	
	ストックホルム大学	原子物理学分野における協力	2000.10	2015.10	ILs	
	カロリンスカ研究所	オミックス科学における協力合意書	2001.11	2008. 3	GSC	
	カロリンスカ研究所	研究者等の交流、情報の交換 (共同セミナー・シンポジウム開催含む)、研究材料の交換、共同プロジェクトの実施	2004.10	2021. 1		
	カロリンスカ研究所	脳科学分野における研究者・大学院生の交流	2007. 4	2012. 3	BSI	
	ウメア大学 統合医学生物学部	脳科学分野における共同研究	2007.10	2011. 3	BSI	
	リンショピン大学	脳科学分野における共同研究	2008. 4	2010. 3	BSI	
	ルント大学	ナノエレクトロニクス分野における協力	2008.10	2018. 9	CEMS	
	カロリンスカ研究所 細胞分子生物学科	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2009. 3	2019. 3		
	ウメア大学、スウェーデン農業科学大学 ウメア植物センター	植物科学分野における協力	2010. 1	自動更新	CSRS	
	カロリンスカ研究所	短期国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度の実施	2011. 3	2021. 3		
	スウェーデン農業科学大学 森林菌類学・植物病理学科	糖鎖生物学における協力	2012. 6	2017. 6	ILs	
	カロリンスカ研究所 アルツハイマー病研究センター	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2012. 7	2017. 7		
	スウェーデン王立工科大学 化学工学院 繊維高分子化合物工学科	バイオマス工学分野における協力	2012. 7	2017. 7	CSRS	
	ルント大学 MAX IV研究所	放射光研究に関するJASRIを含む3者覚書	2014. 7	2019. 7	RSC	
	カロリンスカ研究所 生物科学・栄養学科	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による博士課程学生の受入れ	2016.10	2021. 9		
	スペイン王国	アルカラ大学 宇宙空間プラズマ及び宇宙素粒子グループ	計算科学分野における協力	2008. 2	継続予定	ILs
		Pompeu Fabra大学	発生生物学における協力	2012. 7	2017. 7	CDB
		バルセロナ生物医学研究所	発生生物学における協力	2012. 8	2017. 7	CDB

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
スペイン王国	ゲノム制御センター私立財団	発生生物学における協力	2012.9	2019.9	CDB
	スペイン国立研究評議会	脳科学分野における協力 (EUのグラントに関する協定)	2013.10	2016.9	BSI
	カナリア天文物理研究所	宇宙物理学に関する基本協力覚書	2016.5	2018.3	RAP
	カナリア天文物理研究所	宇宙物理学 (CMB偏光望遠設置観測) 協力に関する協定	2016.12	2018.3	RAP
スロベニア共和国	国立化学研究所	システム計算生物学における協力	2006.11	2009.11	ASI
タイ王国	タイ科学技術研究所、カセサート大学	生物学における研究者交流等	1996.4	2004.3	DRI
	カセサート大学	分子生物学における研究者交流等	1999.9	2006.9	DRI
	国立放射光センター	放射光科学に関するJASRIとの3者覚書	2006.3	2021.3	RSC
	保健省医科学局	病理遺伝学における協力	2006.5	2018.3	IMS
	タイ・ライフサイエンスCOE	遺伝子多型分野における研究者交流等	2006.11	2010.11	CGM
	保健省精神衛生局	遺伝子多型分野における研究者交流等	2009.1	2013.3	IMS
	チュラボン研究所	遺伝子多型分野における研究者交流等	2010.3	2013.3	IMS
	タイ 生命科学中核研究センター	病理遺伝学における協力	2010.11	2018.3	IMS
	国立科学技術開発庁	生物工学・材料・電子・ナノ科学・ナノ技術等に関する協力	2011.2	2021.2	
	国立科学技術開発庁 ナノテック	放射光科学分野における協力	2011.6	2014.6	RSC
	マヒドン大学 理学部	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013.6	2018.6	
	生物多様性経済開発局	バイオリソースに関する協力	2014.6	2019.6	BRC
	コンケン大学 医学部薬学科	薬理遺伝学における協力 (South East Asian Pharmacogenomics Research Network (SEAPharm) 参加の協定)	2014.8	コンソーシアム終了まで	IMS
	保健省医科学局	薬理遺伝学における協力 (South East Asian Pharmacogenomics Research Network (SEAPharm) 参加の協定)	2014.9	コンソーシアム終了まで	IMS
	チュラロンコン大学 薬学部	発生生物学に関する研究協力覚書	2016.5	2021.5	CDB
	大韓民国	韓国科学技術研究院	姉妹協力協定	1989.11	2019.11
韓国生命工学研究所		生物科学分野における協力	1992.4	2003.12	
韓国化学研究所		包括的協力覚書	1994.5	2019.9	
韓国がんセンター病院		加速器科学分野における協力	1997.4	2004.4	DRI
韓国先端科学技術研究所、国立保健院		脳科学分野における3者間の協力	1999.10	無期限	BSI
浦項加速器研究所		放射光科学分野における協力	2000.1	2003.1	播磨研
韓国産業技術研究院		素形材工学分野における協力	2000.2	2020.2	ILs
浦項加速器研究所		放射光科学分野における協力	2003.4	2009.4	RSC
韓国セラミックス技術院 エネルギー環境部門		セラミック加工に関する協力	2005.10	2020.10	ILs
浦項加速器研究所		放射光技術・FEL施設に関するJASRIとの3者覚書	2005.12	2020.12	RSC
韓国生命工学研究所		包括的協力協定	2006.4	付属協定の終了まで	
アジア太平洋理論物理センター		理論物理分野における研究者交流等	2006.11	2012.11	RNC
韓国基礎科学研究所		生命分子システム基盤研究における研究者交流等	2006.12	2016.12	CLST
韓国国立がんセンター		遺伝学・薬理遺伝学に関する研究者交流等覚書	2007.6	2013.3	CGM
韓国生命工学研究所 生物評価センター		実験動物科学における共同研究等	2007.11	2012.11	BRC
韓国生命工学研究所 微生物ゲノム応用センター		実験動物科学における共同研究等	2007.11	2012.11	BRC
漢陽大学校		連携研究チームの設置と研究者交流等	2008.4	2013.4	ASI
高麗大学校 電子工学院		ナノデバイス分野での研究者交流等覚書	2008.11	2013.3	ASI
漢陽大学校 自然科学研究所		ナノエレクトロニクス分野での研究者交流等覚書	2009.2	2013.3	ASI
韓国先端科学技術研究所 生命科学生物工学院		脳科学に関する研究者交流等覚書	2009.2	2014.3	BSI
韓国ファインセラミックスセンター		ファインセラミックス加工の基礎・応用研究、研究者交流等	2009.4	2019.4	ILs



相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター	
大韓民国	漢陽大学校	博士課程学生の受入れ(国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度博士課程学生受入れ)	2009.6	2019.6		
	韓国化学研究所	共同研究協力合意書(創薬研究に向けた化学遺伝学)	2009.9	2014.9	ASI	
	浦項工科大学校	放射光科学等の分野における協力	2009.10	2012.10	RSC	
	浦項工科大学校	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2010.2	2020.2		
	国立ソウル大学校	包括的研究学術協力・交流協定	2010.5	2020.5		
	光州科学技術院 高等光技術研究所 分光センサー研究室	レーザー科学研究・フォトニクス技術開発に関する協力	2010.6	2018.3	RAP	
	光州科学技術院 極限光応用センター	放射光科学における協力	2010.7	2013.7	RSC	
	韓国生命工学研究所	ケミカルバイオロジー分野等における協力	2010.9	2019.9		
	成均館大学校	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2010.9	2015.9		
	韓国先端科学技術研究所 自然科学研究センター	低温物理学分野における協力	2010.9	2018.3	CEMS	
	国立ソウル大学校 自然科学研究科	核物理学分野における協力(仁科スクールの設置)	2010.10	更新手続中	RNC	
	高麗大学校	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2012.2	更新手続中		
	国立ソウル大学校 自然科学研究科	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2012.2	更新手続中		
	浦項工科大学校 ナノスケール材料研究室	物質科学分野における協力	2012.7	2017.7	ILs	
	基礎科学研究院 希同位体科学プロジェクト	加速器科学分野における協力	2012.10	2016.12	RNC	
	国立慶北大学校 自然科学院	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2012.12	2017.12		
	韓国先端科学技術研究所 生物科学科	発生物学分野における協力	2013.3	2021.3	CDB	
	延世大学校 理学院	スピン・重イオン物理学分野における協力	2013.5	2018.5	RNC	
	国立慶北大学校 物理学科	物理学における協力	2013.6	2018.6	RNC	
	高麗大学校 物理学科	物理学における協力	2013.8	2018.8	RNC	
	延世大学校 物理学科	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2013.10	2018.10		
	韓国カソリック大学校 自然科学院 物理学科	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2014.9	2019.9		
	梨花女子大学校 自然科学院	核物理学分野における協力	2014.9	2019.9	RNC	
	梨花女子大学校 自然科学院 物理学科	国際プログラム・アソシエイト(IPA)制度による学生の受入れ	2014.9	2019.9		
	韓国国家研究素材センター	バイオリソースに関する協力	2014.10	2019.10	BRC	
	Daewoong製薬会社	薬物動態・臨床研究開発における協力	2014.11	2015.3	RInC	
	韓国高等研究院 計算科学院	理論・計算科学分野における協力	2015.1	2018.1	iTHES	
	国立慶北大学校 大学院 応用科学工学研究科	応用科学工学分野における協力	2015.3	2018.3	ILs	
	仁荷大学校 自然科学院	核物理学分野における協力	2015.5	2020.5	RNC	
	淑明女子大学校 化学科	理論分子科学分野における協力	2015.6	2020.6	ILs	
	国立ソウル大学校 次世代ハイブリッドマニュファクチャーセンター	素形材分野における協力	2015.6	2020.6	ILs	
	基礎科学研究院	包括的研究学術協力・交流協定	2015.11	2020.11		
	国立済州大学校	素形材・3Dプリント分野における協力	2016.11	2021.11	ILs	
	浦項工科大学校 機械学習センター	機械学習を中心とした情報分野の協力	2017.3	2022.3	AIP	
	韓国先端科学技術研究所 化学科	化学分野における研究者交流等覚書	2017.2	2022.2	ILs	
	韓国先端科学技術研究所 コンピューター学院	人工知能・機械学習分野での覚書	2017.3	2022.3	AIP	
	人工知能研究所	機械学習・人工知能分野での覚書	2017.3	2022.3	AIP	
	台湾	中央研究院	包括的協力協定	2001.6	2018.1	
		国家実験研究院 国家実動物センター	実験動物科学分野での協力	2005.8	2020.7	BRC

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
台湾	国立清華大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2007.12	2017.12	
	国立放射光研究センター	放射光科学分野におけるJASRIとの3者協定	2008. 8	自動更新	RSC
	陽明大学 生物薬理科学研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008.12	2013.12	
	国家実験研究院 儀器科技研究中心	メタマテリアル・ナノフォトニクス・プラズモニクスに関する協力	2009. 9	2019. 9	ILs
	陽明大学 生物薬理科学研究所 新薬研究中心	実験動物科学分野での協力	2009. 9	2014. 9	BRC
	中央研究院 生物医科学研究所	遺伝子多型分野における協力	2010. 3	2013. 3	IMS
	陽明大学 神経科学研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011. 1	2016. 1	
	国立交通大学 理学部	先端的物理学・化学・エレクトロニクスにおける協力	2011. 2	2018. 3	
	国立交通大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011. 3	2021. 3	
	台湾科学技術省	科学技術開発協力 (2015年3月付で前身の国家科学委員会との覚書を引き継ぎ、更に新たな覚書を締結)	2011. 4	自動更新	
	国立交通大学 理学部	基礎・応用物理、化学における協力 (連携研究室設置を含む)	2012. 9	2018. 3	CEMS
	国立成功大学 国立理論科学センター (南)	凝縮物質・量子物理分野における協力	2013. 2	2018. 3	CEMS
	国立中興大學 物理学部	凝縮物質・量子物理分野における協力	2013.11	2018.11	CEMS
	中央研究院、国立台湾大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2016. 3	2021. 3	
	国立台湾師範大学	有機金属触媒に関する協力	2016. 3	2021. 3	CSRS
	国立台湾大学	包括的学術研究・交流協定 (特に、教員・ポスドク研究者による人材交流を実施)	2016. 8	2021. 8	
	中華人民共和國	中国科学院 上海薬物研究所	中国の生薬の有効成分の分析による新しい生理活性物質の探索に関する研究	1981. 6	1982. 3
中国科学院 北京空間物理研究所		中国国内の高山に大型中性子計を設置し、高精度の宇宙線共同観測を実施	1981. 9	1982. 3	DRI
中国科学院		包括的交流覚書	1982. 5	自動更新	
上海市農薬研究所		中国産土壌微生物から農薬用抗生物質の探索を実施	1983. 1	1991. 3	DRI
中国科学院 薄鋼板成形技術研究会		素形材工学分野における協力	1986.10	2013. 3	
中国科学院 近代物理研究所		加速器科学分野における協力	1988. 6	2020.11	RNC
中国科学院 高能物理研究所		中性子観測装置による宇宙線測定	1997. 5	2010. 3	
北京大学 応用物理学科		重イオン核物理～基礎核科学に関する共同研究・研究者交流等の実施	1999. 1	2018. 3	RNC
上海交通大学		生体分子工学、原子物理学分野における研究者交流等	2001. 2	2006. 2	DRI
中国科学院 上海分院		包括的協力協定	2006. 5	2019. 5	
中国蘭州生物製品研究所		実験動物科学における協力	2006.10	2016.10	BRC
中国核物理協会		日中核物理共同研究促進協議会構築に関する覚書	2006.11	更新手続中	RNC
中国科学院 化学研究所		化学及び関連分野での協力に関する覚書	2007. 8	2018. 1	
南京林業大学 森林資源環境学院		植物科学、バイオマス研究における協力 (当初、植物科学センターによる覚書、2010年5月に両分野に跨ぐ協力に変更)	2007. 3	2015. 3	BMEP、CSRS
西安交通大学		国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による博士課程学生の受入れ (当初、人居环境・建築工程学院との協定。2010年5月に包括的IPA協定に)	2007. 6	2020. 5	
中国科学院 化学研究所		化学及び関連分野での協力に関する覚書	2007. 8	2018. 1	
蘭州大学 化学・化工学院		国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2007.10	2012. 9	
北京大学		戦略協力協定 (国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度の実施、及び仁科スクールの設置・運営)	2008. 2	2018. 2	RNC
上海交通大学		包括的協力協定	2008. 2	2018. 2	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
中華人民共和国	南京大学 医学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008. 3	2018. 3	
	北京科技大学 材料科学・工程学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008. 6	2013. 6	
	大連理工大学 化工学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008. 7	2018. 7	
	湖南大学 機械・車両工学部	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008. 8	2018. 8	
	中国農業大学 生物学院	植物科学分野における協力	2009. 5	2014. 5	CSRS
	浙江大學 医学部附属第二病院	分子イメージング研究、生命分子システム基盤研究における協力	2009.10	2013. 3	CLST
	中国農業大学 生物学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2009.10	2014.10	
	上海交通大学 物理系	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2009.10	2019.10	
	華中科技大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2010. 1	2020. 1	
	西安交通大学	包括的協力協定	2010. 5	2020. 5	
	復旦大学 物理学科	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2010. 7	2015. 7	
	東北林業大学 アルカリ土壌環境科学センター	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2010. 8	2015. 8	
	華東理工大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2010.10	2020.10	
	西安交通大学	物理・化学・生命科学・工学分野での研究協力	2010.12	2018.12	
	吉林大学 白求恩医学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2010.12	2015.12	
	中国科学院 長春応用化学研究所	生体材料科学分野における協力	2011. 1	2016. 1	ILs
	中国科学技術部 国際合作局	科学技術開発協力のための覚書	2011. 6	自動更新	
	中国科学院 応用物理研究所 上海放射光源	放射光科学に関するJASRIを含めた3者覚書	2011. 9	2021. 9	RSC
	大連理工大学 化学・環境・生物科学工学部	有機化学分野における協力	2011.11	更新手続中	CSRS
	浙江大學 物理学系	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011.11	2016.11	
	吉林大学 電子科学・工程学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011.12	2016.12	
	大連理工大学 化学・環境・生物科学工学部	希土類化学・触媒研究における協力	2012. 4	2017. 4	CSRS
	中国科学院 微生物研究所	バイオリソースに関する協力	2012. 5	2017. 5	BRC
	浙江省農業科学院	バイオリソースに関する協力	2012. 5	2016. 5	BRC
	吉林大学 薬理科学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2012. 9	2017. 9	
	南京大学 物理学院	核物理学分野における協力	2012.11	2017.11	RNC
	吉林大学 薬理科学院 再生医療学科	再生医療分野における協力	2012.12	2017.12	ILs
	南京林業大学 森林資源環境学院	バイオマス研究分野における協力	2012.12	2020. 3	CSRS
	蘭州大学 核科学工学院	核物理学分野における協力	2013. 1	2018. 1	RNC
	北京計算科学研究センター	凝縮物質・量子物理分野における協力	2013. 3	2018. 3	CEMS
	ハルビン工程大学 情報通信工学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013. 6	2018. 6	
	中国科学院 上海光学精密機械研究所	光量子工学及びその関連分野での協力 (連携研究室の設置を含む)	2013. 9	2018. 9	RAP
	復旦大学 物理学科	凝縮物質・量子物理分野における協力	2013. 9	2018. 9	CEMS
	中国科学院 金属研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013.10	2018.10	
	蘭州大学 核科学工学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013.10	2018.10	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
中華人民共和国	浙江大學 医学院公衆衛生学科	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013.10	2018.10	
	清華大学	創発物性科学分野等での連携講座設置等の協力	2013.11	2020. 3	
	清華大学 物理学院	清華大学連携講座設置に関する運営取極書	2013.11	2020. 3	GEMS
	天津大学 マクロ・ナノ製造工学研究室	素形材工学分野での協力	2014. 8	2019. 8	ILs
	上海交通大学 船舶海洋建築工程学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2014. 8	2019. 8	
	上海交通大学	核物理学、レーザー物理学、光学制御技術、中性子ビーム工学、計算科学、エネルギー・環境分野等での協力	2014.11	2019.11	
	厦門大学 認知科学・知能工学系	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2015. 7	2020. 7	
	上海交通大学 環境科学工程学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2016. 2	2021. 2	
	北京中医薬大学 前臨床医療学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2016. 7	2021. 7	
	北京航空航天大学 材料科学工程学院	高分子化学に関する覚書	2016.12	2021.12	CSRS
	上海大学 コンピュータ理工学部大学院	因果推論・ソーシャルネットワーク・機械学習に関する覚書	2017. 1	2022. 1	IMS
	清華大学 免疫研究所	生医学分野(免疫、炎症、感染症)での覚書	2017. 1	2022. 1	IMS
	南京大学 新規ソフトウェア技術重点実験室ラムダグループ	機械学習に関する覚書	2017. 2	2022. 2	AIP
	南開大学 物理学院	原子核物理学分野における研究者交流等	2017. 3	2022. 3	RNC
	中国科学院 近代物理研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2017. 3	2022. 3	
	デンマーク王国	コペンハーゲン大学	ゲノム科学分野における研究者交流等	2007. 1	2007.12
オーフス大学 材料結晶学センター		放射光科学分野における協力	2010. 1	2014.12	RSC
コペンハーゲン大学 理学部 生物学科		国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2014.11	2019.11	
ドイツ連邦共和国	マックスプランク協会	包括研究協力協定	1984. 6	自動更新	
	フランクフルト(ゲーテ)大学	原子物理学分野における協力	1992. 4	2012.12	ASI
	ドイツ研究財団	大学院生の受入れ	1992. 5	無期限	
	重イオン科学研究所	核物理学分野における協力	1995. 5	2007.12	RNC
	コンスタンツ大学	低温物理学分野における協力	2003. 4	2018. 4	GEMS
	ライプチヒ大学 心理学部	脳科学分野における協力	2003. 4	2007. 3	BSI
	マックスプランク分子細胞生物学・遺伝学研究所	発生生物学分野における協力	2004. 2	2020.12	CDB
	独環境衛生研究センター(ヘルムホルツ協会)	発生生物学分野における協力	2005. 7	2012. 3	CDB
	マックスプランク免疫研究所、感染症生物学研究所	免疫学分野における研究交流等	2005.11	無期限	IMS
	マックスプランク分子植物生理学研究所	植物科学分野における研究交流等	2006. 6	自動更新	CSRS
	ドイツ電子シンクロトロン研究所(DESY)(ヘルムホルツ協会)	放射光科学分野でのJASRIを含む3者協力	2007. 2	2019. 2	RSC
	ライプニッツ植物生化学研究所	植物科学分野における研究交流等	2007. 8	2017. 2	CSRS
	マックスプランク物理学研究所	計算科学分野(高エネルギー宇宙線観測)における協力	2007.11	2013.11	ILs
	ドイツ学術交流会	研究実習奨学生プログラムの実施	2008. 3	2011.12	
	バーンシュタインセンター フライブルグ	脳科学分野における研究者・大学院生交流、共同研究等	2008. 4	2018. 9	BSI
	ミュンヘン工科大学	包括的学術研究協力・交流協定	2010. 1	2020. 1	
	重イオン科学研究所(ヘルムホルツ協会)	重イオン核物理に関する共同研究・研究者交流等	2010. 4	2020. 3	RNC
	ミュンヘン工科大学	包括協定付属共同研究契約	2010. 6	2020. 6	RNC
	マックスプランク協会(分子生理学研究所、コロイド・界面研究所)	連携センター設置(2010年1月に準備覚書を締結)	2011. 3	2022. 2	ASI

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
ドイツ連邦共和国	テュービンゲン大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011.5	2021.5	
	重イオン科学研究所 ガンマ分光部門、欧州ガンマ線分光設備所有委員会	原子核物理分野における協力	2011.10	2016.12	RNC
	グライスパルト大学 理学部	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2012.4	2017.4	
	ザールランド大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2012.10	2017.10	
	ユーリッヒ研究所 ユーリッヒ・スーパーコンピュータセンター (ヘルムホルツ協会)	計算科学・計算機科学分野での相互の協力	2013.10	2019.10	AICS
	テュービンゲン大学 天文・天体物理研究所	天体物理・宇宙科学における協力	2013.12	2018.12	ILs
	ビールフェルト大学 工学部	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2014.1	2019.1	
	重イオン科学研究所 R3Bコラボレーション	原子核物理分野における協力	2014.12	更新予定	RNC
	欧州XFEL施設 GmbH	放射光科学分野における協力	2015.2	2020.2	RSC
	ダルムシュタット工科大学 物理学科	理論原子・核物理学に関する協力	2015.10	2020.10	RNC
	ベルリン自由大学 数学・計算科学科	発生物学分野における協力	2015.9	2020.9	CDB
	ダルムシュタット工科大学 認知科学センター	機械学習、認知科学、インテリジェントシステム分野の覚書	2017.2	2022.2	AIP
	ニュージーランド	クラウン研究所	姉妹協定	1993.7	2009.3
ウェリントン・ヴィクトリア大学		ケミカルバイオロジー分野における協力	2009.8	2014.8	ILs
オークランド大学 モーリスウィルキンスセンター		生命科学 (免疫学、ゲノム研究、分子生物学等) 分野における覚書	2011.10	2018.3	IMS
ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー 原子核研究所	原子核物理学分野における協力	2005.2	2020.3	RNC
フィリピン共和国	フィリピン カラバオセンター	動物獣医学分野における協力	2013.2	2017.3	ILs
	フィリピン大学マニラ校	医科学・ゲノム科学に関する研究・人材交流協力覚書	2016.5	2019.5	PMI
	フィリピン大学ディリマン校、国立物理学研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による博士課程学生の受入れ	2016.9	2021.9	
フィンランド共和国	ユバスキラ大学	核物理学分野における協力	1991.9	自動更新	RNC
	ヘルシンキ工科大学	姉妹協定 (ロボティクス分野および脳科学分野)	1995.10	2005.10	
	ヘルシンキ大学	包括的協力協定	2006.10	2011.10	
ブラジル連邦共和国	連邦セアラ大学 海洋科学研究所	—	2010.7	2015.7	
	アマゾナス州立大学	包括的協力協定	2013.3	2018.3	
	アマゾナス州立大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013.3	2018.3	
フランス共和国	バスツール研究所	包括協定	1984.1	自動更新	
	国立科学研究センター 国立核物理素粒子物理研究機関 (IN2P3)	重イオン物理学に関する協力	1985.5	自動更新	RNC
	ストラスブール大学	包括的学術研究協力・交流協定	1996.5	2021.8	
	原子力・代替エネルギー庁 (CEA)	加速器科学 (イオン源分野)	2001.5	2004.5	RNC
	国立科学研究センター (CNRS)	包括的協定	2001.11	2021.8	
	エコール・ノルマル・シュペリエール	脳科学分野における協力	2004.9	自動更新	BSI
	国立衛生医学研究所	糖質機能研究に関する協力	2005.12	2010.12	ASI
	欧州放射光施設	放射光研究に関するJASRIとの3極覚書	2006.3	2021.3	RSC
	フランス国立重イオン加速器研究施設	核物理分野における協力 (日仏連携研究室の設置)	2007.1	更新手続中	RNC
	レンヌ第一大学 化学ユニット	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2009.8	2014.8	
	欧州研究ネットワーク	テラヘルツ波に関する半導体源と検知器に関する、欧州研究ネットワーク (GDRE) への参加	2010.1	2013.12	RAP
	国立衛生医学研究所	生命科学分野での若手研究者交流	2012.10	2015.10	
	カーン大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2012.12	2017.12	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
フランス共和国	カーン大学 物理学科 SIMEM大学院	核物理学に関する協力	2013. 1	2018. 1	RNC
	SOLEIL放射光施設	放射光科学に関するJASRIを含めた3者覚書	2013. 7	2021. 6	RSC
	原子力・代替エネルギー庁 物質科学局	核物理学分野における協力	2013. 9	2017. 8	RNC
	カーン大学 物理学科	物理学に関する協力	2014. 3	2019. 3	ILs
	国立科学研究センター 計算施設	計算科学分野における協力	2014. 4	2019. 4	AICS
	リヨン第一大学 物理・天体物理学大学院、リヨン核物理研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2014. 9	2019. 9	
	国立科学研究センター、原子力・代替エネルギー研究所	EXPANDプロジェクト (RIBF・SAMURAI磁気分析装置に中性子検出器設置) のコンソーシアム協定 (東工大・理学院を含む)	2015. 1	2018.12	RNC
	ストラスブール大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2015. 4	2020. 3	
	パリ南大学	国際協力のための覚書 (核物理学分野を含む学生の交流、短期間の講師/研究者受入、学位研究の共同指導、共同研究、研究インフラの利用、科学的情報交換、サマースクール等の開催、大学/機関間の事務交流等)	2015.10	2020.10	
	パリ南大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2015.10	2020.10	
	原子力・代替エネルギー研究所	高性能計算科学・計算機科学分野の協力プログラム	2017. 1	2022. 1	AICS
ブルガリア共和国	ソフィア工科大学 応用物理研究所	レーザー物理学における協力	1997.11	2013. 3	ASI
	国立アグロバイオ研究所	植物科学分野における協力	2001.12	2005.12	PSC
	ソフィア医科大学、トクダ病院	遺伝子多型研究における協力	2006. 7	2013. 3	IMS
	原子核研究・原子力研究所	原子核物理学における協力	2010. 4	2015. 4	RNC
ベトナム社会主義共和国	ベトナム原子力委員会	核科学に関する協力	1997. 3	自動更新	RNC
	ベトナム原子力委員会、原子力科学技術研究所	計算科学および核物理学における協力	2002. 3	2007. 3	DRI
	ベトナム科学技術院 物理学研究所	核物理学に関する協力	2009. 4	2019. 4	RNC
	ベトナム科学技術院 ゲノム研究所	遺伝子多型研究における協力	2010. 1	2018. 3	IMS
	ハノイ科学大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011. 9	2021. 9	
	ベトナム農業科学院	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011.10	2021.10	
	ベトナム農業科学院 農業遺伝学研究所	植物科学分野 (キャッサバ分子育種研究) における協力	2013. 5	2018. 5	CSRS
	ベトナム農業科学院 農業遺伝学研究所	植物科学分野 (ダイズ分子育種研究) における協力	2015. 2	2018. 3	CSRS
ベルギー王国	フランダース生物工学研究所	植物科学分野における協力	2007. 7	2013. 3	PSC
	レーヴェンカトリック大学 理学部物理学科	物理天文学に関する協力	2010. 2	2016. 2	RNC
ポーランド共和国	ポーランド科学アカデミー ニーボドニチャニェスキ核物理研究所	核物理に関する協力	2012. 6	2017. 6	RNC
ボツワナ共和国	ボツワナ共和国鉱物水資源省エネルギー局、ボツワナ共和国農務省農業研究局、ボツワナ大学	地球規模課題対応国際科学技術協力事業 (SATREPS) (JST, JICA) 「ボツワナ乾燥・冷害地域におけるヤトロファ・バイオエネルギー生産のシステム開発」の実施	2012. 4	2017. 3	CSRS
香港	香港大学 理学部・物理学科	核物理に関する協力	2015. 9	2020. 9	RNC
マレーシア	マラヤ大学	遺伝子多型研究における協力	2006. 1	2007.11	SNP
	マラヤ大学	遺伝子多型研究における協力	2006. 8	2018. 3	IMS
	マレーシア科学大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008.11	2018.11	
	マレーシア科学大学 生物科学科	バイオマス科学・工学に関する協力	2011. 5	2016. 5	CSRS
	マラヤ大学	包括的学術・研究協力	2011. 9	2021. 9	
	マレーシア科学大学	ケミカルバイオロジーによるバイオプローブ探索協力 (連携研究室の設置含む)	2011. 9	2014. 9	ASI
	マレーシア科学大学 産業技術科	免疫・アレルギー分野での協力	2012. 1	2018. 3	IMS
	マレーシア科学大学	包括的協力覚書	2012. 5	2017. 5	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
マレーシア	マレーシア科学大学 遠隔教育学科 計算化学物理学研究室	ミュオン科学分野における協力	2012.11	2018. 3	RNC
	マラヤ大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013. 1	2018. 1	
	マレーシア科学大学	エイジング科学センターの設置と協力	2015. 2	2020. 2	
	マレーシア工科大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による博士課程学生の受入れ	2016. 8	2021. 8	
南アフリカ共和国	ブランドバイオ	植物科学に関する研究者交流等覚書	2006. 6	2010. 8	PSC、RNC
	ブランドバイオ	アフリカ作物育種・重イオンビーム育種に関する協力(上記の覚書の下での補足協定)	2006. 6	2010. 8	RNC
メキシコ合衆国	メキシコ国立自治大学 原子科学研究所	計算科学分野における協力	2009. 4	2015. 4	ILs
	メキシコ国立自治大学 原子科学研究所	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2010. 9	2015. 9	
モンゴル国	モンゴル国立大学 工・応用科学部	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2015.12	2020.12	
リトアニア共和国	国立物理科学技術研究センター	科学技術イノベーションに関する協力	2011. 5	2016. 5	
	ビリニュス・ゲディミナス工科大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2011. 9	2016. 9	
ルーマニア	ガラーチ大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2007. 5	2011. 5	
	ホリア・フルバイ物理学・原子力工学国立研究所	核物理学に関する協力	2014. 2	2019. 2	RNC
ルクセンブルク大公国	ルクセンブルク 国家研究財団	免疫学・統合生物学を含む科学的協力と財団による支援	2015.10	2018.10	
	ルクセンブルク システムズ生物医学センター	免疫学・統合生物学における協力	2014.10	2018.10	IMS
ロシア連邦	ロシア人民友好大学	ナノテクノロジーに関する協力	1996	1998	DRI
	ブドゥカ核物理学研究所	核物理学に関する協力(低エネルギー用電子線源開発)	1997. 3	1999. 7	播磨研
	国際科学技術センター	理研・ブドゥカ物理学研究所間の協力支援	1997. 3	1999. 7	
	ミュオン触媒核融合研究調整センター	ミュオン科学分野における協力	1998.12	2007.12	RNC
	クルチャトフ研究所	原子核物理学分野における協力	1998.12	2020.12	RNC
	国立研究センター 理論・実験物理研究所	重イオン加速器科学に関する協力	2001. 3	2005. 3	DRI
	核研究合同研究所	重イオン核物理、加速器科学に関する協力	2001. 3	2021. 3	RNC
	タンパク質研究所	ゲノム科学分野における協力	2002.10	2006.10	GSC
	ニジニ・ノボゴロド大学、ロシア科学アカデミー 応用物理学研究所	脳科学分野における3者協力	2007. 4	2012. 3	BSI
	カザン連邦大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2008. 8	2018. 8	
	カザン連邦大学 物理学研究所	複雑系物理学における協力(連携研究室の設置含む)	2010.11	2018. 3	CEMS
	モスクワ州立大学 Skobel'syn核物理研究所	計算科学分野(高エネルギー宇宙線観測)における協力	2012. 6	2017. 6	ILs
	ロシア連邦南大学 生物学及び生物学アカデミー	オミックス科学における協力	2013. 7	2018. 7	CLST
	ロシア連邦南大学 生物学及び生物学アカデミー	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による学生の受入れ	2013. 8	2018. 8	
	カザン連邦大学 Alexander Butlerov化学研究所 有機化学学科	覚書(有機化学に関する研究学術材料・情報の交換、教員・研究者交流、共同会議・セミナーの実施、共同研究プロジェクトの実施等)	2013. 9	2018. 9	ILs
	カザン連邦大学 Alexander Butlerov化学研究所	有機化学における協力(連携研究室の設置含む)	2014. 6	2019. 6	ILs
	カザン大学 基礎医学生物学研究所、タタールスタンがんセンター 分子診断研究室・科学学科	予防医療研究に関する3者協力(連携研究室の設置含む)	2014.10	自動更新	PMI
カザン連邦大学 基礎医学生物学研究所	予防医療研究に関する覚書(順天堂大学を含む)	2015.10	自動更新	PMI	

相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
ロシア連邦	カザン連邦大学	包括的協力協定	2016. 5	2021. 5	
	モスクワ物理工科大学	国際プログラム・アソシエイト (IPA) 制度による博士課程学生の受入れ	2017. 3	2022. 3	

関連研究センター略語一覧 (改廃のため現在は存在しない組織も含まれます)			
AICS	計算科学研究機構	GSC	ゲノム科学総合研究センター
AIP	革新知能統合研究センター	ILs	主任研究員研究室群
ASI	基幹研究所	IMS	統合生命医科学研究センター
BMEP	バイオマス工学研究プログラム	iTHES	理論科学連携研究推進グループ
BRC	バイオリソースセンター	OSC	オミックス基盤研究領域
BSI	脳科学総合研究センター	PMI	予防医療・診断技術開発プログラム
CDB	発生・再生科学総合研究センター／ 多細胞システム形成研究センター	PSC	植物科学研究センター
		QBiC	生命システム研究センター
CEMS	創発物性科学研究センター	RAP	光量子工学研究領域
CGM	ゲノム医科学研究センター	RCAI	免疫アレルギー科学総合研究センター
CLST	ライフサイエンス技術基盤研究センター	RInC	イノベーション推進センター
CLST/DGT	同上／機能性ゲノム解析部門	RNC	仁科加速器研究センター
CSRS	環境資源科学研究センター	RSC	放射光科学総合研究センター
DRI	中央研究所	播磨研	播磨研究所
FRS	フロンティア研究システム		



## 理化学研究所と協力関係にある研究機関

地域	国・地域名	研究機関	欧文表記	開始時期
アジア・中東	イスラエル国	ワイツマン研究所	Weizmann Institute of Science	1996. 7
	インド	アミティー大学 応用科学研究所	Amity Institute of Applied Sciences, Amity University Uttar Pradesh	2015. 3
		インド科学教育研究大学 (ブネ)	Indian Institute of Science Education and Research Pune	2013. 4
		インド科学振興研究所	Indian Association for the Cultivation of Science	2012.10
		インド工科大学カラガプール校	Indian Institute of Technology Kharagpur	2014. 8
		インド工科大学ボンベイ校	Indian Institute of Technology Bombay	2009. 3
		科学技術省科学技術局	Department of Science and Technology	2006.12
		科学技術省生物工学局	Department of Biotechnology	2013. 9
		国立生物科学センターコンソーシアム	National Center for Biological Sciences Consortium	2013. 9
		国立脳科学研究センター	National Brain Research Centre	1999.10
		ジャワハルラル・ネルー先端科学研究センター	Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research	2013. 6
		インドネシア共和国	インドネシア大学	Universitas Indonesia
	ガジャマダ大学		Universitas Gadjah Mada	2008. 6
	技術評価応用庁		The Agency for the Assessment and Application of Technology of the Republic of Indonesia	1989.11
	スラバヤ工科大学		Institut Teknologi Sepuluh Nopember	2008. 6
	ハサヌディン大学		Universitas Hasanuddin	2014.12
	パジャジャラン大学		Universitas Padjadjaran	2008. 6
	バンドン工科大学		Institut Teknologi Bandung	2008. 6
	Yarsi大学		Yarsi University	2012. 8
カタール国	ハマッド医療法人 がん治療・研究センター	The National Center for Cancer Care and Research, Hamad Medical Corporation	2016. 4	
シンガポール共和国	科学技術研究庁 (A*STAR)	Agency for Science, Technology and Research	2005. 9	
	国立シンガポール大学	National University of Singapore	2012. 1	
	テマセク工業専門学校	Temasek Polytechnic	2017. 3	
	南洋理工科大学	Nanyang Technological University	2011. 9	
タイ王国	国立科学技術開発庁	National Science and Technology Development Agency	2011. 2	
	国立放射光センター	Synchrotron Light Research Institute	2006. 3	
	コンケン大学	Khon Kaen University	2014. 8	
	生物多様性経済開発局	Biodiversity-Based Economy Development Office	2014. 6	
	タイ 生命科学中核研究センター	Thailand Center of Excellence for Life Sciences	2010.11	
	チュラロンコン大学	Chulalongkorn University	2016. 5	
	保健省医科学局	Department of Medical Science, Ministry of Public Health	2006. 5	
	保健省精神衛生局 精神衛生部	Department of Mental Health, Ministry of Public Health	2009. 1	
	マヒドン大学	Mahidol University	2013. 6	
大韓民国	延世大学校	Yonsei University	2013. 5	
	韓国科学技術研究院	Korea Institute of Science and Technology	1989.11	
	韓国化学研究所	Korea Reserch Institute of Chemical Technology	1994. 5	
	韓国カソリック大学校	The Catholic University of Korea	2014. 9	
	韓国高等研究院	Korea Institute for Advanced Study	2015. 1	
	韓国国家研究素材センター	Korea National Research Resource Center	2014.10	
	韓国産業技術研究院 大邱・慶北実用化技術部門 緑色転換技術センター	Green Transformation Technology Center, Daegu-Gyeongbuk Technology Application Division, Korea Institute of Industrial Technology	2000. 2	
	韓国生命工学研究所 (KRIBB)	Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology	2006. 4	
	韓国生命工学研究所 ケミカルバイオロジー研究センター	Chemical Biology Research Center, KRIBB	2010. 9	
	韓国セラミックス技術院 エネルギー環境部門	Energy and Environmental Division, Korea Institute of Ceramic Engineering and Technology	2005.10	
	韓国先端科学技術研究所 (KAIST)	Korea Advanced Institute of Science and Technology	1999.10	

地域	国・地域名	研究機関	欧文表記	開始時期
アジア・中東	大韓民国	韓国先端科学技術研究所 自然科学研究センター	Natural Science Research Center, KAIST	2010. 9
		韓国ファインセラミックスセンター	Kangwon Fine Ceramics Center	2009. 4
		漢陽大学校	Hanyang University	2009. 6
		基礎科学研究院	Institute for Basic Science	2015.11
		光州科学技術院 高等光技術研究所	Advanced Photonics Research Institute, Gwangju Institute of Science & Technology	2010. 6
		高麗大学校	Korea University	2012. 2
		国立慶北大学校	Kyungpook National University	2012.12
		国立ソウル大学校	Seoul National University	2010. 5
		国立ソウル大学校 次世代ハイブリッドマニュファクチャーセンター	Next Generation Hybrid Manufacturing Center, Seoul National University	2015. 6
		国立済州大学校	Jeju National University	2016.11
		国立保健院	National Institute of Health, Korea	1999.10
		淑明女子大学校	Sookmyung Women's University	2015. 6
		仁荷大学校	Inha University	2015. 5
		人工知能研究所	Artificial Intelligence Research Institute	2017. 3
		浦項工科大学校 (POSTEC)	Pohang University of Science and Technology	2010. 2
		浦項工科大学校 機械学習センター	Machine Learning Center, POSTEC	2017. 3
		浦項工科大学校 浦項加速器研究所	Pohang Accelerator Laboratory, POSTEC	2005.12
		梨花女子大学校	Ewha Womans University	2014. 9
		Daewoong製薬会社	Daewoong Pharmaceutical Co., Ltd.	2014.11
		台湾	国家実験研究院 儀器科技研究中心	Instrument Technology Research Center, National Applied Research Laboratory
	国家実験研究院 国家実動物センター		National Laboratory of Animal Center, National Applied Research Laboratory	2005. 8
	国立交通大学		National Chiao Tung University	2011. 2
	国立清華大学		National Tsing Hua University	2007.12
	国立成功大学 国立理論科学センター (南)		National Center for Theoretical Sciences (South), National Cheng Kung University	2013. 2
	国立台湾師範大学		National Taiwan Normal University	2016. 3
	国立台湾大学		National Taiwan University	2016. 3
	国立中興大学		National Chung Hsing University	2013.11
	国立放射光研究センター		National Synchrotron Radiation Research Center	2008. 8
	台湾科学技術省		Ministry of Science and Technology, Taiwan	2015. 3
	中央研究院		Academia Sinica	2001. 6
	中華人民共和国	厦門大学	Xiamen University	2015. 7
		華中科技大学	Huazhong Science and Technology University	2010. 1
		華東理工大学	East China University of Science and Technology	2010.10
		吉林大学	Jilin University	2011.12
湖南大学		Hunan University	2008. 8	
西安交通大学		Xi'an Jiaotong University	2010. 5	
上海交通大学		Shanghai Jiatong University	2008. 2	
上海大学		Shanghai University	2017. 1	
清華大学		Tsinghua University	2013.11	
清華大学 免疫研究所		Institute for Immunology, Tsinghua University	2017. 1	
浙江省農業科学院		Zhejiang Academy of Agricultural Sciences	2012. 5	
浙江大学		Zhejiang University	2011.11	
大連理工大学		Dalian University of Technology	2008. 7	
中国科学院 (CAS)		Chinese Academy of Sciences	1982. 5	
中国科学院 応用物理研究所		Shanghai Institute of Applied Physics, CAS	2011. 9	
中国科学院 化学研究所		Institute of Chemistry, CAS	2007. 8	
中国科学院 金属研究所		Institute of Metal Research, CAS	2013.10	

地域	国・地域名	研究機関	欧文表記	開始時期
アジア・中東	中華人民共和国	中国科学院 近代物理研究所	Institute of Modern Physics, CAS	1988. 6
		中国科学院 上海光学精密機械研究所	Shanghai Institute of Optics and Fine Mecanics, CAS	2013. 9
		中国科学院 上海分院	The Shanghai Branch of the Chinese Academy of Science	2006. 5
		中国科学院 微生物研究所	Institute of Microbiology, CAS	2012. 5
		中国科学技術部 国際合作局	Department of International Cooperation, Ministry of Science and Technology	2011. 6
		中国核物理協会	Chinese Nuclear Physics Society	2006.11
		天津大学	Tianjing University	2014. 8
		南開大学	Nankai University	2017. 3
		南京大学	Nanjing University	2008. 3
		南京林業大学	Nanjing Forestry University	2012.12
		ハルビン工程大学	Harbin Engineering University	2013. 6
		復旦大学	Fudan University	2013. 9
		北京計算科学研究センター	Beijing Computational Science Research Center	2013. 3
		北京航空航天大学	Beihang University	2016.12
		北京大学	The Peking University	1999. 1
		北京中医薬大学	Beijing University of Chinese Medicine	2016. 7
		蘭州大学	Lanzhou University	2013. 1
		フィリピン共和国	フィリピン大学ディリマン校	University of the Philippines Diliman
	フィリピン大学マニラ校		University of the Philippines Manila	2016. 5
	ベトナム社会主義共和国	ハノイ科学大学	Hanoi University of Science	2011. 9
		ベトナム科学技術院 (VAST) ゲノム研究所	Institute of Geneome Research, Vietnam Academy of Science and Technology	2010. 1
		ベトナム科学技術院 物理学研究所	Institute of Physics, VAST	2009. 4
		ベトナム原子力委員会	The Vietnam Atomic Energy Commission	1997. 3
		ベトナム農業科学院 (VAAS)	Vietnam Academy of Agricultural Sciences	2011.10
		ベトナム農業科学院 農業遺伝学研究所	Agricultural Genetics Institute, VAAS	2013. 5
	香港	香港大学	The University of Hong Kong	2015. 9
	マレーシア	マラヤ大学	University of Malaya	2006. 8
		マレーシア科学大学	Universiti Sains Malaysia	2008.11
マレーシア工科大学		Universiti Teknologi Malaysia	2016. 8	
モンゴル国	モンゴル国立大学	National University of Mongolia	2015.12	
アフリカ	ジンバブエ共和国	アフリカ・バイオ医科学・技術研究所	African Institute of Biomedical Science and Technology	2009. 1
大洋州	オーストラリア連邦	オーストラリア原子力科学技術機構	Australian Nuclear Science and Technology Organization	2011. 8
		オーストラリア国立大学 国立計算機インフラストラクチャー	National Computational Infrastructure, Australia National University	2012.11
		オーストラリア放射光施設	Australian Synchrotron	2008.12
		クイーンズランド大学 クイーンズランド脳研究所	Queensland Brain Institute, The University of Queensland	2007. 9
		マッコーリー大学	Macquarie University	2014. 4
		モナッシュ大学	Monash University	2014. 8
	連邦科学産業研究機構	Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization	1984. 5	
ニュージーランド	オークランド大学 モーリスウィルキンスセンター	Maurice Wilkins Centre, The University of Auckland	2011.10	
欧州	アイルランド	ダブリン大学 アイルランドシステムバイオロジー研究所	Systems Biology Ireland, University College Dublin	2010. 3
	アルメニア共和国	アルメニア国立科学アカデミー L. A. オーベリ生理学研究所	L. A. Orbeli Institute of Physiology, National Academy of Science of Armenia	2000.10
	イタリア共和国	欧州理論核物理学センター	European Center for Theoretical Studies in Nuclear Physics and Related Areas	2013. 1
癌研究財団 分子癌研究所		I'Istituto FIRC di Oncologia Molecolare (FIRC: Fondazione Italiana per la Ricerca sul Cancro)	2014. 7	
国際高等学院		Scuola Internazionale Superiore di Studi Avanzati	2011. 5	

地域	国・地域名	研究機関	欧文表記	開始時期
欧州	イタリア共和国	国立核物理研究所	Istituto Nazionale di Fisica Nucleare	1991.10
		トリノ大学	Università degli Studi di Torino	2007.10
		トレント大学	Università degli Studi di Trento	2016. 2
		ローマ トル・ヴェルガータ大学	Università degli Studi di Roma Tor Vergata	2008. 3
	ウクライナ	ウクライナ国立工科大学 (キエフ工科大学)	National Technical University of Ukraine (Kyiv Polytechnic Institute)	2013. 6
	英国	セインズベリー研究所	The Sainsbury Laboratory	2010. 3
		科学技術施設会議	Science and Technology Facilities Council	1990. 9
		サリー大学	University of Surrey	2015. 8
		ダイヤモンド放射光施設 (DIAMOND)	Diamond Light Source Ltd.	2006. 3
		リバプール大学	University of Liverpool	2009. 1
		レディング大学	University of Reading	2017. 2
	オーストリア共和国	ウィーン天然資源・生命科学大学	University of Natural Resources and Life Sciences	2012.10
		ステファン・マイヤー原子核物理研究所	Stefan Meyer Institute for Subatomic Physics	2015. 2
	オランダ王国	アイントホーフェン工科大学	Technische Universiteit Eindhoven	2015. 2
		アムステルダム自由大学	VU University Amsterdam	2015. 9
	ギリシャ共和国	パトラス大学	Patras University	2014. 9
	スイス連邦	欧州合同原子核研究機関 (CERN)	Conseil Européen pour la Recherche Nucleaire	1993.12
		スイス連邦工科大学チューリッヒ校	Swiss Federal Institute of Technology Zurich (ETH Zurich)	2009.12
		ポール・シェラー研究所 (PSI)	Paul Scherrer Institute	2006.10
	スウェーデン王国	ウメア大学、スウェーデン農業科学大学 ウメア植物センター	Umea Plant Science Center, Umea University & Swedish University of Agricultural Sciences	2010. 1
		カロリンスカ研究所	Karolinska Institute	2004.10
		カロリンスカ研究所 アルツハイマー病研究センター	Alzheimer's Disease Research Center, Karolinska Institute	2012. 7
		スウェーデン王立工科大学	KTH Royal Institute of Technology	2012. 7
		スウェーデン農業科学大学	Swedish University of Agricultural Sciences	2012. 6
		ルント大学	Lund University	2008.10
		ルント大学 MAX IV研究所	MAX IV Laboratory, Lund University	2014. 7
		スペイン王国	アルカラ大学	University of Alcala
	カナリア天文物理研究所		Instituto de Astrofisica de Canarias	2016. 5
	ゲノム制御センター私立財団		Fundacio Privada Centre de Regulacio Genomica	2012. 9
	バルセロナ生物医学研究所		Institute for Resarch in Biomedicine, Barcelona	2012. 8
	Pompeu Fabra大学		Universitat Pompeu Fabra	2012. 7
	デンマーク王国	コペンハーゲン大学	University of Copenhagen	2014.11
ドイツ連邦共和国	欧州XFEL施設 GmbH	European X-Ray Free Electron Laser Facility GmbH	2015. 2	
	グライズバルト大学	Ernst-Moritz-Arndt-Universität Greifswald	2012. 4	
	コンスタンツ大学	Universität Konstanz	2003. 4	
	ザールランド大学	Universität des Saarlandes	2012.10	
	重イオン科学研究所 (ヘルムホルツ協会) (GSI)	GSI Helmholtzzentrum für Schwerionenforschung	2010. 4	
	ダルムシュタット工科大学	Technische Universität Darmstadt	2015.10	
	ダルムシュタット工科大学 認知科学センター	Centre for Cognitive Science, Technische Universität Darmstadt	2017. 2	
	チュービンゲン大学	Universität Tübingen	2011. 5	
	チュービンゲン大学 天文・天体物理研究所	Institut für Astronomie und Astrophysik, Universität Tübingen	2013.12	
	ドイツ研究財団	Studienstiftung des Deutschen Volkes	1992. 5	
	ドイツ電子シンクロトロン研究所 (ヘルムホルツ協会) (DESY)	The Deutsches Elektronen-Synchrotron	2007. 2	
	バーンシュタインセンター フライブルグ	Bernstein Center Freiburg	2008. 4	
	ビールフェルト大学	Universität Bielefeld	2014. 1	
	ベルリン自由大学	Freie Universität Berlin	2015. 9	
	マックスプランク協会	Max-Planck-Gesellschaft	1984. 6	
マックスプランク感染症生物学研究所	MPI für Infektionsbiologie	2005.11		

地域	国・地域名	研究機関	欧文表記	開始時期
欧州	ドイツ連邦共和国	マックスプランクコロイド・界面研究所	MPI für Kolloid- und Grenzflächenforschung	2011. 3
		マックスプランク分子細胞生物学・遺伝学研究所	MPI für molekulare Zellbiologie und Genetik	2004. 2
		マックスプランク分子植物生理学研究所	MPI für Molekulare Pflanzenphysiologie	2006. 6
		マックスプランク分子生理学研究所	MPI für Molekulare Physiologie	2011. 3
		マックスプランク免疫研究所	MPI für Immunbiologie und Epigenetik	2005.11
		ミュンヘン工科大学	Technische Universität München	2010. 1
		ユーリッヒ研究所 ユーリッヒ・スーパーコンピュータセンター (ヘルムホルツ協会)	Jülich Supercomputing Centre, Forschungszentrum Jülich GmbH	2013.10
		ライプニッツ植物生化学研究所	Leibniz-Institut für Pflanzenbiochemie	2007. 8
	ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー 原子核研究所 (MTA-Atomki)	Institute of Nuclear Research of the Hungarian Academy of Sciences	2005. 2
	フィンランド共和国	ユバスキラ大学	The University of Jyväskylä	1991. 9
	フランス共和国	エコール・ノルマル・シューペリエール (パリ高等師範学校)	École Normale Supérieure	2004. 9
		欧州放射光施設 (ESRF)	The European Synchrotron Radiation Facility	2006. 3
		カーン・ノルマンディー大学	Université Caen Normandie	2013. 1
		クロード・ベルナール リヨン第1大学 リヨン核物理研究所	Institut de Physique Nucléaire de Lyon, Université Claude Bernard Lyon	2014. 9
		原子力・代替エネルギー研究所 (CEA)	Commissariat à l'énergie atomique et aux énergies alternatives	2007. 1
		国立科学研究センター (CNRS)	Centre National de la Recherche Scientifique	2001.11
		国立核物理素粒子物理研究機関 (IN2P3)	Institut national de physique nucléaire et de physique des particules	1985. 5
		国立重イオン加速器研究施設 (GANIL)	Grand Accélérateur National d'Ions Lourds	2007. 1
		ストラスブール大学	Université de Strasbourg	1996. 5
		SOLEIL放射光施設	Synchrotron SOLEIL	2013. 7
		パスツール研究所	Institut Pasteur	1984. 1
		バリ南大学	Université Paris-Sud	2015.10
		ポーランド共和国	ポーランド科学アカデミー ニーボドニチャユスキ核物理研究所	The Henryk Niewodniczanski Institute of Nuclear Physics, Polish Academy of Sciences
	ルクセンブルク大公国	ルクセンブルク 国家研究財団	National Research Fund, Luxembourg	2015.10
		ルクセンブルク システムズ生物医学センター	Luxembourg Centre for Systems Biomedicine	2014.10
	ルーマニア	ホリア・フルバイ物理学・原子力工学国立研究所	Horia Hulubei National Institute of Physics and Nuclear Engineering	2014. 2
	ロシア連邦	核研究合同研究所	Joint Institute for Nuclear Research	2001. 3
		カザン連邦大学	Kazan Federal University	2008. 8
		カザン連邦大学 Alexander Butlerov化学研究所	Alexander Butlerov Institute of Chemistry, Kazan Federal University	2013. 9
		カザン連邦大学 基礎医学生物学研究所	Institute of Fundamental Medicine and Biology, Kazan Federal University	2014.10
		カザン連邦大学 物理学研究所	Institute of Physics, Kazan Federal University	2010.11
		クルチャトフ研究所	Kurchatov Institute	1998.12
タタールスタンがんセンター		Tatarstan Cancer Center	2014.10	
モスクワ物理工科大学		Moscow Institute of Physics and Technology	2017. 3	
ロシア連邦南大学 生物学及び生物工学アカデミー		The Academy for Biology and Biotechnology, Russia Southern Federal University	2013. 8	
中南米		コロンビア共和国	熱帯農業国際センター	International Center for Tropical Agriculture
	ブラジル連邦共和国	アマゾナス州立大学	Amazonas State University	2013. 3
北米	アメリカ合衆国	アイオワ州立大学	Iowa State University	2013. 8
		アラバマ大学	The University of Alabama in Huntsville	2002. 9
		アルゴンヌ国立研究所 先端光源 (APS)	Advanced Photon Source, ANL	1993. 5
		イリノイ大学 シカゴ校	University of Illinois at Chicago	2016. 6
		イリノイ大学 国立スーパーコンピュータ応用センター	National Center for Supercomputing Application, University of Illinois	2012.10
		カリフォルニア大学サンディエゴ校	University of California, San Diego	2010.10

地域	国・地域名	研究機関	欧文表記	開始時期
北米	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF)	University of California, San Francisco	2000. 5
		カリフォルニア大学バークレー校	University of California, Berkeley	2008. 6
		カリフォルニア大学バークレー校 機械工学科精密製造センター	Precision Manufacturing Center in the Department of Mechanical Engineering, University of California, Berkeley	2014.11
		国立一般医学研究所	National Institute of General Medical Sciences	2008. 4
		国立衛生研究所 (NIH)	National Institute of Health	2008. 4
		国立がん研究所	National Cancer Institute	2008. 4
		国立高磁場研究所	National High magnetic Field Laboratory	2014. 8
		国立心臓・肺・血液研究所	National Heart, Lung and Blood Institute	2008. 4
		コロンビア大学	Columbia University	1997. 7
		テキサス大学 M. D. アンダーソンがんセンター	The University of Texas M. D. Anderson Cancer Center	2014. 4
		豊田工業大学シカゴ校	Toyota Technological Institute at Chicago	2016.12
		ハーバード・スミソニアン天体物理学センター	Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics	2016. 6
		ハーバード大学	Harvard University	2007. 7
		ブラウン大学	Brown University	2013. 5
		ブルックヘブン国立研究所 (BNL)	Brookhaven National Laboratory	1993.
		ブルックヘブン国立研究所 国立放射光源 II	National Synchrotron Light Source II, BNL	2009. 5
		マサチューセッツ工科大学 (MIT)	The Massachusetts Institute of Technology	1998.10
		ミシガン州立大学	Michigan State University	2014. 2
		ミシガン州立大学 国立超伝導サイクロトロン研究所	National Superconducting Cyclotron Laboratory, Michigan State University	2008. 1
		ミシガン州立大学 量子科学研究所	Institute for Quantum Sciences, Michigan State University	2005. 7
		メリーランド大学	The University of Maryland	2013. 2
		ラホヤ免疫アレルギー研究所	The La Jolla Institute for Allergy and Immunology	2004.10
		ローレンスバークレー国立研究所	Lawrence Berkeley National Laboratory	2004. 2
		薬理遺伝学研究ネットワーク	Pharmacogenetics Research Network	2008. 4
	インテル社	Intel Corporation	2017. 1	
	カナダ	オンタリオゲノム研究所	Ontario Genomics Institute	2014. 3
		カナダ放射光施設	Canada Light Source Inc.	2012.11
		国家光学研究所 光学・ホトニクス・レーザーセンター	Centre d'Optique, Photonique et Laser, Institut National d'Optique	2016. 5
		トロント大学	Toronto University	2015. 3
		トロント大学 Terrence Donnelly細胞・生分子研究センター	Terrence Donnelly Centre for Cellular and Biomolecular Research, Toronto University	2012.11
マギル大学		McGill University	2010. 7	
国際組織	ヒトゲノム国際研究同盟	Global Alliance for Genomic and Health	2013. 6	
	JLESC (Joint Laboratory for Extreme-Scale Computing)	JLESC (Joint Laboratory for Extreme-Scale Computing)	2015. 3	

理化学研究所（個別センター含む）と研究協力協定・覚書等がある研究機関。大学の学部名は省略してあります。各学部ごとの研究契約もありますので、全体では271機関（41カ国・地域）との契約になります。国名は2016年外務省の呼称によります。この資料は2017.3.31時点のものです。

# 受賞一覧



受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
1917. 7	真島利行	帝國学士院賞	漆の主成分に関する研究
1922. 5	高嶺俊夫・吉田卯三郎	恩賜賞（帝國学士院）	スタルク効果の共同研究
1924. 6	鈴木梅太郎・高橋克己	帝國学士院賞	副栄養素の研究
1926. 9	池田菊苗	恩賜記念賞（帝國發明協会）	グルタミン酸塩ヲ主成分トセル調味料製造法 特許第14805号
	鈴木梅太郎	恩賜記念賞（帝國發明協会）	米糠中ノ一成分アベリ酸ノ製造法 特許第20785号ほか
1931.10	菊池正士	報公賞（服部報公会）	結晶体空間格子による電波回折の現象に関する実験的研究
1932. 5	菊池正士	メンデンホール記念賞（帝國学士院）	電子の廻折に関する研究
9	辻 二郎	恩賜發明奨励金（帝國發明協会）	光弾性写真方法及び装置（六百元）
	鯨井恒太郎	恩賜發明奨励金（帝國發明協会）	光波通信（六百元）
	志方益三	恩賜發明奨励金（帝國發明協会）	「ソンドラ」を電氣的に圧搾して板を製造する方法（六百元）
10	杉浦義勝	報公賞（服部報公会）	プロトンの廻折現象の研究
1933. 5	辻 二郎	恩賜賞（帝國学士院）	光弾性の研究
	鈴木文助	恩賜賞（帝國学士院）	脂肪酸及之を含有する生物體成分の研究
9	本多光太郎	恩賜記念賞（帝國發明協会）	特殊合金鋼 特許第32234号ほか
	大河内正敏・海老原敬吉	恩賜記念賞（帝國發明協会）	シリンダー内壁ニ均一ナル圧力ヲ及ボスピストリングノ製作法 特許第70144号
10	清水武雄	報公賞（服部報公会）	ウイリソン霧函の改造
1937. 4	長岡半太郎	文化勲章	物理学
	本多光太郎	文化勲章	金属物理学
10	尾形輝太郎・桜井季雄	報公賞（服部報公会）	感光色素の研究
1938. 9	大河内正敏・今富祥一郎	恩賜記念賞（帝國發明協会）	マグネシウム製造法 特許第82330号ほか
1940. 1	深山達蔵・阿部良之助	朝日賞（朝日新聞社）	石炭直接液化法の研究
5	湯川秀樹	恩賜賞（帝國学士院）	素粒子間の相互作用に関する理論的研究並に宇宙線中の新粒子Mesotronの存在に對する預言
	堀内寿郎	恩賜賞（帝國学士院）	化學反應速度論の理論及實驗的研究
10	大越 諄	報公賞（服部報公会）	切削工具の研究
1941. 5	尾形輝太郎	帝國学士院賞	感光色素合成に関する研究
	中谷宇吉郎	帝國学士院賞	雪に関する研究
1943. 4	鈴木梅太郎	文化勲章	農芸化学
	湯川秀樹	文化勲章	原子物理学
5	藪田貞治郎	帝國学士院賞	絲状菌の代謝生産物に関する生化学的研究
	仁田 勇	帝國学士院賞	化學構造のX線的研究
10	宮田 聰	報公賞（服部報公会）	アルミニウム陽極膜に関する研究
1944. 1	飯盛里安	朝日賞（朝日新聞社）	稀元素の研究
1945. 1	仁科芳雄	朝日賞（朝日新聞社）	元素の人工変換及び宇宙線の研究
6	飯盛里安	帝國学士院賞	稀元素鑛物殊に放射性及発光性鑛物に関する研究
	阿部正直	伯爵鹿島秋麿記念賞（帝國学士院）	山雲及山の気流に関する研究
1946. 2	仁科芳雄	文化勲章	原子物理学
10	藪田貞治郎・住木諭介・林 武	報公賞（服部報公会）	稲馬鹿苗病菌の生化学的研究
1947. 1	朝永振一郎	朝日賞（朝日新聞社）	中間子理論の發展と超多時間理論
	中原和郎	朝日賞（朝日新聞社）	ビタミンLの研究
5	真島正市	帝國学士院賞	高速衝擊破壊とこれに関する二三の現象
	田口卯三郎	帝國学士院賞	トーキーフィルムによる日本語の音素研究
1948. 6	小谷正雄・朝永振一郎	日本学士院賞	磁電管の發振機構と立體回路の理論的研究
1949. 1	坂田昌一	朝日賞（朝日新聞社）	二中間子の仮説
10	杉野目晴貞・森尾森一・田村國三郎	報公賞（服部報公会）	東亜に於けるアコニット属植物のアルカロイドに関する研究
	湯川秀樹	The Nobel Prize in Physics 1949（ノーベル物理学賞）	中間子論
11	真島利行	文化勲章	化学
1950. 5	坂田昌一	恩賜賞（日本学士院）	二中間子理論

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績	
1951.11	西川正治	文化勲章	原子物理学	
	菊池正士	文化勲章	原子物理学	
	本多光太郎	文化功労者	物理学・金属工学	
	真島利行	文化功労者	有機化学	
	湯川秀樹	文化功労者	理論物理学	
1952. 5	大越 諄	日本学士院賞	金属切削の研究	
10	山口成人	報公賞（服部報公会）	電子廻折及び電子顕微鏡に依る金属表面の研究	
11	朝永振一郎	文化勲章	原子物理学	
1955. 2	瀬藤象二	紫綬褒章	電子顕微鏡の製作を統率指導	
1956. 1	三宅静雄・上田良二	朝日賞（朝日新聞社）	結晶による電子線回折の動力学的理論	
5	志方益三・小林行雄	恩賜賞（日本学士院）	ポラログラフイーの研究	
1958.12	大山義年	紫綬褒章	低圧による空気分離装置の発明	
1959. 3	理化学研究所	大河内記念生産賞（大河内記念会）	低圧式空気液化分離装置の研究とその工業化	
5	山本脩太郎	日本学士院賞	レプトスピラの研究	
12	中根良平	仁科記念賞（仁科記念財団）	化学交換反応による同位元素濃縮	
1960. 4	丸茂晋吾	農芸化学賞（日本農芸化学会）	Penicillium islandicumの生産する毒性物質Islanditoxinの化学構造に関する研究	
	深野 茂	創意工夫功労者表彰	電磁海流計の電極加工法の改良ほか	
	長島 清	同上	精密ラドン計の改良	
	5	福井伸二	日本学士院賞	薄板の深絞り加工に関する研究
	6	薮田貞治郎・住木諭介・林 武	藤原賞（藤原科学財団）	稲のバカ苗病—ジベレリンの研究
	10	海老原敬吉	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	排気鑄造法の発明
	11	坂本政義	大阪醸造学会賞	微生物生産酵素とその利用に関する研究
	12	飯田茂次	紫綬褒章	合成清酒の研究及びその産業につくした功績
	1961. 4	野本正雄	農芸化学賞（日本農芸化学会）	Storeptomyces griseusの生産する新プロテアーゼに関する研究
		吉田清太	論文賞（日本機械学会）	Classification and systematization of sheet metal press-forming process. Sci. Pap. IPCR, 53 1514 126, 1958
		平沢正吉	創意工夫功労者表彰	精密刻線機の完成
		10	山中竜雄	関東地方発明表彰 特賞
舟山 勉			同上	可逆性示温塗料
長坂秀雄	関東地方発明表彰 優秀賞		熔射性エポキシ系樹脂粉末の製造法	
池田 博	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	ストレプトマイシンの精製法に関する発明		
1962. 2	山中竜雄	東京都発明考案賞	触媒用還元ニッケルの安定化法	
	舟山 勉	同上	可逆性示温塗料	
	4	中根良平	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	化学交換反応による同位体の分離
		山中竜雄	全国発明表彰 発明賞	触媒用還元ニッケルの安定化法ほか
		舟山 勉	同上	可逆性示温塗料
		和田常男	創意工夫功労者表彰	ポケット線量計の感度調節方法
		和田雅美	田中館賞（日本地球電磁気学会）	宇宙線中間子強度の大気効果
	10	服部行彦	関東地方発明表彰 特賞	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼの製造法
	11	武井 武	粉末冶金技術協会 功労賞	OP磁石の発明ならびにフェライト研究の創始及び指導
		杉本光男	粉末冶金技術協会 研究功績賞	バリウムフェライト及び他のフェライトに関する微量不純物に関する研究
	1963. 2	服部行彦	東京都発明功績賞	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼの製造法
		4	服部行彦	大河内記念技術賞（大河内記念会）
吉川弘之			論文賞（精機学会）	研削砥石の寿命特性 精密機械 28(10) 562-570, 1962
手島立男		論文賞（日本機械学会）	真空脱ガス用注入口及び注入条件に関する研究	
西田正孝		科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	光弾性学の実験技術確立	
柳田正也		同上	イオン交換樹脂製造技術の確立	
服部行彦		全国発明表彰 発明特別賞 特許庁長官賞	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼの製造法	
荒川碩夫		創意工夫功労者表彰	昼光色映写幕の改良	
5		住木諭介	日本学士院賞	Blasticidin.Sに関する研究



受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
10	野本正雄	関東地方発明表彰 特賞	ストレプトマイシン生産培養液からプロテアーゼを分離採取する方法
11	池田 博	紫綬褒章	ストレプトマイシン精製法及びこれに関する一連の発明
1964. 2	野本正雄	東京都発明功労賞	ストレプトマイシン生産培養液からプロテアーゼを分離採取する方法
4	服部行彦	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	エンドミコプシス類似特殊菌による糖化アミラーゼ製造法の開発
	野本正雄	全国発明表彰 発明特別賞 内閣総理大臣賞	ストレプトマイシン生産培養液からプロテアーゼを分離採取する方法
	田淵 威	創意工夫功労者表彰	旋盤作業におけるR面切削刃物支持機
7	吉田清太	会田プレス技術賞（日本塑性加工学会）	薄板のプレス成形加工と材料特性に関する研究業績
10	町田秀雄	東京都科学技術関係功労者表彰	精密工学技術業務精励
11	藪田貞治郎	文化勲章	農芸化学
1965. 2	吉田清太	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	薄板のプレス成形技術に関する体系的開発
4	水野万亀雄	論文賞（精機学会）	初期磨耗進行曲線の解析 精密機械 30(6) 450-457, 1964
5	中原和郎・福岡文子	日本学士院賞	癌毒素及び発癌物質に関する研究
10	朝永振一郎	The Nobel Prize in Physics 1965（ノーベル物理学賞）	くりこみ理論
11	山崎文男	藍綬褒章	放射線計測器類の開発育成に努め、放射線測定技術水準の向上に寄与
	真島正市	文化功労者	応用物理学
1966. 4	長倉三郎	日本化学会賞	分子間の電子構造ならびに分子間の相互作用に関する研究
	村橋俊介	同上	高分子化合物の合成的研究
	大熊和彦	農芸化学賞（日本農芸化学会）	新植物成長調節物質alsicisinに関する研究
	堀越弘毅	同上	糸状菌溶解酵素および糸状菌細胞表層の研究
	鈴木正夫	創意工夫功労者表彰	雲母板円形加工装置の考案
	新藤政明	同上	電気的膜厚測定器用電極の考案
5	土手敏彦	田中館賞（日本地球電磁気学会）	電離層プローブに関する研究
	木下祝郎・中山 清・田中勝宣・鶴高重三	日本学士院賞	醗酵によるアミノ酸類の生成の研究
	金内長司	奨励賞（後藤学術報恩会）	鶏の無菌飼育に関する研究
9	西田正孝	紫綬褒章	光弾性による強度解析法の開発
10	西田正孝	東京都科学技術関係功労者表彰	光弾性学および光塑性学の研究およびその工学的応用
	渡部一穂	斎藤賞（日本醗酵工学会）	Aspergillus awamoriの生産する糖化アミラーゼの研究
11	仁田 勇	文化勲章	物理化学
1967. 4	久保丑蔵	創意工夫功労者表彰	ポケット型膜厚計の考案
5	阿部邦雄	会田技術奨励賞（日本塑性加工学会）	薄板のプレス成形品の精度向上に関する研究
	三井進午	日本学士院賞	植物の養分吸収同化に関する生理化学的研究
10	柳田正也	東京都発明功労賞	イオン交換樹脂の研究、製造技術の確立及び産業への応用
11	柳田正也	紫綬褒章	弱酸性陽イオン交換樹脂製造法の発明
	坂口謹一郎	文化勲章	微生物学 酵素学
1968. 4	杉本光男	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	複合フェライト単結晶製造技術の開発
	田中俊雄	創意工夫功労者表彰	樹脂試料作成可能化による光弾性学への寄与
10	土手敏彦	報公賞（服部報公会）	電離層プラズマプローブの研究とその応用
	杉本光男	東京都科学技術功労者表彰 東京都知事賞	BBK磁石の開発とその応用
1969. 4	磯野 清	奨励賞（日本農芸化学会）	ポリオキシンの化学構造の研究
	岸野彦蔵	創意工夫功労者表彰	研究用プリント配線基盤の簡易製法
	菅原正吾	同上	静電電位計式検電気用荷電気の改良
5	前田禎三・中川威雄	論文賞（日本塑性加工学会）	精密打抜き加工の実験的研究
11	町田秀雄	黄綬褒章	精密測定機器の改良研究に精励
	落合英二	文化勲章	薬化学
1970. 1	大塚陸郎	腐蝕防止論文賞（日本学術振興会）	硫酸中におけるチタンの陽分極特性に及ぼす表面水素化物層の影響 防蝕技術 15(11) 491, 1966
4	志田忠正	進歩賞（日本化学会）	低温固体溶液の放射線照射で生ずる中間体の研究
	山本 勇	創意工夫功労者表彰	両端に回転軸を持つ多面体プリズムの作成
	高橋則一	同上	ステンレス鋼の孔毛管製法
5	深田栄一	山路自然科学奨励賞（山路自然科学振興財団）	生体高分子の圧電的性質に関する研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績	
1971. 1	長倉三郎	朝日賞（文化賞）（朝日新聞社）	分子化合物の電子論的研究	
4	鈴木三郎	日本農学賞（日本農学会）	農業用抗生物質ポリオキシシンに関する研究	
	鈴木三郎	読売農学賞（読売新聞社）	同上	
	鈴木三郎・磯野 清	大河内記念技術賞（大河内記念会）	新抗生物質ポリオキシシンの発見とその農業への応用	
	谷口紀男	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	導波管を利用した無機硬脆材料加工法の発明	
	鈴木啓子	創意工夫功労者表彰	元素分析用二酸化鉛の合成法の改良	
	長谷川卓治	同上	電気伝導度測定用セル製作の改良	
	6	宮崎友喜雄	長谷川記念杯（日本地球電気磁気学会）	宇宙線の研究に関する業績
11	北田牧夫	斎藤賞（日本醸酵工学会）	麴酸醱酵に関する研究	
1972. 1	土光敏夫・吉山博吉・伊藤糾次・滋賀弘一郎・難波 進・大野 稔	市村賞 本賞（新技術開発財団）	イオン注入法による半導体素子の開発	
4	田原 昭	学術賞（日本薬学会）	松やに成分に関する化学的研究	
	米本 豊	創意工夫功労者表彰	測微顕微鏡の改良	
	野田 隆	同上	ペロー式差厚計の改良	
	松本 昭	同上	Oリング座面の加工工具の開発	
6	小玉正弘	田中館賞（日本地球電気磁気学会）	多重度中性子計による一次宇宙線のスペクトル変化の研究	
11	谷口 修	紫綬褒章	超高速回転機械の研究と超高速回転遠心分離機の完成	
	谷口紀男	紫綬褒章	無機硬脆材料の衝撃破砕加工技術の開発	
1973. 4	吉田清太	功績賞（日本金属学会）	薄版の成形性に関する研究業績	
	宇野木早苗	日本海洋学会 学会賞	沿岸海洋物理学についての研究	
	川崎盛三	創意工夫功労者表彰	球面切削加工法の考案	
	渡辺徳治	同上	超長周期ガルバノメーターの開発	
	高橋清二	同上	ホーニング加工位置決め具の開発	
	難波 進	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	イオン注入法による半導体素子の開発	
	5	後藤英一・相馬 嵩・小野厚夫	丹波高柳賞・論文賞（テレビジョン学会）	超高精度陰極線管 テレビジョン 26(1) 21, 1972
	6	鈴木啓子	有機微量分析永年勤続者表彰	
10	富金原 孝	紫綬褒章	糸状菌の液体培養による糖化剤の開発と応用	
	山口成人	紫綬褒章	可変電圧式電子回析装置の開発	
11	秋葉昉彦	日本醸酵工学会賞	気体巻込方式の塔型醱酵装置に関する研究	
	瀬藤象二	文化勲章	電子顕微鏡の研究開発	
1974. 3	霜田光一	東レ科学技術賞	量子エレクトロニクスに関する研究	
4	葛原弘美・大類 洋	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	アジド糖を用いる生理活性物質の合成化学的研究	
	橋口隆吉	西山賞（日本鉄鋼協会）	金属結晶格子欠損の内部摩擦現象の研究	
	山口一郎	光学論文賞（応用物理学会）	粗面物体の回折界と結像界におけるスペックリング線形系に対する統計函数の導出ほか3編	
	高橋勝緒	佐野進歩賞（電気化学協会）	交流インピーダンス法による電極／溶液界面現象の研究	
	野宮芳雄	創意工夫功労者表彰	理研式電磁海流計の電極取付方法の改良	
	松沢安秀	同上	自動吹付式植物ウィルス接種方法の開発	
	6	鈴木三郎	日本学士院賞	ポリオキシシンに関する研究
1975. 4	坂田完三	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	エゾマイシン群抗生物質に関する化学的研究	
	中島俊典	光学論文賞（応用物理学会）	変調参照波ホログラフィによる微小振幅振動の検出ほか4編	
	斎藤信房	日本化学会賞	無機同位体化学に関する研究	
	宮崎俊行	論文賞（精機学会）	単一パルス高パワー密度電子ビームによる金属の穴あけ加工	
	山本澄雄	創意工夫功労者表彰	ノズル孔加工用具の考案	
	内海恭一	同上	ニカメイ虫の大量飼育方法の簡便化（飼育容器、飼料及び病虫の発生予防法の改良）	
	阿津沢新二	同上	ニカメイ虫の大量飼育方法の簡便化（飼育温度及び卵の保存温度の改良）	
	栗原政明	同上	ニカメイ虫の大量飼育方法の簡便化（飼育密度の改良）	
	10	鈴木三郎	紫綬褒章	農業用抗生物質ポリオキシシンの開発
	11	熊谷寛夫	紫綬褒章	原子核物理に関する研究業績

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	曾田範宗	紫綬褒章	機械工学に関する研究業績
	高橋秀俊	紫綬褒章	物性物理学に関する研究業績
	野崎 正	科学技術庁長官賞（研究功績者）	サイクロトロンを用いる半導体ケイ素中の軽元素不純物に関する研究
1976. 4	光岡知足	日本農学賞（日本農学会）	腸内菌叢の分類と生態に関する研究
	光岡知足	読売農学賞（読売新聞社）	同上
	見里朝正	科学技術庁長官賞（研究功績者）	自然物農薬レシチンの開発に関する研究
	林 久治	進歩賞（日本化学会）	励起三重項状態と不安定中間体の電子状態の研究
	佐々木睦子	創意工夫功労者表彰	太線プロット法プログラムの考案
	梁島久子	同上	有機酸素微量分析法の改良
	嘉悦早人	同上	ウラン濃縮用隔膜の耐久試験装置の改良
	遠藤 勲	注目発明（科学技術庁）	微生物の代謝反応を行なわしめる方法及びその装置
6	橋口隆吉	日本学士院賞	内部摩擦による金属材料の研究
	田村三郎	日本学士院賞	生理活性物質に関する化学的研究
9	後藤英一	インダストリアル・リサーチ・マガジン社 IR100賞	高精度画像処理装置の開発
10	吉田清太	浅田賞（日本鉄鋼協会）	自動車車体の成形技術と薄銅板特性の相補的關係の研究と推進
11	杉本光男	紫綬褒章	複合フェライト大型単結晶製造法の発明
12	岩崎 準	日本結晶学会賞	回折対象の上昇に関する研究
1977. 3	柿木和雄	奨励賞（日本農薬学会）	ポリオキシンの作用機作に関する研究
4	辰野 高	学術賞（日本薬学会）	マイコトキシン、殊にフザリウム属マイコトキシンの中毒学的研究
	光岡知足	科学技術庁長官賞（研究功績者）	腸内菌叢に関する研究
	後藤英一・相馬 崇・出沢正徳	市村学術賞 功績賞（新技術開発財団）	二重偏向方式高精度ブラウン管の開発
	野口 守	創意工夫功労者表彰	紙テープ、カセット入出力プログラムの開発
	塩川高雄	同上	イオン食刻法による光共振器製作の考案
9	柴田和雄	インダストリアル・リサーチ・マガジン社 IR100賞	二波長クロマトスキャナーの開発
11	中根良平	紫綬褒章	重窒素分離法の開発
1978. 3	谷貝豊彦	光学論文賞（応用物理学会）	Stereoscopic Approach to 3-D Display Using Computer-Generated Holograms, Appl. Optics 15 2722, 1976ほか3編
4	角田俊直・見里朝正・本間保男	市村産業賞 貢献賞（新技術開発財団）	大豆レシチンを原料とした農薬の開発と実用化
	岡野真治	科学技術庁長官賞（研究功績者）	環境放射線測定装置の研究開発
	遠藤 勲	論文賞（化学工学協会）	回分および連続培養における酵母菌の代謝機能, 化学工学論文集2 416 & 495, 1976
	小川智也	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	スズやケイ素を用いる糖及びヌクレオシド系化合物の合成研究
	松井正直	鈴木賞（日本農芸化学会）	生理活性天然物の合成に関する研究
6	長倉三郎	日本学士院賞	短寿命励起分子及び反応中間体の電子構造と反応性の研究
11	武井 武	文化功労者	フェライトの基礎研究及び複合フェライトの磁性に関する研究
1979. 4	深見順一	日本農学賞（日本農学会）	殺虫剤の選択毒性に関する比較整理・生化学的研究
	深見順一	読売農学賞（読売新聞社）	同上
	掘越弘毅	科学技術庁長官賞（研究功績者）	アルカリ性醗酵法によるβ-サイクロデキストリンの製造に関する研究
	奈良橋快子	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	蛋白質分解酵素プロナーゼに関する研究開発
	斎藤信房	紫綬褒章	化学に関する研究業績
5	牧野内昭武	会田技術奨励賞（日本塑性加工学会）	プラスチックの塑性加工及び塑性変形挙動に関する研究業績
	井田哲雄・後藤英一	論文賞（情報処理学会）	Analysis of Parallel Hashing Algorithms with Key Deletion, J. Inf. Process. 1(1) 25-32, 1978
10	深田栄一・高松俊昭	功績賞（静電気学会）	エレクトレットの研究に多年従事し、その間熱刺激電流、生体高分子と関係つけた幾多の実験に成功し、貴重な成果を挙げた業績
	霜田光一	C.E.K. Mees Medal (The Optical Society of America)	量子光学と二重共鳴分光への貢献、ならびに国際会議の組織や学会出版活動の指導などを通じての物理学全般における国際協力への惜しみなき貢献
11	松井正直	紫綬褒章	農芸化学に関する研究業績
1980. 3	山口 勇	奨励賞（日本農薬学会）	プラスチックSおよびメトキシフェノンの代謝分解に関する研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
4	神谷勇治	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	異担子菌酵母における接合形成誘導物
	掘越弘毅・中村信之	市村学術賞 功績賞（新技術開発財団）	アルカリ性発酵法によるβ-サイクロデキストリン製造法の開発
	唐沢 孝	科学技術庁長官賞（研究功績者）	病院用超小型サイクロトロン設計、製作の研究
	柴田和雄	紫綬褒章	生体試料の分光測定法の開発
	池田庸之助	鈴木賞（日本農芸化学会）	微生物遺伝、育種の基礎的研究
	三原 勝	創意工夫功労者表彰	高圧型BF3比例計数管の製作法の考案
	竹下勇夫	同上	デジタルコンパスの考案
	影山 正	同上	サイクロトロン用重イオン源の改良
	大山 等	同上	核融合装置の壁面不純物測定法の改良
平沢孝枝	同上	土壌微生物採取法と抗菌検定法の改良	
5	岡見 登	日仏海洋学会賞	海洋光学に関する一連の研究
6	雷田光一	日本学士院賞	レーザーの物理とそれに基づく分子分光学的研究
11	日本電子(株)・理化学研究所	機械振興協会賞	可変面積形電子ビーム露光装置の開発
	高橋秀俊	文化功労者	物理学、応用数学、電気工学、情報科学など多岐な分野での独創的かつ先駆的な業績
1981. 4	安藤忠彦	鈴木賞（日本農芸化学会）	ヌクレアーゼS1の発見と核酸分解酵素の研究
	太田 浩	科学技術庁長官賞（研究功績者）	準平面型ジョセフソン接合の開発
	橋口隆吉	日本金属学会 学会賞	格子欠陥の研究で多くの創造的業績をあげ、また金属の内部摩擦の新しいピークを発見
	斉藤始三	創意工夫功労者表彰	凹状面切削工具の開発
	阿部俊秋	同上	アルファ線気圧計の製作
	松井正直・森 謙治	日本学士院賞	天然有機化合物の合成に関する研究
7	掘越弘毅・坂部順一	井上春成賞	アルカリ性発酵法によるシクロデキストリン製造技術
11	坂本雄一・石部行雄・大山 等・矢野勝喜・岡崎清比古・石井成行	真空技術賞（日本真空協会）	電子サイクロトロン共鳴プラズマによる放電洗浄技術の開発
12	曾田範宗	Tribology Gold Medal（イギリス機械学会）	摩擦、潤滑及び磨耗に関する化学技術に対する顕著な貢献
1982. 3	掘越弘毅	大河内記念技術賞（大河内記念会）	アルカリ性発酵法による有用酵素の開発と、これを用いるシクロデキストリン製造技術の確立
	本間保男・有本 裕	業績賞（日本農薬学会）	植物病原菌のライフサイクルに立脚した殺菌剤の開発
4	小川智也	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	有機スズを利用した新反応を用いる含糖系生物活性物質の合成法の開発
	鳥居道寛・木原征夫・杉本光男	市村産業賞 貢献賞（新技術開発財団）	大型マンガニ-亜鉛系フェライト単結晶育成法の開発
	宍戸和夫	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	DNA関連酵素の特性とその応用に関する研究
	中原義昭	同上	特異な環構造を有する生理活性天然物の合成研究
5	中根良平	業績賞 進歩賞（レーザー学会）	レーザーによる水素同位体の分離
	橋口隆吉	本多記念賞	金属工学における格子欠陥の研究
1983. 3	難波 進	大河内記念技術賞（大河内記念会）	新しい高性能エッチレット回折格子製造法の開発
	隈部淳一郎	精機学会賞	精密振動ねじ立て
	山口一郎	論文賞（日本非破壊検査協会）	レーザー・スペックルひずみ計の開発 非破壊検査 30(8) 564, 1981
	柴田武彦	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	DNAに働く酵素および蛋白質の遺伝生化学的研究
4	安藤忠彦	科学技術庁長官賞（研究功績者）	ヌクレアーゼS1の発見と核酸分解酵素の研究
	小玉正弘	科学技術庁長官賞（研究功績者）	宇宙線雪量計の開発研究
	大和田 勉	創意工夫功労者表彰	実験用小動物保定器の考案
5	小原 実・藤岡知男・豊田浩一・難波 進	業績賞 論文賞（レーザー学会）	電子ビーム点火、高出力HF化学レーザーの開発、レーザー研究 10(3) 295-307, 1982
7	唐沢 孝・館野万吉	井上春成賞	超小型サイクロトロンの開発
10	後藤英一	世界コミュニケーション年表彰	コミュニケーションの発展に対する功績
11	難波 進	機械振興協会賞	サブミクロンイオンプローブ注入装置の開発
1984. 3	小川智也	大河内記念技術賞（大河内記念会）	有機スズを用いる含糖系生理活性物質の合成法の確立と工業化
4	菅原秀明・館野義男	学術賞 丹波賞（日本科学技術情報センター）	実験生物情報システムNISLOの開発
	河野芳樹・鈴木義男	奨励賞（日本農芸化学会）	トモロコシ病害における宿主特異性の化学

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	山口一郎	科学技術庁長官賞（研究功績者）	レーザ・スペックル歪計の研究
	玉虫伶太	武井賞および論文賞（電気化学協会）	電極反応速度論の基礎的研究
	吉田清太	紫綬褒章	薄板のプレス成形技術に関する体系的な研究開発
5	佐々木建昭・金田康正	論文賞（情報処理学会）	Practically Fast Multiple-Precision Evaluation of Log (X), J. Inf. Process. 5(4), 247-250, 1982
	池 浩	論文賞（日本塑性加工学会）	平板の潤滑状態での引抜きにおける摺動損傷の発生と成長, 塑性と加工 24(272) 933-941, 1983
	竹松 伸	日仏海洋学会賞	海洋環境における遷移元素の沈殿機構に関する研究
	深田栄一	高分子科学功績賞（高分子学会）	高分子の圧電気と生体レオロジーの研究
6	館野晴雄	全国発明表彰 発明賞	アークトーチの操作法および装置の発明
7	小川智也	ウイスラー賞（国際炭水化物学会）	糖鎖合成に関する研究
10	粕谷敬宏	報公賞（服部報公会）	レーザー制御技術の開発とその理・工学への応用に関する研究
1985. 3	後藤英一・相馬 崇・出沢正徳	大河内記念技術賞（大河内記念会）	可変面積型高性能電子ビーム露光装置の開発
	満井 喬	業績賞（日本農薬学会）	昆虫の表皮形成およびキチン合成に関する生理・生化学的研究
4	中田 忠	奨励賞（日本薬学会）	ケトン類の立体選択的還元反応を基盤とする鎖状系へのキラル中心新導入法とその天然物合成への応用
	磯野 清	科学技術庁長官賞（研究功績者）	イオノフォア抗生物質カチオノマイシンの研究
	葛原弘美	注目発明（科学技術庁）	新規な硫酸化アミノ多環及びその製造法
5	鈴木隆則	論文賞（日本分光学会）	光ガルバノ効果による分光と分析, 分光研究 32(6) 367-384, 1983
8	高橋信孝・田村三郎	国際植物生長物質会議 シルバーメダル	ジベレリンを始めとする植物生長調節物質に関する研究
10	蒲生健次・山下一博・難波 進	論文賞（応用物理学会）	Nanometer Pattern Delineation by Electron and Ion Beam Lithography, JJAP 23(3) L141-L143, 1984
	岡野真治	科学技術庁長官賞（原子力安全功労者）	原子力安全基準の策定・安全審査等に貢献
	後藤英一・相馬 崇・出沢正徳・佐々木建昭	関東地方発明表彰 発明協会会長奨励賞	電子ビームの投射方法
11	長倉三郎	文化勲章	物理化学
	谷口維紹	野口英世記念医学賞（野口英世記念会）	インターフェロン・インタリューキン等の研究
1986. 1	谷口維紹	アルマンドハンマー賞	インターロイキン（IL-2）の遺伝子構造を解明及び遺伝子工学の手法で量産に成功
2	山崎博史	有機合成化学協会賞	有機遷移金属錯体に関する研究
3	中川威雄	大河内記念技術賞（大河内記念会）	びびり振動切削による金属短繊維の製造技術の開発
	武内一夫	論文賞（化学工学協会）	レーザー法トリチウム同位体分離のための連続反応装置
4	辨野義巳	日本獣医学会賞	豚膿瘍の細菌学的研究
	常盤三郎	創意工夫功労者表彰	マコール平面切削法の改良
5	田代英夫・緑川克美・豊田浩一・難波 進・長坂啓吾	業績賞 論文賞（レーザー学会）	CO <sub>2</sub> レーザー励起赤外水素ラマンレーザー, レーザ研究 13(3) 76-88, 1985
6	後藤英一・相馬 崇・出沢正徳・佐々木建昭	全国発明表彰 特別賞 科学技術庁長官発明賞	電子ビームの投射方法の発明
	宮崎俊行・吉岡俊朗・白井靖幸・金釜憲夫・佐田登志夫	工作機械技術振興賞（論文賞）（工作機械技術振興財団）	パルスレーザー加工の音響法による観察 精密機械 51(3) 596-601, 1985
	古市昭夫	同上	調湿装置の試験槽
1987. 3	鈴木宏正・木村文彦・佐田登志夫	論文賞（精密工学会）	プロダクトモデルに基づく幾何学的拘束関係の記述と寸法処理への応用, 精密工学会誌 52(6) 1037-1042, 1986
4	菅原二三男	奨励賞（日本農芸化学会）	植物病原菌の毒素の化学
	小林勝一郎	奨励賞（日本雑草学会）	ミズガヤツリの塊茎形成に対するナプロアニリドの作用に関する研究
	掘越弘毅	紫綬褒章	好アルカリ性微生物の発見と体系的な研究開発、それに基づくサイクロデキストリン製造技術の開発と確立
6	谷口 修・沢田 雅	全国発明表彰 発明賞	ねじ溝つき軸流分子ポンプ
10	高松俊昭・深田栄一	関東地方発明表彰 発明賞	高分子物質の転移温度の測定法
11	粕谷敬宏・井川洋二	インダストリアル・リサーチ・マガジン社 IR100賞	レーザー式マイクロインジェクター装置の開発

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	中橋末三	光学論文賞（応用物理学会）	Vibration measurement using phase - shifting speckle - pattern interferometry. Appl.Opt. 25(22) 4162-4167, 1986
	平岡弘之・田口 靖・榎本昌之・木村文彦・佐田登志夫	論文賞（精密工学会）	環境モデルを用いたロボット作業のオフラインプログラミングシステムの試作, 精密工学会誌 53(1) 137-143, 1987
1988. 3	井上一郎	学術賞（化学工学協会）	混合現象および培養システムの研究
4	村田守康・伊藤 進・掘越弘毅	市村産業賞 功績賞（新技術開発財団）	アルカリセルラーゼの製造法の開発
	山口 勇	科学技術庁長官賞（研究功績者）	非殺菌性いもち病制御に関する研究
	駒形和男	功績賞（日本農芸化学会）	微生物の化学分類に関する研究
	生方 信	奨励賞（日本農芸化学会）	新規抗生物質の化学的研究
	工藤俊章	同上	好アルカリ性細菌遺伝子による大腸菌からの蛋白質の菌対外分泌に関する研究
	難波 進	紫綬褒章	半導体に関する研究とイオンビームプロセス技術の開発
5	粕谷敬宏・塚越幹郎	業績賞 進歩賞（レーザー学会）	レーザー細胞プロセッシング, レーザー研究 17(suppl.) 248-251, 1989
6	光岡知足	日本学士院賞	腸内菌叢の系統的研究
7	佐田登志夫・西八條 實	井上春成賞	負荷・変位測定方式による超微小硬度計
10	神谷勇治	植物化学調節学会賞	セルフリー系を用いたジベレリンの生合成研究
11	小川智也	アップジョン科学研究フェロースHIP賞	細胞表層糖鎖の有機合成
1989. 1	佐々木建昭・佐々木睦子	山内奨励賞	第29回プログラミングシンポジウムで行われた論文数式処理システム GALにおける数学公式データベース
4	磯野 清	日本農学賞（日本農学会）	新しい視点に立つ抗生物質の研究とその農業生産への寄与
	磯野 清	読売農学賞（読売新聞社）	同上
	大石 武	学術賞（日本薬学会）	高選択的新規反応の開発と有用天然物合成への応用
	掘越弘毅	日本農芸化学会賞	好アルカリ性微生物とアルカリ酵素の研究
	大石 武	科学技術庁長官賞（研究功績者）	薬理活性化合物の合成に関する研究
	後藤英一	紫綬褒章	可変面積型電子ビーム露光システムの開発
5	金子正夫	高分子学会賞	高分子錯体による光電子過程の制御とエネルギー変換
	伊藤喜久治	日本実験動物学会賞	実験動物における腸内菌叢の標準化の研究
10	遠藤 勲	関東地方発明表彰 発明奨励賞	自動サンプリング装置及びその方法
12	谷畑勇夫	仁科記念賞（仁科記念財団）	不安定核ビームによる原子核の研究
1990. 2	永嶺謙忠	井上学術賞（井上科学振興財団）	パルス状ミュオンビームによるミュオン科学の開拓研究
4	山崎博史	科学技術庁長官賞（研究功績者）	高反応活性を有する有機金属錯体の研究
	中林誠一郎	佐野賞（電気化学協会）	半導体溶液界面の反応物理化学の研究
	佐田登志夫	紫綬褒章	高度フレキシブル生産システムの開発
5	原 民夫	奨励賞（レーザー学会）	小型軟X線レーザーの研究
	池 浩	会田技術奨励賞（日本塑性加工学会）	塑性加工の表面損傷とトライボロジに関する研究
	山田 瑛	高分子科学功績賞（高分子学会）	Hybrid Materialsに関する研究
7	中川威雄・永井 譲	井上春成賞	通気性セラミック型
8	秋田弘幸	奨励賞（日本薬学会）	微生物、酵素機能を用いる有機合成—ベンツリジジンA、Bアグリコンの全合成
9	佐田登志夫	高城賞（精密測定技術振興財団）	高度生産自動化のためのプロダクトモデリングシステムの研究開発
1991. 3	掘越弘毅	国際バイオテクノロジー学会 ゴールドメダル	極限微生物の研究
	山崎博史	日本化学会賞	新規な触媒反応を指向する有機金属錯体の研究
	長田裕之	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	動物細胞の増殖分化を制御する微生物二次代謝産物に関する化学的生物学的研究
4	安藤忠彦	紫綬褒章	Siヌクレアーゼの発見と利用技術の開発
	上坪宏道	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	重イオンリングサイクロトロン開発
	青柳克信・原 民夫	市村学術賞 特別賞（新技術開発財団）	新しいビームプロセス技術とビーム源の開発に関する研究
6	小田 稔	マルセル・グロスマン賞	X線天文学における先駆的な研究等による一般相対論への貢献
9	小川智也	日独科学技術協力フンボルト研究賞	これまでの研究業績全般
10	佐田登志夫	シュレージンガー賞	多品種少量生産の生産性を高めるフレキシブル生産システムの研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
11	藤岡昭三	植物化学調節学会賞	Lemna属の花芽形成誘導に関する生理化学的研究
	若狭雅信	奨励賞（日本ケイ素光化学会）	有機ケイ素化合物の光化学初期過程に関する研究
	堀越弘毅	有馬啓記念バイオインダストリー協会賞	好アルカリ性微生物の発見とその応用、特にアルカリ酵素利用技術の開発
1992. 1	薄葉 勲	科学技術庁長官賞（放射線安全管理功労者）	放射性同位元素の取扱いにおける安全確保の多年に亘る功績
	佐田登志夫	日本プラントメンテナンス協会設備診断技術委員会賞	設備診断技術の研究ならびに振興により産業界の設備管理の発展に多大な貢献を果たす
4	中川威雄	科学技術庁長官賞（科学技術功労者）	鋳鉄ボンド砥石による難加工材料の高効率研削法の開発
	井上 直	科学技術庁長官賞（研究功績者）	熱発光測定・解析による光合成水分分解反応の研究
	青野正和・太田 浩	日経BP技術賞（機械・材料部門）	高温超伝導磁気シールドによる脳磁界計測
9	林 久治	光化学協会賞	光化学過程におけるスピン化学の研究
	河合 潤	奨励賞（日本分析化学会）	X線スペクトルの理論的解析による状態分析の研究
10	高橋和也	奨励賞（日本地球化学会）	分化した隕石の年代学的及び化学的研究
	大森 整・高橋一郎・中川威雄	技術賞（精密工学会）	電解インプロセスドレッシング（ELID）鏡面研削法の開発
11	山口 勇	住木・梅澤記念賞（日本抗生物質学術協議会）	ブラストサイジングSデアミナーゼに関する研究とその応用
1993. 3	伊藤幸成	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	複合糖質糖鎖の合成化学的および酵素化学的研究
4	長棟輝行・遠藤 勲・川村欽一	市村産業賞 功績賞（新技術開発財団）	リアルタイム細胞濃度自動測定装置の開発
	小川智也	ハワース記念メダル（イギリス化学会）	細胞表層の複合糖質の合成研究
	葛原弘美	科学技術庁長官賞（研究功績者）	糖質資源の合成化学的高次精密利用の研究
5	熊谷 寛	奨励賞（レーザー学会）	GaAsのレーザーエッチング中に生成される周期的表面リップルの成長
	岸野元彰	日仏海洋学会賞	海洋の光環境と生物生産に関する研究
	土肥義治	高分子学会賞	生分解性高分子の合成と評価
6	青柳克信	全国発明表彰 発明特別賞 日本弁理士会会長賞	ブレード・ホログラフィック・グレーティング技術の発明
	佐田登志夫	功績賞（型技術協会）	型技術の発展向上
8	伊藤正男	ロバート・ダウ神経科学賞 アメリカ	—
9	伊藤正男	モエヘネシー・ルイヴィトン賞 フランス	—
	伊藤正男	IPSEN財団賞 フランス	—
10	吉田茂男	植物化学調節学会賞	合成分子プローブによる葉緑体機能の解析研究
11	小田 稔	文化勲章	X線天文学研究
	高橋信孝	紫綬褒章	天然物有機化学研究
12	勝又紘一	仁科記念賞（仁科記念財団）	新しい型の磁気相転移の研究
	唐 建志	有山兼孝記念研究奨励賞（日中科学技術交流協会）	日本国留学中に行った科学技術分野における研究成果
1994. 3	加藤純一	精密工学会賞	デジタルPLLを用いたしま画像からの実時間形状復元処理（第2報）～精度の改善と光学面形状測定への適用～
4	豊田浩一	科学技術庁長官賞（研究功績者）	直接レーザープロセスによる半導体微細加工に関する研究
6	工藤卓二	研究奨励賞（日本放線菌学会）	Herbidospora属をはじめとする新属新種の創設
	田中啓治	塚原仲晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団）	大脳視覚連合野での情報処理過程の研究
9	木村一宇	日本放射線化学会賞	重イオン照射による高密度励起の研究
	遠藤 勲	Honorary Doctor of Technology (Helsinki University of Technology) フィンランド	In recognition of your work in biotechnology research, and for your promotion of research cooperation between Helsinki University of Technology and Japan
10	阿部知子	奨励賞（植物化学調節学会）	アスパラガス種子の花芽形成機構に関する研究
11	永井克孝	紫綬褒章	—
	伊藤正男	文化功労者	生理学
1995. 2	井川洋二	つくば賞	がん遺伝子が持つ細胞制御機能の多様性に関する研究
3	武内一夫・田代英夫	日本原子力学会賞 技術賞	分子レーザー法ウラン濃縮に関する基礎的研究
	上養義朋・中村尚司	日本原子力学会賞 論文賞	p-Be準単色中中性子を用いた40MeVまでの放射線断面積の系統的測定
	磯村昌平	技術賞（触媒学会）	疎水性白金触媒による水・水素同位体交換反応法の確率
	小川智也	日本農芸化学会賞	複合糖質に関する合成研究
	大野忠夫	アメリカ動物実験代替法基金賞	in vitro毒性試験

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	田中和子・磯貝泰弘・飯塚哲太郎	論文賞（電気化学協会）	カーボン微小電極を用いたスーパーオキシドアニオンラジカル（ $O_2^-$ ）の電気化学的検出、培養細胞（HL-60）への応用、電気化学および工業物理化学 62, 959-962, 1994
	小川智也	Claude. S. Hudson Award（アメリカ化学会）	細胞表面複合糖質及び関連糖鎖合成のための新規有用合成方法及び戦略開発による糖質化学への貢献
4	勝又紘一	科学技術庁長官賞（研究功績者）	ランダム磁性、量子磁性に基づく磁性材料の創製の研究
5	林崎良英	ゴールドメダル 東京テクノフォーラム賞	高速ゲノム解析法の創出
	明石知子	奨励賞（日本質量分析学会）	質量分析を用いたタンパク質および天然有機化合物の構造
	長谷正司	とやま賞（富山県ひとつくり財団）	CuGeO <sub>3</sub> スピン・バイエルス転移についての研究
	池 浩	論文賞（日本塑性加工学会）	感圧箔による接触面圧分布測定、塑性と加工 33(383) 1394-1399, 1992
6	中川威雄	技術賞（型技術協会）	レーザー切断鋼板積層による短納期プレス成形型の実用化
	小川智也	日本学士院賞	細胞表面の複合糖質と関連糖鎖に関する合成研究
	甘利俊一	日本学士院賞	神経情報処理の基礎理論研究
	竹内芳美・森重功一・横山信人・久木達也	工作機械技術振興賞 論文賞（工作機械技術振興財団）	側面切れ刃工具による5軸制御加工、精密工学会誌 60(8) 1164-1168, 1994
	中軽米直樹	工作機械技術振興賞 奨励賞（工作機械技術振興財団）	2次曲面切れ刃工具による5軸制御切削加工
8	石橋幸治・青柳克信・菅野卓雄	応用物理学会賞	半導体ナノ構造における電子輸送
9	藤澤哲郎・有留賀朋哉・植木龍夫 他3名	JB論文賞（日本生化学会）	The Hydration of Ras p21 in Solution during GTP Hydrolysis Based on Solution X-Ray Scattering Profile, JB 115(5), 875-880, 1994
	岩木正哉	RAUL CARREA賞	通電離脱式コイルの表面修飾に関する新たな実験的様相について
12	凌 楓	研究奨励賞（日中科学技術交流協会）	日本国留学中に行った科学技術分野における研究の成果
1996.2	加川貴俊	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	ホウライシタ配偶世代における核定位運動の光制御
3	尾上 順	日本原子力学会賞 奨励賞	アクチニド化合物の電子構造および化学結合における相対論効果に関する理論的研究
	田中和子	押田賞（日本太陽エネルギー学会）	Synechococcus sp.を用いた光合成微生物電池
4	伊藤正男	日本国際賞（国際科学技術財団）	小脳の機能原理と神経機構の解明
	田代英夫・杉岡幸次	注目発明（科学技術庁）	真空紫外光による加工装置及び加工方法
	牧野内昭武	科学技術庁長官賞（研究功績者）	複雑形状のプレス成形加工のためのソフトウェアの研究
5	川合眞紀	猿橋賞（女性科学者に明るい未来をの会）	固体表面における化学反応の基礎研究
	中川威雄・鶴 英明	研究進歩賞（粉体粉末冶金協会）	電動式CNCプレスによる粉末形成の研究
6	坂本康治	手島記念研究賞 博士論文賞（東京工業大学）	ダイネミシンAとステロイド骨格に関する分子力学場計算に基づく分子設計と合成研究
	加瀬 究・森重功一	奨励賞（型技術協会）	金型加工への5軸制御の適用—2次元Configuration空間を用いた工具干渉回避法—
7	大西 昇・黄 捷・寺倉生剛・杉江 昇	技術賞（計測自動制御学会）	音源方位推定機能を持った移動ロボット
9	侯 召民	研究奨励賞（錯体化学研究会）	First Isolation and Reversible Coupling of a Metal Ketyl Complex
10	小林正智	奨励賞（植物化学調節学会）	ジベレリン、オーキシン等内生成長調節物質による植物の生活環制御機構の研究
11	御子柴克彦	日本医師会医学賞	哺乳類中枢神経の発生・分化の分子生物学的解析
	栗原正明・内海恭一・深見順一	関東地方発表明彰 発明奨励賞	ニカマイチュウの配偶行動制御剤
	山口 勇・鎌倉高志	同上	プラスミドベクター
	伊藤正男	文化勲章	神経生理学・神経科学
	理化学研究所	日本ディスプレイデザイン協会 ディスプレイデザイン優秀賞	科学技術館5F FOREST [SCIENCE MUSEUM]
	戎崎俊一	Computer Visualization Contest 最優秀賞（AVS大賞）	銀河衝突の再現シミュレーション「車輪銀河」「アンテナ銀河」
	長田裕之	住木・梅澤記念賞（日本抗生物質学術協議会）	微生物由来の細胞機能調節物質の探索と理由に関する研究
12	理化学研究所	通商産業大臣賞	科学技術館5F FOREST「遊び・創造・発見の森」
	崔 承彬	有山兼孝記念研究奨励賞（日中科学技術交流協会）	日本国留学中に行った科学技術分野における研究成果



受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	凌 楓	中国大使館 優秀論文賞	科学技術における優秀な成績
1997. 3	大森 整・中川威雄・高橋一郎	大河内記念技術賞（大河内記念会）	鑄鉄ボンド砥石による電解インプロセスドレッシング（ELID）鏡面研削法の開発
	森重功一・加瀬 究・竹内芳美	論文賞（精密工学会）	C-Spaceを用いた5軸制御加工のための工具経路生成法，精密工学会誌 62(12) 1783-1787, 1996
4	安部静子・小林義男・安部文敏	注目発明（科学技術庁）	マルチトレーサーの製造方法
	辻 崇一・黒澤信幸・浜本敏郎・李 泳春・中岡隆志・小島直也	同上	新規糖鎖合成酵素
	青柳克信	科学技術庁長官賞（研究功績者）	新しいレーザーイオンビームテクノロジーの開発に関する研究
	池 浩	日本材料試験技術協会賞	画像応用による微細表面形状の評価法
5	侯 召民	奨励賞（足立賞）（日本希土類学会）	有機合成反応に関連した低原子価希土錯体の研究
6	甘利俊一	エマニエル・R・ピオレ賞（IEEE）	Pioneering Contributions and Leadership in Neural Networks and Information Geometry
	間 陽子	森永奉仕会賞（森永奉仕会）	抗毒性遺伝子マーカーおよび腫瘍マーカーとしてのウン腫瘍組織適合クラス 抗原の解析
	土肥俊郎・影山俊文・河西敏雄・中川威雄	工作機械技術振興賞（論文賞）（工作機械技術振興財団）	A New Processing Technique of GaAs Single Crystals and Its Mechanism Int. J. JSPE 30(1)
8	大森 整	Taylor Medal (CIRP, The International Academy for Production Engineering)	Analysis of Mirror Surface Generation of Hard and Brittle Materials by ELID (Electrolytic In-Process Dressing Grinding) with Superfine Grain Metallic Bond Wheels
9	甘利俊一	カイアニエロ記念賞（イタリア神経回路網学会）	Pioneering Studies and Contributions in Neural Network Dynamics
12	丹波護武・坂本雄一	関東地方発明表彰 発明奨励賞	プラズマ発生装置
1998. 3	伊藤正男	Ordre National de la Legion D'Honneur Chevalier（レジオン・ドヌール勲章） フランス	
	Chi-Huey Wong	Harrison Howe Award（アメリカ化学会）	Rocester Section
	Chi-Huey Wong	Claude. S. Hudson Award（アメリカ化学会）	Carbohydrate Chemistry
	藤井輝夫	高度自動化技術振興賞 奨励賞	An On-line Adaptation Method in a Neural Network Based Control System for AUVs
	御子柴克彦	上原賞（上原記念生命科学財団）	哺乳類中枢神経系の発生と分化の分子生物学的研究
	理化学研究所	機械産業記念事業財団・ハイテク・ビデオ・コンクール最優秀作品賞（経済団体連合会会長賞）	サイエンスの証言—理研の80年
	中川威雄	功績賞（回路実装学会）	プリント回路技術の発展向上への多大な貢献
	有江 力	日本農薬学会賞	土壌病害の免疫学的検診法に関する研究
4	竹松 伸	日高論文賞（日本海洋学会）	海洋におけるマンガン酸化物に関する一連の総説 海の研究 4 269-286, 287-313, 1995, 5 311-326, 1996（3編）
	熊谷 寛・豊田浩一	注目発明（科学技術庁）	軟X線光学素子用多層膜構造
	平林義雄・市川進一	同上	セラミドグルコシルトランスフェラーゼ
	安部文敏	科学技術庁長官賞（研究功績者）	マルチトレーサー法の開発と応用に関する研究
	上垣外修一	高エネルギー加速器科学研究奨励賞	折り返し同軸型・可変周波数RFQの開発
5	岡田 元	奨励賞（日本菌学会）	糸状不完全菌類の分類学的研究—形態と分子系統の側面から
6	有馬朗人	Ordre des Palmes Academiques-Officier（フランス教育功労章—オフィシエ）	日仏の教育、研究活動に貢献
	伊藤正男	Ordre des Palmes Academiques-Chevalier（フランス教育功労章—シュバリエ）	これまでの研究活動全般
7	姫野龍太郎	映像賞 芸術賞（可視化情報学会）	野球ボールのまわりの流れの可視化写真
8	中川威雄	William Johnson International Gold Medal (AMPT'98 International Award)	Lifetime Achievement in Material Processing Research
9	水野皓司	ケネス・J・バトン賞（イギリス物理学会）	ミリ波・サブミリ波アレイ・デバイスに関する独創的な研究開発に対して
10	三浦 均	Computer Visualization Contest 優秀賞 SGI賞	The Origin of the Moon
	肖 鋒・三浦 均・清水鉄也・戎崎俊一	Computer Visualization Contest 入選	液面に落下する物体の数値シミュレーションおよび可視化

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	山口一郎	関東地方発明表彰 発明奨励賞	物体の歪みの測定方法
11	金井 崇	設計工学・システム部門ラピッドプロトタイピングコンテスト アイデア賞（日本機械学会）	ラピッドプロトタイピングのためのメッシュ細分割処理
12	御子柴克彦	慶應医学賞	哺乳類脳神経系の発生と分化のメカニズムの解析
	西中太郎	Amersham Biosciences & Science Prize for Young Scientists (The Regional Prize for Japan for an Outstanding Essay)	相同組替えにおいて誘起されるDNAの新規な構造
1999. 2	山口一郎	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	ストレーンゲージやエンコーダーを用いたスペックル干渉法やファイバー光干渉センサー研究への貢献
3	羽田野祐子	奨励賞（日本原子力学会賞）	チェルノブイリ大気中放射性核種濃度の長期予測
	遠藤 勲	学会賞（化学工学会）	生物化学工学に関する研究—とくにバイオプロセスシステムの知能化に関する研究および種々の新規バイオリクターの開発研究
	劉 紀元	光学論文賞（応用物理学会）	Observation of a fringe locking phenomenon in a self-feedback laser diode interferometer, JJAP 37(5A) 2610-2619, 1998
	浅見忠男	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	植物特異的生理現象の解明に向けた機能プローブの創製研究
	梶本哲也	奨励賞（日本薬学会）	アルトラゼを利用した糖鎖関連化合物の合成研究
4	杉岡幸次・和田智之・田代英夫・豊田浩一	注目発明（科学技術庁）	光照射を用いた物質の加工方法
	安齋正博・高橋一郎	中小企業優秀新技術 新製品賞	超高速加工機「スパークカット」の共同開発（キタムラ機械株式会社との共同開発）
	飯塚哲太郎	科学技術庁長官賞（研究功績者）	生体防御機能に関する新ヘムタンパク質に関する研究
	上坪宏道	紫綬褒章	重イオンリングサイクロトロンの開発
5	杉岡幸次・張 杰・緑川克美	業績賞 進歩賞（レーザー学会）	複合レーザープロセスによるハードマテリアル加工
6	掛谷秀昭	研究奨励賞（がん分子標的治療研究会）	抗がん剤サイトトリエンンによるアポトーシス誘導とMST/Krs蛋白質の活性化に関する研究
	長田 実	手島記念研究賞 博士論文賞（東京工業大学）	Y系およびBi系高温超伝導体のフォノンラマン散乱
	大森 整・中川威雄	全国発明表彰 発明特別賞 経済団体連合会会長賞	電解インプロセスドレッシング鏡面研削技術（特願昭63-12305号）
7	山口一郎	Fellow of SPIE (The International Society for Optical Engineering, USA)	ホログラフィー・スペックル計測・干渉法分野への功績
	溝口 剛	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	植物におけるプロテインキナーゼに関する分子生物学的研究
9	遠藤 勲 他6名	論文賞（日本生物工学会）	Protein Refolding System Using Holo-Chaperonin from the Thermophilic Bacterium Thermus thermophilus, J. Ferment. Bioeng. 86(6) 564-570, 1998
	望月優子	核理論新人論文賞（原子核理論委員会）	Dynamics of Exotic Nuclear Rod Formation for the Origin of Neutron Star Glitches, Astrophys. J. 521 281, 1999
	大森 整	高城賞（精密工学会）	超LSIデバイス・プロセスの機械的ブラナリゼーション加工に関する研究
12	林 偉民	高度自動化研究奨励賞（日中科学技術交流協会）	硬脆材料の超精密加工法に関する研究
2000. 2	中野明彦	井上学術賞（井上科学振興財団）	メンブレントラフィックにおける選別輸送の分子機構の研究
	田中秀樹	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	クラスターイオンの衝突反応過程
	山口一郎	Honorary Member (The Optical Society of Korea)	光工学に関する研究
	候 召民	有機合成化学奨励賞（有機合成化学協会）	新規希土類金属活性種の開拓と高選択的有機合成反応への応用
	末永俊朗	中外製薬研究企画賞（有機合成化学協会）	有色の脱離基、保護基による固相反応のリアルタイムモニタリング手法の開発
	長澤和夫	東レ研究企画賞（有機合成化学協会）	新規五環性グアニジン化合物を用いた不斉反応場の設計と合成反応への展開
3	若槻康雄	学術賞（日本化学会）	遷移金属と不飽和基質の基礎的相互作用と新変換反応の研究
	高橋俊哉	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	糖質をキラルプールとして用いた酵素阻害活性天然物の合成化学的研究
4	大森 整・山形 豊・山形 豊	中小企業優秀新技術・新製品賞（中小企業庁長官賞）	ELID研削加工機「ワン・ツー・カットヒカリオン」
	間 陽子	日本獣医学会賞	牛白血病ウィルスによる白血球発症の感受性を規定するウシMHCクラス 遺伝子の分子生物学的解析とその臨床応用
	遠藤 勲	科学技術庁長官賞（研究功績者）	次世代バイオプロセス構築のための基盤要素技術の研究

受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
5	伊藤弘昌	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	周期ドメイン制御非線形光学およびTHz波パラメトリック発振器を用いた波長可変コヒーレントTHz波発生に関する先駆的研究
	御子柴克彦	カレッジ・ド・フランス メダル	細胞機能のカギとなる分子であるIP3レセプター、Ca <sup>2+</sup> チャネルの研究
	玉木 徹	学生研究奨励賞 (電子情報通信学会 東海支部)	フローのcurlに基づいた回転する人物の腕の抽出とパラメータ推定
	牧野内昭武	会田技術賞 (日本塑性加工学会)	板材プレス成形シミュレーションに関する総合的研究
	西川雄大	高分子研究奨励賞 (高分子学会)	高分子の自己組織化を利用した表面微細加工および組織工学への応用
	伊藤弘昌・川瀬晃道	業績賞 論文賞 解説部門 (レーザー学会)	パラメトリック発振による波長可変テラヘルツ電磁波の発生と応用, レーザー研究 26(7) 522-526, 1998
6	高島昌子	奨励賞 (日本微生物資源学会)	担子菌系酵母の分類学的研究
	姫野龍太郎	Computer Visualization Contest 最優秀賞 (AVS大賞)	新しい魔球ジャイロボールの投球動作とボールが作る流れの数値解析
7	清川悦子	学術奨励賞 (浜松医科大学同窓会)	DOCK180がCrk-p130Cas複合体を正に制御する証拠、ほか
	長田裕之	日本放線菌学会賞	放線菌由来低分子阻害剤の多様性に関する研究
10	中川紀子 他5名	JB論文賞 (日本生化学会)	Crystal Structure of Thermus thermophilus HB8 UvrB Protein, A Key Enzyme of Nucleotide Excision Repair, J. Biochem. 126(6) 986-990, 1990
	中山 洋	奨励賞 (クロマトグラフィー科学会)	LC-MSを用いた微量タンパク質の構造解析ならびに相互作用の解析
	篠崎一雄	Japanese Citation Laureates (ISI Thomson Scientific)	1981年から1998年までに発表された論文の中でHigh Impact Factor Paperを12報以上発表した日本の科学者
11	戎崎俊一・成見 哲・川井 敦・薄田竜太郎・古石貴裕・古沢秀明	Gordon Bell Prize, Peak Performance Category (IEEE Computer Society)	1.34 Tflops Molecular Dynamics Simulation for NaCl with a Special-Purpose Computer: MDM
	大森 整	技術業績賞 (日本機械学会生産加工・工作機械部門)	電解インプロセスドレッシング (ELID) による鏡面研削技術
	川口 (北爪) のぶ	山形賞 (東京工業大学糖鎖研究会)	複合糖質研究に関するこれまでの研究業績
	中村祐輔	慶應医学賞	ゲノム解析に基づいたヒト諸疾患の病因遺伝子の解明
	中嶋 健・Ruggero Micheletto・三井圭太・磯島隆史・原 正彦・和田達夫・雀部博之・Wolfgang Knoll	技術賞 (日本表面科学会)	近接場光学顕微鏡/走査型トンネル顕微鏡複合装置の開発
	12	中村 淳	Award for Encouragement of Research in Materials Science (The Materials Research Society of Japan)
土肥義治		Hammar Memorial Award for Lifetime Achievement (The BioEnvironmental Polymer Society, U.S.A)	生分解性高分子に関する研究
2001.2	林崎良英	つくば賞 (茨城県科学技術振興財団)	大量高速遺伝子 (cDNA) 解析技術の開発とそれを用いた遺伝子辞書の作製
	高橋俊哉	中外製薬研究企画賞 (有機合成化学協会)	非直結型ビスフランのダブル酸化反応を機軸とするスピロエーテル類の新規合成法の開発と天然物合成への応用
3	中田 忠	日本薬学会賞	多官能性生物活性天然物の全合成研究
	佐藤寛子・中田 忠 他2名	BCSJ賞 (日本化学会)	Classification and Prediction of Reagents' Roles by FRAU System with Self-Organizing Neural Network Model, BCSJ 73(9) 1955-1965, 2000
	下村政嗣	学術賞 (日本化学会)	自己組織化を用いた分子集合体の階層的構造化
4	清水裕彦・奥 隆之	注目発明 (文部科学省)	中性子ビーム制御装置及び中性子エネルギー測定装置
	若槻康雄	文部科学大臣賞 (研究功績者)	金属錯体の新規触媒作用に関する研究
	理化学研究所	科学技術映像祭 文部科学大臣賞 (基礎研究部門)	「元素誕生の謎にせまる」
	理化学研究所	科学技術映像祭 文部科学大臣賞 (科学技術部門)	「サイクロトロン物語—理研の核物理研究—」
5	香取浩子	守田科学研究奨励賞 (大学婦人協会)	磁性体の性質についての研究
	岩田忠久	高分子研究奨励賞 (高分子学会)	生分解性ポリエステル単結晶の結晶構造と酵素分解機構の解明
	中山知信	花王研究奨励賞 表面の科学 (花王芸術・科学財団)	C60、CaF単層結晶膜の形成と欠陥導入の原子プロセスの研究
6	国武豊喜	日本学士院賞	合成二分子膜の発見と分子組織化学の開拓

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	浅間 一	学術業績賞（日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門）	ロボティクスメカトロニクス分野における新分野の開拓とその発展
	Nuttaphong Sornsuwit ・竹内芳美・澤田 潔・ 佐田登志夫	工作機械技術振興賞 論文賞（工作機械技術振興財団）	マイクロ溝加工技術を用いたフレネルレンズ金型加工，日本機械学会論文集 C編 64(628) 4887-4892, 1998
7	竹市雅俊	ロス・ハリソン賞 (International Congress of Developmental Biology)	カドヘリンの発見
	甘利俊一	INNS President Award (IEEE International Joint Conference on Neural Networks; INNS)	アジア太平洋ニューラルネットワーク協議会創設における卓越し
	小林俊秀	International HDL Research Awards (Pfizer Inc)	Cholesterol Homeostasis in Macrophages (マクロファージにおけるコレステロールの恒常性)
8	榊 佳之	Ordre des Palmes Academiques-Chevalier (フランス教育功労章—シュヴァリエ)	これまでの研究活動全般
9	坂口喜生	光化学協会賞	光検出ESR法を用いた光化学反応初期過程の研究
	小林俊一	Ordre des Palmes Academiques-Officier (フランス教育功労章—オフィシエ)	日仏の教育、研究活動に貢献
	Takao Kurt Hensch	塚原伸晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団）	大脳視覚野発達臨界期の成因
	甘利俊一・福永健次	論文賞（日本神経回路学会）	Local minima and plateaus in hierarchical structures of multilayer perceptrons, Neural Networks 13(3) 317-327, 2000
10	三木邦夫	学術賞（日本結晶学会賞）	生体分子間の相互作用と分子認識に関する結晶学的研究
	小林直宏	奨励賞（日本ペプチド学会）	合成ペプチドを利用したタンパク質構造形成過程に関する研究
	榊 佳之	日本人類遺伝学会賞	ヒトゲノム計画の推進—特に21番染色体の解読—
	瀬戸秀春	植物化学調節学会賞	植物ホルモン類の精密合成によるプローブ化とその応用に関する研究
	岡崎康司	日本青年会議所・人間力大賞 グランプリおよび経済産業大臣奨励賞	これまでの研究活動全般
	安齋正博・中川威雄	関東地方発明表彰 発明奨励賞	「磁気研磨装置（特許第3072246号）」※磁気研磨装置はフープ状の金属薄片のような長尺薄物の研磨に最適な装置
	高島 晶・河野まり・黒澤信幸・吉田雪子・立田由里子・井上みお・兼松妙・辻 崇一	JB論文賞（日本生化学会）	Genomic Organization and Transcriptional Regulation of the Mouse GD3 Synthase Gene (ST8Sial): Comparison of Genomic Organization of the Mouse Sialyltransferase Genes, JB 128(6), 1033-1043, 2000
	Piero Carninci	Biotech Award 2001-First Prize	Creation of a comprehensive mouse full-length cDNA resource and its functional annotation
11	竹市雅俊	慶應医学賞	カドヘリンの発見と細胞間接着機構の解明
2002. 3	川瀬晃道	丸文研究奨励賞（丸文財団）	非線形光学効果を用いた広帯域波長可変コヒーレントテラヘルツ波発生の先駆的研究
	鈴木教之	奨励賞（触媒学会）	ジルコニウム錯体を触媒とする不飽和炭化水素の炭素—炭素結合の生成
	掛谷秀昭	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	細胞の生死を制御する天然有機化合物を利用した化学生物学的研究
	越野広雪	同上	新しいNMR構造解析法の開発と微生物の生産する新規生物活性物質の精密構造解析に関する研究
	眞鍋志乃	奨励賞（日本薬学会）	新規な複合糖質糖鎖迅速合成法の開発
	清水裕彦 他52名	論文賞（日本物理学会）	Direct Observation of Sequential Weak Decay of a Double Hypernucleus, Prog. Theor. Phys. 85(6) 1287, 1991
4	長田裕之	文部科学大臣賞（研究功績者）	アポトーシス誘導物質サイトトリエンの研究
	武内一夫	同上	ナノ粒子のサイズ選別手法の研究
5	明石知子	論文賞（日本質量分析学会）	Evaluation of Binding Affinity of N-Terminally Truncated Forms of Cystatin for Papain With Electrospray Ionization Mass Spectrometry, J. Mass Spectrom. Soc. Jpn. 48(5) 346-352, 2000
	大熊盛也・工藤俊章	The William Trager Award for Outstanding Paper (The Society of Protozoologists)	Phylogenetic identification of hypermastigotes, Pseudotrichonympha, Spirotrichonympha, Holomastigotoides, and parabasalians symbionts in the hindgut of termites, Journal of Eukaryotic Microbiology 47(3) 249-259, 2000
6	鈴木邦彦	日本学士院賞	遺伝性神経疾患、特にスフィンゴリビドーシスの病理機序に関する研究
	尾崎美和子	奨励賞（日本女性科学者の会）	神経インパルスのパターンのプロファイリングと脳の可塑性の制御
	安齋正博・高橋一郎	技術賞（型技術協会）	金型用鋼材の高速ミリング技術
	高橋一郎・安齋正博	奨励賞（型技術協会）	高速ミリング用ボールエンドミルの製作と切削特性

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
7	榎本秀一	研究奨励賞（野見山賞）（日本微量元素学会）	Tumor Accumulation of Radioactive Trace Elements: A Multitracer Study
	田中啓治	時実利彦記念賞（時実利彦記念脳研究助成基金）	側頭連合野における物体視覚像の脳内表現の解明
	大坪嘉行	Federation of European Microbiological Societies-Third Prize	A novel approach to the creation of microorganism for efficient bioremediation promoter implanting by homologous recombination
	姫野龍太郎	映像賞 SGI賞（可視化情報学会）	Computational Study of Influences of a Seam Line of a Ball for Baseball on Flows
	吉田茂男・阿部知子・鈴木賢一	技術賞（日本植物細胞分子生物学会）	重イオンビームによる突然変異誘発法の開発と応用
8	中村信行	若手奨励賞（原子衝突研究協会）	Tokyo-EBITを用いた多価イオンの分光研究—X線分光—
	岡田芳樹	論文賞（日本エアロゾル学会）	The Stability of Ammonia Cluster Ions and Its Relation to Nucleation Rate, Journal of aerosol research 17(1) 30-38, 2002
	川口（北爪）しのぶ	奨励賞（日本糖質学会）	シアロオリゴ糖の構造・機能および代謝に関する研究
9	甘利俊一	日本統計学会賞	これまでの研究業績全般
	安齋正博・中川威雄	技術賞（砥粒加工学会）	電気カミソリ刃のマイクロデバリング用磁気研磨技術
	一ノ瀬 泉	科学奨励賞（日本化学会コロイドおよび界面化学部会）	逐次吸着による新しい有機、無機、高分子超薄膜の創造
	中島弘道・大西 昇・向井利春	研究賞（日本神経回路学会）	感覚運動統合による音源定位ロボットの構築
	阿形清和	日本動物学会賞	ブラナリアを用いた脳の進化と再生に関する分子・細胞生物学的研究
	緑川克美	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	For contributions to generation of coherent XUV radiation by femtosecond high intensity lasers
	石川哲也	学術賞（日本結晶学会）	放射光用の高性能X線光学システムの開発と利用研究
	10	榊 佳之	Moosa Award (The Biochemical Society of the Republic of Korea; BSRK)
浅間 一		グッドデザイン賞（日本産業デザイン振興会）	被災者探索レスキュー用データキャリア（Rescue IDC）
有本 裕		関東地方発明表彰 特許庁長官奨励賞	農薬コーティング剤
11	外村 彰	文化功労者	物理学
	上口裕之	三四会奨励賞（慶應義塾大学医学部）	細胞接着分子による神経軸索成長の制御機構の解明
	川端邦明	奨励賞（計測自動制御学会 システム・情報部門）	マルチロボット環境下におけるロボットの拡自行動—ロボット間コミュニケーションの創発による環境共創—
12	河田 聡	島津賞（島津科学技術振興財団）	近接場分光法とナノフォトリクスの研究
	姫野龍太郎・深作和明	銅賞（日本脳神経血管内治療学会）	マイクロCTによるembolic coil微細構造の観察
	理化学研究所・ワイコフ興業（株）	最優秀新技術賞（科学技術と経済の会）	超微粒計測システム「DMA装置」
	皿井明倫	Oxford University Press Bioinformatics Prize (日本バイオインフォマティクス学会)	Target Prediction of Transcription Factors: Application of Structure-Based Method to Yeast Genome
	横山敬郎	Award for Encouragement of Research in Materials Science (The Materials Research Society of Japan)	THE MORPHOLOGICAL CHANGES AND ADHESION STRENGTH IN ION BOMBARDED COLLAGEN
2003. 2	黒飛紀美	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	イオンビーム照射によるコラーゲンの生体反応性制御に関する研究
	篠崎一雄・篠崎和子	つくば賞（茨城県科学技術振興財団）	環境ストレス応答に関わる植物遺伝子群の機能、発現の解明とストレス耐性植物の開発
	河田 聡	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	近年の近接場光学、3D顕微鏡、光センサー、光反応など光学／フォトリクスの分野における功績
	板橋健太	GSI Exotic Nuclei Community Membership Award (Gesellschaft für Schwerionenforschung mbH; GSI) ドイツ	Discovery of Deeply Bound Pionic States in Lead Atoms
	Rituparna Kanungo	同上	Outstanding Experimental Studies of Light Neutron-Rich Nuclei
	石川哲也	Fellow of SPIE (The International Society for Optical Engineering, USA)	これまでの業績
	松尾 剛	コンビナトリアル・ケミストリー研究会研究企画賞（有機合成化学協会）	アポトーシス誘導を指向した糖鎖を有する抗ガン活性物質の創製
3	Franco Nori	Fellow of APS (American Physical Society)	Innovative theoretical contributions to the study of vortex dynamic in superconductors, dynamical instabilities, Josephson junction arrays and quantum interference

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	平山秀樹	丸文研究奨励賞（丸文財団）	Ⅲ族窒化物4元混晶を用いた深紫外・高輝度LEDの研究
	浜垣 学	プラズマエレクトロニクス賞（応用物理学会）	Absolute concentration and loss kinetics of hydrogen atom in methane and hydrogen plasmas, Journal of Applied Physics, 90 (11) 5497-5503, 2001 ほか1編
	大熊盛也	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	シロアリー微生物共生系の分子生態学的研究
	染谷信孝 他4名	論文賞（日本植物病理学会）	Synergistic Antifungal Activity of Chitinolytic Enzymes and Prodigiosin Produced by Biocontrol Bacterium Serratia marcescens strain B2 against the Gray Mold Pathogen, Botrytis cinerea, J. Gen. Plant Pathol., 67 (4) 312-317, 2001
4	和田智之	中小企業優秀新技術・新製品賞	高速波長可変赤外レーザーシステム「POPO-11」
	大森 整	文部科学大臣賞（研究功績者）	電解インプロセスドレッシング（ELID）鏡面研削法の研究
	大森 整	市村学術賞 貢献賞（新技術開発財団）	電解インプロセスドレッシング（ELID）による鏡面研削法の研究
5	物質基盤研究部 化学分析室	日本分析化学会 50周年記念特別功労賞	微量分析で分析精度と確度を向上させるために用いられる標準試料の選定に参加し、これらの試料を用いた検定作業に貢献したこと
	榊 佳之	中日文化賞	ヒトゲノム解読への貢献
6	池田敏之	奨励賞（日本骨代謝学会）	軟骨再生医療を目指したSOX9/SOX5/SOX6の遺伝子同時導入による軟骨誘導に関する研究
	高口雅成・柿林博司・常田るり子・山岡正作・新野俊樹・田中信夫・加瀬究・岩木正哉	論文賞（日本顕微鏡学会）	Three-dimensional STEM for observing nanostructures, Journal of Electron Microscopy 50(3) 235-241, 2001
	川口（北爪）しのぶ	奨励賞（日本女性科学者の会）	アルツハイマー病の原因究明に関する独創的な研究
	高橋一郎・安齋正博	奨励賞（型技術協会）	「小径ボールエンドミルによる焼入れ鋼の高速ミーリング」
7	Franco Nori	Fellow of the Institute of Physics 英国	凝縮系物質物理学への先駆的寄与
	神谷勇治	Corresponding Member (conferred by The American Society of Plant Biologists)	これまでの研究活動
8	高口博志	若手奨励賞（原子衝突研究協会）	交差分子線散乱画像観測法による開殻系非弾性散乱の研究
9	御子柴克彦	Zülch Prize (Gertrud Reemtsma Foundation) ドイツ	ブルキンエ細胞内のIP3受容体の発現と機能に関する研究、及び脳神経系の発生と分化における先駆的研究
	米田忠弘	論文賞（日本表面科学会）	振動励起による単一分子の化学反応と化学種同定, 表面科学 23(7) 443-449, 2002
	山田真久	奨励賞（日本神経化学会）	ムスカリン性アセチルコリン受容体サブタイプの中樞神経における特異的役割
10	大森 整	運沼記念賞（精密工学会）	ELID研削加工技術
	凌 楓	奨励賞（日本生化学会）	ミトコンドリア遺伝の基本分子機構
	嶋田幸久	奨励賞（植物化学調節学会）	ブラシノステロイド関連性遺伝子に関する分子生物学的研究
	山本雅貴	ひょうごSPRING-8賞	蛋白質結晶構造解析高度化への貢献
11	和田昭允	横浜文化賞	これまでの研究活動全般
	榊 佳之	紫綬褒章	ヒトゲノム解読研究への貢献
	杉山達夫	Ordre des Palmes Academiques-Officier (フランス教育功労章—オフィシエ)	これまでの研究活動・全般
	甘利俊一	C&C賞（NEC C&C財団）	ニューロコンピューティングおよび脳の数理情報科学への先駆的かつ指導的貢献
	松尾一郎	奨励賞（東京糖鎖研究会）	収斂的経路によるアスパラギン結合型糖鎖の効率的な合成法の開発研究
	池田敏之	奨励賞（東京大学整形外科同窓会）	軟骨関連コラーゲン遺伝子多型と変形性関節症の相関解析
	白川太郎	ベルツ賞 1等賞（ベーリンガーインゲルハイム社）	生活習慣関連病モデルとしてのアレルギー疾患の予防戦略の構築:原因遺伝子解析からのフィールドにおける予防実施疫学研究へ
	平井浩一・山口正雄・山本一彦	ベルツ賞 2等賞（ベーリンガーインゲルハイム社）	アレルギー疾患における病態形成機序の解析（慢性炎症を形成する細胞動態の制御に向けて）
12	深見真二郎・渡邊かおり・岩田修永・西道隆臣	Neuroscience Research Excellent Paper Award	Aβ-degrading endopeptidase, neprilysin, in mouse brain: synaptic and axonal localization inversely correlating with Aβ pathology, Neuroscience Research Volume 43(1) 39-56,2002
	越後眞成美	研究奨励賞（予防衛生協会）	サル類の顕微授精に関する研究
	白髭克彦	三菱化学奨励賞（日本分子生物学会）	真核生物染色体の複製開始制御機構の解析
2004. 2	大森 整	奨励賞 起業家部門（創業・ベンチャー国民フォーラム）	研削だけでナノレベルの鏡面加工が実現できる日本発独自技術であるELID加工技術の開発

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	関口仁子	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	重陽子-陽子弾性散乱による三体力効果の探索
	叶 直樹	第一製薬研究企画賞（有機合成化学協会）	蛋白質-低分子リガンド間相互作用の網羅的解析を指向した官能基非依存型低分子マイクロアレイの創製
3	小川智也	CAS Science Spotlight Hall of Fame	世界各国からのCASのデータベースサービスを通じた原文要求が最も多い優れた論文
	谷口 克	上原賞（上原記念生命科学財団）	NKT細胞の研究
	高橋栄治	研究表彰（光科学技術研究振興財団）	高次高調波を用いた超短パルス高エネルギー軟X線光源に関する研究
	笠原和起	安藤百福賞 優秀賞 基礎研究部門（安藤スポーツ・食文化振興財団）	ピロロキノリンキノンが新しいビタミンであることの発見
	榊原 均	奨励賞（日本植物生理学会）	高等植物における窒素栄養情報伝達機構に関する研究
	藤原真琴	新人賞（原子核談話会）	冷たい反水素原子の生成と検出
4	坂本光央	黒屋奨学賞（日本細菌学会）	分子生物学的手法による歯周病性細菌の検出・定量系の確立と口腔内細菌叢の多様性解析に関する研究
	山口 勇	日本農学賞（日本農学会）	環境調和型の植物病害制御剤の薬理機構と代謝に関する研究
	山口 勇	読売農学賞（読売新聞社）	同上
	林崎良英	文部科学大臣賞 研究功績者表彰	DNAの常温保存流通方法に関する研究
	中村祐輔	紫綬褒章	遺伝医学の発展に貢献
	竹市雅俊	Foreign Honorary Members (The American Academy of Arts and Sciences)	これまでの研究活動全般
5	臼井健郎	研究奨励賞（がん分子標的治療研究会）	微小管チェックポイントを活性化する抗がん剤の開発
	森脇和郎	功労賞（日本実験動物学会）	実験動物学研究、実験動物系統の開発、系統の維持・提供事業、日本実験動物学会の運営等における長年にわたる貢献
	山村直人・桑原利彦・牧野内昭武・Cristian Teodosiu	日本塑性加工学会賞 論文賞	シェル要素による純曲げ変形のスプリングバック解析とその精度評価: 不つり合い力補正手法を導入した静的陽解法FEMによる板材成形のスプリングバック解析 第1報, 塑性と加工 43(496) 72-78, 2002
	浜 孝之	日本塑性加工学会賞 新進賞	静的陽解法FEMによるハイドロフォーミング解析の研究
	中坊嘉宏	技術振興賞 開発賞（映像情報メディア学会）	インテリジェントビジョンシステムの開発
	有本 裕	全国発明表彰 発明賞	農薬コーティング剤の発明
	須田 亮・畑山雅俊	奨励賞（レーザー学会）	中空ファイバー中の非線形光学に関する研究
6	谷口唯成	奨励賞（日本知能情報ファジィ学会）	区分的リアブノフ関数による非線形システムの安定化
	水谷正義	若手研究者を対象とする工作機械関連の優秀論文顕彰事業（マザック財団）	金属系生体材料（Ti-6Al-4V 合金）の腐食特性に及ぼすELID研削の効果, 精密工学会誌 69(12) 1744-1748, 2003
	坂口志文	The William B. Coley Award (Cancer Research Institute)	The role of regulatory T cells in the immune system
	豊田倫子	奨励賞（日本脳科学会）	PMX2B遺伝子のポリアラニン鎖長多型と斜視を伴う統合失調症との相関
	手嶋吉法	奨励賞（形の科学会）	Dense packing of equal circles on a sphere by the Minimum-Zenith Method
	世良俊博・横田秀夫・牧野内昭武・姫野龍太郎・谷下一夫	学術奨励賞（日本バイオレオロジー学会）	マイクロCTを用いたラット細気管支の局所コンプライアンスの評価
	平野俊夫	藤原賞（藤原科学財団）	サイトカインの分子生物的研究
	牧野内昭武	産学官連携功労者表彰 文部科学大臣賞（内閣府）	成形シミュレーションソフト等の開発と製品化
	牧野内昭武	型技術協会賞 功績賞	プレス成形シミュレーション技術の研究を通し日本のプレス金型業界の技術力並びに国際競争力向上に貢献
7	守屋繁春	The 2003 William Trager Award for Outstanding Paper (Co-winner)	Molecular Phylogeny of Three Oxymonad Genera: Pyrsonympha, Dinonympha and Oxymonas, Journal of Eukaryotic Microbiology 50(3) 190-197, 2003
	垣内千尋	学術賞（日本生物学的精神医学会）	Impaired feedback regulation of XBP1 as a genetic risk factor for bipolar disorder, Nature Genetics 35, 171-175, 2003
	中村泰信	Agilent Technologies Europhysics Prize (European Physical Society)	The demonstration of quantum bits using superconducting circuits
	鈴木俊法	The Broida Prize (International Symposium on Free Radicals)	遊離基（フリーラジカル）の分光学と化学反応論に関する卓越した業績
8	木村英紀	著述賞（計測自動制御学会）	著書「制御工学の考え方」で、制御の概念やその面白さ、重要性を分かりやすく解説

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
9	石山敬貴・広瀬直也・山谷知行 他8名	論文賞（日本植物細胞分子生物学会）	Organization and Structure of Ferredoxin-Dependent Glutamate Synthase Gene and Intracellular Localization of the Enzyme Protein in Rice Plants, Plant Biotechnology 20(1) 43-55, 2003
	松尾一郎	奨励賞（日本糖質学会）	収斂的経路によるアスパラギン結合型糖鎖の効率的な合成法の開発
	丸山瑛一	応用物理学会 功労会員	応用物理学の発展への寄与、及び応用物理学会に対する功績
	神谷勇治	IPGSA (International Plant Growth Substance Association) Distinguished Research Award	ジベレリン生合成に関する研究、及び当該研究分野の国際化への貢献
	上口裕之	奨励賞（日本神経化学学会）	神経軸索成長の分子機構の研究
10	長野明紀	日本バイオメカニクス学会賞	2002-2003年に報告した一連の研究成果
	齋藤 彰	The 7th L'OREAL Art and Science of Color Prize Gold Prize	モルフォ蝶ブルーの原理と実践
	清水史郎	奨励賞（日本癌学会）	薬剤耐性・転移に関与するがん分子標的の機能解析
	豊田倫子	会長賞（長寿科学振興財団）	機能性精神疾患の系統的遺伝子解析
	土肥義治	報公賞（服部報公会）	生分解性高分子の生合成と材料設計に関する研究
	宮脇敦史	山崎貞一賞 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野（材料科学技術振興財団）	蛍光タンパク質の開発に基づくバイオイメージング技術の学際的革新
	福田光則	奨励賞（日本生化学会）	シナプトタグミン及びその類似蛋白質による膜輸送制御の分子メカニズム
	田中敏博	奨励賞（日本人類遺伝学会）	体系的ゲノム解析による心筋梗塞関連遺伝子単離とその機能解析
	入来篤史	Minerva Foundation Golden Brain Award (Minerva Foundation)	Awarded as recognition of sterling contributions to the neurobiology of vision and especially to the understanding of the dynamic cortical processes involved when motor responses are associated with visual input.
	浅見忠男	植物化学調節学会賞	植物ホルモン生合成阻害剤の戦略的創製研究
11	仲下英雄	奨励賞（植物化学調節学会）	植物免疫機構における植物ホルモンの役割とその制御に関する研究
	古崎 昭	西宮湯川記念賞（西宮市）	相互作用する一次元電子系における電気伝導の研究
	谷口 克	紫綬褒章	免疫発生学の発展に貢献
	竹市雅俊	文化功労者	発生生物学の発展に貢献
	北村英男	兵庫県科学賞	優れた挿入光源の開発を通じてのスプリング8における研究に対する貢献、及び放射光利用分野で新たな装置の開発に取り組むなどの科学技術の向上と産業界の発展への尽力
	豊島久真男	大阪市市民表彰	これまでのウイルスがん遺伝子研究での成果、及び医学の振興と発展への貢献
	御子柴克彦	武田医学賞（武田科学振興財団）	脳神経系の発生・分化機構の研究
	田原太平	日本IBM科学賞	新しい時間分解分光法の開発と凝縮相超高速分子現象の解明
	竹市雅俊	Ordre des Palmes Academiques-Officier (フランス教育功労章—オフィシエ)	日仏の学術交流への貢献
	上田泰己	日本イノベーター大賞 優秀賞（日経BP社）	不眠症やうつ病などの現代病の解決につながる「体内時計」測定方法としての「分子時刻法」の開発
12	蔡 兆申	仁科記念賞（仁科記念財団）	ジョセフソン接合素子を用いた二個の量子ビット間の量子もつれ状態の実現
	福田光則	奨励賞（日本唾液腺学会）	ラット耳下腺腺房細胞のアミラーゼ分泌におけるRab27およびSlac2-cによる制御
	清水裕彦	技術賞（日本中性子科学会）	中性子磁気光学素子などの開発と応用
	北口雅暁	奨励賞（日本中性子科学会）	多層膜ビーム分岐エタロンを用いた高精度冷中性子干渉法の開拓
2005. 1	原田慈久	奨励賞（日本放射光学会）	軟X線発光の偏光依存性の研究とその応用
2	田嶋尚也・藤沢潤一・中暢子・石原照也・加藤礼三 他2名	JPSJ注目論文（日本物理学会）	Photo-induced Insulator-Metal Transition in an Organic Conductor $\alpha$ -(BEDT-TTF) <sub>2</sub> I <sub>3</sub> , JPSJ 74(2) 511-514, 2005
	久保敏幸	The GSI Exotic Nuclei Community Membership Award ドイツ	インフライト分析器における先駆的研究開発 (Pioneer work with in-flight separators)
	森田浩介	同上	超重元素の合成と分光に関する顕著な貢献 (Outstanding contributions in synthesis and spectroscopy of superheavy elements)



受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	牧野内昭武	Japan Venture Award 2004 起業家部門特別賞（創業・ベンチャー国民フォーラム）	ポリウムCADシステムという最先端の研究をリードする傍ら、その成果の社会への還元・普及を目指して、理研ベンチャー（ASTOM社）を創業し、同社を社員数44名、年商6億円の規模（平成15年度現在）に育成した実績に対し、パイオニア精神に富む起業家であり起業を目指す者の目標となりうると認め、特別賞を授与。
	和田智之	Japan Venture Award 2004 創業・ベンチャー国民フォーラム会長表彰（創業・ベンチャー国民フォーラム）	理研で培われた高性能固体レーザー光源技術を実用化し、国内レーザー産業の国際競争力強化に重要な役割を持つ、（株）メガオプトを創業したことに対し、企業を目指す者の目標となる起業家と認め、授与。
	井上振一郎	手島記念研究賞 博士論文賞（東京工業大学）	Experimental and Theoretical studies on the Large Enhancement of Nonlinear Optical Processes in Photonic Crystals
3	岩崎弘登	The 2005 young Investigators Award Competition (American College of Cardiology Foundation)	Dose-Dependent Contribution of CD34-positive Cell Transplantation to Concurrent Vasculogenesis and Cardiomyogenesis for Functional Regenerative Recovery Post Myocardial Infarction
	野依良治	Honorary Foreign Member (The National Academy of Sciences, Republic of Korea)	これまでの研究活動全般
	井上振一郎	船井情報科学奨励賞（船井情報科学振興財団）	高非線形フォトニック結晶の創製とその非線形光学応用に関する研究
	鈴木俊法	日本学術振興会賞	分子線、超高速レーザー分光、画像観測技術を結合し、反応途上にある分子のリアルタイムな追跡と反応生成物の3次元散乱分布の可視化を実現。化学反応の量子論的機構の解明に寄与した。
	理化学研究所	日本産業技術大賞 文部科学大臣賞（日刊工業新聞社）	「理研スーパー・コンバインド・クラスター」～次世代大型計算センターのモデル～
	高橋秀樹	奨励賞（日本植物生理学会）	硫酸イオン輸送系の生理機能と制御に関する研究
	馬場 彩	宇宙線物理学奨励賞（宇宙線研究者会議）	博士論文：A Detailed Spatial and Spectral Study of Synchrotron X-rays from Supernova Remnants with Chandra
	吉良満夫	日本化学会賞	特異な電子的性質をもつケイ素化合物の創製
	阿部尚樹・廣田 洋・越野広雪 他5名	B.B.B.論文賞（日本農芸化学会）	Tetrapetalone A, a Novel Lipoxxygenase Inhibitor from Streptomyces sp., B.B.B. 68(1) 104-111, 2004
	臼井健郎	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	細胞骨格を標的とした低分子化合物の作用機構解析
	木村 真	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	重要穀類に感染する多犯性病原系細菌に関する研究
	竹嶋伸之輔	大会長賞（日本獣医学会）	牛白血病発症を規定するウシ主要組織適合遺伝子複合体クラスII DQA遺伝子の解析
	Cichocki, Andrzej	Unsupervised Learning ICA Pioneer Award (Defense and Security Symposium 2005)	Developing fundamental theory and algorithms for blind signal separation
4	上田泰己	ゴールド・メダル 東京テクノフォーラム21賞	睡眠や生命のリズムをつかさどる体内時計のシステム生物学的解明
	阿形清和	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	プラナリアを用いた再生研究
	北村英男	同上	真空封止短周期アンジュレータの研究
	川口（北爪）しのぶ	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	医学分野におけるアルツハイマー病βセクターゼの研究
	川瀬晃道	同上	テラヘルツ分野における光源とイメージング応用の研究
	Sidonia Fagarasan	同上	腸管における免疫グロブリンA産生と生体防御機構の研究
	田中敏博	同上	遺伝医学分野における心筋梗塞発症メカニズムの研究
	平山秀樹	同上	半導体光デバイス工学分野における紫外LEDの研究
	古崎 昭	同上	物性物理学分野におけるメソスコピック系の理論的研究
	若山照彦	同上	発生学分野における体細胞クローン技術に関する研究
	竹市雅俊・Erkki Ruoslahti	日本国際賞（国際科学技術財団）	細胞接着の分子機構解明における基本的貢献
	大崎俊彦	埼玉チャレンジャー企業経営者表彰 特別賞（埼玉産業人クラブ）	企業運営に関して
	理化学研究所	科学技術映像祭 文部科学大臣賞（基礎研究部門）	映像作品：「原子番号113の元素創成～核物理学の夢に挑む～」
	理化学研究所	科学技術映像祭 文部科学大臣賞（科学技術部門）	映像作品：「科学のフロンティアシリーズ7 ナノ精度から微細加工まで～未来を創る超鏡面加工技術ELID～」
	牧野内昭武	紫綬褒章	金属のプレス成形における解析法及びシミュレーションプログラムの開発
5	野依良治	Foreign Member of the Polish Academy of Sciences ポーランド	これまでの研究業績全般
	林 秀謙	JBF研究奨励賞（日本ビフィズス菌センター）	分子生物学的手法によるヒト大腸内細菌叢の解析
	池 浩	最優秀賞 会田技術賞（日本塑性加工学会）	塑性加工の表面損傷と微細表面形状の加工に関する研究
	前田瑞夫	高分子学会賞	DNAコンジュゲート高分子の合成と機能開発

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	理化学研究所	最優秀作品賞・映像文化制作者連盟会長賞（第15回TEPIAハイテク・ビデオ・コンクール）	映像作品：「原子番号113の元素創成～核物理学の夢に挑む～」
	理化学研究所	優秀作品賞（第15回TEPIAハイテク・ビデオ・コンクール）	映像作品：「ナノ制度加工から微細加工まで 未来を創る超鏡面加工技術ELID 科学のフロンティアシリーズ7」
	理化学研究所	奨励賞（第15回TEPIAハイテク・ビデオ・コンクール）	映像作品：「映像評伝 和田 水 シリーズ 女性科学者のバイオニオたち」
	理化学研究所	同上	映像作品：「ようこそ！理化学研究所 横浜研究所へ」
6	野依良治	Foreign Member - 2005 (The Royal Society) 英国	これまでの研究活動全般
	片平和俊	工作機械関連優秀論文賞（マザック財団）	Fabrication of High-quality Surface on Micro-tool by ELID Grinding Technique, Key Engineering Materials 257-258 441-446, 2004
	田中稔久	論文賞（平成17年度繊維学会誌）	微生物産生生成分解性脂肪族ポリエステルの高強度繊維ーポリヒドロキシアルカン酸繊維の延伸・熱処理条件についてー, 繊維学会誌 60(11) 309-315, 2004
	松下祥子	奨励賞（日本女性科学者の会）	自己組織化を利用した機能材料の創製
	井上振一郎	安藤博記念学術奨励賞（安藤研究所）	高非線形フォトニック結晶の創製および新規光非線形アクティブ素子への応用に関する研究
7	御子柴克彦	日本内分泌学会マイスター賞	IP3レセプターの構造・機能並びに細胞内Ca <sup>2+</sup> 制御機構の研究
	豊田倫子	学術賞（日本生物学的精神医学会）	Association between schizophrenia with ocular misalignment and polyalanine length variation in PMX2B, Hum. Mol. Genet. 13 551-561, 2004
	岩田修永	学会賞 JSGT賞（日本遺伝子治療学会）	Therapeutic Approach for Alzheimer's Disease by Nephrilysin Gene Transfer
8	平井優美	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	ポストゲノムアプローチによる硫黄栄養欠乏適応機構の解明
9	小倉淳郎	日本繁殖生物学会賞 学術賞	雄性生殖細胞の胚形成能に関する研究
	井上貴美子	日本繁殖生物学会賞 奨励賞	核移植および細胞質移植マウスの作出とその特性解析に関する研究
	浅間 一・川端邦明・嘉悦早人 他2名	論文賞（日本ロボット学会）	キャスト特性を有した複数人間協調型移動ロボット（DR Helper）と人間との協調による単一物体の搬送, 日本ロボット学会誌 21(7) 776-784, 2003
	大森 整・土肥俊郎	精密工学会高城賞（精密測定技術振興財団）	プラナリゼーションCMPとその応用技術に関する研究
	廣畑貴文	学術奨励賞 内山賞（日本応用磁気学会）	L21構造を有するCo <sub>2</sub> Cr <sub>1-x</sub> Fe <sub>x</sub> Al薄膜の結晶構造と磁気特性
	実験植物開発室	日本植物学会賞 特別賞	シロイヌナズナのバイオリソース整備における貢献
	出村 拓	日本植物学会賞 奨励賞	維管束木部細胞分化の分子メカニズムの解析
	関 原明	同上	シロイヌナズナ完全長cDNAを用いた植物ゲノムの発見・機能解析
	大村 馨	最優秀賞（平成17年度さいたま市ニュービジネス大賞）	JST大学発ベンチャー創出推進事業に伴うビジネスプラン
	加治大哉	日本放射化学会賞 奨励賞	ヘリウムガス中を運動する超重元素の平均平衡電荷に関する基礎研究ー超重元素合成実験への寄与ー
10	倉谷 滋	日本動物学会賞	脊椎動物の、主として頭部形成に関わる進化発生学的研究
	川口（北爪）しのぶ	奨励賞（日本生化学会）	アルツハイマー病 βセクレターゼによる糖転移酵素の切断
	辛 埴	報公賞（服部報公会）	超高分解能光電子分光による材料物質の電子機能性解明の研究
	市川道教	関東地方発明表彰 発明協会埼玉県支部長賞	発明：「脳活動実時間イメージング装置」
	ブレインビジョン（株）	日本バイオベンチャー大賞 大阪科学機器協会賞（フジサンケイビジネスアイ新聞社）	高速連続画像の実時間脳活動イメージングシステムの開発
11	野村崇人	奨励賞（植物化学調節学会）	ブラシノステロイドの生合成および受容体遺伝子の単離と機能に関する研究
	平野俊夫	医学賞（日本医師会）	サイトカインの分子生物学・免疫学的研究
	茅 幸二	文化功労者	—
	沖仲元毅	真空技術賞（日本真空協会）	アークプラズマガンをを用いた新規材料GeC薄膜の分子線エビタキシー成長
	ヘンシュ貴雄	Young Investigator Award (US Society for Neuroscience, 2005)	Outstanding contribution to our understanding of critical period mechanisms
	西道隆臣	Outstanding Contributor Award (Alzheimer Research Forum 2005)	Alzheimer research forum communityへの顕著な貢献
	白木 将	奨励賞（日本表面科学会）	Fe原子を微量蒸着したAu(111)ステップ基板の表面電子状態

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
12	藤吉好則	慶應医学賞	極低温高分解能電子顕微鏡開発による膜蛋白質構造生物学の発展
	山本雅貴	学術賞（日本結晶学会賞）	トリクロマティック多波長異常分散法およびデータ収集の自動化に関する開発研究
	森田浩介	仁科記念賞（仁科記念財団）	新超重113番元素の合成
	井上振一郎	研究表彰（光科学技術研究振興財団）	フォトニック結晶による非線形光学応答増大の発現と制御
2006. 1	田嶋尚也・藤沢潤一・加藤礼三 他4名	JPSJ注目論文（日本物理学会）	Out-of-Plane Resistance of Quasi-Two Dimensional Metal (BEDT-TTF) <sub>2</sub> Cl (DFBIB) in Transverse Magnetic Fields, JPSJ 75(1) 013705, 2006
	藤野竜也	新世紀賞（日本分析化学会関東支部）	フェムト秒時間分解蛍光アップコンバージョン顕微鏡の開発研究
2	岩崎雅彦	井上学術賞（井上科学振興財団）	K中間子原子に関する先駆的研究
	森田浩介	同上	原子番号113新元素の合成
	森山悟士	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	博士論文：カーボンナノチューブ人工原子の電子殻構造に関する研究
	森山悟士	手島記念研究賞（博士論文賞）	博士論文：カーボンナノチューブ人工原子の電子殻構造に関する研究
3	田原太平	日本学術奨励会賞	超高速時間分解分光による凝縮相分子ダイナミクスの研究
	平田泰久・小菅一弘・淺間 一・嘉悦早人・川端邦明	論文賞（ファナックFAロボット財団）	キャスト特性を有した複数の人間協調型移動ロボット（DR Helper）と人間との協調による単一物体の搬送, 日本ロボット学会誌 21(7) 776-784, 2003
	南原英司	奨励賞（日本植物生理学会）	種子におけるアブシジン酸作用の遺伝学的解析
	広田克也	いちおし「起」業プラン大賞 特別賞（埼玉県）	世界唯一の中性子素子技術の実用化を実現。小型加速器の開発により、将来的には医療用途を主体に大規模な市場開拓が期待できる。
	大森 整	日本機械学会フェロー	機械および機械システムとその関連分野における顕著な貢献
	浅見忠男	農芸化学研究企画賞（日本農芸化学会）	酵母、植物、動物中に存在するピロロキノリンキノン（PQQ）の生合成経路・遺伝子と機能の解明研究
	瀧本真徳	奨励賞（日本薬学会）	ニッケル錯体の特性を利用した二酸化炭素固定化反応の開発と有機合成への利用
	牧島一夫	林忠四郎賞（日本天文学会）	ブラックホール天体および銀河団のX線観測研究
	叶 直樹	若い世代の特別講演会（日本化学会）	低分子化合物の光クロスリンク反応—ケミカルゲノミクス研究用ツールの開発とその応用—
	4	篠崎一雄	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）
緑川克美		同上	新しいフェムト秒コヒーレント軟X線光源の研究
ヘンシュ貴雄		同上	神経科学分野における脳可塑性の臨界期機構の総合的研究
幸 埴		同上	極紫外レーザーを用いた超高分解能光電子分光に関する研究
上田泰己		文部科学大臣表彰 若手科学者賞	生物学分野における体内時計システムの研究
堀 昌平		同上	免疫学分野における免疫制御性T細胞のマスター遺伝子の研究
平野俊夫		紫綬褒章	免疫学研究
5	川合眞紀	日本表面科学会学会賞	固体表面における単分子の動的挙動に関する研究
	福田光則	花王研究奨励賞 医学・生物学分野（花王芸術・科学財団）	Rab27Aエフェクター分子群によるメラノソーム輸送の分子メカニズムの解明
	太田邦史	2006年 Invitrogen-Natureバイオテクノロジー賞 バイオベンチャー賞（インビトロジェン、NPGネイチャーアジア・パシフィック）	Rapid generation of monoclonal antibodies by the ADLib system
	山下将嗣・二川 清・斗内政吉・大谷知行・川瀬晃道	業績賞 論文賞 オリジナル部門（レーザー学会）	レーザーテラヘルツ放射顕微鏡のLSI故障解析への応用, レーザー研究 33(12) 855-859, 2005
6	嶋田幸久	Emerging Research Fronts in Plant and Animal Science (Thomson ISI)	Brassinolide induces IAA5, IAA19, and DR5, a synthetic auxin response element in arabidopsis, implying a cross talk point of brassinosteroid and auxin signaling, Plant Physiology 133(4) 1843-1853, 2003
	岩田忠久	繊維学会賞	生分解性ポリエステル構造、物性および生分解性に関する研究
	掛谷秀昭	同窓会研究教育奨励基金表彰（慶應義塾大学理工学部・理工学研究科）	天然物化学を基礎としたケミカルバイオロジー研究—生命科学の謎解きを目指して—
7	掘越弘毅	日本学士院賞	好アルカリ性微生物の発見と、その生理および応用に関する研究
	高木英典	The H. Kamerlingh Onnes Prize	for "pioneering and seminal transport experiments which illuminated the unconventional nature of high temperature superconducting cuprates"
	吉原良浩	研究奨励賞（日本味と匂学会）	機能的嗅覚神経回路形成の分子機構の解明へ向けての研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	高峰愛子	日本ロレアル - ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 2006（日本ロレアル株式会社）	高周波イオンガイドの開発—不安定原子核の陽子・中性子分布測定に向けて—
	中村祐輔	外国人名誉会員（ブルガリア国立医学アカデミー）	これまでのゲノム研究の功績
	小林俊弘・新野孝男・小林正智	論文賞（日本植物細胞分子生物学会）	Simple cryopreservation protocol with an encapsulation technique for tobacco BY-2 suspension cell cultures, Plant Biotechnology 22(2) 105-112, 2005
8	野依良治	モレキュラー・キラルティ―特別賞 (Molecular Chirality Research Organization)	for his distinguished research
	田村雅史・中尾朗子・加藤礼三	JSPJ注目論文（日本物理学会）	Frustration-Induced Valence-Bond Ordering in a New Quantum Triangular Antiferromagnet Based on [Pd(dmit) <sub>2</sub> ], JPSJ 75(9), 093701, 2006
	土肥義治	Honorary Doctorate in Science (Universiti Sains Malaysia) マレーシア	大学への顕著な貢献
	片平和俊	奨励賞（砥粒加工学会）	研削による表面改質加工に関する研究開発
	高橋英機	Young Investigator Award (Asian Federation of Laboratory Animal Science)	Analysis of Voltage Dependent N-Type Calcium Channel Mutant Mice
9	牧野内昭武	Doctor Honoris Causa (名誉博士号) ルーマニア ガラチ大学	これまでの業績に対して
	若山照彦	学術賞（日本繁殖生物学会）	体細胞クローンマウスの作出に関する研究
	野依良治	"Amedeo Avogadro" Medal イタリア化学会	For the achievements in the field of hydrogenation reactions activated by chiral catalysis.
	綾野まどか	Best Paper Award 2006 (Journal of Plant Research)	Developmental morphology of the Asian one-leaf plant, Monophyllaea glabra (Gesneriaceae) with emphasis on inflorescence morphology, Journal of Plant Research 118(2) 99-109, 2005
10	伊藤正男	Peter Gruber Neuroscience Prize (Peter Gruber Foundation)	For the studies provided the keys for our understanding of the molecular and cellular bases of learning and memory.
	中野雄司	奨励賞（植物化学調節学会）	光形態形成および葉緑体分化におけるブラシノステロイド作用の分子機構
11	金井俊光	奨励賞（日本結晶成長学会）	コロイド結晶の結晶化臨界濃度の決定と流動誘起単結晶化の研究
	掛谷秀昭	住木・梅澤記念賞（日本抗生物質学術協議会）	微生物が生産する新規生理活性物質の開拓とケミカルバイオロジー研究
	野依良治	関東地方発表明彰 実施功績賞	「微粒子分析装置」の実施
	武内一夫	関東地方発表明彰 発明協会会長奨励賞	「微粒子分析装置」の発明
	李 政道	旭日重光章	我が国の研究者の指導育成及び日本・アメリカ合衆国間の学術交流の促進に寄与した功績
	石川哲也	兵庫県科学賞	SPring-8独自の光源導入の成功、及び高解像度X線分光器の開発を通じて科学技術の向上への貢献
	和田智之・早野 裕・斉藤嘉彦・斉藤徳人・赤川和幸	光設計特別賞（日本光学会）	すばる望遠鏡レーザーガイド補償光学系の設計・製作
	渡邊 貞	Seymour Cray Computer Engineering Award (IEEE)	For serving as lead designer of the NEC SX series of supercomputers, and especially for the design of the Earth Simulator, which was the world's fastest supercomputer from 2002 to 2004
	北原 亮	若手奨励賞（日本生物物理学会）	Probing energy landscape of ubiquitin-like proteins with variable pressure NMR.
	泰地真弘人・成見 哲・大野洋介・二本紀行・末永 敦・沖本恵明・野内涼子・古石貴裕・姫野龍太郎・藤川茂紀	Gordon Bell Prize Honorable Mention Peak Performance (ゴードンベル賞 ピーク性能部門 佳作)	A 185 Tflop/s Simulation of Amyloid-forming Peptides from Yeast Prion Sup35 with the Special-purpose Computer System MD-GRAPE3
	中谷裕教	研究奨励賞（計測自動制御学会）	発表：「Blinking and perceptual switching」
	鈴木俊法	日本IBM科学賞	超光速光電子分光法の開発と化学反応ダイナミックスの研究
	古園さおり	研究奨励賞（極限環境微生物学会）	「好アルカリ性因子」として見いだされたマルチ遺伝子型Na <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> 対向輸送体と細菌のpH/塩環境適応に関する研究
12	上田泰己	Rising Young Investigator for Genome Technology	for his significant contributions to System Biology

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績	
	難波 進	IEEE Cleo Brunetti Award	for contributions to ion-beam and optical technologies for application to semiconductor devices	
	侯 召民	日本学術振興会賞	蛍光タンパク質の学際的開発研究	
	宮脇敦史	同上	新しい希土類重合触媒と新規機能性材料の開発	
2007. 1	緑川克美	IEEE Fellow	for contributions to generation of intense coherent soft x-ray radiation	
	羽田靖史	技術業績賞 競基弘賞（国際レスキューシステム研究機構）	センサネットワーク技術及びデータベース技術のレスキュー分野への運用と実証	
	河田 聡	SPIE Fellow (The International Society for Optical Engineering, USA)	for specific achievements in the areas nanophotonics and near-field optics	
2	加藤礼三 他3名	JSPJ注目論文（日本物理学会）	Temperature-pressure phase diagram in TTF-TCNQ: Strong suppression of charge-density-wave state under extremely high pressure, JPSJ 76(3) 033701, 2007	
	北城圭一・山本義春	Editorial Board highlight of 2006 (Europhysics Letters)	Stochastic resonance in attention control, Europhysics Letters 76(6) 1029-1035, 2006	
	金井恒人	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	博士論文：高次高調波発生を用いた分子軌道の超高速トモグラフィ	
3	内山真伸	有機合成化学奨励賞（有機合成化学協会）	機能性アート錯体の創製と高度分子変換反応の開発	
	塚越一仁	丸文学術賞（丸文財団）	有機エレクトロニクスに向けたナノスケール制御による電気伝導の研究	
	侯 召民	三井化学触媒科学賞（三井化学）	新しい希土類金属錯体触媒による重合反応の開発	
	野依良治	名誉教授（江蘇大学） 中国	for his significant contributions to science and the highest reputation in science research	
	権 相模	The 5th Young Investigator's Award for International Students (The Japanese Circulation Society)	Distinct Notch Signals are Required for Neovascularization and Development of Endothelial Progenitor Cells (EPCs) in Microenvironment	
	野依良治	名誉教授（南京理工大学） 中国	for his significant contributions to science and the highest reputation in science research	
	野依良治	名誉教授（西安交通大学） 中国	for his significant contributions to chemistry	
	坪井貴司	学会奨励賞（日本生理学会）	ホルモン分泌顆粒ドッキング機構の分子メカニズムの解明	
	高島 晶	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	有用糖質関連酵素遺伝子の構造と機能に関する研究	
	西村慎一・吉田 稔 他5名	B.B.B.論文賞（日本農芸化学会）	Induction of a ribotoxic stress response that stimulates stress-activated protein kinase by 13-deoxytedanolide, an antitumor marine macrolide, B.B.B. 70(1) 161-171, 2006	
	風見紗弥香・室井 誠・川谷 誠・久保田高明・臼井健郎・小林淳一・長田裕之	同上	lejlimalides Show Anti-Osteoclast Activity via V-ATPase Inhibition, B.B.B. 70(6) 1364-1370, 2006	
	松尾一郎	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	糖タンパク質糖鎖の機能解明に向けた化学的アプローチ	
	侯 召民	学術賞（日本化学会）	新しい構造をもつ有機希土類錯体の合成と新規物質変換触媒への展開	
	金井俊光	若い世代の特別講演会（日本化学会）	光学特性の優れたコロイドフォトニック結晶ゲル膜の作製	
	戸谷希一郎	同上	合成糖鎖プローブを用いた糖タンパク質品質管理機構の分子レベル解析に関する研究	
	野依良治	特別名誉会員（触媒学会）	比類のない業績により触媒化学の革新的発展に貢献した功績	
	田中拓男	光学論文賞（応用物理学会）	Unattenuated light transmission through the interface between two materials with different indices of refraction using magnetic metamaterials, Phys. Rev. B 73(12) 125423, 2006	
	牧島一夫・深沢泰司・高橋忠幸	The PASJ Excellent Paper Award 2006 (日本天文学会)	X-ray Probing of the Central Regions of Clusters of Galaxies, PASJ 53(3) 401-420, 2001	
	4	伊原 誠	奨励賞（日本農薬学会）	殺虫剤のリガンド作動性イオンチャンネルに対する作用機構研究
		伊原 誠	望月喜多司記念 奨励賞（食品農医薬品安全性評価センター）	リガンド作動性イオンチャンネルに対する殺虫剤の作用機構の選択性と多様性に関する電気生理学的研究
安田美智子		同上	植物の全身獲得抵抗性誘導剤の作用機構に関する研究	
安田美智子		奨励賞（日本農薬学会）	同上	
高橋英機		前島賞（日本実験動物医学会）	論文：カルシウムチャンネル阻害剤、グルタミン酸レセプター阻害剤および $\alpha$ カルシウム/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼII変異マウスを用いた自発運動量への影響と記憶に関する解析	

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	高橋英機	獣医学奨励賞（日本獣医学会）	導入遺伝子産物の時期特異的活性化トランスジェニックマウスを用いたNMDAレセプターNR2Bサブユニットと $\alpha$ CaMKIIの結合が学習記憶に与える影響
	宮崎雅雄	同上	ネコ特有な尿臭の生産機構に関与する尿中タンパク質Cauxinの発見
	石川哲也	文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）	大型放射光X線光学系の開発
	阿部知子・鈴木賢一・福西暢尚・龍頭啓充・金谷健至	同上	高強度重イオン加速器による高効率突然変異育種技術の開発
	前田瑞夫	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	DNAコンジュゲート材料の合成と応用に関する研究
	太田邦史・瀬尾秀宗	同上	遺伝子交配を用いた抗体遺伝子創製系の研究
	岡本晃充	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	有機合成化学的手法による核酸機能化の研究
	塚越一仁	同上	ナノカーボンエレクトロニクス創成と展開の研究
	金井俊光	船井情報科学奨励賞（船井情報科学振興財団）	大面積単結晶コロイドフォトニック結晶の作製に関する研究
	鈴木嘉昭	市村学術賞（貢献賞）（新技術開発財団）	イオンビーム照射技術を用いた臨床使用可能な人工硬膜、動脈瘤治療用材料の研究
	林崎良英	紫綬褒章	高等生物の大規模遺伝子解析とライフサイエンスの国際標準プラットフォームの開発
	理化学研究所	感謝状（兵庫県）	SPring-8による研究開発と施設の利用促進の努力、および科学技術の振興と播磨科学公園都市の活性化への大きな貢献
5	吉田宇一・甘利俊一・竹内啓・竹村彰通・伊庭幸人	日本統計学会75周年記念事業出版賞	岩波書店刊「統計科学のフロンティア全12巻」の共同編集者としての貢献
	渡邊 貞	Achievements Award（功績賞）（日本計算工学会）	長年にわたる計算工学、計算科学分野での研究・尽力に対する貢献
	関口芳弘	支部長賞（日本電気技術者協会 関東支部）	電気主任技術者として大規模特別高圧需要設備の工事、維持、運用について保安の確保に務めたこと、また、見学会の案内など協会主催の学習会への積極的貢献などの功績
	小野謙二	創立60周年記念表彰者 功労者（自動車技術会）	自動車技術会の発展への貢献
	金井俊光	21世紀記念国際交流賞 個人冠賞 倉田元治賞（日本セラミックス協会）	シリカやポリスチレンからなる単分散コロイド微粒子を周期的に配列させた構造体について、光学材料への応用を目指した研究
	藤田成晴	学術奨励賞（日本樹状細胞研究会）	講演：Impact of immunostimulatory and regulatory DCs on T cell-polarization in the control of TH2-mediated allergic immunity
	van Leeuwen, Cees	Wolfgang Metzger Award 2007（The International Society for Gestalt Theory and Its Applications）	論文：What Needs to Emerge to Make you Conscious?
	山形 豊	The Most Interesting Reading賞（日本設計工学会）	超精密マイクロ機械加工法による微細構造形成，設計工学 41(11), 543-548, 2006
	長田義仁	高分子科学功績賞（高分子学会）	機能性ゲルの創製と物性に関する研究
6	篠崎一雄	Top Cited Researcher 2007 in Plant & Animal Science (Thomson Reuters)	In recognition of ranking among the top 1% of researchers for most cited documents, in their specific field
	関口仁子	Young Scientist Prize for Nuclear Physics (International Union of Pure and Applied Physics)	for her precise measurements of intermediate-energy proton-deuteron scattering and deuteron break-up including spin degrees of freedom which led to establish firmly three-nucleon force effects and stimulate their theoretical developments
	水原啓暁・山口陽子	2007 Editors Choice Award on the recommendation of the Editorial Board (The Organization for Human Brain Mapping)	Human Cortical Circuits for Central Executive Function Emerge by Theta Phase Synchronization, NeuroImage 36(1) 232-244, 2007
	山本 尚・玉尾皓平	日本学士院賞	有機典型元素化合物の高配位能を活用した化学反応性と物性の開拓
	宮脇敦史	三四会賞 北里賞（慶應義塾大学医学部三四会）	蛍光イメージング技術の学際的開発研究
	岡本晃充	Organic & Biomolecular Chemistry (OBC) Lecture Award 2008 (Royal Society of Chemistry) 英国	Contribution to the field of bioorganic chemistry (The design, synthesis and physical properties of new, man-made biopolymers)
	和田智之	産学官連携功労者表彰 文部科学大臣賞（内閣府）	次世代高性能レーザー技術の開発

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	藤 秀義	天才プログラマー／スーパークリエイター（2006年度未踏ソフトウェア創造事業（未踏ユース））（情報処理推進機構）	SMILES記法を利用した薬物設計支援ツールの開発
	木村英紀	IFAC Fellow (International Federation of Automatic Control)	for contributions to the theory of robust control and its applications to industrial processes and automobile control
	有吉誠一郎	安藤博記念学術奨励賞（安藤研究所）	超伝導トンネル接合素子を用いた量子検出型テラヘルツ光検出器アレイに関する研究
7	笠原和起	学術賞（日本生物学的精神医学会）	Mice with neuron-specific accumulation of mitochondrial DNA mutations show mood disorder-like phenotypes, Molecular Psychiatry 11, 577-593, 2006
	黒田有希子	日本ロレアル - ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 2007（日本ロレアル株式会社）	破骨細胞分化におけるIP3受容体の役割と新規破骨細胞分化のメカニズムの解析
	田中啓治	The 2007 Neuronal Plasticity Prize (The Fondation IPSEN)	for the outstanding work in the domain of the Neurophysiology of Cognition
	知的財産戦略センター 次世代移動体通信研究チーム	オルガテクノ2007 新技術部門賞（有機テクノロジー実行委員会）	脳型信号処理を用いた次世代移動体通信デバイス
	(株)メガオプト	オルガテクノ2007 ベンチャー部門賞（有機テクノロジー実行委員会）	電子制御波長可変レーザ
8	黒木和彦・有田亮太郎	JSPJ注目論文（日本物理学会）	"Pudding Mold" Band Drives Large Thermopower in Na <sub>x</sub> CoO <sub>2</sub> , JPSJ 76(8) 083707, 2007
	青柳克信	応用物理学会フェロー	ビームと結晶成長を用いたナノ加工・材料創製技術の研究開発
	河田 聡	同上	近接場光学・ナノフォトニクスに関する研究
	丸山明子	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	植物の硫黄および関連代謝制御機構の解明
	菅原光明	ものづくり日本大賞 中国経済産業局長賞（経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室）	タンパク質自動結晶化観察ロボット（TERA）の開発
9	倉谷 滋	日本進化学会賞	脊椎動物の分子進化発生学に関する研究
	倉谷 滋	木村資生記念学術賞（進化学振興木村資生基金）	同上
	竹谷純一・塚越一仁・青柳克信・竹延大志・岩佐義宏	応用物理学会論文賞	Hall Effect of Quasi-Hole Gas in Organic Single-Crystal Transistors, JJAP 44(46) L1393-L1396, 2005
	有吉誠一郎	応用物理学会論文奨励賞	Superconducting Detector Array for Terahertz Imaging Applications, JJAP 45(37) L1004-L1006, 2006
	安達泰治・河野雄二・富田佳宏	日本機械学会賞（論文）	骨再生シミュレーションを用いたボラススカフォールドの設計手法の提案, 日本機械学会論文集. A編 70(697) 1201-1207, 2004
	宮脇敦史	塚原仲晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団）	脳神経系の構造・機能を可視化する蛍光技術
	礪村宜和	奨励賞（日本神経科学学会）	大脳皮質・海馬ネットワーク活動のインビボおよびインビトロ解析
	定方哲史	同上	自閉症の発症に関連する遺伝子CAPS2の解析
	坪井貴司	同上	ホルモン分泌顆粒ドッキング機能の分子メカニズムの解明
	安齋正博	技術賞（精密工学会）	制振機構を持つ高加速度・高精度リニアモータ駆動加工機「AZ150」の開発
	竹内佐年	奨励賞（分子科学会）	極短パルス光を用いた反応性励起状態分子の実時間構造追跡
	甲斐健也・木村英紀	論文賞（計測自動制御学会）	配位多様体におけるアフライン拘束の理論的解析—Part I: アフライン拘束の可積分・非可積分条件と配位多様体の葉層構造—, 計測自動制御学会論文集 42(3) 212-221, 2006
	工樂樹洋・倉谷 滋	Zoological Science Award（日本動物学会）	Time Scale for Cyclostome Evolution Inferred with a Phylogenetic Diagnosis of Hagfish and Lamprey cDNA Sequences, Zoological Science 23(12) 1053-1064, 2006
	太田欽也	奨励賞（日本動物学会）	ヌタウナギの発生学
	黒田直史	若手奨励賞（日本物理学会）	超低速単色反陽子ビームの生成方法に関する業績
野依良治	北京大学名誉教授 中国	比類のない業績により化学の革命的発展に貢献した功績	
10	冊子「発生と再生—見えてきた細胞たちの振る舞い」理研CDB企画・発行	ジャグラ作品展 出版印刷部門 経済産業大臣賞（日本グラフィックサービス工業会）	—
	丑田公規	特別賞（日本放射線化学会）	放射線化学教科書刊行に対する多大な貢献
	石渡明弘	奨励賞（東京糖鎖研究会）	複合糖質糖鎖合成を指向した立体選択的グリコシル化反応の開発研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	山澤建二・安齋正博 他 11名	論文賞 最優秀論文（日本人工臓器学会）	Tailor-made tricalcium phosphate bone implant directly fabricated by a three-dimensional ink-jet printer, Journal of Artificial Organs 9(4) 234-240, 2006
11	野依良治	上海交通大学名誉教授 中国	比類のない業績により化学の革命的発展に貢献した功績
	河田 聡	紫綬褒章	科学技術の向上発展のための顕著な功績
	西川伸一	神戸市産業功労者表彰	ポートアイランド第2期を中心に、高度医療技術の研究・開発拠点を整備し、国内外の医療関連企業を集積させ、新しいビジネスを生み出す「医療産業都市構想」において、研究開発の推進における指導的な役割を担い、構想の発展に大きく貢献した
	上田泰己	学術奨励賞（日本時間生物学会）	真夜中の強い光による体内時計の停止が、時計細胞同士の脱同調によることを実証した研究に対して
	長田義仁	Doctor Honoris Causa (Honorary Doctor) (Universidad Politecnica deCartagena, Spain)	for your professional and personal merits
	吉田茂男・阿部知子・矢野安重・福西暢尚・鈴木賢一	関東地方発明表彰 発明奨励賞	重イオンビームによるキメラ植物の作出方法
	袖岡幹子	名古屋メダル シルバーメダル (万有生命科学振興国際交流財団)	これまでの研究活動全般に対して
	中川威雄	M. Eugene Merchant Manufacturing Medal (The American Society of Mechanical Engineers and Society of Manufacturing Engineers)	for contributions to the science and engineering of manufacturing
	Piero Carninci	山崎貞一賞 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野（材料科学技術振興財団）	キャップトラッパー法の開発、完全長cDNAの単離とゲノム機能注釈（アノテーション）のための基盤技術
	川崎雅司	山崎貞一賞 材料分野（材料科学技術振興財団）	酸化亜鉛による新半導体機能発現
	藤田成晴	審査員特別賞（第四回東京呼吸器リサーチフォーラム）	マウスTH2細胞介在制アレルギー免疫応答に対する免疫活性化樹状細胞と制御性樹状細胞による制御機構
	渡辺恭良・鈴木正昭・土居久志・和田康弘・尾上浩隆・片岡洋祐・榎本秀一	ベルツ賞 1等賞（日本ベーリンガーインゲルハイム社）	分子イメージング研究による創薬・疾患診断の革新, 日本医師会雑誌 136(12) 2469-2474, 2008
	堀 昌平	研究奨励賞（日本免疫学会）	制御性T細胞による優性免疫寛容機構の研究
	山崎 晶	同上	T細胞抗原受容体を介する分化・活性化の制御機構
	長田裕之	バイオインダストリー協会賞	バイオペロブを基盤とする化学生物学研究
12	野依良治	栄養学博士学位（香港理工大学） 中国	人類社会への重要な貢献をした卓越した人物であると評価されたため
	掛谷秀昭	生命科学啓明賞（啓明会）	創薬科学分野における新規生理活性天然有機化合物の開拓研究とケミカルバイオロジー研究
	外村 彰	日本学士院会員	電子線ホログラフィーを初めて実用化し、アハラノフ・ボーム効果を検証、及び量子力学への貢献
	林 康紀	日本学術振興会賞	海馬シナプス可塑性の分子機構
2008. 1	山本 貴	Challenger 21 Prize (科学研究費特定領域研究「分子性導体」)	電荷整列の分光学的研究
	加藤健一	奨励賞（日本放射光学会）	放射光粉末回折法による光誘起構造物質の研究
2	早澤紀彦	Chemical Physics Letters Most Cited Paper 2003-2007 Award (Elsevier)	Detection of an individual single-wall carbon nanotube by tip-enhanced near-field Raman spectroscopy, Chemical Physics Letters 376(1-2) 174-180, 2003
	小笠原慎治	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	可逆的クロスリンク反応を用いたDNAコンピューティング及びSNPタイピングの開発
	渡邊 貞	Foreign Associates (National Academy of Engineering)	For contributions to the design and development of vector architectures for supercomputers.
	Franco Nori	Fellow of American Association for the Advancement of Science	For distinguished theoretical contributions in condensed matter physics, particularly for studies of vortex dynamics in superconductors, quantum information, dynamical instabilities, Josephson-junction arrays, and quantum interference.
	外村 彰	同上	同上
	石川俊平	東ソー研究企画賞（有機合成化学協会）	オリゴアレーン型ホスフィンを用いる位置選択的クロスカップリングの開発



受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績	
	入来篤史	創造性研究褒賞 (ニューロクリアティブ研究会)	サルの道具使用にかかわる創発研究に対する貢献	
	西谷智博	風戸研究奨励賞 (風戸研究奨励会)	高輝度かつ高スピン偏極性能を持つフォトカソード電子源の開発	
	新世代加工システム (株)	渋沢栄一ベンチャードリーム賞 特別賞 (埼玉県)	成長性、独創性に富む優れたビジネスモデル	
3	野依良治	中国科学院化学研究所名誉教授 中国	比類のない業績により化学の革命的発展に貢献した功績	
	菅根正光	2007 JCS Prize (Journal of Cell Science)	The mRNA-like noncoding RNA Gomafu constitutes a novel nuclear domain in a subset of neurons, J. Cell Sci. 120 2498-2506, 2007	
	林 康紀	日本学士院学術奨励賞	海馬シナプス可塑性の分子機構	
	田中拓男	丸文研究奨励賞 (丸文財団)	プラスモニック・メタマテリアルの創製と新奇デバイスへの展開	
	向井利春	Best Paper Award (信号処理学会)	Blind Separation Method with Mixture Model of Probability Densities for Convolutively Mixed Sources, 信号処理 10(1) 59-69, 2006	
	梅野 健	テレコムシステム技術賞 (電気通信普及財団)	[1] 複雑系と通信 [2] Independent Component Analysis of Mixed Chaotic Signals for Communications Systems [3] 受信方法および受信装置	
	河野行雄	若手奨励賞 (日本物理学会)	量子ホール系におけるテラヘルツ発光・電位イメージング	
	杉田有治	同上	カルシウムポンプの分子動力学	
	金 有洙	同上	走査トンネル顕微鏡による単一分子化学反応と分子運動制御の研究	
	武藤亮太郎	同上	陽子ビーム照射によって標的原子核中に生成したphi中間子が核外に出る前に崩壊する事象を巧みな解析によって抽出し、崩壊粒子の検出から構成した不変質量分布を観測してphi中間子の質量が原子核内で自由空間とは異なる値をとることを初めて実験的に明らかにした業績	
	橋本幸士	素粒子メダル奨励賞 (素粒子論グループ)	Recombination of Intersecting D-branes by Local Tachyon Condensation, Journal of High Energy Physics, 2003, JHEP06 (2003)	
	玉尾皓平	日本化学会名誉会員	永年にわたる基礎化学分野における貢献	
	川崎雅司	学術賞 (日本化学会)	コンビナトリアル格子工学による金属酸化物の電子機能開拓	
	小原通昭	若い世代の特別講演会 (日本化学会)	分子振動を利用した新規単分子操作法の開発	
	島 隆則	同上	分子性希土類ヒドリドクラスターの特異な反応性	
	高橋栄治	光学論文賞 (応用物理学会)	Dramatic enhancement of high-order harmonic generation, Phys. Rev. Lett. 99, 053904, 2007	
	竹嶋伸之輔	大会長賞 (日本獣医学会)	乳房炎発症とウシ主要組織適合遺伝子 (BoLA) クラスII: ヘテロ接合による発症抑制効果および疾患感受性アレルの同定	
	竹嶋伸之輔	獣医学奨励賞 (日本獣医学会)	同上	
	4	大森 整	RSME Honorary Member (Romanian Society of Mechanical Engineers)	Honorary Member
		小林佑理子	奨励賞 (日本土壌肥科学会)	QTL解析によるモデル植物シロイヌナズナのアルミニウム耐性に関する研究
宮脇敦史・唐澤智司		文部科学大臣表彰 科学技術賞 (開発部門)	バイオイメージング技術のための実用的蛍光タンパク質の開発	
川合真紀		文部科学大臣表彰 科学技術賞 (研究部門)	固体表面に吸着した単一分子の化学反応の研究	
侯 召民		同上	高性能希土類錯体重合触媒の開発の研究	
田中啓治		同上	物を見て認識する脳内メカニズムの研究	
会田昭二郎		文部科学大臣表彰 若手科学者賞	希土類金属錯体触媒によるジエン類の精密重合の研究	
関口 (坂口) 仁子		同上	重陽子-陽子散乱の高精度測定による原子核内三体力の研究	
Sergey Savell'ev		同上	超伝導体中の磁束量子の制御の研究	
田中元雅		同上	蛋白質のミスフォールディングが関わる神経変性疾患の研究	
福島孝典		同上	バイ電子系ナノ材料の研究	
山田陽一		同上	自己組織化金属高分子触媒創製の研究	
横田秀夫		同上	生体及び細胞の計算機モデル構築の研究	
田中拓男		ゴールド・メダル 東京テクノ・フォーラム 21賞	メタマテリアルを駆使したプラスチックレンズの先端的基盤技術の開発	
甘利俊一		日本応用数学会フェロー	応用数理における優れた業績ならびに学会への顕著な貢献	
藤 貴夫		大阪大学近藤賞 (大阪大学)	中赤外領域における数サイクル光発生の研究	

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	櫻井哲也・関 原明・神佳之・篠崎一雄	Outstanding Research Publication Award (The International Center for Tropical Agriculture)	Sequencing analysis of 20,000 full-length cDNA clones from cassava reveals lineage specific expansions in gene families related to stress response, BMC Plant Biology 7 (66), 2007
	北川 進	フンボルト賞（アレクサンダー・フォン・フンボルト財団） ドイツ	マイクロ孔を有する多孔性金属錯体の合成、およびその機能発現に関する研究が評価された
5	戸川欣彦・外村 彰 他3名	論文賞（日本顕微鏡学会）	Optical system for double-biprism electron holography, J Electron Microsc. (Tokyo) 54(1) 19-27, 2004
	前田瑞夫	Fellow, Biomaterials Science and Engineering (International Union of Societies for Biomaterials & Engineering)	バイオマテリアルの科学と工学の分野への多大な貢献
6	緑川克美・清水俊彦・沖野友哉・山内 薫・鍋川康夫	業績賞 論文賞 解説部門（レーザー学会）	アト秒XUV光と原子・分子の非線形相互作用, レーザー研究 35(11) 697-704, 2007
	永井美之	日本学士院賞	パラミクソウイルス病原性の分子基盤の解明と新規発現ベクターの創出
7	中野明彦	産学官連携推進功労者表彰 日本学術会議会長賞（日本学術会議）	リアルタイム3次元顕微鏡撮像システムの開発及び細胞内分子動態リアルタイム可視化研究
	金井 崇・大竹 豊・川田弘明・加瀬 究	最優秀論文賞（画像電子学会）	GPUを用いたレイキャスティング法による陰関数曲面表示, 画像電子学会誌 36(4) 335-343, 2007
	坂本光央	奨励賞（日本微生物資源学会）	嫌気性グラム陰性桿菌の分類学的研究
8	谷口直之	IUBMB medal (International Union of Biochemistry and Molecular Biology)	N-結合型糖鎖の病気における分子生化学ネットワーク
	伊藤幸成	Roy L. Whistler International Award in Carbohydrate Chemistry (International Carbohydrate Organization)	Synthesis and functional analysis of glycoconjugates based on original novel methodologies in oligosaccharide synthesis.
8	金井恒人	若手奨励賞（原子衝突研究協会）	高次高調波を用いた原子分子のアト秒ダイナミクスの研究
	蔡 兆申・中村泰信	Simon Memorial Prize (Institute of Physics)	for their pioneering demonstration of quantum coherent behaviour in a macroscopic object and for their subsequent explorations of quantum coherent physics in a series of novel superconducting devices.
9	石渡明弘	奨励賞（日本糖質学会）	グリコシル化の高効率立体制御法の開発と細菌由来糖鎖構築への応用
	鈴木 匡	同上	細胞質PNGaseと細胞質N型糖鎖の代謝機構
9	赤池弘次・甘利俊一・北川源四郎・榊島祥介・下平英寿 著 室田一雄・土谷 隆 編著	学会賞 著述賞（計測自動制御学会）	赤池情報量基準AIC—その思想と新展開
	豊岡公德 他9名	生物学論文賞（日本生物工学会）	Development of Series of Gateway Binary Vectors, pGWBs, for Realizing Efficient Construction of Fusion Genes for Plant Transformation, J. Biosci. Bioeng. 104(1) 34-41, 2007
9	竹内佐年	森野科学賞（分子科学研究奨励森野基金）	極限的時間分解分光による凝縮相反応分子の構造ダイナミクスの研究
	井藤賀 操	奨励賞（日本蕨苔類学会）	コケ植物を利用した水環境負荷低減技術の研究
9	榊原圭子	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	高等植物におけるフラボノイド修飾機構の分子生物学的解明
	伊藤弘昌	応用物理学会フェロー	テラヘルツ波・非線形光学などの応用量子光学の研究
9	伊藤弘昌	光・量子エレクトロニクス業績賞（応用物理学会）	周期的分極反転型非線形光学素子に関する先駆的研究
	戸川欣彦	JJAP論文奨励賞（応用物理学会）	Current-Excited Magnetization Dynamics in Narrow Ferromagnetic Wires, JJAP 45(27) L683-L685, 2006
9	大石衡聴	奨励論文賞（日本認知科学学会）	解析器の再分析処理を統率する原理について, 認知科学 13(3) 455-466, 2006
	榊屋啓志	奨励賞（日本遺伝学会）	マウス変異体を基盤とした形態形成の遺伝制御機構の研究
9	吉木 淳	森脇和郎賞（モロシヌス研究会）	我が国のマウスリソースの収集・保存と提供
	風間裕介	奨励賞（日本植物形態学会）	雌雄異株植物ヒロハノマンテマの性の発現機構
10	宮丸文章	The 2nd THz Prize (European Optical Society)	Highly sensitive terahertz imaging with plasmonic crystals
	Alexandre Lejava	Academician N.Kipshidze Central University Clinic Award ジョージア	SmartAmp法のワファリン投与量調節への臨床応用
10	田中玲子	Career Acceleration Fellowships (Engineering and Physical Sciences Research Council, UK) 英国	Regulatory mechanisms in biological systems in response to compound environmental changes

受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
	谷藤 学	科学研究費助成事業審査委員表彰	科学研究費補助金の第1段書面審査において、模範となる審査意見を行った
	小西利史	Tetrahedron Most Cited Paper 2005-2008 Award (Elsevier)	Supramolecular design of photocurrent-generating devices using fullerenes aimed at modelling artificial photosynthesis, Tetrahedron, 61 (21), 4881-4899(2005).
	笠原博幸	奨励賞 (植物化学調節学会)	メチルエリスリトールリン酸 (MEP) 経路によるホルモンの生合成
11	高木 周	業績賞 (日本機械学会計算力学部門)	数値流体力学、特に液体中に多数の分散相が存在する分散混相流の分野における数値計算手法の開発で高い評価を受けた
	玉尾皓平	ケイ素化学協会賞	有機ケイ素化学の有機合成化学および機能性物質科学への展開
	西川伸一	兵庫県科学賞 (兵庫県)	幹細胞研究の第一人者として、細胞の新陳代謝を調節するメカニズムの解明への貢献とともに、血液幹細胞やES細胞の試験管内操作法の開発などの医学向上への貢献
	花島慎弥	Glyco Tokyo2008奨励賞 (東京糖鎖研究会)	効率的シリアル化反応の開発とシアル酸含有糖鎖の合成研究
	河田 聡	日本分光学会賞 学術賞	プラズモニクスとナノ分光
	甘利俊一	APNNA Excellent Service Award (Asia Pacific Neural Network Assembly)	国際会議ICONIP2008 (the ICONIP Conference, Auckland, New Zealand, November 2008) でのAPNNAの発展に対する貢献
	伊原 誠	日本農学進歩賞 (農学会)	環境保全型農業での選択的害虫制御に関する基礎研究
12	若山照彦	ナイスステップな研究者2008 (文部科学省科学技術政策研究所)	凍結したマウスの死細胞からのクローン個体作出に成功した業績など
2009. 1	上田皖亮	名誉教授 (University of Aberdeen) 英国	著作: The Road to Chaos., The Road to Chaos-II, The Chaos Avant-Garde: Memories of the early days of chaos Theory, カオス現象論
2	小林佑理子	井上研究奨励賞 (井上科学振興財団)	シロイヌナズナのアルミニウム耐性QTLに関する研究
	豊岡公德・佐藤藤子・若崎真由美	EMBO Journalカバーコンテスト2009入賞 (European Molecular Biology Organization)	Mushroom-shaped oil glands on the surface of a Basil sepal
3	侯 召民	Chang Jiang Scholars (長江学者) 中国	—
	緑川克美	同上	レーザー科学技術
	野依良治	北京科技大学名誉教授 中国	比類のない業績により化学の革命的発展に貢献した業績
	野依良治	大連理工大学名誉教授 中国	比類のない業績により化学の革命的発展に貢献した業績
	河野行雄	研究表彰 (光科学技術研究振興財団)	オンチップ近接場テラヘルツイメージング素子の開発
	本郷裕一	研究奨励賞 (日本ゲノム微生物学会)	ゲノム解析によるシロアリ腸内共生難培養性細菌の機能解明
	若山照彦	日本学術振興会賞	バイオテクノロジーによる新たな動物繁殖技術の開発
	若山照彦	日本学士院学術奨励賞	バイオテクノロジーによる新たな動物繁殖技術の開発
	加藤純一	精密工学会75周年記念 功労賞	—
	野依良治	Honorary Foreign Member (The National Academy of Sciences, Republic of Korea)	これまでの研究活動全般
	若山清香	資生堂 女性研究者サイエンスグラント	遺伝子挿入のない卵子由来の初期化因子を用いた新しいiPS細胞樹立について
	御子柴克彦	内藤記念科学振興賞 (内藤記念科学振興財団)	中枢神経系の発生と分化 —IP3受容体の発見とその機能の解明
	谷川奈津・柏原輝彦・保倉明子・阿部知子・柴田道夫・中山真義	年間優秀論文賞 (園芸学会)	A peculiar yellow flower coloration of camellia using aluminum-flavonoid interaction, J. Japan. Soc. Hort. Sci. 77 (4) 402-407, 2008
	篠崎一雄	日本植物生理学会賞	環境ストレス応答と耐性獲得に関わる遺伝子発現制御ネットワークの解明
	酒井達也	奨励賞 (日本植物生理学会)	光に応答した植物の成長パターン制御機構の分子遺伝学的解析
	榎原圭子 他18名	PCP論文賞 (日本植物生理学会)	Engineering of the Rose Flavonoid Biosynthetic Pathway Successfully Generated Blue-Hued Flowers Accumulating Delphinidin, PCP 48(11) 1589-1600, 2007
	相田卓三	American Chemical Society Award in Polymer Chemistry	Molecular Programming for Advanced Polymeric and Supramolecular Materials
	稲田直久	研究奨励賞 (日本天文学会)	可視光広域サーベイデータを用いた重力レンズクエーサーの探索
	奥村 哲	創造性研究奨励賞 (NPO法人 ニューロクリアティブ研究会)	小鳥の歌行動にみられる文法構造や、やる気に作用する中脳ドーパミン神経の役割
	櫻井博儀	The GSI Exotic Nuclei Community Membership Award ドイツ	Outstanding Experimental Contributions in Nuclear Structure Physics and the Discovery of Numerous New Neutron-Rich Isotopes
	長田裕之	日本農芸化学会賞	微生物二次代謝産物に関するケミカルバイオロジー
	松本正吾	同上	ガリ性フェロモン産生の分子機構に関する生物有機化学的研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	本郷裕一	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	ゲノム解析によるシロアリ腸内共生難培養性細菌の機能解明
	山口信次郎	同上	テルペノイド植物ホルモンの生合成と生理機能に関する研究
	宮崎 功・清水史郎・一宮治美・川谷 誠・長田裕之	B.B.B.論文賞（日本農芸化学会）	Robust and Systematic Drug Screening Method Using Chemical Arrays and the Protein Library: Identification of Novel Inhibitors of Carbonic Anhydrase II, B.B.B. 72(10) 2739-2749, 2008
	相田卓三	日本化学会賞	分子間相互作用の精密制御によるナノスケールの機能創成
	相田卓三	貢献賞（錯体化学会）	動的ナノ構造体の分子設計と科学
	川合眞紀	日本化学会賞	STMによる表面単分子の振動と反応ダイナミクス
	北川 進	同上	配位空間の化学の開拓と展開
	前田瑞夫	学術賞（日本化学会）	DNAナノ材料の開発と精密バイオセンシングへの展開（DNA Nano Materials for Reliable Bio-Sensing）
	石渡明弘	若い世代の特別講演会（日本化学会）	細菌由来複合糖質糖鎖の合成研究
	池上弘樹	若手奨励賞（日本物理学会）	2次元電子を用いた超流動ヘリウム3の表面研究
	船木靖郎	若手奨励賞および核理論新人論文賞（日本物理学会）	Analysis of previous microscopic calculations for the second 0+ state in <sup>12</sup> C in terms of 3-alpha particle Bose-condensed state, Physical Review C 67, 051306(R), 2003
	阪村 豊	素粒子メダル奨励賞（素粒子論委員会）	Roles of Z <sub>2</sub> -odd N=1 multiplets in off-shell dimensional reduction, Physical Review D75 025018, 2007
	4	長島 寛	大会長賞（日本獣医学会）
和田智之		文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）	電子制御波長可変固体レーザーの開発
笹井芳樹		文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	多能性幹細胞から多様な神経細胞への系統的分化誘導の研究
鈴木俊法		同上	化学反応の可視化による反応素過程の実験的研究
辨野義己		文部科学大臣表彰 科学技術賞（理解増進部門）	健康のヒケツが腸内環境コントロールであることへの理解増進
有吉誠一郎		文部科学大臣表彰 若手科学者賞	テラヘルツ帯・超伝導検出器アレイとイメージング応用の研究
石川文彦		同上	ヒト化マウスを用いた造血・白血病幹細胞の研究
内山真伸		同上	有機合成分野における典型金属錯体による新反応開発の研究
大竹 豊		同上	陰関数曲面を用いた複雑な三次元形状処理の研究
河野行雄		同上	ナノデバイス工学分野におけるテラヘルツイメージングの研究
斎藤通紀		同上	生殖系列の決定機構とその特性の研究
山下敦子		同上	生体膜二次輸送体蛋白質の作動機構の研究
花栗哲郎・幸坂祐生		超伝導科学技術賞（未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会）	銅酸化物系高温超伝導体における電子秩序の解明
Anna Stasto		2009 Sloan Research Fellows (Alfred P. Sloan Foundation)	Properties of the strong interactions of these particles at the limit of high energies and densities
笹井芳樹		ゴールド・メダル 東京テクノ・フォーラム 21賞	ヒトES細胞（胚性幹細胞）から層構造を持った大脳皮質組織の産生に世界で初めて成功
武内一夫		紫綬褒章	ナノ粒子のサイズ選別手法の開発
5		高木英典	本多フロンティア賞（本多記念会）
	平野俊夫	The Crafoord Prize（クラフォード財団）	インターロイキンの発見、それらの特性決定と炎症性疾患における役割の探求
	橋本 学	論文賞（日本計算工学会）	レベルセット仮想粒子による界面処理を用いた固定メッシュに基づく流体構造連成解析手法の開発, 日本計算工学会論文集 2008 P20080028, 2008
	岡ノ谷一夫・吉田重人	科学ジャーナリスト賞2009（日本科学技術ジャーナリスト会議）	「ハダカデバネズミー女王・兵隊・ふとん係」（岩波科学ライブラリー）の著作に対して
	越後貴成美	奨励賞（日本実験動物学会）	実験動物を用いた顕微授精の応用
	工藤卓二・辨野義己	2009 Top Ten New Species Award (The International Institute for Species Exploration at Arizona State University and the International Top 10 Selection Committee)	Microbacterium hatanonis sp. nov., isolated as a contaminant of hairspray
	侯 召民	日本希土類学会賞 塩川賞	高性能希土類触媒の開発と精密重合・機能分子合成への展開
	細川和生	CHEMINAS奨励賞（化学とマイクロ・ナノシステム研究会）	PDMSの特性を生かしたマイクロチップの研究
6	御子柴克彦	日本学士院賞	細胞内カルシウム制御機構の研究

受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
	矢川元基・渡邊 貞	日本学士院賞	大規模・高精度計算科学に関する研究
	野依良治	Centenary Medal (Royal Society of Canada)	これまでの研究活動全般
	平野俊夫	吹田市長賞 (吹田市)	クラフォード賞を受賞し、吹田市の発展に貢献
	Colin MOLTER	2009 INNS young investigator award (The International Neural Network Society)	As IJCNN2009 accepted Special Sessions, give presentation "Hippocampal models, from circuitry to dynamics from Dynamics to cognitive functions". And did Tutorial organizer with a title of "Hippocampal Dynamics and Related Cognitive Functions: From Neurophysiological Observations to Computational Models"
	阿部知子・福西暢尚・鈴木賢一	産学官連携功労者表彰 文部科学大臣賞 (内閣府)	重イオンビームを用いた新しい育種法の開発
7	榊原 均	The Olchemim Award (Olchemim Ltd)	Biochemistry and molecular biology of phytohormone cytokinin
	原 雄介	ヤングサイエンティスト講演賞 (高分子学会 高分子学会関西支部)	生体環境下で駆動する新規自動振動型高分子の創製と自動粘性振動の解析
	篠崎一雄・山口和子	Top five Plant Cell manuscripts (American Society of Plant Biology)	Two transcription factors, DREB1 and DREB2, with an EREBP/AP2 DNA binding domain separate two cellular signal transduction pathways in drought- and low-temperature-responsive gene expression, respectively, in Arabidopsis. Plant Cell 10: 1391-1406
	藤田アンドレ	Honorable mention, CAPES award (Coordenacao de Aperfeicoamento de Pessoal de Nivel Superior) ブラジル	Análise de dados de expressão gênica: normalização de microarrays e modelagem de redes regulatórias/Brazilian Ph.D. thesis award in Biological Sciences
	中川 優	奨励賞 (天然物化学談話会)	天然発がんプロモーターの骨格を有する新奇抗がん剤の開発
	木村 崇	2009 IUPAP Young Scientist Prize in Magnetism (International Union of Pure and Applied Physics)	金属面内スピンバルブ構造を用いた純スピン流の生成手法の確立およびそれらを用いた磁化反転、スピンホール効果の測定に関する研究
8	渡川和晃	日本加速器学会賞 技術貢献賞	六ホウ化セリウム単結晶熱カソードを用いた低エミッタンス電子銃の開発
	Nicholas P. Samios	Gian Carlo Wick Gold Medal (The World Federation of Scientists)	For his visionary role in the successful construction of the Relativistic Heavy Ion Collider (RHIC), and intellectual leadership in a series of remarkable experimental discoveries which established the existence of Quark Gluon Plasma (QGP), a new phase of strongly interacting nuclear matter.
	米倉功治・米倉 (眞木) さおり	Ernst-Ruska Prize (the German Society for Electron Microscopy)	High-resolution cryo-electron microscopy of biological macromolecular structures by helical reconstruction
9	中谷裕教	電子・情報・システム部門奨励賞 (電気学会 電子・情報・システム部門)	講演: EEG dynamics related with expertise; rapid, knowledge guided perception in shogi task
	熊坂夏彦	優秀報告賞 (統計関連学会連合大会)	ゲノムワイド関連解析における主成分分析を用いた連鎖不平衡の補正
	大谷義近	優秀研究賞 (日本磁気学会)	非局所スピン注入を用いた純スピン流の生成と操作に関する研究
	後藤伸治	日本植物学会賞 特別賞	「仙台シロイヌナズナ種子保存センター」の設置・運営に関する貢献
	風間裕介	日本植物学会賞 若手奨励賞	雌雄異株植物ヒロハノマンテマの性染色体と性発現機構
	山本浩史	奨励賞 (分子科学会)	分子性導体のデバイス化と有機モットFETの開発
	岡ノ谷一夫	中山賞大賞 テーマ「言語の生物学」(中山科学振興財団)	言語起源の生物学的研究プログラムの提案と実践～言語起源の前適応説および相互分節化仮説を中心として～
	我妻広明	日本神経回路学会 創立20周年記念論文 優秀論文賞	実世界における脳の数理モデルの貢献—情報工学・ロボット工学との融合を考える—, 日本神経回路学会誌 16(4) 184-189, 2009
	山崎 匡	同上	小脳の計算機構の完全理解とその応用を目指して, 日本神経回路学会誌 16(4) 190-195, 2009
	佐藤俊治・臼井朗	論文賞 (日本神経回路学会)	Computational theory and applications of a filling-in process at the blind spot, Neural Networks 21(9) 1261-1271, 2008
	五十嵐 潤	大会奨励賞 (日本神経回路学会)	出力選択を行う大脳基底核モデルのGPUによるリアルタイムシミュレーション
	角田達彦	奨励賞 (日本人類遺伝学会)	連鎖不平衡およびハプロタイプ解析によるゲノムワイド関連解析の推進
	谷口直之	HUPO Distinguished Service Award 2009 (Human Proteome organisation)	癌のバイオマーカー開発のためのN-型およびO-型糖鎖のパイロット解析、とりわけフコシル化ハプトグロビンが膵臓癌の有益なマーカーであることを見出したこと、疾患における糖鎖の重要性に関して、糖鎖科学分野において先駆的な貢献
10	古川良明	若手奨励賞 (日本生物物理学会)	ポリグルタミン病の新たな分子病理メカニズム—タンパク質線維の構造伝播による発症制御の可能性
	山口信次郎	植物化学調節学会賞	突然変異体を利用したテルペノイド植物ホルモンの生物有機化学的研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
11	吉田 稔	バイオインダストリー協会賞	微生物由来抗がん活性物質の作用機序解明に基づく創薬基盤研究
	山崎敏光	文化功労者	原子核内での中間子の役割の解明、ミュオンスピン回転緩和共鳴法の開拓と磁性体・高温超伝導体などの物性研究への展開、高い角運動量をもつ準安定な反陽子ヘリウム原子の発見と説明から高分解能レーザー分光への開拓など、多くの独創的な業績
	上田泰己	日本IBM科学賞（コンピューター・サイエンス分野）	大容量生命情報解析に根ざしたシステム生物学の開拓
	金 有洙	サー・マーティン・ウッド賞（ミレニアム・サイエンス・フォーラム）	表面上の単一分子系の局所電子構造および電子刺激反応に関する研究
	伊藤嘉浩	日本バイオマテリアル学会賞	生体分子の固定化による機能性材料の創成
	竹市雅俊	EMBO associate membership (European Molecular Biology Organization)	発生生物学研究全般への貢献
	濱田 剛・似鳥啓吾・泰地真弘人・成見 哲・泰岡顕治	ACM Gordon Bell Prize (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	42 Tflops Hierarchical N-body Simulations on GPUs with Applications in both Astrophysics and Turbulence
	宮野雅司	兵庫県科学賞	医薬への応用を目指した放射光X線構造生物学研究
	福田真嗣	論文賞（ネスレ栄養科学会議）	Evaluation and characterization of bacterial metabolic dynamics with a novel profiling technique, real-time metabolotyping, PLOS one, doi: 10.1371/journal.pone.0004893
	森脇和郎	日本哺乳類学会賞	分子生物学的アプローチによる小型哺乳類の生物地理・遺伝的分化に関する研究
	藤井直敬	毎日出版文化賞（自然科学分野）（毎日新聞社）	書籍「つながる脳」
12	杉田有治	学術賞（分子シミュレーション研究会）	レプリカ交換分子動力学法の開発
	改正恒康	日本免疫学会賞	樹状細胞機能制御の分子基盤
	豊岡公德・若崎真由美	Olympus BioScapes International Digital Imaging Competition 2009, Honorable Mention (佳作) (Olympus America Inc.)	Epidermal layer cells of Lotus japonicus dry seed
	林 茂生	ライカ顕微鏡フォトコンテスト2009 グランプリ	呼吸する細胞
	河村彩子	ライカ顕微鏡フォトコンテスト2009 審査員特別賞	Trichome
	多田基紀	ライカ顕微鏡フォトコンテスト2009 優秀賞	Mm-e10.5
	甘利俊一	Foreign member of Polish Academy of Sciences ポーランド	distinguished achievements in engineering sciences（工学分野における卓越した業績）
2010. 1	嶋田幸久	New Hot Paper in Plant & Animal Science (Thomson Reuter)	The AtGenExpress hormone- and chemical-treatment data set: Experimental design, data evaluation, model data analysis, and data access, The Plant Journal 55(3) 526-542, 2008
	島村 勲	Outstanding Referee Award (American Physical Society)	アメリカ物理学会学術誌投稿論文の査読者として卓越した功績
	Feng Yuan	Department of Energy Office of Science Early Career Research Program, Financial Award, January 2010	Theoretical Investigation of Nucleon Structure
	Denes Molnar	同上	Viscosity and equation of state of hot and dense QCD matter
2	魚住泰広	井上学術賞（井上科学振興財団）	水中での不均一触媒による精密有機変換反応の開発
	西尾隆宏	井上研究奨励賞（井上科学振興財団）	極低温走査トンネル顕微鏡を用いたナノアイランド構造における超伝導状態の研究
	西村勇人	ミオ写真奨励賞 審査員特別賞	いのちのかたち
	山口嘉夫	福井県県民賞	素粒子物理学の権威としての国際的に多大な貢献と卓越した業績
	岩田忠久	ドイツ・イノベーション・アワード ゴットフリート・ワグネル賞2009 3等賞（ドイツ 科学・イノベーション フォーラム東京、在日ドイツ商工会議所）	生分解性バイオポリエステルの高性能化
	平井 剛	セントラル硝子研究企画賞（有機合成化学協会）	代謝安定性を獲得した新規含フッ素ガングリオシドアナログの創製とタンパク質との相互作用解析
	宮澤淳夫	風戸賞（風戸研究奨励会）	電子顕微鏡法による神経シグナリング機構の構造生理学研究
	高橋佳代	Hiruma-Wagner Award（光科学技術研究振興財団）	Imaging Brain Aromatase: An Approach to the Mechanisms of Anabolic Steroids Abuse
	村山正宜	同上	Optical Imaging in the Cortex of Freely Moving Animals

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	亀山雄高・小茂鳥 潤	岩木トライボコーティングネットワークアワード 特別賞（精密科学技術ネットワーク）	物質置換型高周波誘導加熱ピーニングシステムの実用化
3	榊原 均	日本学術振興会賞	サイトカニンの生合成機構の解明と着粒数制御に関する新規機能の発見
	山川和弘	研究褒賞（てんかん治療研究振興財団）	てんかんの分子遺伝学的研究
	中鉢 淳	研究奨励賞（日本ゲノム微生物学会）	ゲノミクスによる細胞内共生細菌のオルガネラ化機構の探求
	Nicholas P. Samios	The Long Island Technology Hall of Fame	For his leadership in the successful construction of Brookhaven's premiere accelerator, RHIC, and the experiments at RHIC that led to the discovery of quark-gluon plasma, a type of matter that is believed to have existed just microseconds after the Big Bang.
	湊 文俊	総合研究奨励賞（総合研究奨励会）	走査プローブ顕微鏡を用いた機能性材料の表面物性解明
	杉本慶子	奨励賞（日本植物生理学会）	植物の核内倍加とサイズ制御の発生遺伝学的解析
	池田陽一	若手奨励賞（日本物理学会）	3体精密計算に基づくストレンジダイバリオンの研究
	吉田賢市	同上	変形した中性子過剰核に対するスキーム型密度汎関数を用いた準粒子乱雑位相近似法の開発
	深尾祥紀	新人賞（原子核談話会）	Double helicity asymmetry for $\pi^0$ production in polarized p+p collisions at $\sqrt{s} = 200$ GeV, Phys. Rev. Lett. 93, 202002, 2004
	榎本秀一	学術振興賞（日本薬学会）	大型加速器を用いたマルチレーザーによる多元素同時代謝追跡手法の確立と新規計測法の開発研究
	阿部洋	奨励賞（日本薬学会）	生細胞内遺伝子発現の解析と制御を目的とした機能性核酸分子の創製
竹嶋伸之輔・間 陽子	Animal Science Journal Excellent Paper Award（日本畜産学会）	Structure, function and disease susceptibility of the bovine major histocompatibility complex, Animal Science Journal 77(2) 138-150, 2006	
4	神谷勇治	日本農学賞（日本農学会）	ジベレリン生合成と植物生長調節剤の作用機構に関する研究
	神谷勇治	読売農学賞（読売新聞社）	同上
	齊藤和季	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	メタボロミクスを基盤とした植物ゲノム機能科学の研究
	袖岡幹子	同上	遷移金属エノラートを鍵とする不斉触媒開拓の研究
	高木英典	同上	遷移金属酸化物における新奇電子相開拓の研究
	宮野雅司	同上	GPCRロドプシンの結晶構造解析を基盤とした機能研究
	吉田 稔	同上	化学遺伝学による遺伝子発現制御機構の研究
	若山照彦	同上	動物クローン技術の実用化に向けた研究
	渡邊恭良	同上	先端技術を駆使した統合的疲労科学・疲労克服研究
	戎崎俊一	文部科学大臣表彰 科学技術賞（理解増進部門）	研究者自身による独創的な普及活動を通じた科学の理解増進
	片平和俊	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	研削中の酸化拡散反応による表面改質加工法の研究
	高橋栄治	同上	高次高調波による高出力コヒーレント軟X線発生研究
	田嶋尚也	同上	分子性ゼロギャップ電気伝導体の発見と電気伝導性の研究
	中山潤一	同上	クロマチンの動的構造変換による遺伝子発現制御機構の研究
	矢橋牧名	同上	超高分解能X線分光器の開発と応用に関する研究
	藤井直敬	ゴールドメダル 東京テクノ・フォーラム21賞	新たなBMIによる社会的脳機能解明のための先駆的研究
	平山秀樹	APEX/JJAP 編集貢献賞（応用物理学会）	APEX/JJAPの編集及び査読
	井尻 敬	船井研究奨励賞（船井情報科学振興財団）	複雑な構造を持つ生物のためのモデリングインタフェースに関する研究
	高橋栄治	大阪大学近藤賞 論文賞（大阪大学）	中赤外超短パルスレーザー光を用いた高次高調波の高出力化に関する研究
	川崎雅司	市村学術賞 功績賞（新技術開発財団）	原子レベル制御した酸化亜鉛ヘテロ接合の形成と新光電子機能の開発
5	目加田和之・阿部訓也・村上亜弓・中村哲枝・中田初美・森脇和郎・小幡裕一・吉木 淳	2009年最優秀論文賞（日本実験動物学会）	Genetic Differences among C57BL/6 Substrains, Experimental Animals 58(2) 141-149, 2009
	榊原 均	特別賞（木原記念財団）	サイトカニン生合成経路解明とその育種的利用
	藤川紗千恵	研究奨励賞（日本結晶成長学会 ナノ構造・エピタキシャル成長分科会）	InAlGa系深紫外高効率発光デバイスの開発に関する研究
	野依良治	M.V. Lomonosov's Great Gold Medal (The Russian Academy of Sciences)	比類のない業績により化学の革命的発展に貢献した功績
	甘利俊一	功績賞（電子情報通信学会）	電子情報通信分野の学術に対する貢献
	伊藤弘昌	同上	レーザーと非線形光学に関する研究
	土肥義治	高分子科学功績賞（高分子学会）	生分解性高分子のバイオ合成と材料設計に関する研究
	原 雄介	高分子研究奨励賞（高分子学会）	生体環境下で駆動する新規自励振動型高分子の創製と自励粘性振動の解析

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
6	須田 亮・神成文彦	業績賞 論文賞 解説部門（レーザー学会）	高強度レーザー利用のための時空間レーザーパルス制御技術，レーザー研究 37(6) 408-419, 2009
	田中俊行	学術奨励賞（日本バイオレオロジー学会）	エレクトロスピニングファイバーを用いた血液適合性材料への応用
	渡会浩志	麒麟児賞（協和発酵キリン株式会社）	NKT細胞由来ES/iPS細胞樹立と機能的NKT細胞への分化誘導
	井尻 敬	デジタルコンテンツシンポジウム船井賞（映像情報メディア学会）	ゲームのための柔軟なキャラクタの動作デザイン
	伊藤 隆	日本微生物資源学会賞	アーキア及び関連細菌のコレクション事業とリソース開発
7	井尻 敬	ビジュアルコンピューティング賞（画像電子学会）	柔軟な物体の能動的な動作の表現手法
	野依良治	中央研究院 名誉院士 台湾	比類のない業績により、化学の革命的発展に貢献した功績
	緑川克美	泰山賞レーザー進歩賞（レーザー技術総合研究所）	高出力アト秒レーザーの開発と応用に関する研究
	甘利俊一	Gabor Award (International Neural Network Society)	In recognition of his outstanding achievements in engineering applications
8	伊藤幸成	竹田国際貢献賞（竹田理化工業株式会社）	糖鎖工学および糖質化学における国際貢献
	中野祐司	若手奨励賞（原子衝突研究協会）	3次元コヒーレント共鳴励起を用いたX線-VUV領域の2重共鳴と磁気サブレベル
9	木下東一郎	The Gian Carlo Wick 2010 Gold Medal Award (World Federation of Scientists)	For his fundamental and very accurate calculations in quantum electrodynamics with deep consequences for physics of fundamental particles
	植木雅志	浜田賞（日本放線菌学会）	放線菌由来二次代謝産物生合成酵素の機能解析と基質変化に関する研究
	梅原三貴久	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	植物の枝分かれを抑制するホルモン、ストリゴラクトンに関する研究
	村山正宜	奨励賞（日本神経科学学会）	樹状突起による感覚入力・行動情報の符号化の発見
	宮坂信彦	研究奨励賞（日本味と匂学会）	ゼブラフィッシュ嗅覚神経回路の形成と機能構築
	市川雄一	原子核談話会新人賞（原子核談話）	博士論文：Beta-decay study of $T_{1/2} = 2$ proton rich nucleus $^{24}\text{Si}$
	蔡 兆申	応用物理学会フェロー	巨視的系での量子コヒーレント操作と固体素子量子ビットの実現
	緑川克美	同上	高次高調波の発生とアト秒科学に関する研究
	藤原宏平	論文賞 論文奨励賞（応用物理学会）	Resistance Switching and Formation of a Conductive Bridge in Metal/Binary Oxide/Metal Structure for Memory Devices, JJAP 47(8) 6266-6271 (2008)
	緑川克美	論文賞 解説論文賞（応用物理学会）	高次高調波とアト秒科学，応用物理 78(2) 107-117, 2009
	林崎良英	木原賞（日本遺伝学会）	RNA大陸の発見
	河合 純	森脇和郎賞（モロシヌス研究会）	マウス遺伝子エンサイクロペディアの整備と遺伝子資源の普及
	北川 進	トムソン・ロイター引用栄誉賞	for the design and development of porous metal-organic frameworks, whose applications include hydrogen and methane storage, gas purification, and gas separation, among others
10	平井 剛	奨励賞（日本薬学会関東支部）	天然物や生体分子を基盤とした新規生理活性物質の創製
	平尾公彦	Highest distinction of "Honorary Fellowship" (European Society of Computational Methods in Sciences and Engineering)	Development of Molecular Theory
	辰川英樹	CHUGAI Award（中外製薬、日本肝臓学会）	転写因子の架橋不活性化を介した肝障害への関わり
	林崎良英	持田記念学術賞（持田記念医学薬学振興財団）	高等生物の全トランスクリプトーム解析によるRNA大陸の発見と医療データ基盤の構築
	笹井芳樹	大阪科学賞（大阪科学技術センター 大阪科学賞運営委員会事務局）	脳発生の制御原理の解明と試験管内再現
11	南原英司	学会賞（植物化学調節学会）	アブジン酸の代謝・情報伝達にかかわる分子遺伝学的研究
	真籠 洋	奨励賞（植物化学調節学会）	ジベレリン活性を制御する酵素の分子生物学的研究
	山崎敏光	瑞宝重光章	原子核内での中間子の役割の解明、ミュオンスピン回転緩和共鳴法の開拓と磁性体・高温超伝導体などの物性研究への展開、高い角運動量をもつ準安定な反陽子ヘリウム原子の発見と説明から高分解能レーザー分光への開拓など、多くの独創的な業績
	有馬朗人	文化勲章	原子核物理学・学術振興
	相田卓三	紫綬褒章	科学技術
	倉谷 滋	兵庫県科学賞	人工飼育環境下でのヌタウナギの胚発生に世界で初めて成功し神経堤細胞の形成過程を詳細に観察するとともにカメの甲羅と骨格の進化過程を解明するなど発生物学の発展に尽くしたことによる



受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
	若山照彦	山崎貞一賞 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野 (材料科学技術振興財団)	生殖工学を用いた新たな動物繁殖技術の開発
	松尾 司	奨励賞 (ケイ素化学協会)	$\pi$ 共役電子系へのケイ素導入効果の多角的研究
	川合眞紀	APS Fellow (American Physical Society)	For pioneering work on single-molecule spectroscopy on surfaces. Chemical Physics (DCP)
	高木英典	同上	For outstanding contributions to the exploration of the physics and materials science of strongly correlated transition metal oxides.
	緑川克美	同上	For contributions to the generation of intense high harmonics and its application to nonlinear multiphoton processes in the extreme ultraviolet region
	山崎泰規	同上	原子物理学、及び、原子衝突物理学への貢献、また、不安定原子核構造の研究、低速高速の多価イオン研究への貢献
	野依良治	Sir Derek Barton Gold Medal (Royal Society of Chemistry) 英国	比類のない業績により、化学の革命的発展に貢献した功績
	臼井支朗	APNNA Outstanding Achievement Award (Asia Pacific Neural Network Assembly)	His pioneering and fundamental contributions to Neuroinformatics.
	寺前順之介	APNNA Young Investigator Award (Asia Pacific Neural Network Assembly)	講演: Spike timing and possible roles of noise in cortical computation
	平山秀樹	日本IBM科学賞 エレクトロニクス部門	AlGaIn系半導体結晶の高品質化と深紫外LEDの先導的開発
	倉谷 滋	Alexander Kowalevsky medal (Saint-Petersburg Society of Naturalists)	進化発生学における優れた功績
12	河本 宏	日本免疫学会賞	造血幹細胞からT前駆細胞にいたる系列決定過程に関する研究
	長谷耕二	研究奨励賞 (日本免疫学会)	粘膜表面の免疫監視に果たすM細胞の役割の解明
	山崎泰規・金井保之・榎本嘉範・永田祐吾・毛利明博・Daniel Miranda Silveira・今尾浩士	Physics World Breakthrough of the Year (Institute of Physics)	反水素ビーム生成可能な反水素合成装置の開発、及び、反水素原子の磁気瓶への捕捉
2011. 1	外村 彰	Fellow of The Institute of Physics 英国	Development of electron phase microscopy and its application to quantum physics
	Franco Nori	Outstanding Referee Award (American Physical Society)	To have been an outstanding referee.
2	川崎真弘	わかしゃち奨励賞 (愛知県、科学技術交流財団、日比科学技術振興財団)	脳波リズムを用いた人の認知作業負荷量の推定
3	上田泰己	日本学術振興会賞	哺乳類概日時計の設計原理の解明
	徳島 高	研究表彰 (光科学技術研究振興財団)	軟X線発光分光法による水の微細液体構造の研究
	今尾浩士	若手奨励賞 (日本中間子科学会)	Dependence of muon-catalyzed d-d fusion on the ortho-para ratio in solid and liquid deuterium, Phys. Lett. B632 192, 2006 ほか2編
	岡田浩樹・細川和生・前田瑞夫	Hot Article Award Analytical Sciences (日本分析化学会)	Power-free microchip immunoassay of PSA in human serum for point-of care testing, Analytical Sciences 27(3) 237, 2011
	水谷正義	研究奨励賞 (日本材料学会 生体・医療材料部門)	ELID研削を利用したバイオインプラントのための形状創製/表面改質複合 プロセスの開発
	岡田随象	東京大学総長賞	ゲノムワイド関連解析を用いた疾患感受性遺伝子の同定
	幸坂祐生	若手奨励賞 (日本物理学会)	Imaging Nanoscale Electronic Inhomogeneity in the Lightly Doped Mott Insulator $\text{Ca}_{1-x}\text{Na}_x\text{CuO}_2\text{Cl}_2$ , Phys. Rev. Lett. 93, 097004, 2004 ほか2編
	大西哲哉	同上	Identification of New Isotopes $^{126}\text{Pd}$ and $^{126}\text{Pd}$ produced by In-flight Fission of 345 MeV/nucleon $^{238}\text{U}$ : First Results from the RIKEN RI Beam Factory", JPSJ 77(8), 083201, 2008 ほか1編
	石川哲也・高橋幸生・西野吉則・堤 良輔・松原英一郎・山内 和人	金属組織写真奨励賞 (日本金属学会)	高分解能コヒーレントX線回折顕微鏡法による金銀ナノボックス粒子の三次元電子密度マッピング
	加藤礼三	学術賞 (日本化学会)	金属-ジチオレン錯体を用いたバイ電子物性開発
	長島 寛	奨励賞 (日本解剖学会)	カメのボディプランについての比較解剖学的、比較発生学的解析
	村中厚哉	PCCP Prize (Royal Society of Chemistry, PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) and Faraday Discussion)	Design, Synthesis, and Electronic Structure Analysis of Near-Infrared Absorbing $\pi$ -Conjugated Molecules
	蛇島武久	大会長賞 (日本獣医学会)	ナノ粒子を利用した抗原輸送担体の新貴ワクチン開発における有用性に関する研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
4	小野教夫	科学技術における「美」のパネル展 優秀賞 (科学技術団体連合)	画像：染色体構築を制御するタンパク質の分布
	川本益揮	同上	画像：らせん状にならぶ液晶分子
	香取秀俊	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	光格子時計の研究
	北川 進	同上	金属錯体系多孔性物質の創製と機能開発に関する研究
	倉谷 滋	同上	脊椎動物の進化発生学的研究
	徳永万喜洋	同上	1分子顕微鏡技術の開発による分子動態機構の研究
	花岡文雄	同上	ゲノム情報保持の分子機構とそれによる癌化老化抑制の研究
	井尻 敬	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	生物の複雑な形態や動きを計算機内で構築する環境の研究
	上村想太郎	同上	次世代1分子計測技術を用いたタンパク質翻訳機構の研究
	大西哲哉	同上	ウランビームを用いた新同位元素45種発見と生成の研究
	大日向康秀	同上	マウス始原生殖細胞形成機構及び試験管内再構築の研究
	小城吉寛	同上	新規レーザー分光法による励起分子の緩和と反応動力学的研究
	古澤 力	同上	生物システムにおける普遍的性質に関する研究
	岸本忠三・平野俊夫	日本国際賞（国際科学技術財団）	インターロイキン6の発見から疾患治療への応用への貢献
	理化学研究所	日本産業技術大賞 文部科学大臣賞（日刊工業新聞社）	次世代スーパーコンピュータ「京」向け 超高性能CPU「SPARC64 V III fx」
	平山秀樹	市村学術賞 功績賞（新技術開発財団）	AlGaIn系精密結晶成長技術の開拓と深紫外LEDの先駆的研究
甘利俊一	瑞宝中綬章	社会への貢献	
5	吉田 稔	日本農芸化学会賞	分子遺伝学を基盤とした天然生理活性物質の化学生物学的研究
	田代卓哉	農芸化学奨励賞（日本農芸化学会）	化学生態学と免疫学に関連する生体機能分子の合成
	御子柴克彦	Honorary Doctor of Medicine (Karolinska Institutet) スウェーデン	カルシウム調節の鍵となるIP3受容体を発見し、細胞の生理的活動において必須であること見出し、IP3受容体の障害により、疾病を引き起こすことを見出した
	理化学研究所	空気調和・衛生工学会賞 技術賞 建築設備部門	X線レーザー施設加速器棟
	春本洋樹	工業保安ポスター入選（神奈川県高圧ガス協会）	—
	白須 賢	学術賞（木原記念財団）	—
	高橋栄治	奨励賞（レーザー学会）	高次高調波を用いたコヒーレントな水の窓 X線の発生
	香取秀俊	フィリップ・フランツ・フォン・ジーボルト賞 (アレクサンダー・フォン・フンボルト財団)	日本とドイツ連邦共和国における文化および社会のよりよい相互理解に貢献と学問上すぐれた業績
	本多 新	奨励賞（日本実験動物学会）	実験動物の新規幹細胞の樹立技術と利用法の開発
	久保若奈	田中貴金属グループ MMS賞	ナノギャップ構造を有する金二重ナノピラーアレイによる、超高感度プラズモンセンサーへの展開
6	鄭 載勲	Scholarship for Young Researchers (the 7th Congress of the International Society for Theoretical Chemical Physics)	—
	飯田宗徳・大森敏明・青西 亨・岡田真人	情報処理学会 論文賞（2010年度 情報処理学会論文誌 数理モデル化と応用 優秀論文賞）	スパイクレスボンスモデルの位相応答曲線、電子情報通信学会技術研究報告 NC, ニューロコンピューティング 107(542) 267-272, 2008
	杉岡幸次	APEX/JJAP編集貢献賞（応用物理学会）	APEX/JJAPの編集に対する多大な貢献
	甘利俊一	Merit Award (International Congress of Clinical Neurophysiology)	Academic Achievements for Long Years
	理化学研究所	MM総研大賞2011 ものづくり優秀賞	次世代スーパーコンピュータ「京」
	十倉好紀	藤原賞（藤原科学財団）	物質中の巨大な電気磁気応答の創成
	相田卓三	同上	次元・階層構造の精密設計による革新的高分子新物質の創成
	次世代スーパーコンピュータ開発実施本部	TOP500-No.1（第37回TOP500）	LINPACKベンチマークで、世界最高性能8.162ペタフロップス（毎秒8,162兆回の浮動小数点演算数）を達成
	谷口直之	日本学士院賞	糖鎖生物学、とくにN-結合型糖鎖の病気の重要性についての先駆的業績
	宝田 徹・前田瑞夫 他 2名	「分析化学」論文賞（日本分析化学会）	Recent Advances in Cell Micropatterning Techniques for Bioanalytical and Biomedical Sciences, Analytical Sciences 24(1) 67-72, 2008
	香取秀俊	業績賞 論文賞 解説部門（レーザー学会）	光格子時計の発明—そのインパクトと展望—, レーザー研究 38(7) 479-486, 2010

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績	
	野依良治	Honorary Doctor (Kazan University)	化学の革命的発展に貢献した功績、また理研とロシアの大学との科学的な連携に際し多大な貢献をした実績	
7	川崎雅司	本多フロンティア賞（本多記念会）	酸化物界面の原子レベル制御による新光電子機能の開拓	
	幸坂祐生	本多記念研究奨励賞（本多記念会）	走査トンネル顕微鏡法／分光法を用いた銅酸化物高温超伝導体の電子自己組織化と準粒子状態に関する研究	
	花島慎弥	奨励賞（日本糖質学会）	効率的シリアル化反応を基盤とした糖鎖の合成と展開	
	大西章也・張宇・Andrzej Cichocki・趙后斌	The Annual BCI Research Award 2011 for the most innovative brain-computer interface project (Laboratory of Brain-Computer Interfaces, Institute for Knowledge Discovery, Graz University of Technology) オーストリア	An affective BCI using multiple ERP components associated to facial emotion processing.	
	姫野龍太郎	JACM Computational Mechanics Award (Japan Association of Computational Mechanics)	計算力学の広い分野での顕著な研究業績、ソフトウェア開発、計算技術開発	
8	榎本嘉範	若手奨励賞（原子衝突研究協会）	カストラップでの反水素合成	
	新竹積	FEL prize	SACLAの技術開発と建設への貢献	
	木村英紀	Quazza Medal (International Federation of Automatic Control)	For Outstanding Contributions to Multivariable and Robust Control	
9	前川素子	学術賞 大塚賞（日本脂質栄養学会）	Excessive ingestion of long-chain polyunsaturated fatty acids during developmental stage causes strain- and sex-dependent eye abnormalities in mice	
	高宮里奈	Young Investigator Award (Society for Free Radical Research, Asian Society for Mitochondrial Research and Medicine, Japanese Society of Mitochondrial Research and Medicine)	Regulation of monocyte function by tumor associated sialyl-Tn antigen through ROS production	
	斉藤和季	学術賞（日本植物細胞分子生物学会）	植物メタボロミクスを中心とした統合オミクスとその展開研究	
	矢野安重	Gersh Budker Prize (European Physical Society Accelerator Group)	For his innovation and leadership in the design, construction and successful operation of RIBF, the world's first radioactive ion beam facility based on SC sector-magnet cyclotrons. Dr. Yano's understanding and foresight have led to major advances in cyclotron technology and in realizing them he has created a major new facility for nuclear physics with unparalleled capabilities for years to come	
	Amani Eilanlou Abdolreza	研究会奨励賞（電気学会 電子・情報・システム部門）	テラワットサブ10fsレーザーシステムの開発とその二色レーザー電場による高次高調波発生への応用	
	戸島拓郎	奨励賞（日本神経科学学会）	神経軸索ガイダンスを制御するシグナル伝達と膜トラフィック	
	小口祐伴	若手奨励賞（日本生物物理学会）	The depolymerizing kinesin MCAK generates force by disassembling both microtubule ends	
	石田喬志	若手奨励賞（日本植物学会）	細胞の形態形成を担う分子メカニズムの解析	
	有本裕	産学官連携功労者表彰 文部科学大臣賞（内閣府）	「有効成分が可食なSaFE農業」の開発	
	伊達康博・中西裕美子・福田真嗣・加藤完・常田聡・大野博司・菊地淳	生物学論文賞（日本生物工学会）	New monitoring approach for metabolic dynamics in microbial ecosystems using stable-isotope-labeling technologies, J. Biosci. Bioeng. 110(1) 87-93, 2010	
	10	横山茂之	Foreign Honorary Members (The American Academy of Arts and Sciences)	構造生物学、生化学、生物物理学における革新的な研究業績
		河田聡	江崎玲於奈賞（茨城県科学技術振興財団）	近接場ナノ光学とプラズモニクス研究の開拓
		緑川克美	報公賞（服部報公会）	高次高調波による高出力XUVコヒーレント光源の開発
山口祥一		堀場雅夫賞（堀場製作所）	新しい高感度非線形レーザー分光法の開発と界面分子構造研究への応用	
五十嵐潤・深井朋樹		研究賞（日本シミュレーション学会）	出力選択を行う大脳基底核モデルのGPGPUによる実時間実行と可視化	
山崎泰規		宅間宏記念学術賞（松尾財団）	冷反水素の生成・制御と反物質科学の展開	
姫野龍太郎		Computational Mechanics Award (The Japan Society of Mechanical Engineers, Computational Mechanics Division)	自動車流れに代表される数値流体力学の基礎および応用に関する卓越した研究業績ならびに、数値流体力学の発展普及に関する顕著な功績。計算科学に関する国家プロジェクトの主導的運営	
11	野依良治	Foreign Member (外国籍院士) 中国科学院	比類のない業績により、化学の革命的発展に貢献した功績	

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	玉尾皓平	文化功労者	一貫して元素の本質的特性に着目した物質創製を研究し有機金属化学分野の発展に多大な貢献をした功績
	新竹 積	兵庫県科学賞	独創的な発案により新方式の高輝度電子ビーム技術を開発するとともに世界最短波長を有するX線自由電子レーザー施設SACLAの基礎技術の確立に大きく貢献するなど科学技術の向上に尽力
	古澤 力	西宮湯川記念賞（西宮市）	カオス力学系モデルによる細胞分化の理論的研究
	Harold Y. Hwang	APS Fellow (American Physical Society)	For fundamental contributions to the materials physics of correlated electron materials through the prudent use of doping, artificial interfaces, dimensional confinement, and electronic reconstruction.
	次世代スーパーコンピュータ開発実施本部	TOP500-No.1（第38回TOP500）	LINPACKベンチマークで、世界最高性能10.51ペタフロップス（毎秒10,51兆回の浮動小数点演算数）を達成
	次世代スーパーコンピュータ開発実施本部	HPCwire年間賞「Top supercomputing achievement Editor's choice」	—
	京速コンピュータ「京」開発プロジェクトチーム	「チームワーク・オブ・ザ・イヤー2011」最優秀チーム（サイボウズ株式会社ロジカルチームワーク委員会）	—
	松尾 司・鈴木克規・富川友秀・李 保林・伊藤幹直・庄司良晃・大谷卓・李 良春・小林 恵・蜂屋 誠・田原吉幸・橋爪大輔・福永武男・玉尾皓平 他3名	BCSJ賞（日本化学会）	Synthesis and Structures of a Series of Bulky "Rind-Br" Based on a Rigid Fused-Ring s-Hydrindacene Skeleton, BCSJ 84(11) 1178-1191, 2011
	丹羽洋介・富田浩文・佐藤正樹・今須良一	気象集誌論文賞（日本気象学会）	大気レーザー輸送のための単調性と空気密度との整合性を保持する3次元20面体格子移流スキーム, J.Meteor.Soc.Jpn., 89 255-268, 2011
	長谷川幸弘・南 一生・庄司文由・宇野篤也・黒川原佳・横川三津夫	ゴードン・ベル賞 最高性能賞（国際会議SC11）	「京」による100,000原子シリコン・ナノワイヤの電子状態の第一原理計算
	前田瑞夫	日本バイオマテリアル学会賞	DNAハイブリッド材料を基盤とするバイオマテリアルに関する研究
	Dashtsoodol Nyambayer	President of Mongolia's Prize for the Distinguished Young Scientist of the Year	Study of the thymic development of NKT cells: identification of CD4, CD8 double-negative NKT cell precursors
	伊川友活	研究奨励賞（日本免疫学会）	T細胞/B細胞系列への運命決定における転写因子による制御機構の解明
	前田康大	奨励賞（日本光学会）	Broadly Tunable UV-Blue Picosecond Pulsed Laser and Its Application for Biological Imaging
12	野依良治	愛知県名誉県民	愛知県を拠点とした長年の研究活動の成果により、県の発展に卓絶した功績
	秋葉康之	仁科記念賞（仁科記念財団）	RHICにおける諸発見、特にレプトンペアの測定に基づく高温高密度状態の研究
	大森 整	ビジネス創造コンテスト 最優秀賞（品川区、品川ビジネスクラブ）	ネットワーク型新ものづくり技術基盤：オンデマンドファブリケーションシステムの開発とそのビジネスモデルの構築
	永楽元次	三菱化学奨励賞（日本分子生物学会）	幹細胞の3次元培養系を用いた中枢神経系組織構築の自己組織化の機序
	杉岡幸次	SPIE Fellow (The International Society for Optics & Photonics, USA)	レーザーマイクロ・ナノプロセッシング分野の発展への寄与
	Christopher Wilson・Franco Nori・他	Physics World, top 10 breakthroughs for 2011 (5th place) (the Institute of Physics)	Observation of the dynamical Casimir effect in a superconducting circuit, Nature, 479 376-379, 2011
	豊田哲郎	ナイスステップな研究者2011（文部科学省科学技術政策研究所）	革新的な研究情報基盤を活用したオープン形式のゲノム設計コンテストの開催
2012. 1	スーパーコンピュータ「京」の開発チーム	関西元気文化圏賞 ニューパワー賞（関西元気文化圏推進協議会）	スーパーコンピュータ「京」が、計算性能ランキングTOP500において、昨年6月と11月の2期連続で、世界1位を獲得。日本の技術力を世界に示すとともに、東日本大震災で沈みがちな日本を元気づけた
	渡邊 貞	HPCwire People to watch 2012	世界最速のスパコン「京」の開発
	香取秀俊	朝日賞（朝日新聞文化財団）	光格子時計に関する研究
2	伊藤弘昌	櫻井健二郎氏記念賞（光産業技術振興協会）	非線形工学、テラヘルツ光学の先導的研究
	笹井芳樹	井上学位賞（井上科学振興財団）	自己組織化による中枢神経系の発生制御の試験管内再現
	宮脇敦史	同上	バイオイメーjingの学際的開発研究
	今西俊介	若手表彰（科学技術振興機構）	重イオンビームによる植物変異固定の利用のための基盤研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	Debraj Choudhury	G C Jain Memorial Prize for the best Ph.D thesis in Materials Science for the year 2011 (Materials Research Society of India)	Effects of disorder on physical properties of selected transition metal oxides
	西浦正芳	有機合成化学奨励賞（有機合成化学協会）	新規希土類錯体触媒の開発と高選択的分子変換反応への応用
	金田行雄・石原 卓・横川三津夫・板倉憲一・宇野篤也	日本流体力学会 学会賞（論文賞）	Energy dissipation rate and energy spectrum in high resolution direct numerical simulations of turbulence in a periodic box, Physics of Fluids 15(2) L21-L24, 2003
	奥野 広樹・大西純一・福西暢尚・坂本成彦	諏訪賞（高エネルギー加速器科学研究奨励会）	世界初の超伝導リングサイクロトロンの開発と建造
	宇野篤也	リサーチフロントアワード（トムソン・ロイター）	植物ホルモン機能の発見によるストリゴラクトン研究の新展開
	林崎良英	Honorary Doctor of Medicine (Karolinska Institutet) スウェーデン	卓越した研究成果と長年のカロリンスカインスティテュートに対する研究支援
3	長谷川優子	育志賞（日本学術振興会）	X染色体不活性化におけるXistRNA制御機構の解析
	磯部圭佑	コニカミノルタ画像科学奨励賞（コニカミノルタ科学技術振興財団）	深部超解像イメージング技術の開発
	玉木（渡邊）亮子	同上	自己組織化テンプレートをを用いた可視光応答型分割リング共振器の作製
	勝田 哲	宇宙科学奨励賞（宇宙科学振興会）	X線による超新星残骸の観測的研究
	榎屋啓志	Linked Open Data チャレンジ Japan 2011 BioLOD賞	BRC mouse strain
	下山紗代子・吉田有子・豊田哲郎	Linked Open Data チャレンジ Japan 2011 アプリケーション部門最優秀賞	LinkData.jp
	于 秀珍・十倉好紀・松井良夫	学術写真賞（日本セラミックス協会）	廻る・回る スピンは回る
	山崎泰規	東レ科学技術賞（東レ科学振興会）	エキゾチックなビームによる原子物理学と反物質科学の開発的研究
	伊藤幸成	日本農芸化学会賞	糖タンパク質の機能解析をめざす複合科学的研究
	笹井芳樹	塚原伸晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団）	脳発生の試験管内再現による制御機序の研究
	上田泰己	同上	哺乳類概日時計による環境の内部表現の解明
	計算科学研究機構 運用技術部門	電気設備学会賞 技術部門 施設奨励賞	京速コンピュータ「京」施設の電気設備
	青木慎也・初田哲男・石井理修	論文賞（日本物理学会）	Theoretical Foundation of the Nuclear Force in QCD and its Applications to Central and Tensor Forces in Quenched Lattice QCD Simulations, Prog. Theor. Phys. 123(1) 89-128, 2010
	日野原伸生	若手奨励賞および核理論新人論文賞（日本物理学会）	局所準粒子RPA近似による慣性関数を用いた大振幅変形ダイナミクスの微視的記述, 日本物理学会講演概要集 67(1-1) 97, 2012
	佐藤正寛	若手奨励賞（日本物理学会）	NMR relaxation rate and dynamical structure factors in nematic and multipolar liquids of frustrated spin chains under magnetic fields, Physical Review B 79 060406(R), 2009
	田原太平	学術賞（日本化学会）	超短パルス光を用いた先端分光計測による凝縮相分子の静的・動的挙動の観測と解明
	高橋英機	日本獣医学会賞	網羅的表現型解析システムを用いた脳機能研究モデルマウスの開発と記憶のメカニズム解明に関する研究
	梶原 均・井藤賀 操・中塚清次	日本鉱業協会賞	金属回収材料としてのコケ植物
4	岡野眞治	吉川英治文化賞（吉川英治国民文化振興会）	放射能測定器を独自開発。チェルノブイリ、福島でも現地調査を行い、汚染を測定。
	牧野内昭武	中小企業優秀新技術・新製品賞（りそな中小企業振興財団、日刊工業新聞社）	3次元弾塑性構造解析ソフトウェア「TP-STRUCT」
	船越智子	科学技術における「美」のパネル展（科学技術団体連合）	親から娘へ～遺伝情報が引き継がれる瞬間
	篠崎一雄	Hottest Researchers (Thomson Reuters)	11報の論文がホットペーパーに選出され、Hottest Researchers世界第5位にノミネート
	玉尾皓平	香川県知事表彰（特別功労）	有機金属化学の研究における優れた業績
	黒崎知博	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	アレルギー反応の制御因子同定の研究
	土肥義治	同上	生分解性高分子の微生物合成と材料開発に関する研究
	中野明彦	同上	先端可視化技術による膜交通の選別輸送機構の研究
	山崎泰規	同上	反水素による反物質科学の研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	有田亮太郎	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	強相関第一原理計算法の開発と応用の研究
	伊川友活	同上	リンパ球分化決定を制御する分子メカニズムの研究
	井上貴美子	同上	体細胞クローン胚のエピジェネティクス特性に関する研究
	永樂元次	同上	幹細胞の自己組織化による網膜および大脳組織の立体形成の研究
	早澤紀彦	同上	先端増強ラマン散乱顕微鏡の開拓と局所分光への応用の研究
	梅津信二郎	奨励賞（日本機械学会）	マイクロデジタルファブリケーション技術を利用したバイオエンジニアリング・クリーンテクノロジーへの応用に関する研究
	花岡文雄	紫綬褒章	遺伝子DNAの損傷認識機構の解明など、生物系薬学分野の業績
	石川哲也	紫綬褒章	大型放射光X線光学系の開発
5	仲村高志・伊藤佳孝・吉川雅章・坂井直道・成木紳也・平林 泉・内海博明	論文賞（低温工学・超電導学会）	バルク超電導体を用いた小型無冷媒磁石のNMR応用—NMR信号を用いたバルク磁石の評価—, 低温工学 46(3) 139-148, 2011
	干 秀珍・金澤直也・小野瀬佳文・永長直人・十倉好紀・松井良夫	和文誌賞（日本顕微鏡学会）	極低温ローレンツ顕微鏡法によるスキルミオン格子の可視化, 顕微鏡 45(4) 273-276, 2010
	原 雄介	科学奨励賞（日本化学会 コロイドおよび界面化学部会）	生体環境下で駆動する新規自励振動高分子の創製とソフトアクチュエータへの応用
	水野 敬	優秀論文賞（日本小児神経学会）	Changes in cognitive functions of students in the transitional period from elementary school to junior high school, Brain & Development, 33(5) 412-420, 2011.
	原 雄介	ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞 奨励賞（日本ゴム協会）	—
	侯 召民	高分子学会賞	高性能希土類重合触媒の開発と新規ポリマー材料の創製
	永田 豊	奨励賞（レーザー学会）	コヒーレントEUVスカトロメリー顕微鏡用光源としての13.5nm高次高調波発生システムの開発
6	伊藤嘉浩	Fellow, Biomaterials Science & Engineering (International Union of Societies for Biomaterials Science & Engineering)	バイオマテリアル科学と工学に対する貢献
	川合眞紀	向井賞（東京応化学技術振興財団）	表面単分子スペクトロスコピー
	眞鍋史乃	資生堂 女性研究者サイエンスグラント	新規反応活性種を用いた糖鎖結合形成法の開発と新規高分子創成への展開
	迫野昌文・座古 保	FEBS Journal Top-Cited Paper Award (Federation of European Biochemical Societies)	Amyloid oligomers: formation and toxicity of A $\beta$ oligomers, FEBS Journal 277(6) 1348-1358, 2010
	榊屋啓志	森脇和郎賞（モロシヌス研究会）	マウス遺伝学の情報統合に関する研究
	飯野隆夫	奨励賞（日本微生物資源学会）	温泉、海洋環境からの難培養性新規微生物の探索とその資源化に関する研究
	Thomas Blum・Cristoph Lehner・出淵 卓	Ken Wilson Lattice Award (International Symposium on Lattice Field Theory)	The $K \rightarrow (\pi \pi)   = 2$ Decay Amplitude from Lattice QCD
7	斉藤貴志	奨励賞（日本生化学会）	アミロイド $\beta$ 43によるアルツハイマー病の病態発症・促進機構に関する研究
	十倉好紀	IUPAP Magnetism Award and Néel Medal (International Union of Pure and Applied Physics)	磁気物理学の分野での顕著な貢献
	阿部 洋	ヤングサイエンティスト (YS) 講演賞（高分子学会、高分子学会関西支部）	核酸高分子のナノ構造化や鋳型反応による機能創出
	大森 整	Fellow of ISNM (The International Society for Nanomanufacturing)	ナノマニュファクチャリングの研究における長年に亘る国際的な成果
	梅津信二郎	Excellent Young Researcher Award (The International Society for Nanomanufacturing)	Patterning Collagen Utilizing PELID Method
	菅原裕子	下田光造賞（日本うつ病学会）	Hypermethylation of serotonin transporter gene in bipolar disorder detected by epigenome analysis of discordant monozygotic twins, Translational Psychiatry 1, e24, 2011
8	草野 都	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	植物メタボロミクスによる代謝ネットワーク解析
	大西純一・日暮祥英	技術貢献賞（日本加速器学会）	28GHz 超伝導 ECRイオン源の開発
9	脳科学総合研究センター 適応知性研究チーム	Innovative Technologies（デジタルコンテンツ協会）	代替現実（Substitutional Reality: SR）システム

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	三木謙二郎	新人賞（原子核談話会）	博士論文：300MeV/uにおける $(t,^3\text{He})$ 反応を用いた $\beta^+$ 型荷電ベクトル型スピン単極共鳴状態の研究
	二本柳聡史	奨励賞（分子科学会）	ヘテロダイナミクス検出振動と周波発生分光法の開発と界面水分子の構造とダイナミクスの解明
	竹市雅俊	トムソンロイター引用栄誉賞（Thomson Reuters）	細胞接着分子カドヘリンの発見
	川谷 誠	奨励賞（日本癌学会）	癌骨転移抑制剤のケミカルバイオロジー研究
	太田邦史・藤原正明	産学官連携功労者表彰 文部科学大臣賞（内閣府）	「モノクローナル抗体迅速作製技術」(ADLib <sup>®</sup> システム)の開発
10	笹井芳樹	井植文化賞 科学技術部門（井植記念会）	体の組織としては世界で初めて 万能細胞から目の網膜作成に成功する等、世界初の成果を次々に挙げ、今後の再生医療へどう応用されるか期待と関心が高まっており、その成果と功績が評価されたもの
	宿里充穂	研究奨励賞（日本核医学会）	In Vivo Expression of Cyclooxygenase-1 in Activated Microglia and Macrophages During Neuroinflammation Visualized by PET with $^{11}\text{C}$ -Ketoprofen Methyl Ester, J. Nucl. Med. 52(7) 1094-1101, 2011
	井尻 敬・横田秀夫	Innovative technologies 特別賞 (Human) (経済産業省、デジタルコンテンツ協会)	リアルタイム心臓拍動シミュレータ
	小林正智	植物化学調節学会賞	ジベレリンによる植物成長調節機構の研究と植物遺伝資源の整備
	田中克典	科学研究費助成事業審査委員表彰	科学研究費助成事業（科研費）の審査
11	福田裕穂	紫綬褒章	植物生理学研究の功績
	笹井芳樹	武田医学賞（武田科学振興財団）	器官発生の機序解明と試験管内再現
	平井浩一・高地雄太・鈴木亜香里・岡田随象・山田 亮	ベルツ賞 2等賞（日本ベーリンガーインゲルハイム社）	自己免疫疾患の遺伝子解析：ゲノム情報から機能解析へ
	大泉匡史	APNNA's 2011 Young Researcher Award (Asia-Pacific neural Networks Assembly)	Research on Neural Information Processing
	計算科学研究機構	HPC Challenge Awards 3部門1位、1部門2位（国際会議SC12）	第1位 ①Global HPL ③EP STREAM (Triad) per system ④Global FFT 第2位 ②Global Random Access
	計算科学研究機構	TOP500 No.1 in Asia 「京」は全体で3位、アジアで1位（第40回TOP500）（国際会議SC12）	LINPACKベンチマークで、世界最高性能10.51ペタフロップス（毎秒10,51兆回の浮動小数点演算数）を達成
	牧野淳一郎・似鳥啓吾	ゴードン・ベル賞（国際会議SC12）	約2兆個のダークマター粒子の宇宙初期における重力進化の大規模計算を、非常に高い実効性能で実現。1兆粒子を越すシミュレーションは世界最大で、専用アプリを開発し、「京」の約98%を使用、実効性能5.67PFLOPSを達成。
	笹井芳樹	山崎貞一賞 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野（材料科学振興財団）	多能性幹細胞からの自己組織化による脳および感覚組織の3次元立体構築技術の開発
	仁科加速器研究センター	サイエンスアゴラ賞（科学技術振興機構）	サイエンスアゴラ2012において科学技術に対する人々の興味関心を広げる科学コミュニケーションの推進に顕著に貢献
	柴田武彦・瀬尾秀宗・太田邦史	発明協会会長奨励賞（埼玉県発明協会）	モノクローナル抗体の生体外迅速作製法
	早澤紀彦	奨励賞（日本分光学会）	先端増強ラマン散乱顕微鏡の開拓とその最適化
二本柳聡史	同上	ヘテロダイナミクス検出振動と周波発生分光法の開発と界面水分子の構造とダイナミクスの解明	
12	藤縄 雅	創設60周年記念 第45回（平成24年度）日本大学生産工学部 学術講演会多年発表表彰	—
	初田哲男・青木慎也・石井理修	仁科記念賞（仁科記念財団）	格子量子色力学に基づく核力の導出
	李 殷瑞	Young Investigator Award（日本血管生物医学学会学術集会、Korea-Japan Joint Symposium on Vascular Biology）	Essential Role of Transglutaminase 2 in Non-developmental Angiogenesis, and Underlying Molecular Mechanism
	李 殷瑞	Young Investigator Award 2012（トランスグルタミナーゼ研究会）	—
	Piero Carninci	ナイスステップな研究者2012（文部科学省科学技術政策研究所）	国際プロジェクトENCODEに独自技術で貢献し、ヒトゲノムの80%の領域に機能があることの解明に寄与

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	森田浩介・森本幸司・加治大哉・羽場宏光・大関和貴・工藤祐生・住田貴之・若林泰生・米田 晃・田中謙伍・山木さやか・長谷部裕雄・Huang Minghui・鹿取謙二・刈屋佳樹・菊永英寿・森谷透・村上昌史・小沢 顕・小浦寛之・末木啓介・武山美麗・門叶冬樹・山口貴之・吉田 敦	同上	113番元素の合成を新たな崩壊経路で確認
2013. 1	Andrzej Cichocki	IEEE Fellow	For contributions to applications of blind signal processing and artificial neural networks
	杉山雄一	Honorary Doctorate at Uppsala University スウェーデン	トランスポーター、代謝酵素の関わる薬物体内動態およびその個人間変動の数理モデルに基づく定量的予測、薬物間相互作用の定量的予測”に関する研究で世界をリード。
2	笠原博幸	日本学術振興会賞	植物におけるオーキシン生成主経路の解明
	田中元雅	同上	タンパク質のミスフォールディングがもたらす生命現象の解明
	理化学研究所	コージェネ大賞 民生用部門 理事長賞 (コージェネレーション・エネルギー高度利用センター)	スーパーコンピュータ「京(けい)」を守る大型コージェネ～電源セキュリティと節電に大きく貢献～
	関岡孝介	エーザイ研究企画賞 (有機合成化学協会)	固相上での金属エノラート生成を鍵とした新規アフィニティー精製法の開発
	磯部圭佑	研究表彰 (光科学技術研究振興財団)	時空間制御した非線形光学顕微分光法に関する研究
	豊岡公德	風戸賞 (風戸研究奨励会)	電子顕微鏡法による新規細胞内小胞輸送経路の解明
3	加藤純一	精密工学会フェロー	精密工学分野における学術活動、実用化技術開発及び本学会の発展に顕著な業績
	香取秀俊	東レ科学技術賞 (東レ科学振興会)	光格子時計の発明と原子時計の超高精度化
	X線自由電子レーザー施設SACLA	日本産業技術大賞 文部科学大臣賞 (日刊工業新聞社)	X線自由電子レーザー施設SACLAの整備と供用開始
	野依良治	Honorary Foreign Member (The National Academy of Sciences, Republic of Korea)	これまでの研究活動全般
	高田 篤	学術賞 (日本生物学的精神医学会)	A Population-Specific Uncommon Variant in GRIN3A Associated with Schizophrenia
	永長直人	Beller Lectureship Award (American Physical Society)	Dynamics of skyrmions under electric current
	大西哲哉・久保敏幸・日下健祐・吉田 敦・吉田光一・大竹政雄・福田直樹・竹田浩之・亀田大輔・田中鐘信・稲辺尚人・柳澤善行・郷農靖之・渡邊 寛・大津秀暁・馬場秀忠・市原 卓・山口由高・武智麻耶・西村俊二・上野秀樹・吉見彰洋・櫻井博儀・本林 透 他 36名	論文賞 (日本物理学会)	Identification of 45 New Neutron-Rich Isotopes Produced by In-Flight Fission of a $^{238}\text{U}$ Beam at 345 MeV/nucleon, IPSJ 79(7) 073201, 2010
	八田 達・梅津信二郎・大森 整・竹内晃一	研究奨励賞 (日本画像学会)	PELID法を利用した三次元バイオデバイスの作製
	鈴木俊法	学術賞 (日本化学会)	気相・液相分子の超高速光電子分光の開拓
	高本将男・香取秀俊 他 4名	論文賞 (日本物理学会)	Improved Frequency Measurement of a One-Dimensional Optical Lattice Clock with a Spin-Polarized Fermionic $^{87}\text{Sr}$ Isotope, JPSJ 75(10) 104302, 2006
	徳永祐介	若手奨励賞 (日本物理学会)	強相関電子系における交差相関物性の研究
	笹野匡紀	同上	$^{56}\text{Ni}$ のガモフ・テラー遷移強度
	古川俊輔	同上	量子多体系におけるエンタングルメント・エントロピーの研究
	勝田 哲	同上	X線による若い超新星残骸の運動学的研究
	竹下聡史	若手奨励賞 (日本中間子科学会)	$\mu\text{SR}$ による鉄系超伝導体 $\text{CaFe}_{1-x}\text{Co}_x\text{AsF}$ における超伝導と磁性の研究



受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	早澤紀彦	光学論文賞（応用物理学会、日本光学会）	Highly reproducible tip-enhanced Raman scattering using an oxidized and metallized silicon cantilever tip as a tool for everyone, Journal of Raman Spectroscopy 43(9) 1177-1182, 2012
4	Khurram Bashir	奨励賞（日本土壌肥科学会）	イネ科植物の鉄輸送に関わるタンパク質の解析
	豊岡公徳・橋本 恵・持田恵一	第7回科学技術の「美」パネル展優秀賞（科学技術団体連合）	バイオマス研究を担う草
	有本 裕	文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）	SaFE農業の開発
	Franco Nori	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	ナノ領域における物理現象の理論的研究
	加藤礼三	同上	金属錯体分子を用いたバイ電子物性の研究
	高田昌樹	同上	微量粉末から物質の機能を可視化する放射光構造科学の研究
	森脇和郎	同上	バイオリソース・マウスの進化史に基づく生物機能モデルの研究
	吉田聡子	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	植物根圏における寄生と共生の研究
	幸坂祐生	同上	分光イメージングによる高温超伝導体の擬ギャップ状態の研究
	戎家美紀	同上	遺伝子ネットワークの網羅的解析と人工的作製の研究
	斉藤貴志	同上	アルツハイマー病の発症及び病態促進機構に関する研究
	但馬敬介	同上	機能性高分子材料におけるナノ構造制御の研究
	林崎良英	CHEN AWARD 2013 (CHEN Foundation, Human Genome Organization)	長年に渡るトランスクリプトーム (RNA) 研究への貢献、完全長cDNA技術の開発や、大規模国際プロジェクト「FANTOM」を通じたアジア・パシフィック地域におけるヒトゲノミクス・ヒトジェネティクス研究の発展。
	広報室・仁科加速器研究センター	科学技術映像祭 部門優秀賞 研究開発部門（日本科学技術振興財団、映像文化制作者連盟、つくば科学万博記念財団）	科学のフロンティアシリーズ 16 元素の起源を探る ～理研RIビームファクトリー～
	井上愛一郎	紫綬褒章	ハイエンドコンピュータを実現する高性能・高信頼CPU技術の開発
	御子柴克彦	The Dr. Martin Rodbell Memorial Lecture (The National Institute of Environmental Health Sciences)	Role of IP3 receptor signaling in development, cell function and diseases
5	笹井芳樹	Systems of Biology Award (The Society of Photo Optical Instrumentation Engineers)	Self-organization of neral patterns and structures in 3D culture of stem cells
	高橋栄治・富澤宏光	大阪大学近藤賞 技術貢献賞	EO サンプリングロック方式・HHGシード型フルコヒレントEUV 自由電子レーザーの実現と高度利用に関する総合技術の確立
	計算科学研究機構	空気調和・衛生工学会賞 技術賞建築設備部門	スーパーコンピュータ施設「京（けい）」の設備設計と施工
	新美君枝	奨励賞（日本実験動物学会）	老化促進マウス（Senescence-Accelerated Mouse Prone 6: SAMP6）に対する網羅的行動解析試験を用いた脳機能研究
	今尾浩士	ACFA-IPAC13 Accelerator Prize (The Asian Committee for Future Accelerators)	Realization of the new charge-state stripper using recirculating helium gas and development of an exceptionally compact and efficient positron accumulator
	高嶋一登・Jonathan Rossiter・向井利春・郭士傑	JRM表彰（日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門）	Curved Type Pneumatic Artificial Rubber Muscle Using Shape-memory Polymer, J. Robot. Mechatron. 24(3) 472-479, 2012
	西浦正芳	奨励賞 足立賞（日本希土類学会）	高機能性希土類錯体触媒の開発と精密分子変換反応への応用
	関口仁子	守田科学奨励賞（大学女性協会）	少数核子系散乱高精度測定による核子間三体力の研究
	肥山詠美子	猿橋賞（女性科学者に明るい未来をの会）	量子少数多体系の精密計算法の確立とその展開
	野依良治	Honorary Doctor Degree (Saint Petersburg State University) ロシア	比類のない業績により、化学の革命的発展に貢献した業績
6	施設課・総務課	電気設備学会賞 技術振興賞	理化学研究所 幹細胞研究開発棟の電気設備
	梅津信二郎	日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞	静電インクジェットのバイオプリンティング、デジタルマイクロファブリケーションへの応用
	埋橋志穂美	奨励賞（日本菌学会）	Pythium属の分類および分子系統学的研究
	竹嶋伸之輔	森永奉仕会賞	ウシの疾患感受性を規定する主要適合抗原の研究
	吉田 稔	鶴尾隆賞（日本がん分子標的治療学会）	化学遺伝学による新規がん分子標的の発見とエビジェネティクス創薬への展開
	香取秀俊	藤原賞（藤原科学財団）	光格子時計の発明と実現による高精度原子時計技術の開発
	宮脇敦史	同上	蛍光を出すたんぱく質を使って、生命活動を調べる手法「革新的なバイオイメージング技術の開発研究」
	十倉好紀	恩賜賞および日本学士院賞	強相関電子材料の物性研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	合田裕紀子 坂内博子	塚原伸晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団） 奨励賞（日本神経科学学会）	活動依存的シナプス強度調節機構の解明 膜分子ダイナミクスから読み解く脳細胞の自己組織化戦略—1分子イメージングによる神経細胞シナプスおよびグリア細胞カルシウムシグナルの研究—
7	石川哲也 中嶋隆人 花栗哲郎 野依良治 Anwar Muhammad Nabeel	秦山賞 レーザー進歩賞（レーザー技術総合研究所） Pople Medal (Asia-Pacific Association of Theoretical & Computational Chemists) 応用セラミックス研究所長賞（東京工業大学 応用セラミックス研究所） Degree of Doctor of Science (University of Liverpool) 英国 ScienceDirect Top 25 List of Most Downloaded Articles, Ranked 1st on the Top 25 for Brain Research - April to June 2011	X線自由電子レーザー-SACLAプロジェクトの推進 for his innovative contributions to relativistic molecular orbital theory トンネル分光イメージングによるトポジカル表面電子状態の解明 比類のない業績により、化学の革命的発展に貢献した業績 “Motor imagery facilitates force field learning”, Brain Research 1395 21-29, 2011
8	今尾浩士・奥野広樹・久保木浩功 玉尾皓平 大森 整 杉山雄一	加速器学会賞（技術貢献賞） シンガポール化学会名誉フェローシップ Fellow of CIRP (The International Academy for Production Engineering) 産学官連携功労者表彰 経済産業大臣賞（内閣府）	高速重イオンビームのためのガス荷電変換器の開発 Significant contributions and achievements in Chemistry Production Engineeringの分野における国際的に顕著な貢献 マイクロドーズ臨床試験を活用した革新的創薬支援技術の開発／事業化
9	小出哲也 水野 初 Huang Chengcheng 尾坂 格 阿部知子 植田幸嗣 菊地 淳 杉本道彦 杉山雄一	研究奨励賞（日本味と匂学会） 奨励賞（日本分析化学会） 鈴木紘一メモリアル賞（日本生化学会） 日立化成賞（高分子学会） 日本植物学会賞 特別賞 奨励賞（日本プロテオーム学会） 日本生物工学奨励賞 斉藤賞（日本生物工学会） 奨励賞（日本遺伝学会） ISSX The 2013 R.T. Williams Distinguished Scientific Achievement Award (International Society for the Study of Xenobiotics)	ゼブラフィッシュの嗅覚行動を生み出す神経回路の遺伝学的解析 単一細胞ダイレクト質量分析法による細胞内小器官代謝解析 Functional analysis of the cytoplasmic ENGase/PNGase in mammalian cells 縮環 $\pi$ 電子系を基盤とする高性能半導体ポリマーの開発 高速重イオンビーム照射による植物の変異誘発技術の開発と普及 グライコプロテオーム解析技術の開発と糖鎖標的腫瘍マーカーの同定 安定同位体標識による生体分子混合物ならびに代謝経路解析 マウス-t-complex致死遺伝子の同定 薬物動態学の研究領域で長年に渡って確固たる貢献をしてきた業績
10	X線自由電子レーザー施設SACLA 林 央 平山秀樹 芳賀淑美 前田瑞夫 竹内佐年 長瀧重博 長瀧重博	グッドデザイン賞 ベスト100, 未来づくりデザイン賞 工業標準化事業表彰（経済産業省） ドコモ・モバイル・サイエンス賞 基礎科学部門 優秀賞（モバイルコミュニケーション・ファンド） GlycoTOKYO奨励賞（東京糖鎖研究会） 科学研究費助成事業審査委員表彰 同上 同上 同上	X線自由電子レーザー／サクラ ISO/TC79（軽金属及び同合金）の日本代表等の役割を通じて、アルミニウム関連を中心とした国際標準化を戦略的に推進。合計19件のISO規格の作成・発行に尽力し、アルミニウム関連業界の発展に多大な貢献をした。 高品質AlGaIn系半導体の結晶成長技術の開発と深紫外線LEDの先駆的研究 内在性の標的タンパク質のグライコフォームを可視化する技術の開発 科学研究費助成事業の第一弾審査において有意義な審査意見を付し公正・公平な審査に大きく貢献 同上 同上 同上
11	増口 潔 益田晶子 計算科学研究機構 運用技術部門 柳田敏雄 茅 幸二	奨励賞（植物化学調節学会） 科学・技術賞（日本アミノ酸学会） 兵庫県科学賞 文化功労者 瑞宝重光章	オーキシン生合成に関わるフラビン酵素YUCCAの機能解明 新たな翻訳後修飾解析法としての超高感度アミノ酸分析 スーパーコンピュータ「京」の安定運用技術の研究開発 生命システムを構成する分子機械に関する生物物理学研究 教育研究功労

受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
	原田 研・明石哲也・戸川欣彦・松田 強・守谷 騰	関東地方発明表彰 発明奨励賞	二段電子線バイブリズム干渉計
	計算科学研究機構	HPC Challenge Class1 Award (Global HPL, EP STREAM (Triad) per system, Global FFT)	・大規模な連立1次方程式を解く演算速度、多重負荷時のメモリアクセス速度、高速フーリエ変換の総合性能の3部門で第一位を獲得 ・並列プロセス間でのランダムメモリアクセス性能で第2位を獲得。
	中尾昌広・村井 均・下坂健則・佐藤三久	HPC Challenge Class2 Award	並列プログラミング言語XcalableMPによるHPC Challengeベンチマークの実装と評価
	加茂 聡	ソーシャルかぶコン2013 アプリケーション部門準グランプリとストックボイス賞 (東京証券取引所)	歩み値データ可視化ツール「Stock Star」
	蔡 兆申	Quantum Innovator Award (GeneExpression Systems & ARCEI)	Progress in the superconducting quantum information processing
	千賀信幸	理学研究科技術賞 (東北大学理学研究科)	Forward Drift Chamber 1 (FDC1) 用真空箱等の設計・製作・組立
	Ryoung Shin	Young Pricipal Investigator (Scientist) Award (Korean Society of Plant Biologist)	Transcriptional regulatory components responding to macronutrient limitation
12	趙 后斌・周 郭許・Andrzej Cichocki	中国留日同学会 日中協会賞	Kernelization of Tensor-Based Models for Multiway Data Analysis, IEEE Signal Processing Magazine 30(4) 137-148, 2013
	胡 少伟	中国留日同学会 中国駐大阪総領事賞	Dinitrogen Cleavage and Hydrogenation by a Trinuclear Titanium Polyhydride Complex, Science 340(6140) 1549-1552, 2013
	木村翔彦	奨励賞 (KSPビジネスイノベーションスクール)	免疫抑制制御細胞を使用した細胞療法における技術及び情報提供を行う事業の設立
	香取秀俊	仁科記念賞 (仁科記念財団)	光格子時計の発明
	笹井芳樹	HANS SIGRIST PRIZE (Hans Sigrist Foundation of University Bern)	Self-organization of Neural Patterns and Structures in Multicellular Systems
	十倉好紀	Foreign member of Royal Swedish Academy of Sciences	—
	谷内一郎	日本免疫学会賞	転写因子によるT細胞分化制御機構の解明
	米谷耕平	研究奨励賞 (日本免疫学会)	B細胞抗体産生を司る分子群の機能解明
	後藤伸治	功績賞 (東北植物学会)	植物学の研究・普及ならびに学会の発展に貢献
	御子柴克彦	Ordre National de la Legion D'Honneur Chevalier (レジオン・ドヌール勲章) フランス	脳科学における卓越した功績および日仏交流を軸にした国際的文化・科学の交流への貢献
	Sidonia Fagarasan・本田賢也	ナイスステップな研究者2013 (文部科学省科学技術政策研究所)	腸内細菌による免疫制御機構の解明と自己免疫疾患制御法の発見
	仁科加速器研究センター	サイエンスアゴラ賞 (科学技術振興機構)	企画名：新元素を発見しよう！～アジア初の命名権獲得へ～ 科学への興味や理解を深めるとともにこれからの豊かな社会をつくる取り組みの見本として、科学コミュニケーションの推進に顕著に貢献
2014. 1	十倉好紀	Honorary Doctor at Uppsala University スウェーデン	one of the world's ten most-cited physicists over the last 30 years. His research targets a broad field in physics, chemistry, and
	Franco Nori	EPL (Europhysics Letters) Distinguished referees	Distinguished referees-who have provided exceptionally useful and constructive assessment of articles submitted for publication in the EPL journal.
	Charles M. Boone	Edward Novitski Prize (Genetic Society of America)	An extraordinary level of creativity and intellectual ingenuity in solving significant problems in genetics research
	計算科学研究機構	平成25年度省エネ大賞 (省エネ事例部門) 審査委員会特別賞 (省エネルギーセンター)	スーパーコンピュータ「京 (けい)」の高効率冷却システム
2	伊藤昭博	The 7th Japan-Korea Chemical Biology Symposium Young Scientist Award	Regulation of Cortactin-mediated Cell Migration by Keap1 and SIRT2
	石川文彦	日本学術振興会賞	ヒト化マウスを用いた白血病の病態解明と治療薬の新規生体内検証法の確立
	Andrzej Cichocki・甘利俊一	Entropy Best Paper Award 2014: Article Award 2nd prize	Families of Alpha-Beta-and Gamma-Divergences: Frexible and Robust Measures of Similarities, Entropy 12(6) 1532-1568, 2010
	玉尾皓平	有機合成化学特別賞 (有機合成化学協会)	元素科学を基盤とする有機合成反応の開発と応用
	平井 剛	有機合成化学奨励賞 (有機合成化学協会)	分子設計と有機合成による高機能型生物活性分子の創製
	内山真伸	日産化学・有機合成新反応/手法賞 (有機合成化学協会)	理論計算と合成化学のインテグレーション反応開発/新材料創製
	五月女宜裕	エーザイ研究企画賞 (有機合成化学協会)	合成化学を基盤とするタンパク質メチル化の解析と制御

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
3	加茂 聡・石井 学	アーバンデータチャレンジ東京2013 スポンサー賞（社会基盤情報流通推進協議会、東京大学空間情報科学研究センター「次世代社会基盤情報」寄付研究部門）	アプリケーション「リモートでちょっと川の様子見てくる！」
	芳村 圭・三好建正・金光正郎	水工学論文賞（土木学会 水工学委員会）	アンサンブルカルマンフィルタを用いた水同位体比データ同化に向けた理想化実験 土木学会論文集B1（水工学）69(4) L_1795-L_1800, 2013
	早澤紀彦	丸文研究奨励賞（丸文財団）	先端増強型近接場分光法の新展開
	三好洋美	資生堂 女性研究者サイエンスグラント	低分子量GTPases活性を時空間的に操作する外場のマイクロ構造の最適設計
	加茂 聡・石井 学	Linked Open Dataチャレンジ2013 アプリケーション部門最優秀賞（LODチャレンジ実行委員会）	アプリケーション「リモートでちょっと川の様子見てくる！」
	加茂 聡・石井 学	横須賀市防災情報オープンデータ ハッカソン YRP賞（横須賀テレコムリサーチパーク）	アプリケーション「防災 横須賀」
	笹井芳樹	上原賞（上原記念生命科学財団）	幹細胞の自己組織化による臓器形成の自律制御原理の研究
	計算科学研究機構	PM実施賞 エクセレントパートナーシップ賞（プロジェクトマネジメント学会）	スーパーコンピュータ「京」の開発
	新見康洋	ISSP学術奨励賞（東京大学物性研究所）	外因性スピントール効果とスピン緩和機構の研究
	Oleg Astafiev・Yuri Pashkin・蔡 兆申 他5名	超伝導分科会論文賞（応用物理学会 超伝導分科会）	Coherent quantum phase slip, Nature 484 355-358, 2012
	杉山雄一	Rawls-Palmer Progress in Medicine Award (American Society for Clinical Pharmacology and Therapeutics)	薬理学及び薬学の世界的権威として、薬物動態、薬理遺伝学、トランスポーターに関する研究で世界をリード
	斉藤和季・金谷重彦 他10名	PCP論文賞（日本植物生理学会）	KNAPSAcK Family Databases: Integrated Metabolite-Plant Species Databases for Multifaceted Plant Research, PCP 53(2) e1, 2012
	松岡 勝・三原建弘・杉崎 睦・芹野（鈴木）素子・森井幹雄・河合誠之・吉田篤正・根来 均・中島基樹・中川友進 他22名	欧文研究報告論文賞（日本天文学会）	The MAXI Mission on the ISS: Science and Instruments for Monitoring All-Sky X-Ray Images, Publ. Astron. Soc. Jpn 61(5) 999-1010, 2009
	新見康洋	若手奨励賞（日本物理学会）	外因性スピントール効果とスピン緩和機構の研究
	関 真一郎	同上	マルチフェロイック物質中における磁気スキルミオンの発見
	荒巻陽紀	同上	金+金衝突における方位角ごとの中性パイ中間子測定,
	市川雄一	同上	スピン操作したRIビームの生成
	高橋俊二	農芸化学研究企画賞（日本農芸化学会）	放線菌二次代謝物の生産を増強する小分子バイオメディエーターの開発
	加茂 聡・石井 学	福井県webアプリコンテスト 優秀賞	アプリケーション「防災 福井」
	上原嘉宏	Technical award (The 7th MIRAI Conference on Microfabrication and Green Technology)	Fabrication of Special Shaped Micro Structured Pin of Tungsten Carbide
利根直樹	同上	Large Aspheric Glass Lens Fabricated for High Resolution Satellite Camera	
4	水野 敬	イーライリリーアワード（小児医学研究振興財団）	Divided attention of adolescents related to lifestyles and academic and family conditions, Brain & Development, 35 435-440, 2013.
	岩佐義宏	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	電気二重層トランジスタの開発と電子相制御の研究
	魚住泰広	同上	水中機能性不均一触媒による精密分子変換法の研究
	小安重夫	同上	寄生虫感染に対する自然免疫システムの研究
	永長直人	同上	幾何学を用いた電子と光機能の理論的研究
	初田哲男・青木慎也・石井理修	同上	量子色力学の第一原理計算に基づく核力の研究
	横山茂之	同上	構造生物学・合成生物学による遺伝情報転写・翻訳機構の研究
	石川 篤	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	メタマテリアルとその光機能デバイスへの応用の研究
	賀川史敬	同上	分子性固体を用いた強相関電子物性研究
	高地雄太	同上	日本人の関節リウマチ発症に関わる遺伝因子の研究
	関 真一郎	同上	電場による磁性の制御に関する研究
	徳永祐介	同上	磁気強誘電体における交差相関物性研究

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	三好建正	同上	地球環境シミュレーションにおけるデータ同化の研究
	森本 充	同上	機能的な組織パターンを作る細胞間シグナルの研究
	蔡 兆申	超伝導科学技術賞 特別賞（未踏科学技術協会）	超伝導量子コヒーレント物理の実証とデバイス開拓
	小川智也	瑞宝中綬章	公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた
	Piero Carninci	CHEN AWARD OF EXCELLENCE 2014 (Human Genome Organization International Limited)	Achievement of a biomedical scientist
5	Franco Nori・Konstantin Bliokh・Oleksandr Bekshaiev・Abraham Kofman	'Highlights of 2013' collection by New Journal of Physics	—
	本郷やよい	奨励賞（日本質量分析学会）	電子捕獲解離法をはじめとするイオン反応を利用した分子構造解析法の開発
	十倉好紀	本多記念賞（本多記念会）	遷移金属酸化物における強相関電子機能の開拓
	沼田圭司	Polymer Journal 論文賞-日本ゼオン賞（高分子学会）	Synthesis of poly- and oligo(hydroxyalkanoate)s by deep-sea bacteria, Colwellia spp., Moritella spp., and Shewanella spp, Polymer Journal 45, 1094-1100, 2013
	沼田圭司	高分子研究奨励賞（高分子学会）	ポリペプチドの酵素合成及び機能材料への応用
	高橋栄治・Pengfei Lan・緑川克美	業績賞 進歩賞（レーザー学会）	ギガワット級単一アト秒パルスの発生
	柳田敏雄	日本物理学会 名誉会員	1分子レベルでの観察が可能な顕微鏡を世界で初めて開発し、筋肉の動作原理の解明等の生物物理学研究に貢献
	遠藤慶徳	新化学技術研究奨励賞（新化学技術推進協会）	多金属ヒドリド錯体を用いた革新的なアンモニア合成触媒の開発
6	横川三津夫・庄司文由	業績賞（電子情報通信学会）	スーパーコンピュータ「京」の研究開発
	研究支援部 施設課	電気設備学会賞 技術部門施設奨励賞	理化学研究所BSI脳神経遺伝学研究所棟の電気設備
	篠崎一雄	Highly Cited Researcher 2014 (Thomson Reuters)	In recognition of ranking among the top 1% of researchers for most cited documents, in their specific field
	関 原明	同上	同上
	楠原 均	同上	同上
	斉藤和季	同上	同上
	神谷勇治	同上	同上
	白須 賢	同上	同上
	平井優美	同上	同上
	藤田美紀	同上	同上
	小林正智	同上	同上
	本田賢也・新 幸二・田之上 大	ドイツ・イノベーション・アワード ゴットフリード・ワグネル賞2014 優秀賞（ドイツ 科学・イノベーション フォーラム東京、在日ドイツ商工会議所）	免疫系に強く影響を与える腸内細菌株の単離
	上野賢司・丸山直也・松岡 聡	Graph500 Ranking of Supercomputers	Coherent quantum phase slip, Nature 484 355-358, 2012
	郭 江・鈴木浩文・森田晋也・山形 豊・樋口俊郎	工作機械技術振興賞・論文賞（工作機械技術振興財団）	A real-time polishing force control system for ultraprecision finishing of micro-optics, Precision Engineering 37(4) 787-792, 2013
7	高橋政代	2014 Alcon Research Institute Award	Outstanding contributions in the field of vision research
	加茂 聡・石井 学	HTML5 Japan Cup 2014 テーマ「スマートフォンの次を狙え！生活を快適にするデバイス×Webアプリ」(html5j、日本オープン・ウェブ・アソシエーション)	アプリケーション「ICheerZ! 乾杯可視化システム」
8	及川真実	The JRD Outstanding Paper Award in 2013（日本繁殖生物学会）	RNAi-mediated Knockdown of Xist Does Not Rescue the Impaired Development of Female Cloned Mouse Embryos, J. Reprod. Dev. 59(3) 231-237, 2013
	Stefan Ulmer	the International Union of Pure and Applied Physics Young Scientist (Early Career) Prize in Fundamental Metrology	measurement of the magnetic moment of the proton and the antiproton
	松井 南	技術賞（日本植物細胞分子生物学会）	FOXハンティングシステムによる遺伝子機能解析技術の開発とその普及

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	侯 召民	中国化学会黄耀曾有機金属化学賞	Organometallic Chemistry and Catalysis of Half-Sandwich Rare-Earth Alkyl and Hydride Complexes
9	蔡 兆申・中村泰信	江崎玲於奈賞（茨城県科学技術振興財団）	超伝導量子ビットシステムの研究
	加藤忠史	塚原伸晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団）	精神疾患の神経生物学的研究
	市橋泰範	平瀬賞（日本植物形態学会）	Evolutionary developmental transcriptomics reveals a gene network module regulating interspecific diversity in plant leaf shape, PNAS 111 E2616-E2621, 2014
	市橋泰範	奨励賞（日本植物形態学会）	Developmental mechanism underpinning leaf shape evolution
	斉藤和季	生薬学会賞（日本生薬学会）	薬用植物のゲノム機能科学とバイオテクノロジー研究
	藤田泰成・藤田美紀・篠崎一雄・篠崎和子	Journal of Plant Research 2014 Most-cited Paper Award（日本植物学会）	ABA-mediated transcriptional regulation in response to osmotic stress in plants, Journal of Plant Research 124(4) 509-525, 2011
	細島拓也	技術奨励賞（精密工学会）	透明2自由度平面型静電アクチュエータの開発
	蔡 兆申	論文賞 解説論文賞（応用物理学会）	固体素子と量子力学の厳密テスト, 応用物理 82(7), 592-595, 2013
	前田瑞夫	日本分析化学会学会賞	DNAソフト界面を用いるバイオ分析法の開発と応用
	徳島 高	奨励賞（分子科学会）	軟X線分光による液体中の水分子の水素結合の研究
	胡 少偉	2014 Reaxys PhD Prize Finalists (Reed Elsevier Properties SA.)	Dinitrogen Cleavage and Hydrogenation by a Trinuclear Titanium Polyhydride Complex, Science 340(6140) 1549-1552, 2013
	十倉好紀	トムソンロイター引用栄誉賞（Thomson Reuters）	新しいマルチフェロイック物質の発見
10	荻原郁夫	JUHN AND MARY WADA奨励賞 基礎部門（日本てんかん学会）	Nav1.1 haploinsufficiency in excitatory neurons ameliorates seizure-associated sudden death in a mouse model of Dravet syndrome, Hum. Mol. Genet. 22 4784-4804, 2013
	侯 召民	7th Negishi-Brown Lectures (Purdue University) アメリカ	Activation of Dinitrogen and Aromatic Carbon-Carbon Bonds by Multimetallic Titanium Polyhydrides
	九十田千子	藤木賞（日本レチノイド研究会）	レチノイン酸受容体はHBV感染受容体NTCPの発現調節及び感染感受性に関与する
	瀬尾光範	奨励賞（植物化学調節学会）	受容体複合体再構築系を用いた植物ホルモン輸送体の同定と機能解析
	Franco Nori	Fellow of OSA (The Optical Society of America)	Fundamental contributions to quantum information science and optics, including circuit quantum electrodynamics, and the interface between quantum optics and quantum circuits
	正垣 源・伊藤則子	仁川2014年アジアパラ競技大会 混合ダブルス立位3位	—
	竹市雅俊	Fellow of AAAS Section on Neuroscience (The American Association for Advancement of Science)	For distinguished contributions to the field of cell biology and developmental neuroscience, particularly for identification and functional analysis of intercellular and synaptic adhesion molecules.
	姫野龍太郎	流体工学部門賞（日本機械学会）	流体工学分野発展への多大な功績
	Franco Nori	宅間宏記念学術賞（松尾財団）	超伝導回路を用いた原子物理と量子光学の研究
11	香取秀俊	紫綬褒章	「魔法波長・光格子」のアイディアにもとづく「光格子時計」の発明
	平井 剛	GlycoTOKYO2014 奨励賞（東京糖鎖研究会）	シアリダーゼ耐性型ガングリオシドの創製
	長江雅倫	同上	糖鎖結合蛋白質の親和性・特異性獲得機構に関する構造生物学的研究
	上野晃司・丸山直也・松岡 聡	Graph500 Ranking of Supercomputers	Graph500ベンチマークにおいて世界第2位
	中尾昌広・村井 均・岩下英俊・下坂健則・佐藤三久	HPC Challenge Class2 Award (Finalist: Best Performance) (SC14 Supercomputing Conference)	XcalableMP（並列プログラミング言語）およびXcalableACC（演算加速器を搭載したスーパーコンピュータに対してアプリケーションを開発できるようにXcalableMPを拡張した言語）の高い生産性と性能
	熊畑 清・南 一生・丸山直也	HPCG (SC14 Supercomputing Conference)	2014年から新たに提案されたスーパーコンピュータの性能をはかるベンチマーク、HPCGにおいて、世界第2位のスコア
	計算科学研究機構	HPC Challenge Class1 Award (Global HPL, EP STREAM (Triad) per system) (SC14 Supercomputing Conference)	Global HPL（大規模な連立1次方程式を解く演算速度）、EP STREAM (Triad) per system（多重負荷時のメモリアクセス速度）で第一位。このほか、Global RandomAccess, Global FFTで第二位。
	久保充明	学会賞（日本人類遺伝学会）	Genome-wide Association study (GWAS) を始めとするゲノム医学の基盤、及びその実用化に関する研究
	広田朝光	奨励賞（日本人類遺伝学会）	ゲノムワイド関連解析を用いたアレルギー疾患関連領域の同定
	升島 努	山崎貞一賞 計測評価分野（材料科学技術振興財団）	単一細胞内微小局所質量分析法の創成と創薬・生命医科学展開
	加藤礼三	American Physical Society Fellow	For pioneering works on the physics and materials science of molecular conductors and magnets.

受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
	平井 剛	Thieme Chemistry Journal Award 2015	—
12	宮脇敦史	Arthur Kornberg Memorial Lecture Award (Asia Pacific International Molecular Biology Network)	バイオイメージングの革新的技術開発
	広田克也・大竹淑恵・山形 豊・王 盛	波紋President Choice (日本中性子科学会)	小型陽子線加速器を用いた中性子線源の開発、波紋 23(4) 278, 2013
	万代道子	ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞 (国際ソロプチミスト神戸、国際ソロプチミスト奈良—まほろば)	長年の黄斑専門疾患の診療に対して (神戸) 遺伝的な変性疾患の病態解明や治療への応用への貢献に対して (奈良—まほろば)
	望月優子	ナイスステップな研究者2014 (文部科学省 科学技術・学術政策研究所)	地球規模の気候に影響を与えた火山噴火に関する南極アイスコア科学の推進
	関口仁子	湯浅年子賞 銀賞 (お茶の水女子大学)	原子核物理学における3体核力に関する実験的研究
2015. 2	高橋政代	The Visionary Award (Glaucoma Research Foundation)	Remarkable work to advance scientific discovery, improve global health care, and treat blinding eye disease
	高橋政代	関西財界セミナー賞2015 輝く女性賞 (関西経済連合会)	世界初のiPS臨床研究を実施したことの独自性・革新性に対して
	竹市雅俊	AAAS Fellow (American Association for the Advancement of Science)	Neuroscience
	袖岡幹子	同上	For the design and synthesis of complex molecules with unique biological activities, including the selective control of proteins involved in post-translational modifications.
	Andrzej Cichocki・甘利俊一	Entropy Best Paper Award 2015: Article Award 1st Prize	Generalized Alpha-Beta Divergences and Their Application to Robust Nonnegative Matrix Factorization, Entropy 13(1) 134-170, 2011
	伊藤幸成	日本農芸化学会フェロー	農芸化学分野における継続的な活動
	吉田 稔	同上	同上
	長田裕之	同上	同上
	五月女宜裕	有機合成化学奨励賞 (有機合成化学協会)	鎖状有機触媒の創製と動的不斉触媒反応への展開
	望月敦史	日本学術振興会賞	生命の複雑制御ネットワークの構造とダイナミクスの関係に関する数理的研究
	3	鈴木真吾	研究奨励賞 (日本ゲノム微生物学会)
石川哲也・新竹 積・北村英男		光・量子エレクトロニクス業績賞 宅間宏賞 (応用物理学会)	コンパクトSASE型X線自由電子レーザー-SACLA
山本文子 他3名		論文賞 (応用物理学会超伝導分科会)	Zero resistivity above 150 K in HgBa <sub>2</sub> Ca <sub>2</sub> Cu <sub>3</sub> O <sub>8-x</sub> at High Pressure, JPSJ 82(2) 023711, 2013
高谷 光・橋爪大輔 他14名		BCSJ賞 (日本化学会)	Investigation of Organoiron Catalysis in Kumada-Tamao-Corriu-Type Cross-Coupling Reaction Assisted by Solution-Phase X-ray Absorption Spectroscopy, BCSJ 88(3) 410-418, 2015
高橋政代		The Johnson & Johnson Innovation Award (日本再生医療学会)	iPS細胞由来網膜細胞移植治療の開発
池田陽一・佐藤 透 他1名		論文賞 (日本物理学会)	Energy Dependence of KN Interactions and Resonance Pole of Strange Dibaryons, Prog. Theor. Phys. 124(3) 533-539, 2010
高峰愛子		若手奨励賞 (日本物理学会)	中性子ハロー核 <sup>11</sup> Be <sup>+</sup> の超微細構造定数
堤 康雅		同上	トポロジカル超流動体であるヘリウム3の超流動相の物性の理論研究
森本高裕		同上	トポロジカル物質の分類・光学応答に関する理論研究
田中克典		Horace S. Isbell Award (American Chemical Society Division of Carbohydrate Chemistry)	Synthesis and Molecular Imaging of N-Glycan Conjugates
滝田 良		奨励賞 (日本薬学会)	$\pi$ および $\sigma$ 共役結合に対する新反応開発と機能創出
山上あゆみ・長田裕之・松井 南 他8名		B.B.B.論文賞 (日本農芸化学会)	BPG3 is a novel chloroplast protein that involves the greening of leaves and related to brassinosteroid signaling, B.B.B. 78(3) 420-429, 2014
前川素子		学術賞 医学分野 (日本統合失調症学会)	頭皮の毛根細胞を用いた統合失調症診断補助バイオマーカーの開発
4	豊岡公德・佐藤繭子・若崎真由美	第9回科学技術の「美」パネル展 優秀賞 (科学技術団体連合)	ハーブの香元: 匂い玉、Scent of herbs: Oil glands
	Abhay Deshpande	APS Fellow (American Physical Society)	For his sustained effort and leadership in experimental programs to understand the nucleons' spin, employing polarized DIS experiments at CERN to high-energy polarized proton collisions at RHIC.

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	高橋政代・万代道子・森永千佳子・坂井徳子・山田千佳子	文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）	多能性幹細胞由来網膜色素上皮移植の臨床開発
	河野公俊	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	ヘリウム液面電子による表面量子現象の研究
	平山秀樹	同上	窒化物半導体を用いた深紫外LEDの研究
	今井 猛	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	嗅覚系をモデルとした神経回路形成の研究
	梅津信二郎	同上	高精度3Dプリンタの開発と応用の研究
	高本将男	同上	光格子時計の高精度化に関する研究
	新見康洋	同上	外因性スピンホール効果とスピン緩和機構の研究
	辻 直人	超伝導科学技術賞（未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会）	超伝導体中のヒッグスモードに関する開拓的実験および理論研究
	打田正輝	船井研究奨励賞（船井情報科学振興財団）	強相関遷移金属酸化物における低エネルギー電子構造の直接観測と機能応用
	長田裕之	The Inhoffen Medal (Helmholtz-Zentrums für Infektionsforschung e.V.) ドイツ	Chemical biology derived from antibiotic research: Integrated approach for bioactive microbial metabolites
	Per Nilsson	Her Majesty Queen Silvia's prize to young Alzheimer researcher (Alzheimer foundation in Sweden)	Alzheimer's disease. Brain aging mechanisms. Development of in vivo models. Drug design.
	杉山雄一	Award of Honorary Degrees, Doctor of Science (University of Florida)	薬理学及び薬学の世界的権威として、薬物動態・薬理遺伝学・トランスポーターに関する研究で世界をリード
	榊原 均	ASPB Top Authors (American Society of Plant Biologists)	Author of ASPB's most highly cited papers published between 2009 and 2013
	篠崎一雄	同上	同上
	神谷勇治	同上	同上
	斉藤和季	同上	同上
	峠 隆之	同上	同上
5	永田祐吾	若手奨励賞（原子衝突学会）	反水素ビームの研究
	池内桃子	若手奨励賞（日本植物学会）	植物細胞の分化可塑性およびその抑制機構
	平沢達矢	研究奨励賞（日本進化学会）	進化発生学と古生物学の統合による脊椎動物進化研究の開拓
	三好建正	地球惑星科学振興西田賞（日本地球惑星科学連合）	局所アンサンブル変換カルマンフィルタによる数値データ同化手法の高度化の研究
	岩佐義宏	本多フロンティア賞（本多記念会）	電気二重層を利用した高密度2次元電子系の創製と電界制御機能
	緑川克美	レーザー学会フェロー	高次高調波発生とアト秒科学に関する研究
6	牧島一夫	日本学士院賞	X線観測による中性子星の強磁場の研究
	香取秀俊	日本学士院賞	光格子時計の発明とその開発
	吉田 稔	日本学士院賞	微生物由来活性物質を用いる真核生物の遺伝子発現機構の解析と創薬への応用
	緑川克美	日本分光学会賞	高次高調波発生とアト秒科学に関する研究
	篠崎一雄	Corresponding Membership Award (American Society of Plant Biologists)	In recognition of outstanding contributions to the field of plant science, the life membership of ASPB is granted
	藤縄 雅	星野賞（電気設備学会）	電気設備学会の国際貢献及び電気設備の学術・技術に係る国際的に顕著な功績
	二村友史	研究奨励賞（日本がん分子標的治療学会）	がん細胞の形態変化を基にした抗がん剤創薬
	國武豊喜	京都賞 先端技術部門 材料科学（稲盛財団）	合成二分子膜の発見による分子組織化学の創出と材料科学分野への先駆的貢献
	Andreas Mooser	Förderpreis der Freunde der Universität Mainz e.V. ドイツ	Measurement of the magnetic moment of the proton
	當舎武彦	若手奨励賞および若手奨励賞優秀賞（日本蛋白質科学会）	脱窒にみられる効率的な一酸化窒素分解システムの構造基盤
	木村哲就	若手奨励賞（日本蛋白質科学会）	マイクロ流体フローを用いた一酸化窒素還元酵素の触媒反応の動的分光観察
7	打田正輝	安藤博記念学術奨励賞（安藤研究所）	強相関酸化物薄膜における電子状態の直接観測と機能開拓
	杉岡幸次	Outstanding paper published in Light: Science & Applications ranked top 10 in visits in 2014 (Nature Publishing Group)	Ultrafast lasers—reliable tools for advanced materials processing, Light: Science & Applications 3 e149, 2014



受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	スーパーコンピュータ「京」	Graph500 Ranking of Supercomputers	Graph500ベンチマークにおいて世界第一位
	木塚康彦	奨励賞（日本糖質学会）	神経系糖鎖の発現制御と認知症病態形成における役割についての研究
8	杉岡幸次	Fellow of International Academy of Photonics and and Laser Engineering	Outstanding achievement in photonics and laser engineering
	中川孝秀	日本加速器学会賞 技術貢献賞	大強度多価重イオンビーム用ECRイオン源の開発
	柳田敏雄	BEST VISUALIZATION OR SIMULATION, SIGGRAPH 2015 Computer Animation Festival	本シミュレータは収縮タンパク分子の揺らぎ運動をもとに臓器レベルの心拍動を再現できる世界で唯一のシミュレータである。心筋の自然な収縮と弛緩運動が再現できるようになった。
	岡咲洋三	奨励賞（日本植物細胞分子生物学会）	脂質メタボロミクスによる植物脂質合成機構に関する研究
	川合真紀	IUPAC 2015 DISTINGUISHED WOMAN IN CHEMISTRY OR CHEMICAL ENGINEERING (International Union of Pure and Applied Chemistry)	2011年より化学分野における基礎／応用研究への貢献、教育分野での業績、リーダーシップや組織の運営に卓越性を示す女性に贈呈
	高橋政代	大学発ベンチャー表彰 特別賞	iPS細胞を用いた網膜色素上皮細胞移植治療にかかわる技術開発を行い、当該技術を株式会社ヘリオスに技術移転したこと
9	横田達也	奨励賞（日本知能情報ファジィ学会）	Multilinear Tensor Rank Estimation via Sparse Tucker Decomposition
	相田卓三	江崎玲於奈賞（茨城県科学技術振興財団）	有機分子材料のメゾスケール構造制御と新機能発現
	豊岡公徳・佐藤繭子	平瀬賞（日本植物形態学会）	Five Cyanophora (Cyanophorales, Glaucophyta) species delineated based on morphological and molecular data, Journal of Phycology 50(6) 1058-1069, 2014
	川崎雅司	応用物理学学会フェロー	酸化物ヘテロ接合の原子レベル制御と新物性・新機能の開拓
	高橋政代	Ogawa-Yamanaka Stem Cell Prize (Gladstone Institutes)	Launched in 2015, this new prize recognizes individuals whose original translational research has advanced technologies in cellular reprogramming for regenerative medicine
	八木 清	奨励賞（分子科学会）	非調和性を考慮した第1原理分子振動状態理論の開発と応用
	上田泰己	山崎貞一賞 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野（材料科学技術振興財団）	全身透明化技術による1細胞解像度での全身解析の実現
10	松本洋一郎	東京都 功労者	技術振興功労
	有田亮太郎	久保亮五記念賞（井上科学振興財団）	非経験的定量計算による超伝導体の理論研究
	齊藤貴志	学会賞（日本認知症学会）	アルツハイマー病研究に資するモデルマウスの開発と応用
	稲葉郁代	奨励賞（日本人類遺伝学会）	骨関節疾患感受性遺伝子の同定と機能解析
	秦 威陽	藤木賞（日本レチノイド研究会）	Binding targets of acyclic retinoid in human hepatocellular carcinoma cells.
	宮脇敦史	The Thirty-Seventh Annual W. Alden Spencer Award and Lecture (The Center for Neurobiology and Behavior at Columbia University) アメリカ	For pioneering the development of novel tools and methods for imaging neuronal structure and function
11	周 郭許	中国留日同学会 華為技術賞	Nonnegative Matrix and Tensor Factorizations: An Algorithmic Perspective, IEEE Signal Processing Magazine 31(3) 54-65, 2014
	榊 佳之	瑞宝重光章	長年にわたりゲノム科学の分野において業績を挙げた功績
	高橋政代	兵庫県科学賞	iPS細胞由来網膜色素上皮移植の臨床開発
	横山茂之	持田記念学術賞（持田記念医学薬学振興財団）	転写・翻訳の構造基盤の解明、タンパク質合成の新技術開発への応用および細胞膜受容体研究への展開
	Mooser Andreas	GSI - Doktorandenpreis (GSI and Pfeiffer Vacuum) ドイツ	Measurement of the magnetic moment of the proton
	高橋政代	ドリーム賞（ソロブチミスト日本財団）	今までの業績全体
	小林紀郎・戀津 魁	The 5th Joint International Semantic Technology Conference (JIST 2015) Best In-Use Paper	Efficiently Finding Paths Between Classes to Build a SPARQL Query for Life-science Databases, JIST 2015: Semantic Technology 321-330
	計算科学研究機構 プログラム構成モデル研究チーム 他	Graph500 Ranking of Supercomputers	Graph500ベンチマークにおいて世界第一位
	熊畑 清・南 一生・丸山直也	HPCG Benchmark (SC15)	2014年から新たに始まったスーパーコンピュータの性能をはかるベンチマーク、HPCGにおいて、世界第2位のスコアを達成
	篠崎一雄	Highly Cited Researcher 2015 (Thomson Reuters)	In recognition of ranking among the top 1% of researchers for most cited documents, in their specific field

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	神谷勇治	同上	同上
	斉藤和季	同上	同上
	藤田美紀	同上	同上
	平井優美	同上	同上
	関 原明	同上	同上
	榊原 均	同上	同上
	白須 賢	同上	同上
	相田卓三	同上	同上
	堀 昌平	同上	同上
	本田賢也	同上	同上
	杉山雄一	同上	同上
	十倉好紀	同上	同上
	永長直人	同上	同上
	篠崎一雄	同上	同上
	山田陽一	学術振興賞（日本薬学会）	医薬品合成を志向した高活性・高再利用性パッチ・フロー型固定化触媒システムの開発
	高橋政代	京都府あげぼの賞	先駆的で特に顕著な活躍が認めらる女性
12	相川順一・武田陽一・松尾一郎・伊藤幸成	JB論文賞（日本生化学会）	Trimming of glucosylated N-glycans by human ER $\alpha$ 1,2-mannosidase I, JB 155(6) 375-384, 2014
	川合真紀	Gerhard Ertl Lecture 2015 (The Berlin Universities, the Fritz Haber Institute of the Max Planck Society, UniCat and BASF SE)	Electron dynamics of molecules at surfaces
	隅田有人	富士フィルム研究企画賞（有機合成化学協会）	アラインの極性転換に基づく複雑芳香環の迅速構築法の開発
	五月女宜裕	Banyu Chemist Award（万有生命科学振興国際交流財団）	鎖状有機触媒の精密機能制御に基づく動的不斉触媒反応
	古崎 昭・笠 真生	仁科記念賞（仁科記念財団）	トポロジカル絶縁体・超伝導体の分類理論
	本林 透・櫻井博儀	同上	中性子過剰核における魔法数の異常性の発見
	高橋政代	ウーマン・オブ・ザ・イヤー2016（日経ウーマン）	iPS細胞を使った世界初の移植手術を目の難病患者に実施。再生医療の実用化を大きく前進させた先駆者
	宮脇敦史	島津賞（島津科学技術振興財団）	新しい蛍光タンパク質の創造による生命メカニズムの解明研究
	池上弘樹	日本学術振興会賞	カイラル超流動ヘリウム3における時間反転対称性の破れの直接的検証
	松本 紘	Ordre National de la Legion D'Honneur Chevalier（レジオン・ドヌール勲章）フランス	日仏間の関係促進への多大なる貢献
2016. 1	原 徹	Outstanding Referee program for the Journal of the American Physics Society	APSジャーナルの査読および雑誌レベルの向上に対する貢献
	本林 透	同上	同上
	伊 忠録	The 8th Korea-Japan Chemical Biology Symposium Young Scientist Award	Biosynthesis of the mycotoxin tenuazonic acid by a fungal NRPS-PKShybrid enzyme
	五月女宜裕	Thieme Chemistry Journals Award 2016	The Design of Chiral Double Hydrogen Bonding Networks and Their Applications to Catalytic Asymmetric Carbon-Carbon and Carbon-Oxygen Bond-Forming Reactions, Synlett 2010(1) 1-22
	侯 召民	Nagoya Silver Medal（名古屋メダルセミナー組織委員会）	Rare Earth and Group 4 Metal Complexes for Novel Chemical Transformations
2	清末優子	2015 Newcomb Cleveland Prize co-winner (American Association for the Advancement of Science)	Lattice light-sheet microscopy: imaging molecules to embryos at high spatiotemporal resolution, Science, 346(6208), 1257998, 2014
	石田勝彦・三部 勉	西川賞（高エネルギー加速器科学研究奨励会）	極冷ミュオンビーム実現の為にミュオニウム標的の開発
	西井 圭	三菱化学研究企画賞（有機合成化学協会）	有機希土類金属触媒による革新的な熱可塑性エラストマーの合成とその実用化
	中村一平	手島精一記念研究賞（博士論文賞）（東京工業大学）	Spectroscopy of a single rare-earth ion in a crystal at a cryogenic temperature
3	高本将男	丸文学術賞（丸文財団）	光格子時計の実現とその高精度性実証への貢献
	相田卓三	工学系研究科長賞 特別部門（東京大学）	世界的に極めて顕著な功績（今年度より授賞）
	十倉好紀	同上	同上

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	超重元素研究グループ	感謝状（和光市）	113番元素の発見と命名権の獲得について国際機関の認定を受け、未来の科学技術の発展への期待と希望を与えた功績
	持田恵一	ImPACT セレンディビティ賞（科学技術振興機構 革新的研究開発推進室）	Euglena膜を中心とする遺伝資源の探索のためのゲノム情報基盤の整備
	平林義雄	安藤百福賞 第20回記念特別奨励賞（安藤スポーツ・食文化振興財団）	糖脂質に対する新しいGPCR受容体と老化作用
	西道隆臣	同上	次世代型アルツハイマー病モデル動物を用いた認知症発症リスクを減少させる機能性食品の開発
	中尾昌広	山下記念研究賞（情報処理学会）	XcalableACC: OpenACCを用いたアクセラレータクラスタのためのPGAS言語XcalableMPの拡張
	上村想太郎	Young Global Leaders (World Economic Forum)	—
	香取秀俊	業績賞（応用物理学会）	光格子時計の先駆的研究
	斉藤和季	日本植物生理学会賞	植物メタボロミクスの開発とゲノム機能科学研究への応用
	菊地右馬	若手奨励賞（日本物理学会）	Two-neutron correlations in $^6\text{He}$ in a Coulomb breakup reaction
	酒井志朗	同上	Evolution of Electronic Structure of Doped Mott Insulators: Reconstruction of Poles and Zeros of Green's Function, Phys. Rev. Lett. 102, 056404, 2009 ほかに2編
	村山正宣	奨励賞（日本生理学会）	トップダウン入力による樹状突起活動と知覚行動の制御
	水野 敬	医学部長賞 奨励賞（大阪市立大学 教育研究優秀者評価部会）	小児慢性疲労症候群における前頭葉の過活動に伴う非効率的な神経処理機構
	長田裕之	特別賞（日本農芸化学会）	2015年に日本人で初めてInhoffen Medalを受賞したことを記念し、第一回特別賞を授与された
4	近藤昭彦	Fellow of Institute (American Institute for Medical and Biological Engineering)	Outstanding contribution to the development of microbial cellular factories for sustainable biorefining
	佐藤蘭子・崔 松均・豊岡公德	第10回 科学技術の「美」パネル展 優秀賞（科学技術団体連合）	魔法の草、ストライガ
	森田浩介	文部科学大臣表彰 科学技術特別賞	113番元素の人工合成及びその崩壊過程の確認
	佐藤正樹・富田浩文	文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）	正二十面体分割格子を用いた全球非静力学大気モデルの開発
	清水 禎・齋藤一功・前田秀明・田中良二	同上	高温超伝導体を利用した世界初の超1GHz NMR装置の開発
	川崎雅司	文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）	酸化亜鉛ヘテロ接合における新しい分数量子ホール状態の研究
	小川直毅	文部科学大臣表彰 若手科学者賞	光制御による電荷スピン軌道結合物性の研究
	北島智也	同上	哺乳類卵母細胞における染色体分配機構の研究
	豊泉太郎	同上	神経回路の学習法則に関する理論的研究及び実証的研究
	中村龍平	同上	深海生命圏を支える生体電子移動の開拓に関する研究
	濱 孝之	同上	高精度塑性加工解析プログラムの開発とその応用に関する研究
	村山正宣	同上	触覚知覚の脳神経回路メカニズムの研究
	高橋雅人・柳澤吉紀	超伝導科学技術賞（未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会）	ビスマス系高温超伝導内層コイルを用いた1020MHz NMR装置の開発
	高橋俊二	長瀬研究振興賞（長瀬研究振興財団）	有機合成困難な反応を触媒する新奇エステル化酵素群の反応機構解析
	斉藤一功・清水 禎・高橋雅人	市村産業賞 貢献賞（新技術開発財団）	高温超伝導体を利用した世界初の超1GHz NMR装置の開発
	谷口直之	瑞宝中綬章	長年にわたり糖鎖生物学の分野において業績を挙げた功績
	谷口 克	瑞宝中綬章	長年にわたり免疫学の分野において業績を挙げた功績
	永井美之	瑞宝中綬章	ウイルス学の第一人者としての功績
5	三好建正	日本気象学会賞	アンサンブルカルマンフィルタによるデータ同化の高度化に関する研究
	富田浩文・八代 尚・三浦裕亮・三好建正・ほか	The most accessed Paper Award 2016（日本地球惑星科学連合）	The Non-hydrostatic Icosahedral Atmospheric Model: description and development, Progress in Earth and Planetary Science 2014 1:18
6	杉岡 幸次	OSA Fellow (Optical Society of America)	For outstanding contribution in the area of laser micro and nano processing including ablation, modification, additive manufacturing and 3-dimensional structuring from fundamental aspect to applications
	松永 康佑	若手奨励賞優秀賞（日本蛋白質科学会）	1分子FRETデータと分子動力学シミュレーションによるタンパク質ダイナミクス解析

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
	原田 研	論文賞（日本顕微鏡学会）	Lorentz microscopy observation of vortices in high-Tc superconductors using a 1-MV field emission transmission electron microscope, Microscopy 62, S3-S15, 2013
	スーパーコンピュータ「京」	Graph500 Ranking of Supercomputers	Graph500ベンチマークにおいて世界第一位（3期連続）
	スーパーコンピュータ「京」	HPCG Benchmark (ISC2016)	2014年から新たに始まったスーパーコンピュータの性能をはかるベンチマーク、HPCGにおいて、世界第2位のスコアを達成
	榊原 均	IPGSA Silver Medal (The International Plant Growth Substances Association)	サイトカニン生合成経路と輸送システムの解明
	森田浩介	日本学士院賞	113番超重金属の発見
7	杉岡幸次	Outstanding paper ranked top 10 citation papers in 2015 published between 2013 and 2014 in Light: Science and Applications (Nature Publishing Group)	Ultrafast lasers—reliable tools for advanced materials processing, Light: Science & Applications 3 e149, 2014
	関山 明	The VUVX Conference Award (in condensed matter physics) (VUVX International Scientific Committee)	For his pioneering work on bulk-sensitive high-resolution photoemission and photoemission dichroism studies of the electronic structures of strongly correlated systems
	三原建弘	2016 ISS R&D Conference Awards: Innovation in Earth and Space Science (American Astronautical Society)	MAXI
	全天X線監視装置MAXI	ISS Research Awards “Space Station Top Results for Discoveries”	「時間領域の天文学」の創設
	椋木大地	山下記念研究賞（情報処理学会）	NVIDIA GPUにおけるメモリ律速なBLASカーネルのスレッド数自動選択手法 [2015-HPC-150 (2015/8/4)]
	加藤雄一郎	平成27年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）及び国際事業委員会書面審査員表彰（日本学術振興会）	平成27年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）及び国際事業委員会書面審査における「有意義な審査意見を付していただいた専門委員等」として
8	山口由高	日本加速器学会技術貢献賞	重イオン蓄積リング個別入射方式の開発
	大谷栄治	Urey Award (European Association of Geochemistry)	Foundation and evolution of the planet Earth
	藤縄 雅	日本加速器学会特別功労賞	放研研HIMACを皮切りに、兵庫県立HIBMS、そして理研RIBFの建設に従事し卓越した技術で各装置の完成に貢献した。
	Nur Alia Oktaviani	27th International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems Young Investigator Award	Molecular Conformation and Dynamics of Soluble Precursor of Recombinant Receptive Domain of Spider Silk at Different pH
	植田啓介	同上	Development of Photoisometric Protein Probe with ATCUN Motif for Paramagnetic Relaxation Enhancement NMR Spectroscopy
	FANTOM5	2016 Scopus Eureka Prize for Excellence in International Scientific Collaboration (Australian Museum)	(科学技術や科学技術コミュニケーションなどの分野で優れた成果を出した個人や団体に授与)
	Melissa Little・高里 実	2016 UNSW Eureka Prize for scientific research (Australian Museum)	They have recreated human kidney tissue from stem cells, opening the door to disease modelling, drug screening, and ultimately replacement organs.
9	三和田靖彦	精密工学会技術賞	目視検査作業の機械化を目指した人の検査メカニズムのモデル化（[傷の気付きアルゴリズム] 技術開発）
	石川 裕	日本ソフトウェア科学会 2016年度功労賞	日本ソフトウェア科学会の学会活動に対して、特に貢献が顕著と認められた。
	前川素子	日本生物学的精神医学会2014年度学術賞	Utility of Scalp Hair Follicles as a Novel Source of Biomarker Genes for Psychiatric Illnesses
	岩佐義宏・下谷秀和	応用物理学会解説論文賞	融合学理イオントロンクス 応用物理 84(4) 306, 2015
	金 有洙	分子科学国際学術賞（分子科学会）	単一分子分光を用いた吸着分子の研究
	LIANG Haozhao	International Union of Pure and Applied Physics Young Scientist Prize 2016	Development of a fully self-consistent random phase approximation (RPA) based on the density-dependent relativistic Hartree-Fock (RHF) theory
	田中 陽	2016年度奨励賞（日本分析化学会）	集積型次世代バイオ分析基盤技術の創出
	眞鍋史乃	平成28年度科学研究費審査日本学術振興会表彰	科学研究費助成事業（科研費）の第一段審査において有意義な審査意見を付し校正・公平な審査に大きく貢献

受賞年月	氏名	賞名 (詳細または授与団体名)	研究業績
10	石川哲也	2017 OSA Fellow (Optical Society of America)	For pioneering work in optics for coherent x-rays and nano-focusing and for outstanding leadership in significantly advancing the technology of compact hard-x-ray free-electron lasers
11	篠崎一雄	文化功労者	植物分子生物学の発展、応用研究に尽力
	河野公俊	Fellow of APS (American Physical Society)	For groundbreaking experiments on the dynamics of strongly correlated 2-D electron systems and the observation of new collective phenomena in helium using surface electron states
	玉尾皓平	瑞宝重光章	—
	金出武雄	京都賞 先端技術部門 情報科学 (稲盛財団)	コンピュータビジョンとロボティクス分野での先駆的かつ実践的研究
	篠崎一雄	紫綬褒章	植物分子生物学研究
	William C. Earnshaw・Jan Bergmann・Nuno Martins・Oscar Molina・Jan Ruppert・舛本寛・大関淳一郎・中野めぐみ・庄野暢晃・岡崎孝映	2016年大和エイドリアン賞(大和日英基金)	Using Synthetic Human Chromosomes to understand Epigenetic Regulation of Chromosome Regulation
	スーパーコンピュータ「京」	Graph500 Ranking of Supercomputers	Graph500ベンチマークにおいて世界第一位 (4期連続)
	宇野篤也	HPC Challenge Class1 Award (Global HPL, EP STREAM(Triad) per system, Global FFT, Global Random Access) (SC16)	Global HPL, EP STREAM (Triad) per system, Global FFT, Global Random Accessの4部門すべてで第1位を獲得
	スーパーコンピュータ「京」	HPCG Benchmark (SC16)	2014年から新たに始まったスーパーコンピュータの性能をはかるベンチマーク、HPCGにおいて、世界第1位のスコアを達成
	超重元素研究グループ	ベストチーム・オブ・ザ・イヤー2016 (ベストチーム・オブ・ザ・イヤー実行委員会)	森田グループが「113番元素」を合成・発見し、新元素としての命名権を獲得したこと
	本田賢也	Highly Cited Researcher 2016 (Clarivate Analytics)	In recognition of ranking among the top 1% of researchers for most cited documents, in their specific field
	杉山雄一	同上	同上
	十倉好紀	同上	同上
	永長直人	同上	同上
	篠崎一雄	同上	同上
	斎藤和季	同上	同上
	神谷勇治	同上	同上
	榊原 均	同上	同上
	白須 賢	同上	同上
	関 原明	同上	同上
Lam-Son Phan Tran	同上	同上	
藤田美紀	同上	同上	
小嶋美紀子	同上	同上	
小林正智	同上	同上	
本田賢也	ベルツ賞 1等賞 (ベーリンガーインゲルハイム社)	腸内細菌叢と宿主免疫相互作用インターフェースの理解と臨床応用	
長谷耕二	ベルツ賞 2等賞 (ベーリンガーインゲルハイム社)	宿主-腸内細菌叢相互作用	
12	中島多朗	日本中性子科学会奨励賞	フラストレート磁性体における一軸応力効果の中性子散乱研究
	杉山 将	日本学術振興会賞	人工知能社会の実現にむけた機械学習の理論と応用
	茂呂和世	同上	新規免疫細胞の発見と機能解明
2017. 1	森田浩介 (代表)	朝日賞 (朝日新聞文化財団)	113番元素ニホニウム (Nh) の発見と命名
	Daniel Loss	King Faisal International Prize (King Faisal Foundation)	Theory of spin dynamics and spin coherence in quantum dots showing promise for practical applications in spin quantum computers.
	仁科加速器研究センター 超重元素研究グループ	彩の国学術文化功労賞	日本、アジアを通じて初めて新元素を発見し、その名称を命名したこと
	三好建正	Editor's Award, Monthly Weather Review (American Meteorological Society)	For prompt and detailed reviews of a large number of manuscripts

受賞年月	氏名	賞名（詳細または授与団体名）	研究業績
2	Eric Fossum・George Smith・寺西信一・Michael Tompsett	Queen Elizabeth Prize for Engineering (the Queen Elizabeth Prize for Engineering Foundation)	Digital Imaging Sensors
	杉山 将	日本学士院学術奨励賞	人工知能社会の実現にむけた機械学習の理論と応用の研究
	茂呂和世	同上	新規免疫細胞の発見と機能解明
	中川孝秀	高エネルギー加速器科学研究奨励会 諏訪賞	大強度ECRイオン源の研究
	袖岡幹子	有機合成科学協会賞	遷移金属触媒反応の開発と含フッ素化合物合成への展開
	伊藤幸成	同上	複合糖質の機能解明をめざす高選択的・高効率合成法の開発
	吉田 稔	高松宮妃癌研究基金 学術賞	エビジェネティクスを分子標的としたがん治療に関する化学生物学研究
	松本 紘	Honorary Officer of the Most Excellent Order of the British Empire (名誉大英勲章 OBE)	様々な分野での日英の教育・学術に関する交流への貢献
	Piero Carninci	島津賞 (島津科学技術振興財団)	転写開始点解析による埋もれた遺伝子とゲノム機能の解明
	望月優子	湯浅年子賞 金賞	南極氷床コア科学の推進と学界におけるリーダーシップの実践
	竹森那由多	手島精一記念研究賞 (博士論文賞) (東京工業大学)	Strong electron correlation effects in a quasiperiodic lattice
	3	理化学研究所 広報室	第58回科学技術映像祭 部門優秀賞 (研究開発部門) (日本科学技術振興財団、映像文化製作者連盟、つくば科学万博記念財団)
風間北斗		安藤百福賞 発明発見奨励賞 (安藤スポーツ・食文化振興財団)	モデル動物における食べ物の匂い認識を支える脳内メカニズムの研究
初田哲男		第57回東レ科学技術賞	原子核のクォーク構造に関する開拓的理論研究
新津甲大・大沼郁雄・谷垣俊明・村上恭和・進藤大輔・許 晶・水口知大・長迫 実・貝沼亮介		第67回金属組織写真賞 優秀賞 (日本金属学会)	Ni <sub>50</sub> Mn <sub>20</sub> In <sub>30</sub> ホイスラー合金における逆位相界面での偏析現象
竹谷 篤・若林泰生・大竹淑恵・若林琢巳・河野研二・中山武典・池田裕二郎		同上	中性子イメージングによる塗膜下腐食鋼の水の動きのその場観察
菅原聡子・竹林裕美子・武田紀子・神谷勇治・笠原博幸 他14名		日本植物生理学会 PCP論文賞	Distinct Characteristics of Indole-3-Acetic Acid and Phenylacetic Acid, Two Common Auxins in Plants, PCP 56(8) 1641-1654, 2015
堀越桃子		第4回ヤマト科学賞	誕生時の体重と生活習慣病に関連する遺伝因子の解明
内匠 透		2016年度 テルモ財団賞 (テルモ生命科学芸術財団)	自閉症モデルマウスを用いたセロトニンの機能解明
斉藤和季		日本薬学会賞	植物メタボロミクスの開拓と薬用資源植物ゲノミクスへの展開

※細字は連名の受賞者で、理研関係者でない人。

# 建物使用区分の概要



建物使用区分の概要  
和光

## 【和光事業所】

(2016年11月現在)

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
C01	研究本館	1964.10.14 1966.4.10 1968.6.30	22,395.79	実験室・研究室・事務室
C02	電気機械棟	1965.11.30	1,881.32	機械室
C03	本部棟	1966.9.30	2,605.97	事務室
C04	展示事務棟	1996.6.28	1,441.67	展示施設・事務室
C11	西門守衛所	2014.3.7	121.01	守衛所
C21	工学実験棟	1968.6.30	2,051.94	実験室・研究室
C22	第2事務棟	1972.5.30	519.21	事務室
C31	脳科学東研究棟	1997.8.8	8,936.94	実験室・研究室
C32	レーザー研究棟	1978.11.20 1980.7.31	4,097.72	実験室・研究室
C33	エキシマレーザー棟	1980.9.30	134.28	実験室・研究室
C34	脳科学研究プレハブ棟 I	1997.3.25	315.91	実験室・研究室
C35	脳神経回路遺伝学研究棟	2011.2.28	9,567.08	実験室・研究室
C36	正門守衛所	2010.3.31	9.59	守衛所
C41	フロンティア中央研究棟	1988.3.29	4,667.20	実験室・研究室
C42	フロンティア材料科学実験棟	1988.3.29		実験室・研究室
C43	情報基盤棟	1999.11.25	4,182.34	実験室・研究室
C44	図書館	1972.11.30	1,891.95	図書室
C51	脳科学中央研究棟	1999.4.16 2000.7.28	27,398.21	実験室・研究室
C52	脳科学研究プレハブ棟 II	1998.10.15	76.44	実験室・研究室
C53	フロンティア・ライフサイエンス実験棟	1989.1.31	1,350.01	実験室・研究室
C54	脳科学西研究棟	1991.6.11	2,445.01	実験室・研究室
C55	脳科学西研究棟付属実験施設	2005.3.18	412.97	実験室・研究室
C56	脳科学池の端研究棟	2004.2.23	5,092.00	実験室・研究室
C61	統合支援施設	2000.1.14	2,291.81	厚生施設
C62	共済クラブ喫茶室	1980.3.31	204.12	厚生施設
C63	医務棟	1979.3.30	351.42	厚生施設
C71	実用化施設	1999.3.30	975.51	実験室・研究室
C72	広沢クラブ	1994.7.22	814.84	厚生施設
C91	国際交流会館G棟	1994.3.31	1,339.45	宿舍
C92	国際交流会館A棟	1987.1.22	194.64	宿舍
C93	国際交流会館E棟	1991.3.28	2,246.26	宿舍
C94	国際交流会館C棟	1988.3.29	346.78	宿舍
C95	託児施設りけんキッズわこう	2012.3.22	469.90	託児所
E01	仁科RIBF棟	2003.3.20 2003.5.23	30,586.13	研究装置機械室・実験室・研究室
E02	仁科記念棟	1984.5.30 1986.5.31 1989.2.6	11,101.88	研究装置機械室
E03	仁科第1プレハブ	1996.3.30	97.20	事務室
E04	仁科リニアック棟	1976.10.5 1978.11.20 1976.10.5	2,908.96	研究装置機械室・実験室・研究室・機械室
E12	仁科ロッジ	1990.6.29	661.50	宿舍
E21	仁科第2プレハブ	1997.8.14	210.60	事務室
E91	国際交流会館H棟	2000.3.27	3,697.24	宿舍
E92	国際交流会館F棟	1972.4.30	757.13	宿舍
S01	生物科学研究棟	1990.12.27 1992.12.25	11,990.49	実験室・研究室
S02	ケミカルバイオロジー研究棟	2007.10.18 2014.6.30	3,096.50	実験室・研究室
S03	研究温室 東	1990.12.27	95.40	植物栽培室
S04	研究温室 西	1990.12.27	95.40	植物栽培室
S11	研究基盤技術棟	1990.12.27	2,574.35	実験室・研究室
S12	研究基盤技術付属棟	1998.3.31	255.83	実験室・研究室
S13	環境資源科学研究棟	1980.10.31	1,789.24	実験室・研究室
S14	環境資源科学研究付属棟	1994.8.31	335.04	実験室・研究室
S21	ラジオアイソトープ実験棟	1990.12.27	3,366.09	実験室・研究室
S22	中性子工学施設	2015.2.27	912.03	実験室・研究室
S23	南地区コージェネレーションシステム棟	2012.10.31	484.79	機械室
S24	サブエネルギー棟	1990.12.27	652.80	機械室
S31	生物科学研究付属棟	1999.1.14	234.19	実験室・研究室
S32	屋外型植物培養試験施設	2000.3.15	109.47	植物栽培室
S41	研究交流棟	2000.11.30	11,041.98	実験室・研究室

	建物名称	竣工年月日	床面積 (m <sup>2</sup> )	使用区分概要 (実験室等)
S42	研究交流南棟	2000.11.30	1,320.80	実験室・研究室
S43	研究交流東棟	2000.11.30	1,048.26	実験室・研究室
S51	物質科学研究棟	2002.3.27	11,383.33	実験室・研究室
S52	ナノサイエンス実験棟	2003.2.26	6,680.88	実験室・研究室
S53	創発科学実験棟	2014.11.28	994.40	実験室・研究室
S61	南門守衛所	1990.12.27	9.72	守衛室
	総計		209,570.98	

埼玉県和光市広沢2-1

理研外施設	
E22	東京大学原子核科学研究センター



※小さな建物については図中に番号を入れておりません。



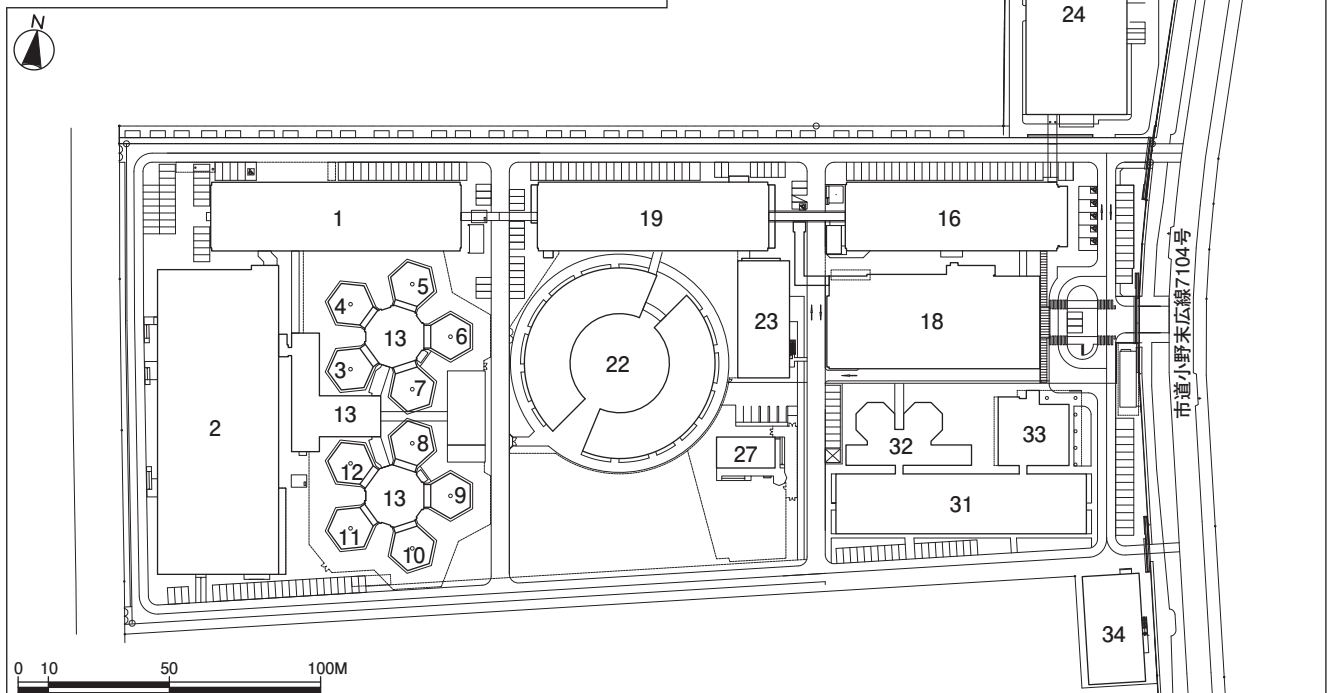
**【横浜事業所】**

(2016年11月現在)

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
1	西研究棟	2000. 8. 10	8,078.57	実験室・研究室
2	南研究棟	2000. 8. 10	5,083.57	実験室・研究室
3	西NMR棟 (梅)	2000. 4. 10	162.47	研究装置機械室
4	西NMR棟 (桜)	2000. 4. 10	162.47	研究装置機械室
5	西NMR棟 (藤)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
6	西NMR棟 (菖蒲)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
7	西NMR棟 (牡丹)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
8	西NMR棟 (芒)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
9	西NMR棟 (菊)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
10	西NMR棟 (紅葉)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
11	西NMR棟 (柳)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
12	西NMR棟 (桐)	2000. 4. 10	162.46	研究装置機械室
13	西NMR棟 (RC (松・萩他))	2000. 4. 10	2,026.85	研究装置機械室
14	低温設備棟	2000. 4. 10	299.62	機械室
15	ゴミ置場 (西研究棟東側)	2000. 8. 10	31.28	倉庫
16	東研究棟	2002. 3. 25	12,843.40	実験室・研究室
17	ゴミ置場 (東研究棟西側)	2002. 3. 25	31.28	倉庫
18	交流棟 (増築部除く)	2001.10.31	4,305.26	厚生施設・事務室
18	交流棟 (増築部)	2007. 3. 23	2,177.45	厚生施設・事務室
19	中央研究棟	2003. 2. 5	10,832.01	実験室・研究室
20	ブリッジ (西研究棟～中央研究棟)	2003. 2. 5	57.36	渡り廊下
21	ブリッジ (東研究棟～北研究棟)	2003. 2. 5	19.98	渡り廊下
22	中央NMR棟	2002.10.16	2,009.08	研究装置機械室
23	中央設備棟	2002.10.16	675.60	機械室
24	北研究棟	2003. 9. 24	13,501.40	実験室・研究室
25	ゴミ置場 (北研究棟北側)	2003. 9. 24	28.97	倉庫
26	身障者駐車場 (交流棟)	2006.12.27	48.83	駐車場
27	研究交流支援施設	2009. 3. 31	194.29	託児所
28	粗大廃棄物一時保管庫	2012.11.15	25.08	倉庫
	総 計		63,894.50	

神奈川県横浜市鶴見区末広町1-7-22

理研外施設	
31	横浜市立大学連携大学院研究棟
32	NMR棟
33	講義棟
34	供給棟



※小さな建物については図中に番号を入れておりません。

【筑波事業所】

(2017年2月現在)

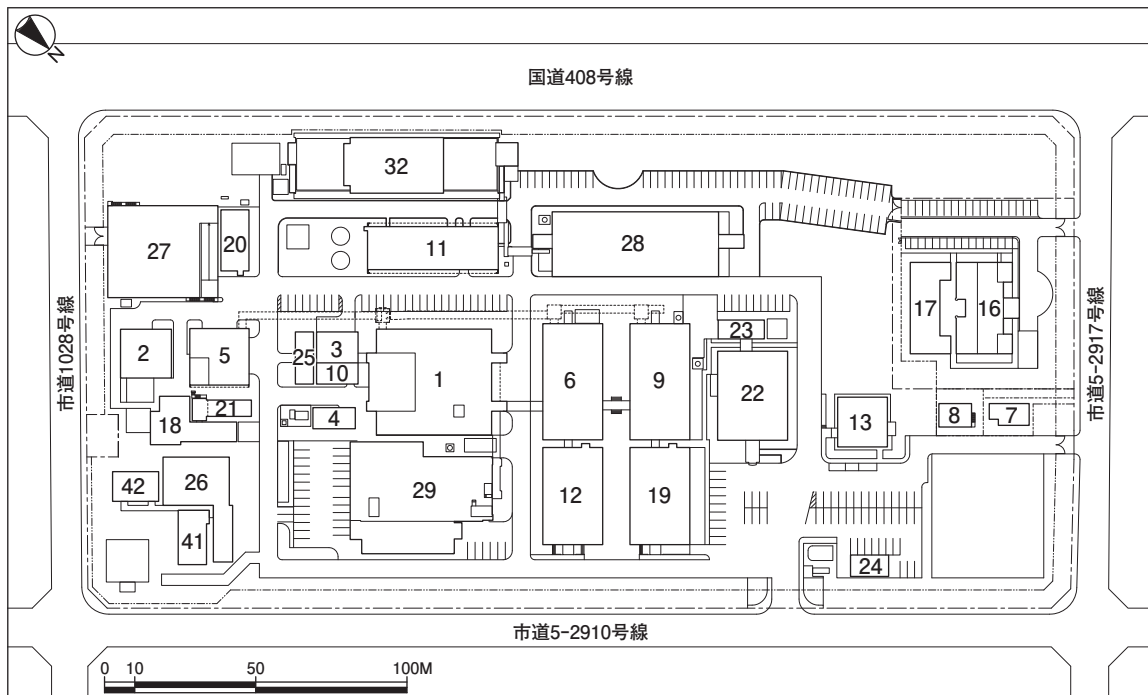
	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
1	組換えDNA実験棟	1984. 3. 30	2,516.58	実験施設
2	実験排水処理棟	1985. 5. 20	91.29	排水処理施設
3	高圧滅菌処理棟	1985. 5. 20	244.79	排水処理施設
4	蓄熱槽・ポンプ室	1985. 5. 20	94.50	機械室
5	エネルギー棟	1984. 5. 31	660.90	電気機械室
6	研究棟 (第1期)	1986. 1. 31	2,057.35	研究施設
7	職員宿舎 (世帯用)	1985.12.26	86.20	職員宿舎
8	職員宿舎 (単身者用)	1985.12.26	144.67	職員宿舎
9	情報・微生物棟1	1986.11.30	1,958.07	研究施設
10	RI 廃棄物処理倉庫	1987. 3. 20	91.46	倉庫
11	実験動物維持施設	1987.10.23	614.62	動物飼育施設
12	研究棟 (第2期)	1988.11.30	1,695.30	研究施設
13	食堂	1988. 3. 30	268.96	食堂
14	守衛所	1988. 3. 30	27.00	守衛室
15	有機溶剤倉庫	1988. 3. 31	54.67	倉庫
16	外来者宿泊施設A棟	1989. 1	1,358.43	集合住宅
17	外来者宿泊施設B棟	1989. 1	425.04	集合住宅
18	実験排水処理棟第二系統	1989. 8. 31	83.89	排水処理施設
19	情報・微生物棟2	1990. 3. 28	1,854.31	研究施設
20	アネックスマウス飼育施設	1991. 3. 25	184.51	実験施設
21	エネルギー棟附属建屋	1991. 3. 25	145.21	事務室
22	事務棟	1992. 4. 28	1,409.13	事務室
23	倉庫棟	1992. 4. 28	93.38	資材倉庫
24	車庫棟	1992. 4. 28	82.68	車庫
25	RI 処理施設上屋	1996. 3. 29	107.95	排水処理施設
26	解析研究棟 C棟	1998.11.25	991.22	研究施設
27	立体駐車場	1999. 3. 26	1,800.00	車庫
28	バイオリソース棟	2000.12.25	9,287.25	研究施設
29	ヒト疾患モデル開発研究棟 (材料供給棟)	1995. 5. 30	4,714.34	研究施設
30	会議室兼資料保管庫	2002. 3. 31	41.54	会議室
31	特高監視室	2010. 3. 31	20.79	電気室
32	細胞研究リソース棟	2011. 3. 15	6,967.61	研究施設
	総 計		40,173.64	

茨城県つくば市高野台3-1-1

	理研外施設
41	本館 (解析研究棟 A棟)
42	試験棟 (解析研究棟 B棟)

茨城県つくば市高野台3-1-2

一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所より借用



※小さな建物については図中に番号を入れておりません。

**【播磨事業所】**

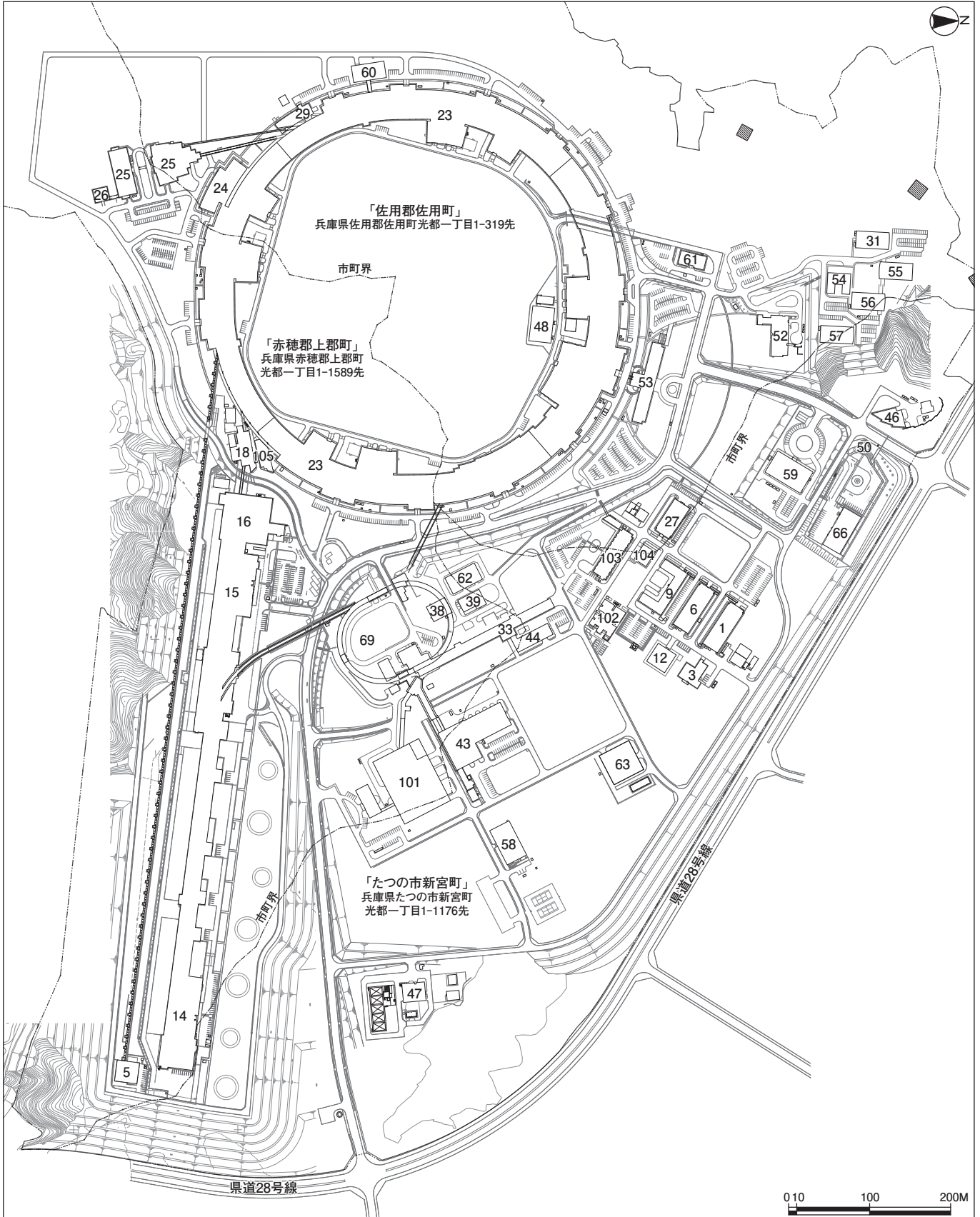
(2017年4月現在)

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
1	構造生物学研究棟	1997.6.30	4,471.21	実験室・研究室
2	構造生物学研究棟 動力棟	1997.6.30	215.66	機械室
3	生物系特殊実験施設	1999.3.30	982.37	実験室・研究室
4	生物系特殊実験施設 (EV増築)	2010.3.19	26.62	EV
5	長尺ビームライン実験施設	1999.12.27	1,102.45	実験室・研究室
6	物理科学研究棟	2000.6.30	4,450.20	実験室・研究室
7	物理科学研究棟 動力棟	2000.6.30	201.00	機械室
8	長尺ビームライン用真空機器覆い	2000.3.31	333.06	装置覆い
9	ハイスルーブット棟	2001.12.20	2,071.13	実験室・研究室
10	ハイスルーブット棟 (EV増築)	2004.7.30	26.74	EV
11	電磁波シールドボックス	2003.1.20	100.87	実験室
12	研究調整支援棟	2004.10.30	681.21	管理施設
13	EUVレーザー実験棟	2007.3.30	133.32	実験室
14	XFEL加速器棟	2009.3.31		
15	XFEL光源棟	2009.3.31	26,532.02	実験室・研究室
16	XFEL実験研究棟	2010.5.31		
17	XFEL光源棟 搬入室 (U5) (増築)	2014.3.31	98.51	搬入室
18	XFEL-Spring-8相互利用実験施設	2011.3.15	968.53	実験室・研究室
19	相互利用実験施設 (増築)	2014.3.31	94.27	実験室・研究室
20	LEPS2実験棟	2011.3.15	216.00	実験室
21	線型放射光計測室 (VUV実験室)	2005.8.31	17.18	実験室
22	大出力レーザー付属施設	2014.3.31	212.01	機械室
23	蓄積リング棟	1996.12.27	70,861.58	実験室・研究室
24	RI実験棟	1996.12.27	1,941.87	実験室・研究室
25	中尺ビームライン実験施設 (実験棟・研究棟)	1997.6.30	4,926.06	実験室・研究室
26	実験動物維持施設	1999.11.30	674.37	実験室・研究室
27	利用実験施設	2000.2.29	2,491.38	実験室・研究室
28	利用実験施設 動力棟	2000.2.29	164.16	機械室
29	蓄積リング棟付属施設W【W棟】	2000.10.30	775.99	実験室・研究室
30	共用ビームライン真空機器覆い建屋	1998.7.31	200.91	装置覆い
31	研究交流施設 A棟	1996.3.29	1,980.11	宿泊施設
32	危険物貯蔵庫	1999.3.30	120.00	倉庫
33	線型加速器棟	1995.4.25	4,047.03	実験室
34	入射パルス電源室	1995.4.25	71.72	機械室
35	冷却室	1995.4.25	337.54	機械室
36	D.Pタンク室	1995.4.25	93.01	機械室
37	SSBT電源室	1995.4.25	115.51	機械室
38	電磁石電源室	1995.4.25	500.00	機械室
39	熱源電気室	1995.4.25	516.00	機械室
40	空調機室	1995.4.25	58.00	機械室
41	出射パルス電源室	1995.4.25	152.10	機械室
42	搬入室	1995.4.25	67.82	搬入室
43	組立調整実験棟	1997.9.30	3,285.13	実験室・研究室
44	マシン実験棟	1997.9.30	720.00	実験室・研究室
45	組立調整実験棟ビームトンネル (L3・L4BT)	1998.9.30	156.84	機械室
46	給水施設棟	1994.3.31	553.65	機械室
47	排水処理施設棟	1995.9.29	652.88	機械室
48	特高第1変電所	1997.3.31	-	変電所
49	特高第1変電所 現場監視盤室	1995.4.25	183.37	機械室
50	正門守衛所	1994.12.26	94.98	管理施設
51	東門守衛所	1994.12.26	16.56	管理施設
52	食堂棟	1996.11.29	1,212.63	食堂

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
53	中央管理棟	1997. 6 .30	6,387.03	管理施設
54	研究交流施設 管理棟	1997. 9 .30	402.50	宿泊施設
55	研究交流施設 B棟	1998. 6 .30	3,054.90	宿泊施設
56	研究交流施設 C棟	1998. 6 .30	2,029.81	宿泊施設
57	研究交流施設 D棟	1998. 6 .30	1,250.49	宿泊施設
58	研究交流施設附属施設	1999. 3 .31	1,481.15	体育館
59	放射光普及棟	2000. 3 .31	1,529.67	管理施設
60	基盤機器保管棟	2000. 3 .31	1,015.57	倉庫
61	ユーティリティ管理棟	1996. 1 .31	517.03	管理施設
62	特高第2変電所	1995. 1 .31	—	変電所
63	特高第3変電所	1997.10. 8	—	変電所
64	特高第3変電所 現場監視盤室	1997. 6 .23	198.12	機械室
65	産業廃棄物保管棟	2013. 2 .28	169.36	倉庫
66	北管理棟	2014. 3 .31	1,629.86	管理施設・倉庫
67	真空排水施設	2015. 3 .31	81.25	機械室
68	倉庫・駐輪場等 計136棟	—	1,867.64	倉庫・駐輪場
69	シンクロトロン棟 (トンネルのみ)	1995. 4 .25	2,288.01	トンネル
70	SSBT (トンネルのみ)	1995. 4 .25	740.76	トンネル
71	77KV開閉所 (特高開閉所)	1995. 1 .31	—	変電所
72	L3・L4BT (トンネルのみ)	1998. 9 .30	766.42	トンネル
73	SCSS試験加速器 (屋外部のみ)	2005. 8 .31	177.23	トンネル
74	XFELビーム輸送トンネル【XSBT】	2010. 3 .31	703.68	トンネル
75	タイミングケーブル通路 (相互利用)	2011. 3 .15	106.47	装置覆い
	総 計		166,302.49	

兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

	理研外施設
101	兵庫県立大学 ニュースバル放射光施設
102	兵庫県放射光ナノテク研究所
103	放射光物性研究棟
104	同付属建家 (萌光館)
105	豊田ビームライン実験棟



※小さな建物については図中に番号を入れておりません。

**【神戸事業所】神戸第1**

(2017年3月現在)

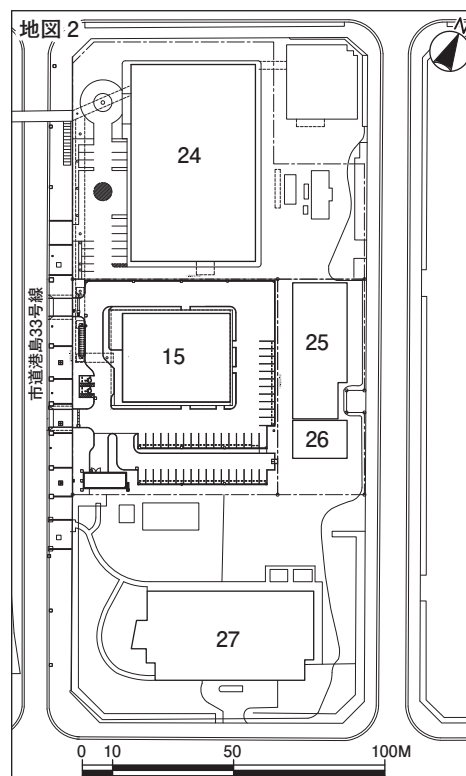
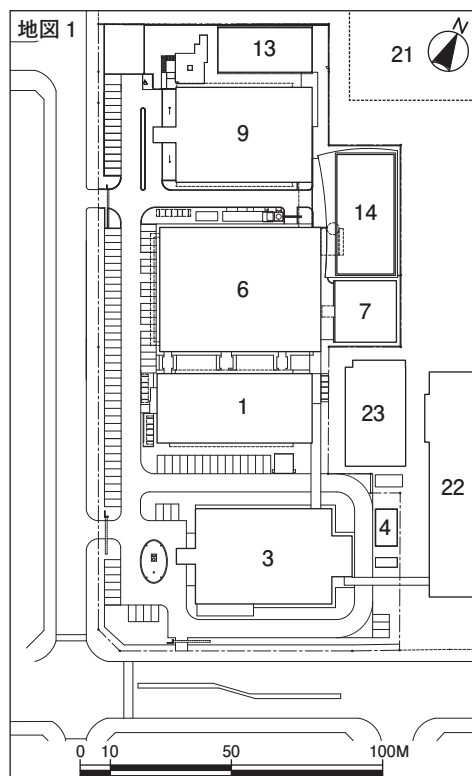
	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
	地図1			
1	CDB研究棟B棟	2001.3.5	2,358.83	実験室・研究室
2	廃棄物倉庫	2001.3.5	30.00	倉庫
3	CDB研究棟A棟	2002.3.22	10,164.01	実験室・研究室
4	危険物倉庫	2002.3.22	84.00	倉庫
5	産業廃棄物倉庫	2002.3.22	21.00	倉庫
6	動物飼育実験棟	2002.3.22	4,435.02	実験室・研究室
7	エネルギー棟	2002.3.22	893.28	機械室
8	排水処理棟	2002.3.22	39.00	機械室
9	CDB研究棟C棟	2002.12.6	8,434.42	実験室・研究室
10	CDB研究棟C棟廃棄物倉庫	2002.12.6	20.99	倉庫
11	駐輪場1	2002.12.6	26.92	駐輪場
12	駐輪場2	2007.8.22	21.24	駐輪場
13	水棲動物飼育実験棟	2010.3.31	507.16	実験室・研究室
14	CDB研究棟D棟	2011.2.28	4,549.86	実験室・研究室
	地図2			
15	融合連携イノベーション推進棟	2015.3.31	8,553.50	実験室・研究室
	総計		40,139.23	

兵庫県神戸市中央区港島南町2-2-3 (地図1)

兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-1 (地図2)

理研外施設		理研外施設	
	地図1		地図2
21	新中央市民病院	24	神戸MI R&Dセンター ※
22	先端医療センター (神戸市)	25	神戸ハイブリッドビジネスセンター
23	供給施設棟 (神戸市)	26	ポーアイキッズこうべ
		27	日本ペーリンガーインゲルハイム神戸医薬研究所

※理研ライフサイエンス技術基盤研究センターが入居



※小さな建物については図中に番号を入れておりません。

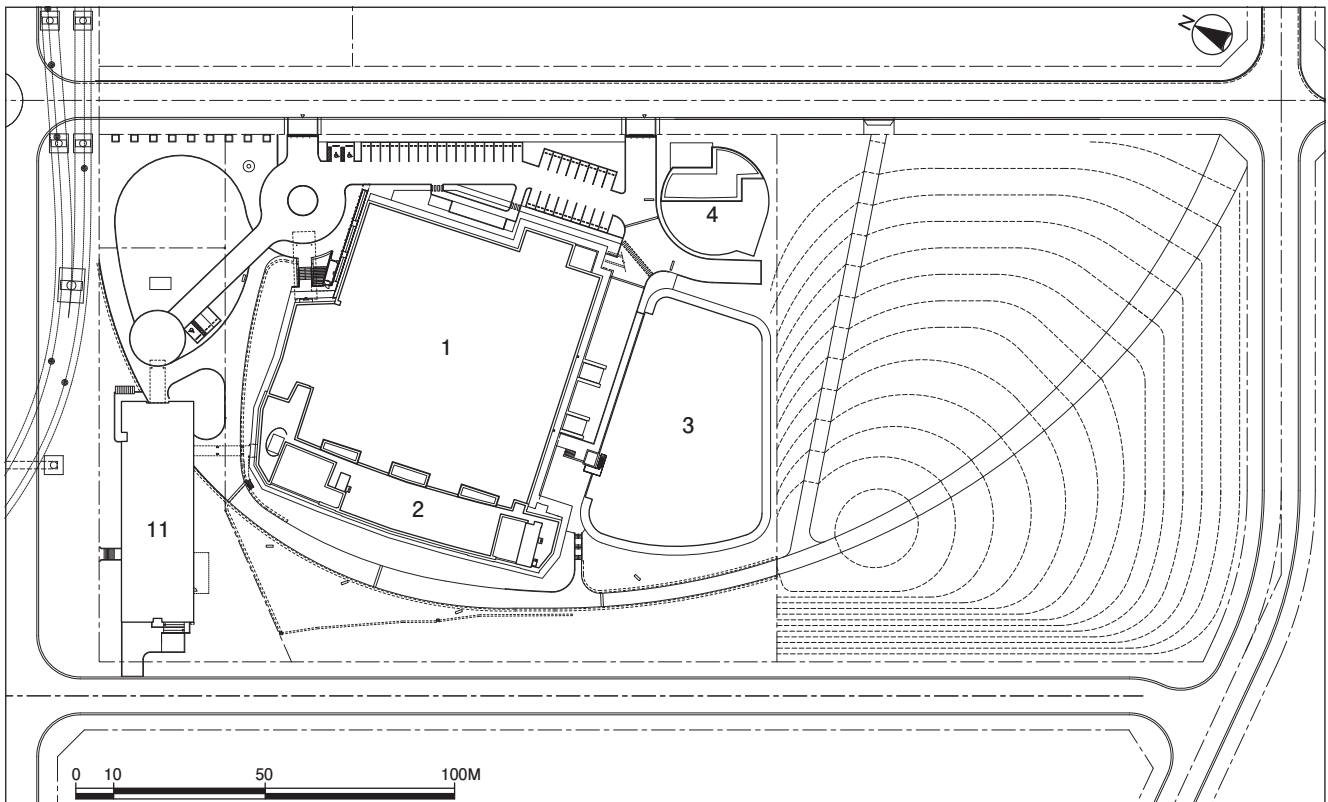
**【神戸事業所】 神戸第2**

(2017年3月現在)

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
1	計算機棟	2010. 5 .31	10,561.39	実験室・研究室
2	研究棟	2010. 5 .31	9,696.27	実験室・研究室
3	熱源機械棟	2010. 5 .31	2,079.01	機械室
4	特高施設	2010. 5 .31	274.50	機械室
5	渡り廊下	2011. 3 .31	17.83	実験室・研究室
6	駐輪場	2010. 5 .31	39.47	駐輪場
7	防災倉庫	2012. 4 .27	14.40	倉庫
	総 計		22,682.87	

兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-26

理研外施設	
11	計算科学センタービル



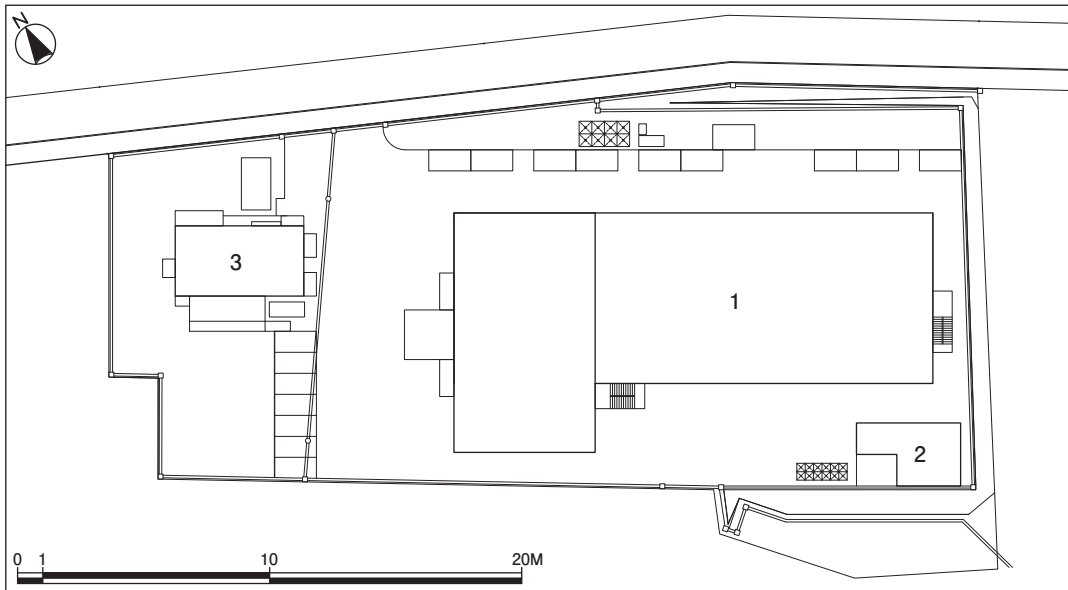
※小さな建物については図中に番号を入れておりません。

**【仙台地区】**

(2017年6月現在)

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
1	テラヘルツ光研究棟	1993. 3 .15	3,081.76	実験室・研究室
2	排水処理棟	1993. 3 .15	76.38	機械室
3	工学実験棟	2000. 1 .13	232.82	実験室
	総 計		3,390.96	

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉519-1399



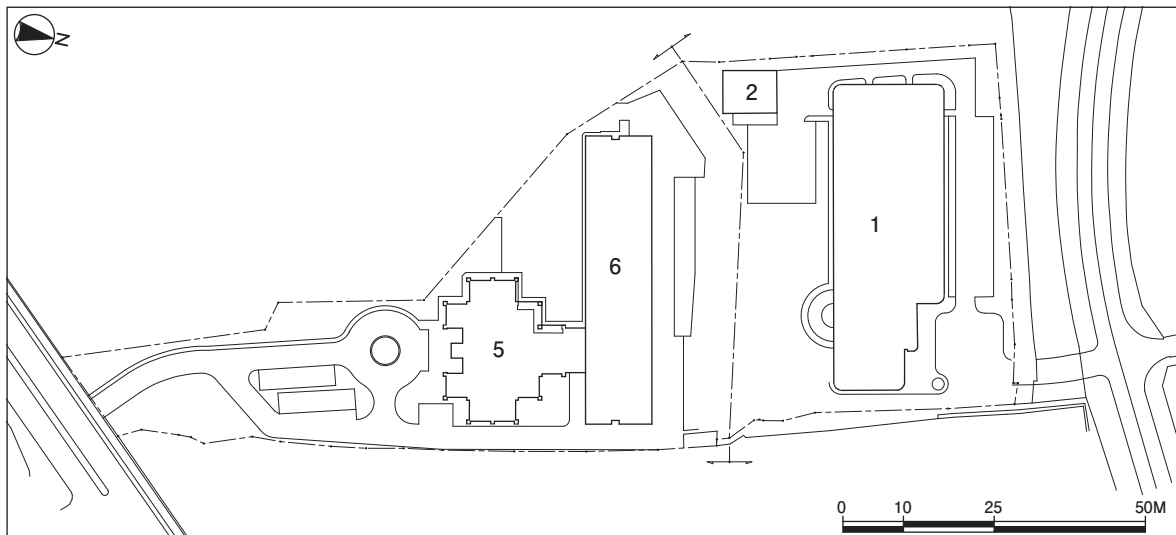


**【大阪地区】**

(2016年8月現在)

	建物名称	竣工年月日	床面積 (㎡)	使用区分概要 (実験室等)
	生命システム研究棟A棟			
1	研究本館棟	1988. 8. 1	6,885.41	実験室・研究室
2	電子顕微鏡棟	1988. 8. 1	282.94	実験室・研究室
3	ごみ庫	1988. 8. 1	36.75	倉庫
4	屋外倉庫	1988. 8. 1	14.44	倉庫
	生命システム研究棟B棟			
5	管理・研究棟	1987.10.23	6,481.51	実験室・研究室
6	実験室棟	1987.10.23	17.82	実験排水処理機械室
8	物置	1987.10.23	16.90	倉庫
	総 計		13,735.77	

大阪府吹田市古江台6-2-3



**【理化学研究所が借用している建物】**

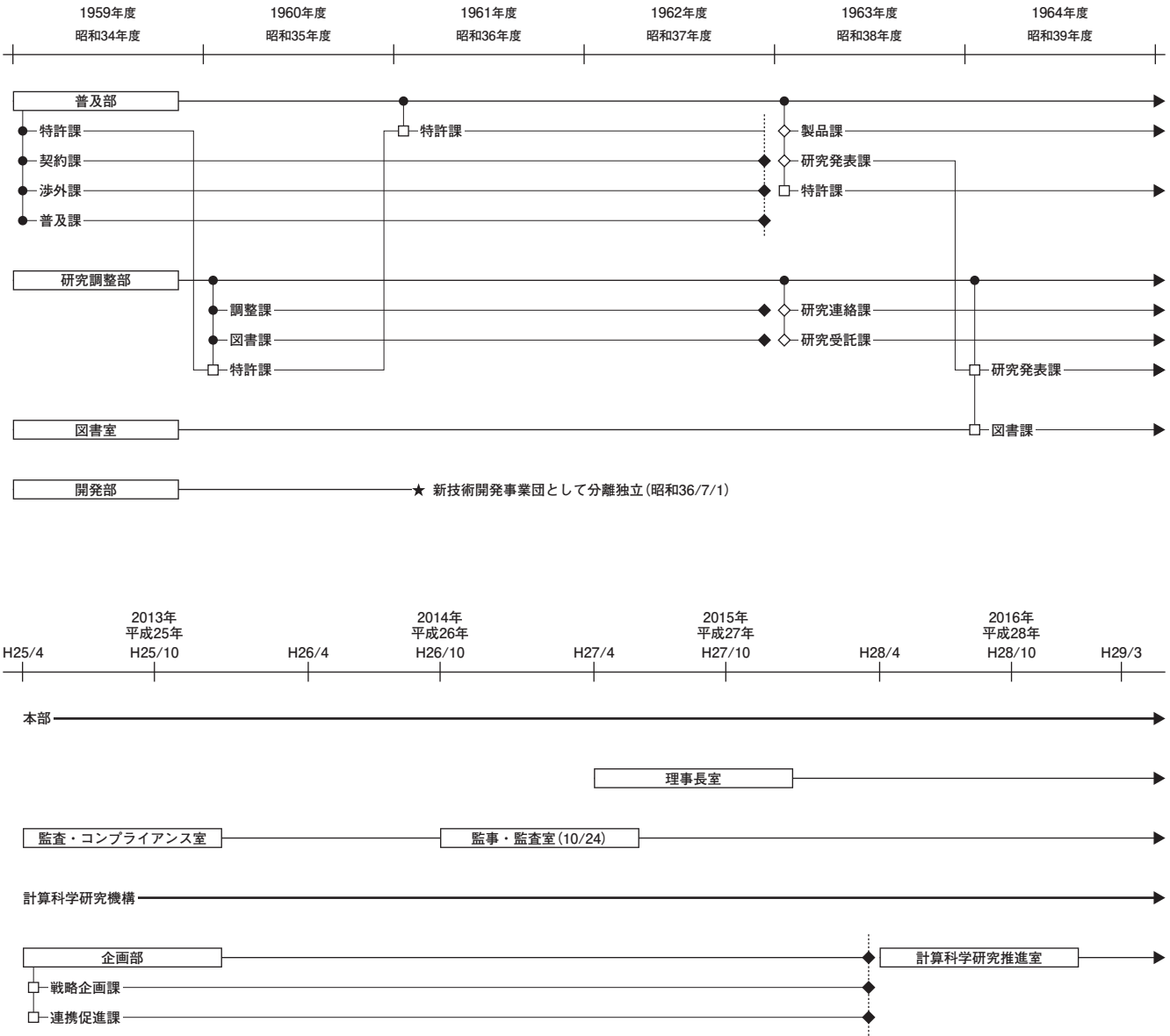
建物名称	所在地	床面積 (㎡)	借用先	使用部門
鶴岡メタボロームキャンパス	山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2	228	鶴岡市先端研究産業支援センター	環境資源科学研究センター
日本建設機械施工協会施工技術総合研究所	茨城県つくば市高野台3-1-2	456	一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所	バイオリソースセンター
日立製作所基礎研究センタ鳩山サイト	埼玉県比企郡鳩山町赤沼2520	313	株式会社日立製作所基礎研究センタ	創発物性科学研究センター
日本橋一丁目三井ビルディング	東京都中央区日本橋1-4-1	1301	三井不動産株式会社	研究支援部総務課・革新知能統合研究センター
		1293		革新知能統合研究センター
		324		医科学イノベーションハブ
虎ノ門ツインビルディング	東京都港区虎ノ門2-10-1	315	三井不動産株式会社	計算科学研究機構
ものづくり研究開発連携センター第二ビル	東京都板橋区舟渡3-22-4	238	板橋区	基幹研究推進室
横浜バイオ産業センター	神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6	1577	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団	環境資源科学研究センター・産業連携本部・生命システム研究センター
なごやサイエンスパーク研究開発センター	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞22-271-130	1629	名古屋市	脳科学総合研究センター
大阪大学生命システム棟	大阪府吹田市山田丘1-3	1940	国立大学法人大阪大学	生命システム研究センター
国際高等研究所	京都府木津川市木津川台9-3	476	公益財団法人国際高等研究所	革新知能統合研究センター 科学技術ハブ推進室
けいはんなプラザ	京都府相楽郡精華町光台1-7	554	株式会社けいはんな	バイオリソースセンター
国際電気通信基礎技術研究所	京都府相楽郡精華町光台2-2-2	238	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	革新知能統合研究センター
神戸バイオメディカル創造センター	兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5	204	神戸都市振興サービス株式会社	多細胞システム形成研究センター
先端医療センター研究棟	兵庫県神戸市中央区港島南町2-2	896	財団法人先端医療振興財団	多細胞システム形成研究センター
MI R&Dセンター	兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-3	6921	神戸都市振興サービス株式会社	ライフサイエンス技術基盤研究センター
		40	神戸M・Iラボ株式会社	
神戸ハイブリッドビジネスセンター	兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-6	465	財団法人先端医療振興財団	神戸地区
オプトピア	兵庫県赤穂郡上郡町光都2-23-1	400	兵庫県	放射光科学総合研究センター

このほか共同研究のため、複数の大学内に計456㎡を利用。

# 組織の推移（凡例）



組織の推移は『理研精神八十八年』の組織の推移の資料と、平成15年独立行政法人化以後の資料を組み合わせ描いてあります。平成15年までは年度途中の組織変更もその年度内にまとめて記載しています。独立行政法人化以後は時間を追って記載しています。また、研究支援部門については、その一部が「研究室の推移」にも記載されている場合があります。同様に、研究推進部も「研究室の推移」の各研究センターの最下部に記載されている場合があります。事務と研究系を含む組織の詳細は「研究室の推移」にあります。

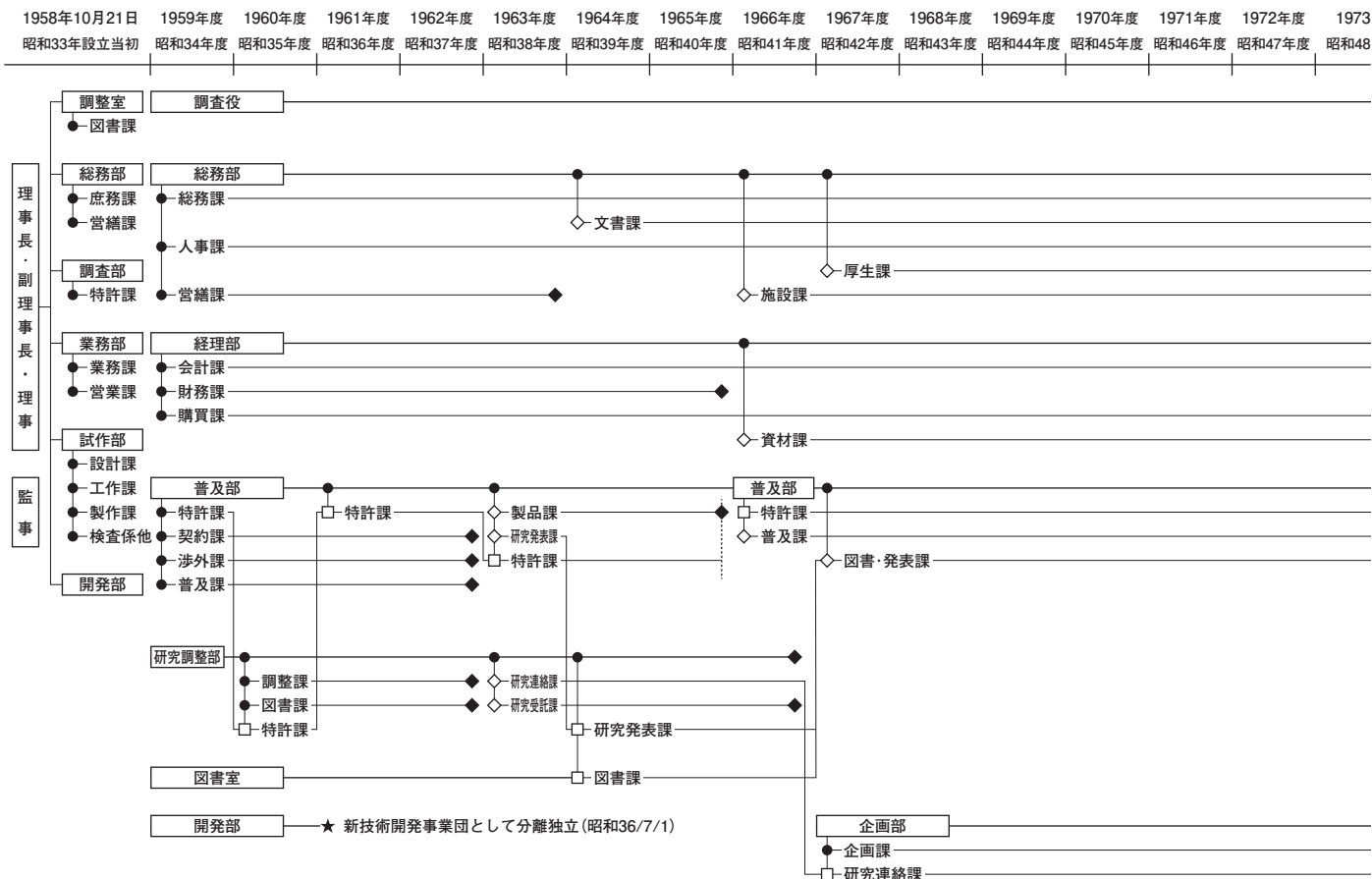


- 縦の実線と横線の交差点に●、◇、□等の記号がない場合、互いに関係ありません。
- 部相当の部署は枠で囲み、課相当の部署は枠なしで示しています。部以上の組織は「本部」、「計算科学研究機構」のように枠なし、太線で示しています。また、係以下は示していません。
- 部相当の組織は組織名の枠で始まり、◆で終わります。課相当の組織は部から下がる線から●または□で分岐して始まり、◆で終わります。発足時期が異なる場合は、◇で始まります。
- 既存の課で他の部に移った場合は、「普及部特許課」のように、移動先まで線をつなぎ、その先では□を使い、既存組織であることを示しています。また、全く違う組織やページ外に移った場合は、「開発部」のように★で終了させ、行き先を示しています。また、既存組織が関連した組織に変わった場合は実線ではなく、破線をつなぎ、行き先では新規として、●か◇で表示しています。
- 平成15年10月以降は、枠の左端が発足日になるよう時間軸に沿って配置していますが、月初めでない場合、「監事・監査室」のように、組織名のあとにかっこ書きで日付を入れています。
- 大きな組織変更があった場合は、昭和37年度末の「普及部」のように組織を縦の破線で終了させ、既存組織を含め新たに書き直しています。「計算科学研究機構」の場合も、平成28年4月に各部が「計算科学研究推進部」にまとめられています。

# 組織の推移 (1)



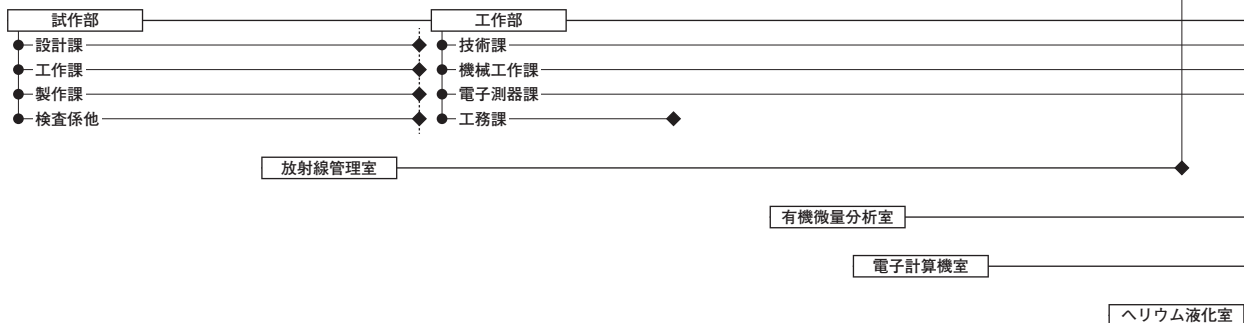
組織の推移 (1)



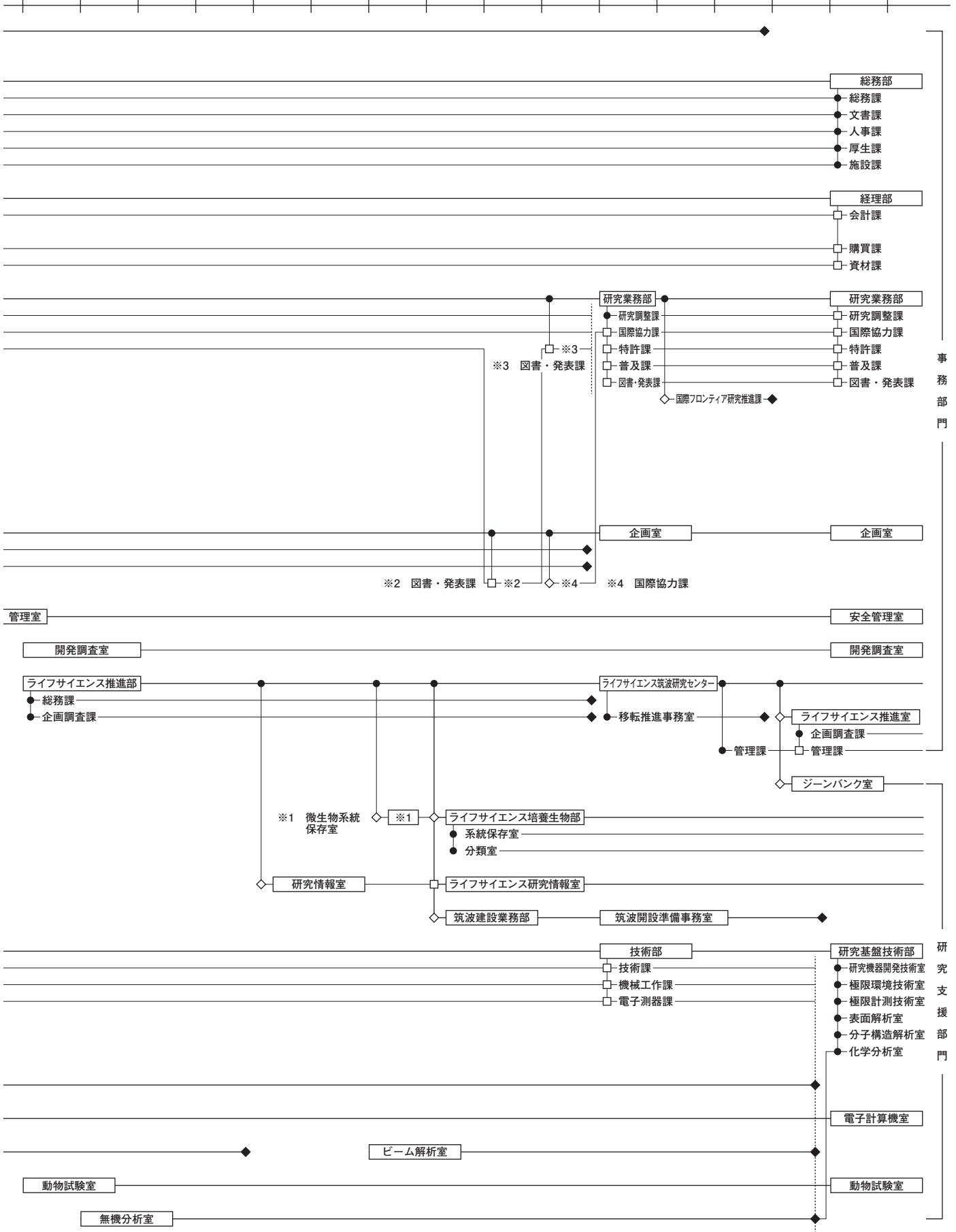
## ●138~151ページの全体配置

### 組織の推移

		年次	
組織	1	2-1	3-1
			4
	2-2	3-2	
		3-3	



年度 1974年度 1975年度 1976年度 1977年度 1978年度 1979年度 1980年度 1981年度 1982年度 1983年度 1984年度 1985年度 1986年度 1987年度 1988年度  
 年度 昭和49年度 昭和50年度 昭和51年度 昭和52年度 昭和53年度 昭和54年度 昭和55年度 昭和56年度 昭和57年度 昭和58年度 昭和59年度 昭和60年度 昭和61年度 昭和62年度 昭和63年度

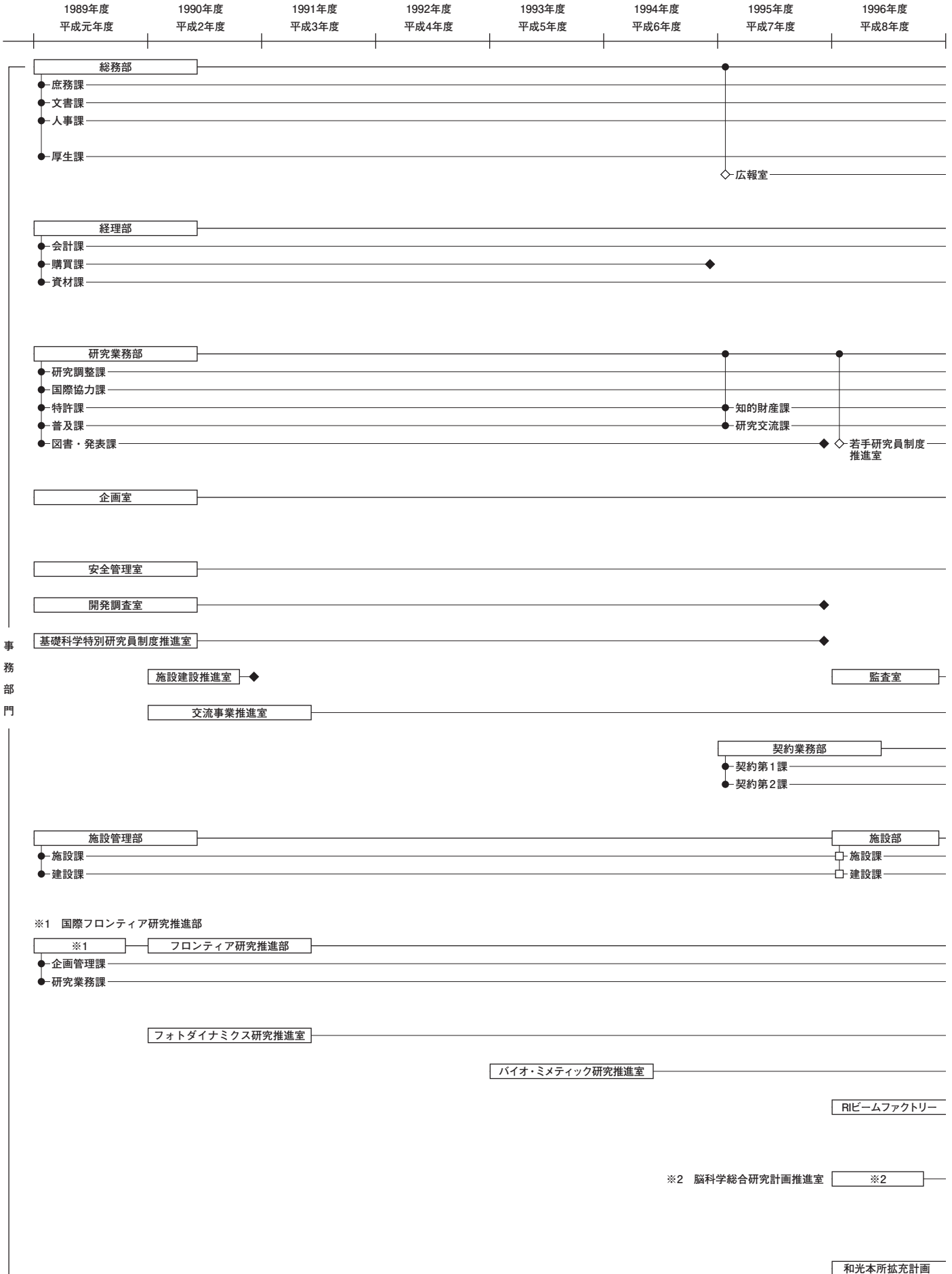


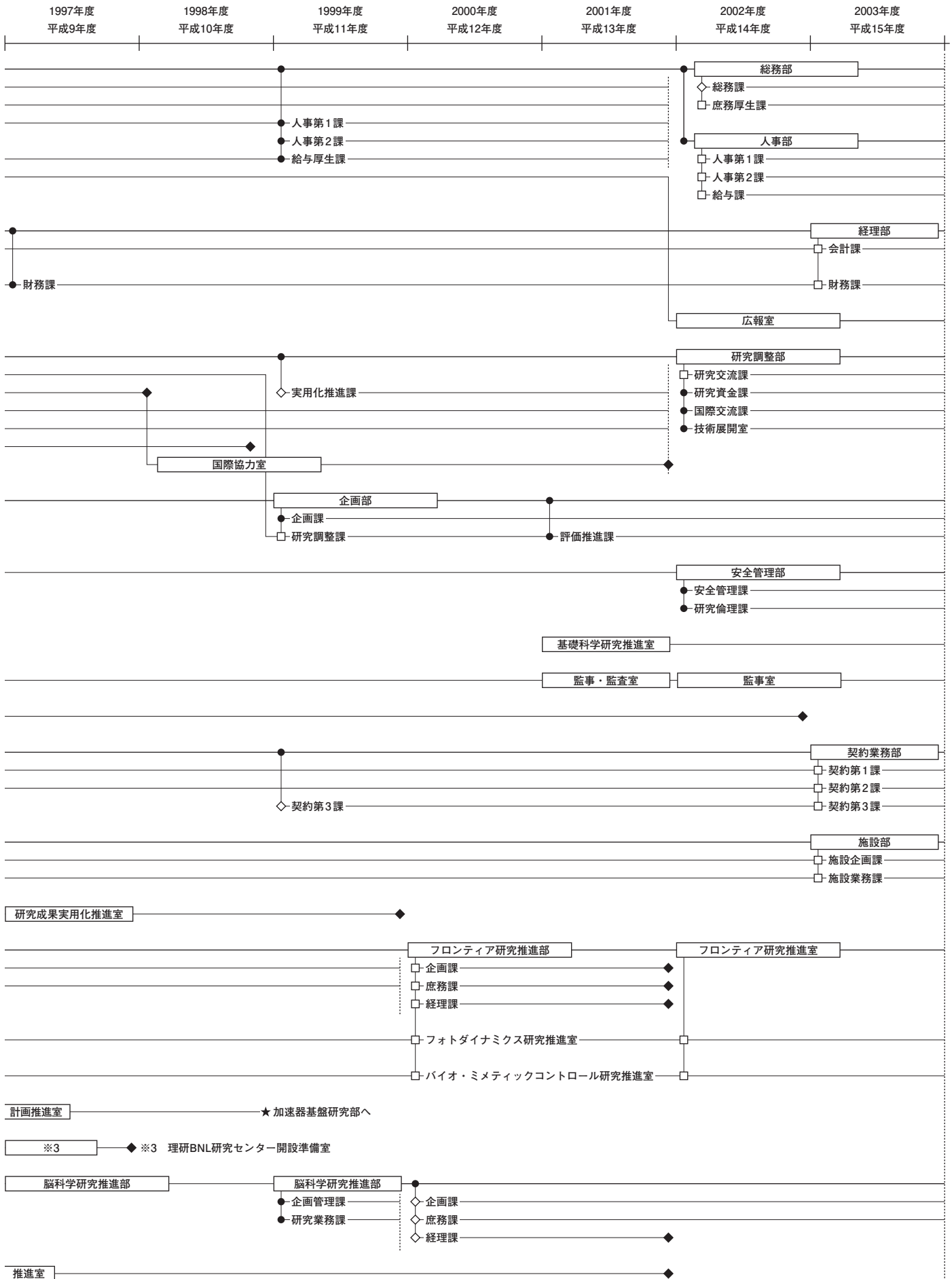
研究支援部門

# 組織の推移 (2-1)



組織の推移 (2-1)

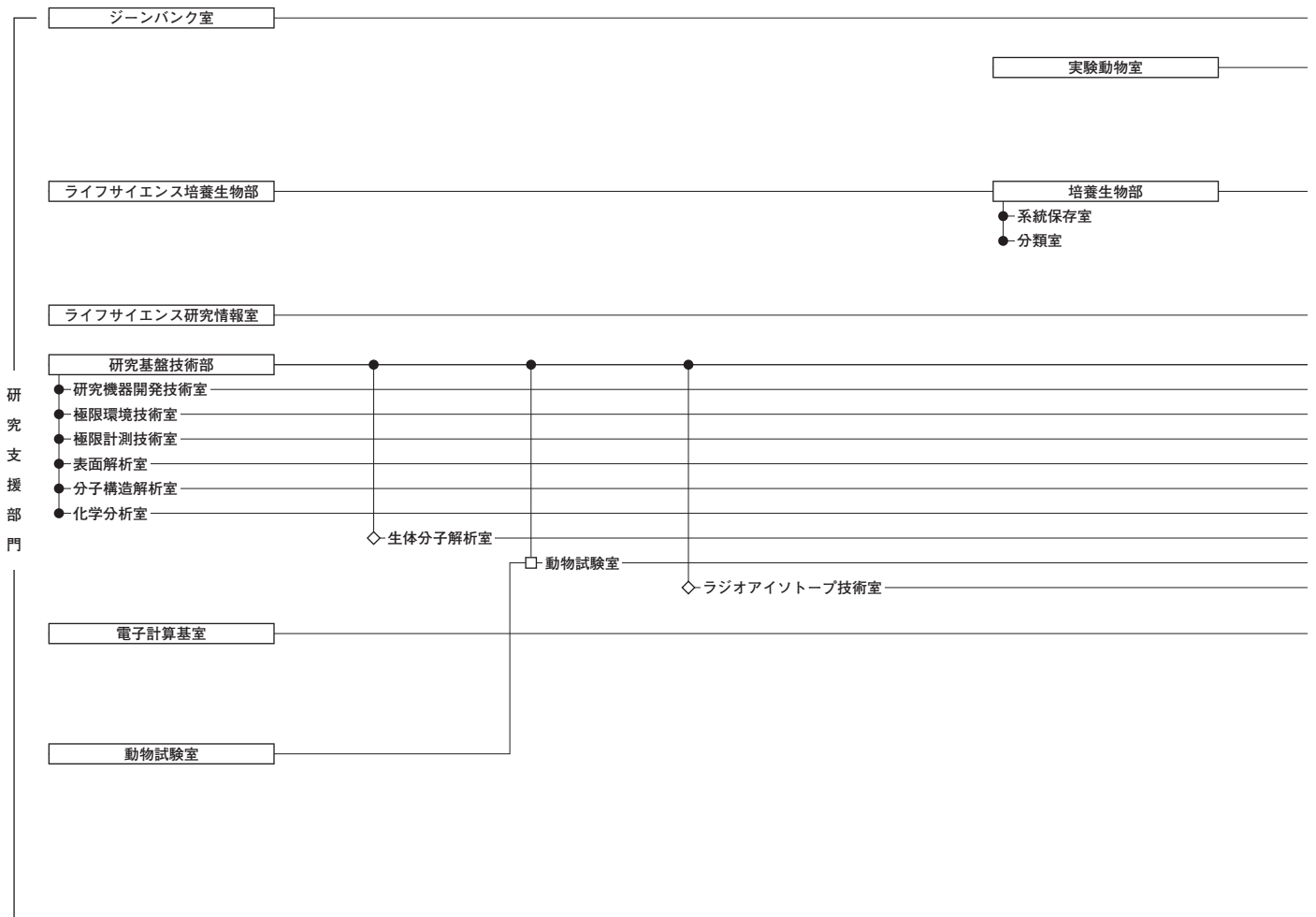
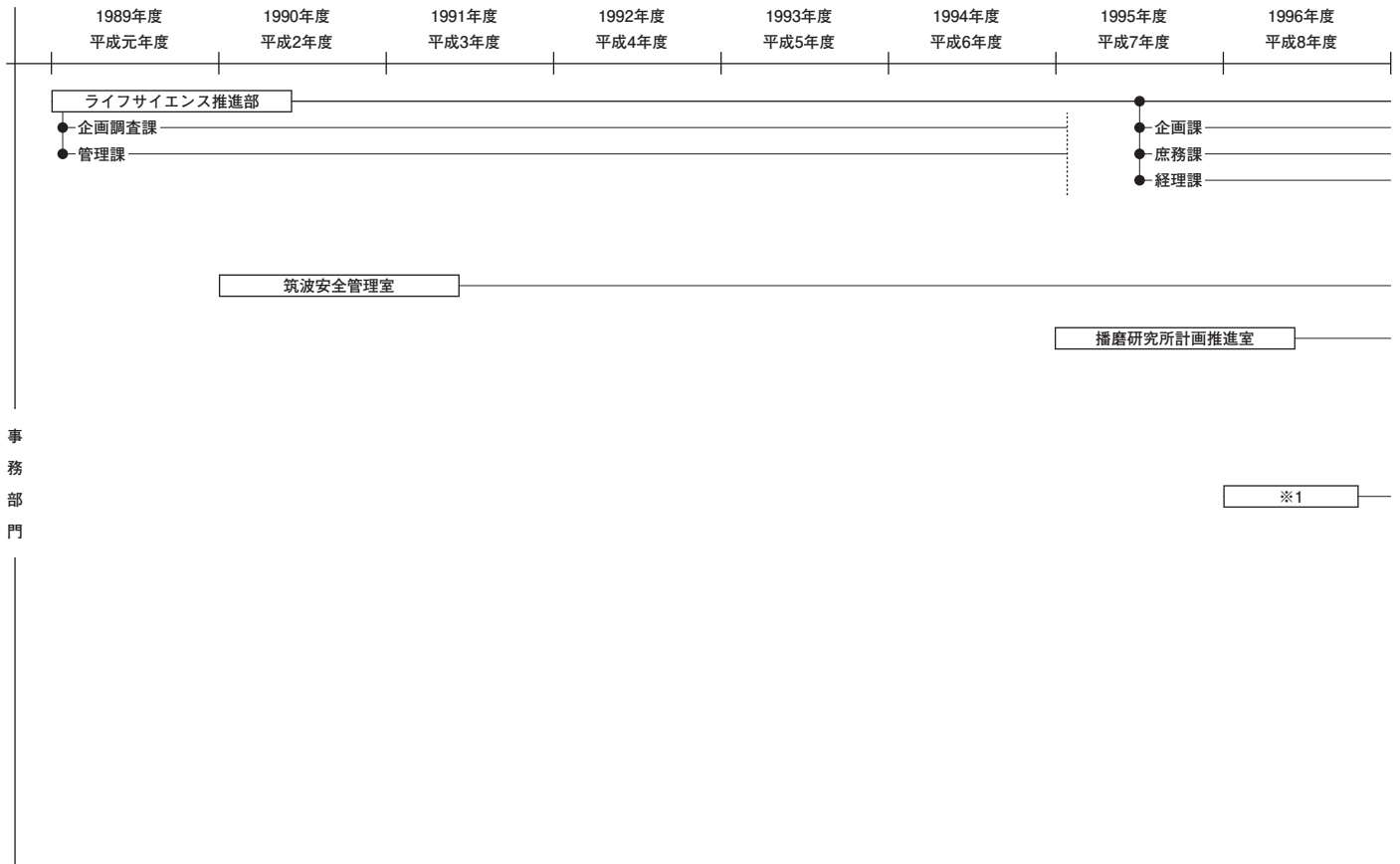




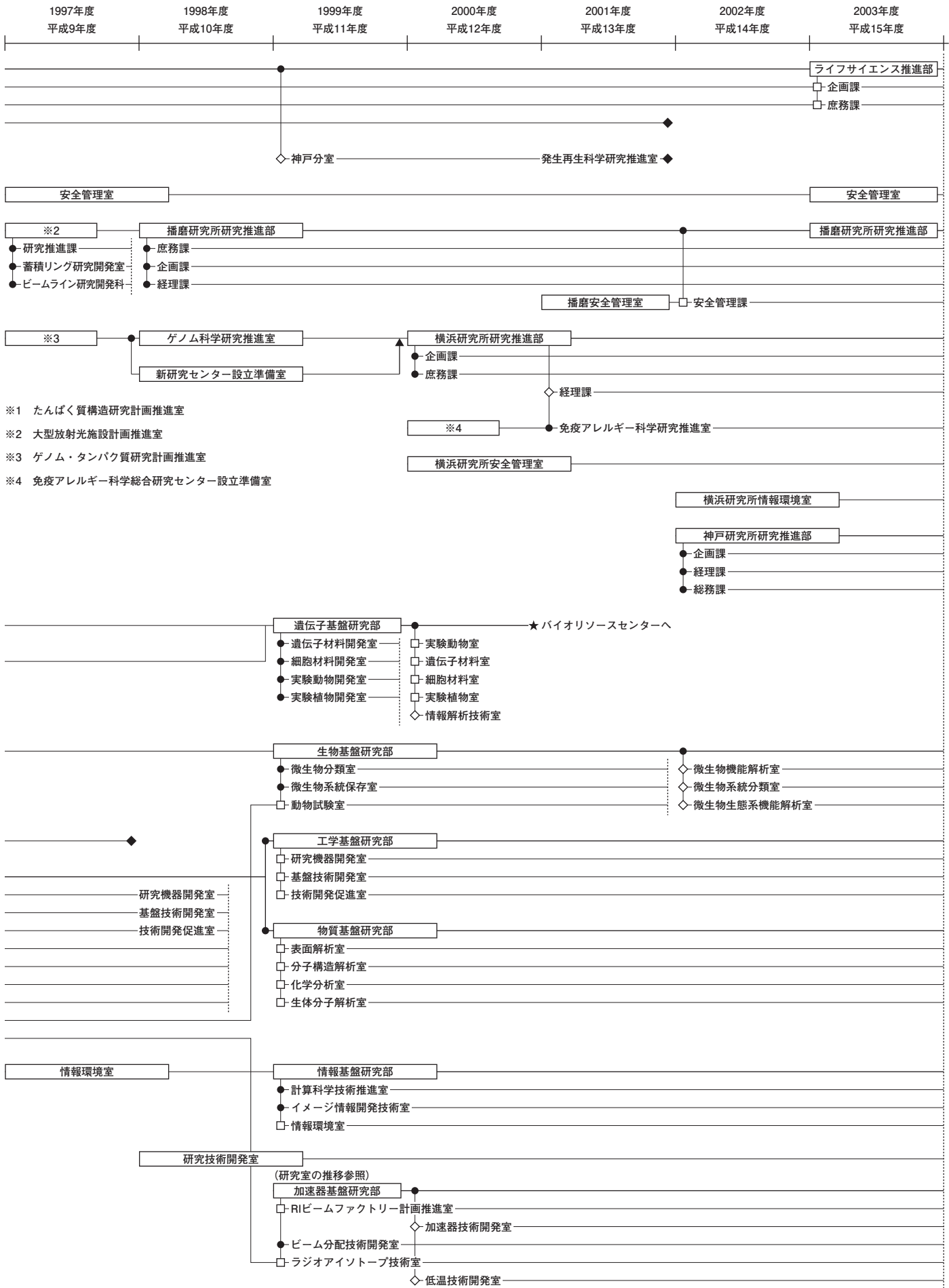
# 組織の推移 (2-2)



組織の推移  
(2・2)



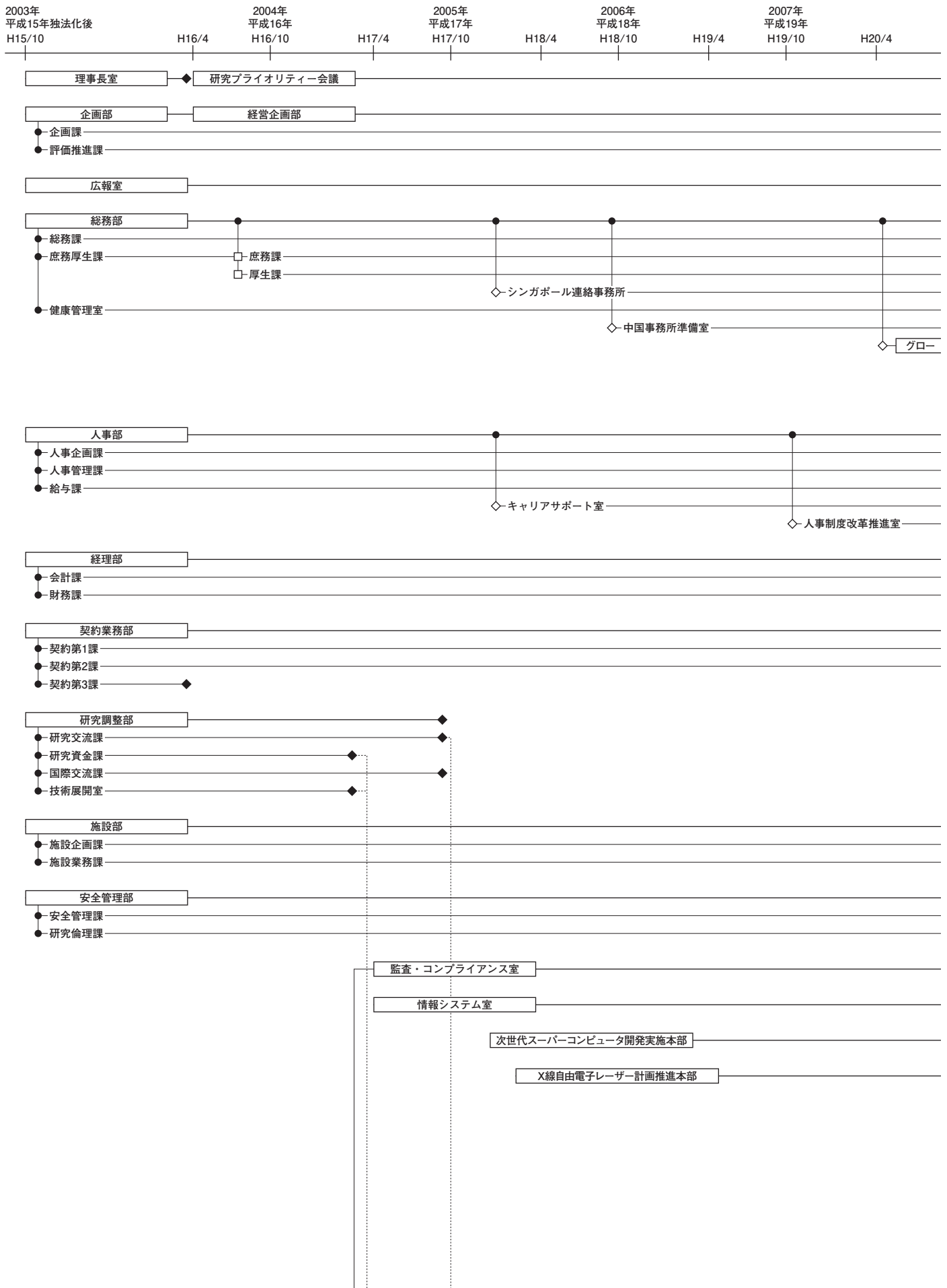




# 組織の推移 (3-1)



組織の推移  
(3-1)





# 組織の推移 (3-2)



組織の推移  
(3-2)

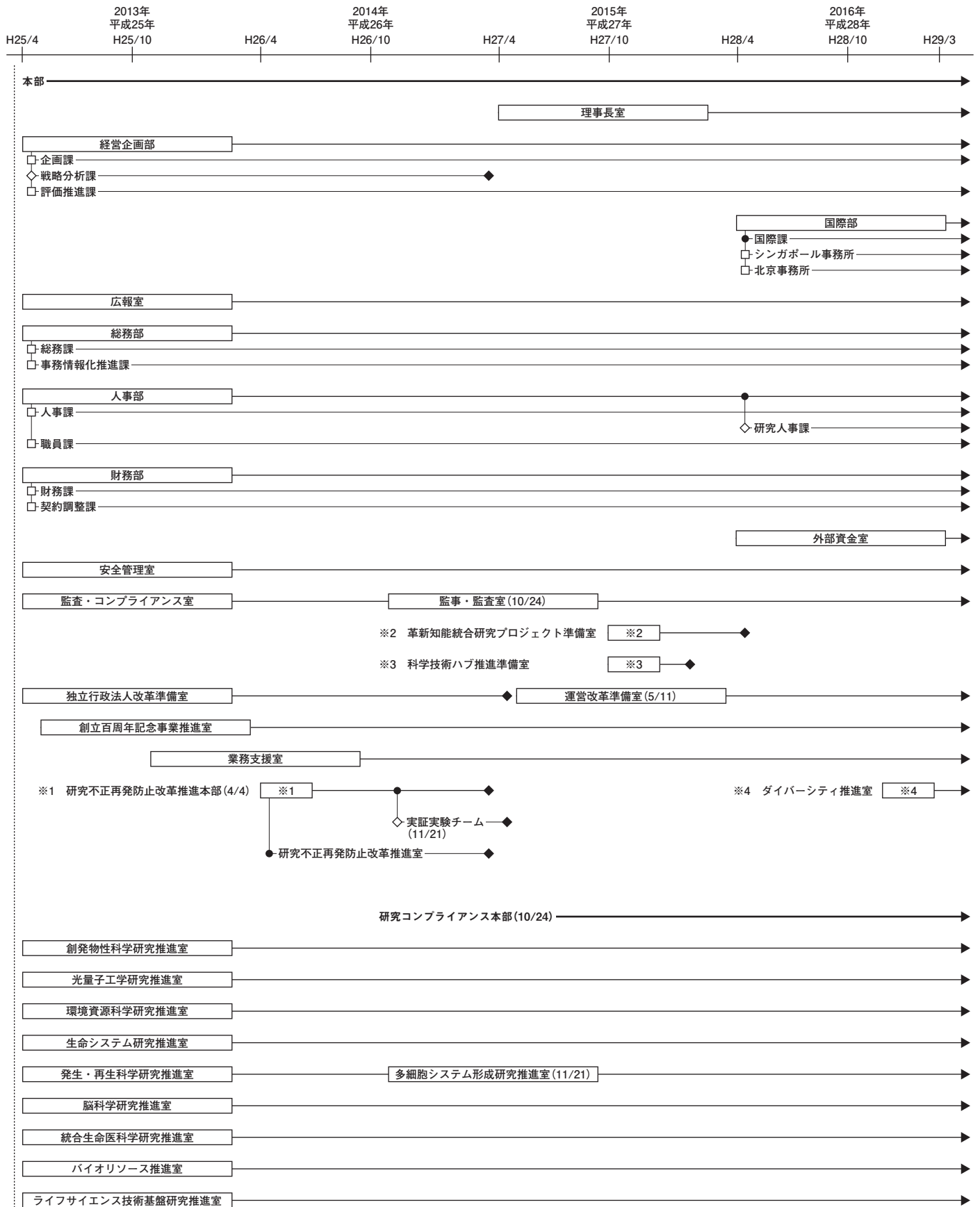


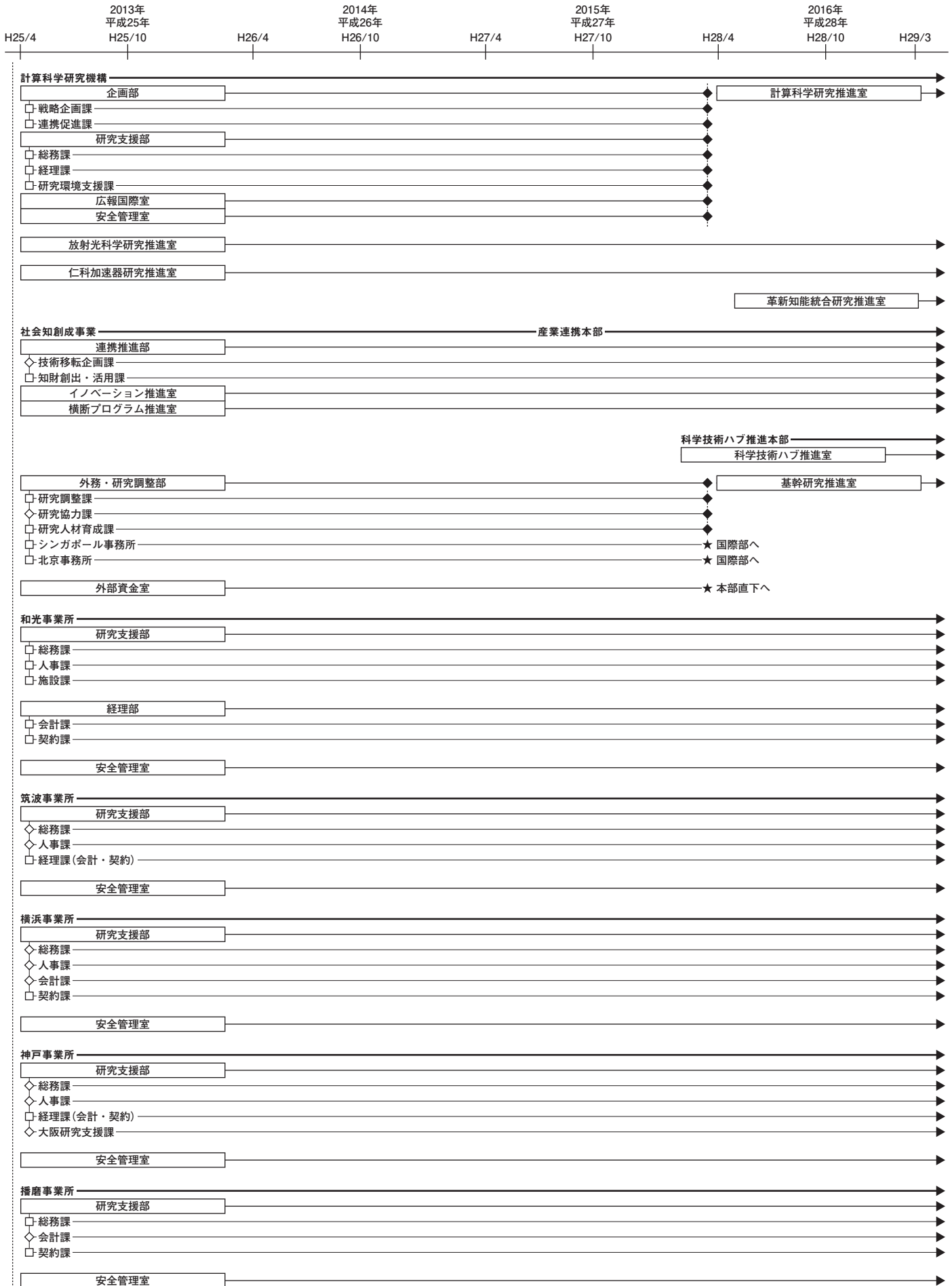


# 組織の推移 (3-3)



組織の推移  
(3-3)





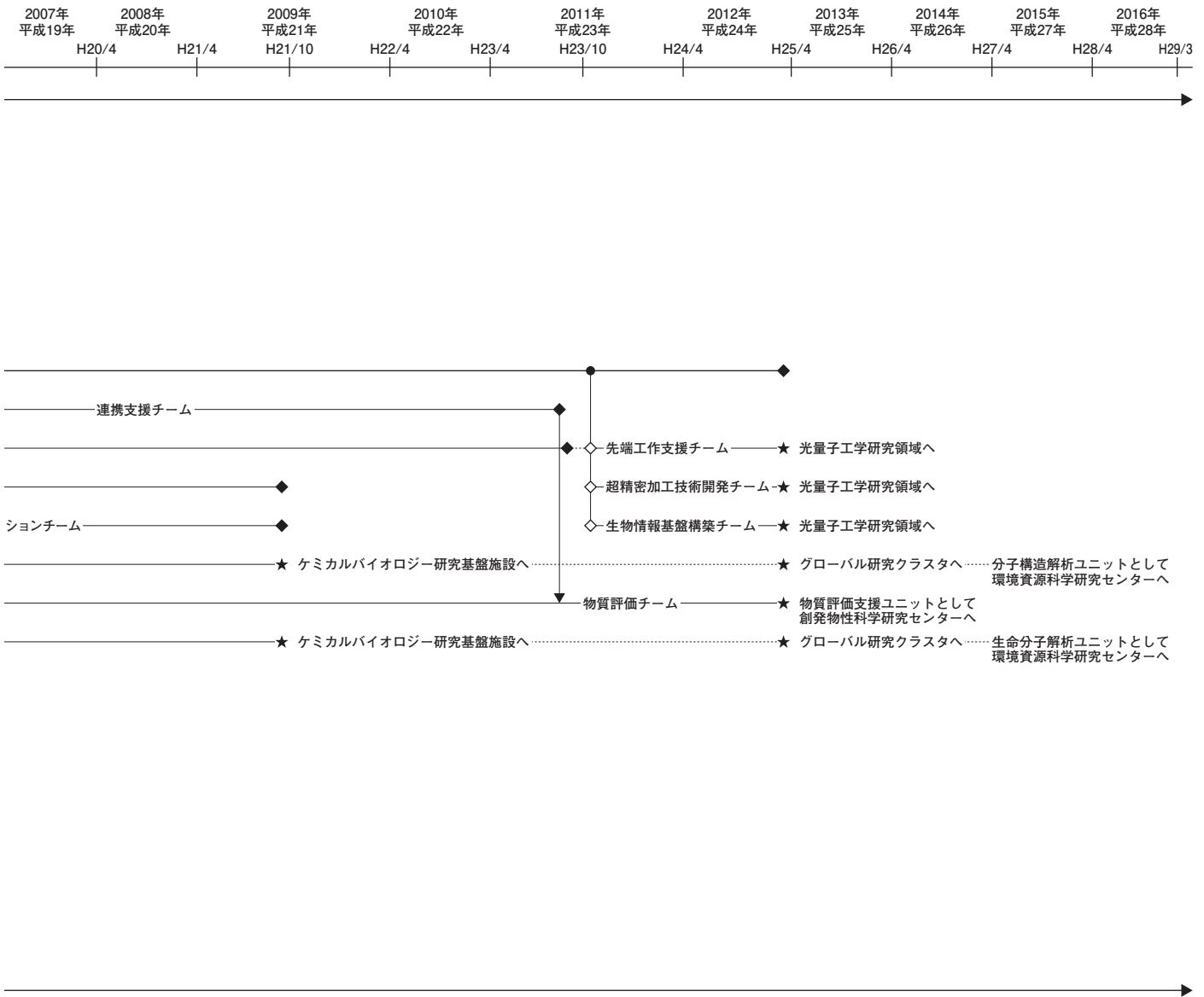
# 組織の推移 (4)



組織の推移 (4)



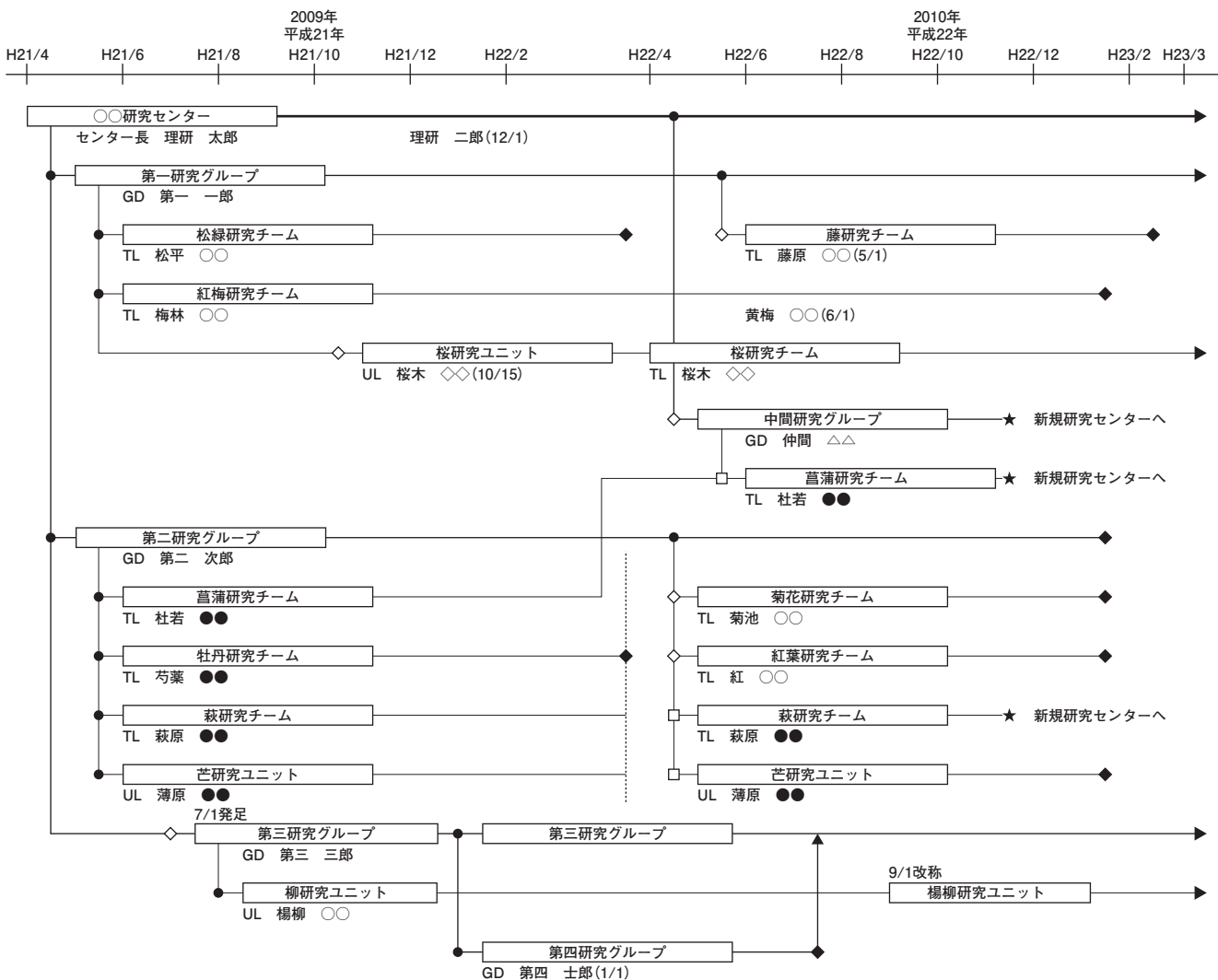






# 研究室の推移 (凡例)

研究室の推移のうち、財団理研時代は『理研精神八十八年』の研究室の系統図を元に、初期の主任研究員の着任時期を加えて描いてあります。科学研究所時代は『理研精神八十八年』の研究室の系統図を、一部残っている『科研概要』を参照して修正してあります。特殊法人時代以降は、理研に残る人事記録等を参照して描きなおしました。創立より特殊法人時代頃までは研究室の継承関係が明らかで「系統図」がふさわしい用語でしたが、それ以降は、空きポストとして分野が大きく変わる場合もありますので、「推移」に変更しました。



- 縦の実線と横線の交差点に●、◇、□等の記号がない場合、互いに関係ありません。
  - 一般の組織は藤や「菊花研究チーム」のように、◇で始まり◆で終わります。上位の組織は「〇〇研究センター」のように◇なしで始まります。
  - 上位の組織と同時にできた下部組織は、上部組織から下がる線から●で分岐して始まります。発足時期が異なる場合は◇で始まります。
  - 所属組織が変わった場合、「菖蒲研究チーム」のように近い場合は折れ線をつなぎ、ページ外になる場合は★で止め、行き先を記載します。
  - 大きな組織変更があった場合、「第二研究グループ」のように縦の破線で一旦切り、新たに書き直し、既存の組織は□で示します。
  - かなり過去に限られますが、「第三研究グループ」が第三と第四に分かれたような場合、第四も◇でなく、●で表示しています。
  - 二つのグループが併合された場合、「第四研究グループ」のように終了グループに◆をいれ、矢印で併合を示しています。
  - 組織の発足日は4/1の場合は明記しませんが、それ以外は「第三研究グループ」のように左上に発足日を記載します。
  - 下部組織は図の上ではだんだん右側にずれますが、上部組織から●や□でつながっている限り、発足日は上部組織と同時です。例えば「桜研究ユニット」を除く、第一研究グループの発足日はみなH21/4/1になります。また、「柳研究ユニット」の発足日はH21/7/1です。
  - 組織長の氏名は財団時代及び4/1と組織の発足日を除き、職名、氏名に続き着任日を記載し、交代の場合は職名を略しています。「第四研究グループ」のように小さな組織は組織長の着任日で組織の発足日を代替している場合があります。
  - 紙面の関係で「副」の職にある方の氏名は、組織長である場合と「産業界との融合的連携研究プログラム」で理研側の副チームリーダーの氏名を挙げた以外では記載していません。
  - 組織長の変更なく組織名のみが変わった場合、4/1を除き、「楊柳研究ユニット」のように左上に改称日を記載しています。
  - 役職名で用いている略語は以下のとおりです。各ページで個別に説明している略語もあります。
- |   |                |
|---|----------------|
| 主任：主任研究員(財団時代、職名は研究員でしたが、研究室主催者を主任と表記しています) | 副主任：副主任研究員     |
| 准主任：准主任研究員                                  | 独立：独立主管研究員     |
| GD：グループディレクター                               | GH：グループヘッド     |
| PD：プロジェクトまたはプログラムディレクター                     | GL：グループリーダー    |
| TL：チームリーダー                                  | PL：プロジェクトリーダー  |
| BUL：基盤ユニットリーダー                              | STL：サブチームリーダー  |
| DUL：開発ユニットリーダー                              | 副TL：副チームリーダー   |
|   | RUL：研究ユニットリーダー |
|   | SUL：特別ユニットリーダー |
|   | 国際：国際主幹研究員     |
|   | SGL：サブグループリーダー |
|   | TH：チームヘッド      |
|   | UL：ユニットリーダー    |

※ 組織の推移も「課」以下の組織が囲われていないこと、発足日、組織長名の記載がないことを除けばほぼ同じ規則に従っています。





1928年 昭和3年      1929年 昭和4年      1930年 昭和5年      1931年 昭和6年      1932年 昭和7年      1933年 昭和8年      1934年 昭和9年      1935年 昭和10年      1936年 昭和11年      1937年 昭和12年

清水研究室  
主任 清水 武雄

- ◇ 井口研究室  
主任 井口 春久
- ◇ 深川研究室  
主任 深川 庫造
- ◇ 飯高研究室  
主任 飯高 一郎
- ◇ 野口研究室  
主任 野口 孝重

磯部研究室  
主任 磯部 甫  
(大正8年 研究生、10年 研究員)

長岡研究室に異動(2/15)

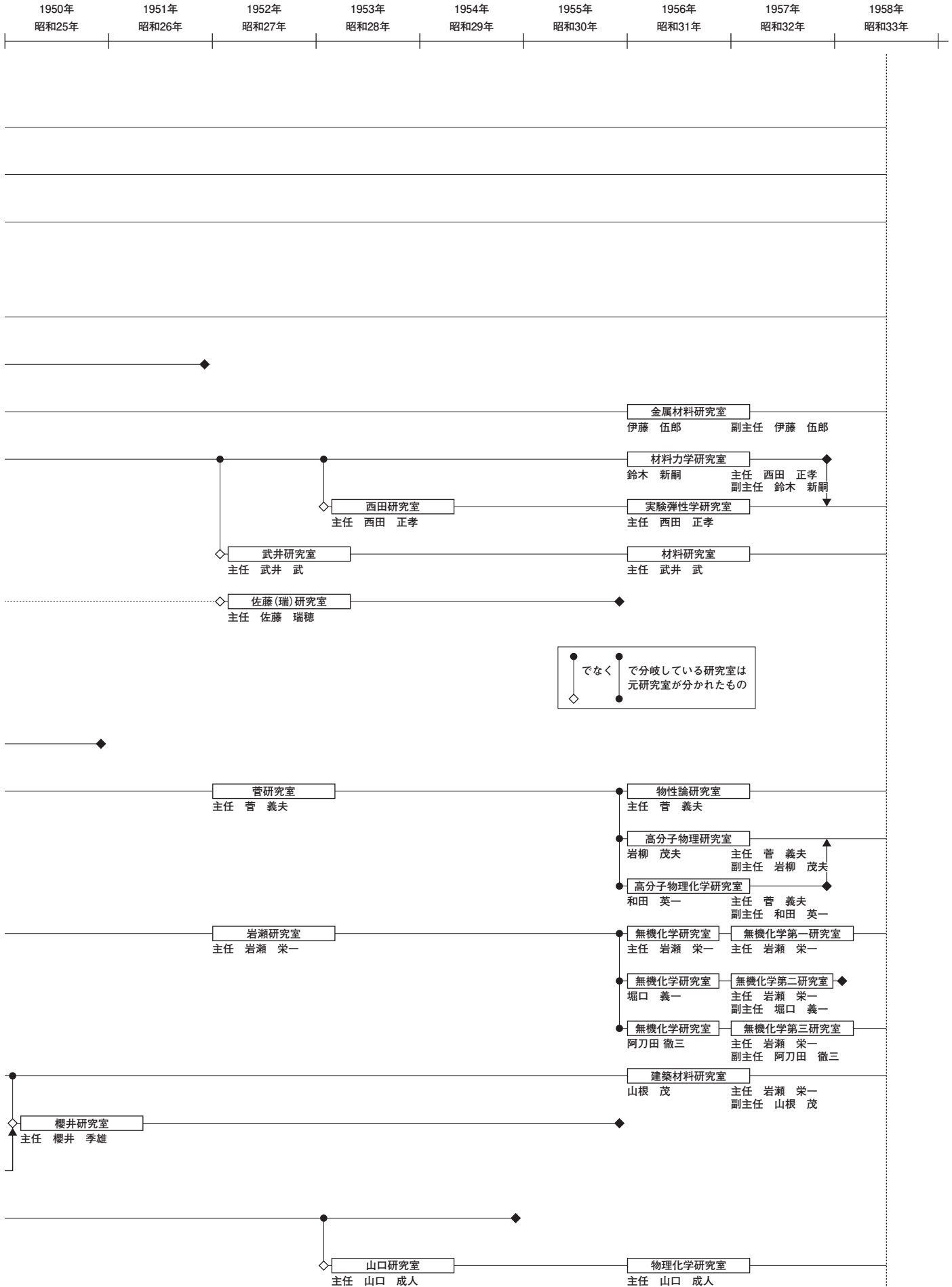
仁科研究室  
主任 仁科 芳雄

# 主任研究員研究室（財団理研、科学研究所時代）（1）



研究員の推移  
主任研究員研究室（財団理研、科学研究所時代）（1）



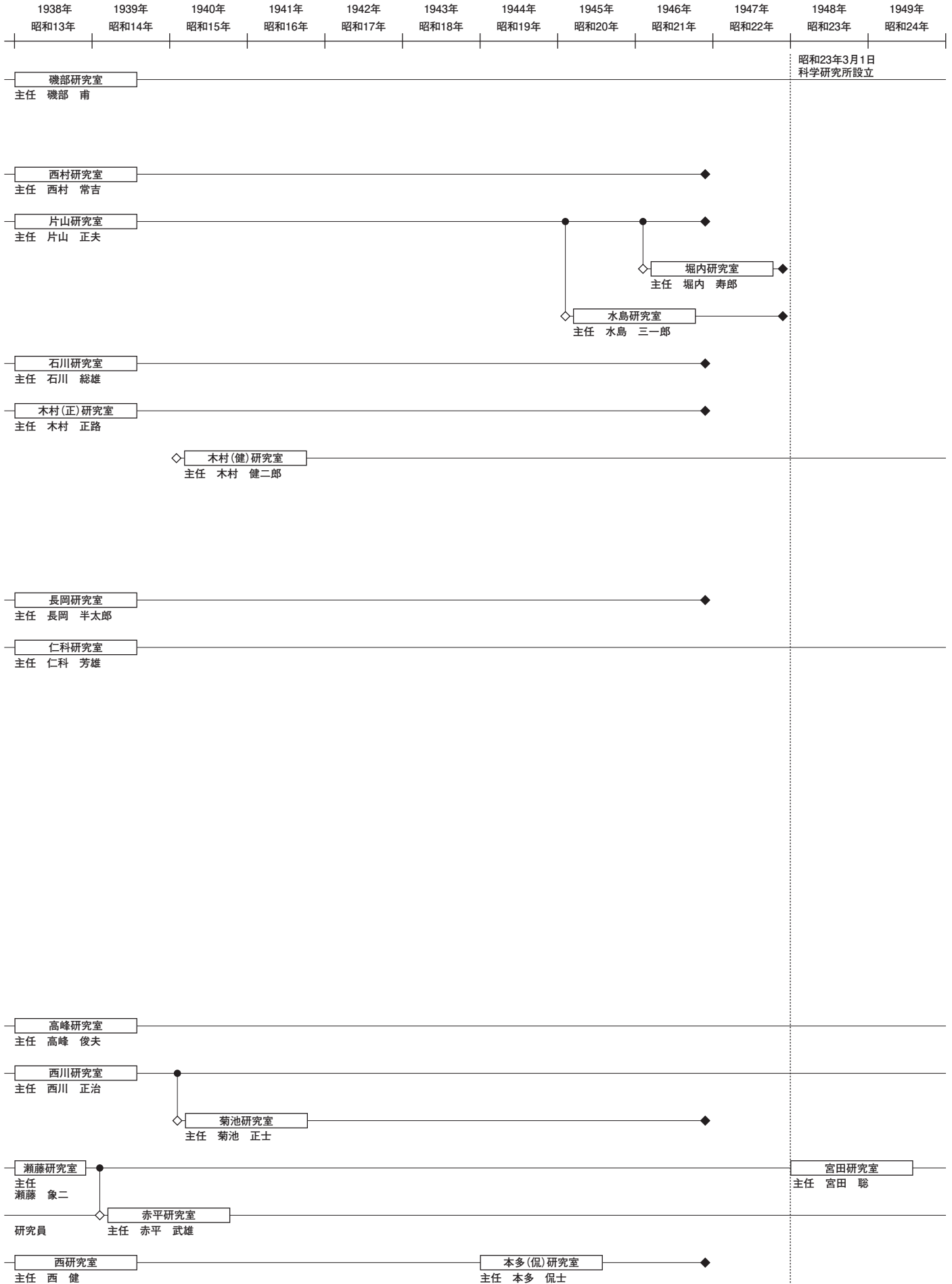


# 主任研究員研究室（財団理研、科学研究所時代）（2）

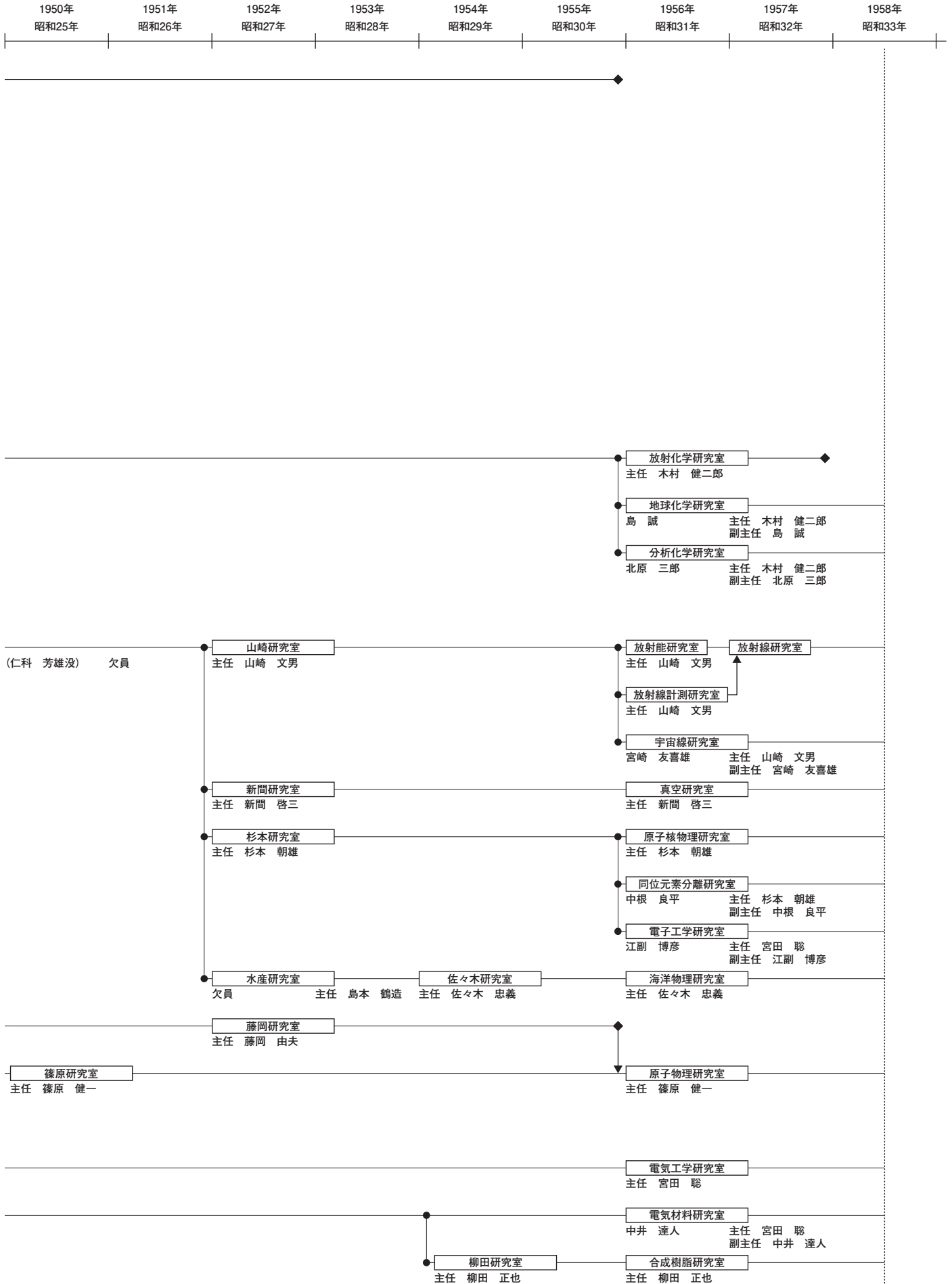


研究室の推移

主任研究員研究室（財団理研、科学研究所時代）（2）



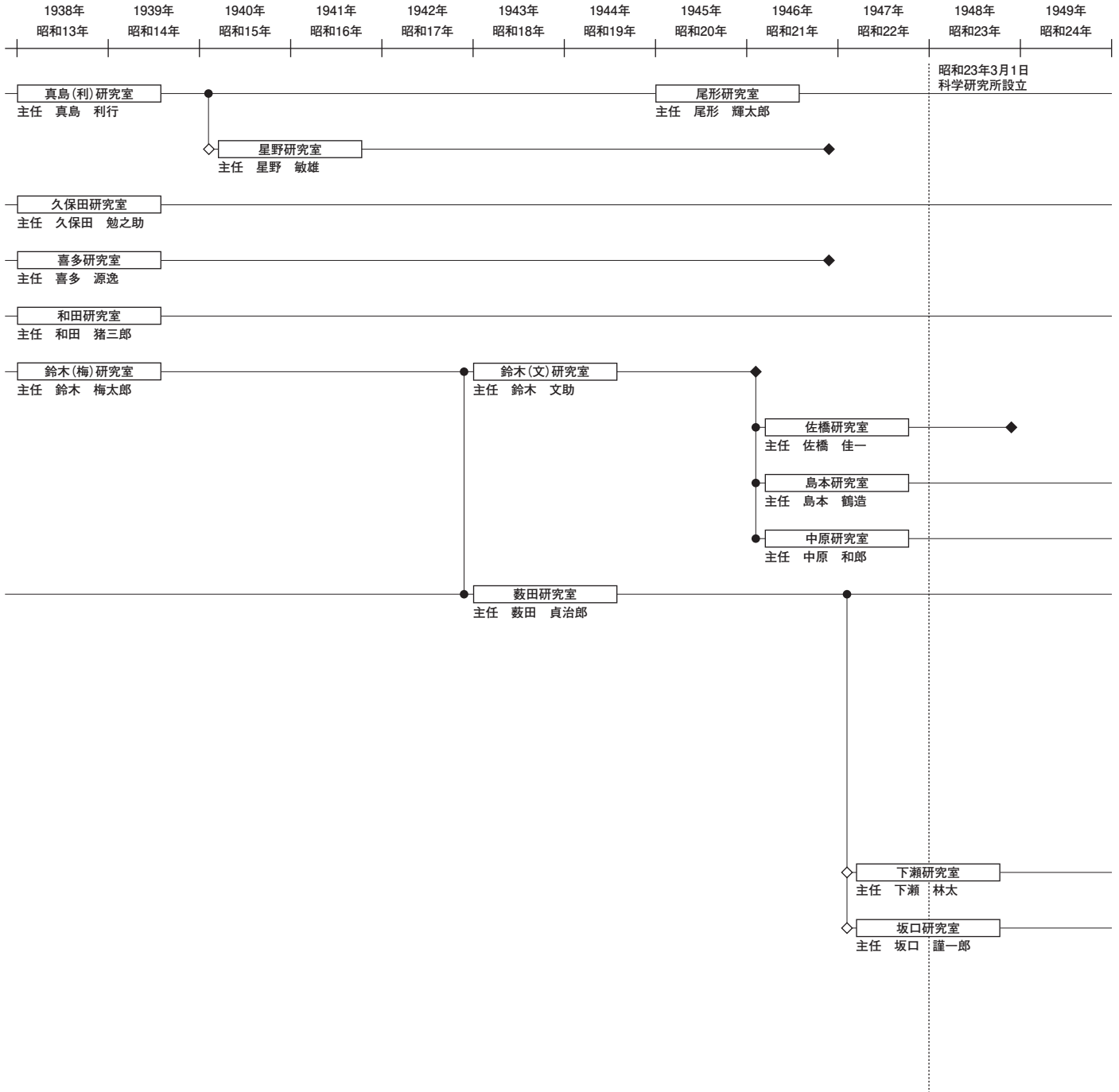


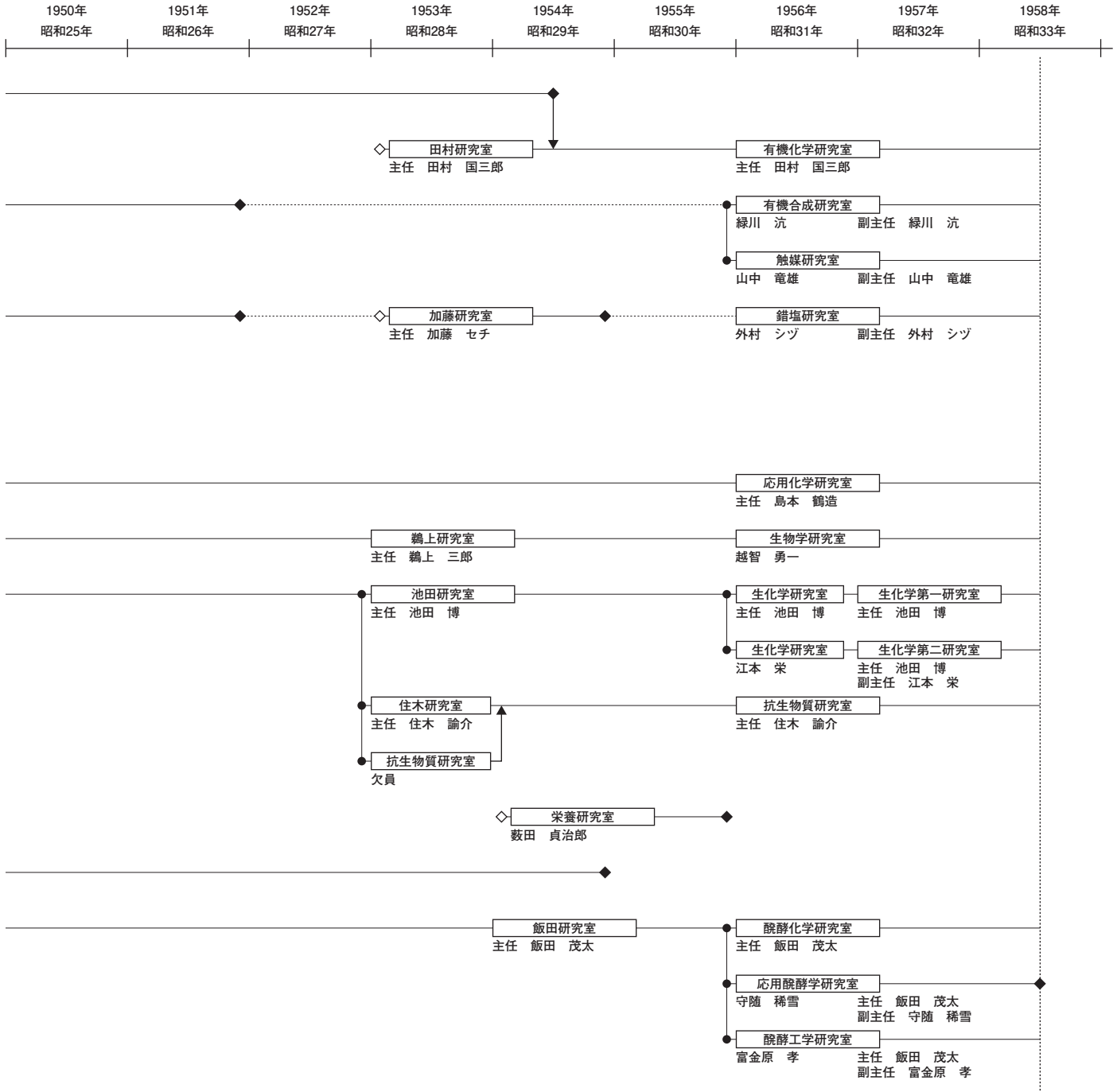


# 主任研究員研究室（財団理研、科学研究所時代）（3）

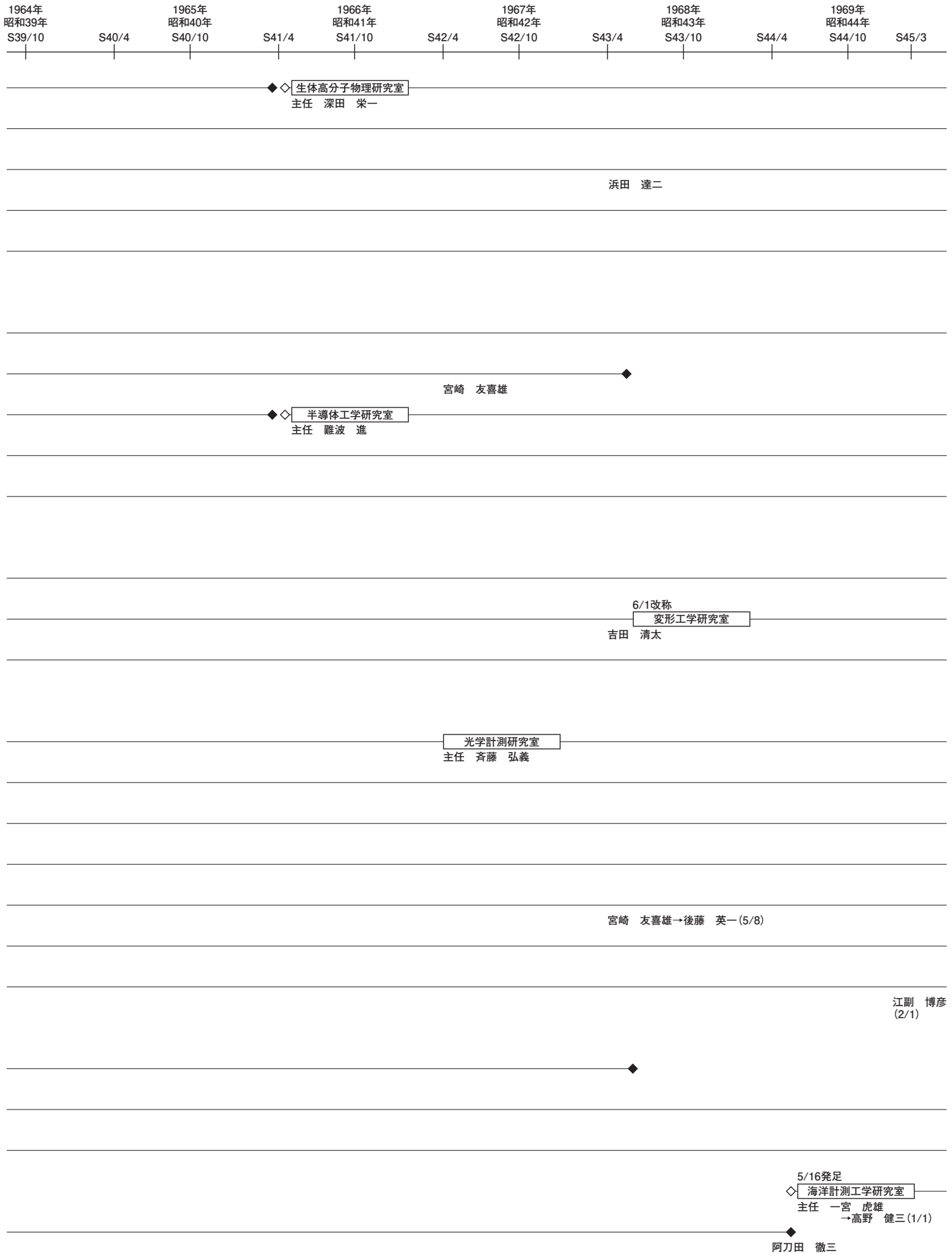


研究室内の推移  
主任研究員研究室（財団理研、科学研究所時代）（3）





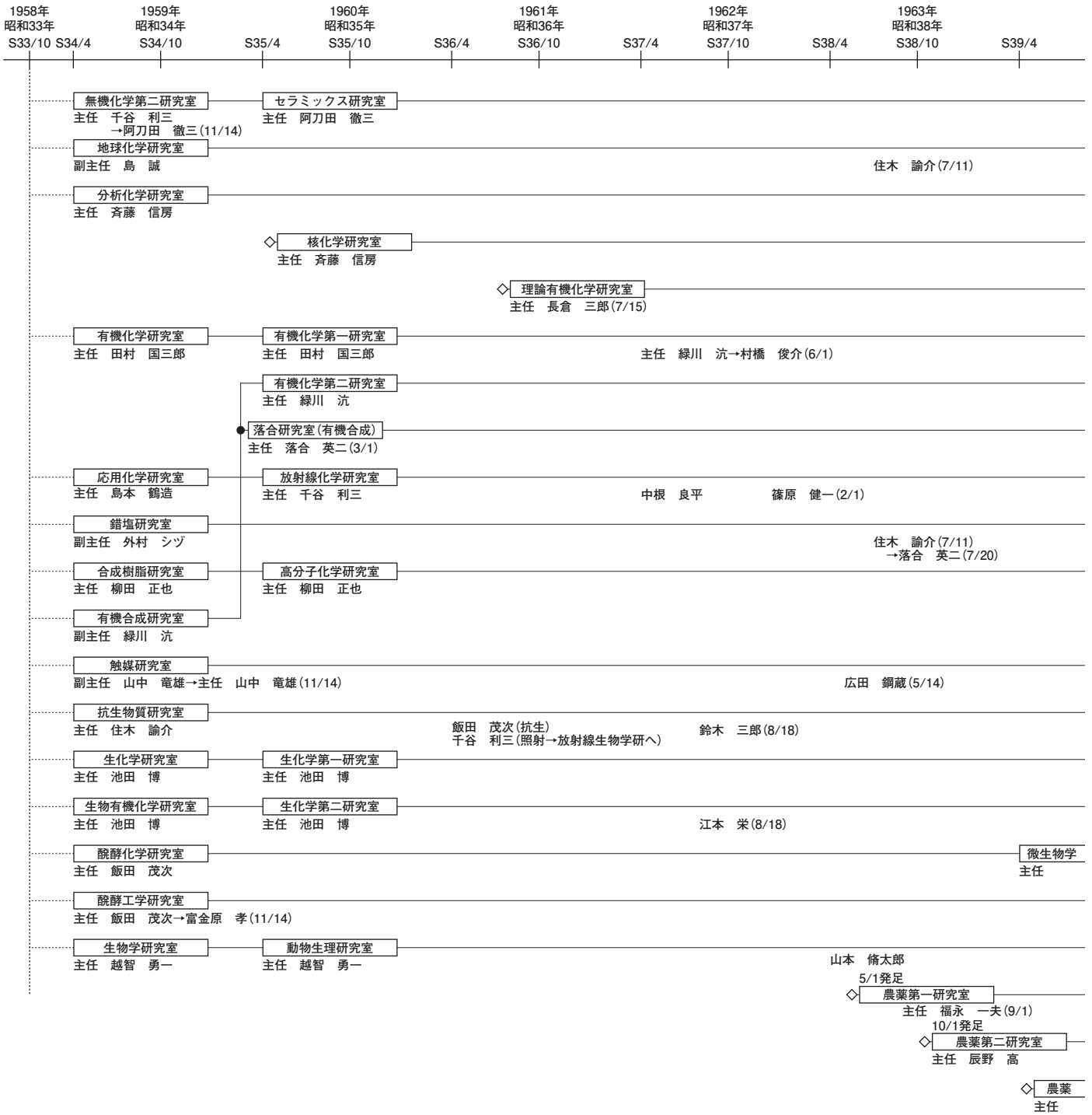




# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（1-2）



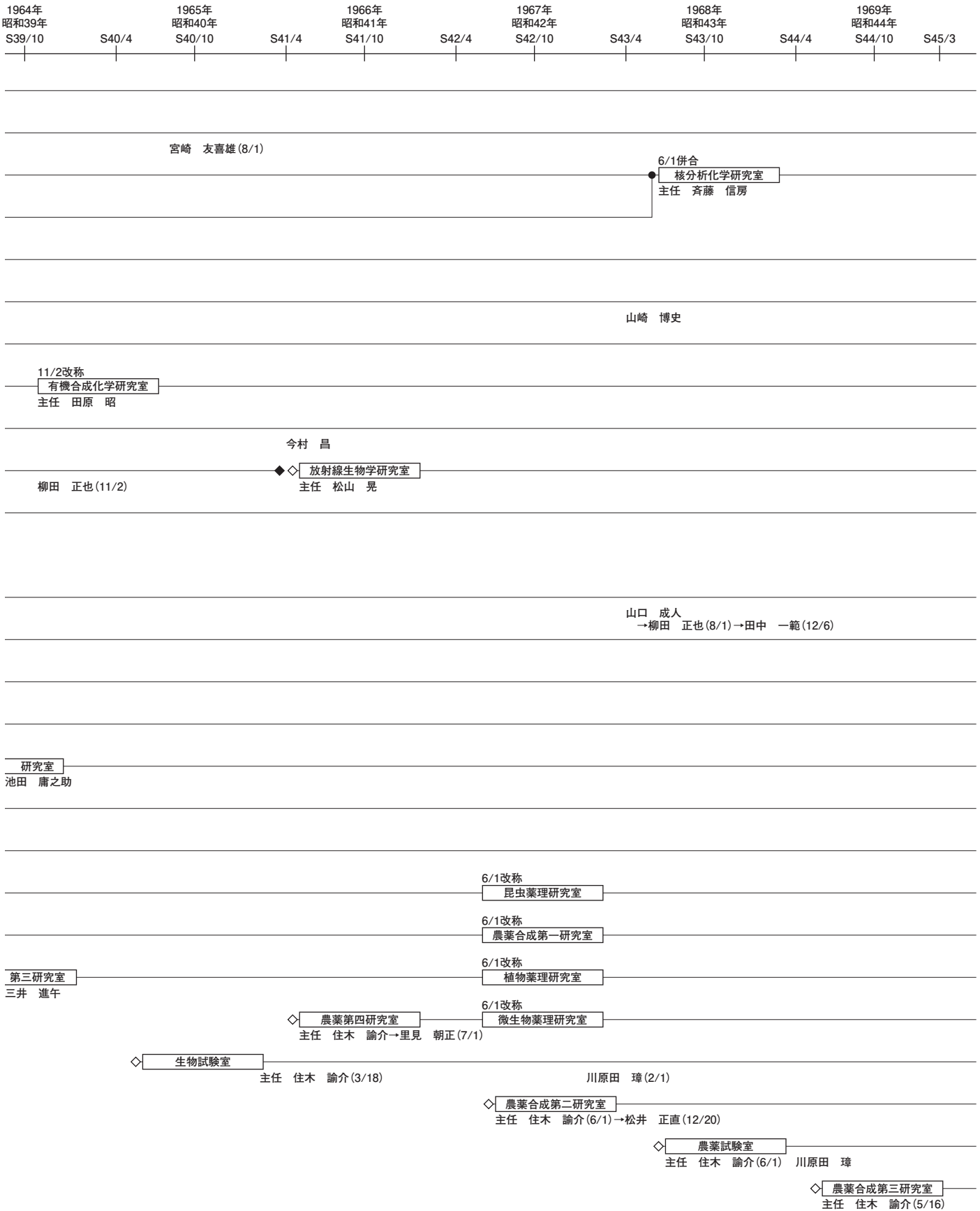
研究室の推移  
主任研究員研究室（特殊法人時代）（1・2）



## ●162～177ページの全体配置

### 主任研究員研究室（特殊法人時代）

	年 次			
組	1-1	2-1	3-1	4-1
織	1-2	2-2	3-2	4-2



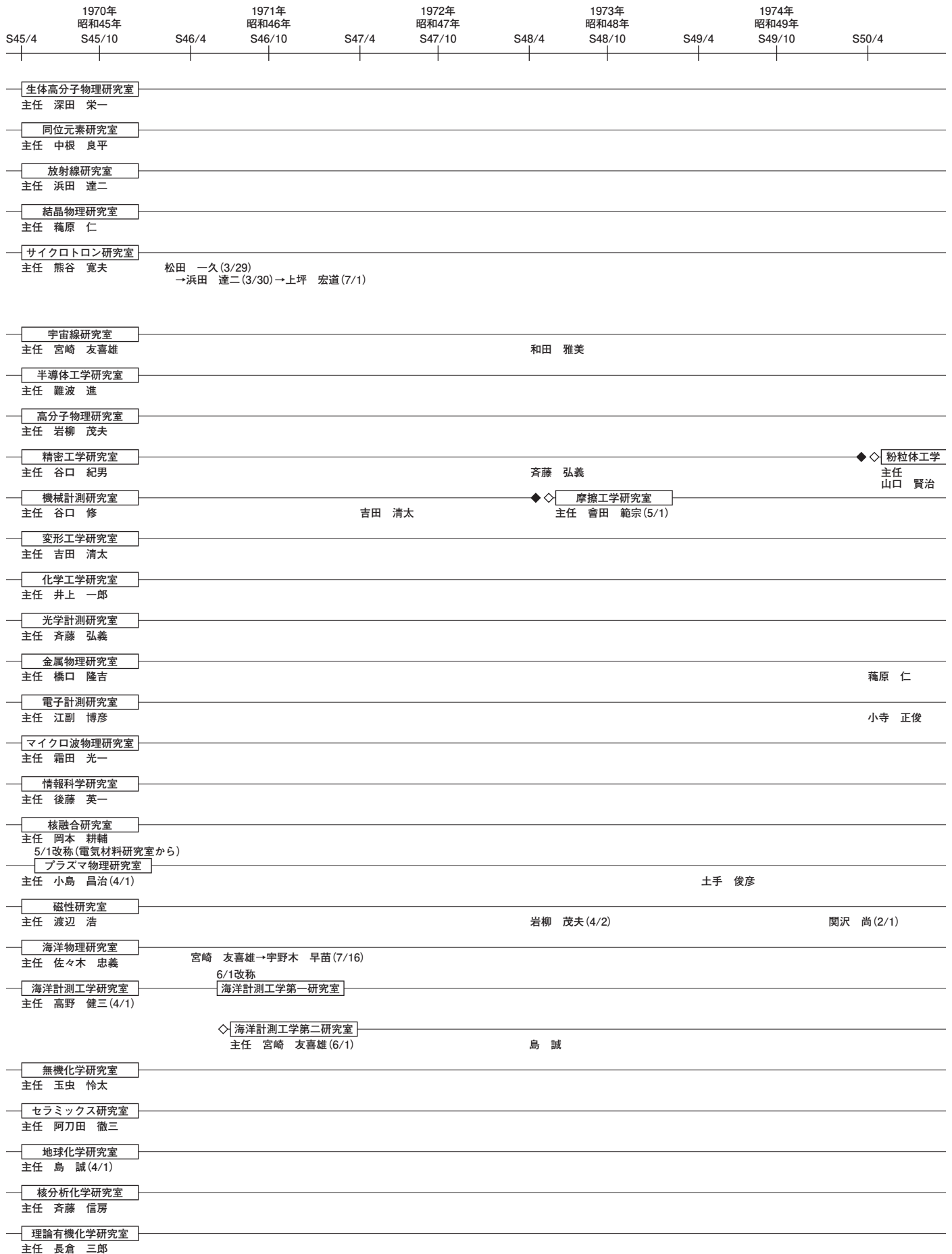
# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（2-1）



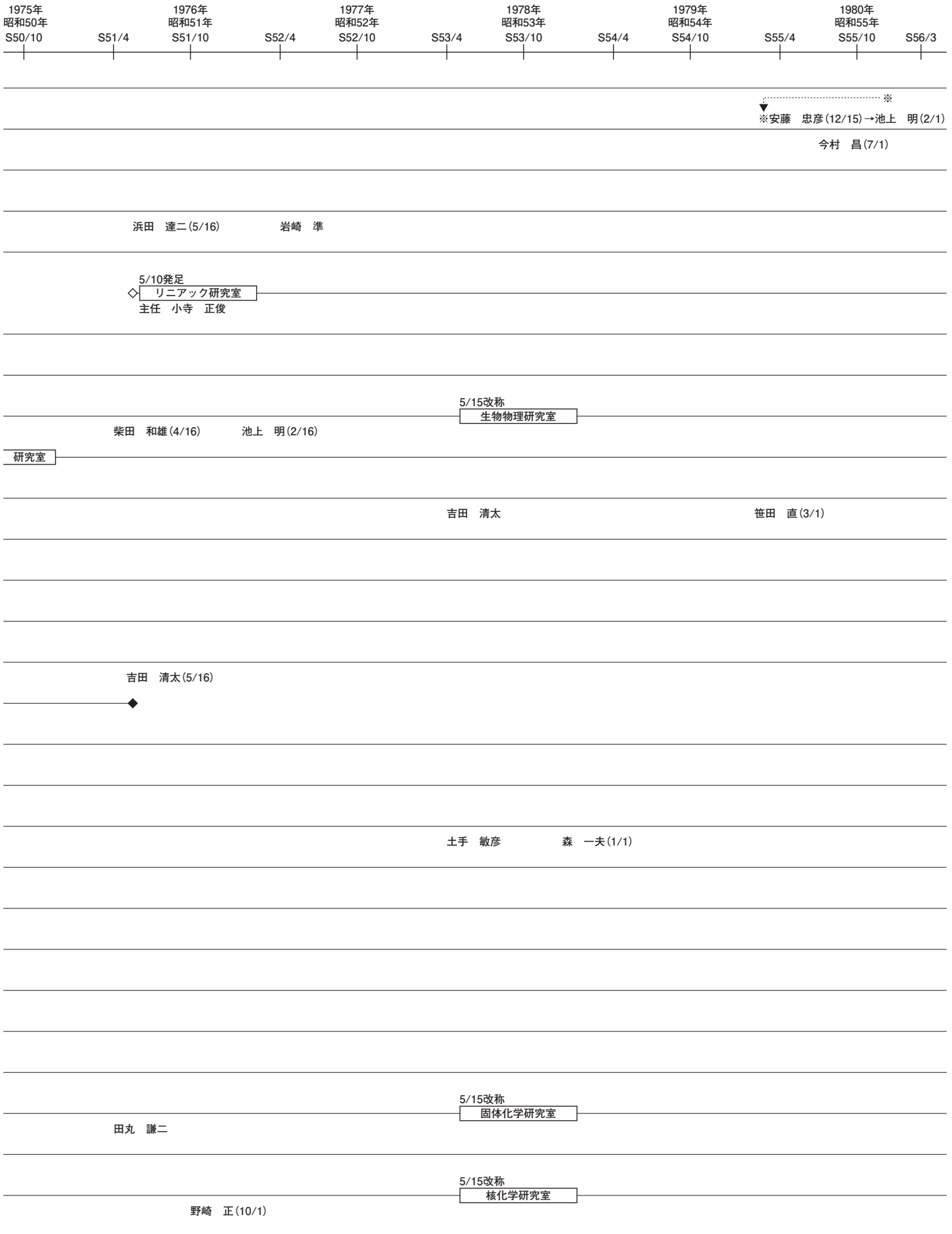
研究室の推移

主任研究員研究室（特殊法人時代）

（2・1）







# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（2-2）



研究室の推移

主任研究員研究室（特殊法人時代）

（2・2）

	1970年 昭和45年 S45/4	1971年 昭和46年 S46/4	1972年 昭和47年 S47/4	1973年 昭和48年 S48/4	1974年 昭和49年 S49/4	1975年 昭和50年 S50/4
有機化学第一研究室 主任 山崎 博史						
有機化学第二研究室 主任 緑川 沆						大石 武
有機合成化学研究室 主任 田原 昭						
放射線化学研究室 主任 今村 昌						
放射線生物学研究室 主任 松山 晃						
高分子化学研究室 主任 柳田 正也				深田 栄一	山田 瑛	
触媒研究室 主任 田中 一範						
抗生物質研究室 主任 鈴木 三郎						
◆(生化学第一研究室)						
5/1改称(生化学第二研究室から) 生化学研究室 主任 江本 栄						
微生物学研究室 主任 池田 庸之助			江本 栄→安藤 忠彦(6/1)			
醱酵工学研究室 主任 富金原 孝					掘越 弘毅	微生物生態学
5/1改称(動物生理研究室から) 動物薬理研究室 主任 光岡 知足(4/1)						
昆虫薬理研究室 主任 福永 一夫						
農薬合成第一研究室 主任 辰野 高						
植物薬理研究室 主任 柴田 和雄(4/1)						
微生物薬理研究室 主任 里見 朝正						
生物試験室 主任 川原田 璋				福永 一夫(12/1)		
農薬合成第二研究室 主任 松井 正直						
農薬試験室 主任 川原田 璋				5/1改称 植物化学研究室		
農薬合成第三研究室 主任 田村 三郎(4/1)						



1975年 昭和50年 S50/10	S51/4	1976年 昭和51年 S51/10	S52/4	1977年 昭和52年 S52/10	S53/4	1978年 昭和53年 S53/10	S54/4	1979年 昭和54年 S54/10	S55/4	1980年 昭和55年 S55/10	S56/3
--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------

田中 一範(1/9) → 大石 武(4/1)

今村 昌

磯野 清(4/2)

葛原 弘美

研究室

里見 朝正      深見 順一(12/1)

安藤 忠彦      井上 頼直(10/1)

辰野 高 → 里見 朝正(7/1)

中山 治彦(10/1)

高橋 信孝

小川 智也(3/1)

高橋 信孝

7/1発足  
◇ レーザー科学研究グループ  
主任 中根 良平(9/22)

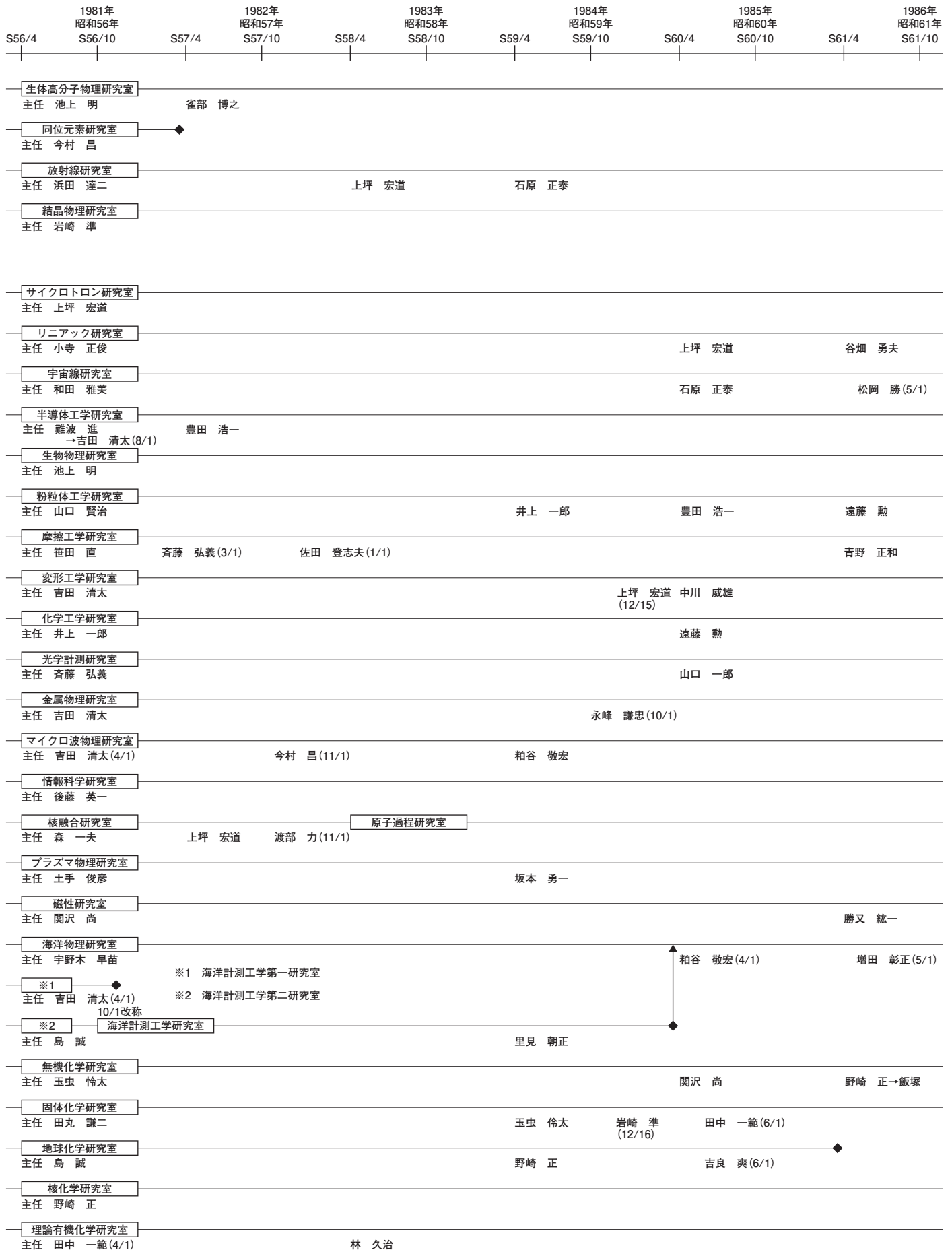
霜田 光一(12/1)

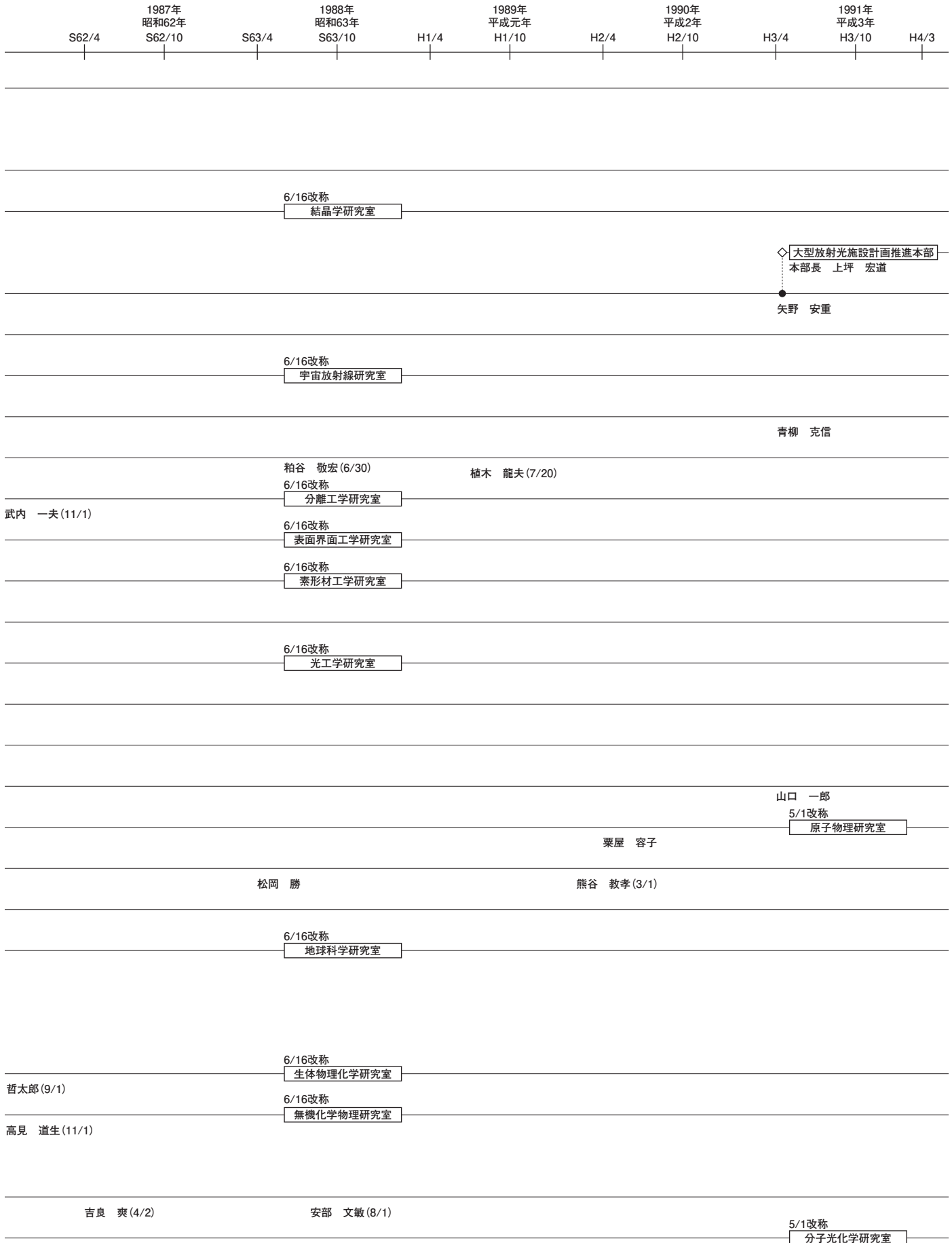
7/1発足  
◇ 太陽光エネルギー科学研究グループ  
主任 今村 昌  
→ 井上 頼直  
(11/1)

# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（3-1）



研究室の推移  
主任研究員研究室（特殊法人時代）  
（3・1）

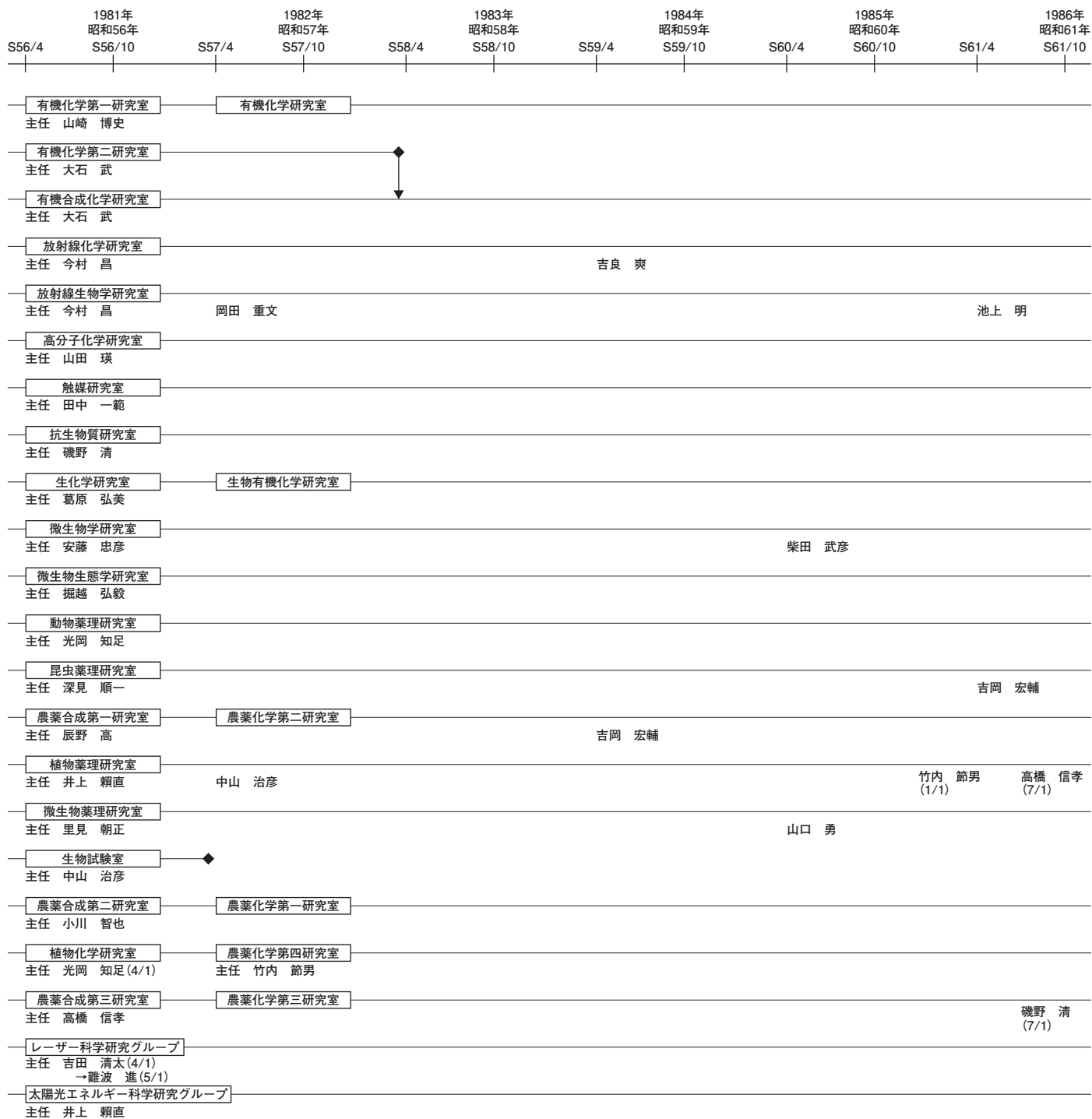


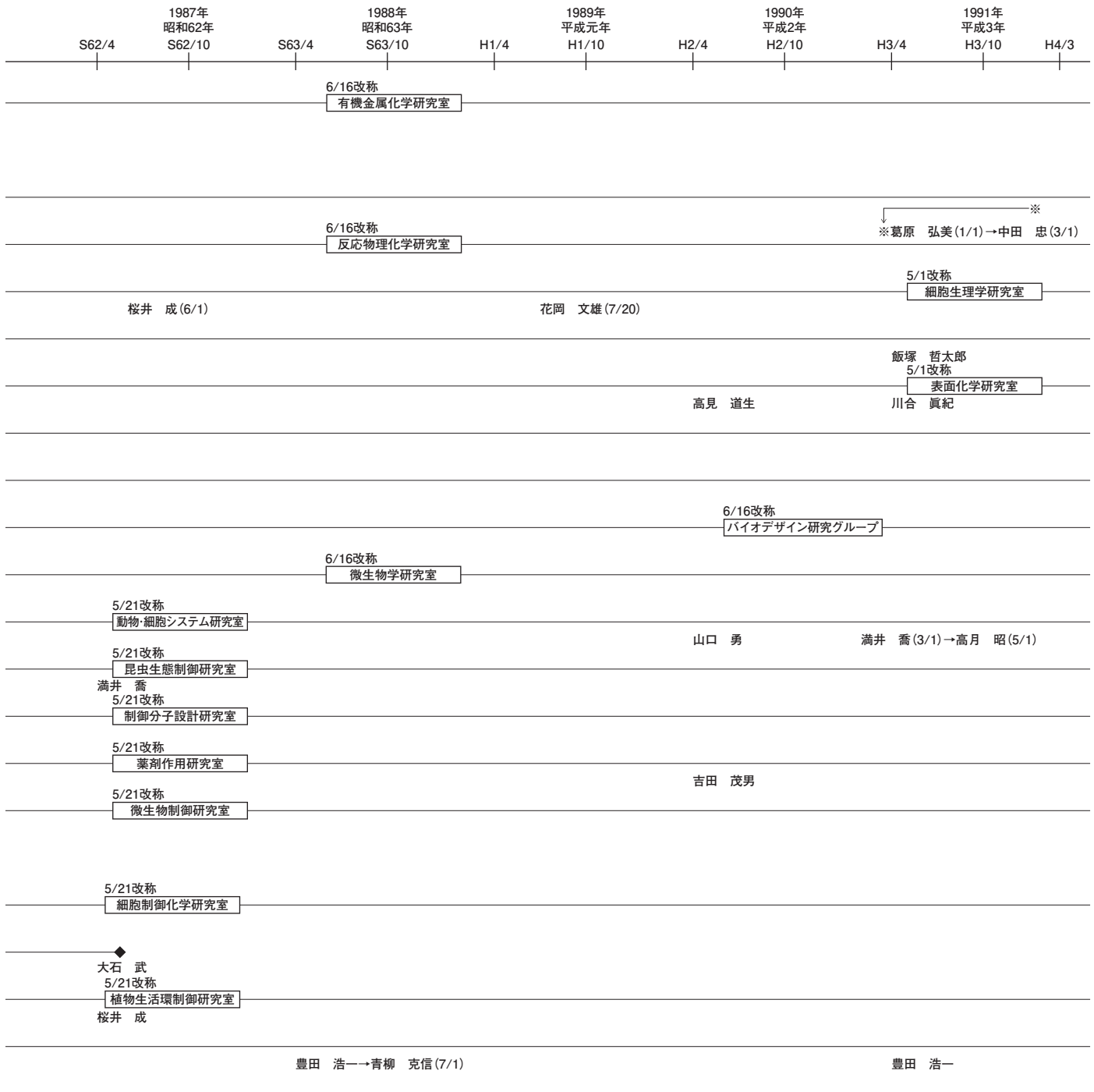


# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（3-2）



研究員の推移  
主任研究員研究室（特殊法人時代）  
（3・2）





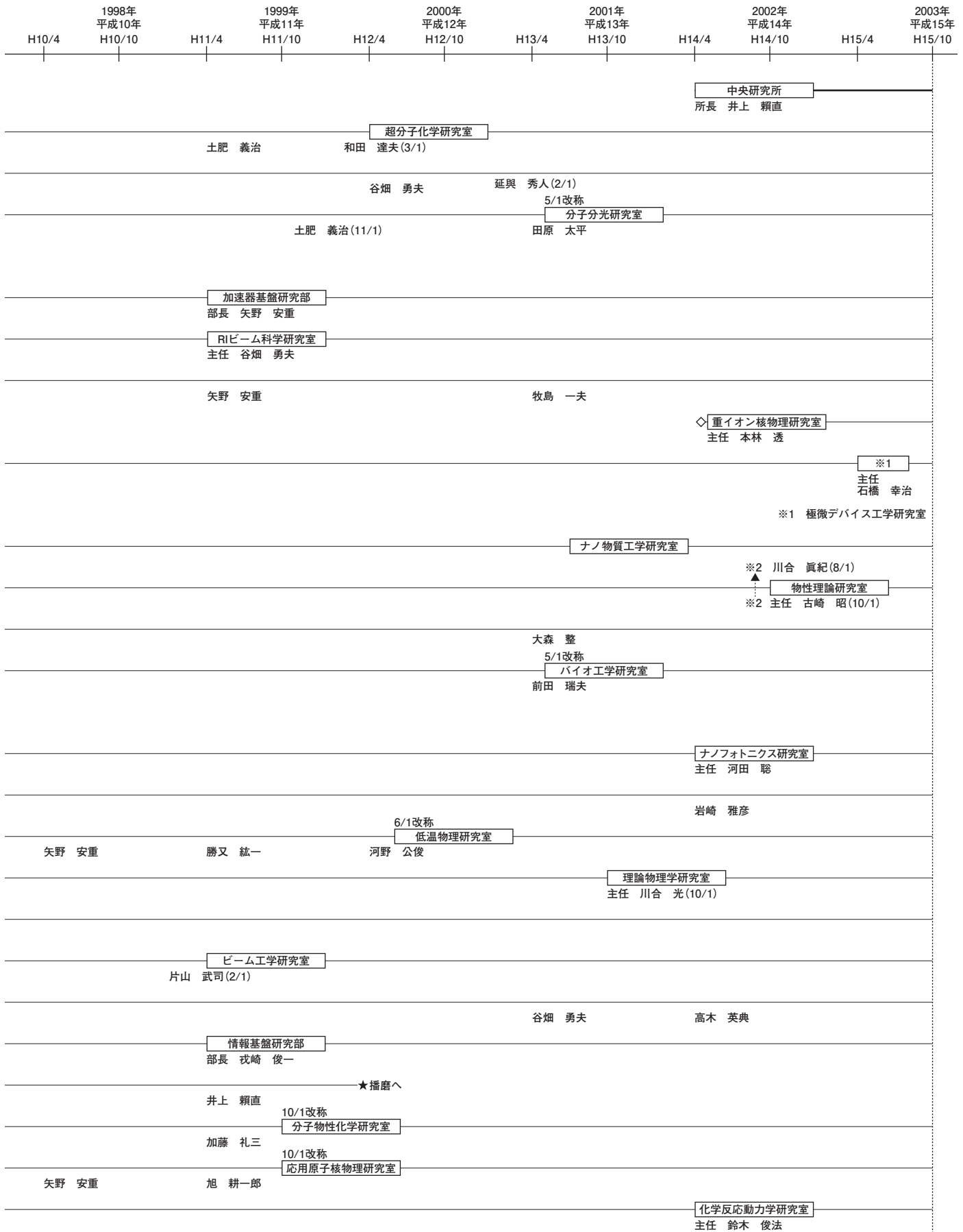
# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（4-1）



研究室内の推移  
主任研究員研究室（特殊法人時代）（4・1）

	H4/4 1992年 平成4年 H4/10	H5/4	H5/10 1993年 平成5年 H5/10	H6/4	H6/10 1994年 平成6年 H6/10	H7/4	H7/10 1995年 平成7年 H7/10	H8/4	H8/10 1996年 平成8年 H8/10	H9/4	H9/10 1997年 平成9年 H9/10
生体高分子物理研究室 主任 雀部 博之											
放射線研究室 主任 石原 正泰											
結晶学研究室 主任 岩崎 準									飯塚 哲太郎		矢野 安重 (8/1)
大型放射光施設計画推進本部 本部長 上坪 宏道											★播磨へ
サイクロトロン研究室 主任 矢野 安重											
リニアック研究室 主任 谷畑 勇夫											
宇宙放射線研究室 主任 松岡 勝											
半導体工学研究室 主任 青柳 克信											
生物物理研究室 主任 植木 龍夫									10/1改称 構造生物物理研究室 主任 井上 頼直		★播磨へ
分離工学研究室 主任 武内 一夫							レーザー反応工学研究室				
表面界面工学研究室 主任 青野 正和											
素形材工学研究室 主任 中川 威雄					武内 一夫 牧野内 昭武(10/1)				5/10改称 生化学システム研究室		
化学工学研究室 主任 遠藤 勲											
光工学研究室 主任 山口 一郎											
金属物理研究室 主任 永峰 謙忠					5/1改称 ミュオン科学研究室						
マイクロ波物理研究室 主任 粕谷 敬宏→青柳 克信(9/25)							石川 哲也(7/1)				
情報科学研究室 主任 田中 啓治(4/1)											矢野 安重 (10/1)
原子物理研究室 主任 粟屋 容子											山崎 泰規
プラズマ物理研究室 主任 熊谷 教孝											矢野 安重
磁性研究室 主任 勝又 紘一											
地球科学研究室 主任 松岡 勝(4/1)							計算科学研究室 主任 戎崎 俊一				
生物物理化学研究室 主任 飯塚 哲太郎											
無機化学物理研究室 主任 高見 道生											
核化学研究室 主任 安部 文敏											
分子光化学研究室 主任 林 久治											



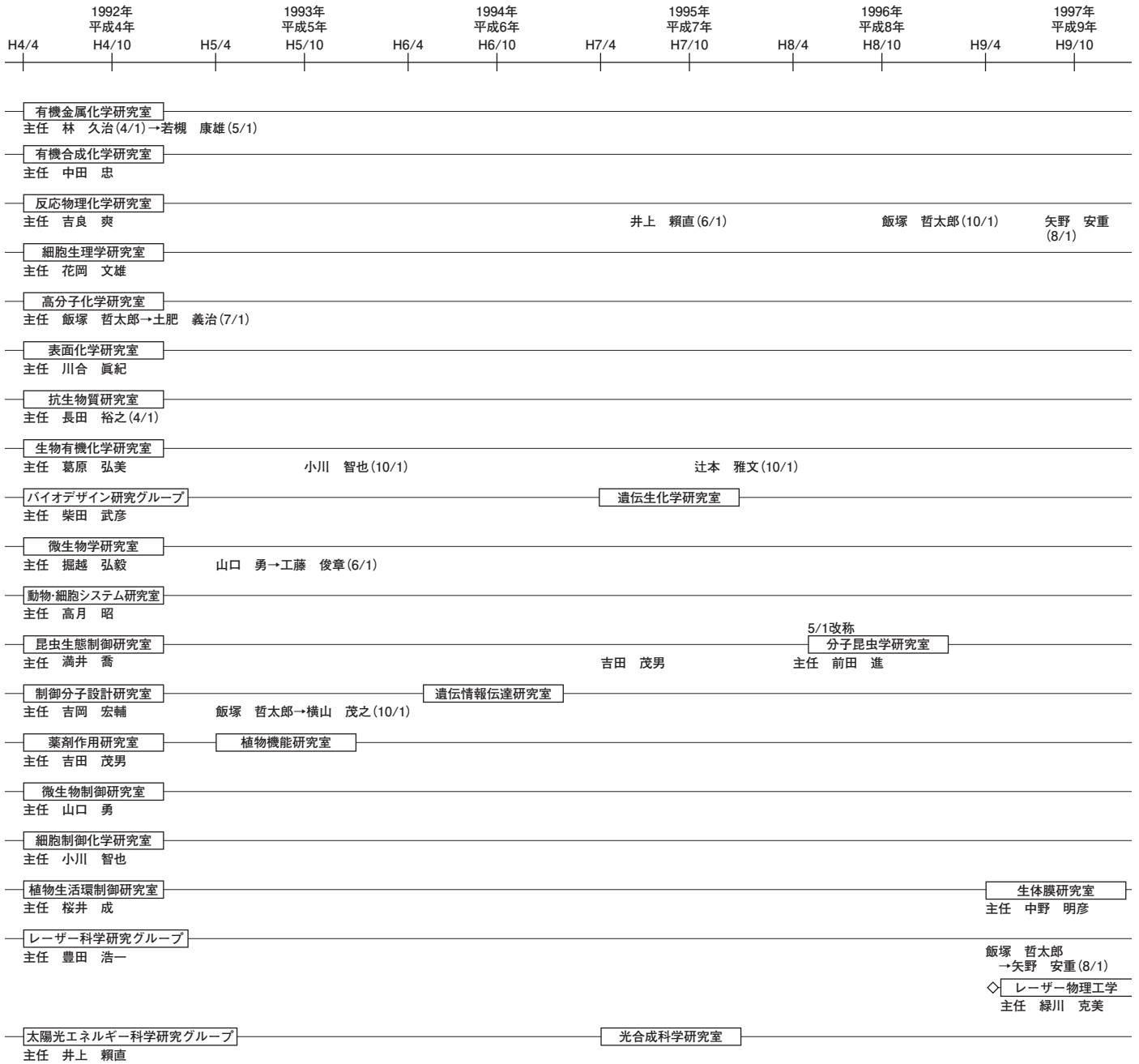


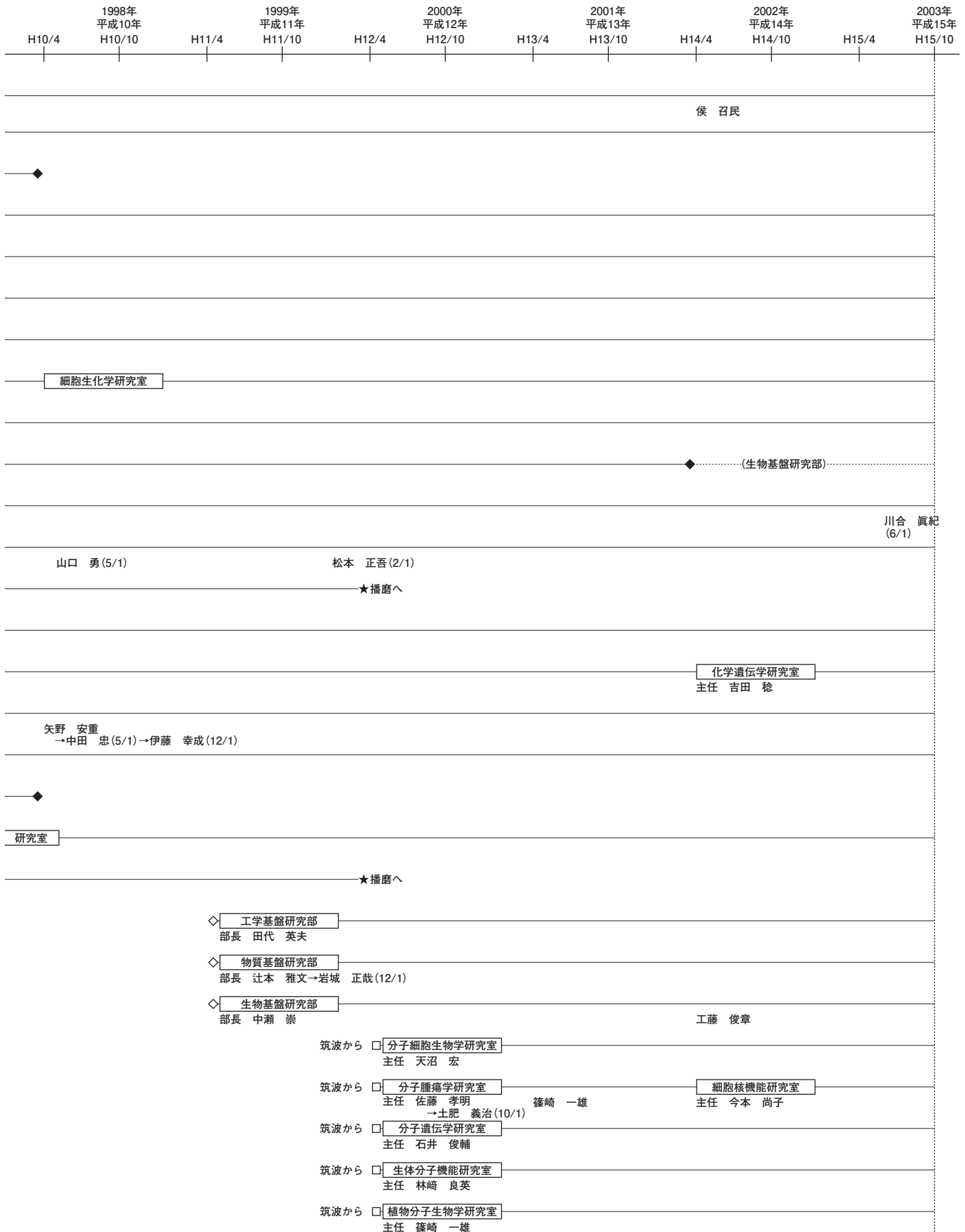
# 主任研究員研究室（特殊法人時代）（4-2）



研究員の推移  
主任研究員研究室（特殊法人時代）

（4・2）

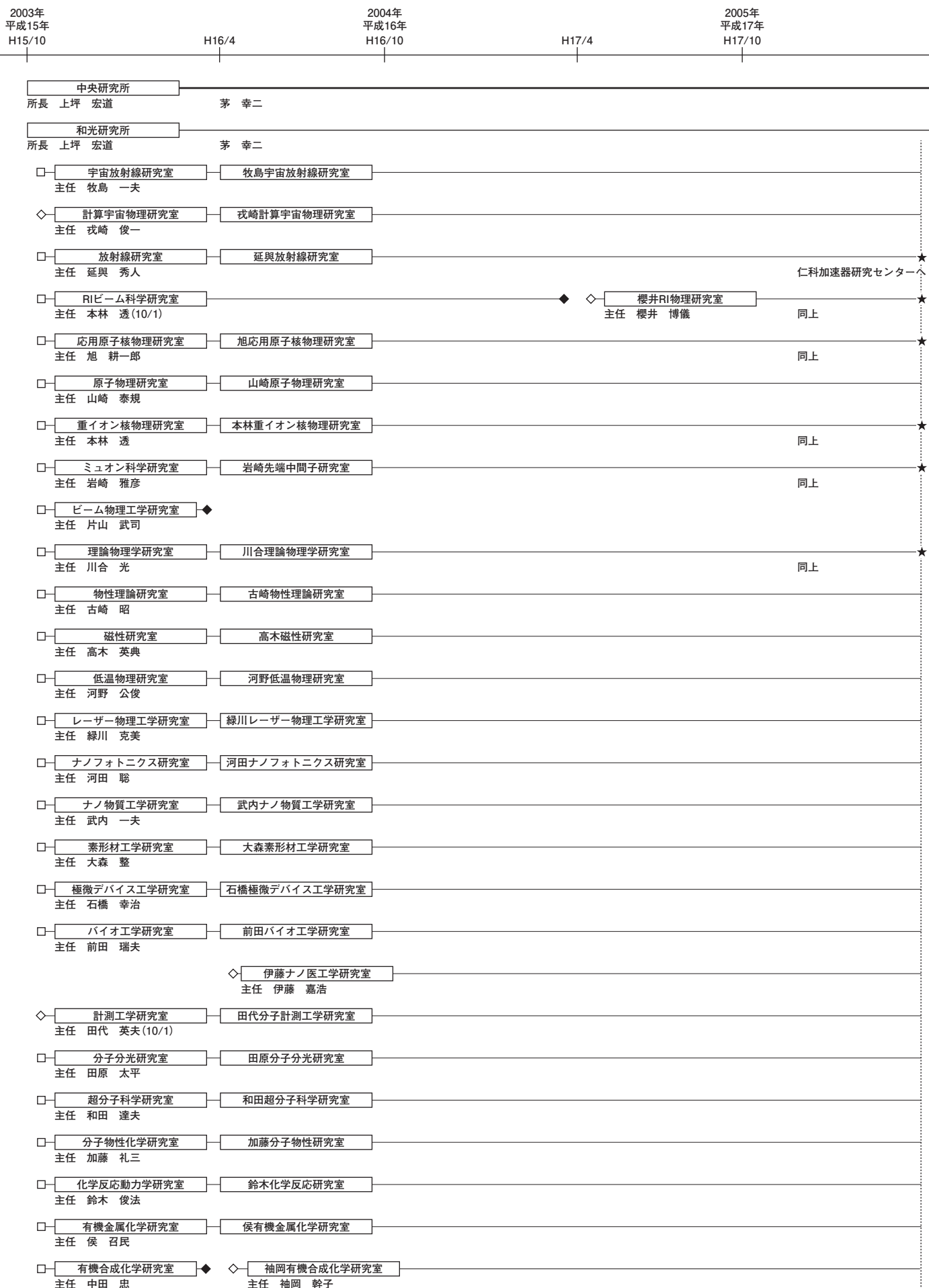


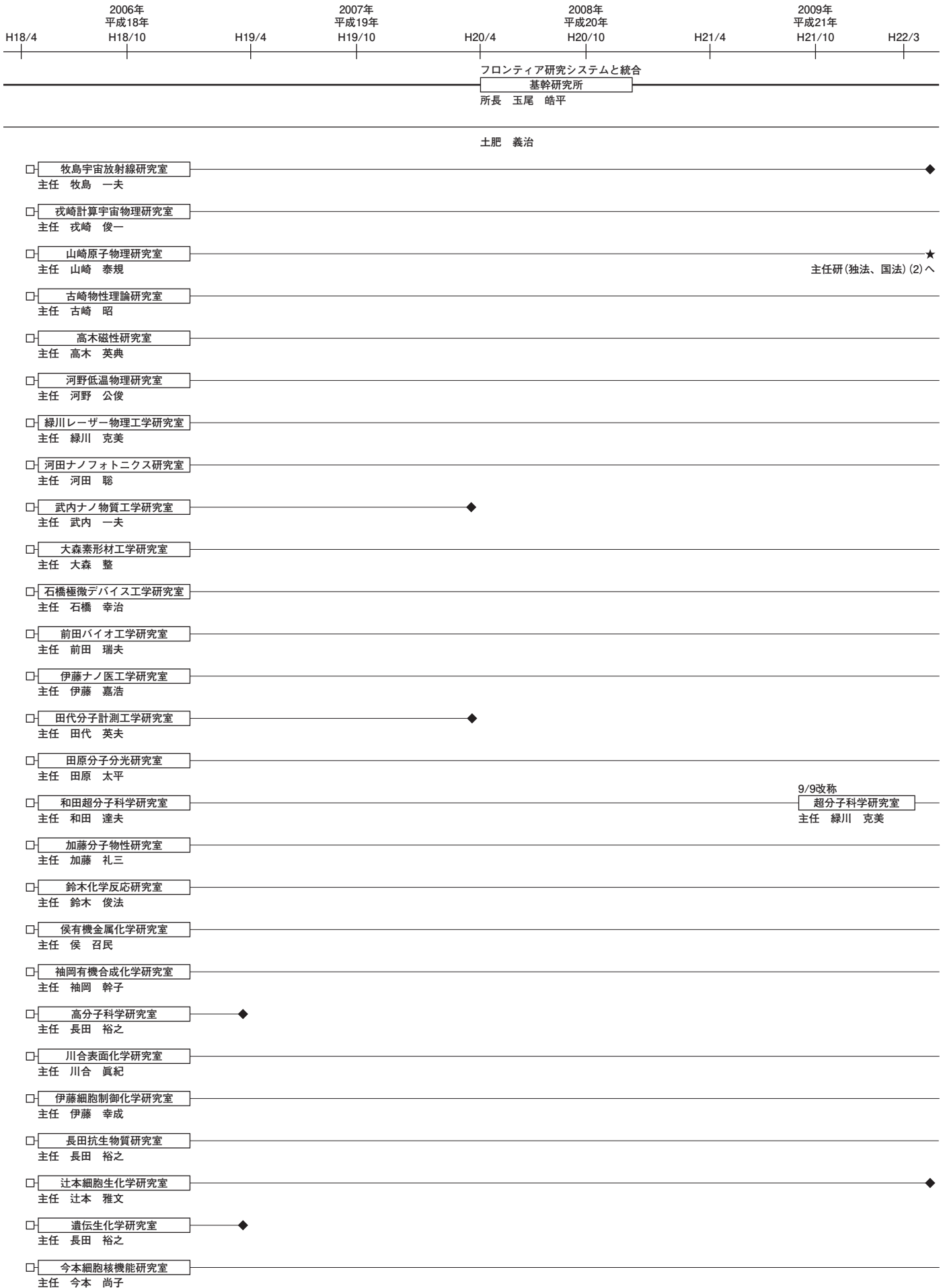


# 主任研究員研究室（独立行政法人時代）（1）



研究員の推移  
主任研究員研究室（独立行政法人時代）（1）

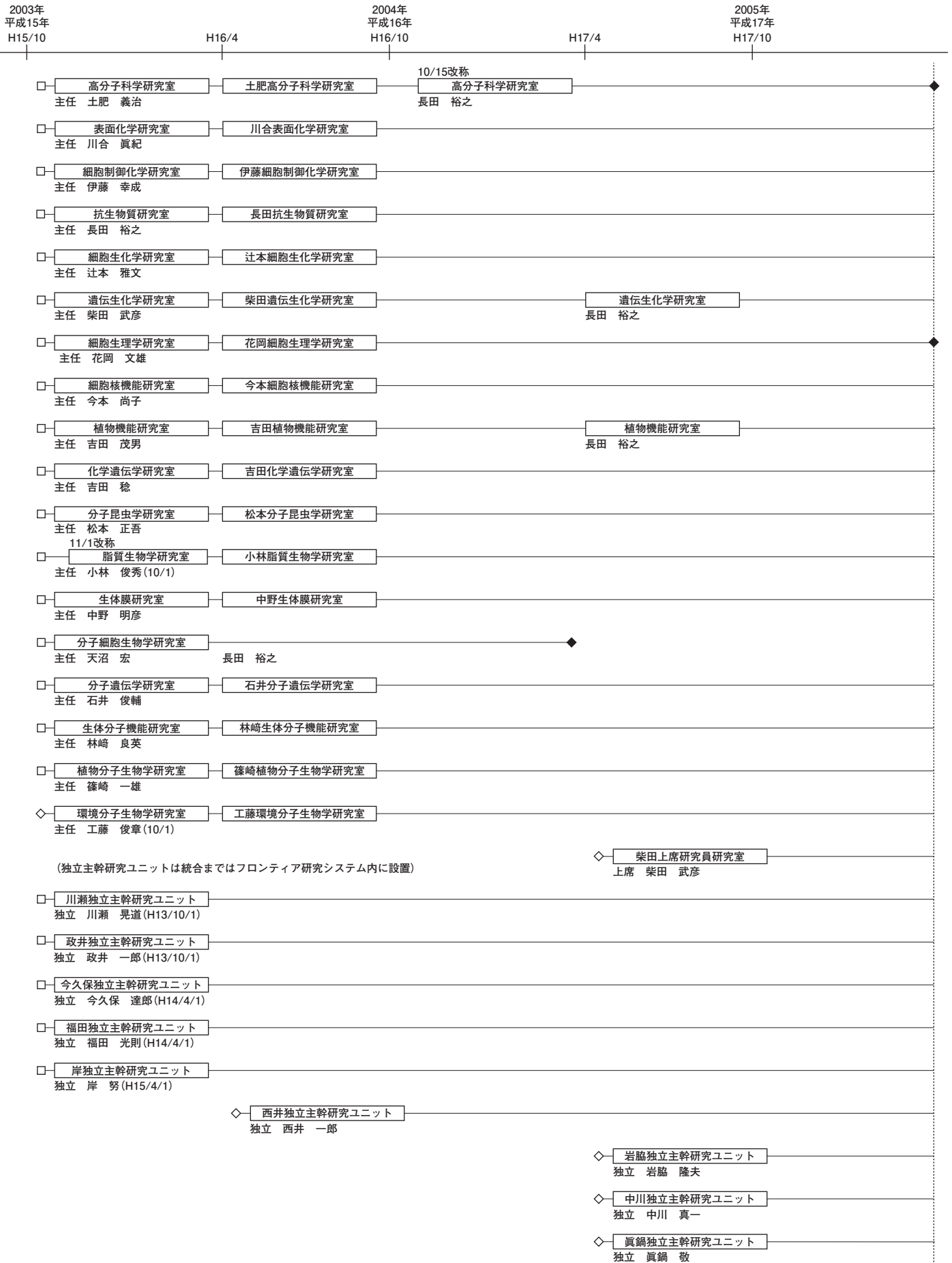


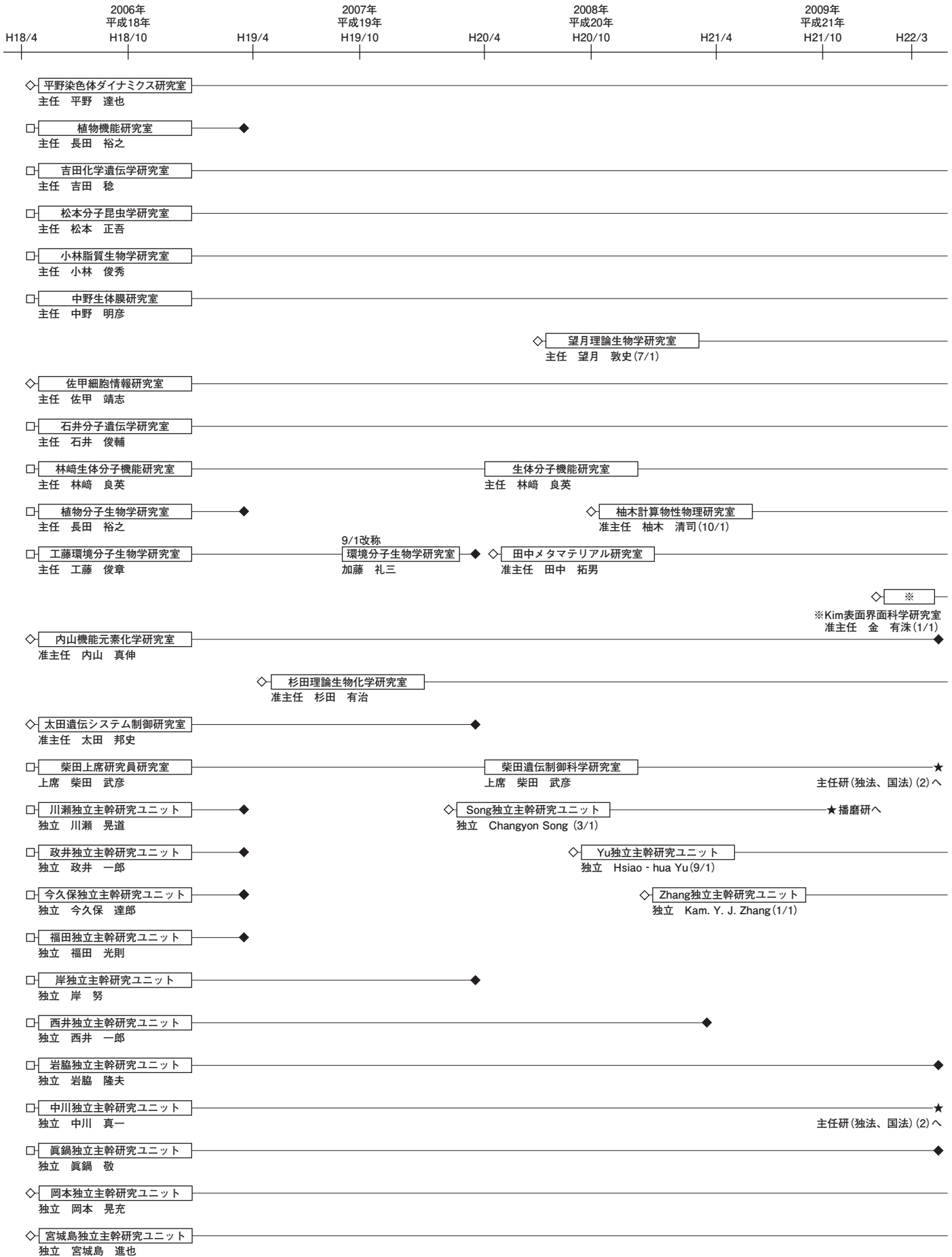


# 主任研究員研究室（独立行政法人時代）（2）



研究室の推移  
主任研究員研究室（独立行政法人時代）（2）

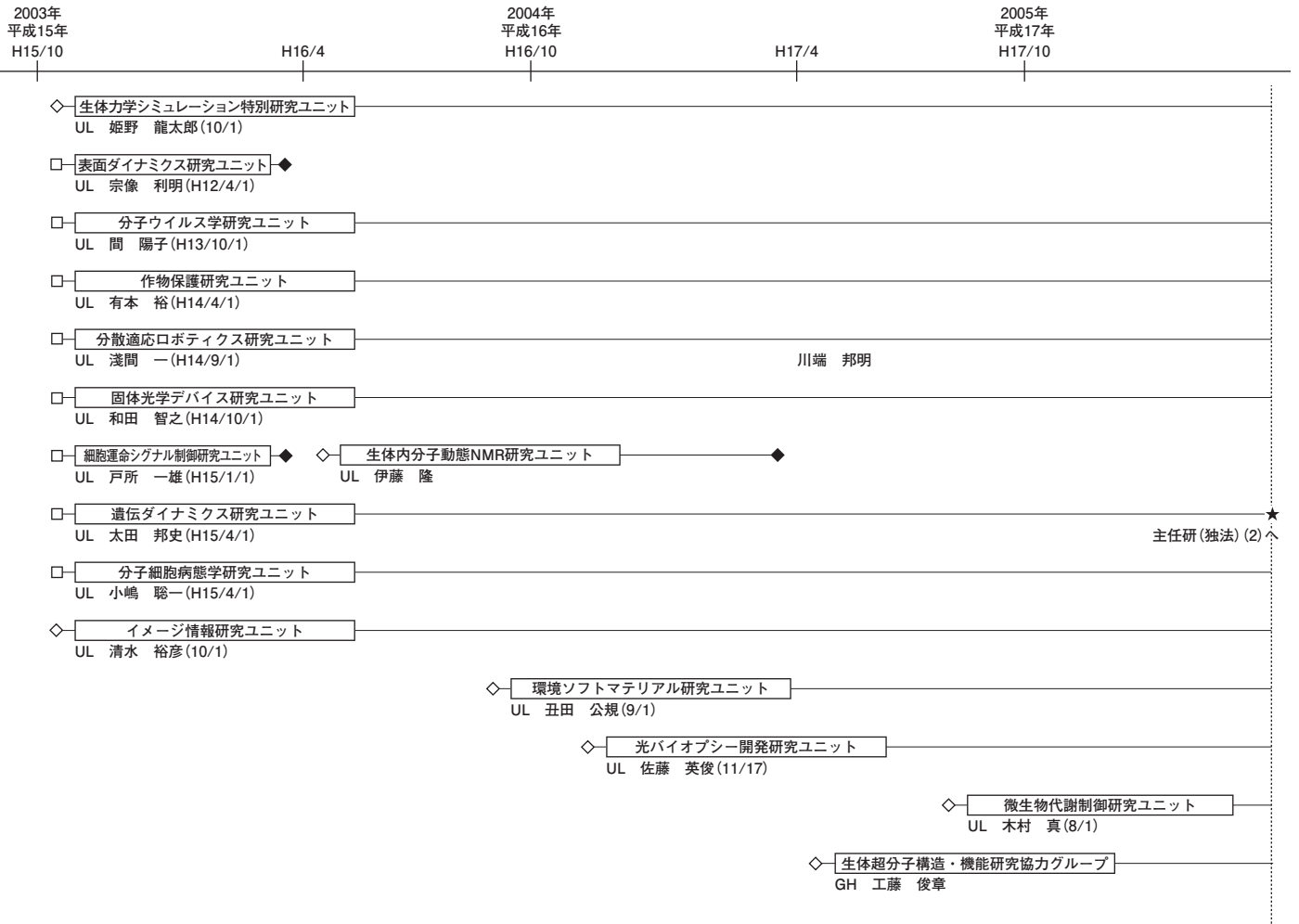




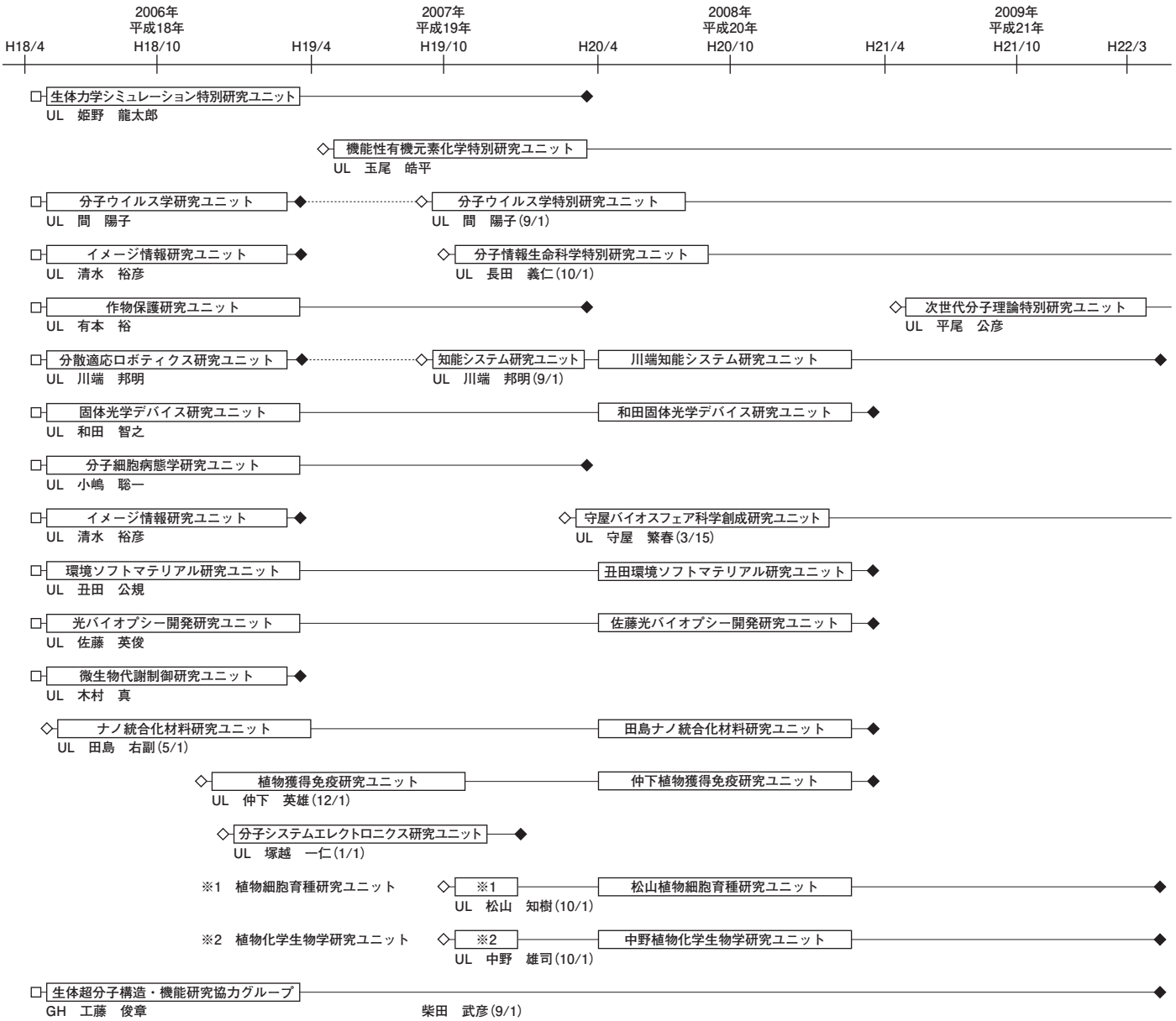
# 主任研究員研究室（独立行政法人時代）（3）



研究員の推移  
主任研究員研究室（独立行政法人時代）（3）



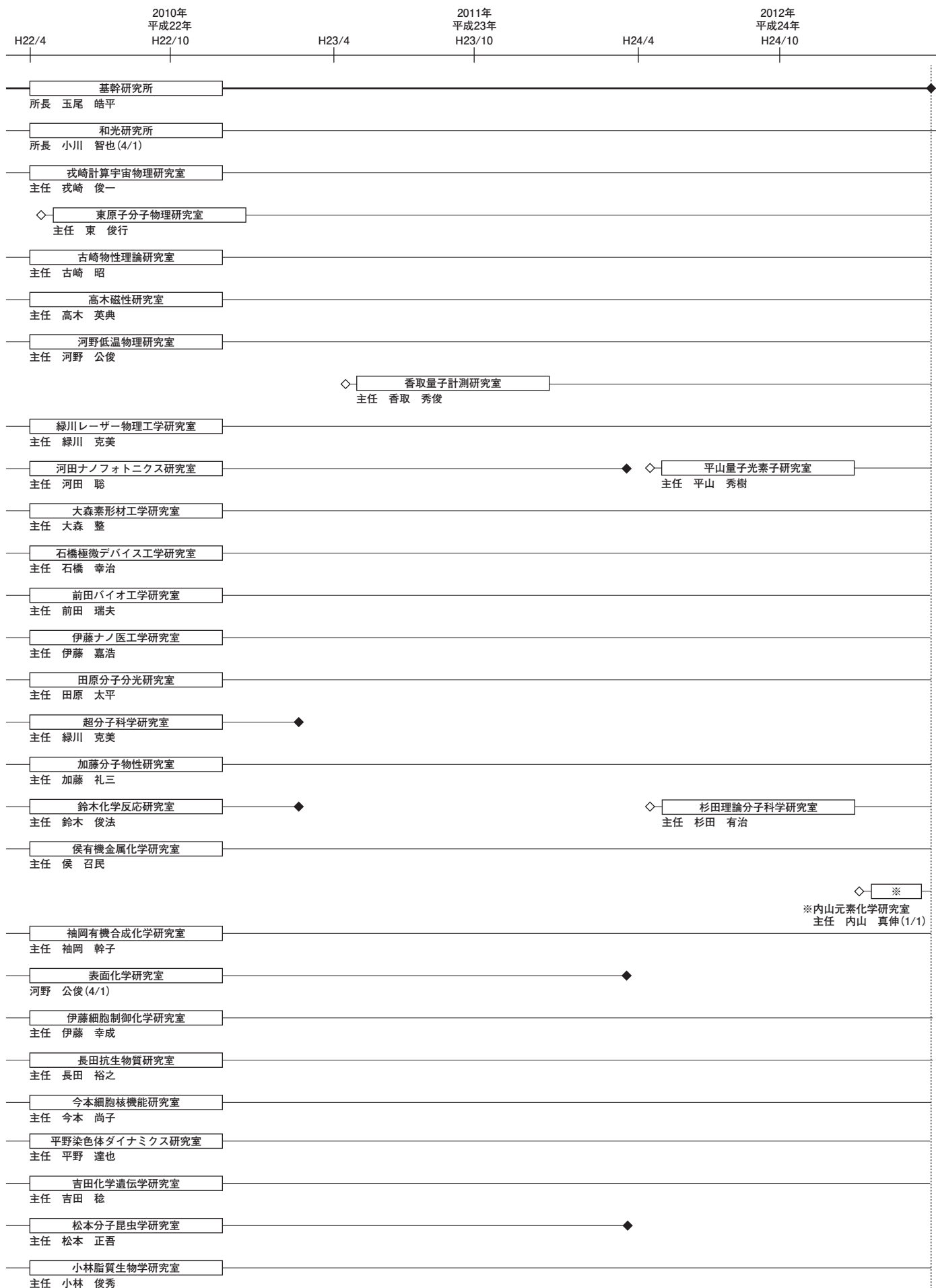


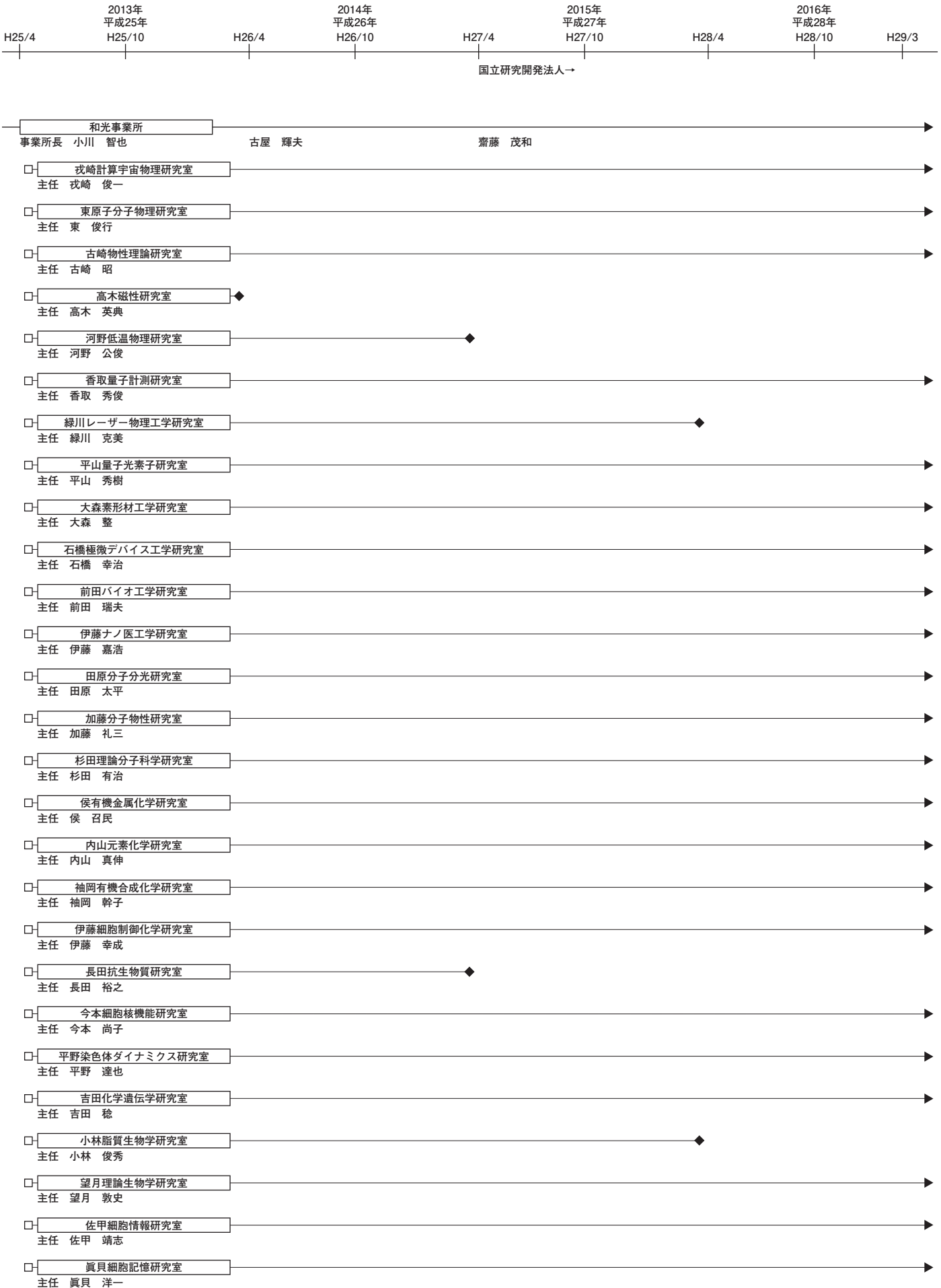


# 主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (1)



研究員の推移  
主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (1)

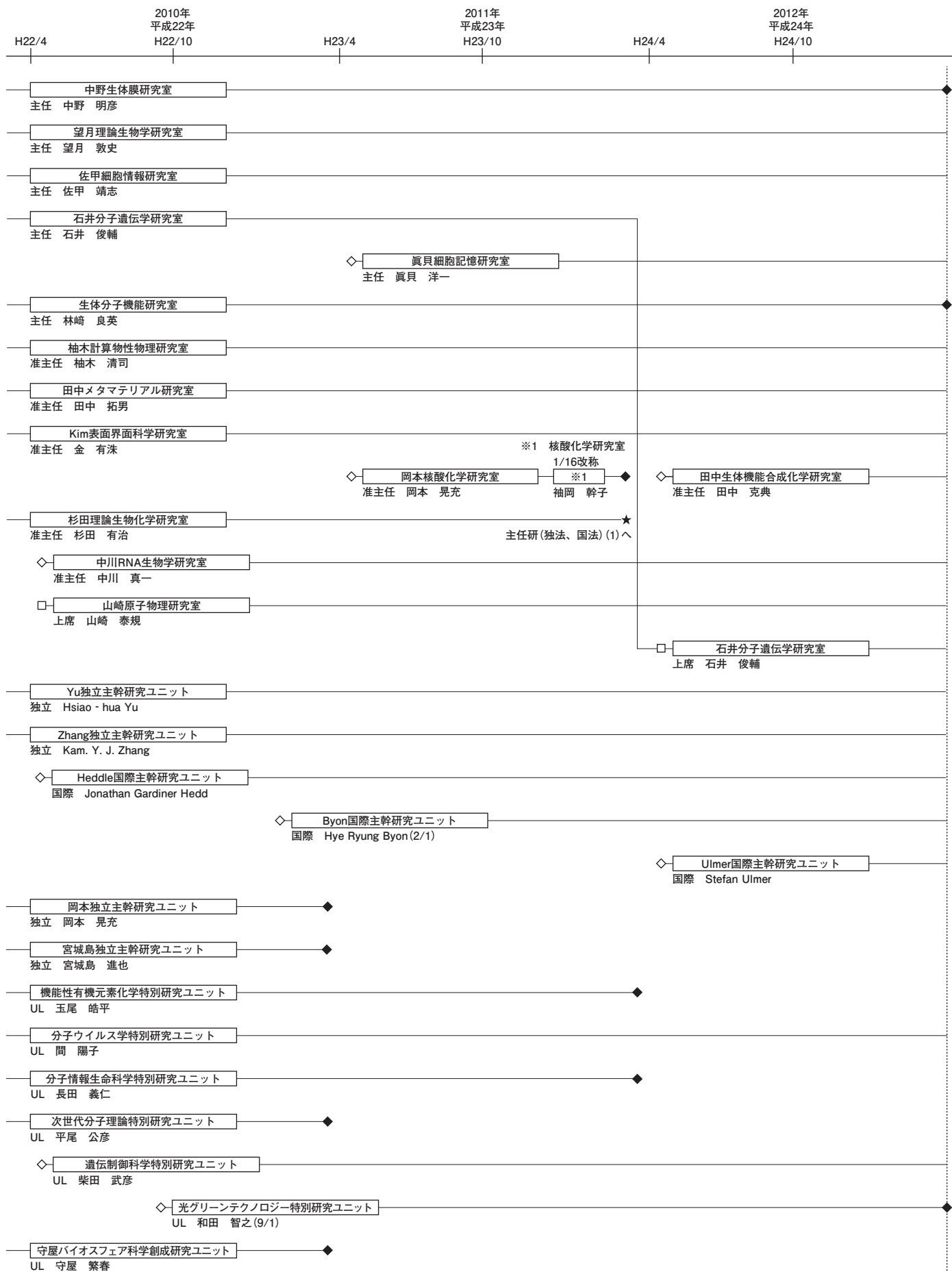


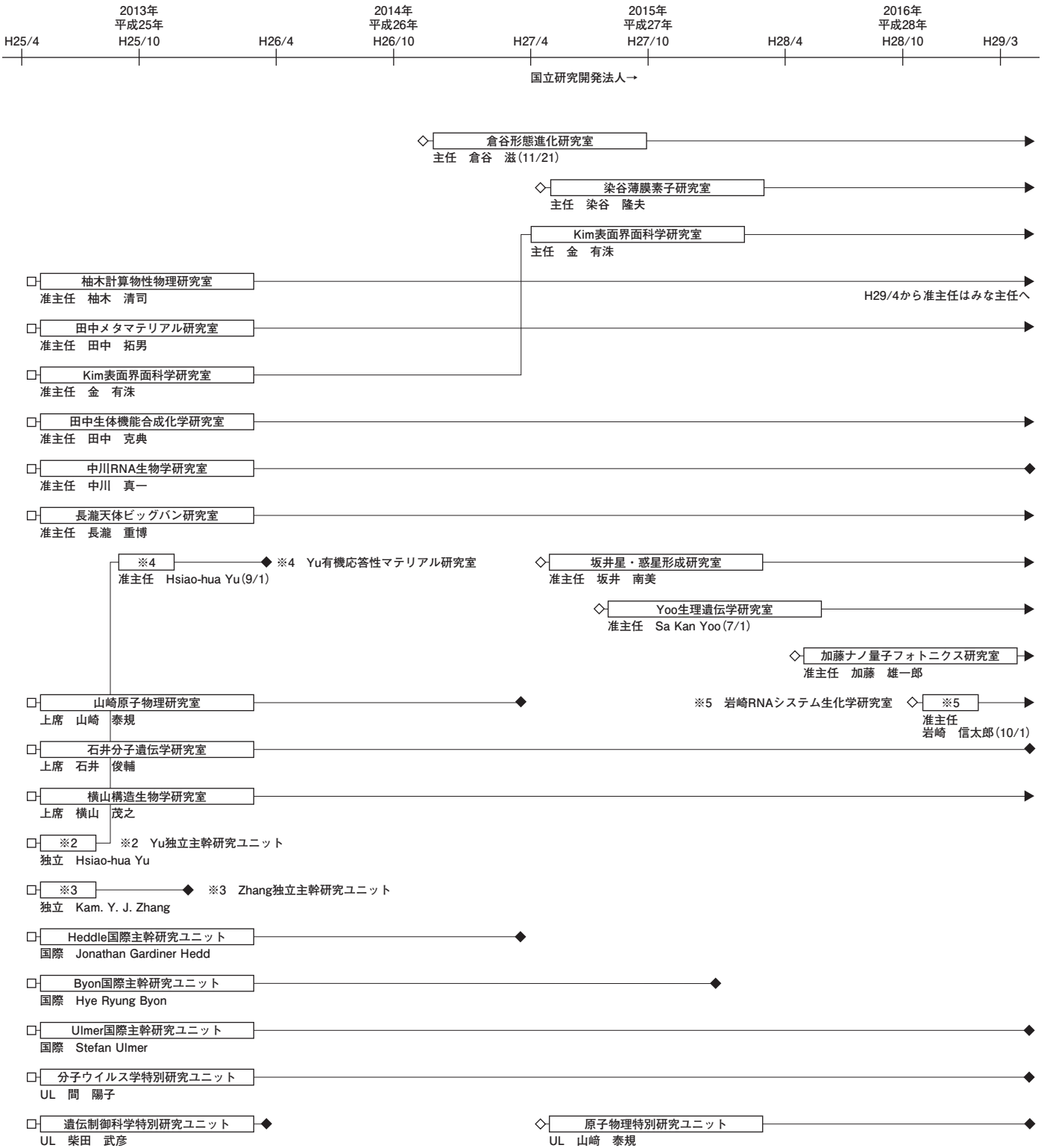


# 主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (2)



研究室の推移  
主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (2)



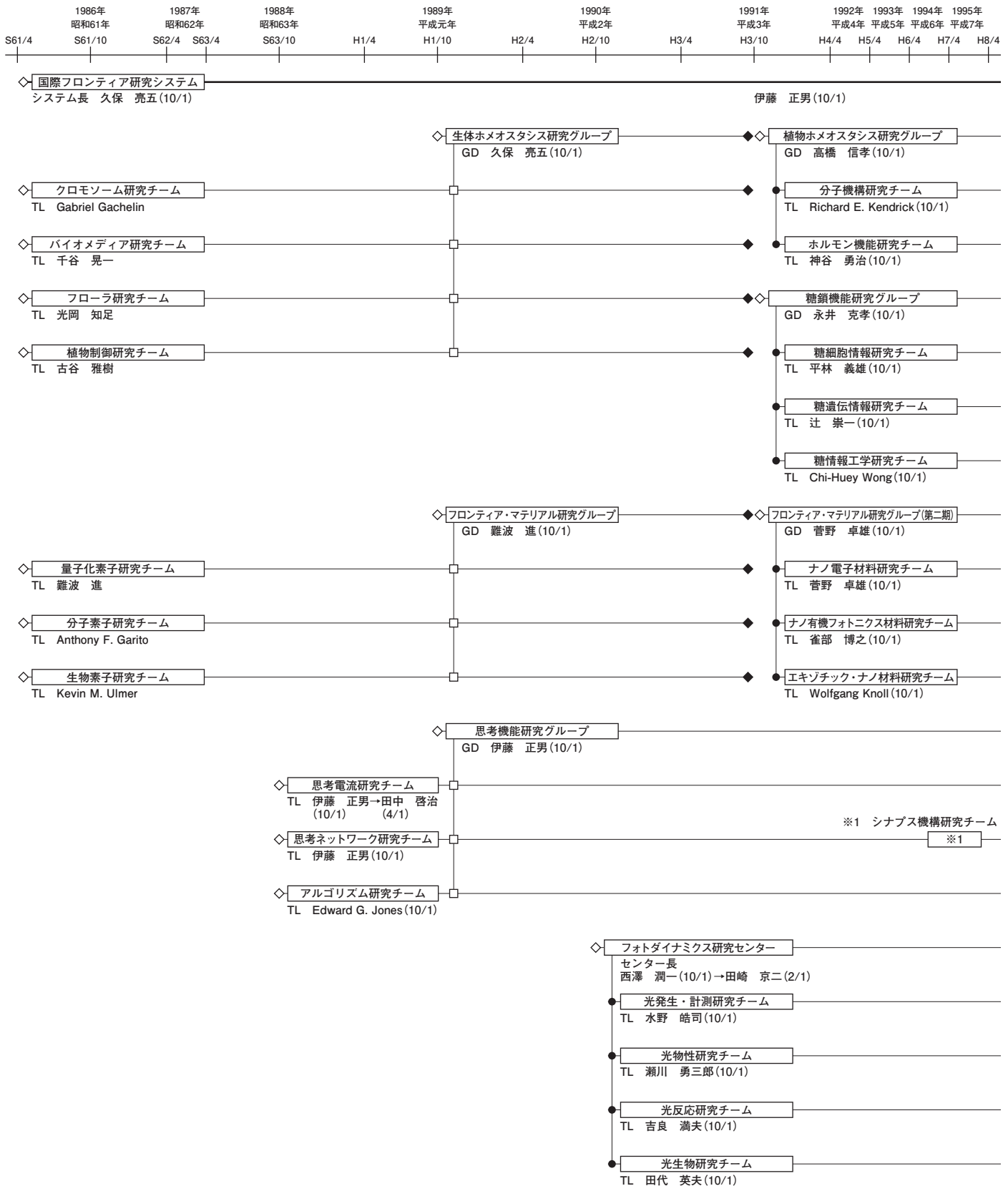


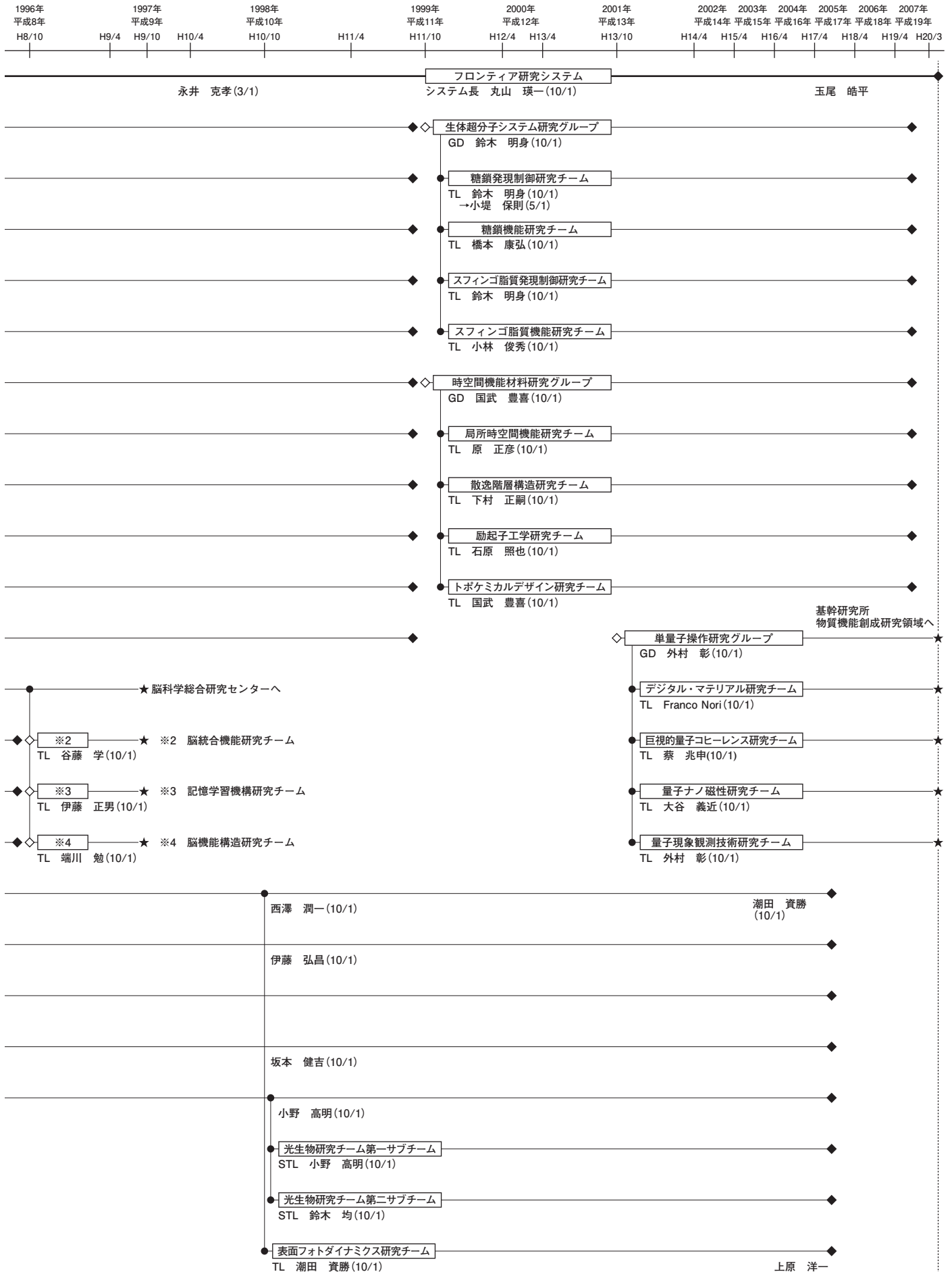
# フロンティア研究システム (1)



研究室の推移

フロンティア研究システム (1)

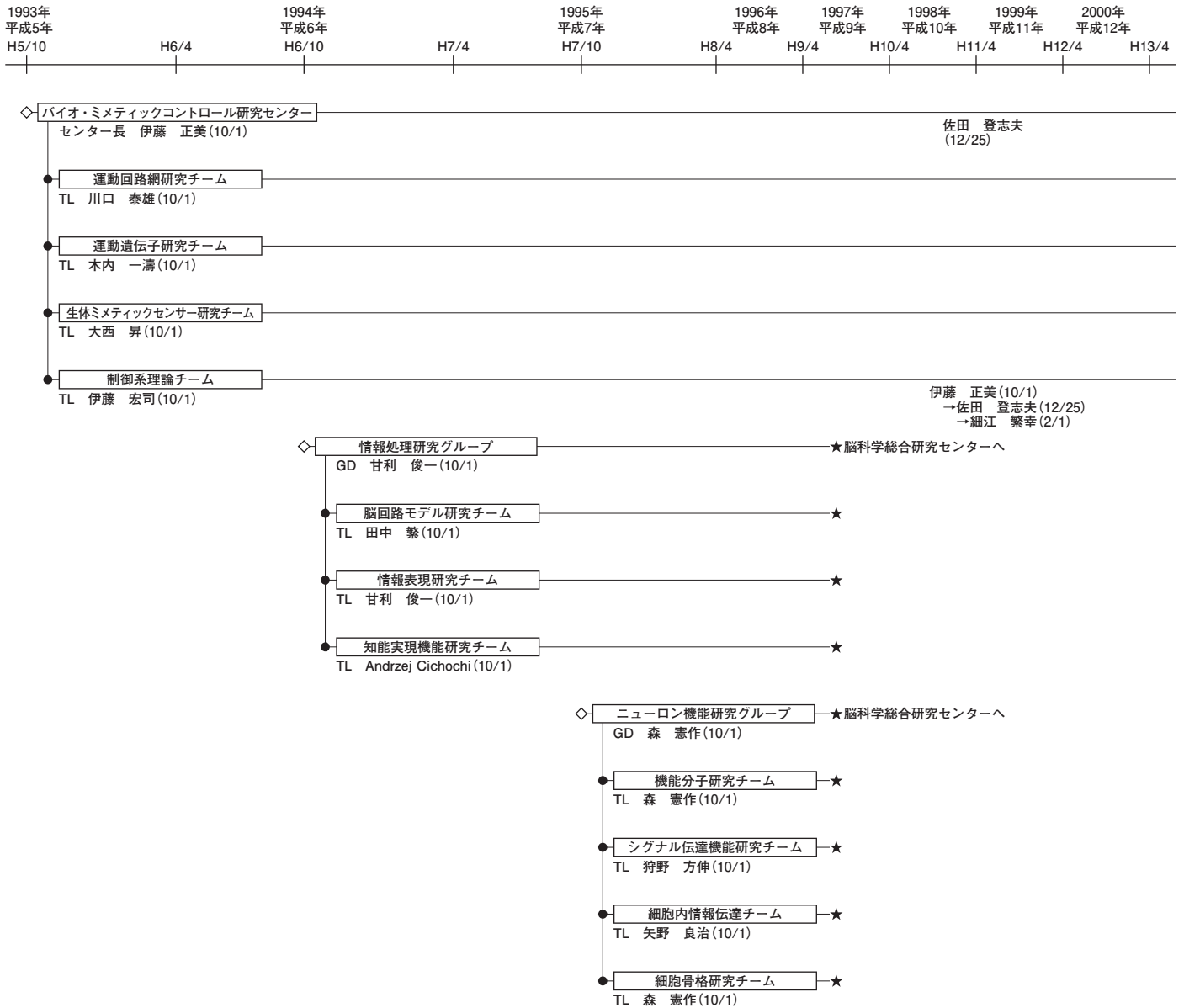




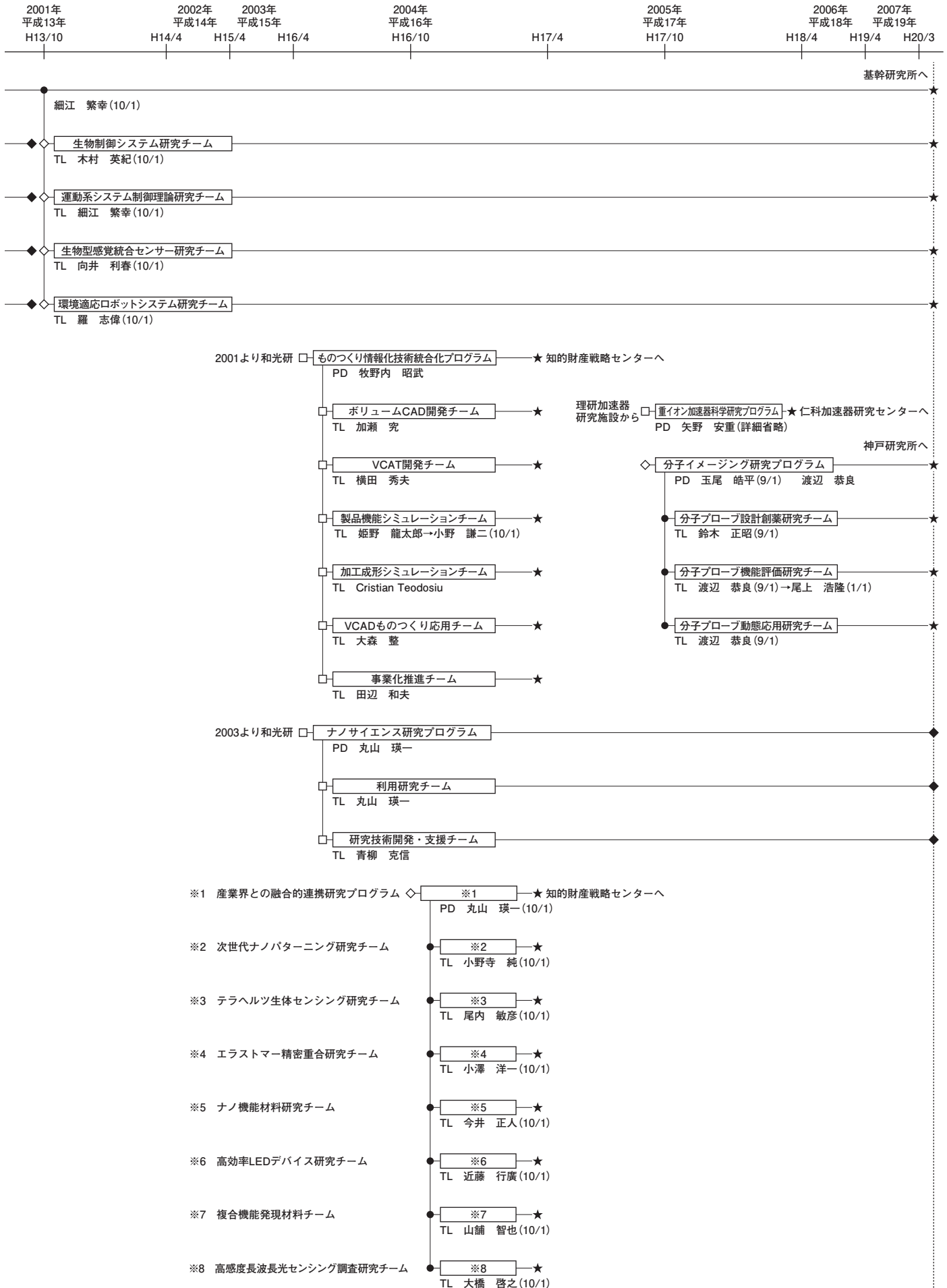
# ■ フロンティア研究システム (2)



研究室の推移  
フロンティア研究システム (2)



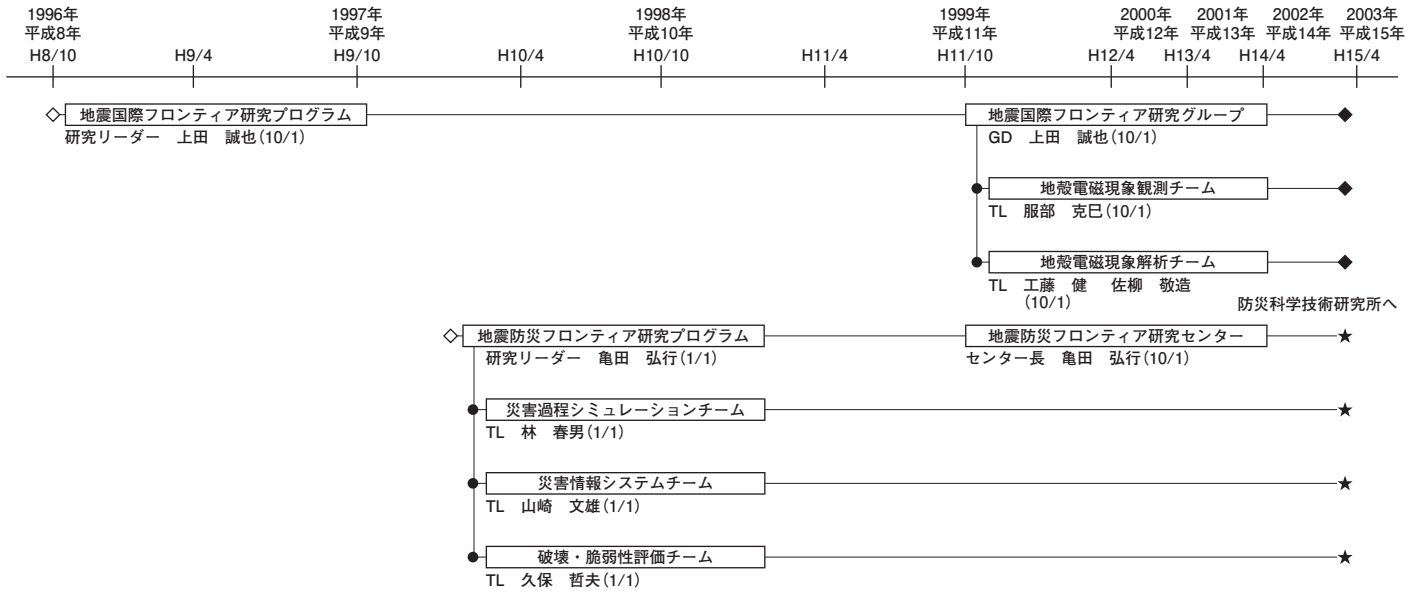


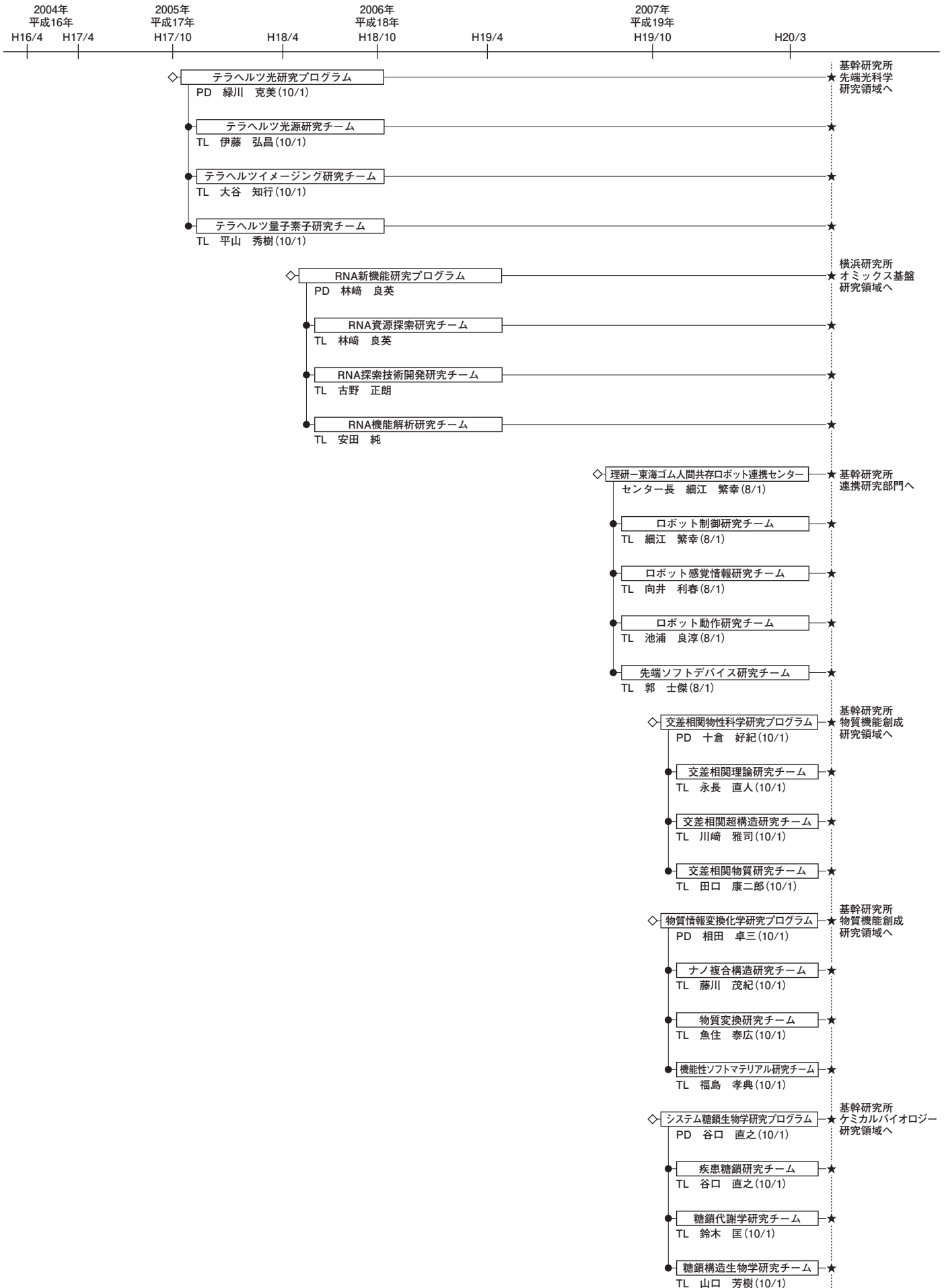


# ■ フロンティア研究システム (3)



研究室の推移  
フロンティア研究システム  
(3)

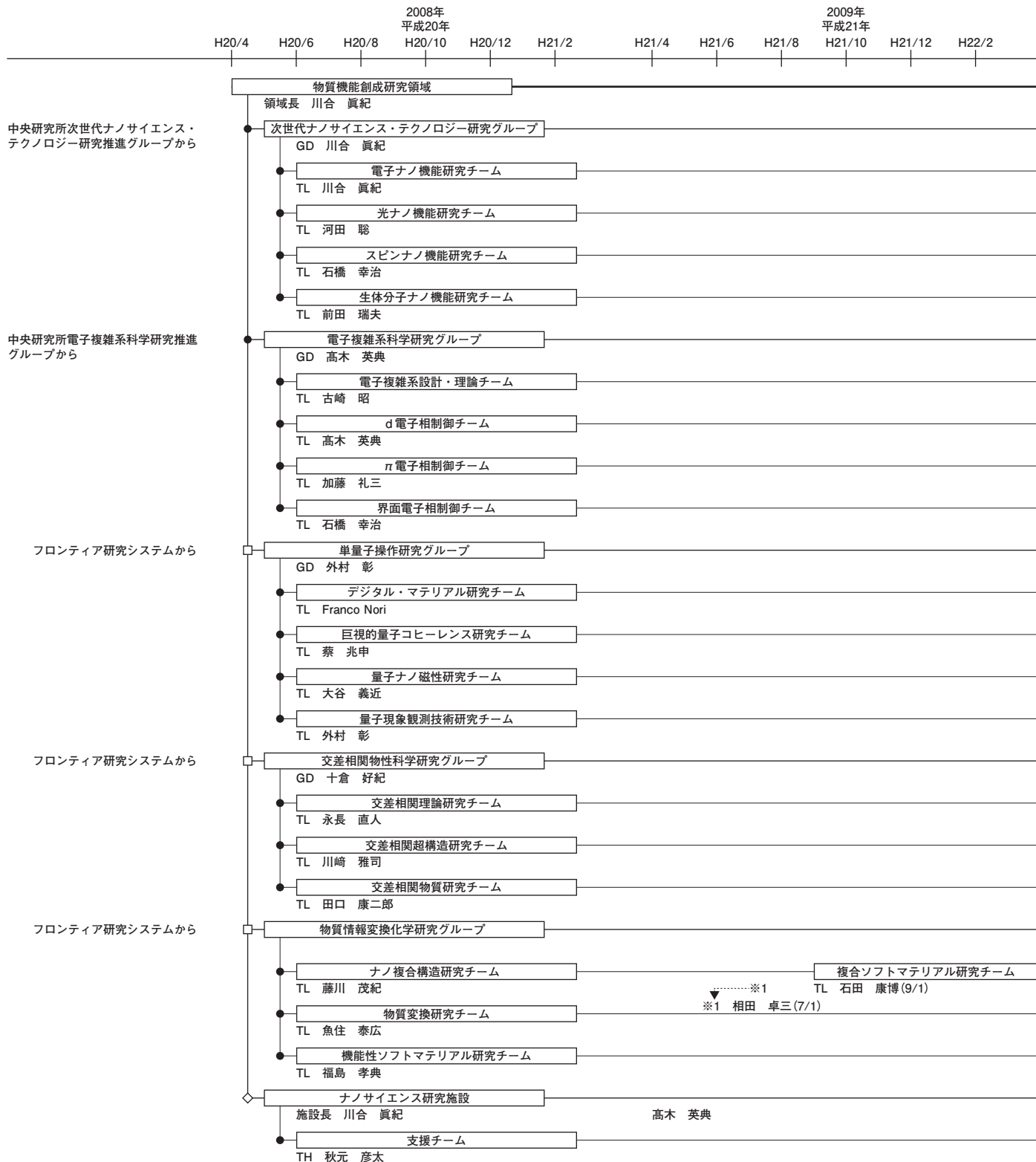




# 物質機能創成研究領域



研究室の推移  
物質機能創成研究領域





# ■ 先端光科学研究領域、グリーン未来物質創成研究領域、強相関量子科学研究グループ

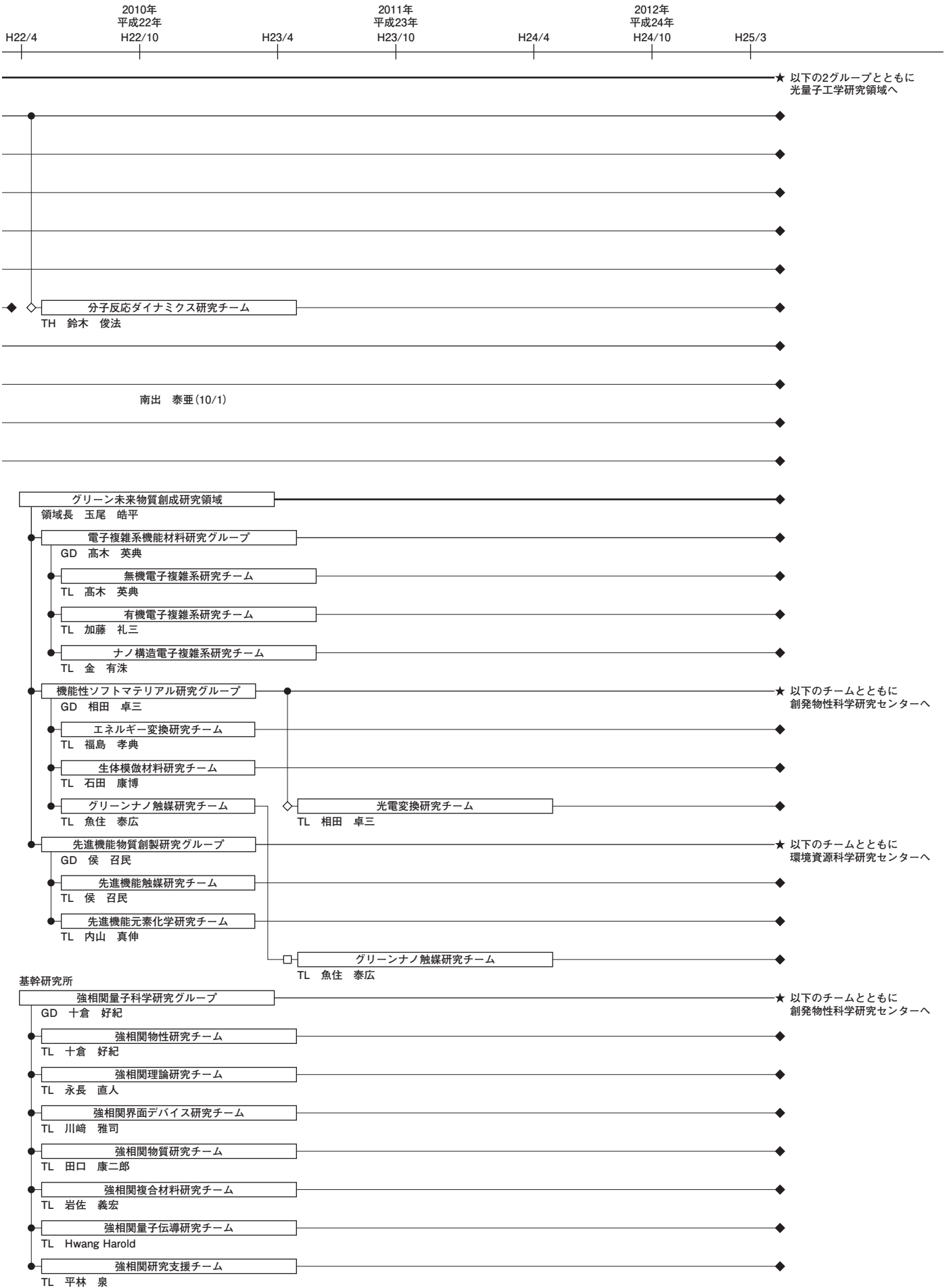


研究室の推移

先端光科学研究領域、グリーン未来物質創成研究領域

強相関量子科学研究グループ

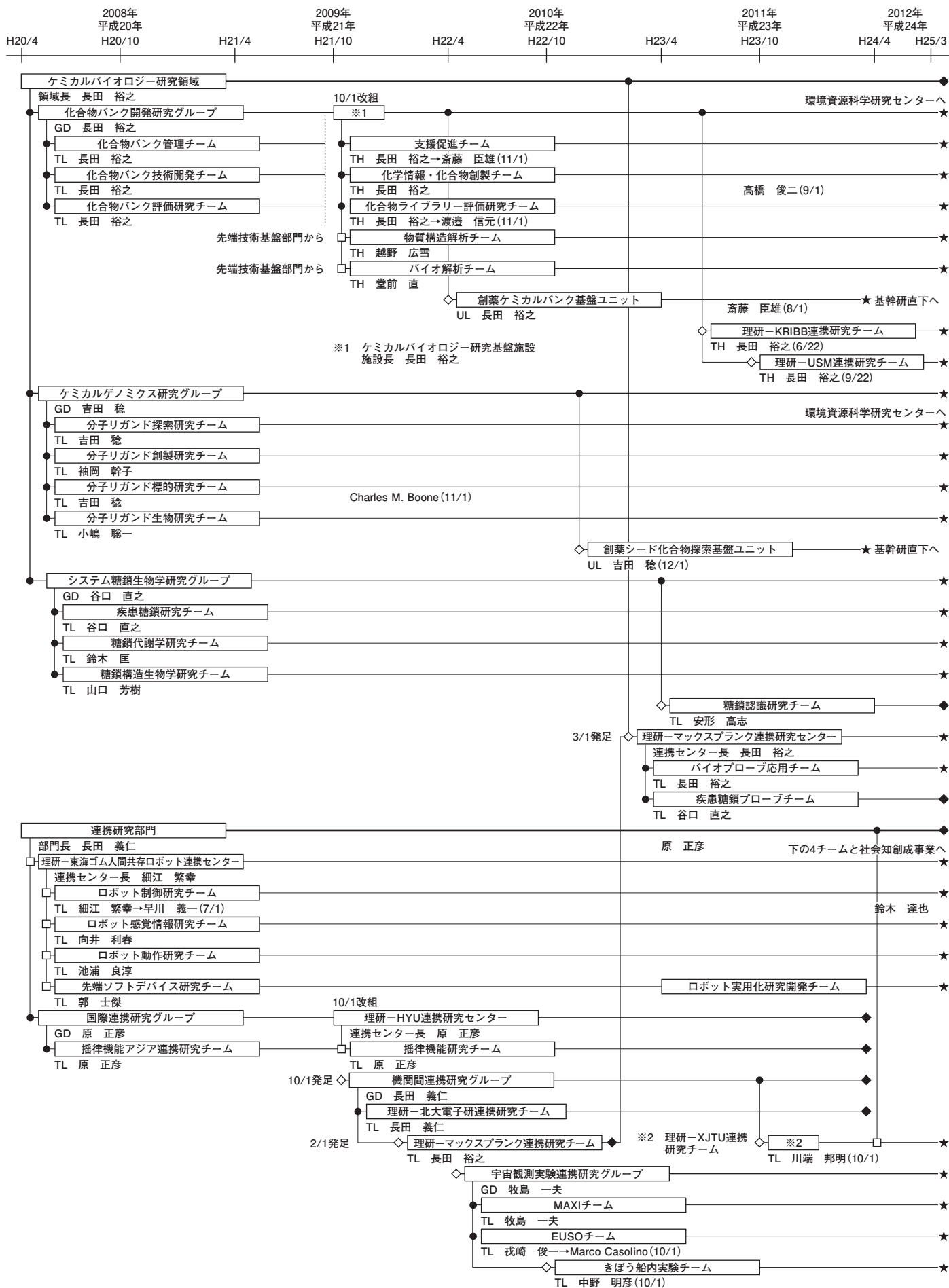




# ケミカルバイオロジー研究領域、連携研究部門



研究室の推移  
ケミカルバイオロジー研究領域、連携研究部門

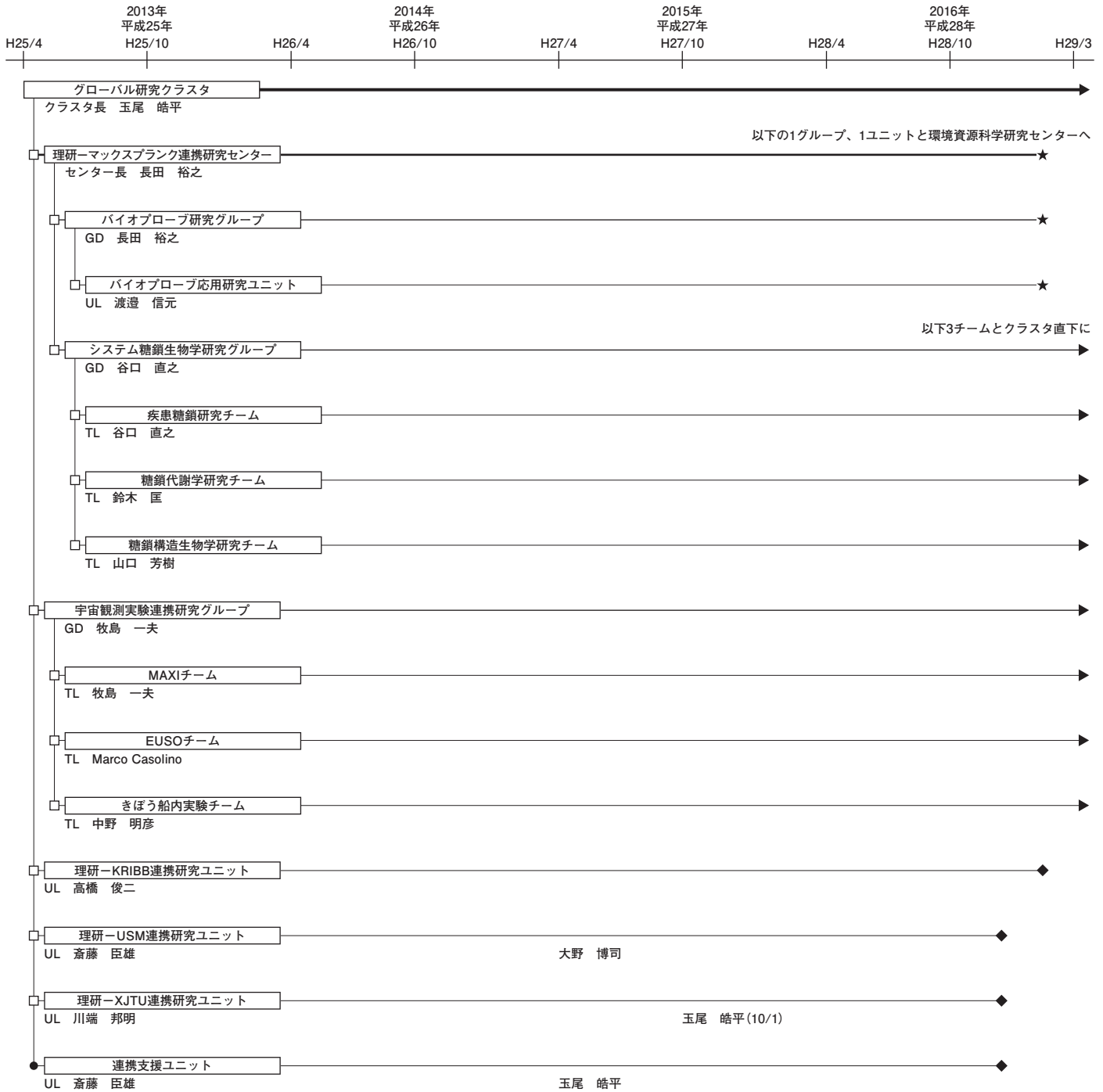




# ■ グローバル研究クラスタ



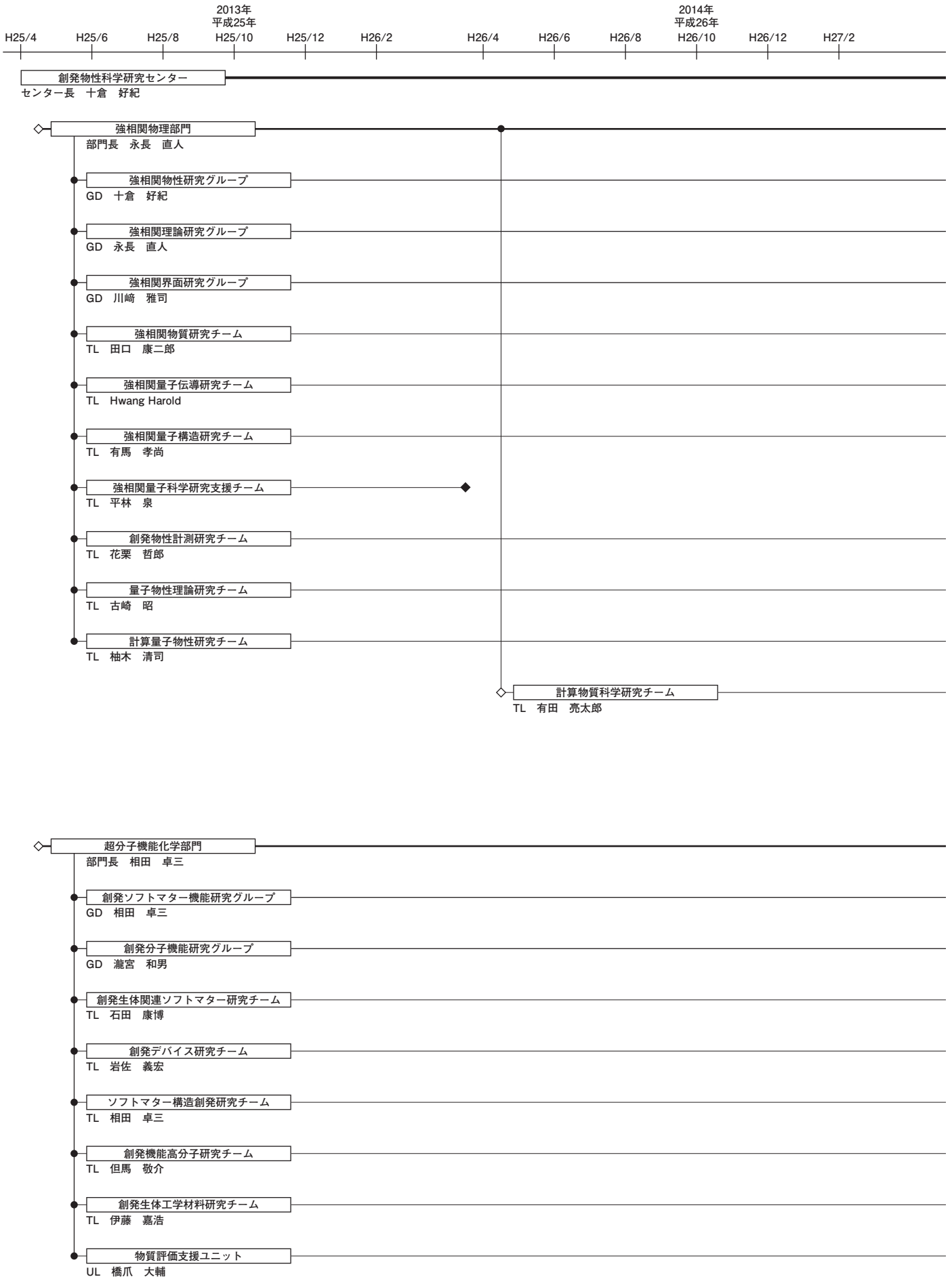
研究室の推移  
グローバル研究クラスタ



# 創発物性科学研究センター (1)



研究室の推移  
創発物性科学研究センター (1)

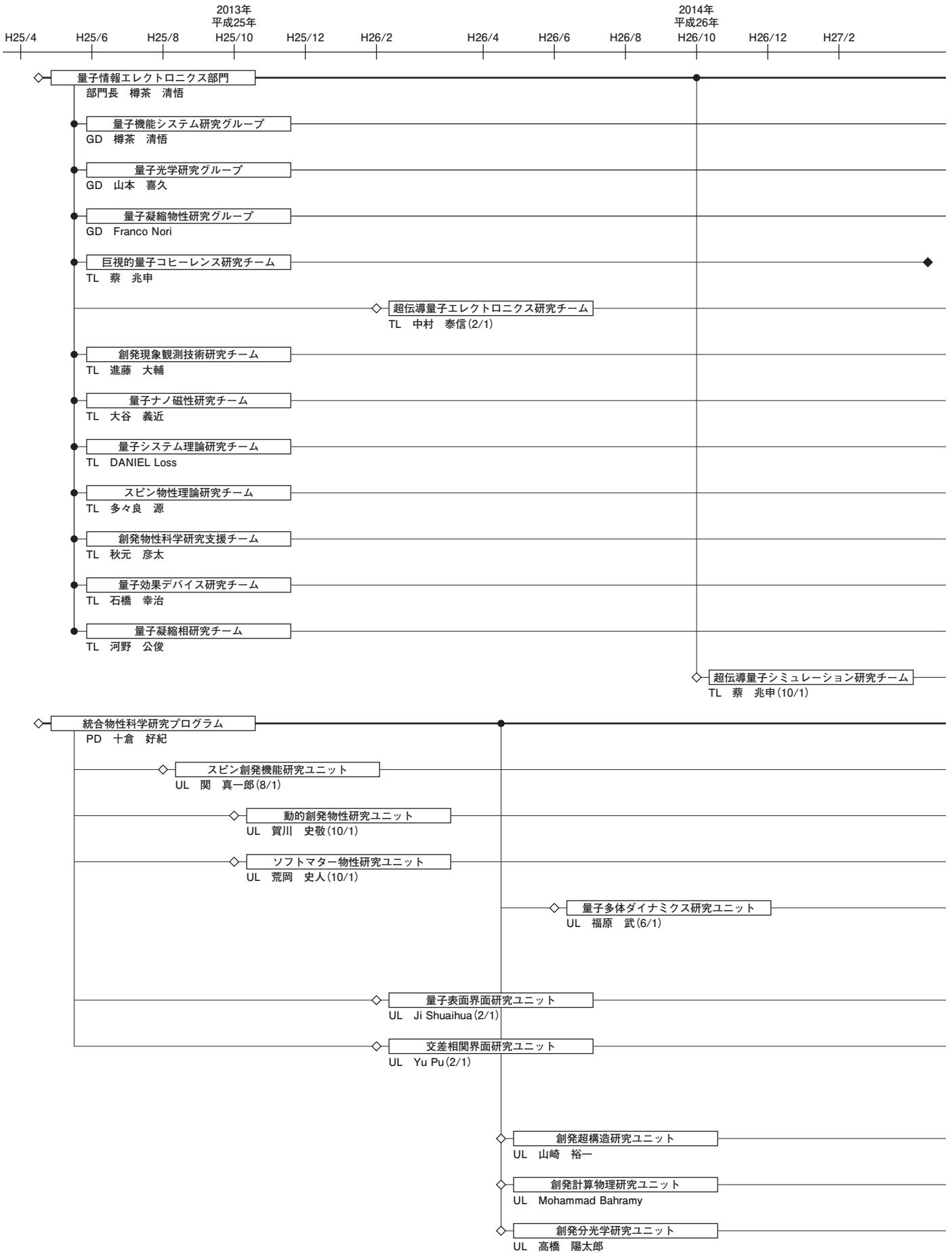




# 創発物性科学研究センター (2)

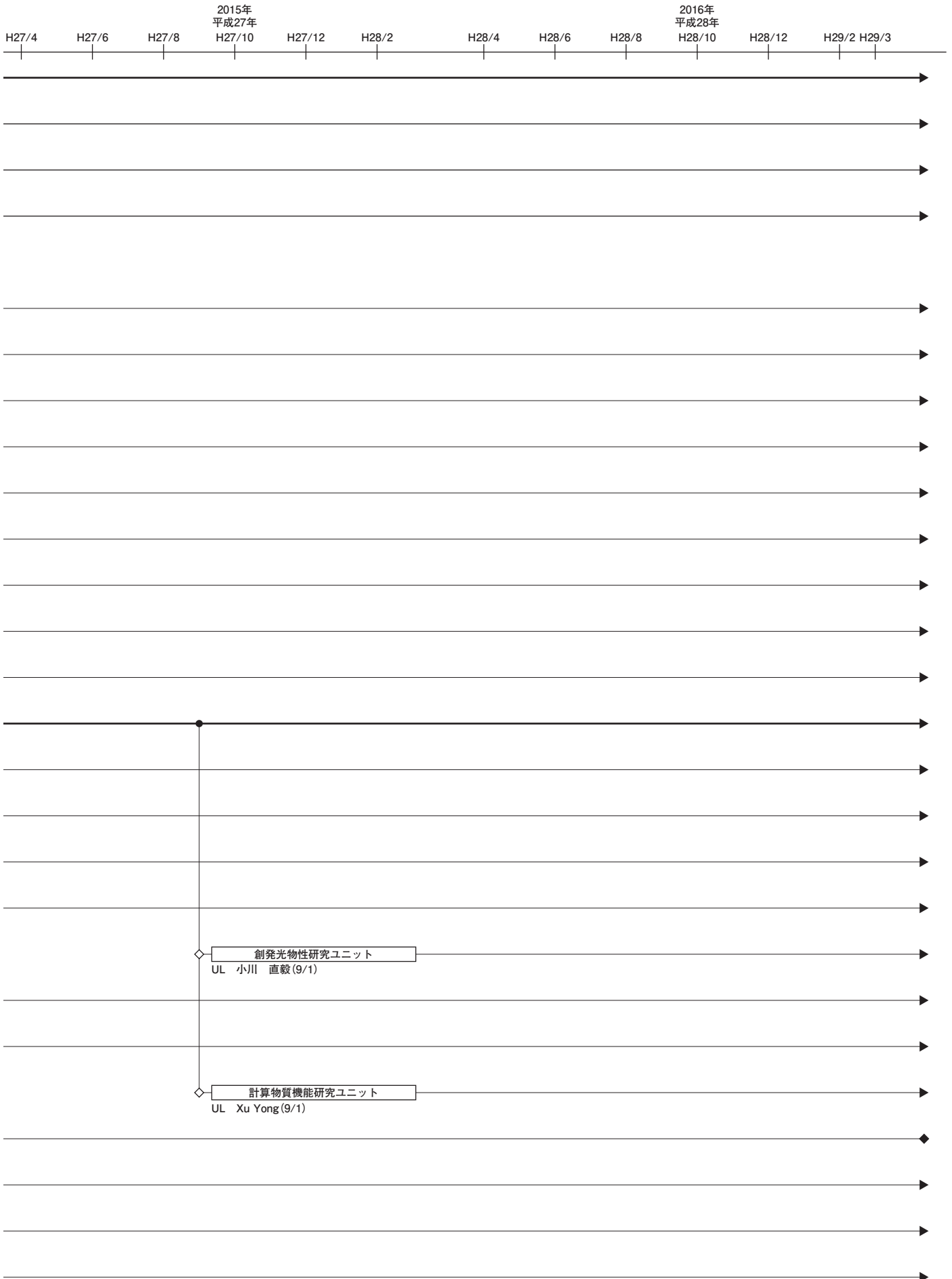


研究室の推移  
創発物性科学研究センター (2)



創発物性科学研究推進室  
 室長代理 反町 耕記

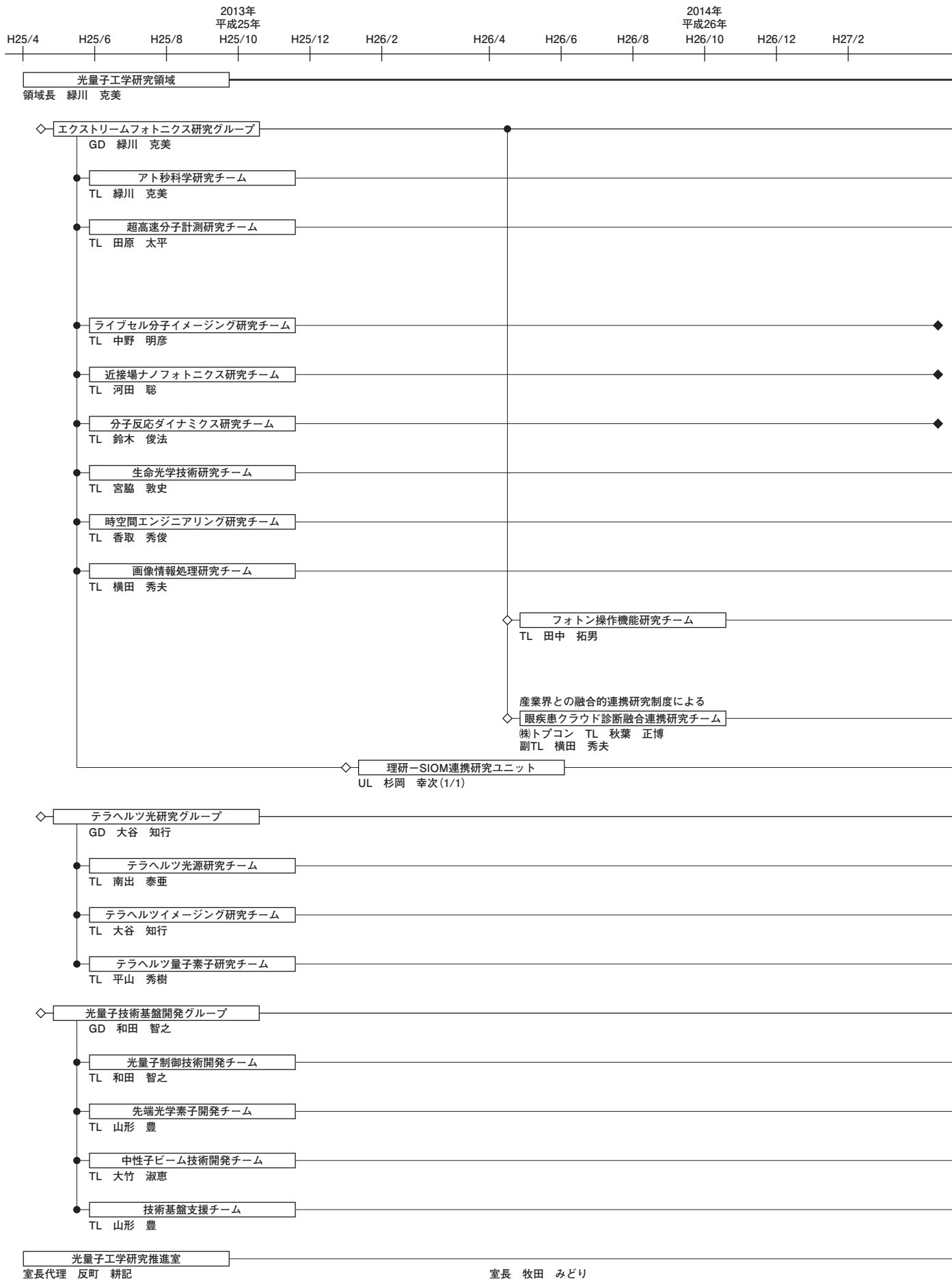
室長 牧田 みどり

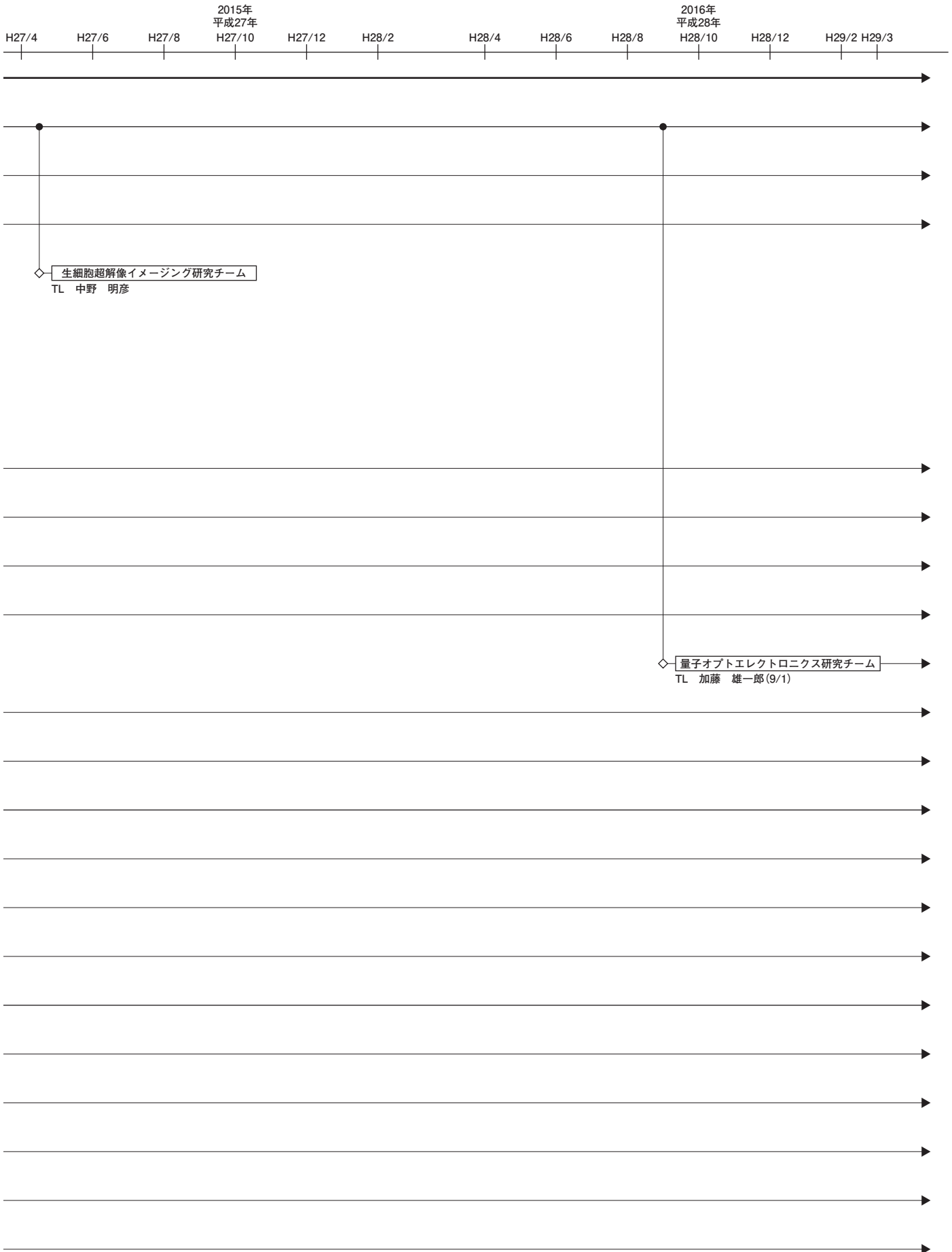


# 光量子工学研究領域



研究室の推移  
光量子工学研究領域

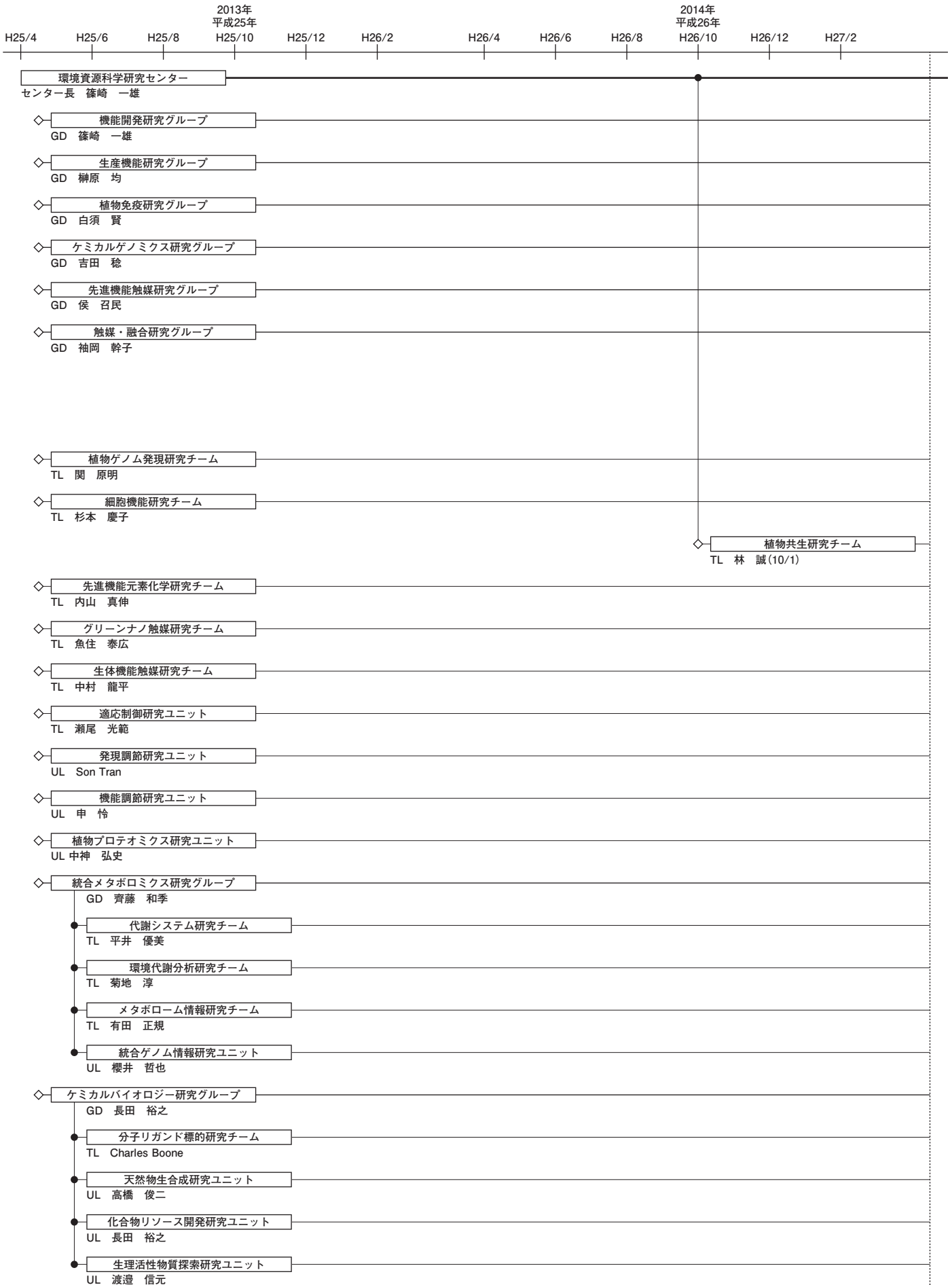




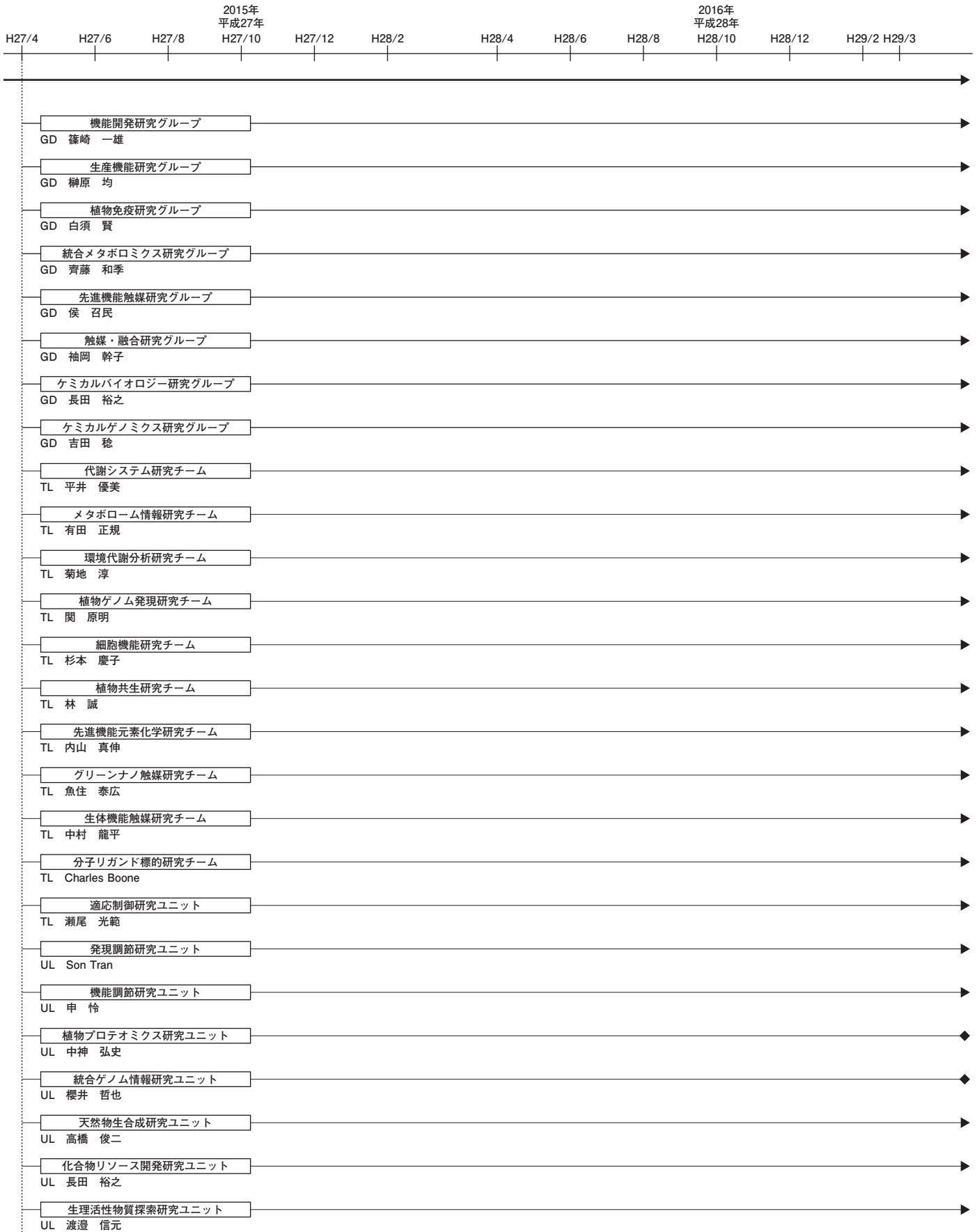
# 環境資源科学研究センター (1)



研究室の推移  
環境資源科学研究センター (1)





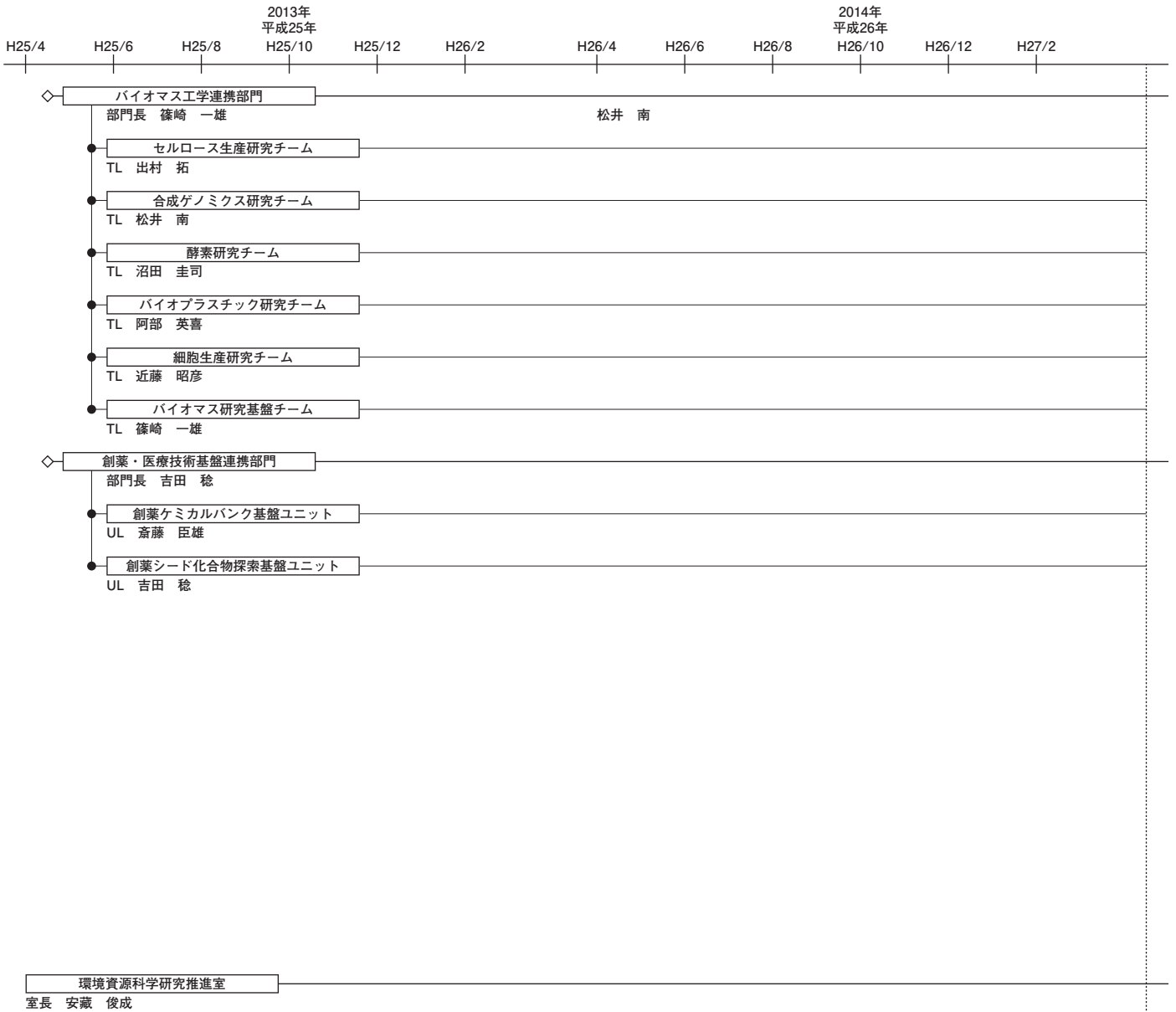


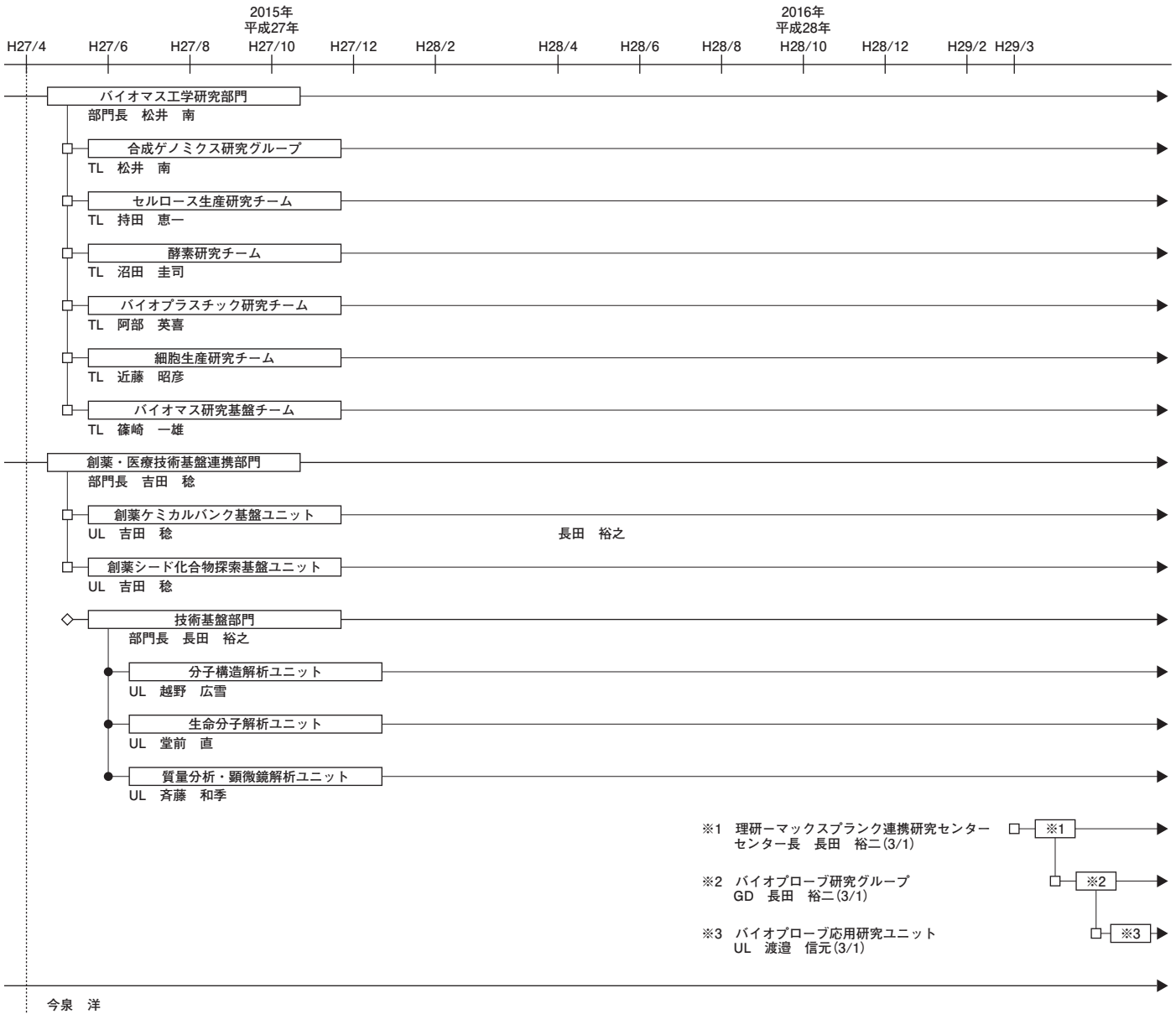
※理研-KRIBB連携研究ユニット □ ※  
 UL 高橋 俊二(3/1)

# 環境資源科学研究センター (2)



研究室の推移  
環境資源科学研究センター (2)



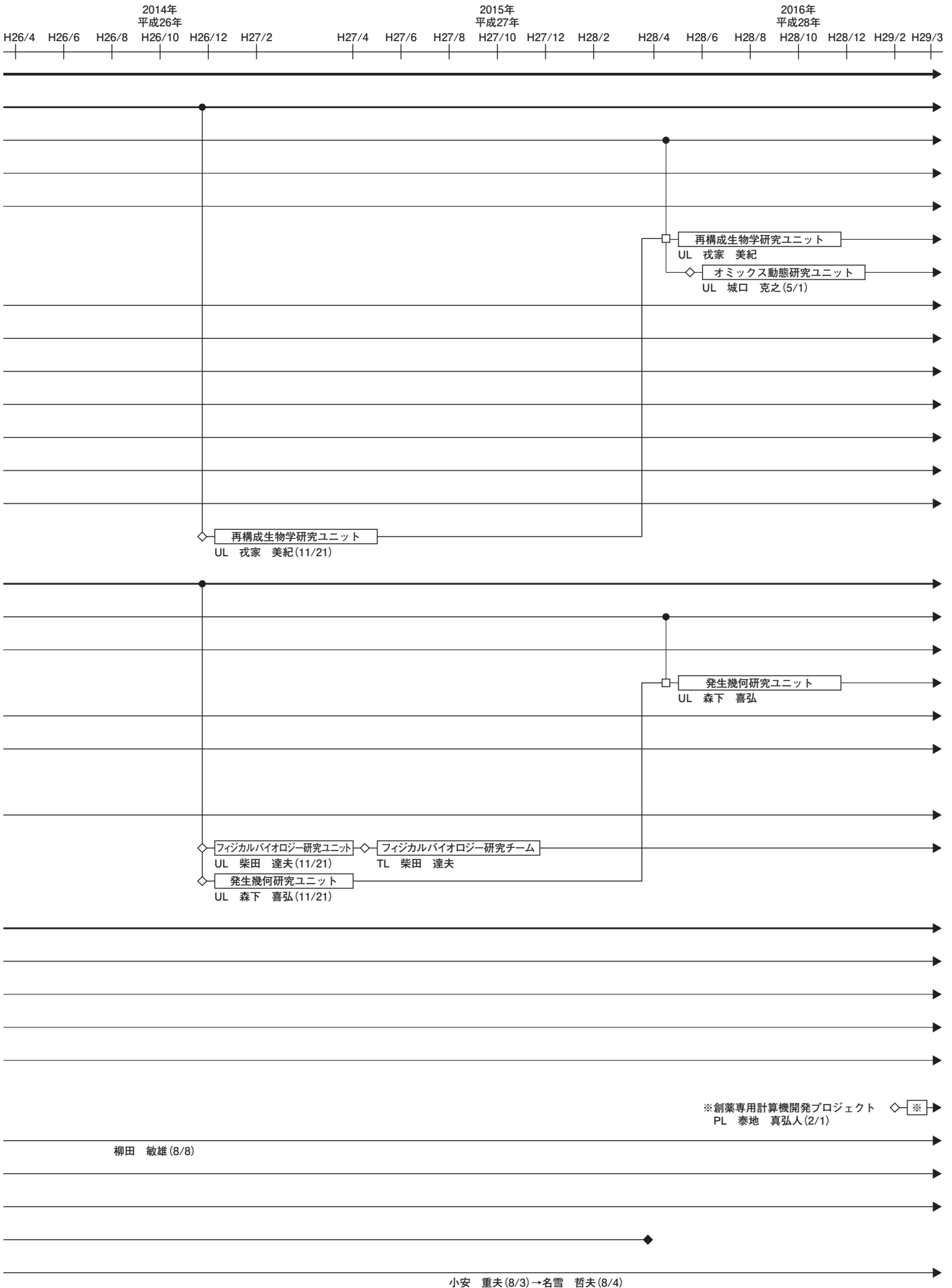


# 生命システム研究センター



研究室の推移  
生命システム研究センター



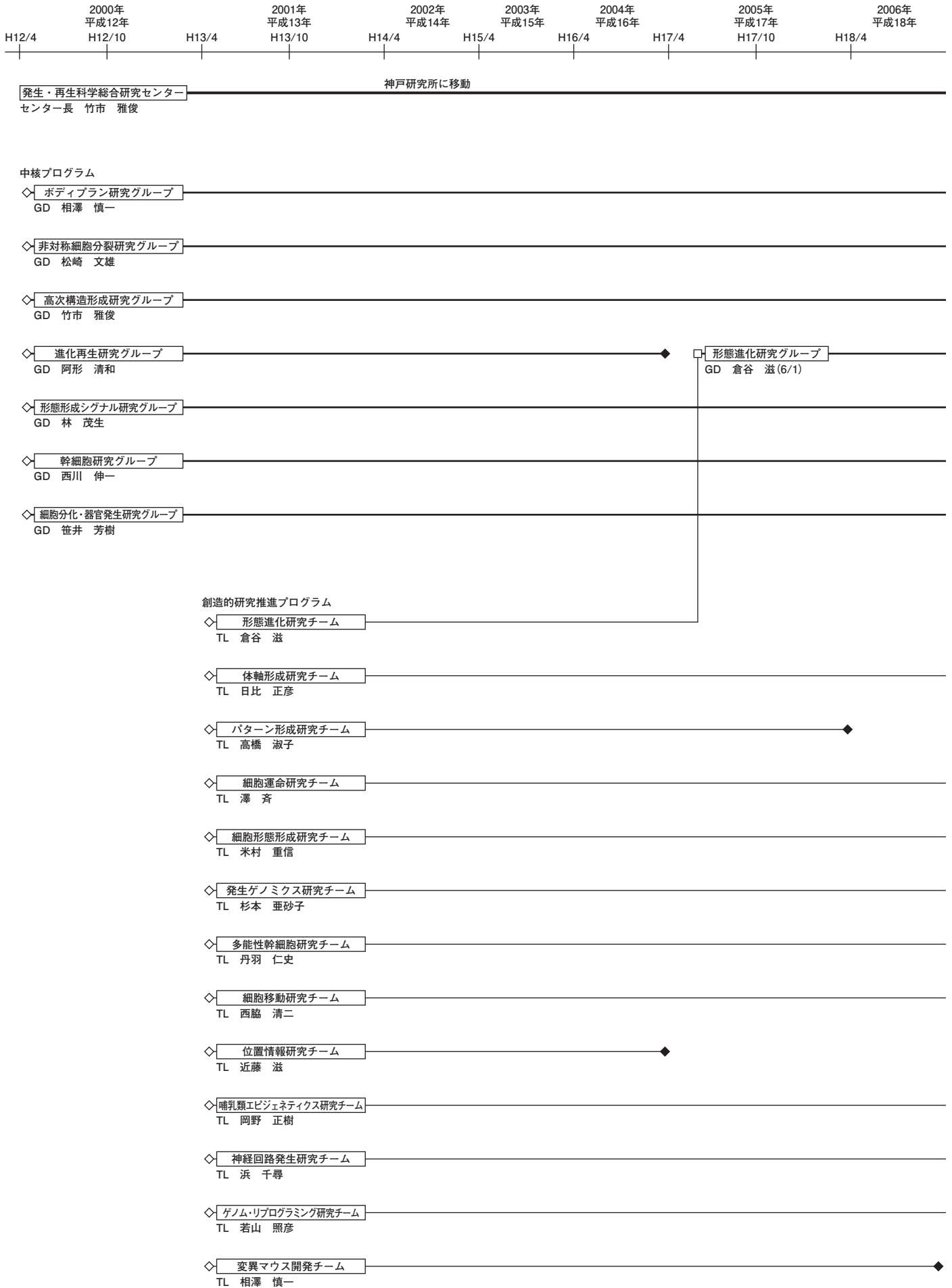


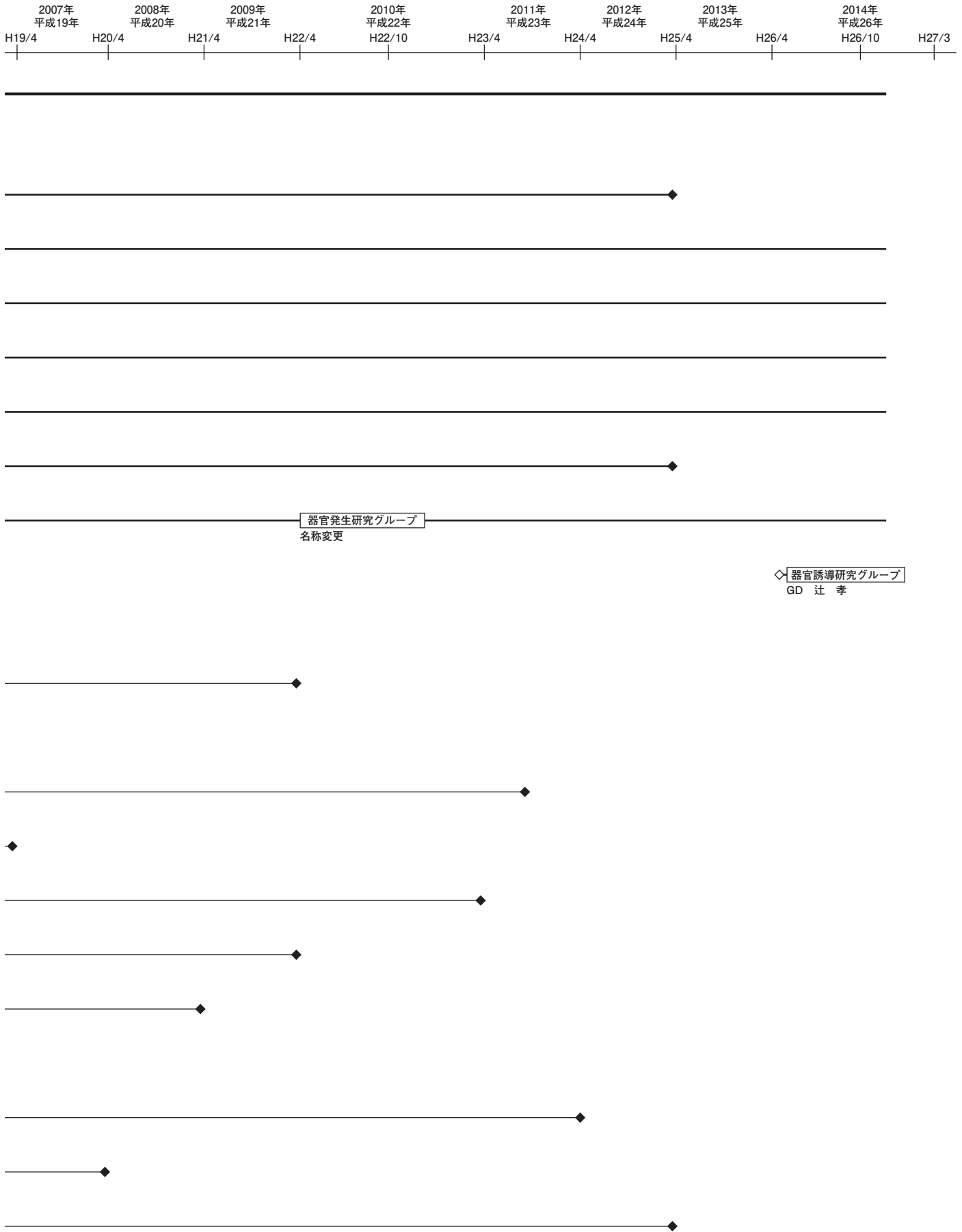
# 発生・再生科学総合研究センター (1)



研究室の推移

発生・再生科学総合研究センター (1)

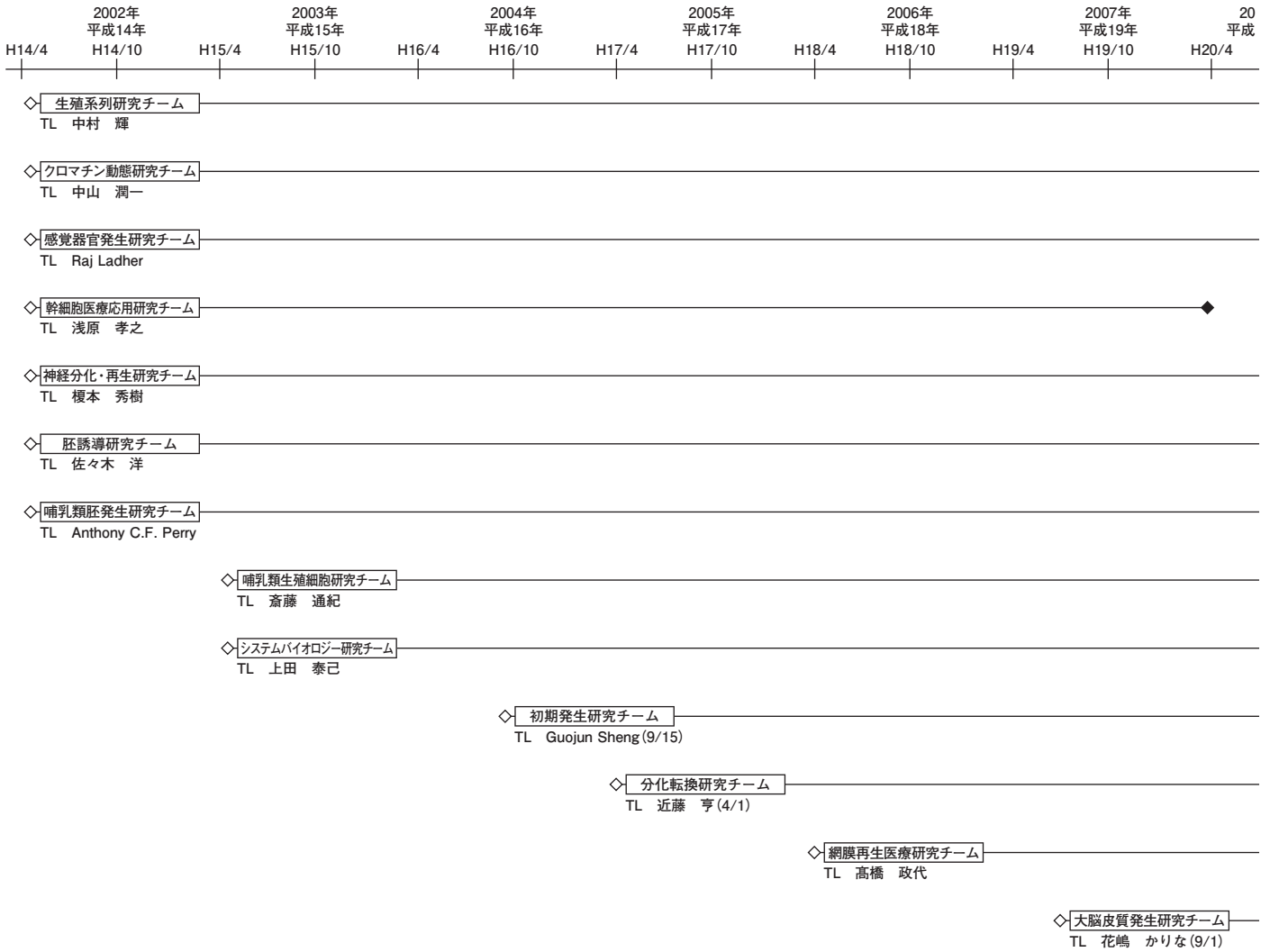




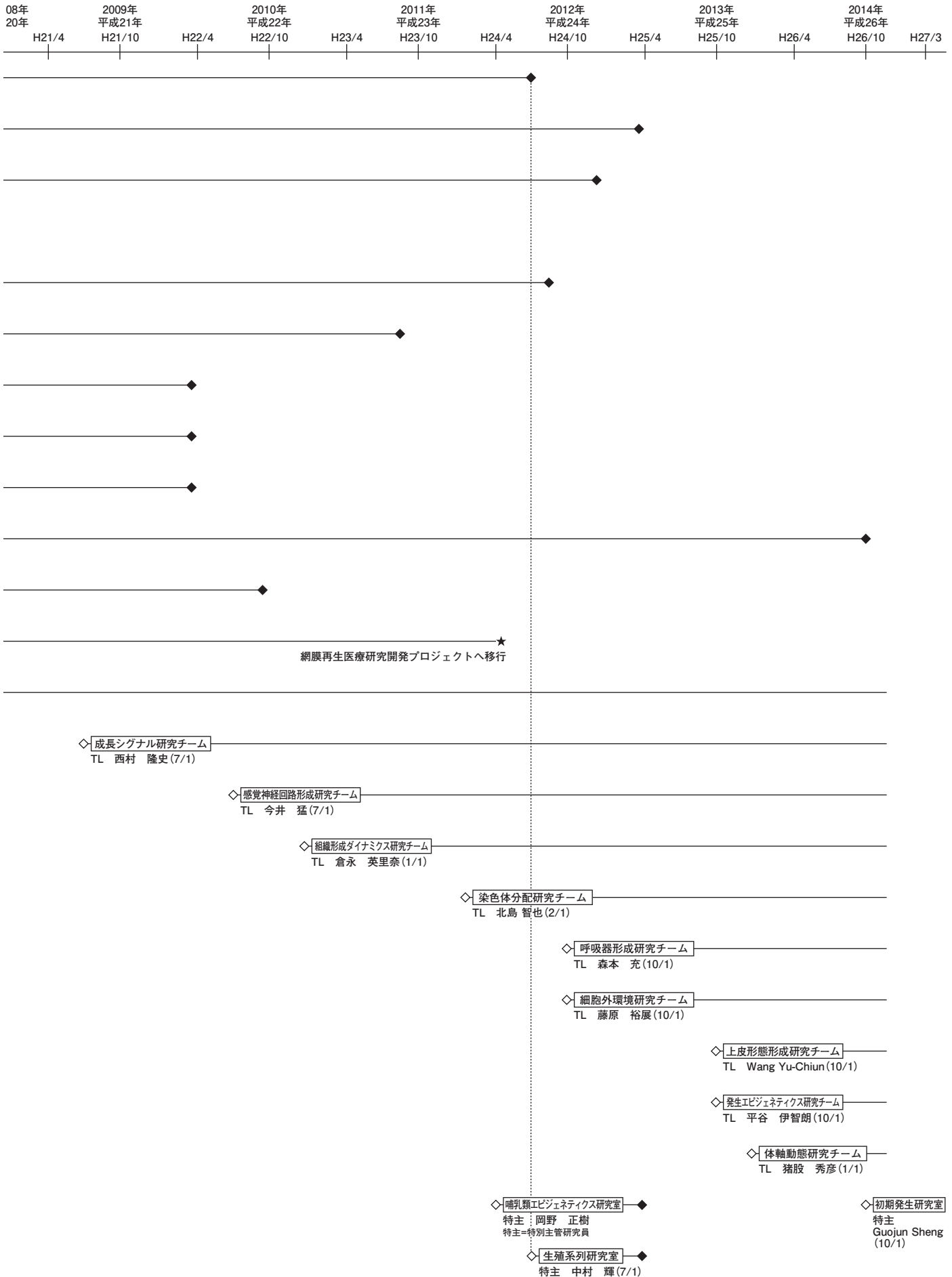
# 発生・再生科学総合研究センター (2)



研究室の推移  
発生・再生科学総合研究センター (2)



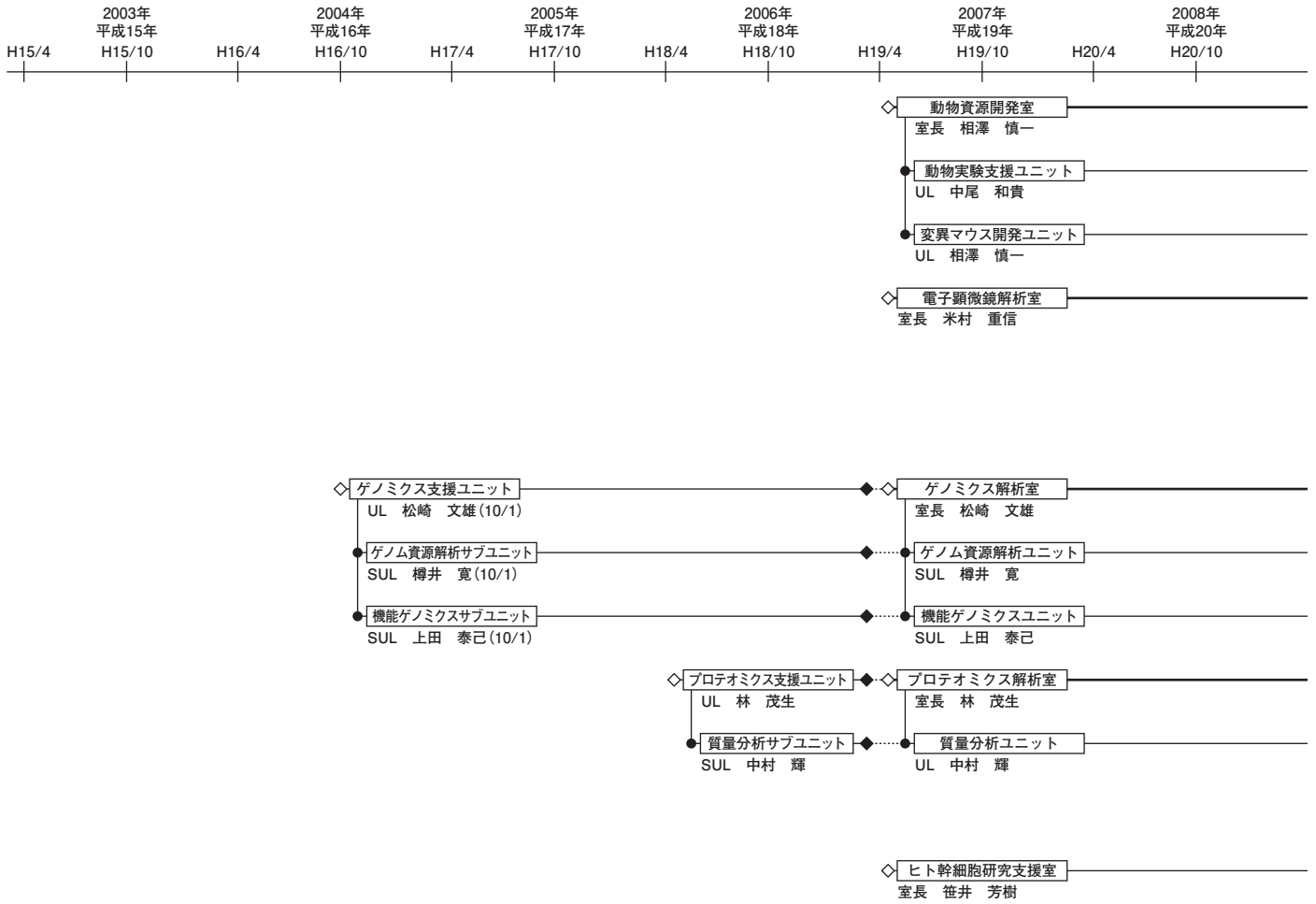




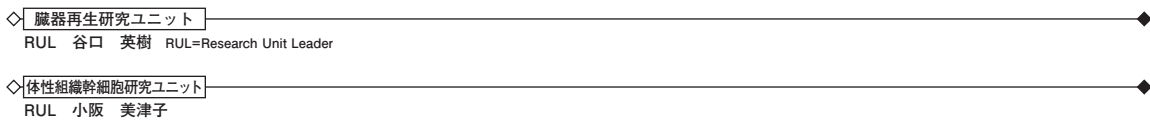
# 発生・再生科学総合研究センター (3)

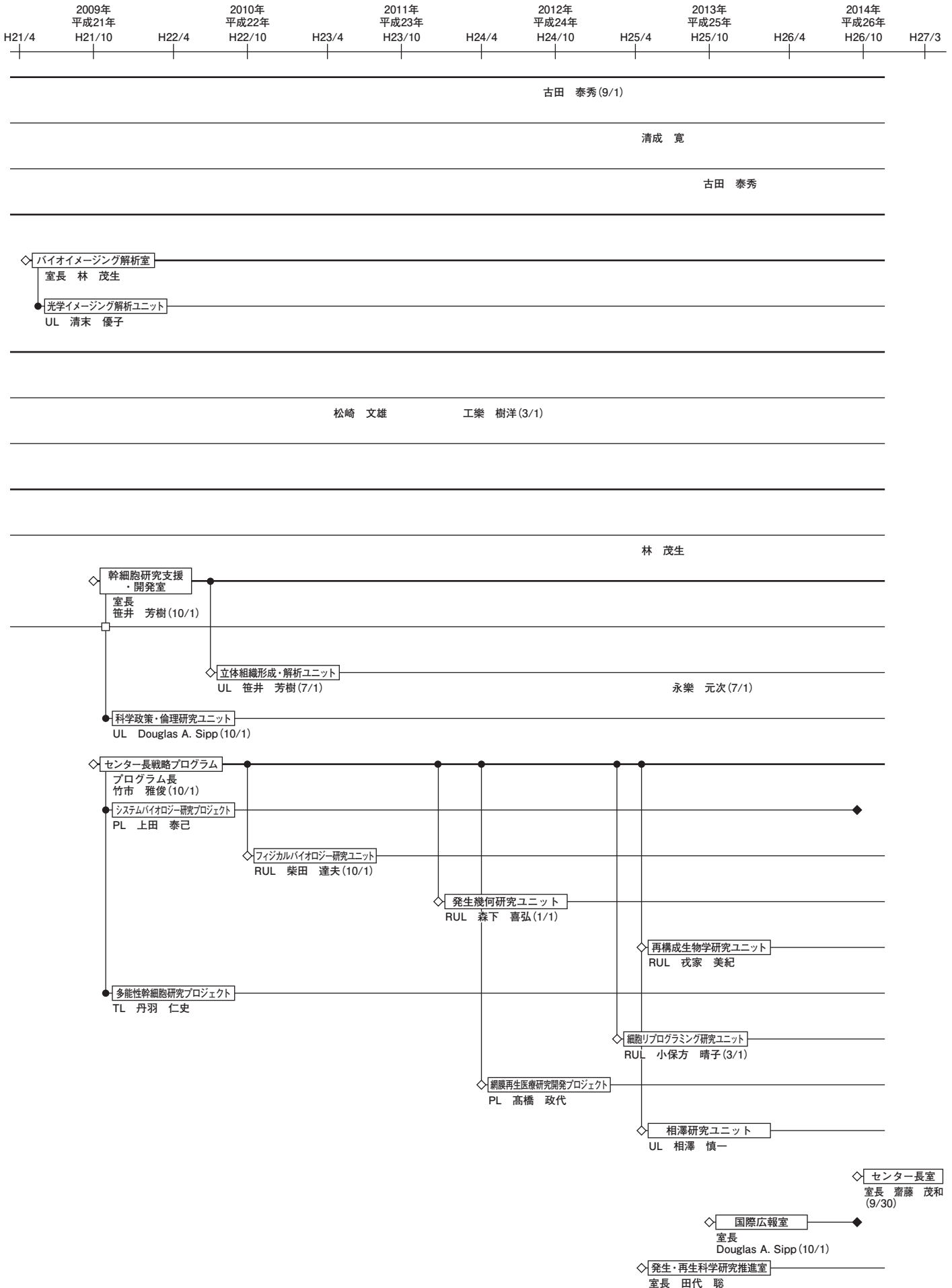


研究室内の推移  
発生・再生科学総合研究センター (3)



文部科学省委託費運営研究

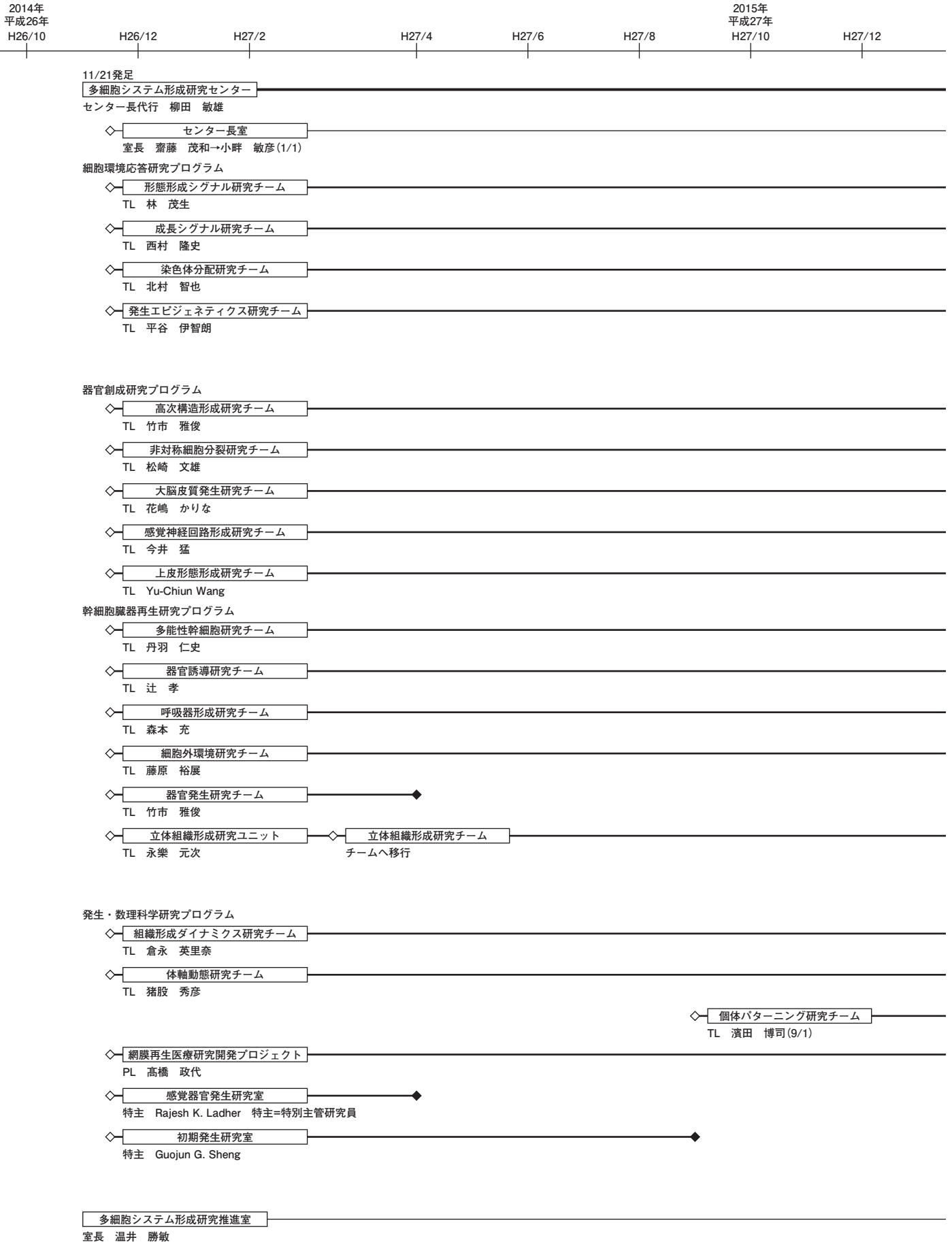


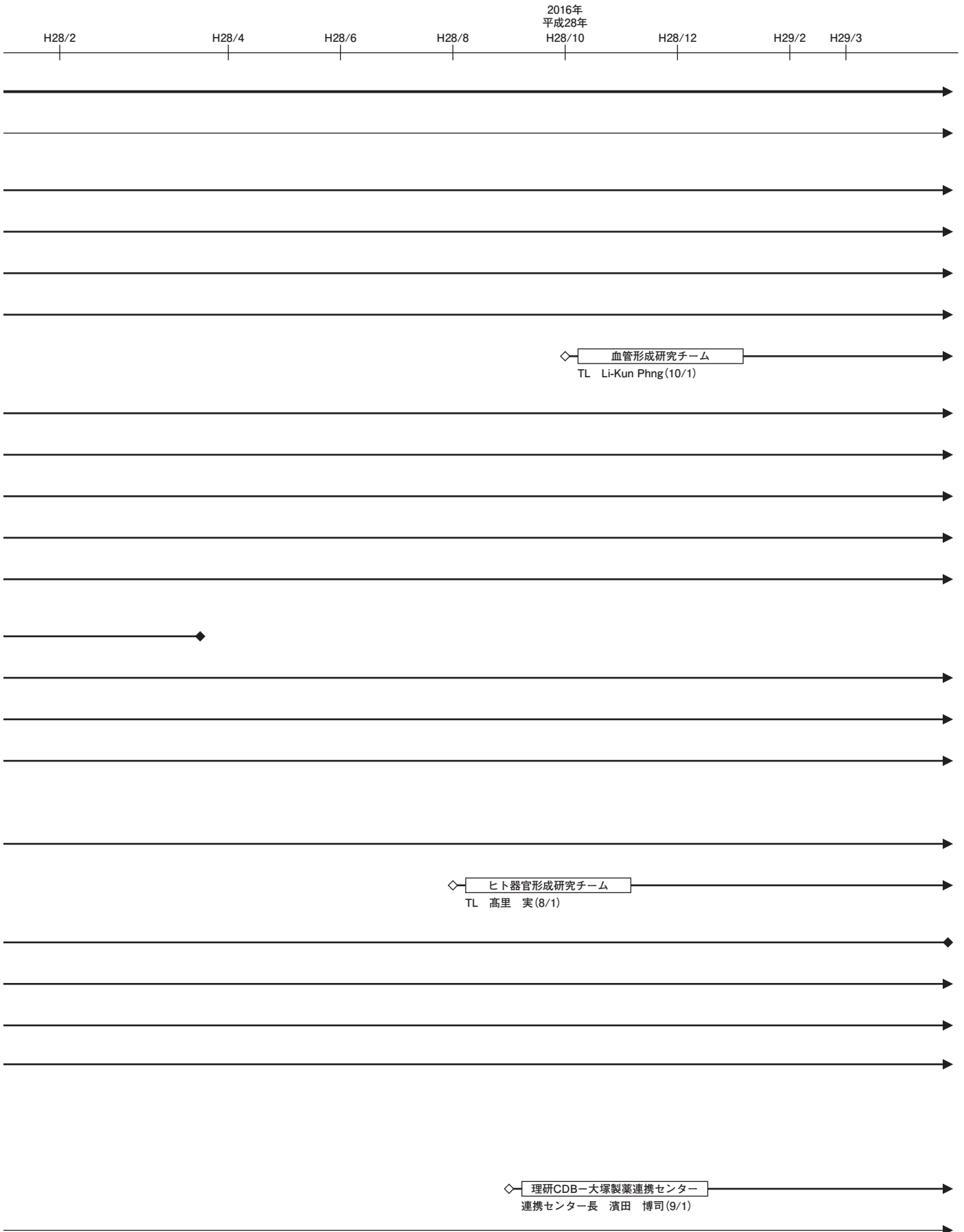


# 多細胞システム形成研究センター



研究室の推移  
多細胞システム形成研究センター

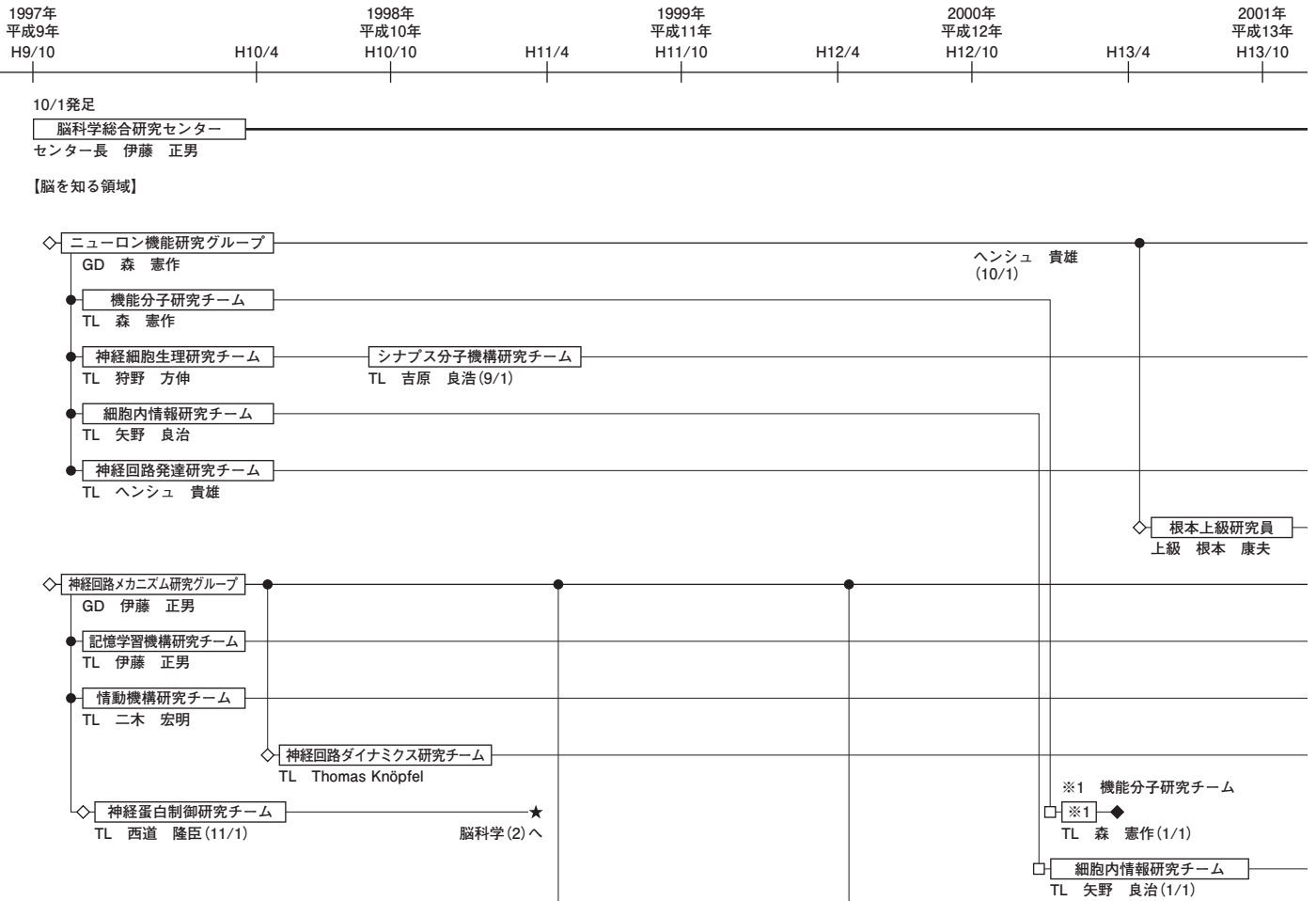




# 脳科学総合研究センター (1-1)



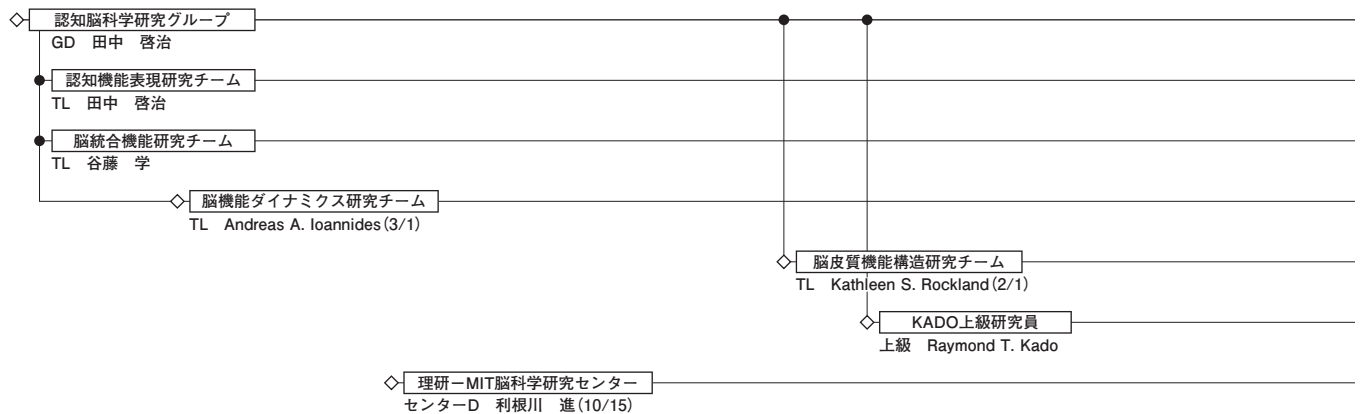
研究室内の推移  
脳科学総合研究センター(1-1)

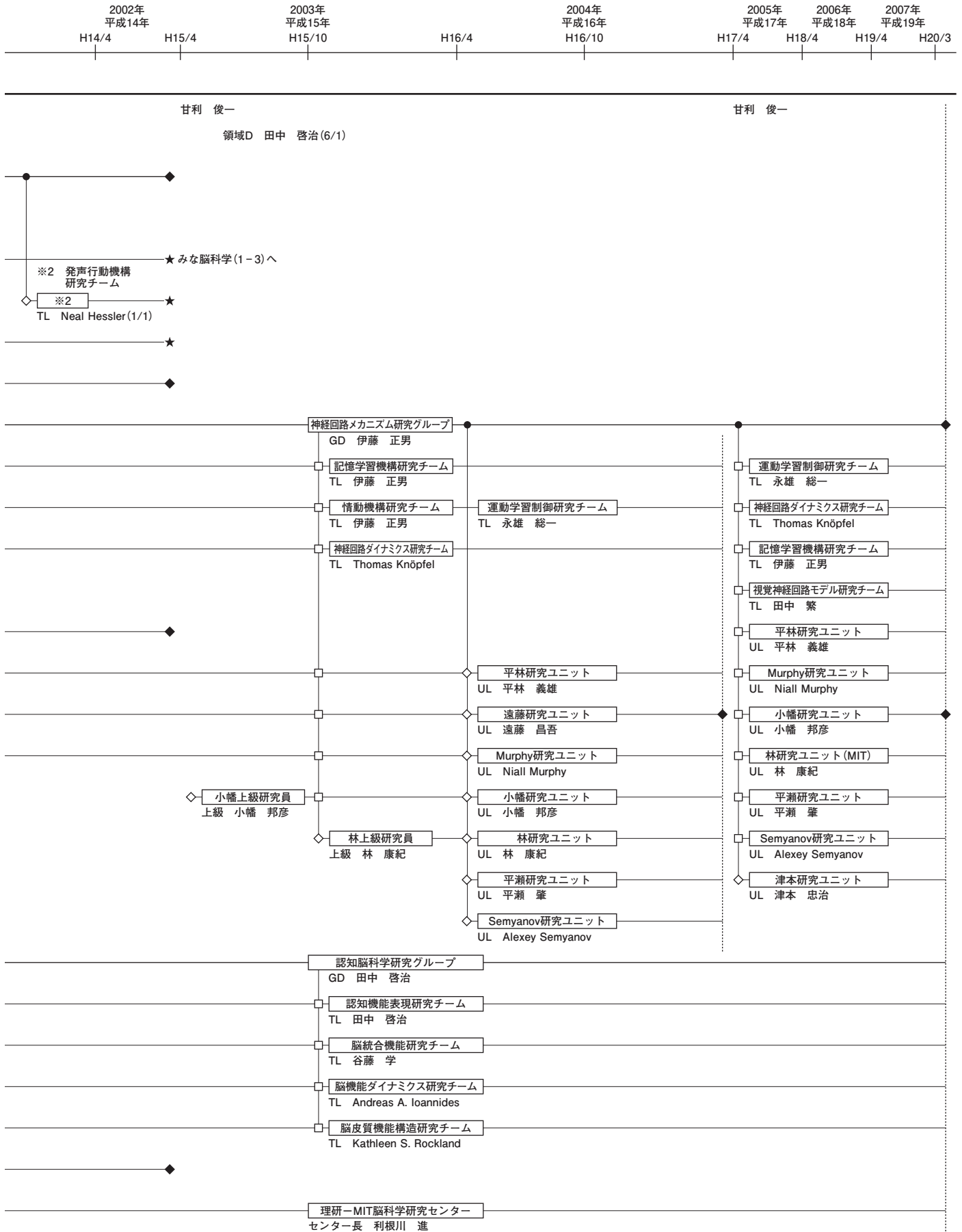


## ●220~238ページの全体配置

### 脳科学総合研究センター

年次		組
1-1	2-1	
1-1	2-1	3-1
1-2	2-2	
1-3	2-3	
1-4	2-4	3-2

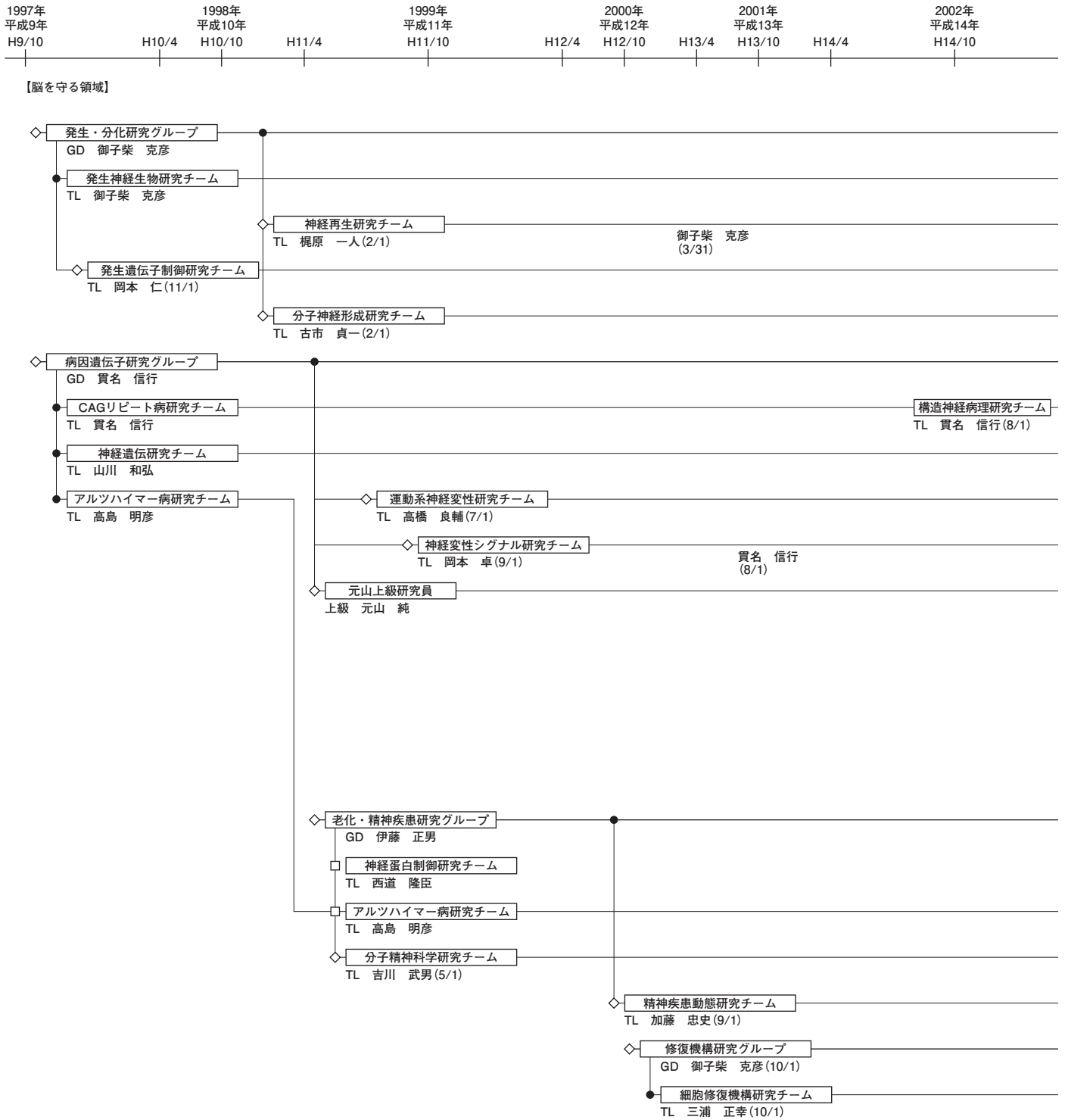




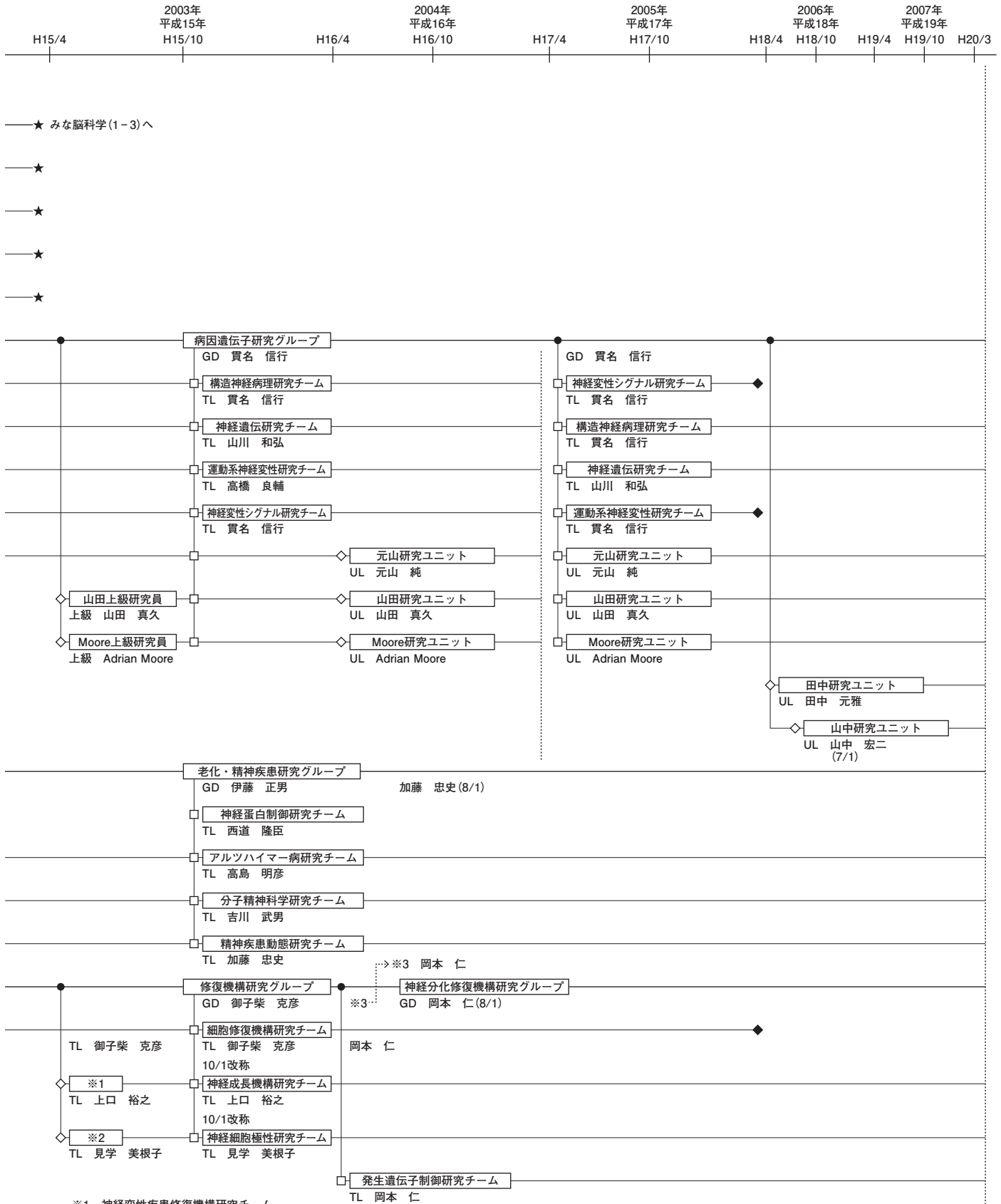
# 脳科学総合研究センター (1-2)



研究室内の推移  
脳科学総合研究センター(1-2)







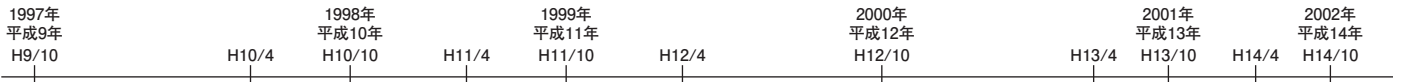
※1 神経変性疾患修復機構研究チーム

※2 成人神経再生現象研究チーム

# 脳科学総合研究センター（1-3）

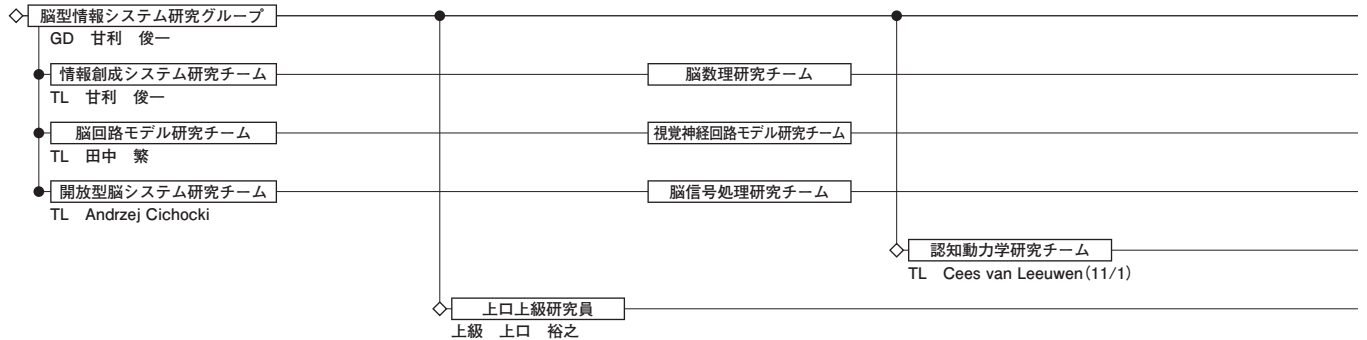
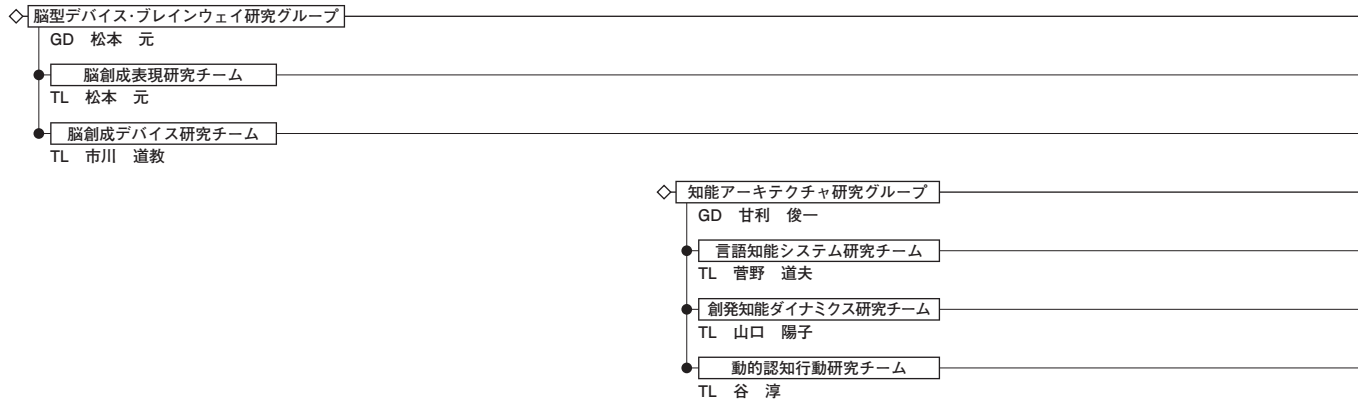


研究室の推移  
脳科学総合研究センター（1-3）

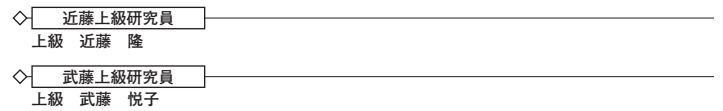


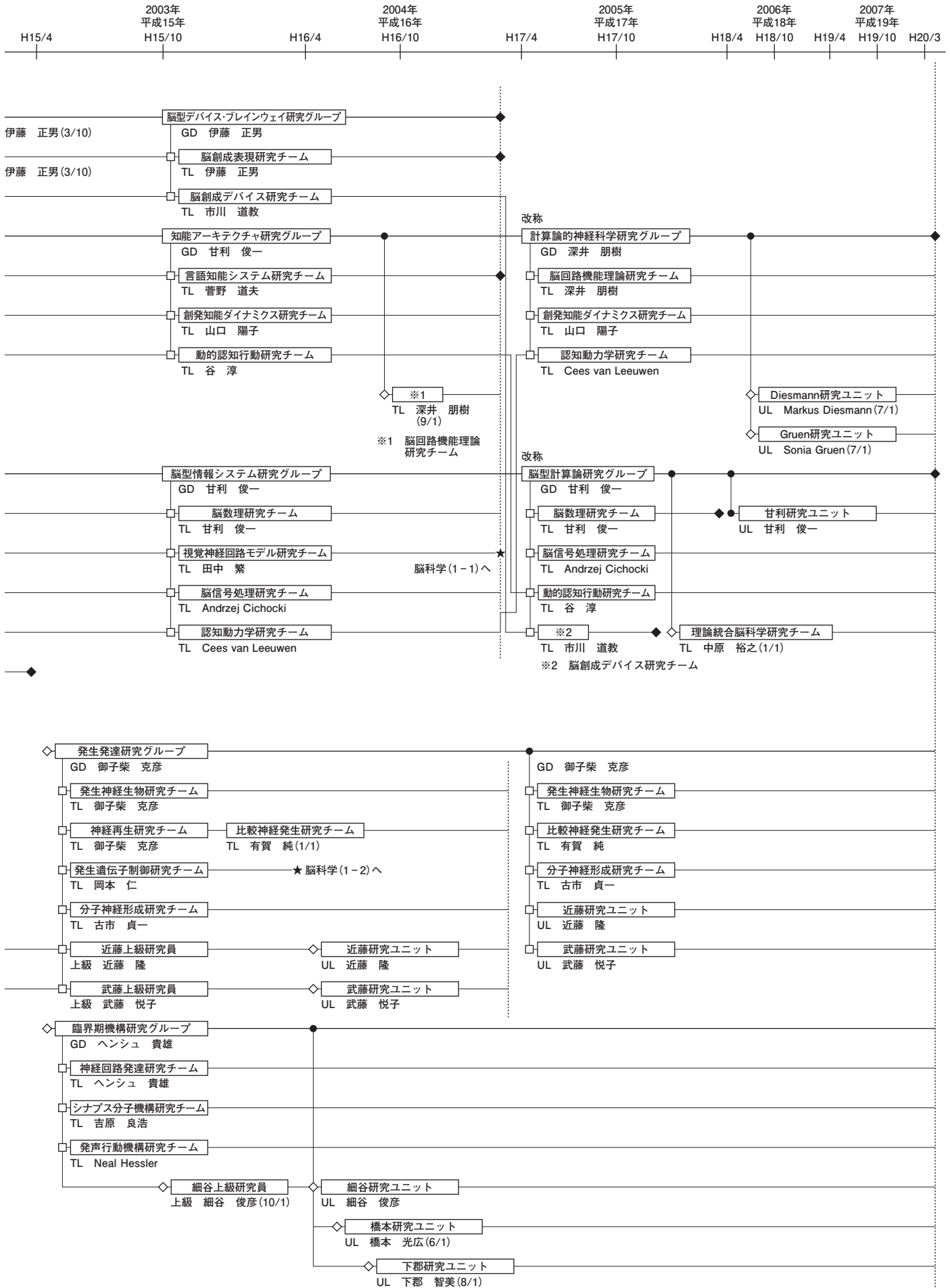
【脳を創る領域】

領域D 甘利 俊一



【脳を育む領域】

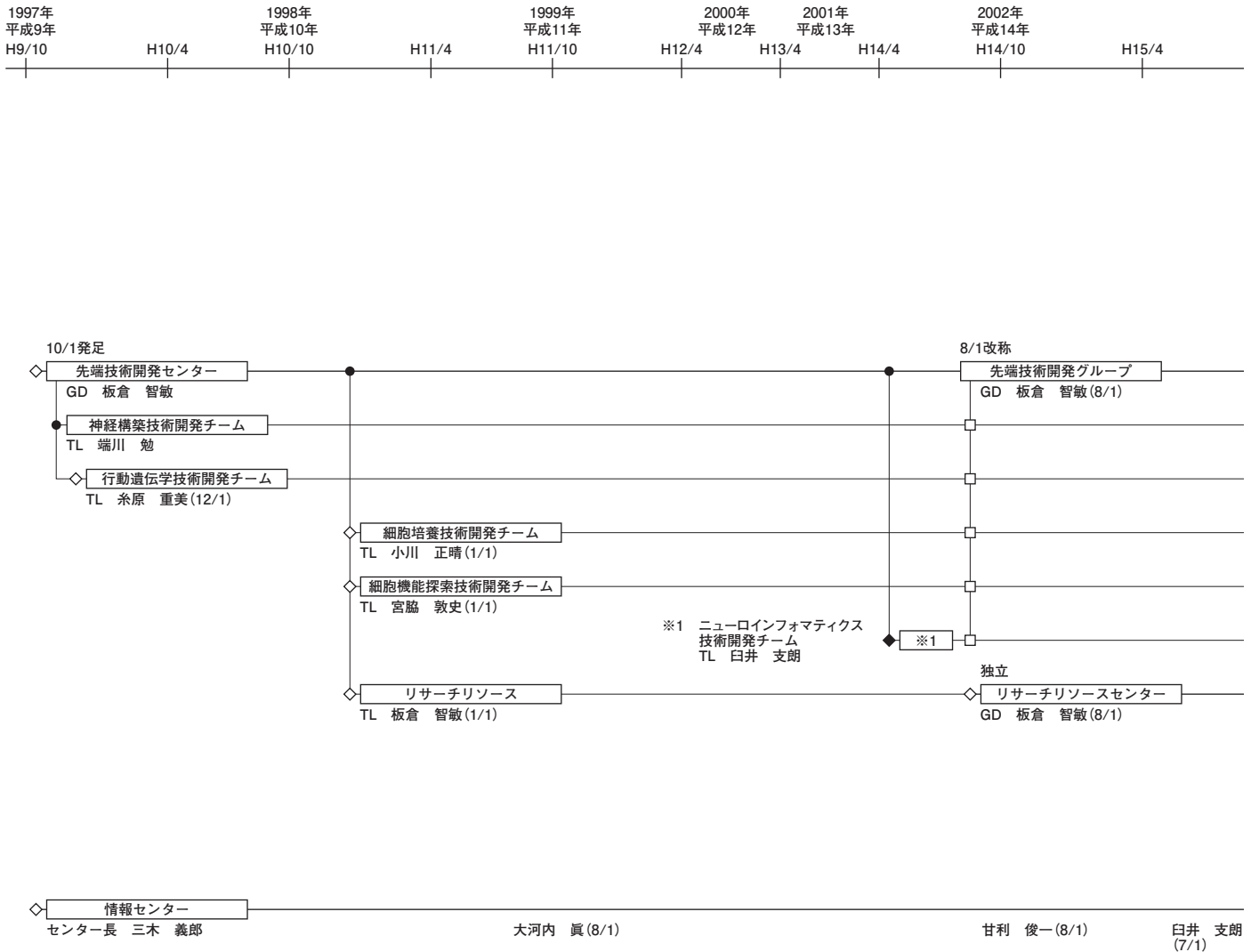




# ■脳科学総合研究センター（1-4）



研究室の推移  
脳科学総合研究センター（1-4）

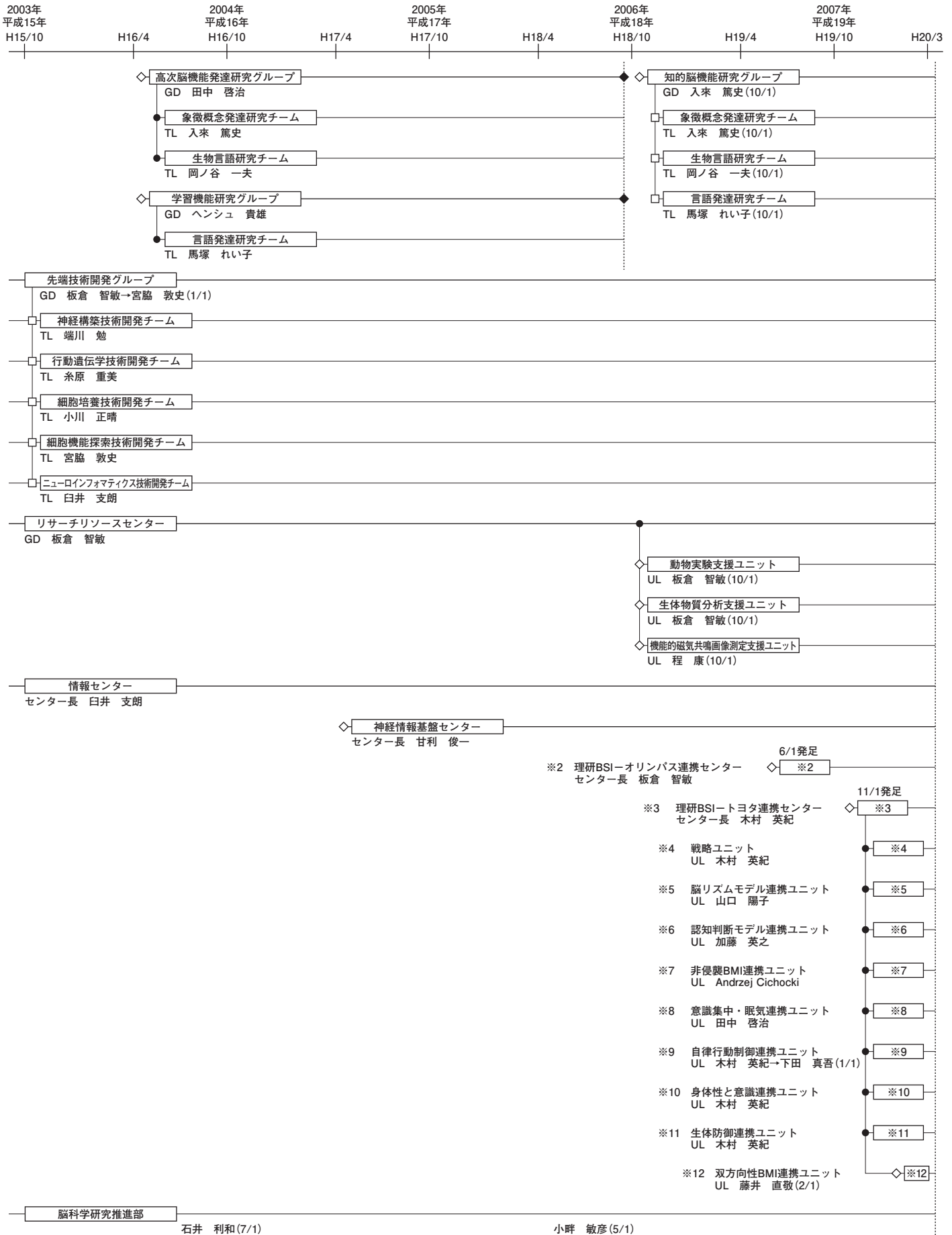


脳科学研究推進室  
室長 三木 義郎

脳科学研究推進部  
部長 三木 義郎→大河内 眞 (7/5)

齊藤 茂和

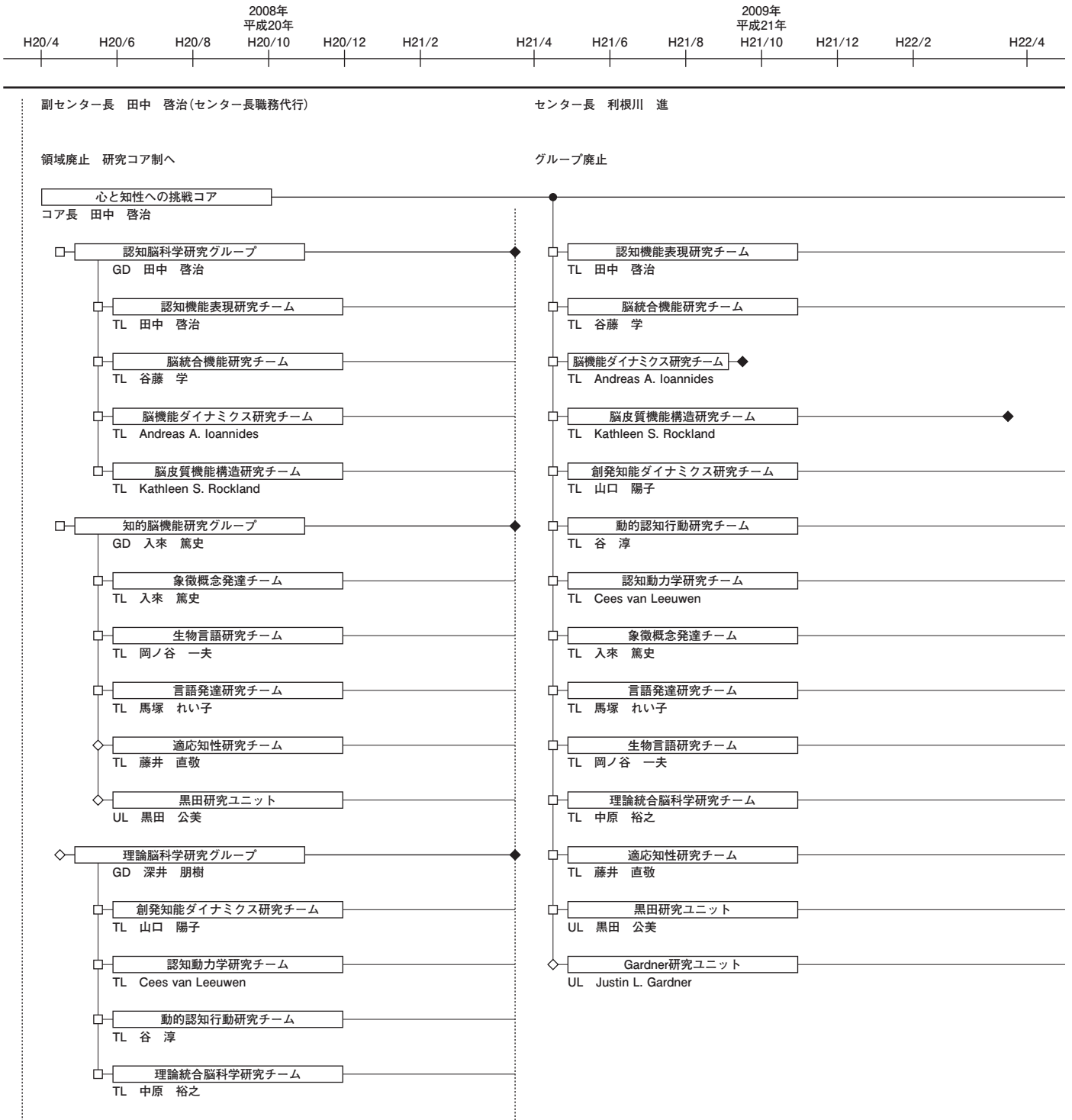
榊原 裕二 (7/26)



# 脳科学総合研究センター (2-1)



研究室の推移  
脳科学総合研究センター (2-1)





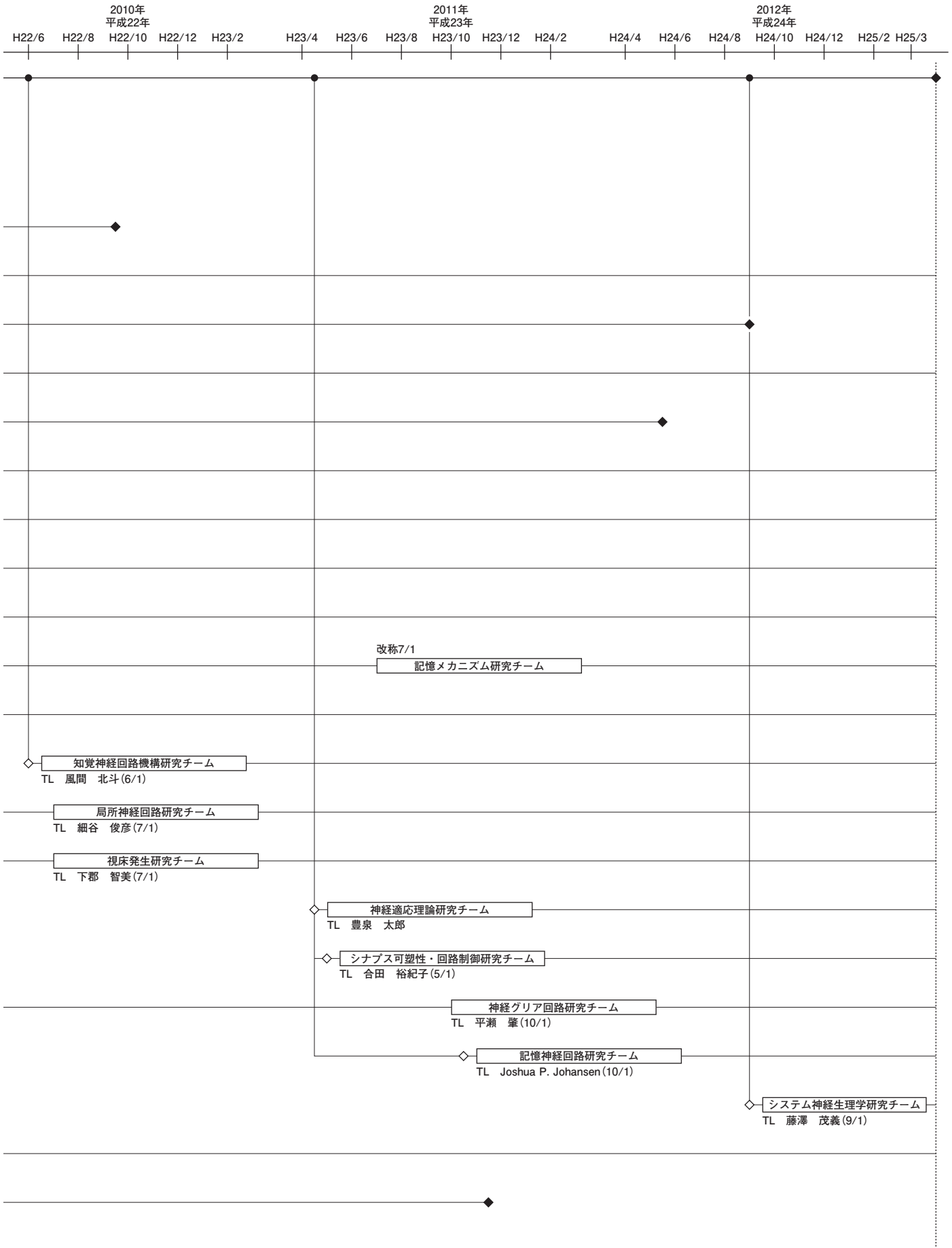
# 脳科学総合研究センター (2-2)



研究室の推移  
脳科学総合研究センター(2・2)



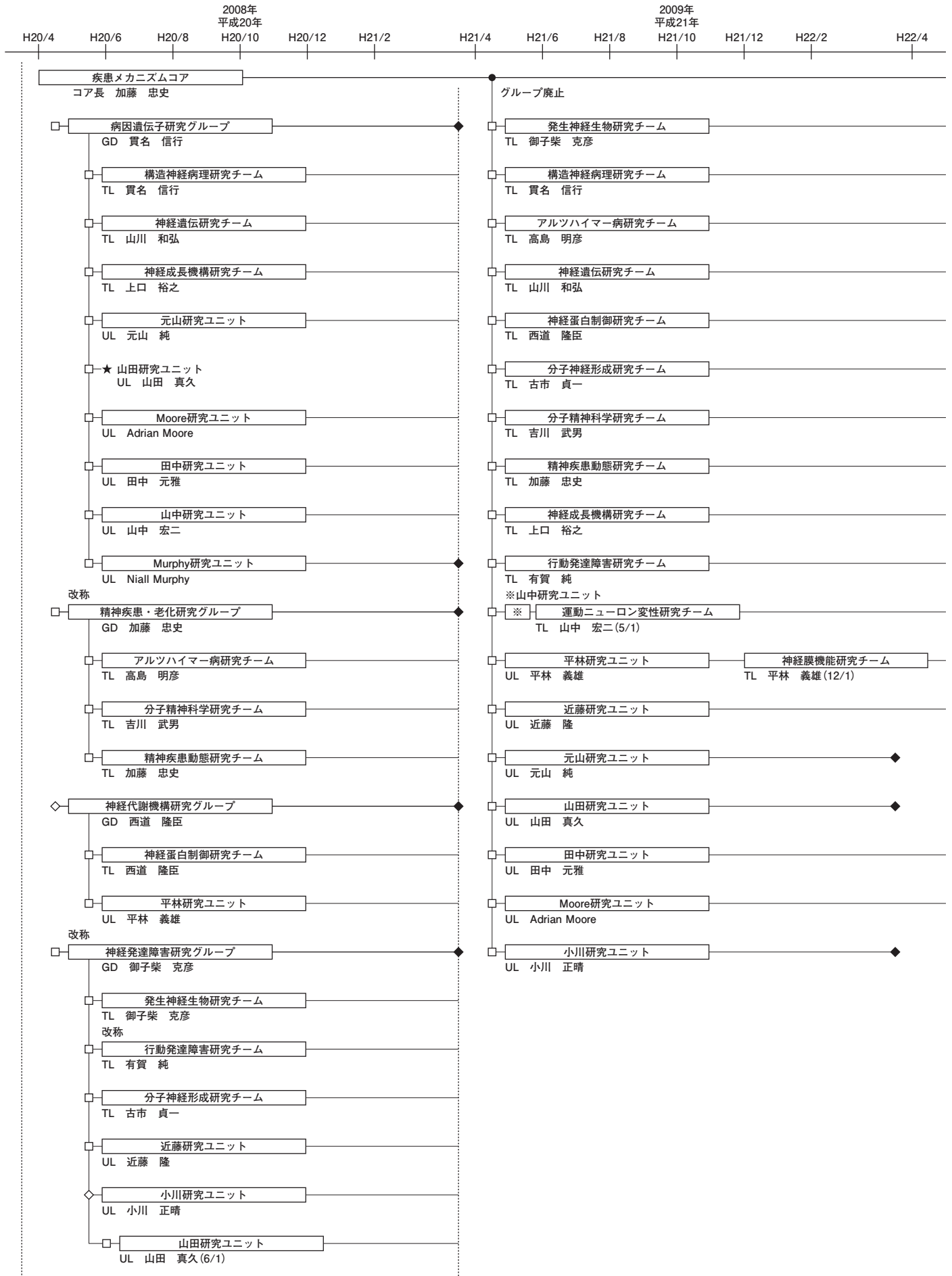


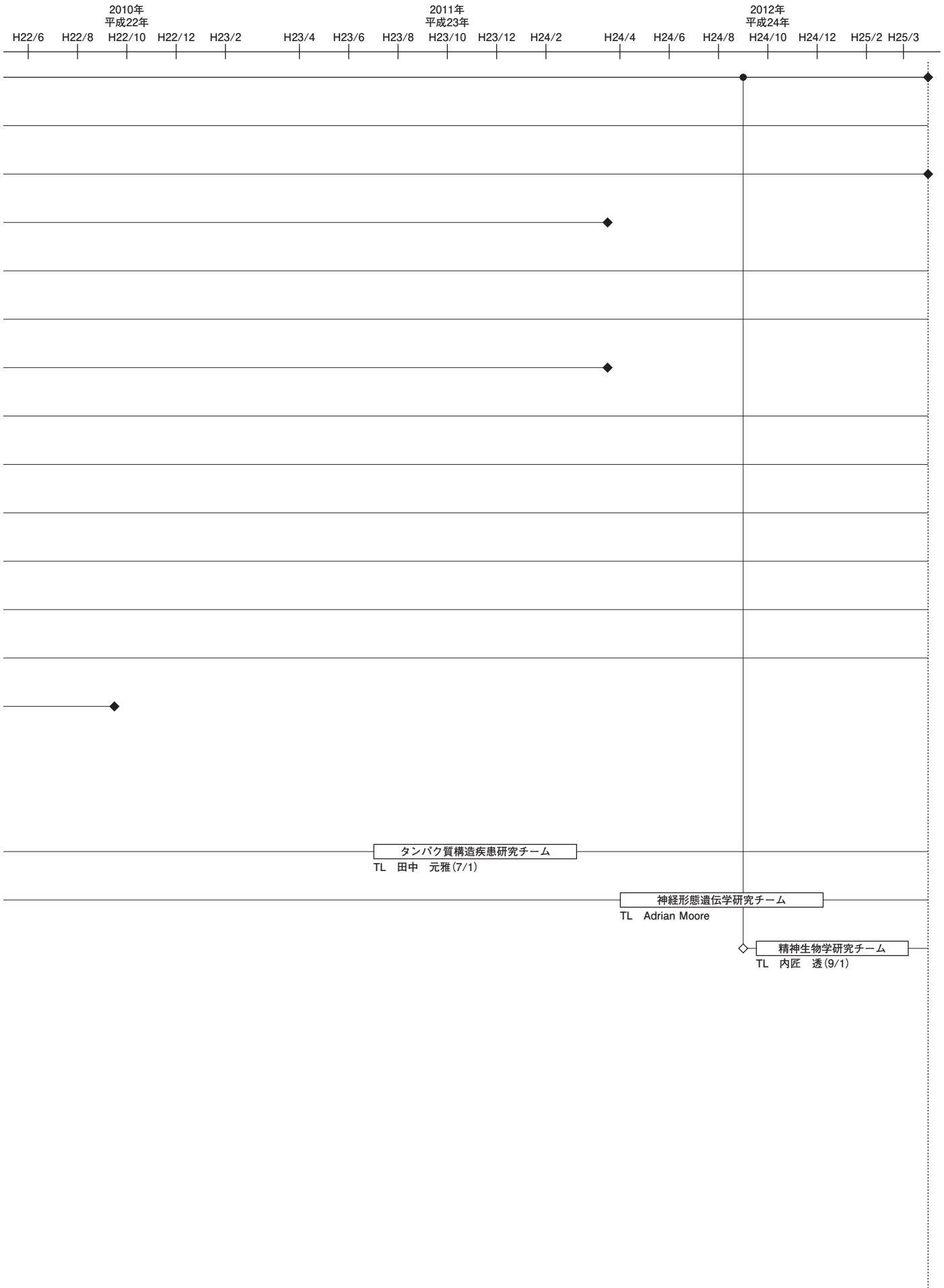


# 脳科学総合研究センター (2-3)



研究室の推移  
脳科学総合研究センター(2・3)

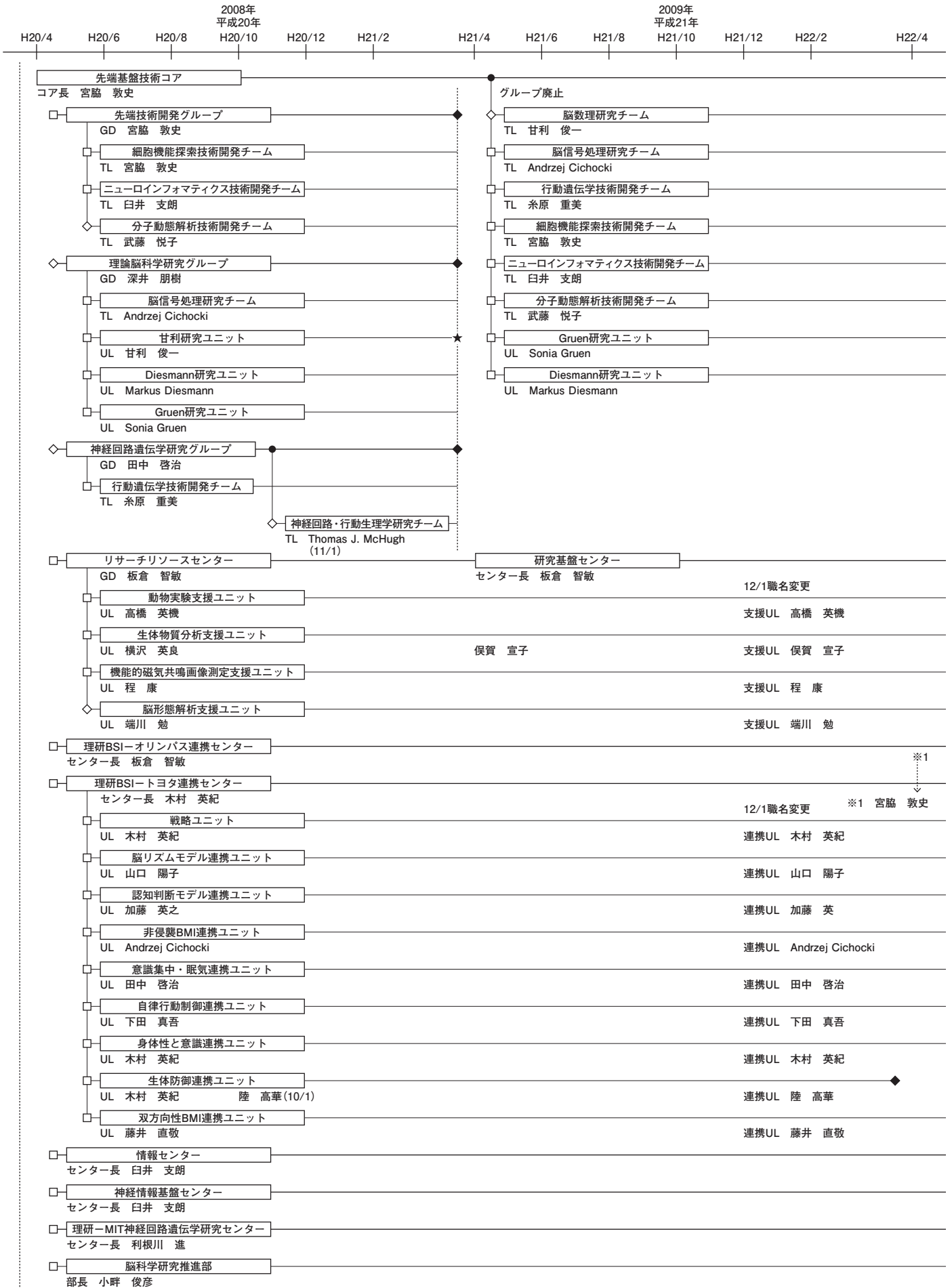


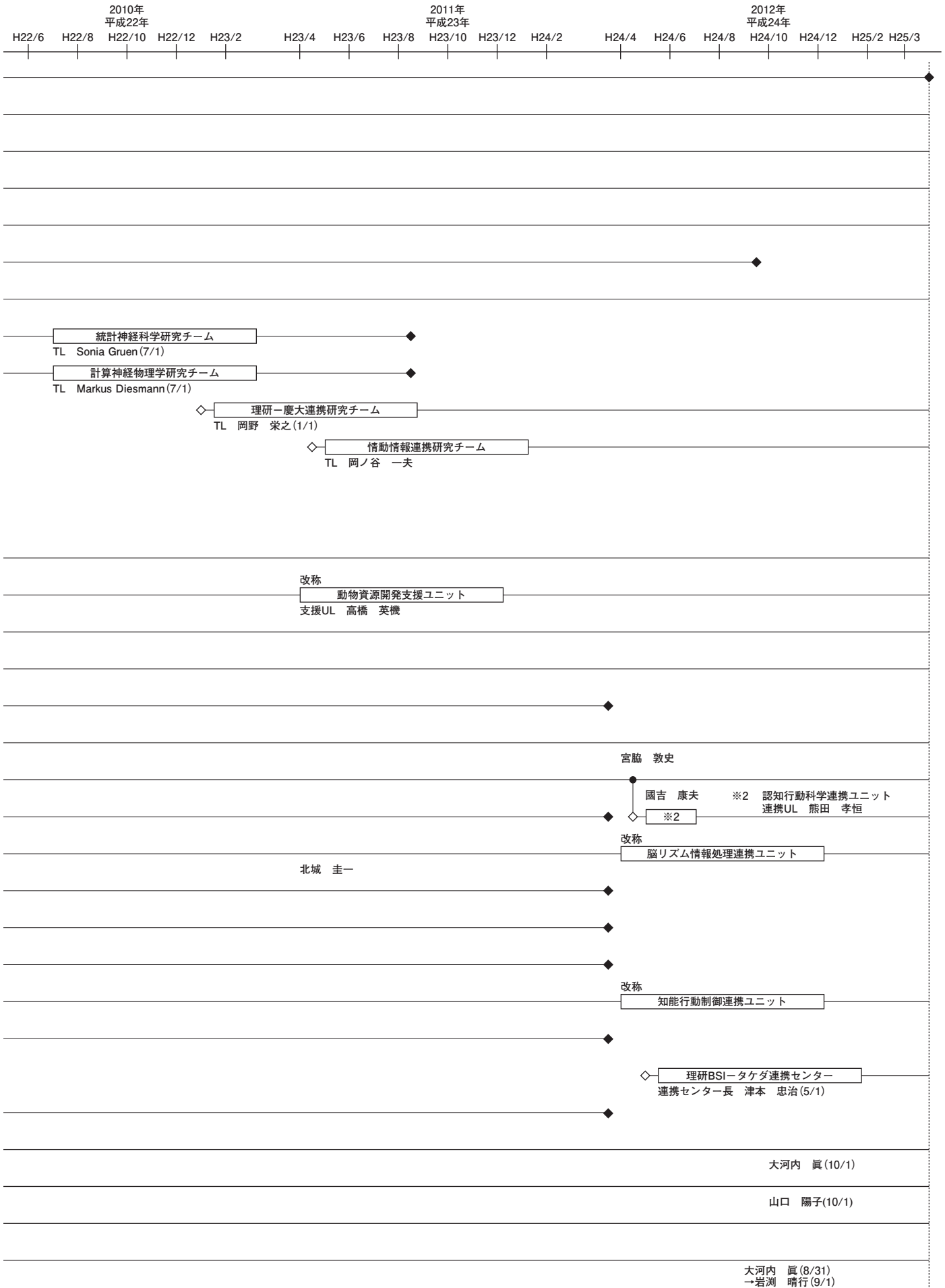


# 脳科学総合研究センター (2-4)



研究室の推移  
脳科学総合研究センター(2-4)

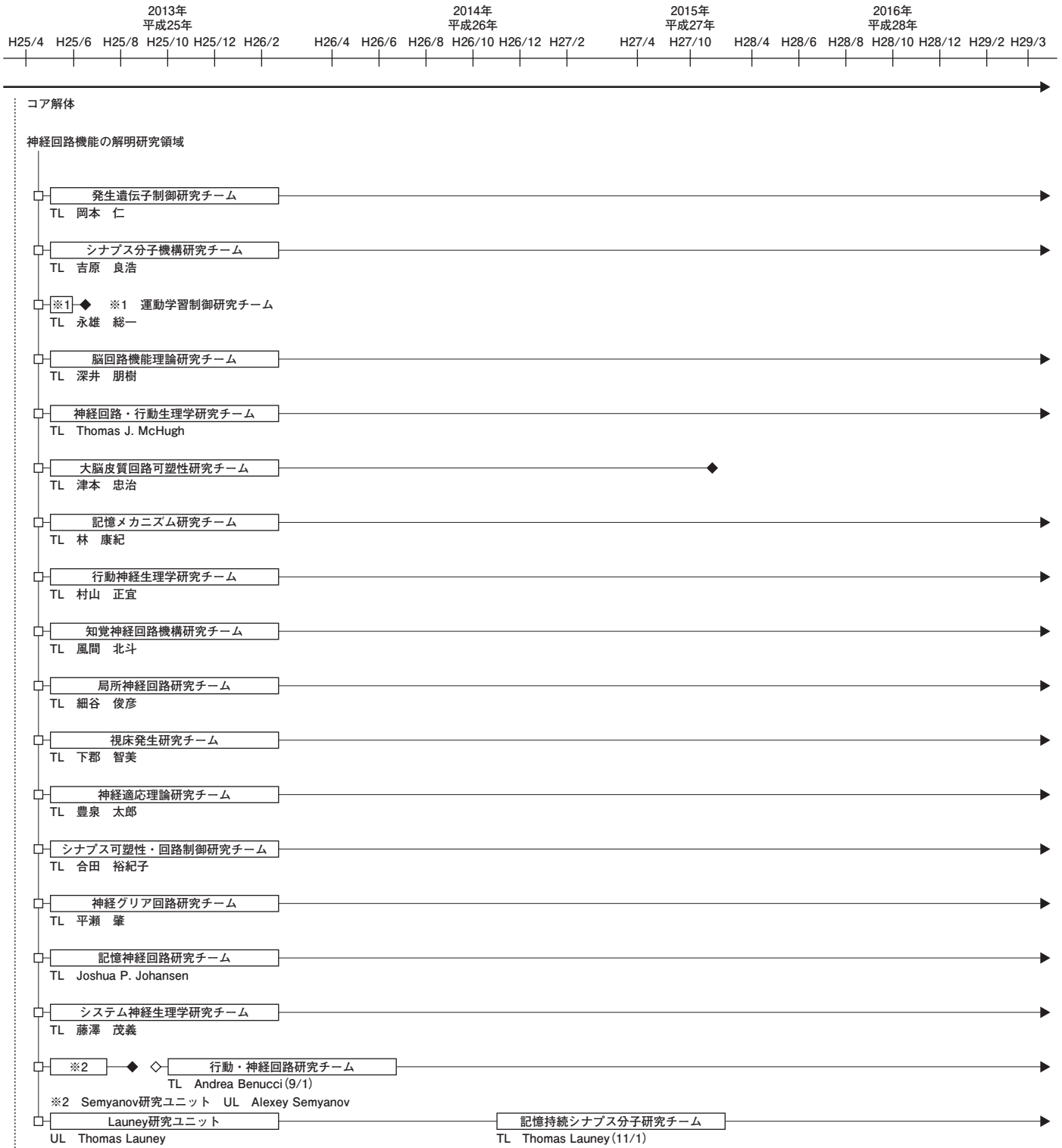


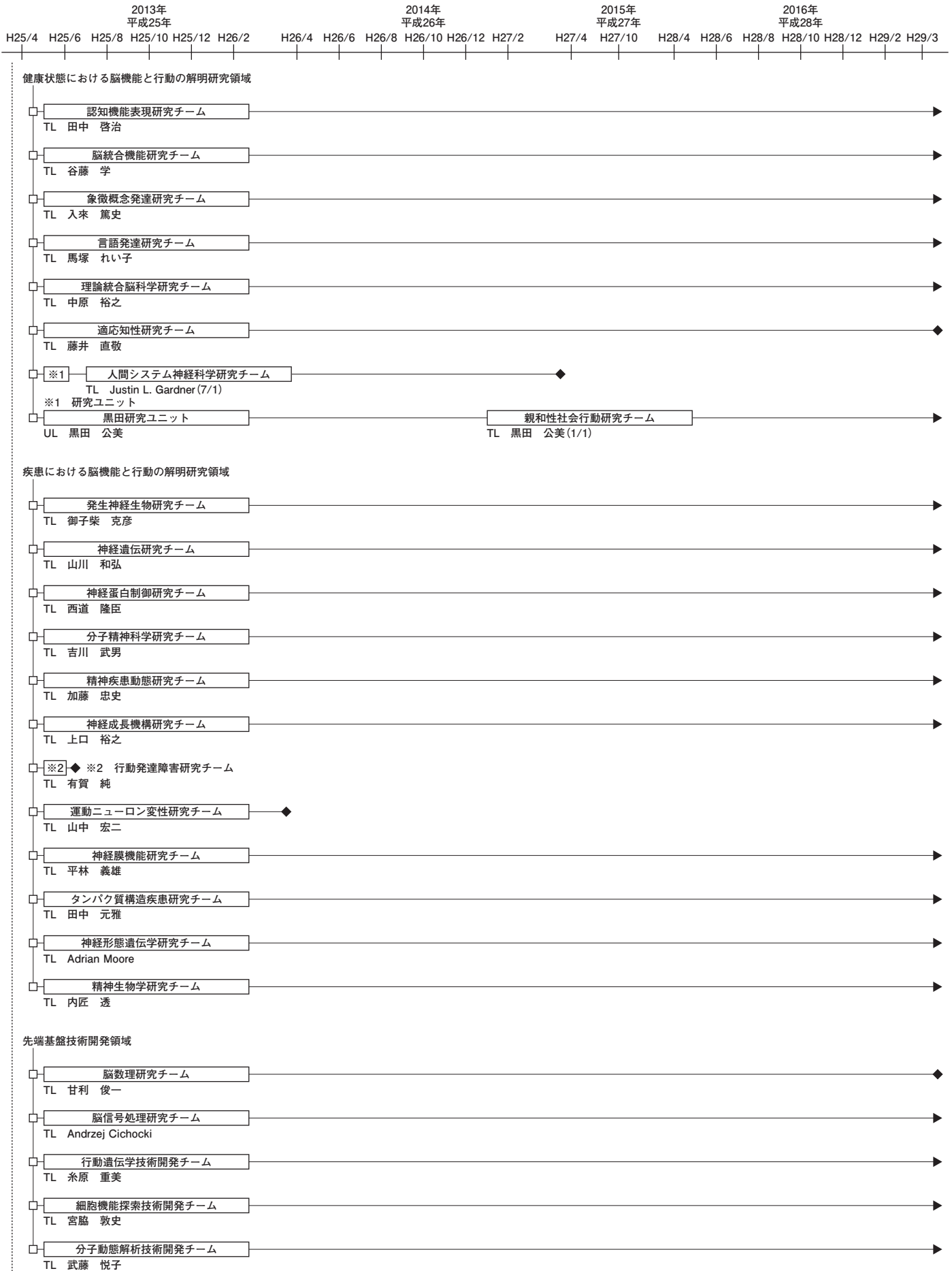


# 脳科学総合研究センター (3-1)



研究室の推移  
脳科学総合研究センター(3-1)

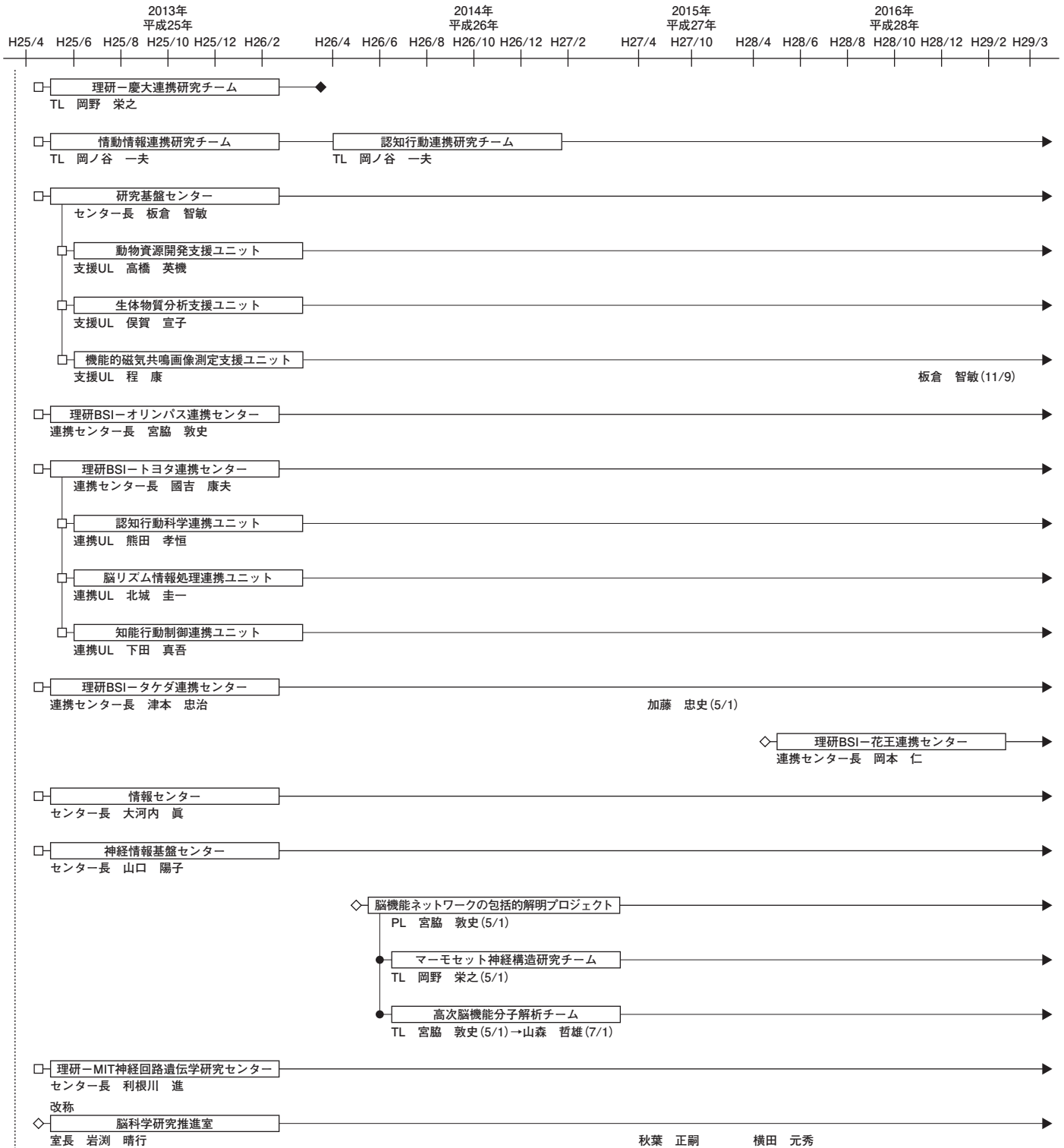




# 脳科学総合研究センター (3-2)



研究室の推移  
脳科学総合研究センター(3-2)



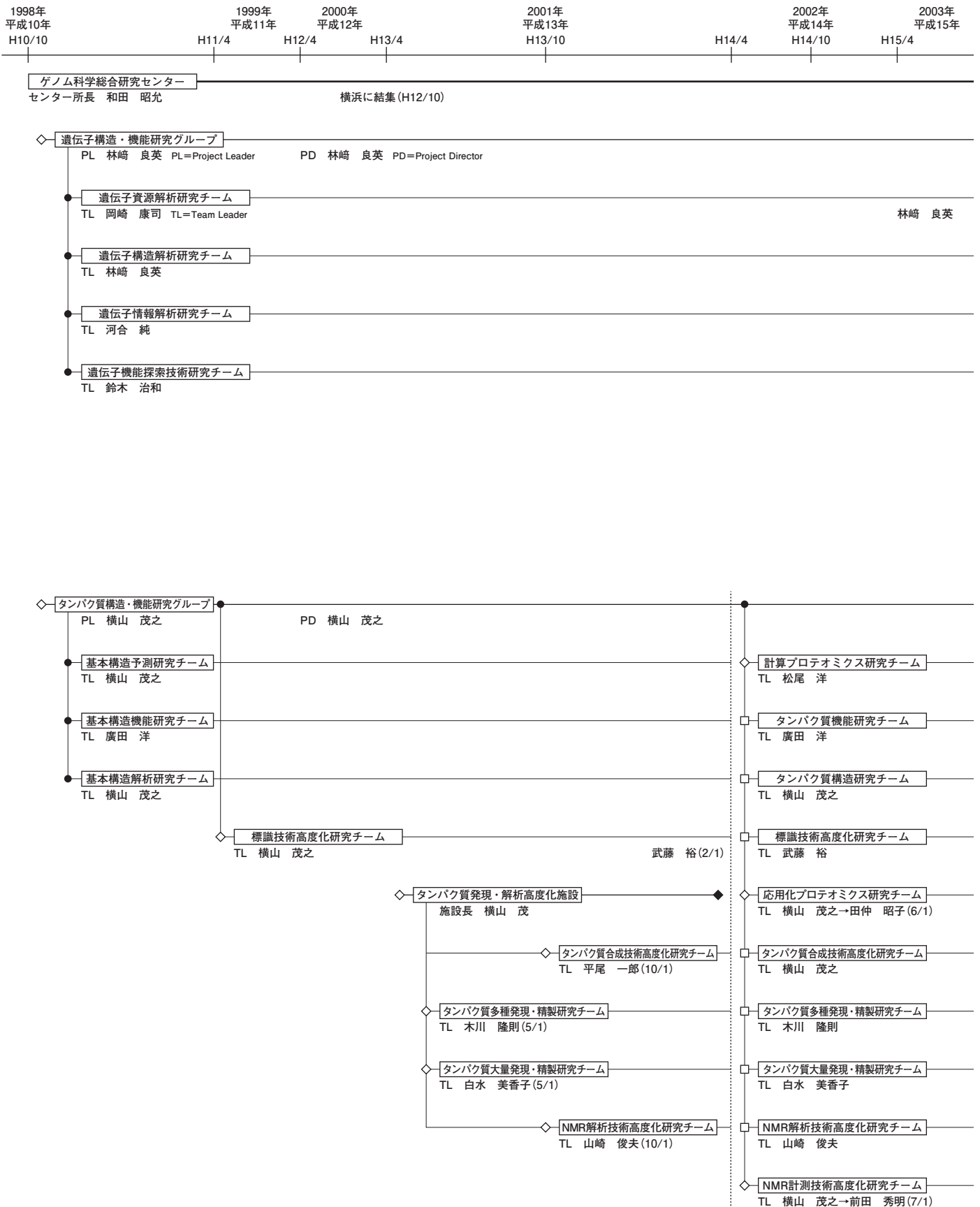


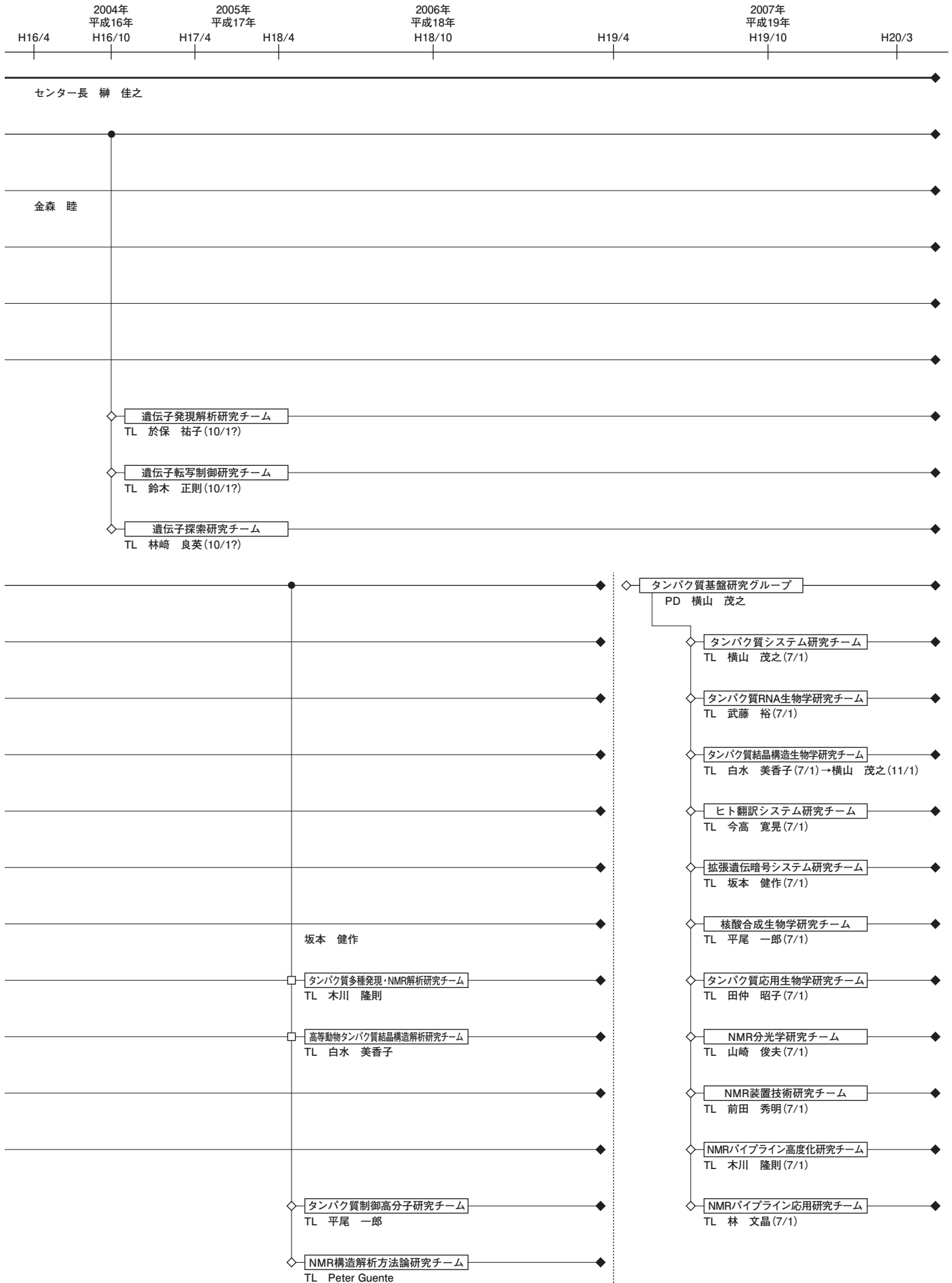


# ゲノム科学総合研究センター (1)



研究室内の推移  
ゲノム科学総合研究センター(1)

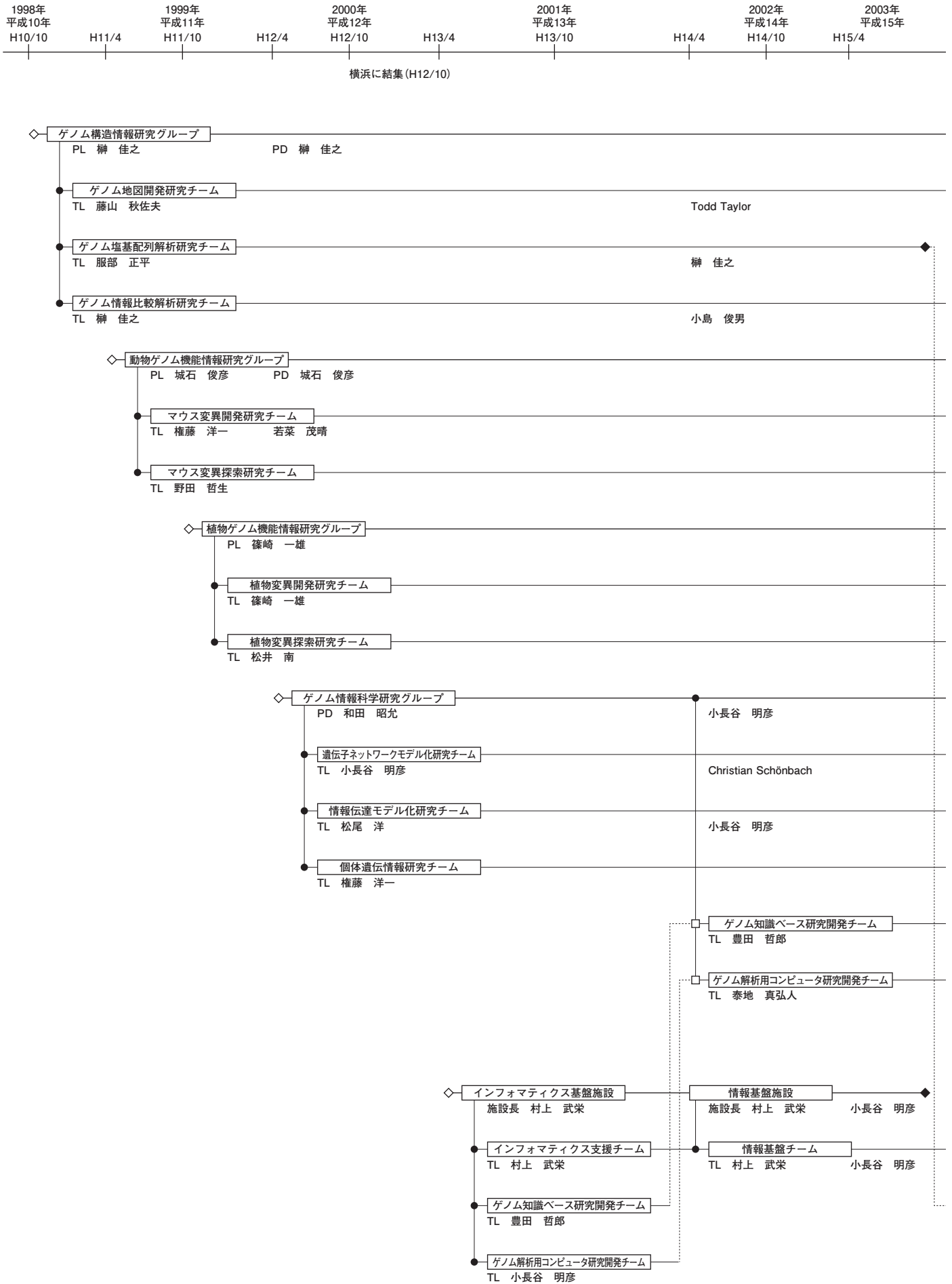


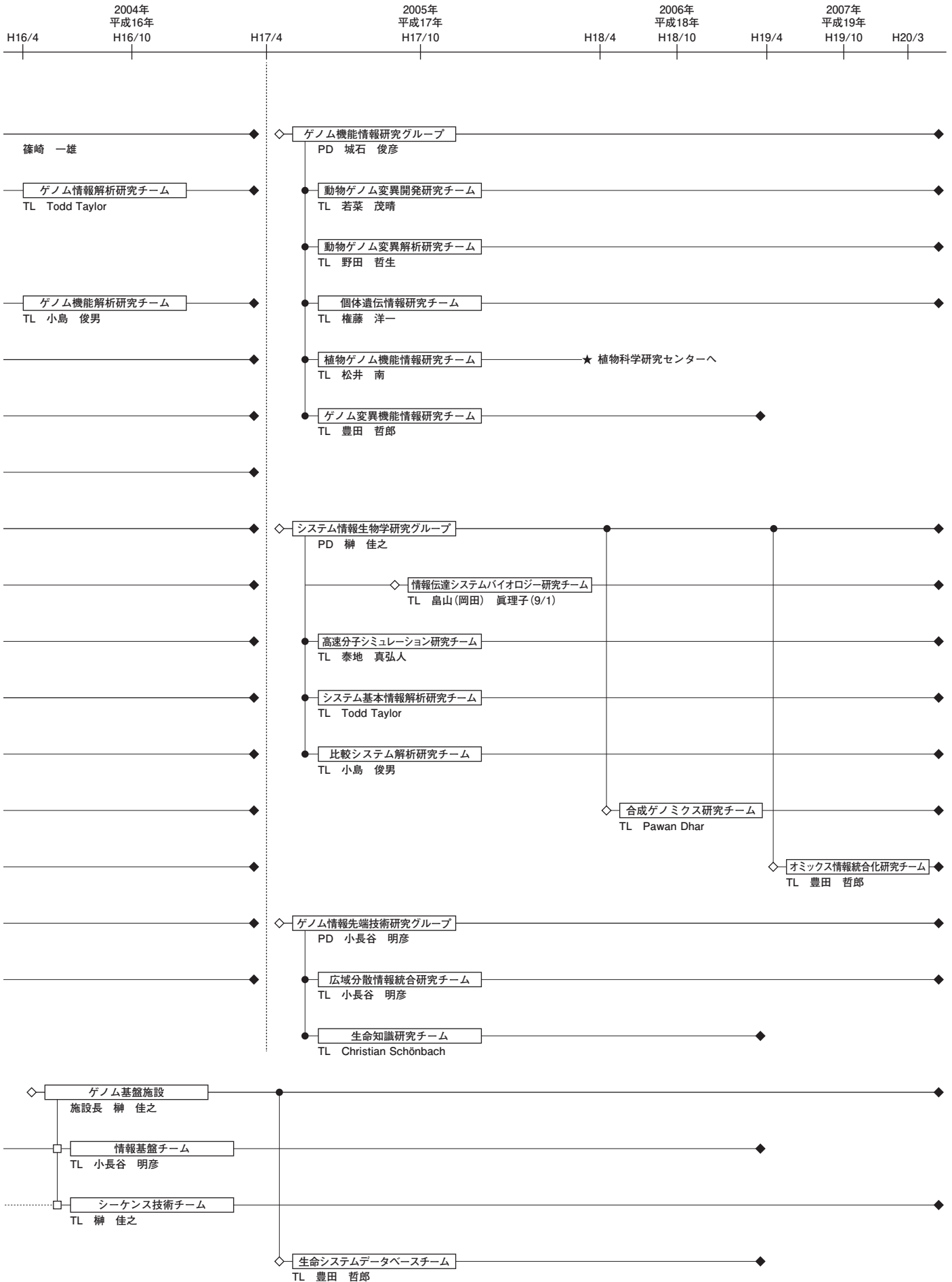


# ゲノム科学総合研究センター (2)



研究室の推移  
ゲノム科学総合研究センター(2)

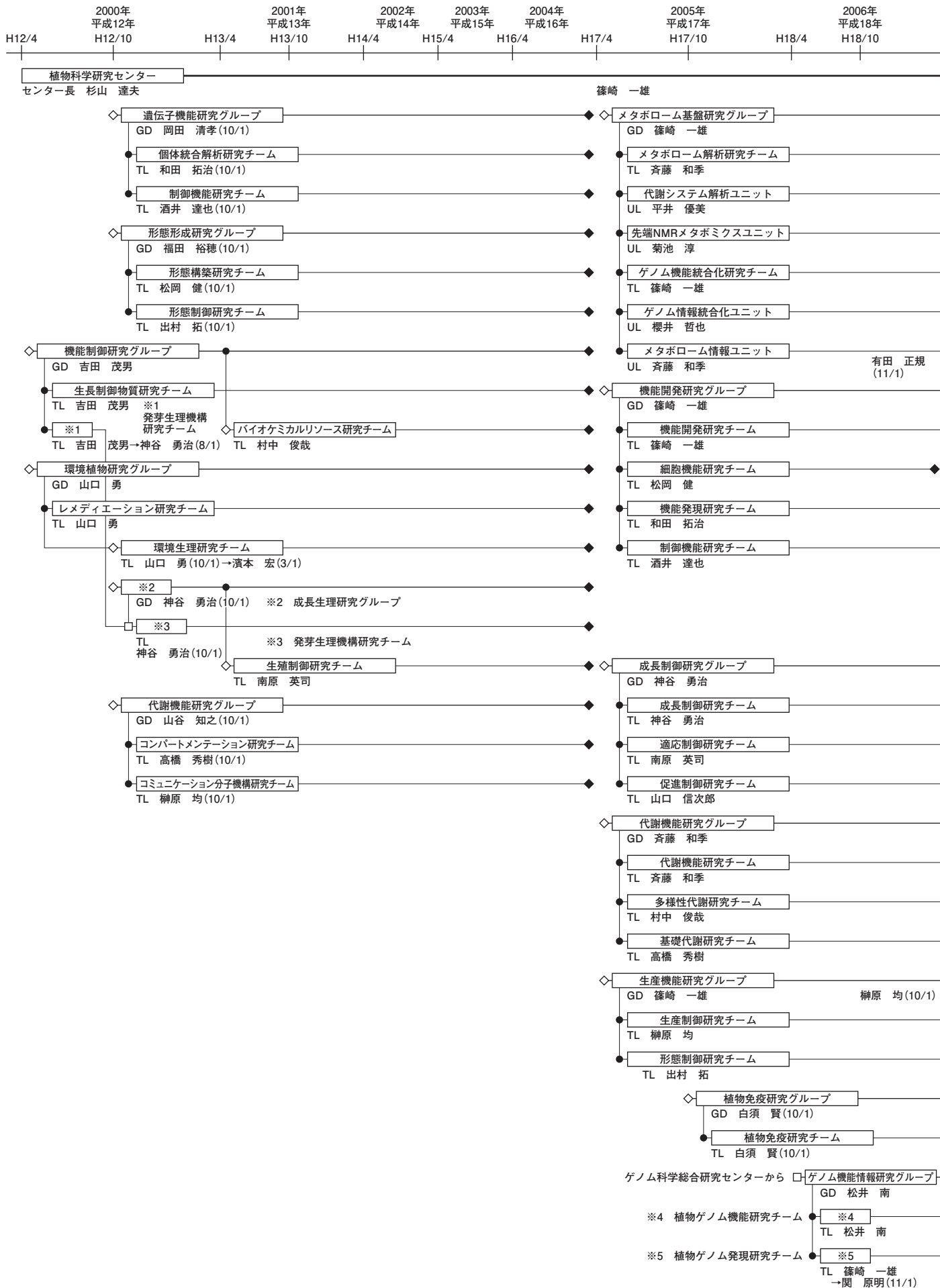




# 植物科学研究センター



研究室の推移  
植物科学研究センター

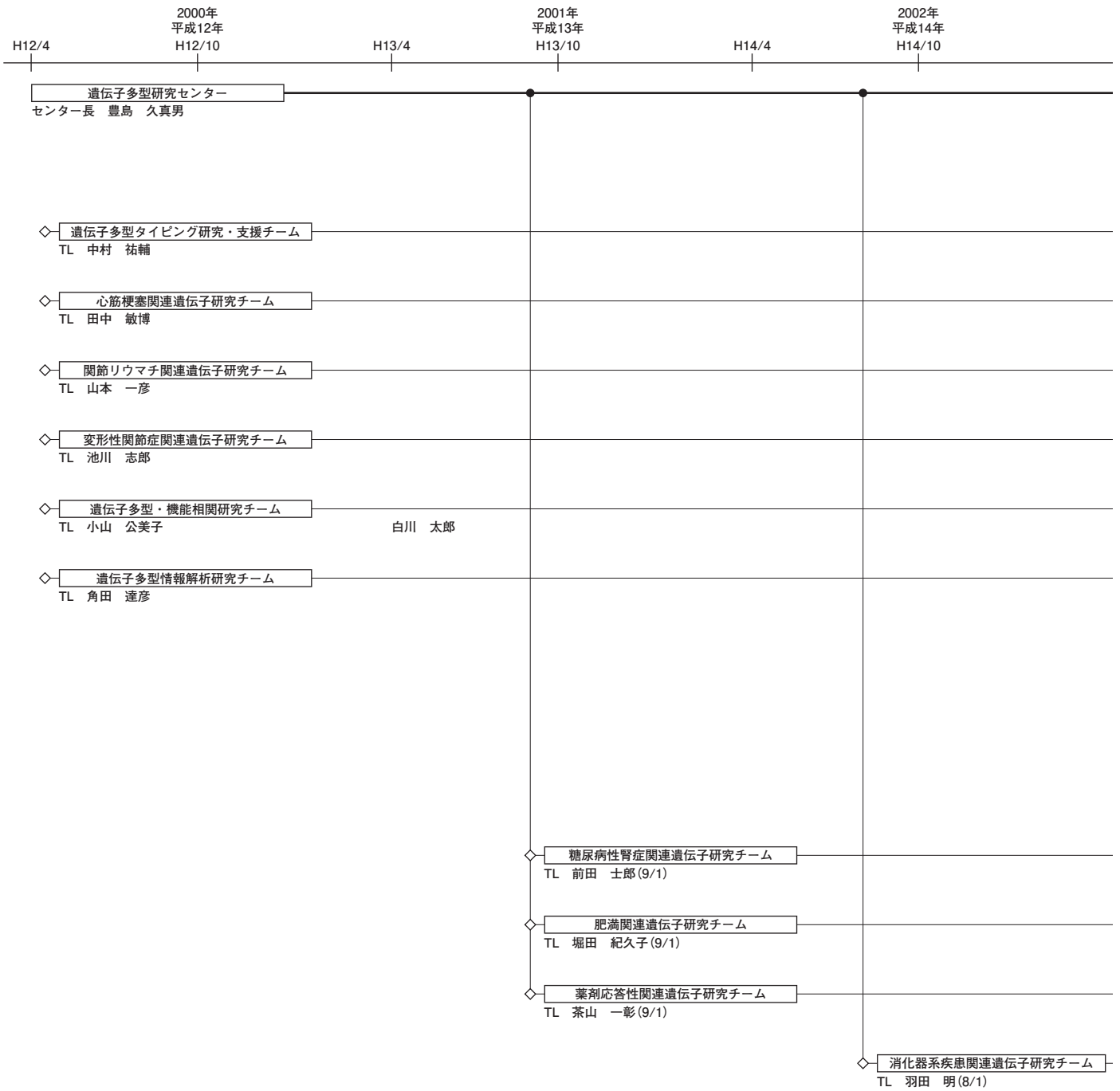




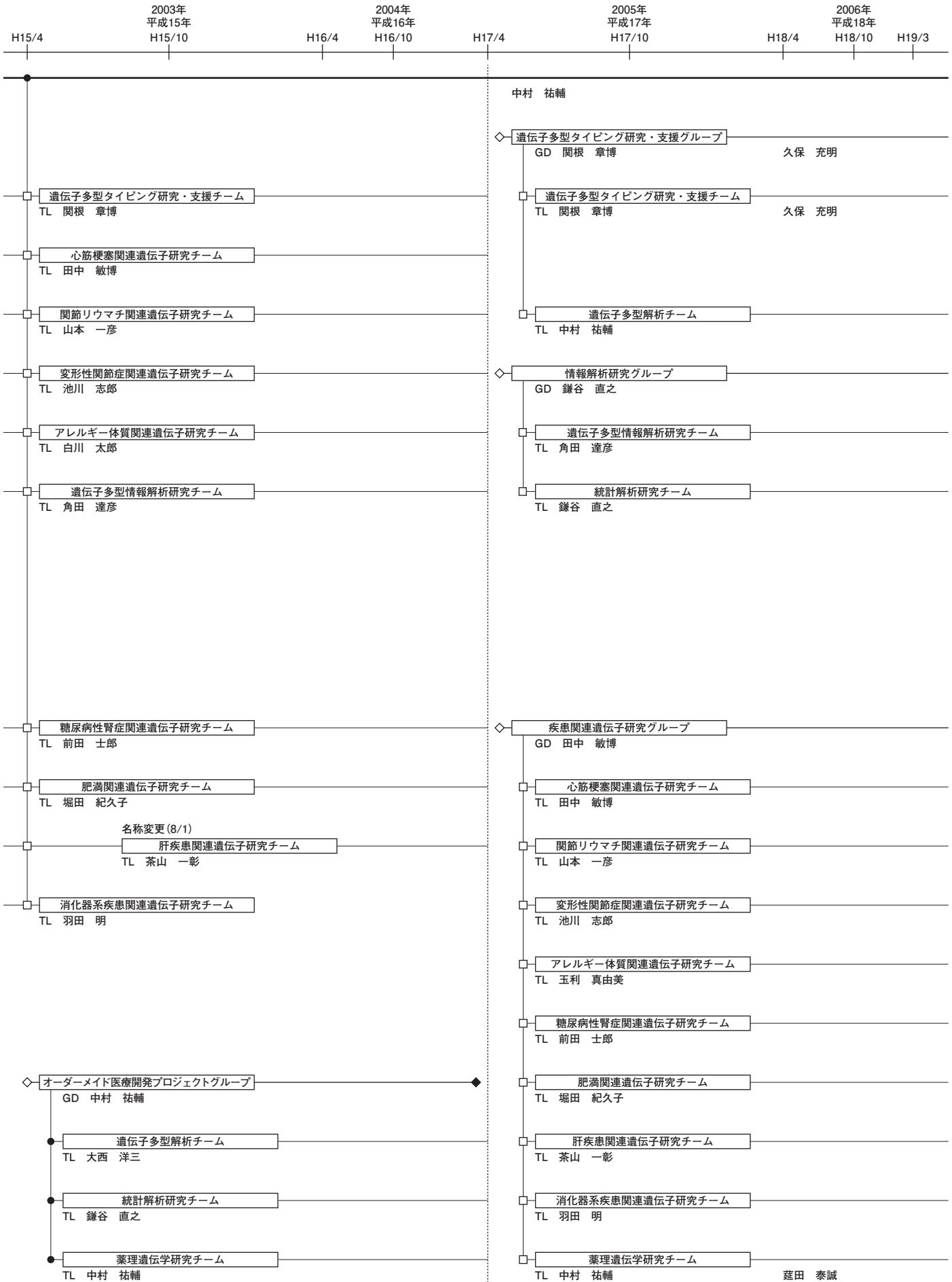
# ■ 遺伝子多型研究センター



研究室の推移  
遺伝子多型研究センター



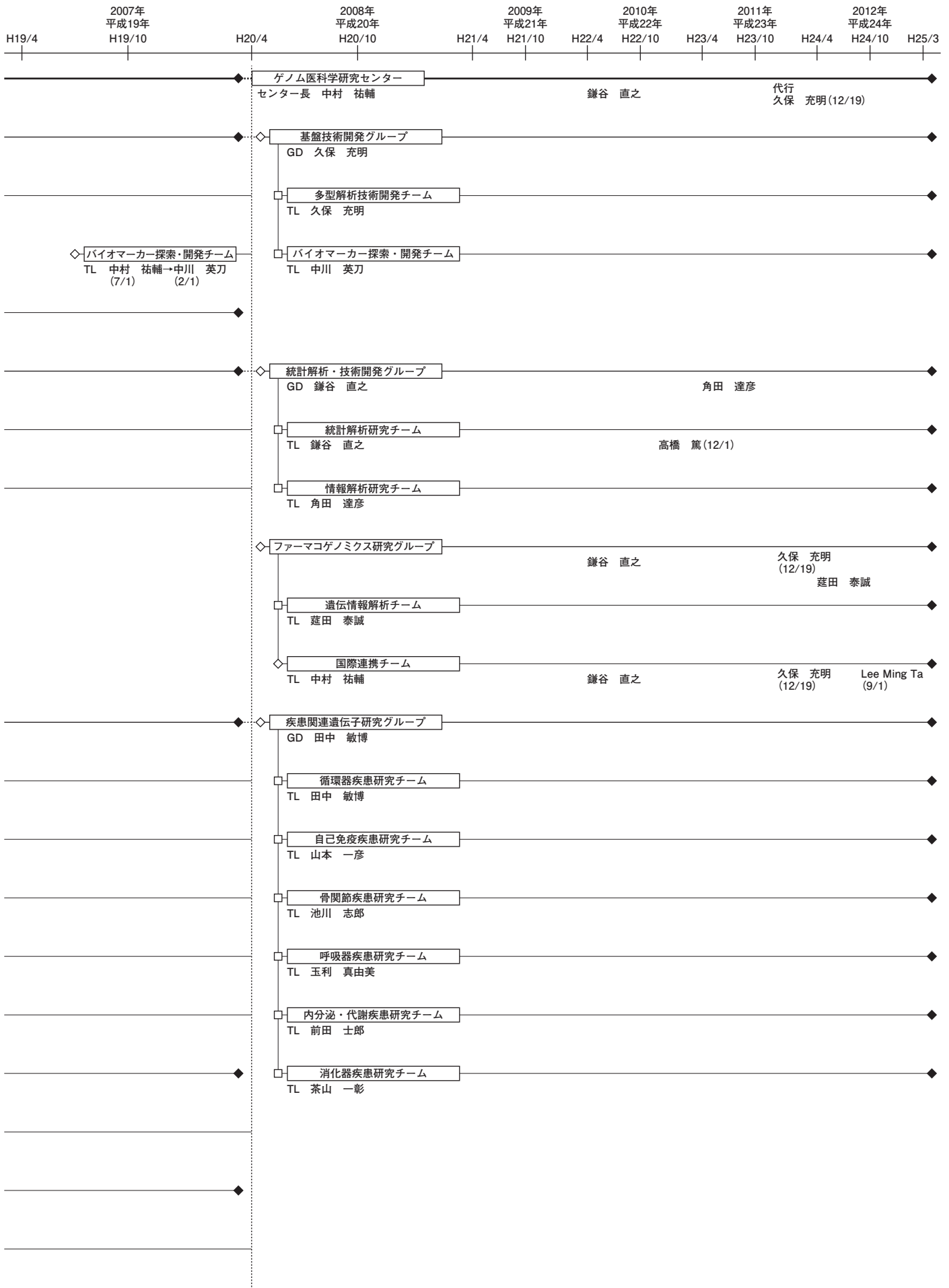




# ■ 遺伝子多型研究センター、ゲノム医科学研究センター



研究室の推移  
遺伝子多型研究センター、ゲノム医科学研究センター



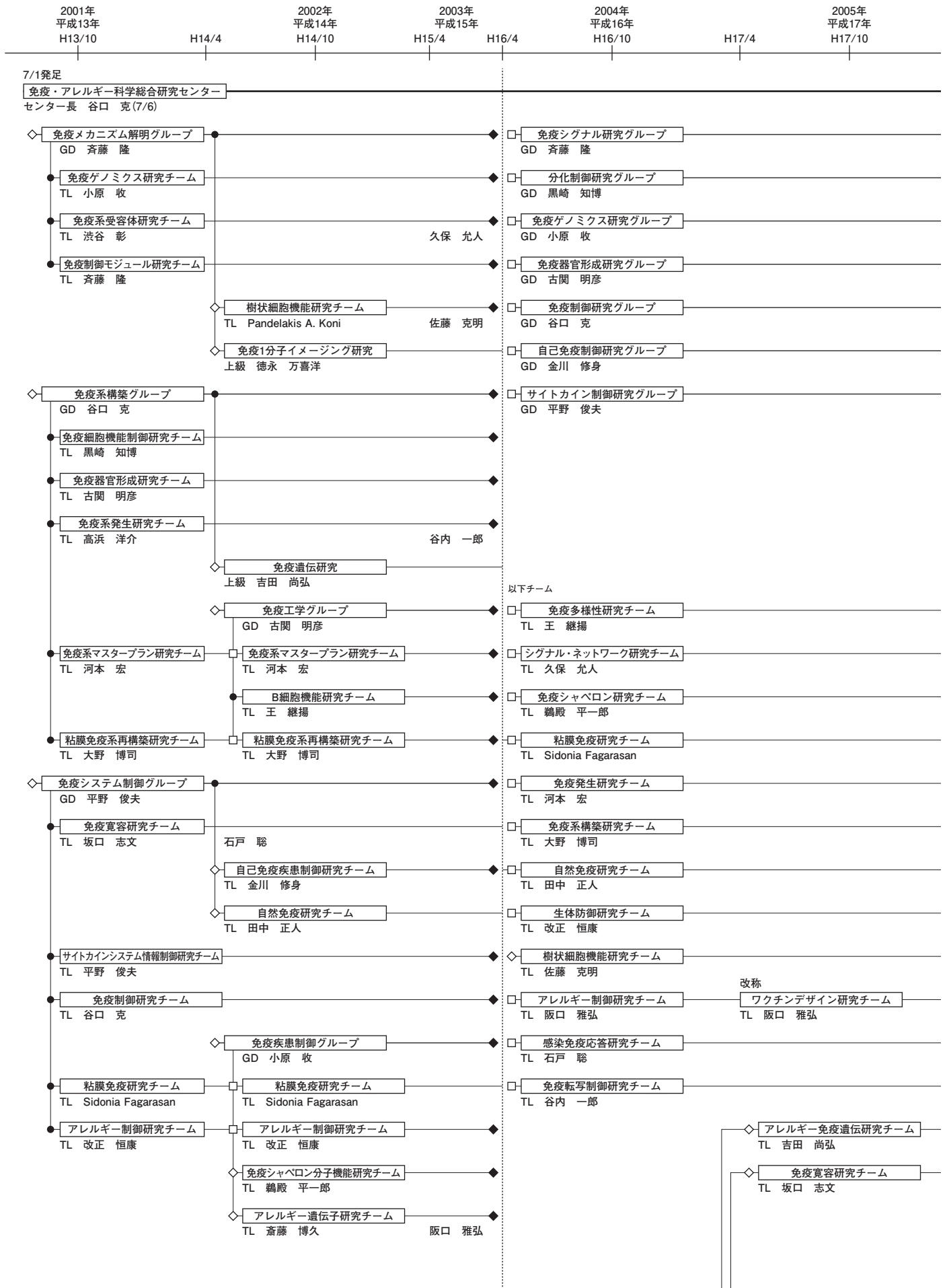


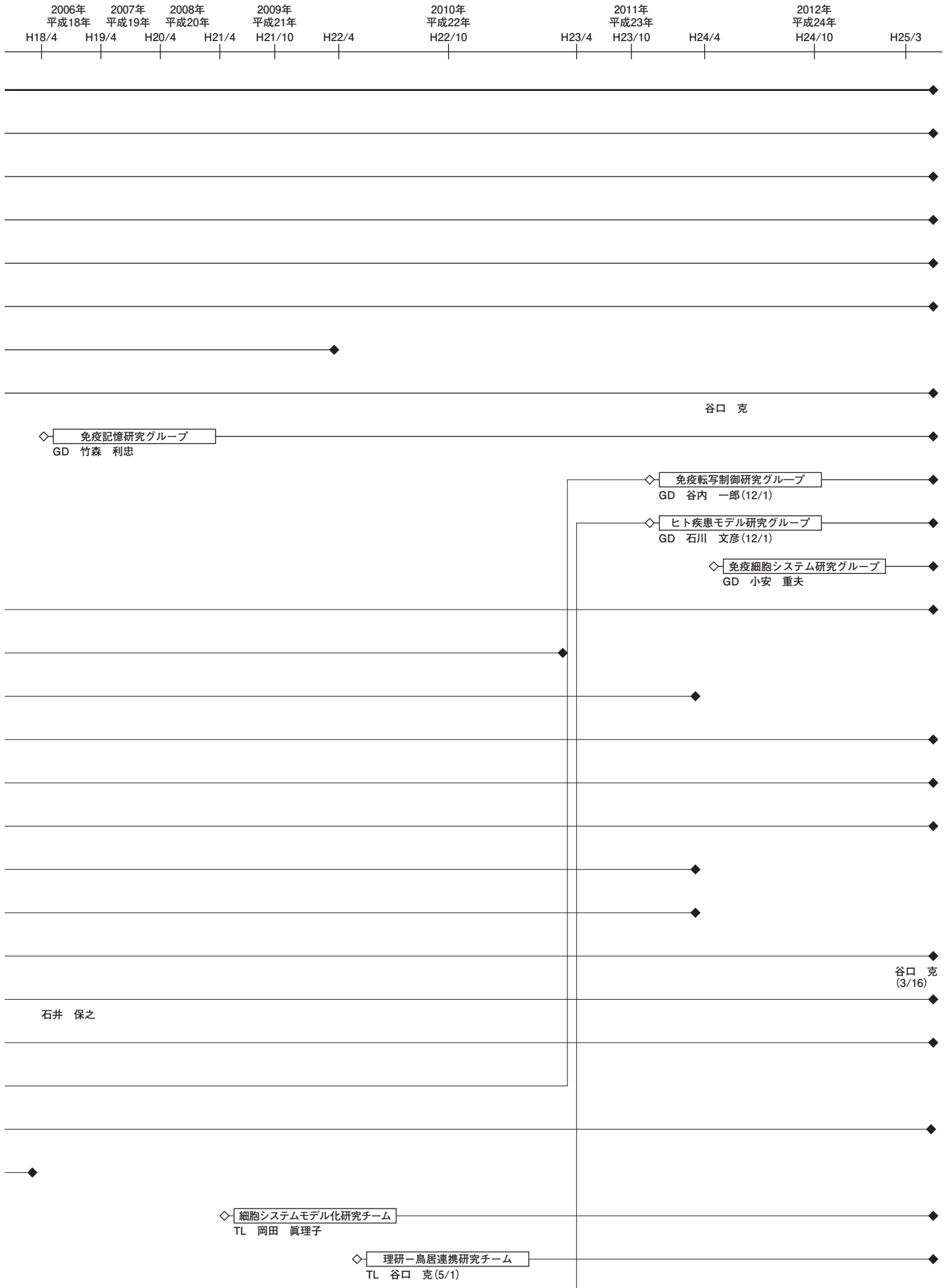
# 免疫・アレルギー科学総合研究センター (1)



研究室の推移

免疫・アレルギー科学総合研究センター (1)

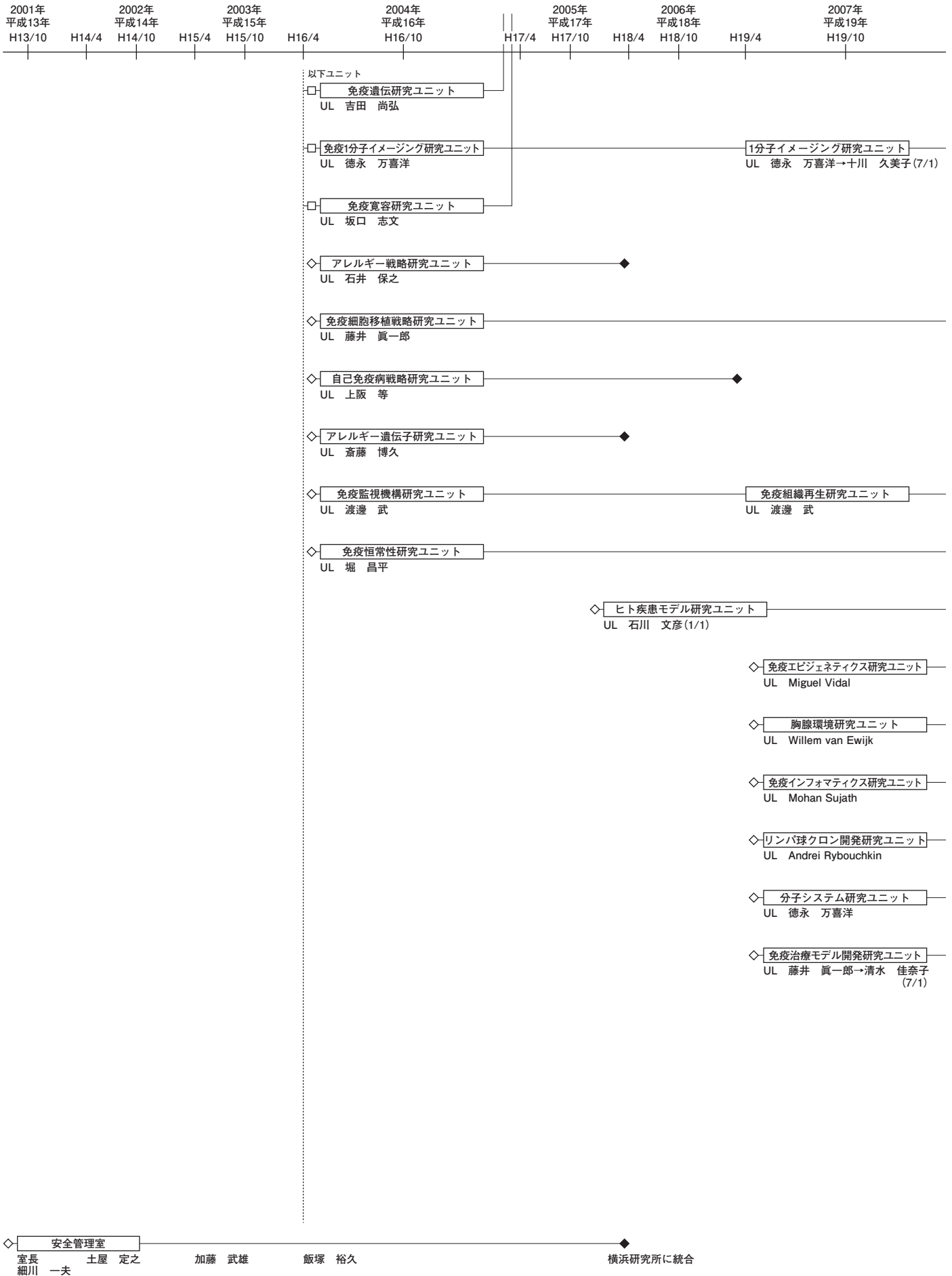


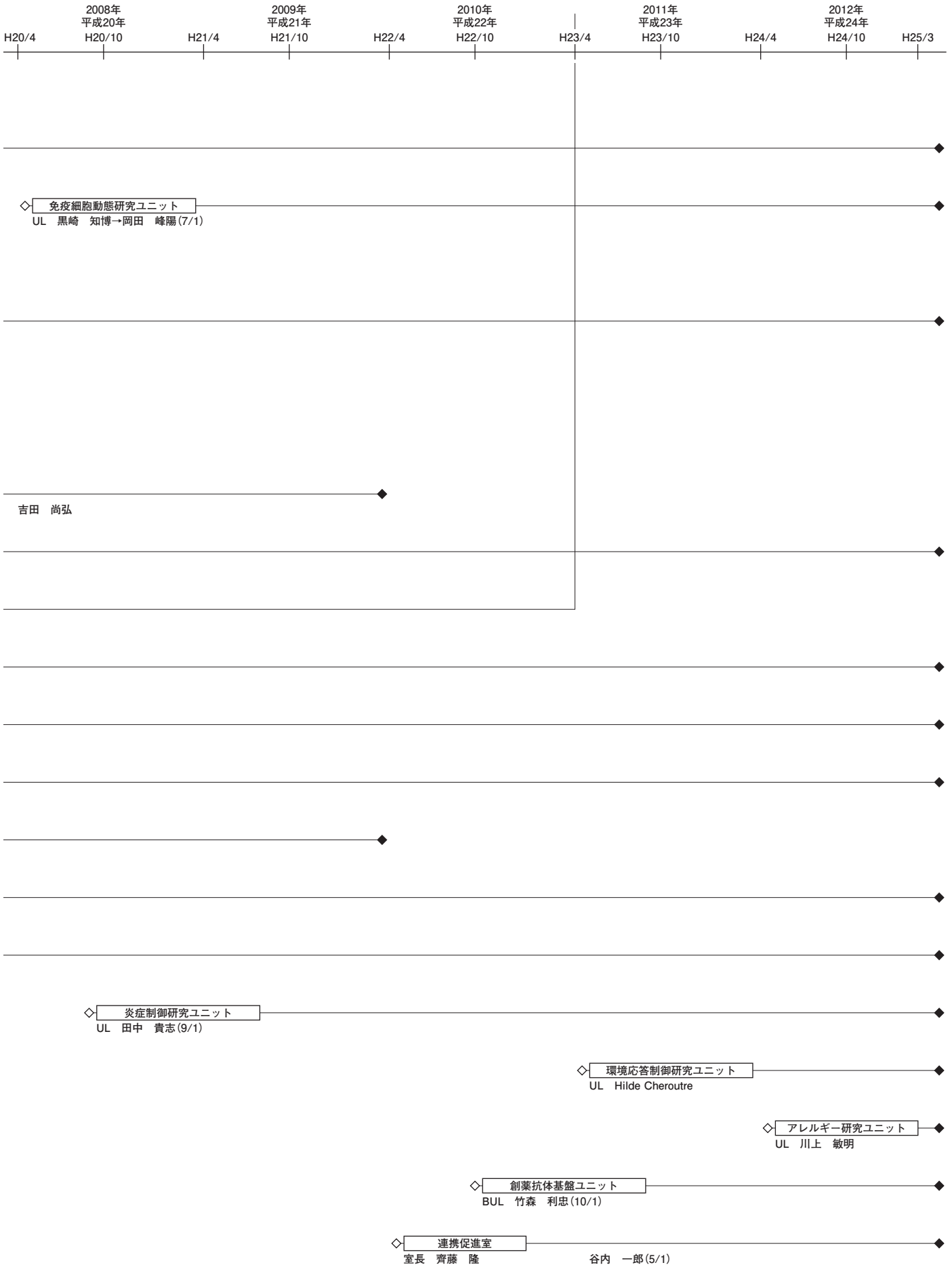


# 免疫・アレルギー科学総合研究センター (2)



研究室内の推移  
免疫・アレルギー科学総合研究センター (2)



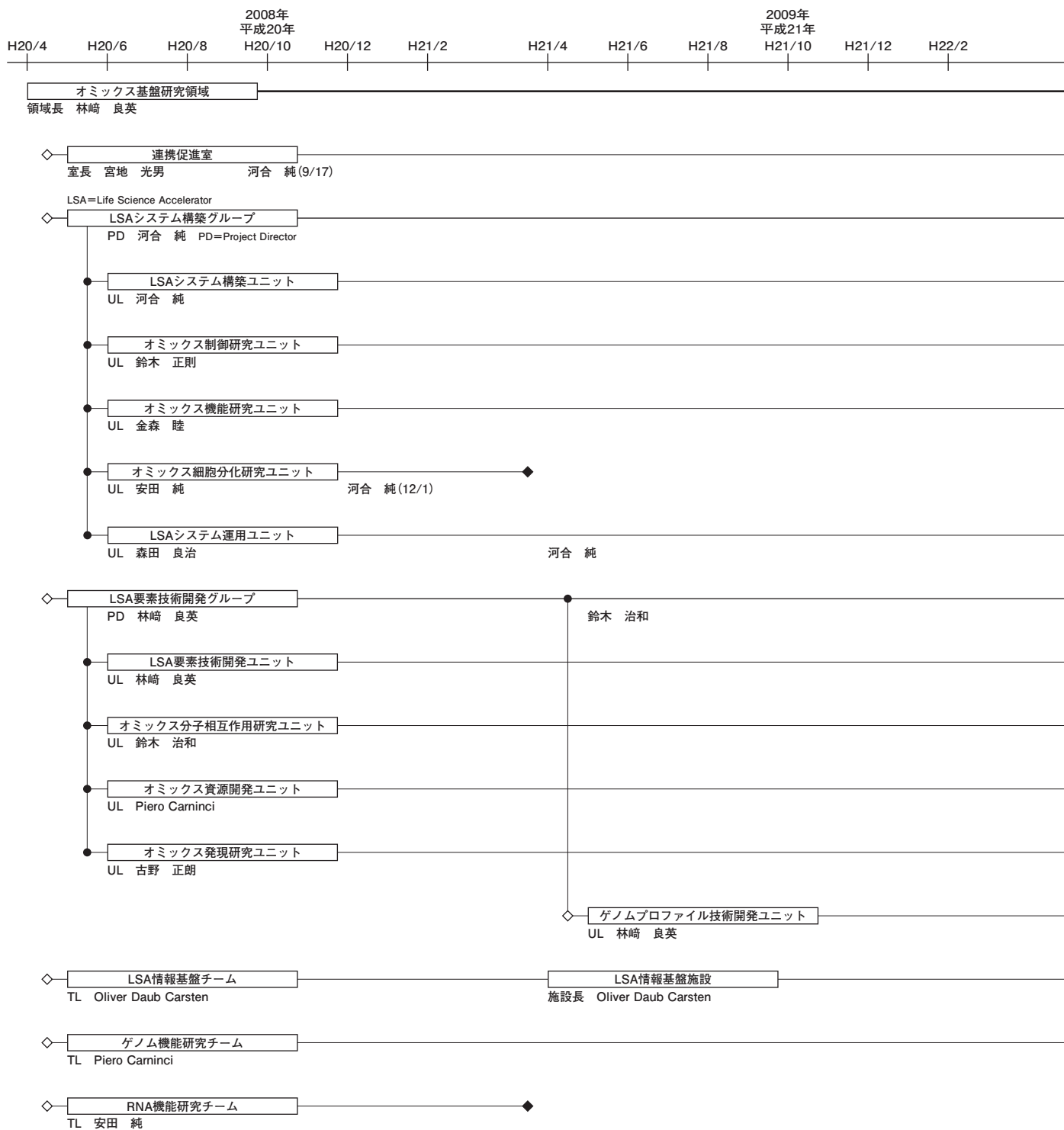


# ■ オミックス基盤研究領域

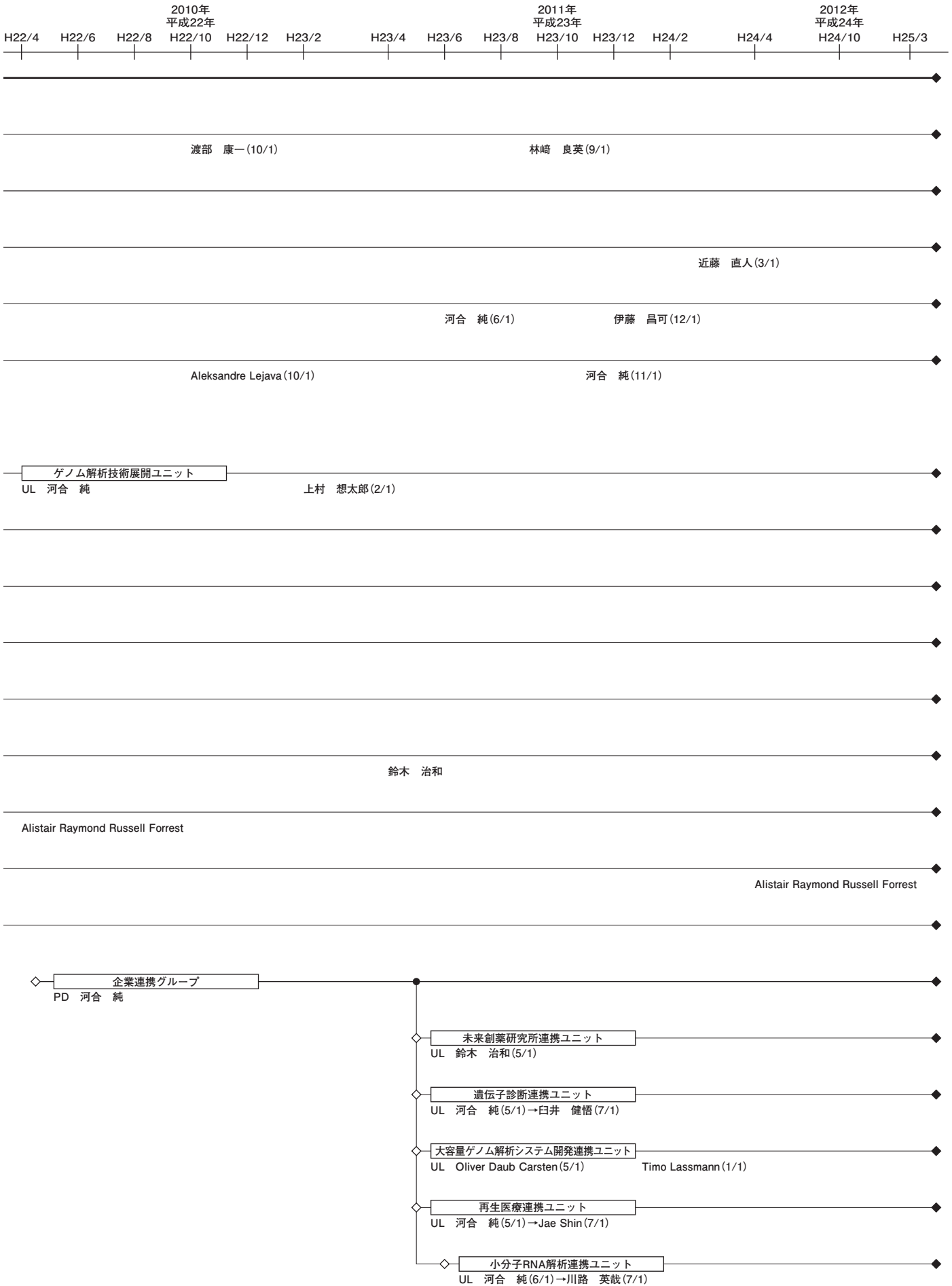


研究室の推移

オミックス基盤研究領域



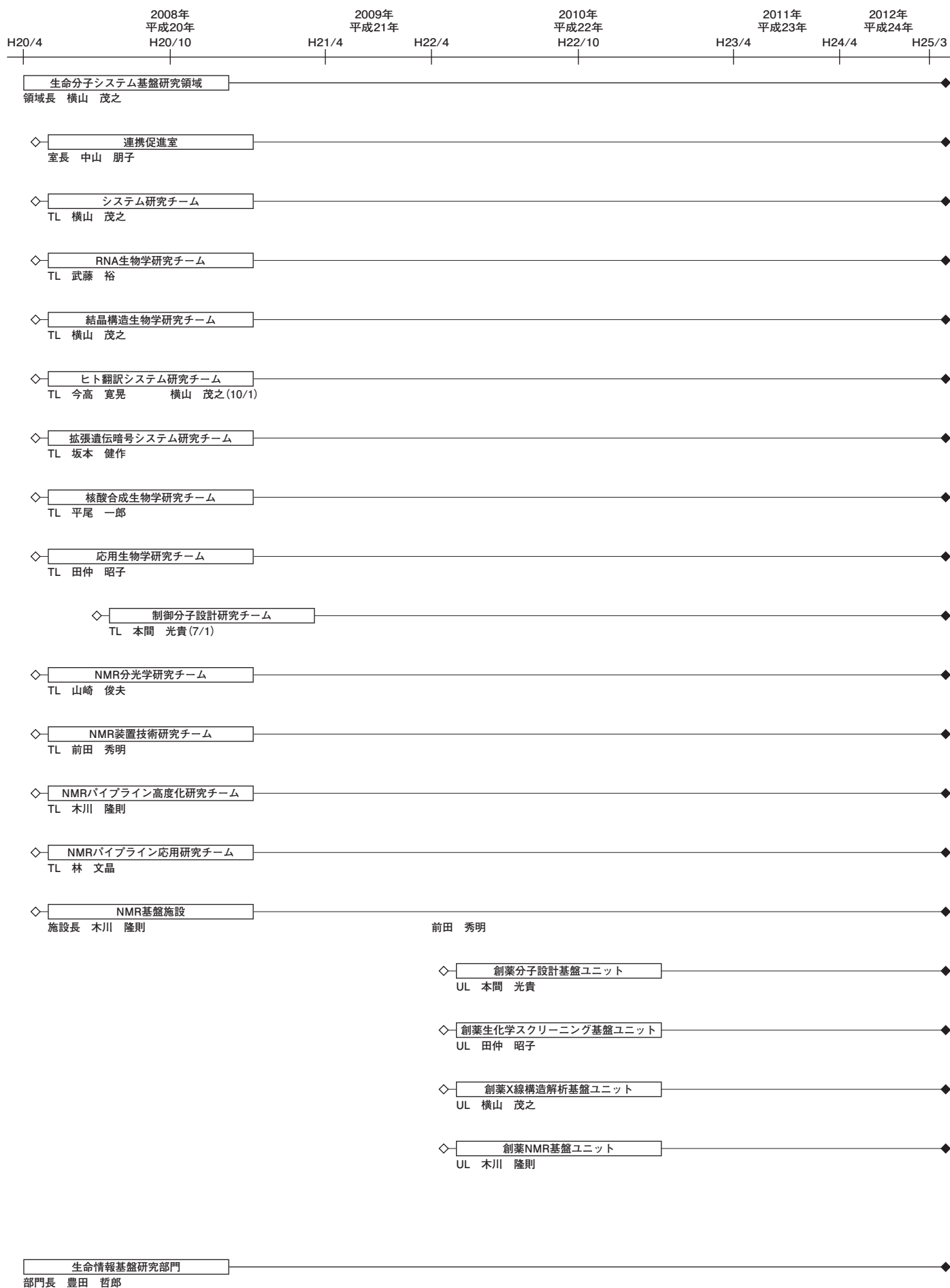




# 生命分子システム基盤研究領域、生命情報基盤研究部門



研究室の推移  
生命分子システム基盤研究領域、  
生命情報基盤研究部門

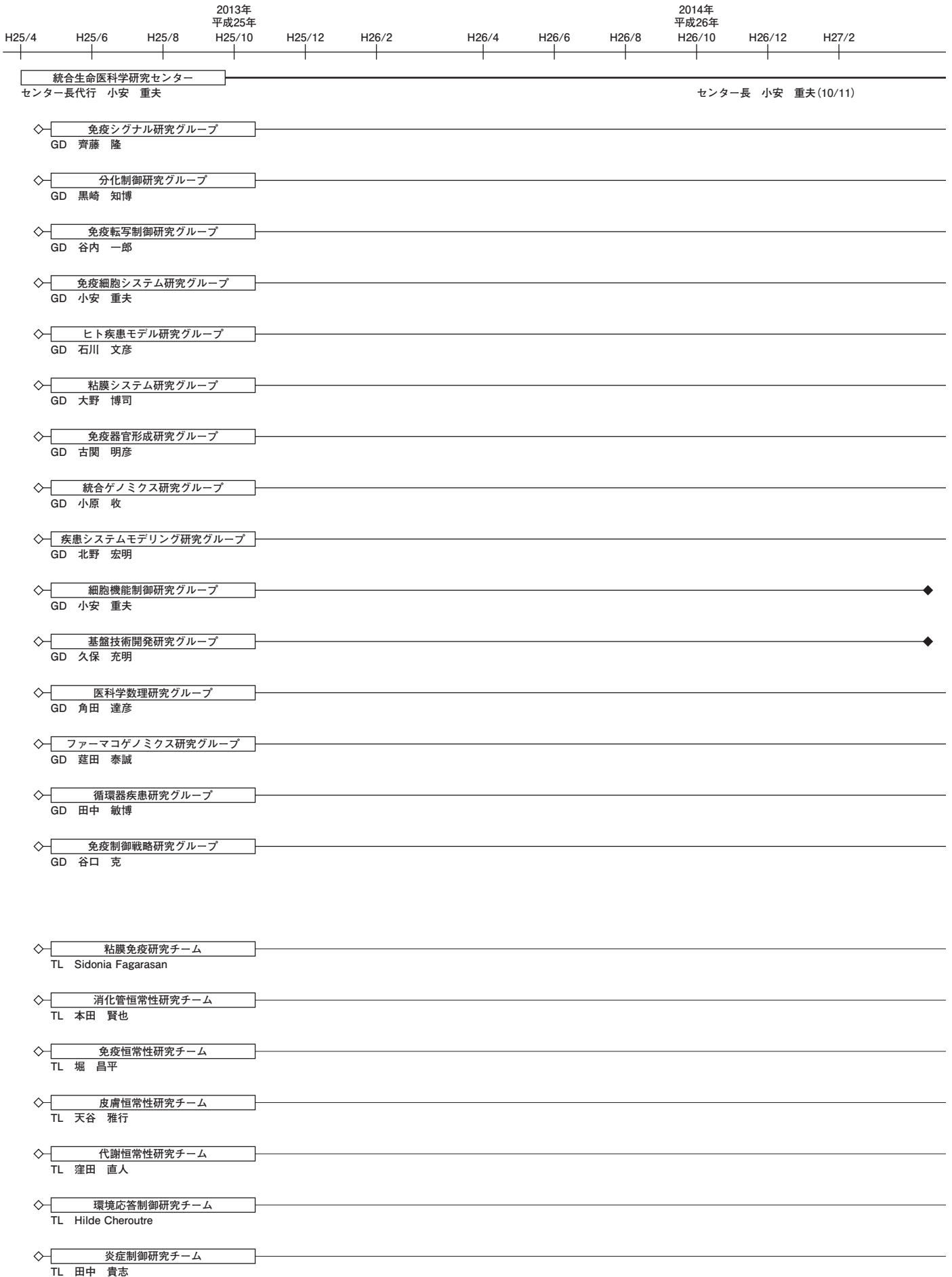




# ■ 統合生命医科学研究センター (1)



研究室の推移  
統合生命医科学研究センター(1)

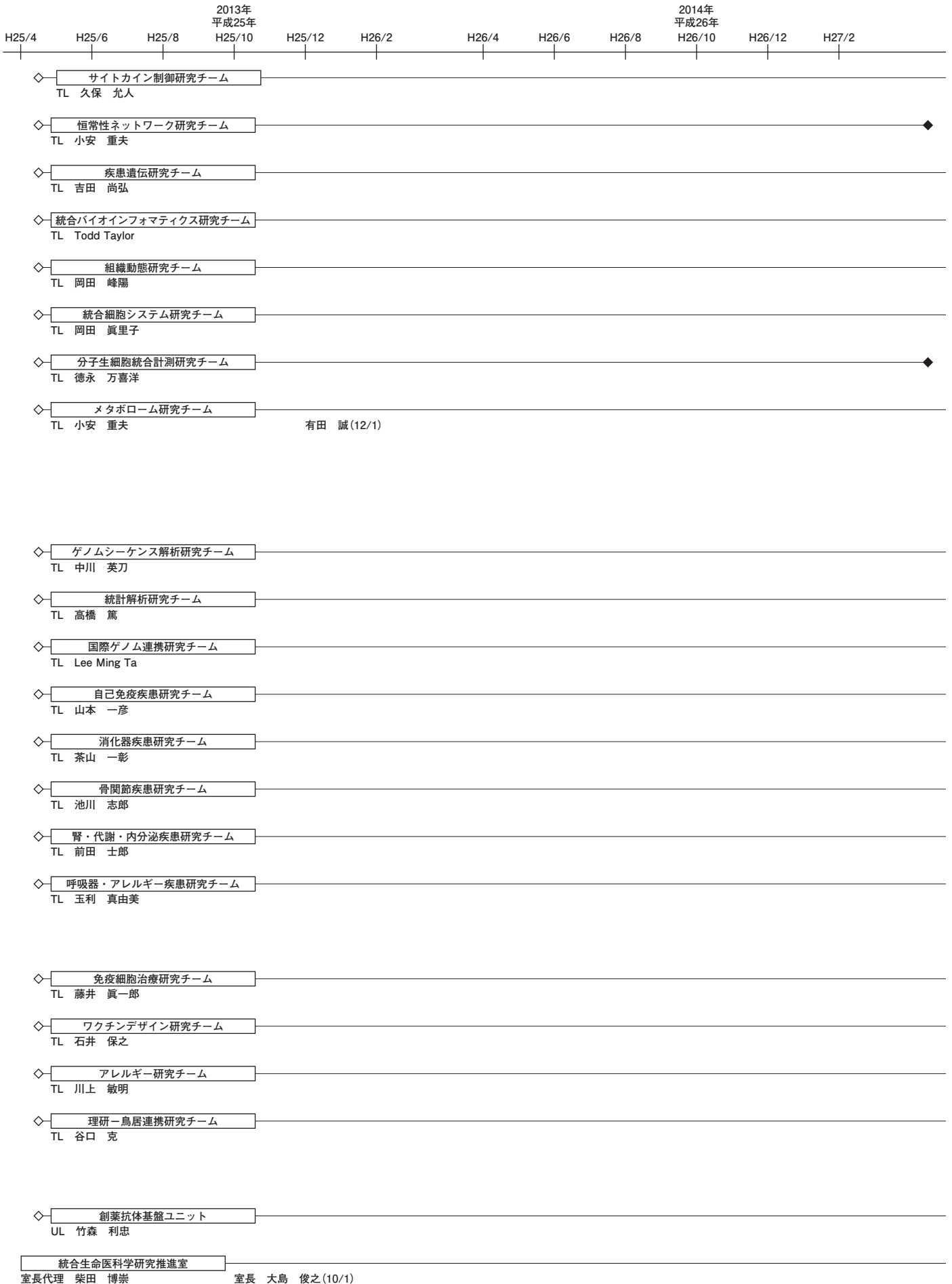




# ■ 統合生命医科学研究センター (2)



研究室の推移  
統合生命医科学研究センター(2)

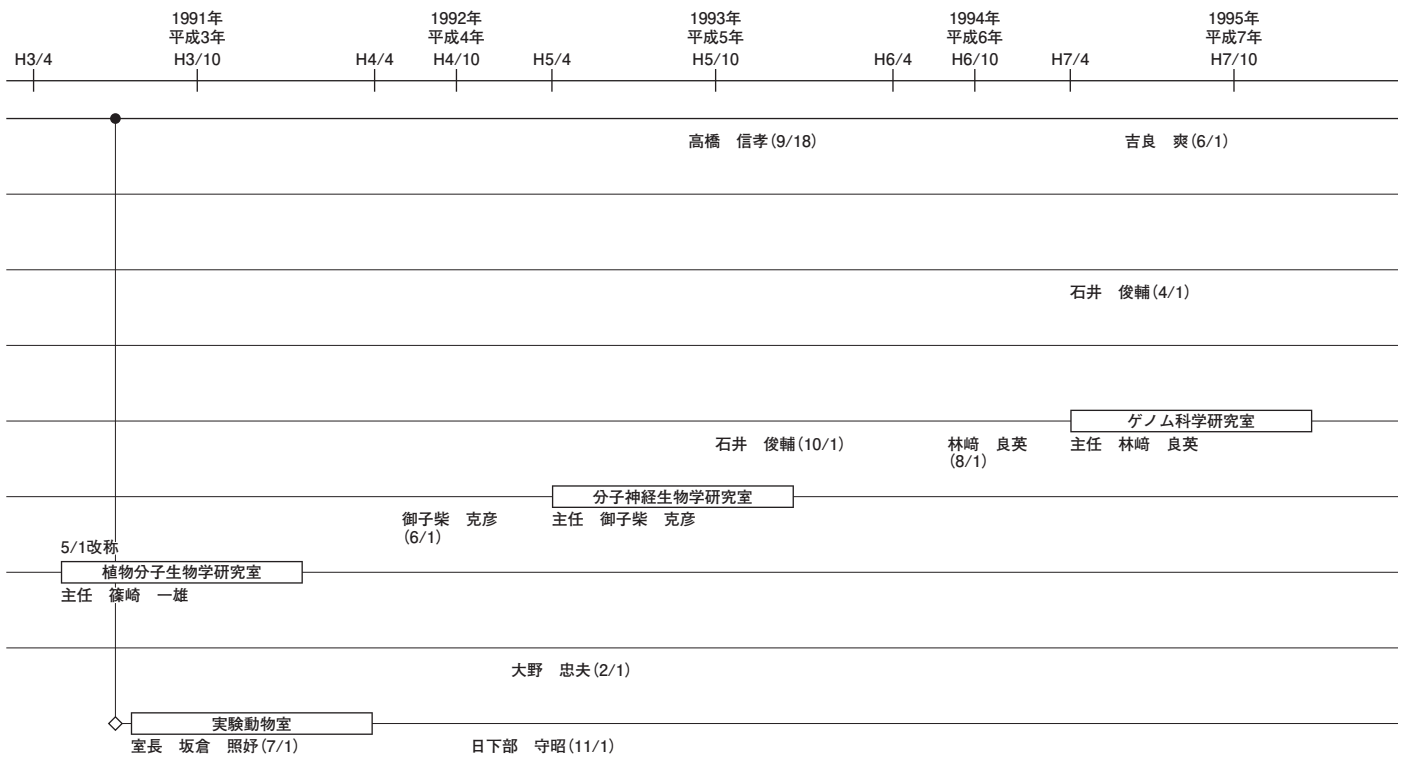
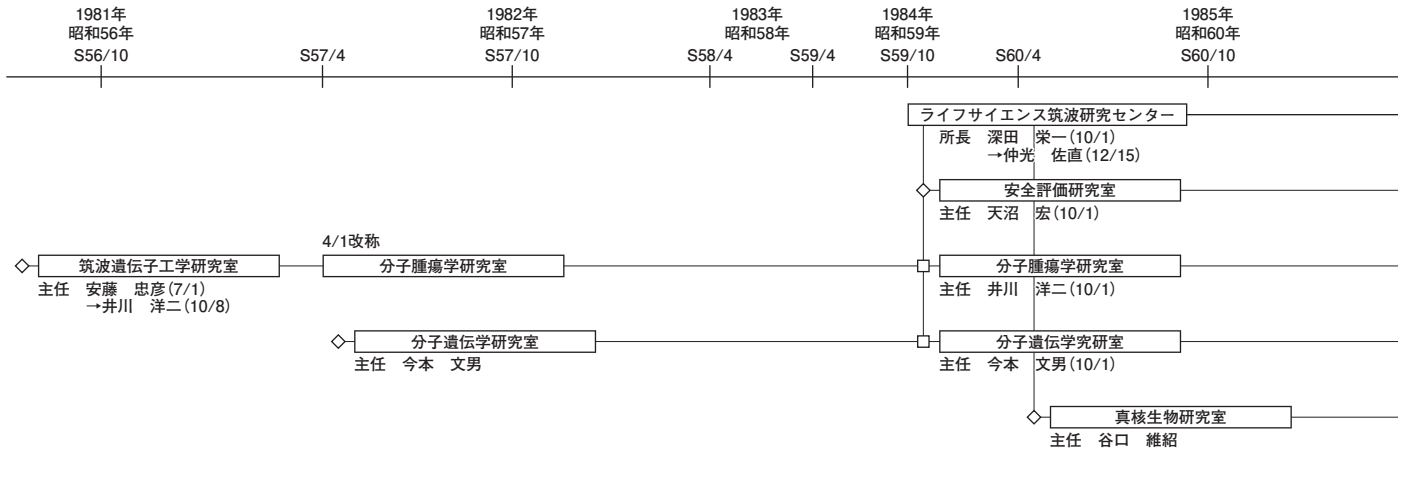




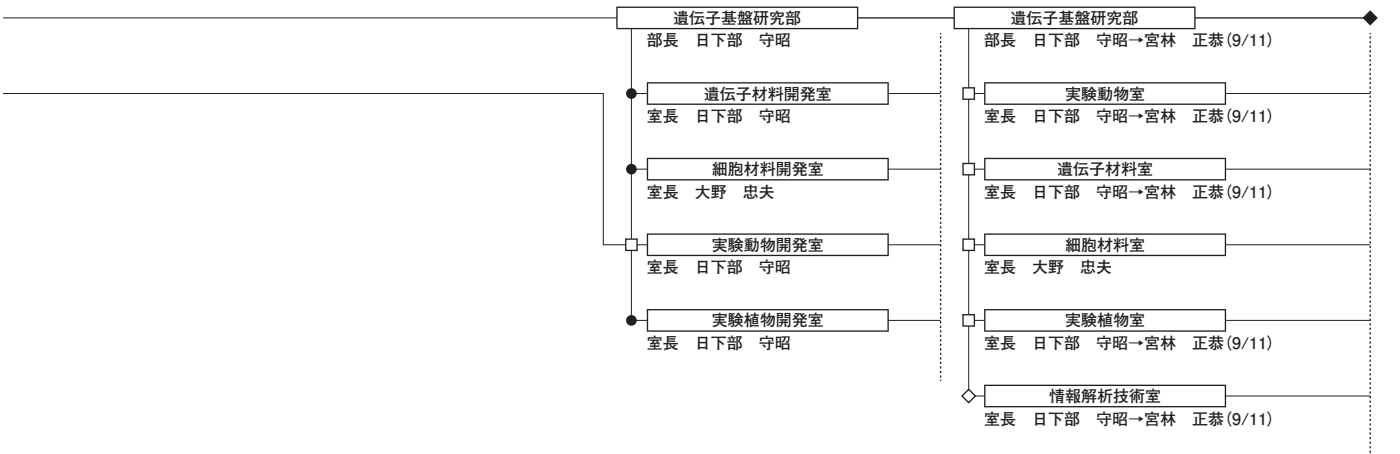
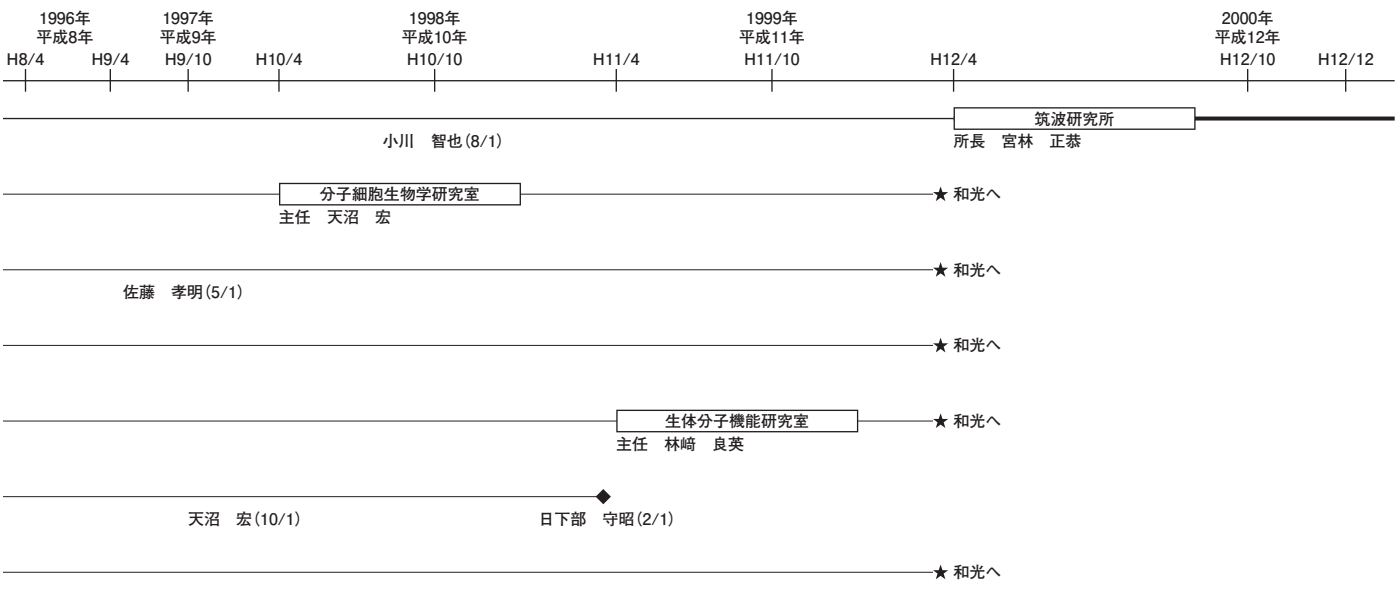
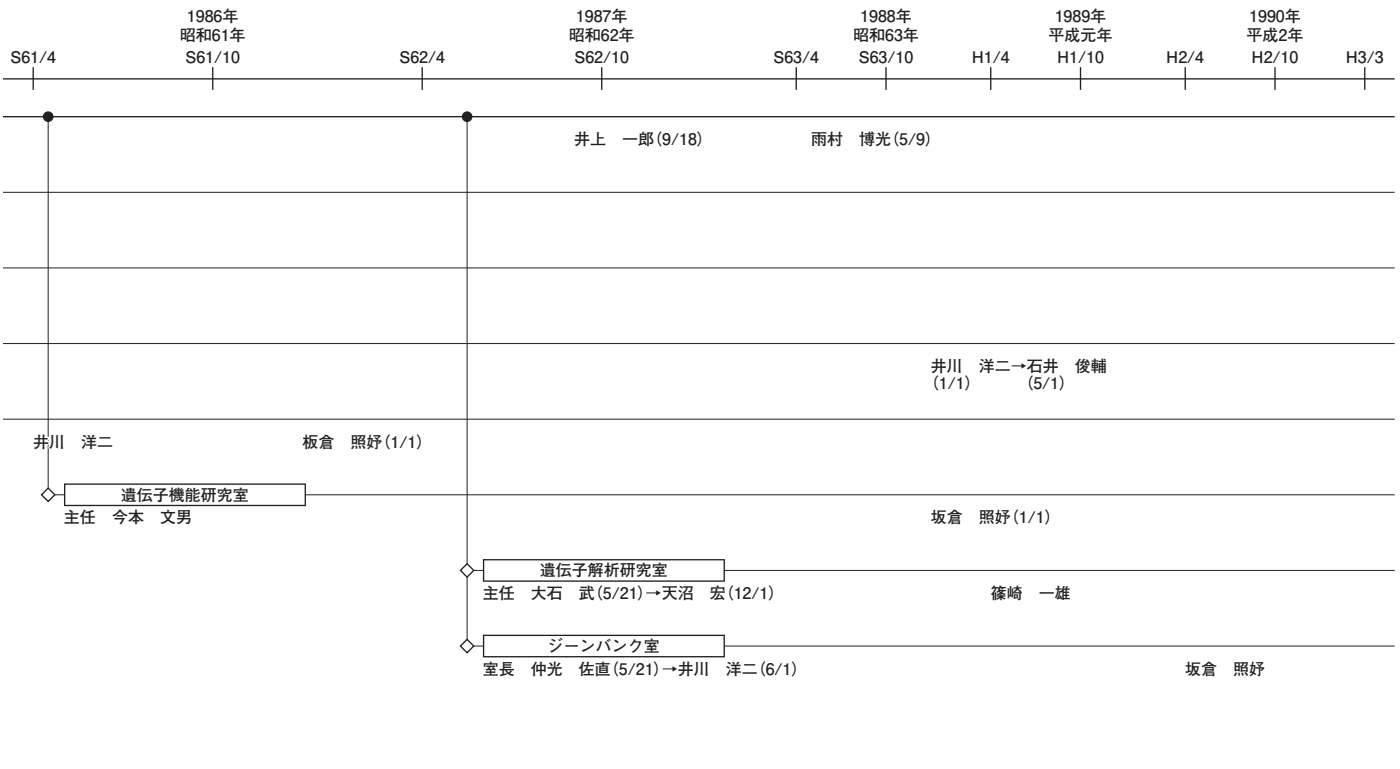
# ■ バイオリソースセンター (1)



研究室内の推移  
バイオリソースセンター (1)





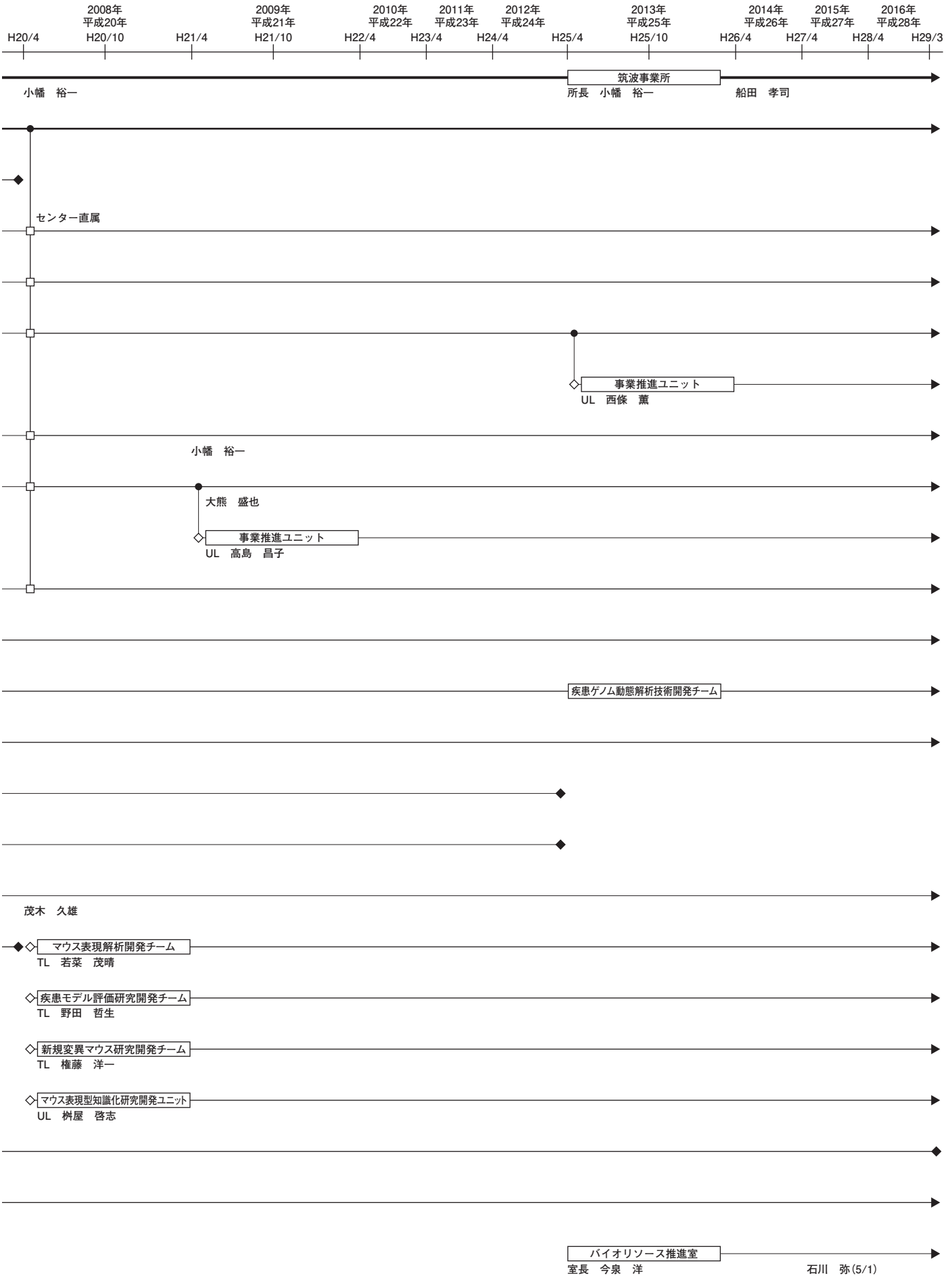


# ■ バイオリソースセンター (2)



研究室の推移  
バイオリソースセンター(2)





# ライフサイエンス技術基盤研究センター (1)



研究室内の推移  
ライフサイエンス技術基盤研究センター (1)



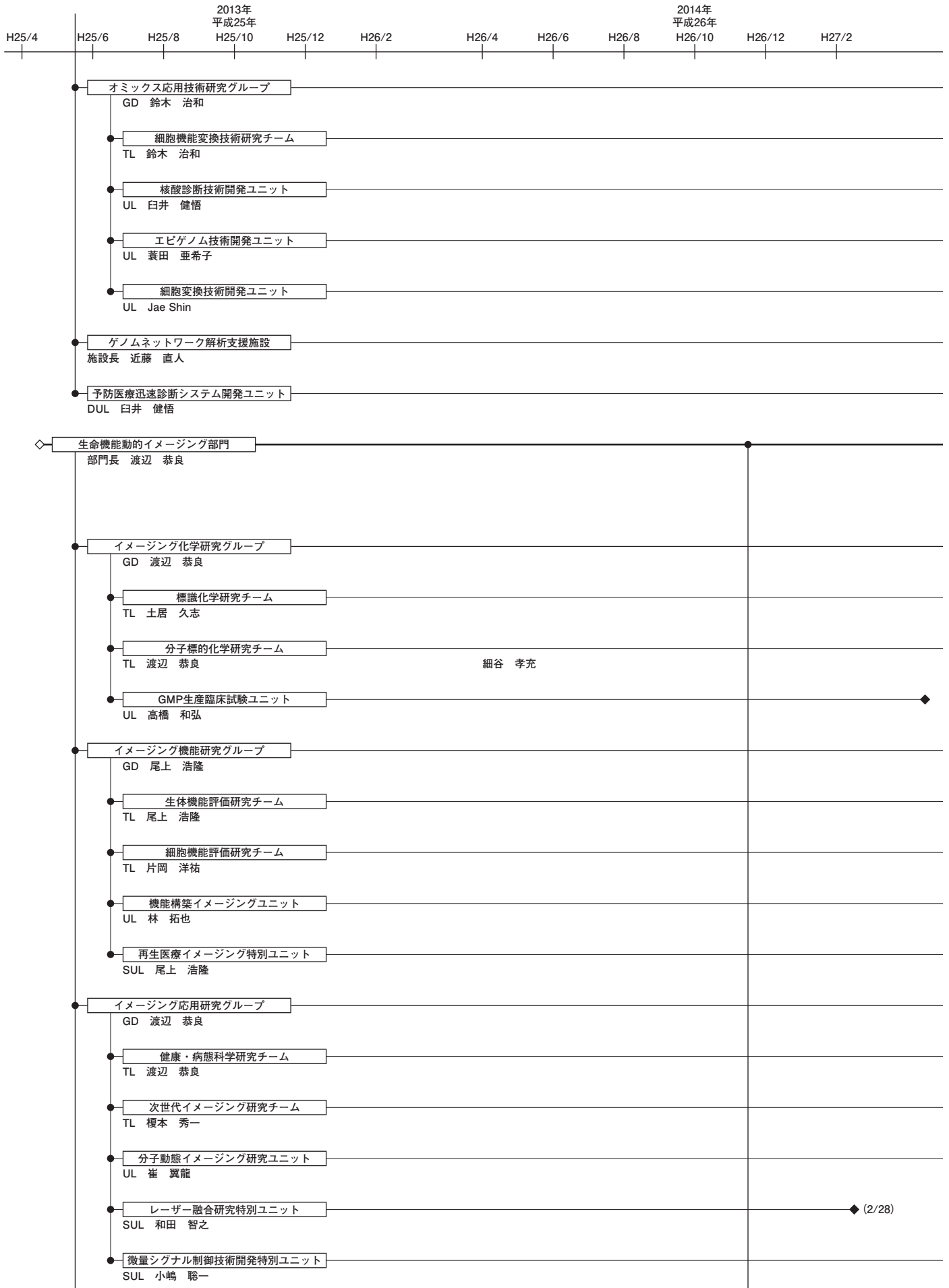


# ライフサイエンス技術基盤研究センター (2)



研究室の推移

ライフサイエンス技術基盤研究センター (2)

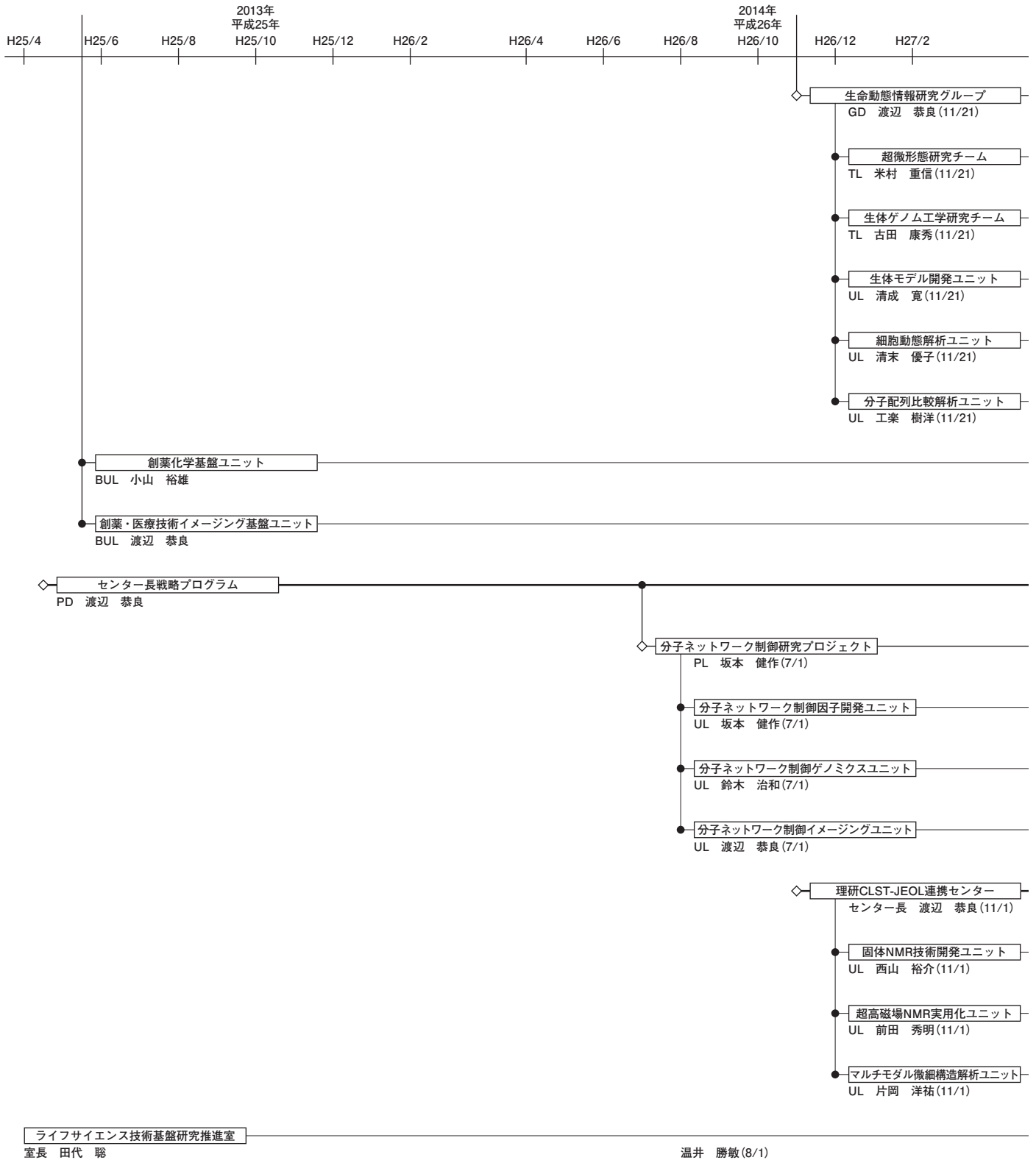




# ライフサイエンス技術基盤研究センター (3)



研究室の推移  
ライフサイエンス技術基盤研究センター (3)





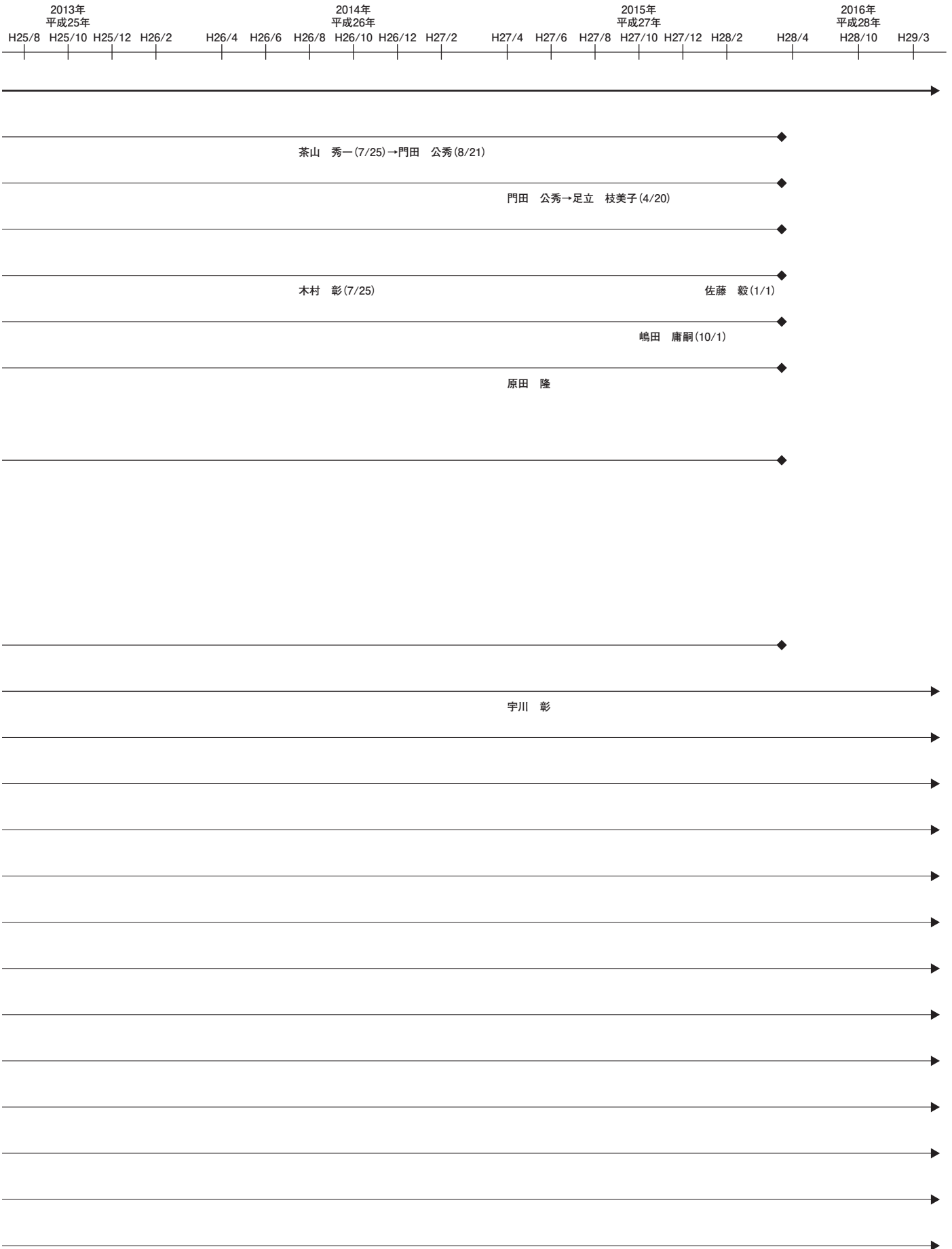


# 計算科学研究機構 (1)



研究室の推移  
計算科学研究機構 (1)

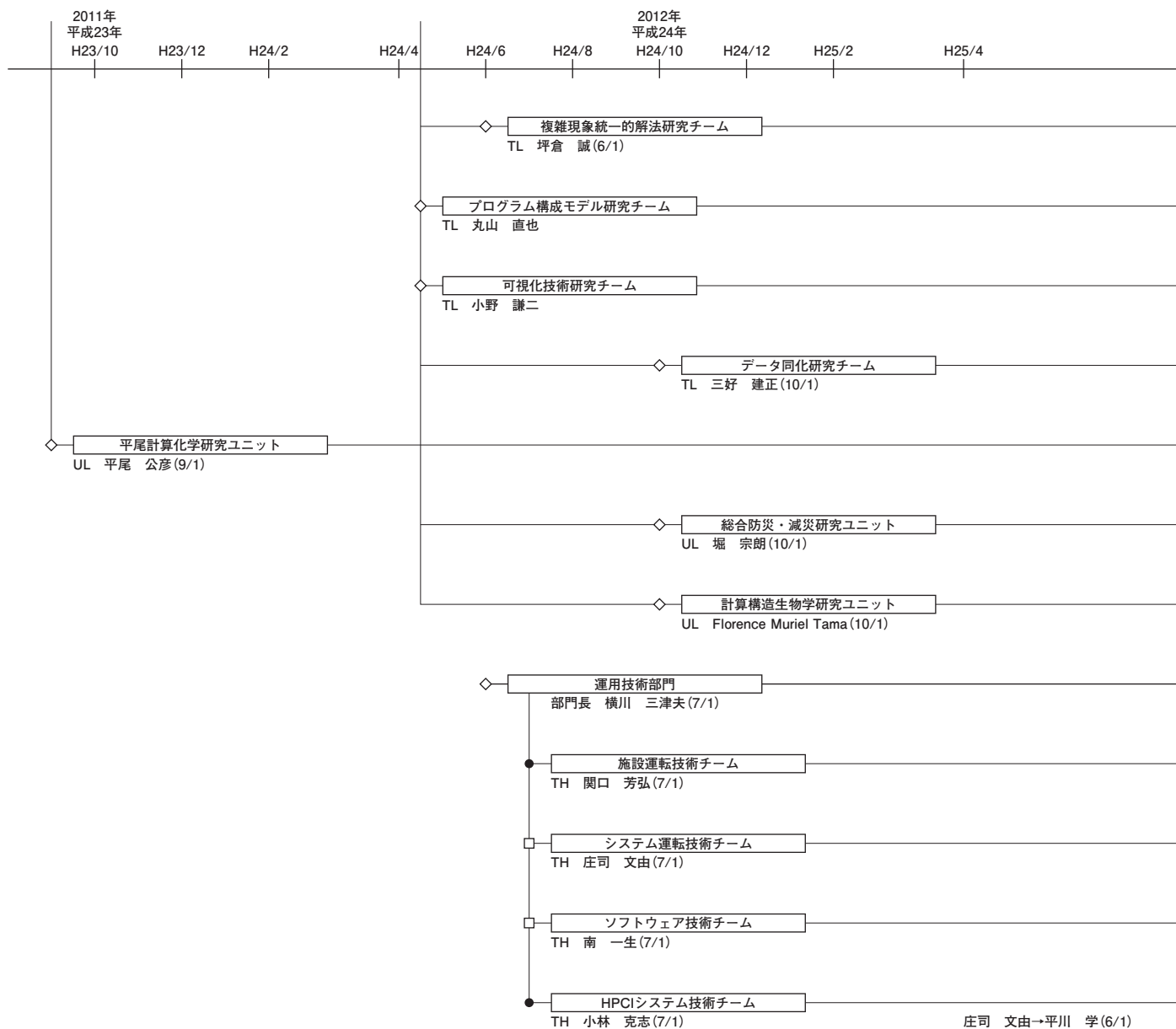


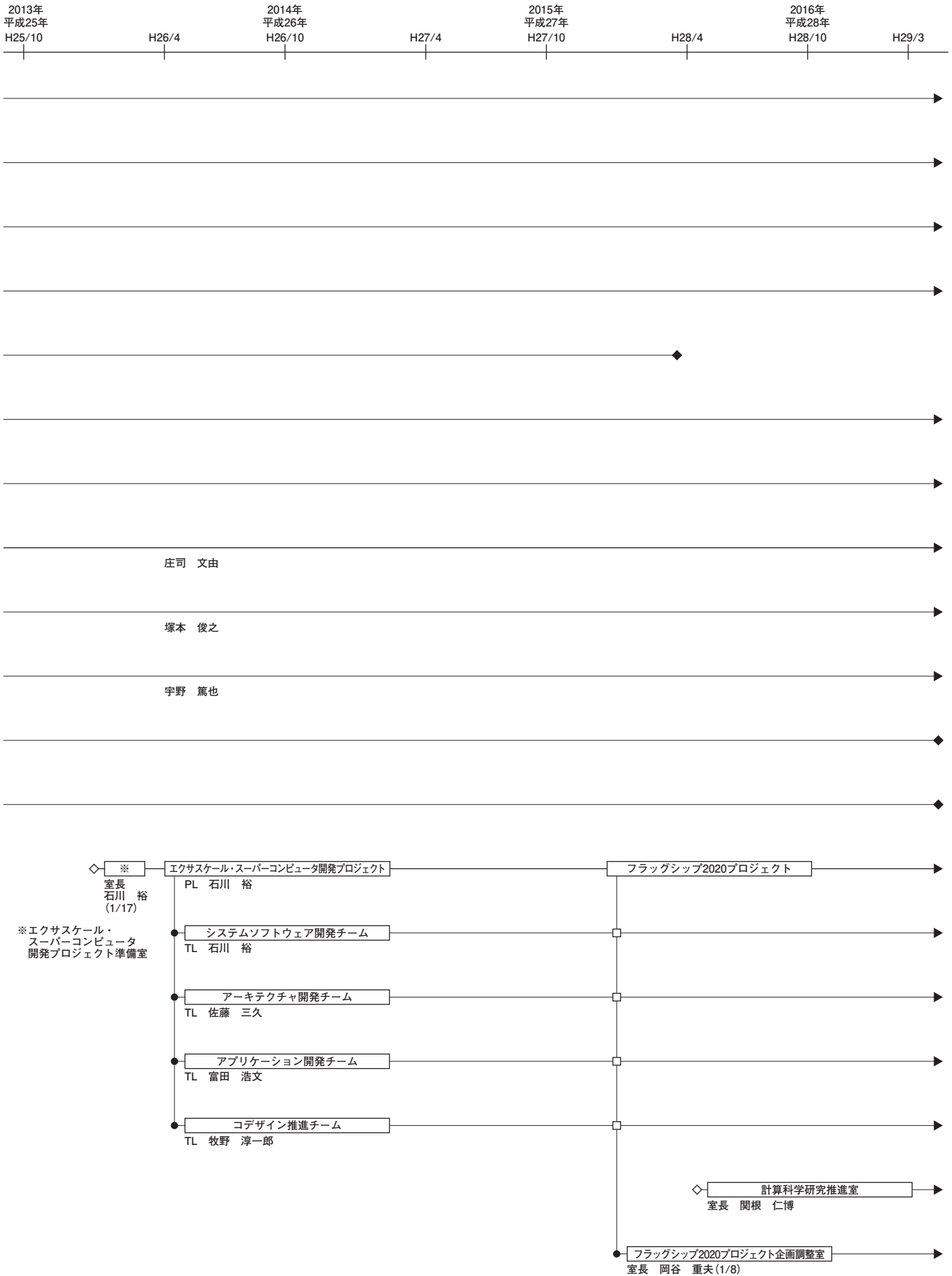


# 計算科学研究機構 (2)



研究室の推移  
計算科学研究機構 (2)

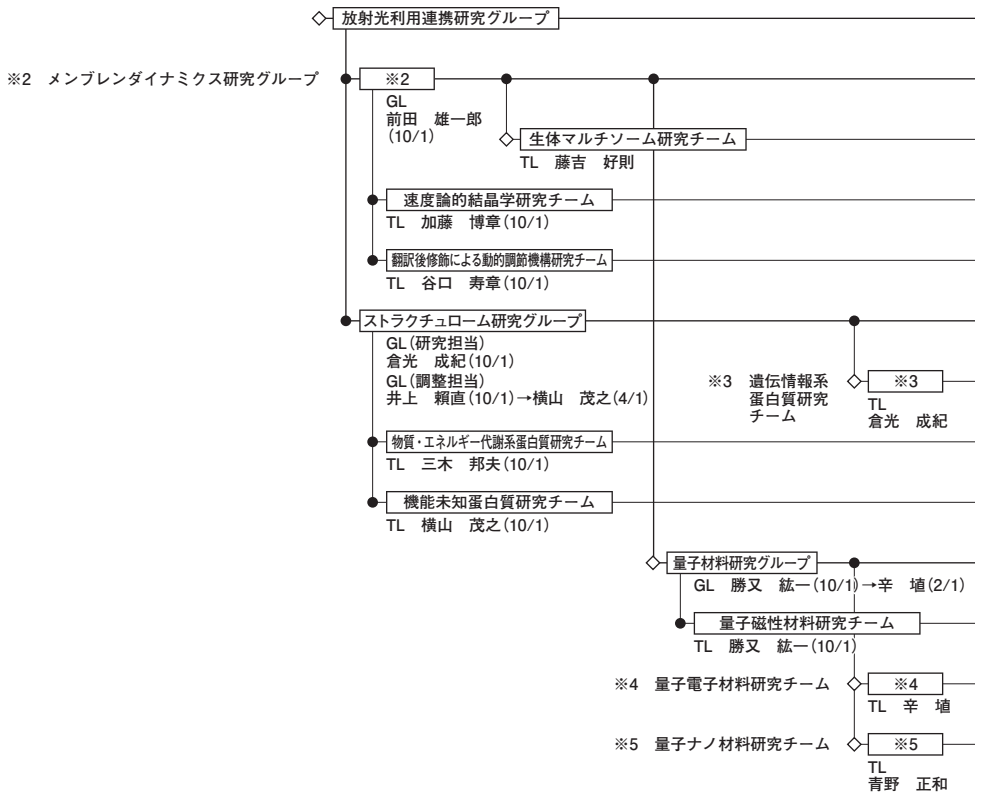
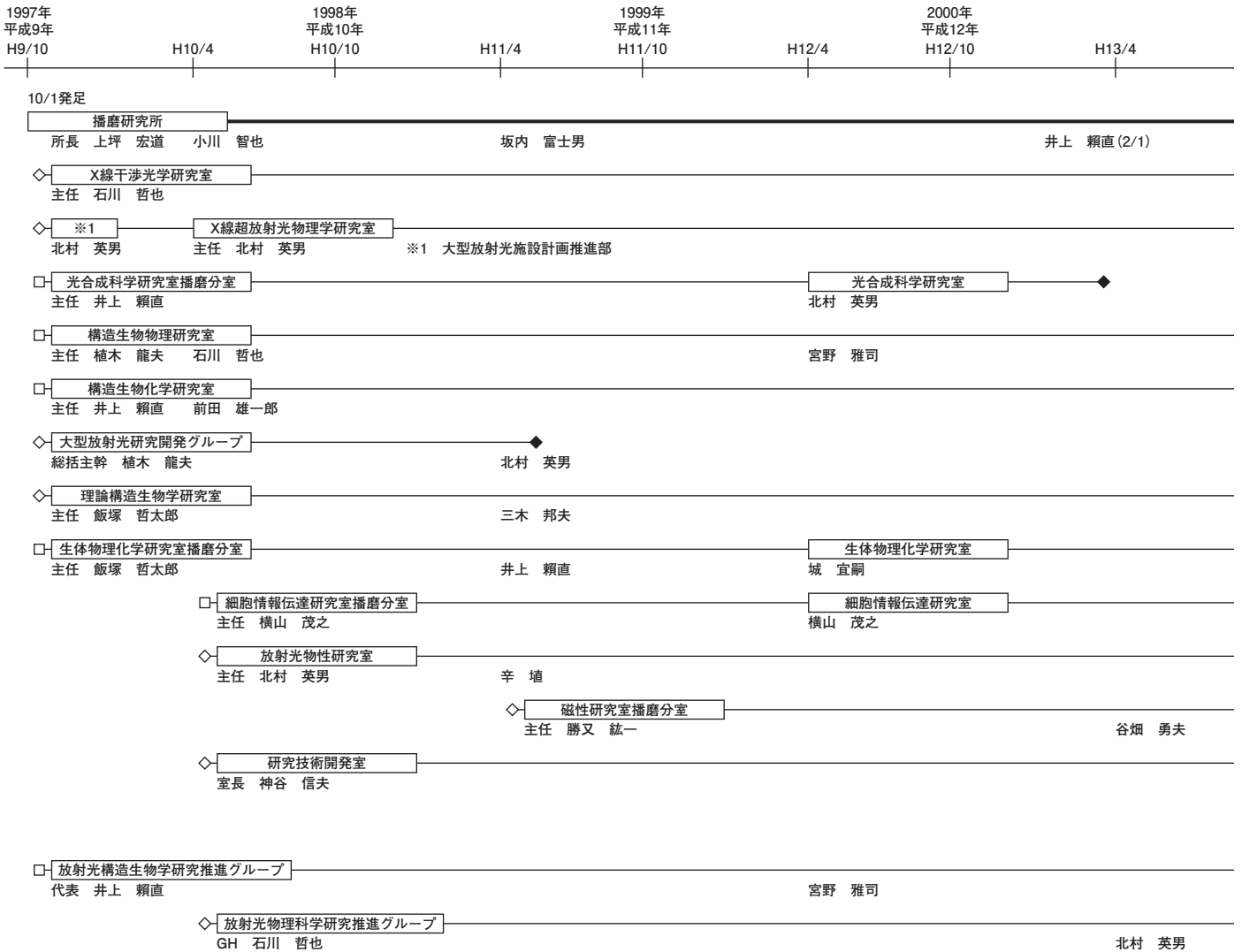




# 放射光科学総合研究センター (1-1)

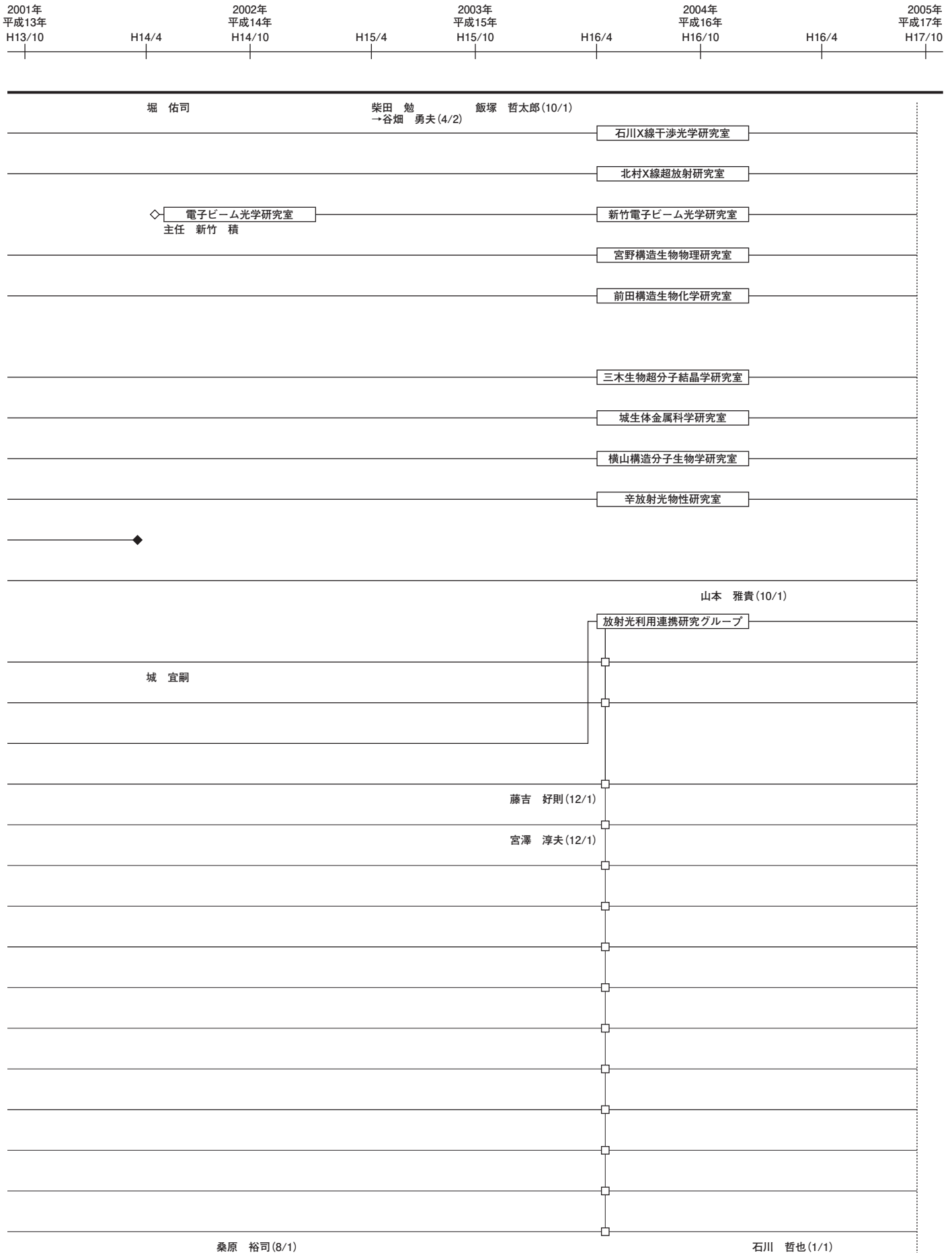


研究室の推移  
放射光科学総合研究センター(1-1)



## ●276~283ページの全体配置 放射光科学総合研究センター

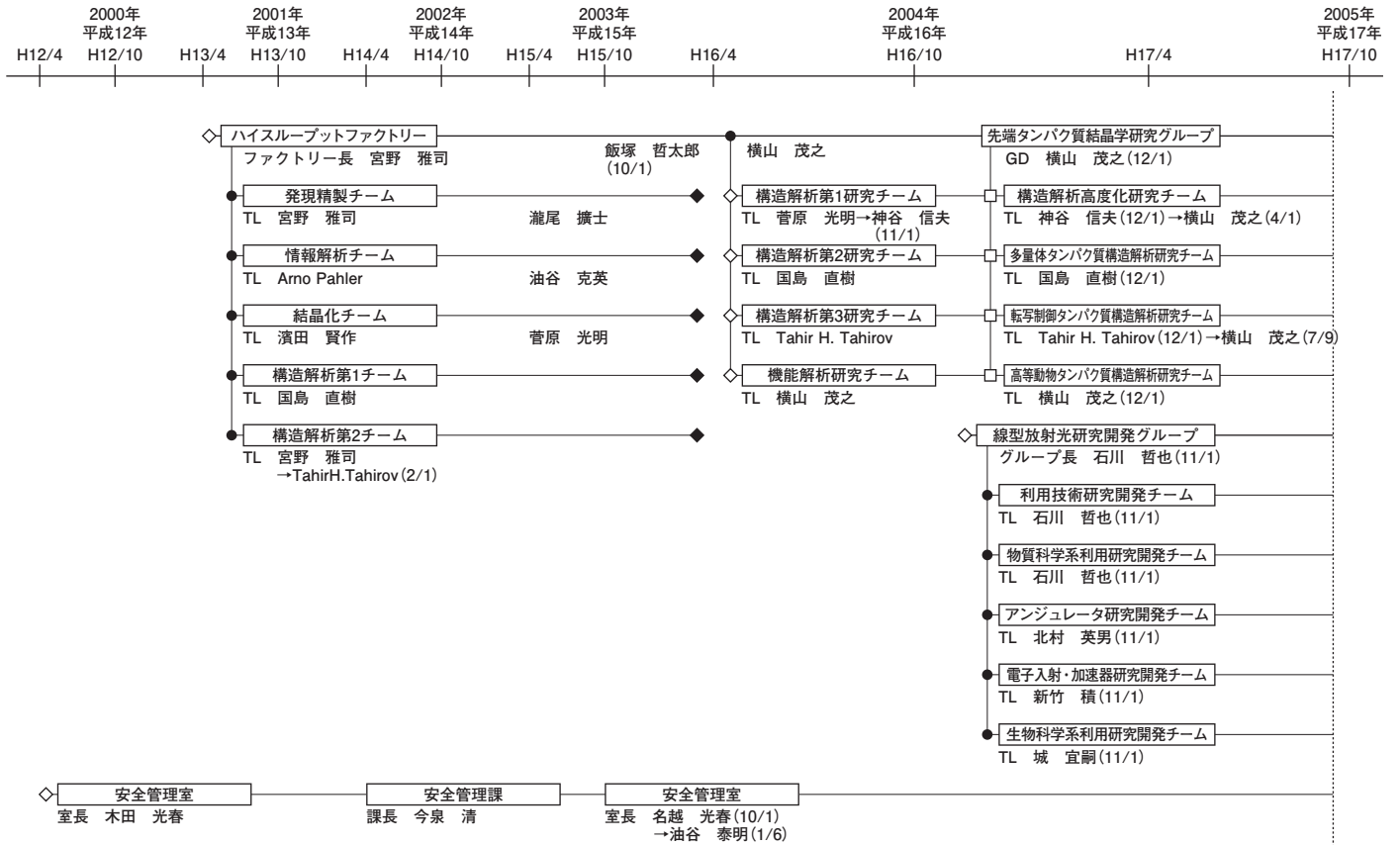
		年次	
組 織	1-1	2-1	
		2-2	
	1-2		



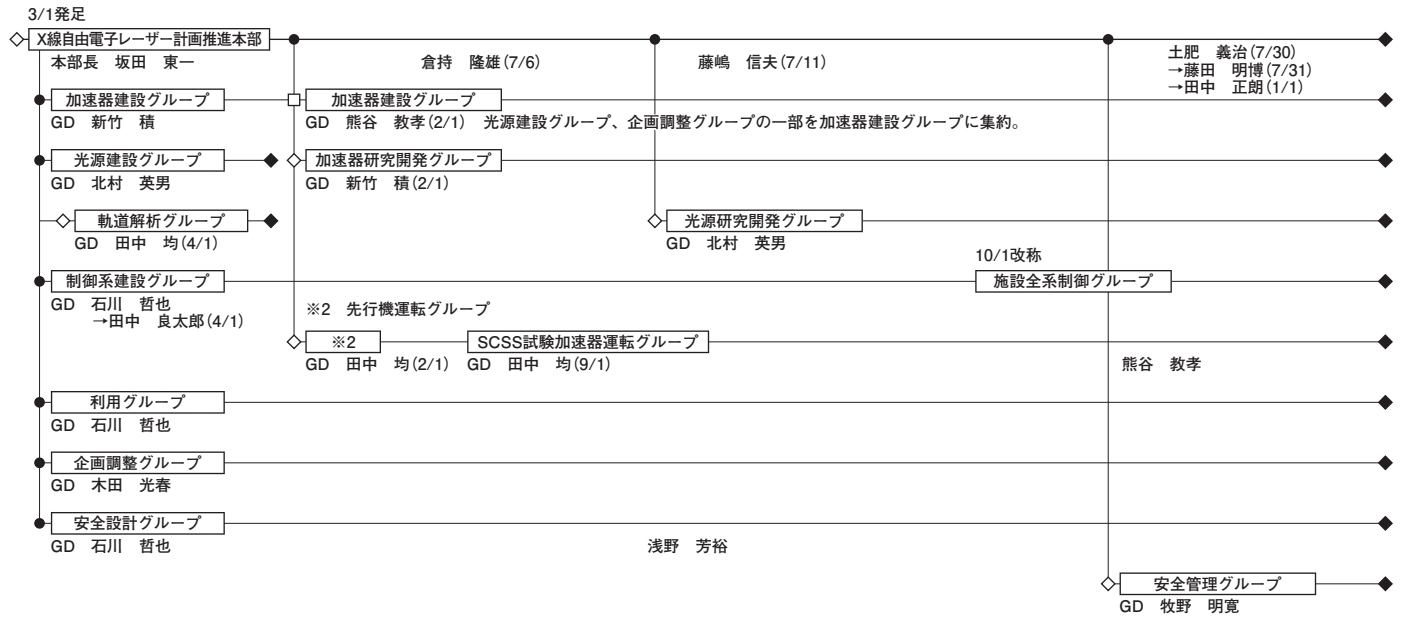
# 放射光科学総合研究センター (1-2)



研究室の推移  
放射光科学総合研究センター(1-2)



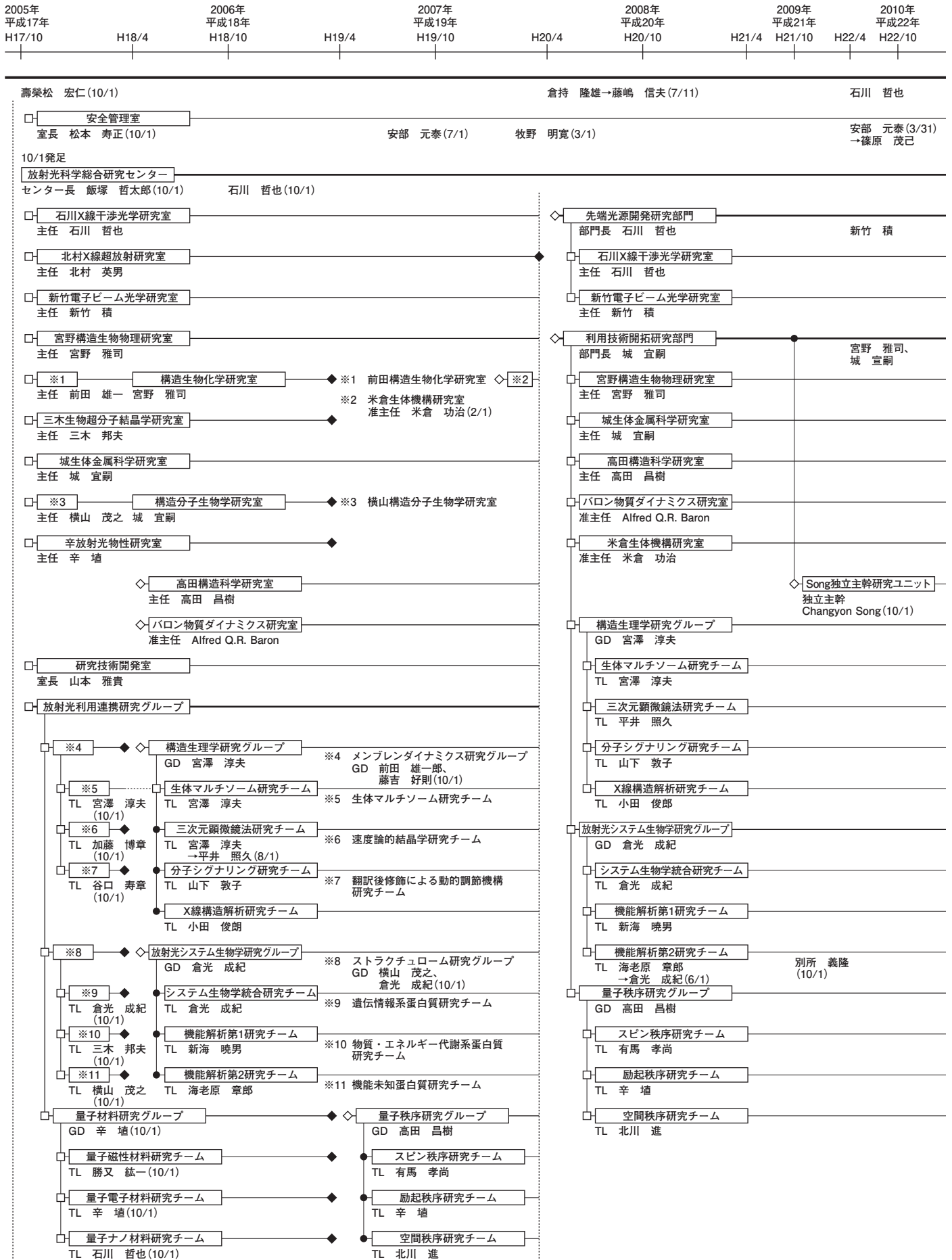


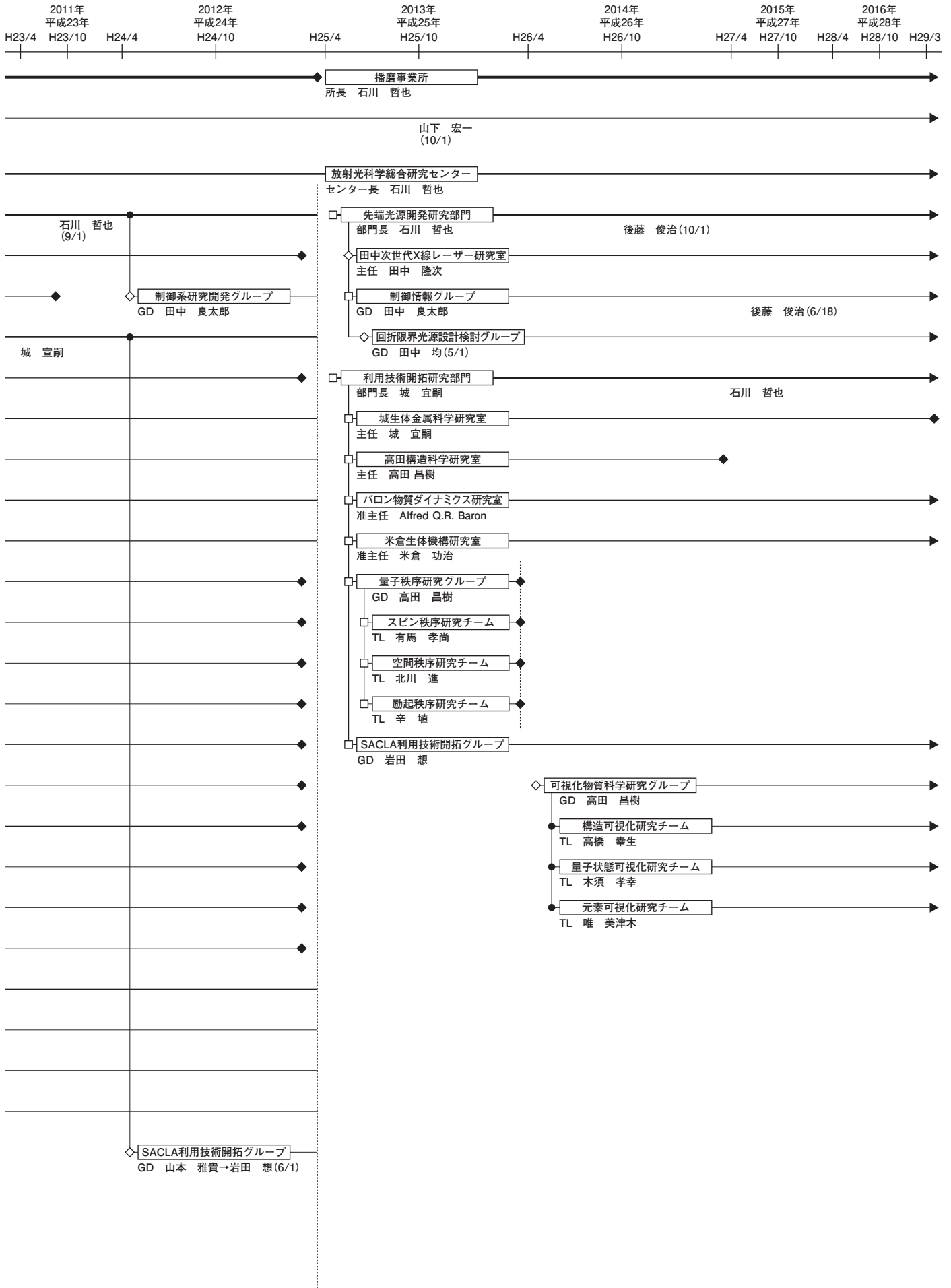


# 放射光科学総合研究センター (2-1)



研究室の推移  
放射光科学総合研究センター (2-1)

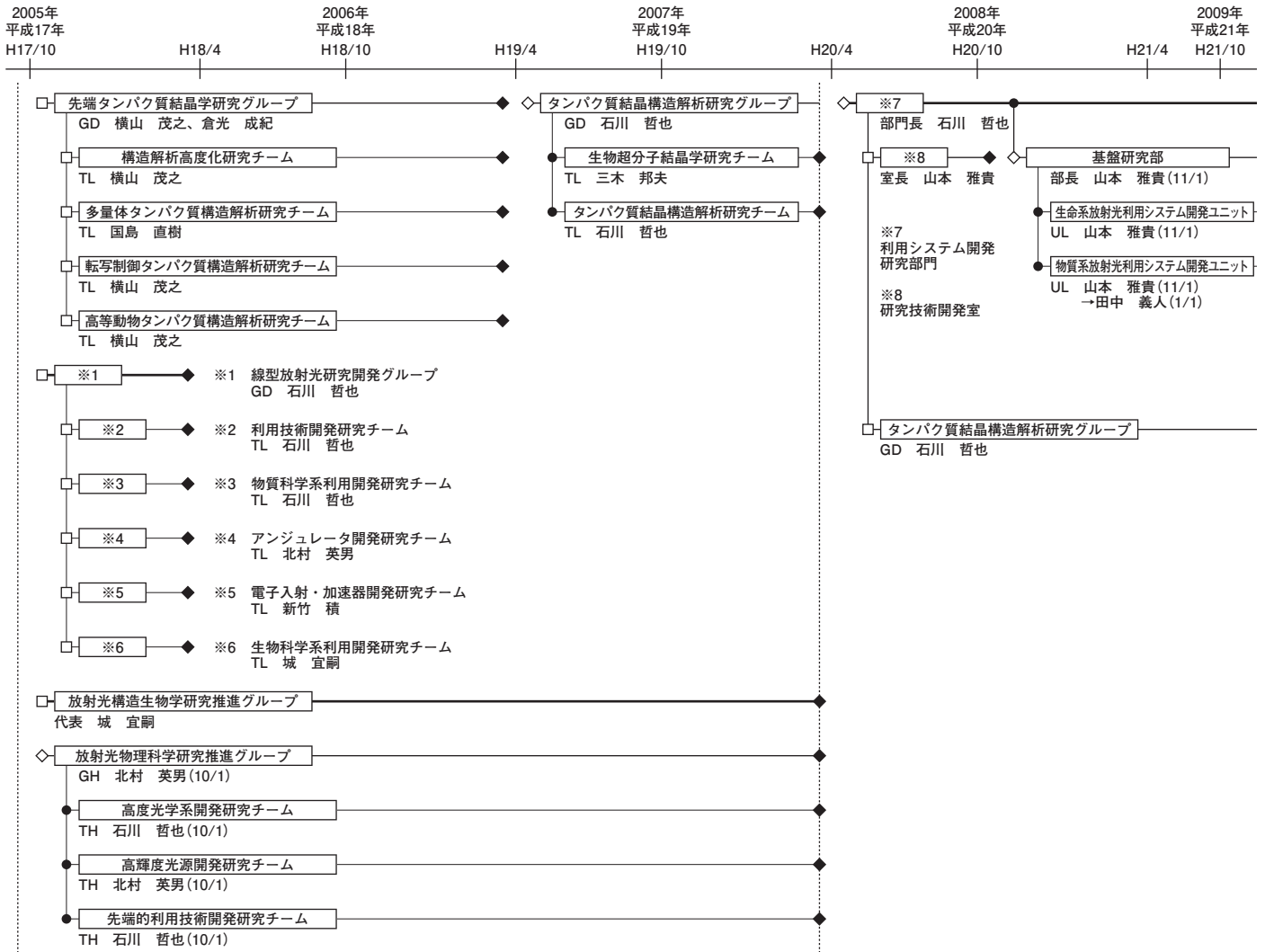


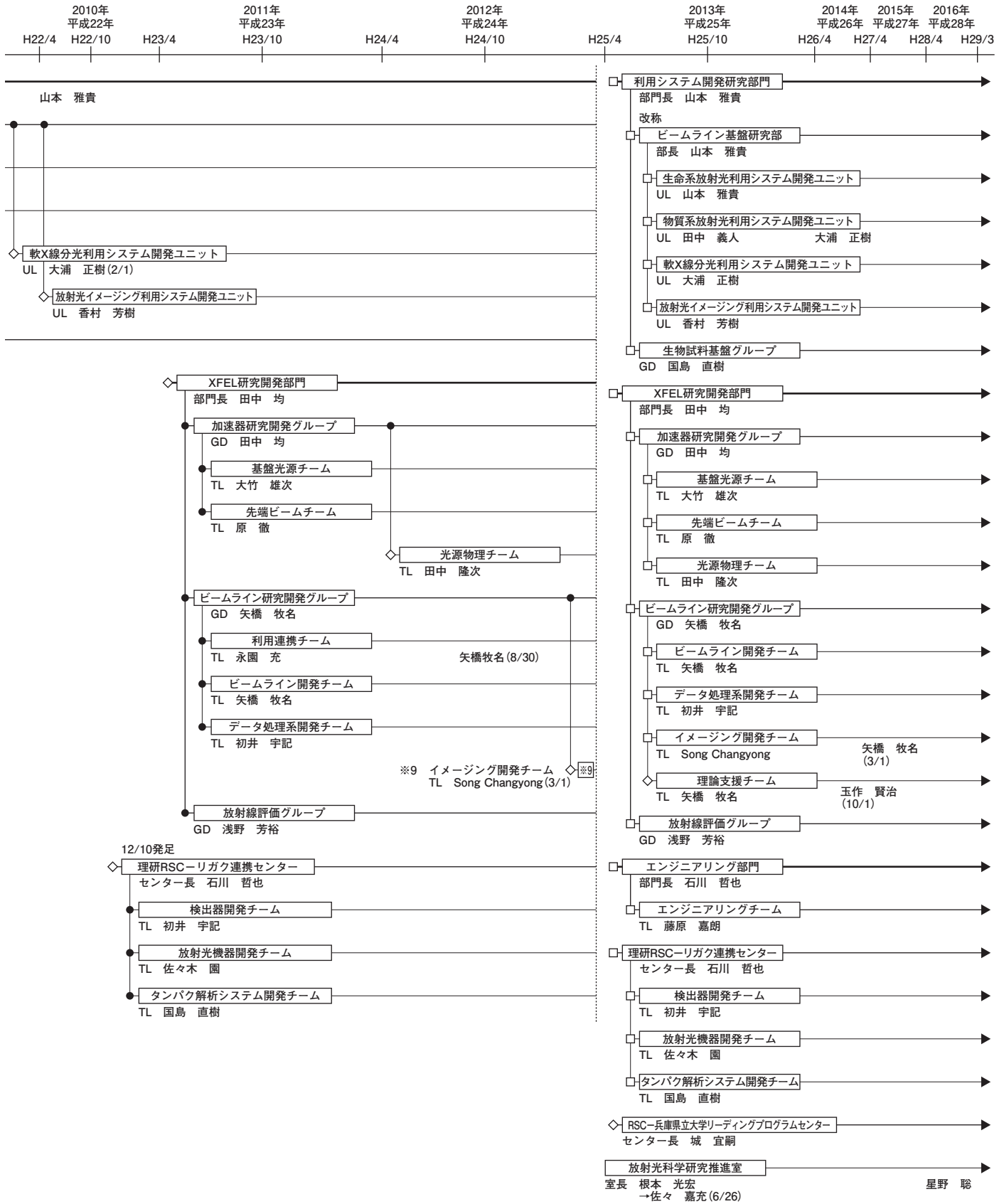


# 放射光科学総合研究センター (2-2)



研究室の推移  
放射光科学総合研究センター(2-2)

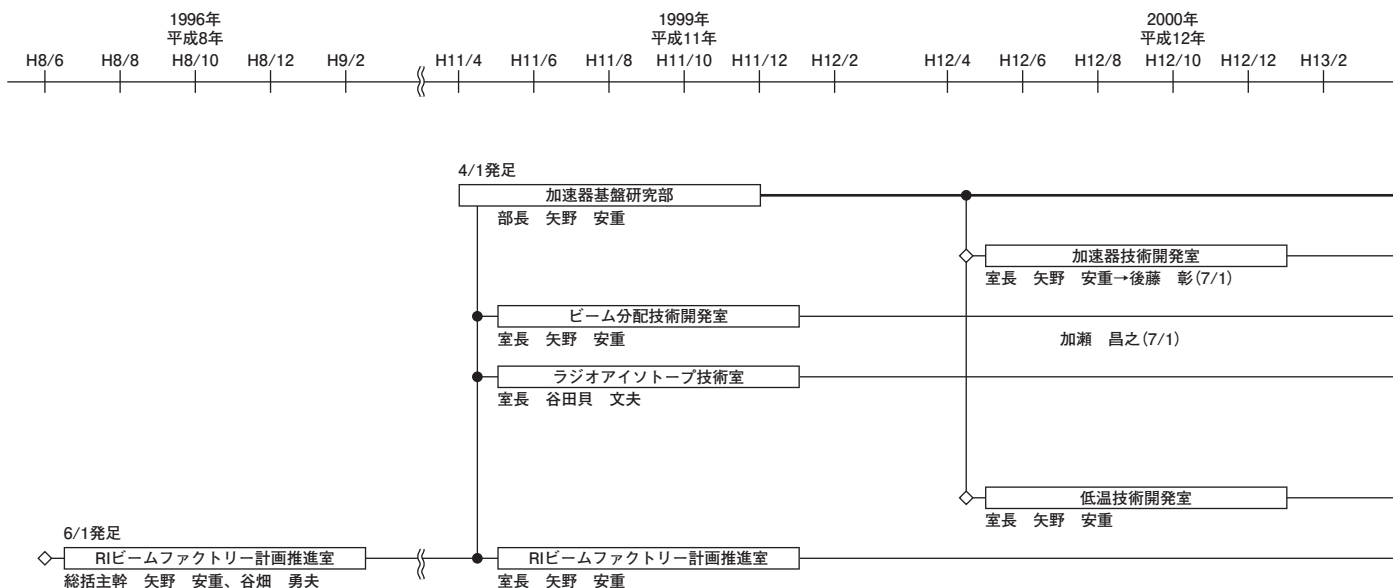




# 仁科加速器研究センター (1-1)



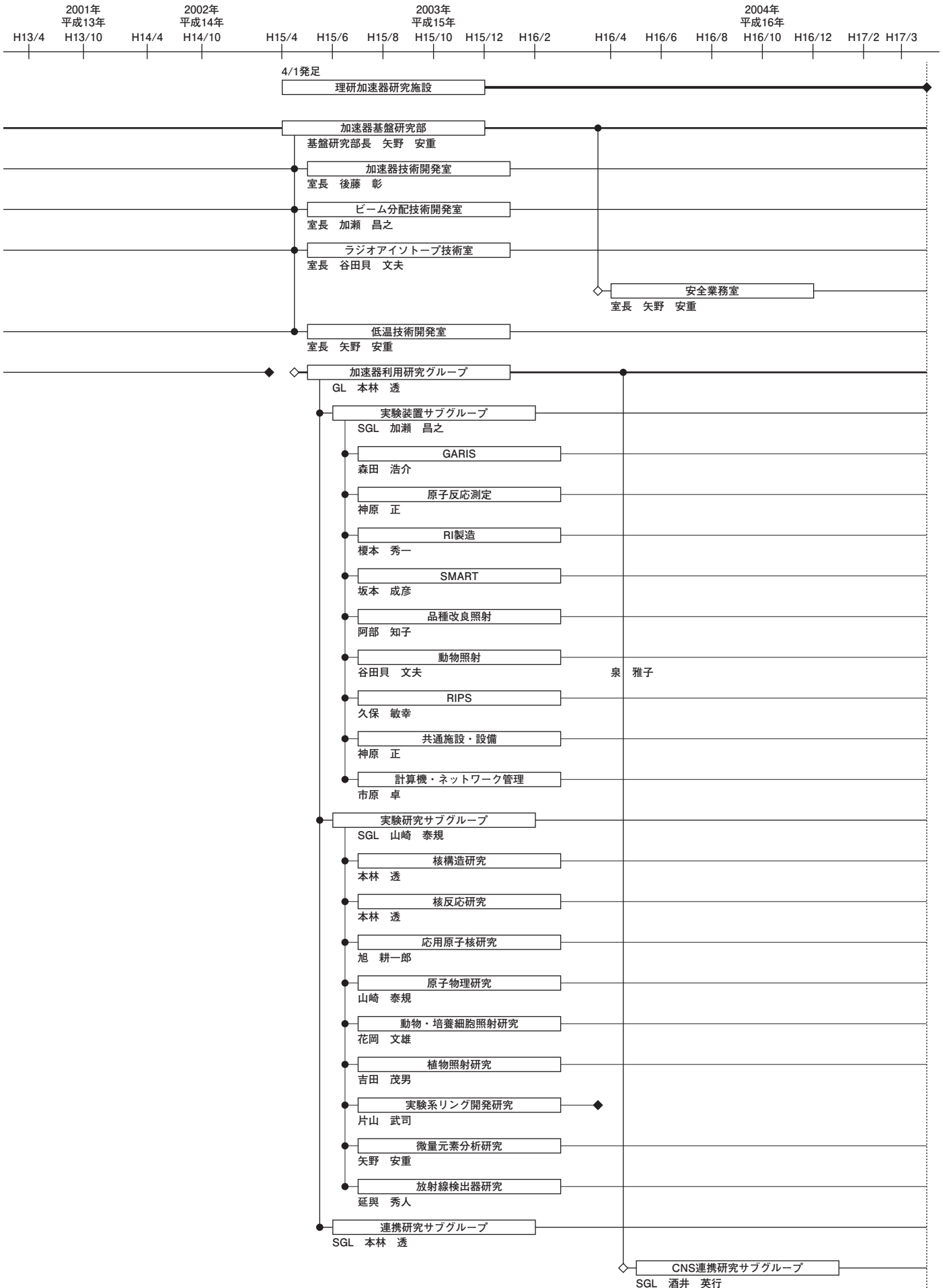
研究室の推移  
仁科加速器研究センター(1-1)



## ●284～295ページの全体配置

### 仁科加速器研究センター

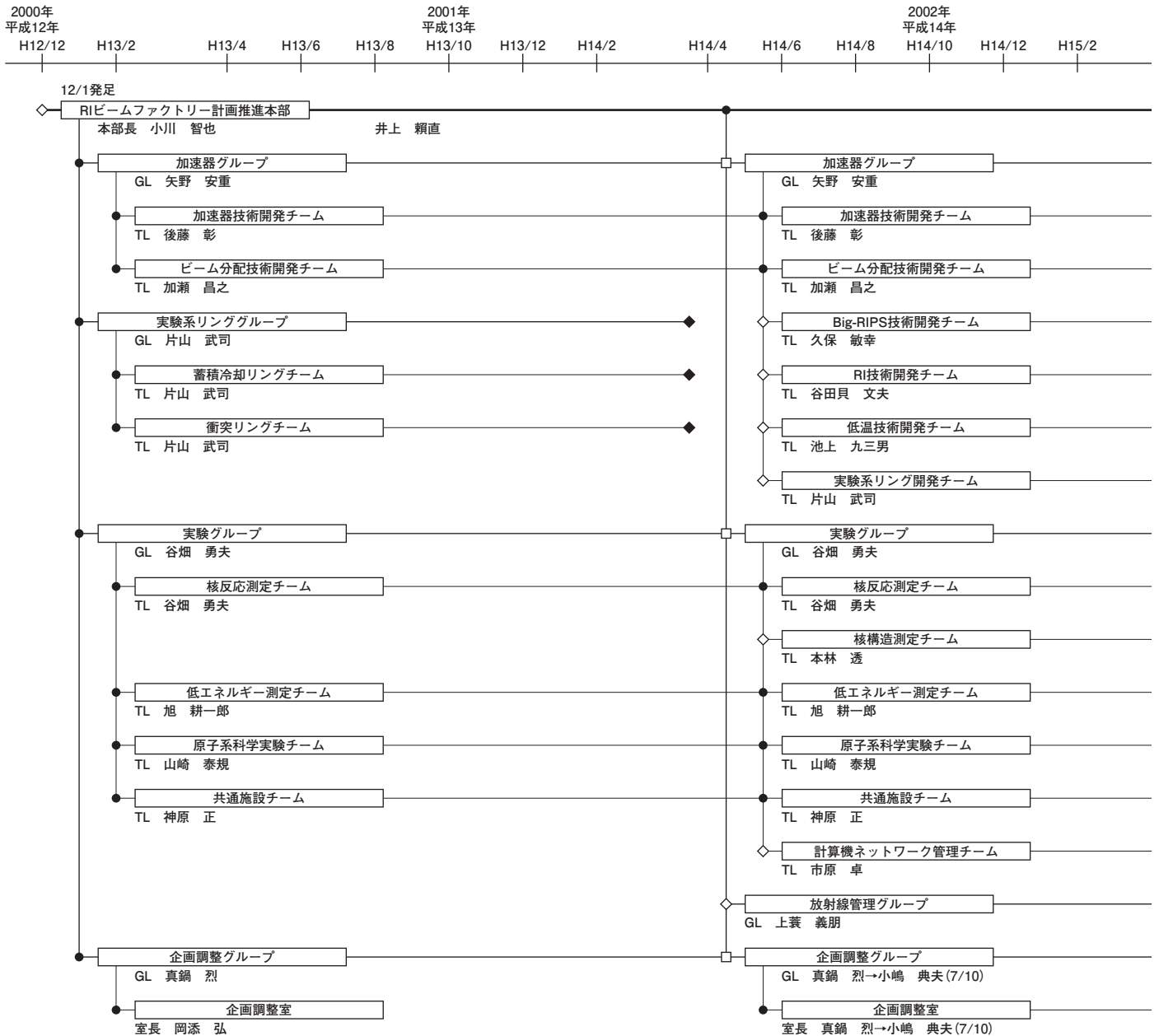
		年次		
組 織	1-1	2-1	3-1	
	1-2	2-2	3-2	



# 仁科加速器研究センター (1-2)



研究室の推移  
仁科加速器研究センター(1-2)



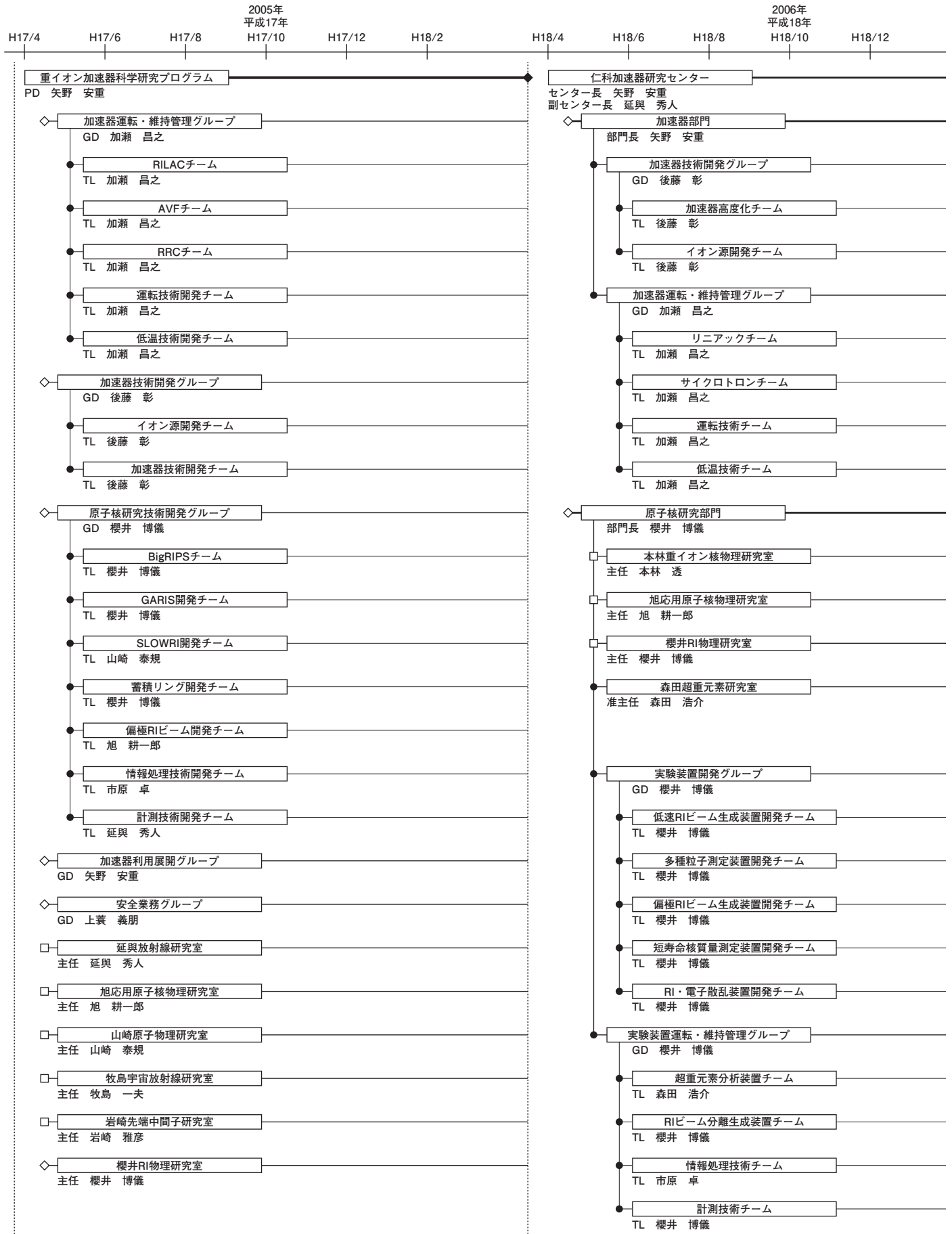


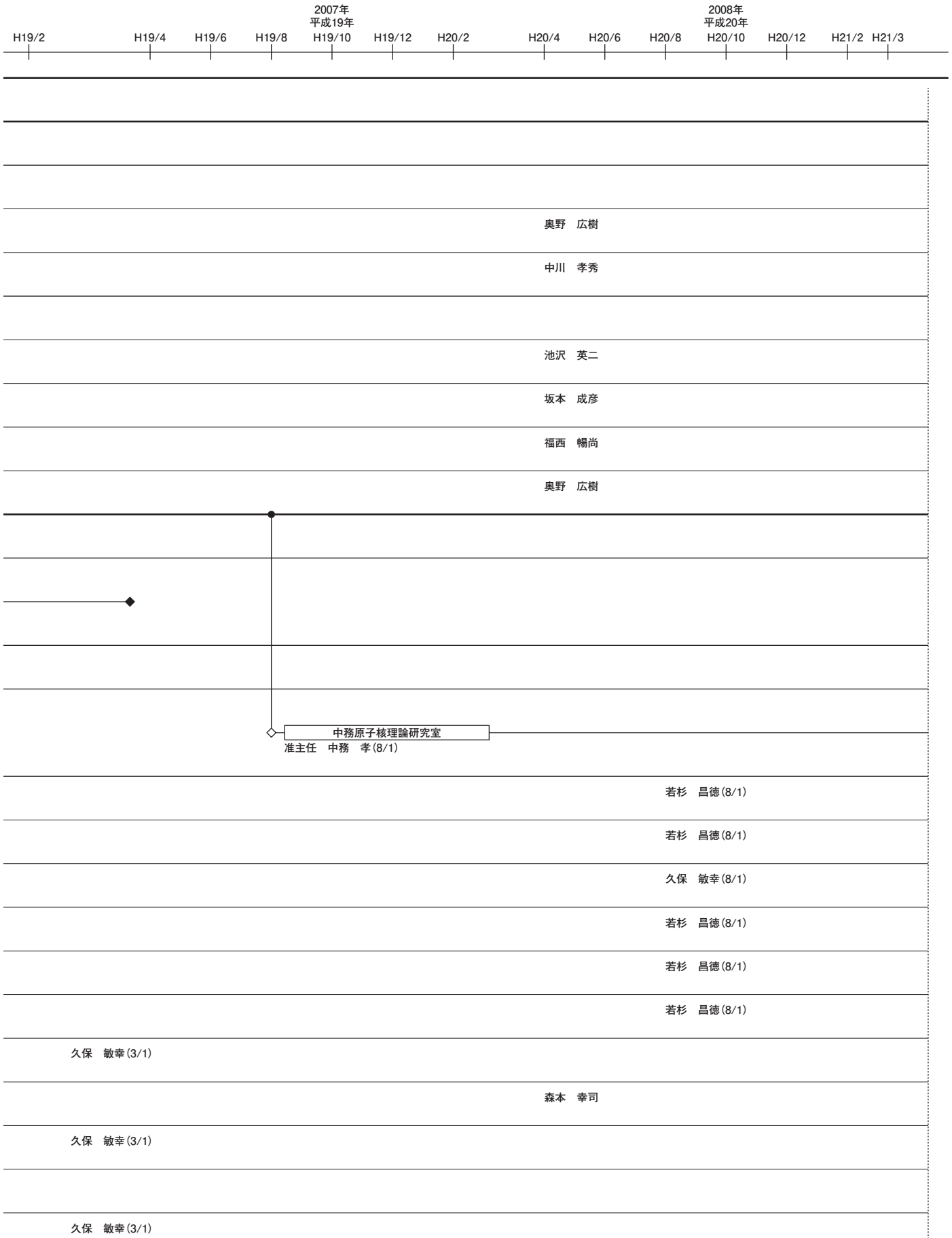


# 仁科加速器研究センター (2-1)



研究室の推移  
仁科加速器研究センター(2-1)

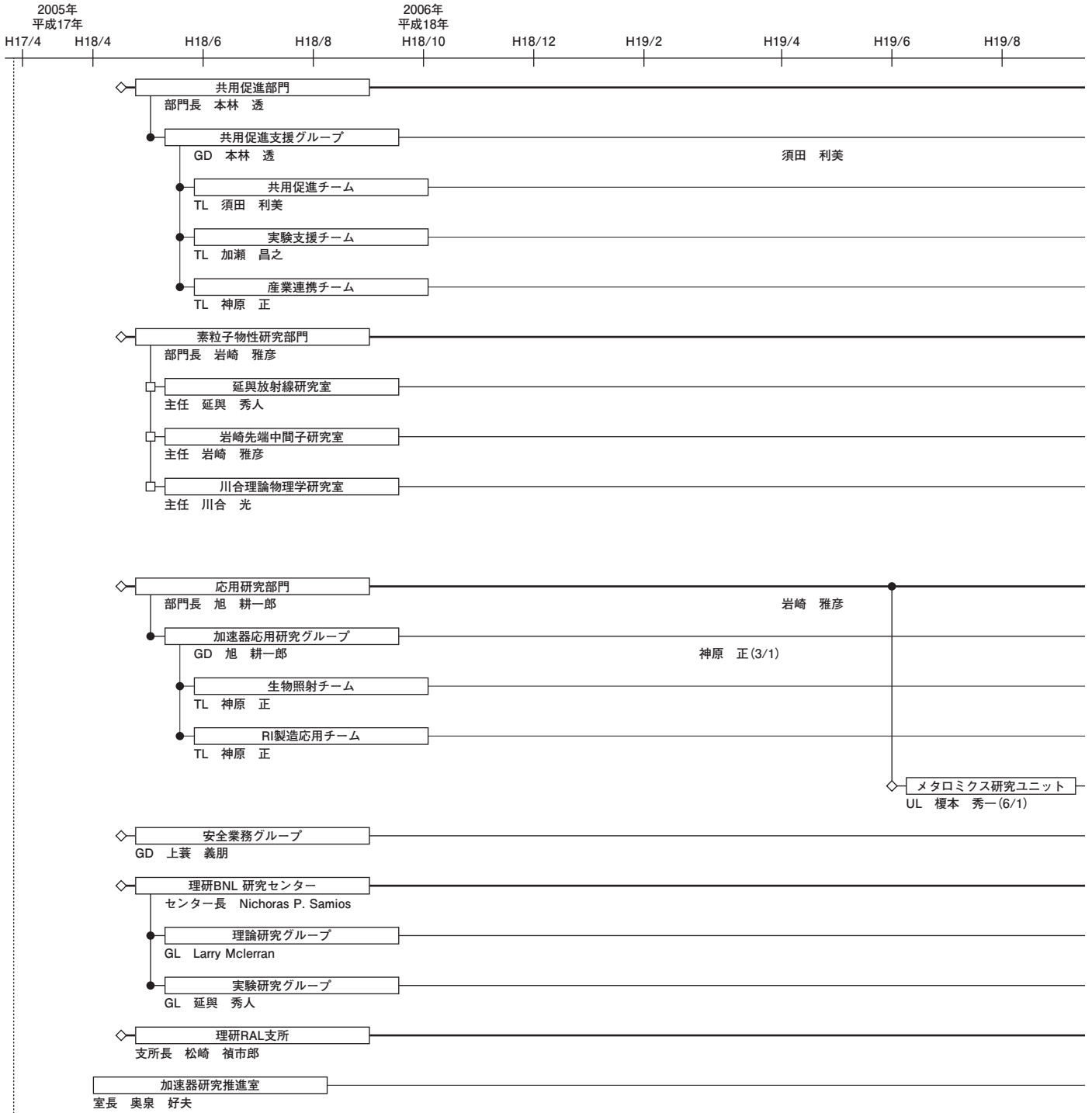




# 仁科加速器研究センター (2-2)



研究室内の推移  
仁科加速器研究センター (2-2)





2007年  
平成19年  
H19/10      H19/12      H20/2      H20/4      H20/6      H20/8      H20/10      H20/12      H21/2      H21/3

2008年  
平成20年  
H20/10      H20/12      H21/2      H21/3

肥山ストレンジネス核物理研究室  
准主任 肥山 詠美子

阿部 知子

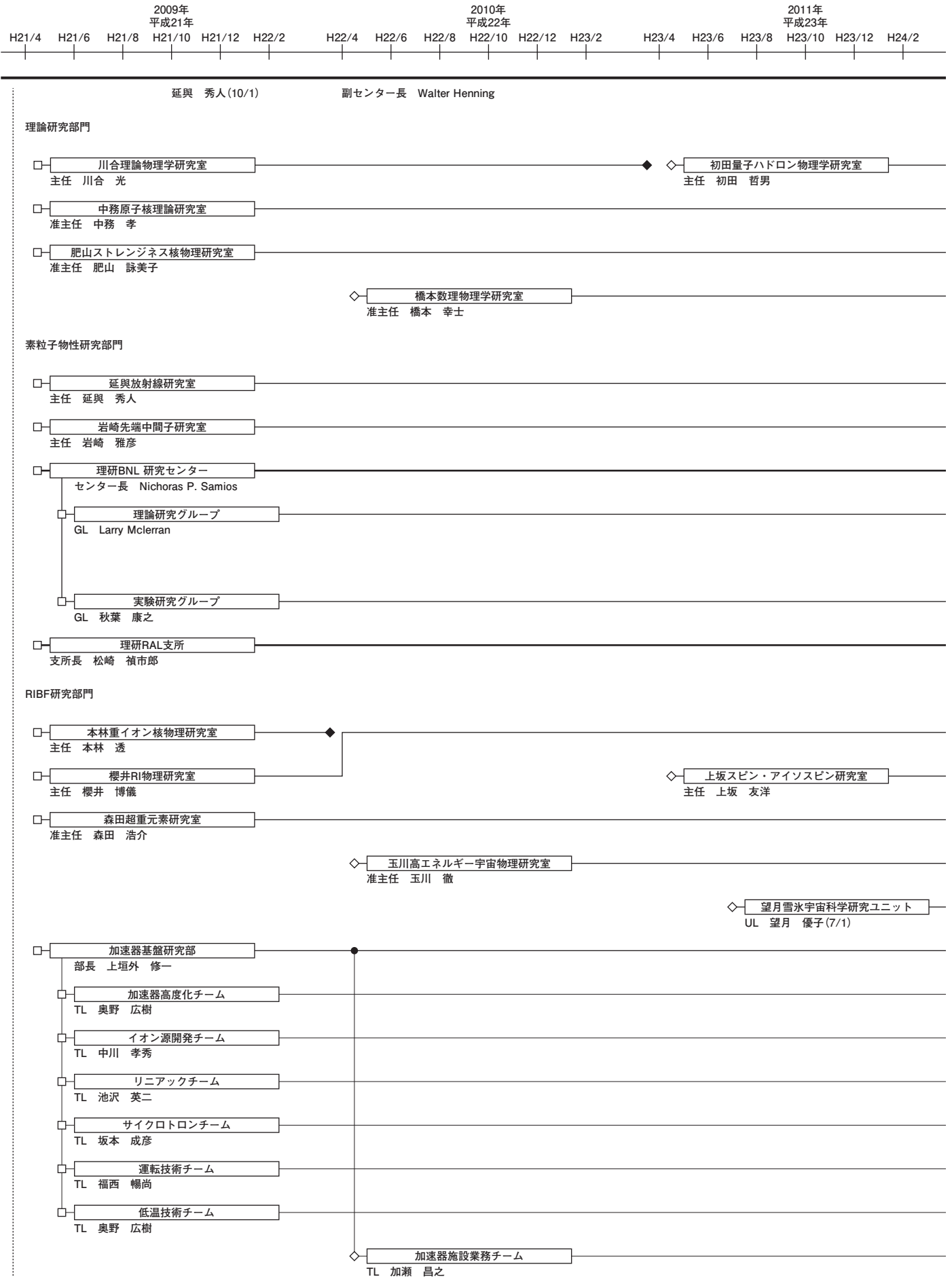
★  
神戸研へ(7/1)

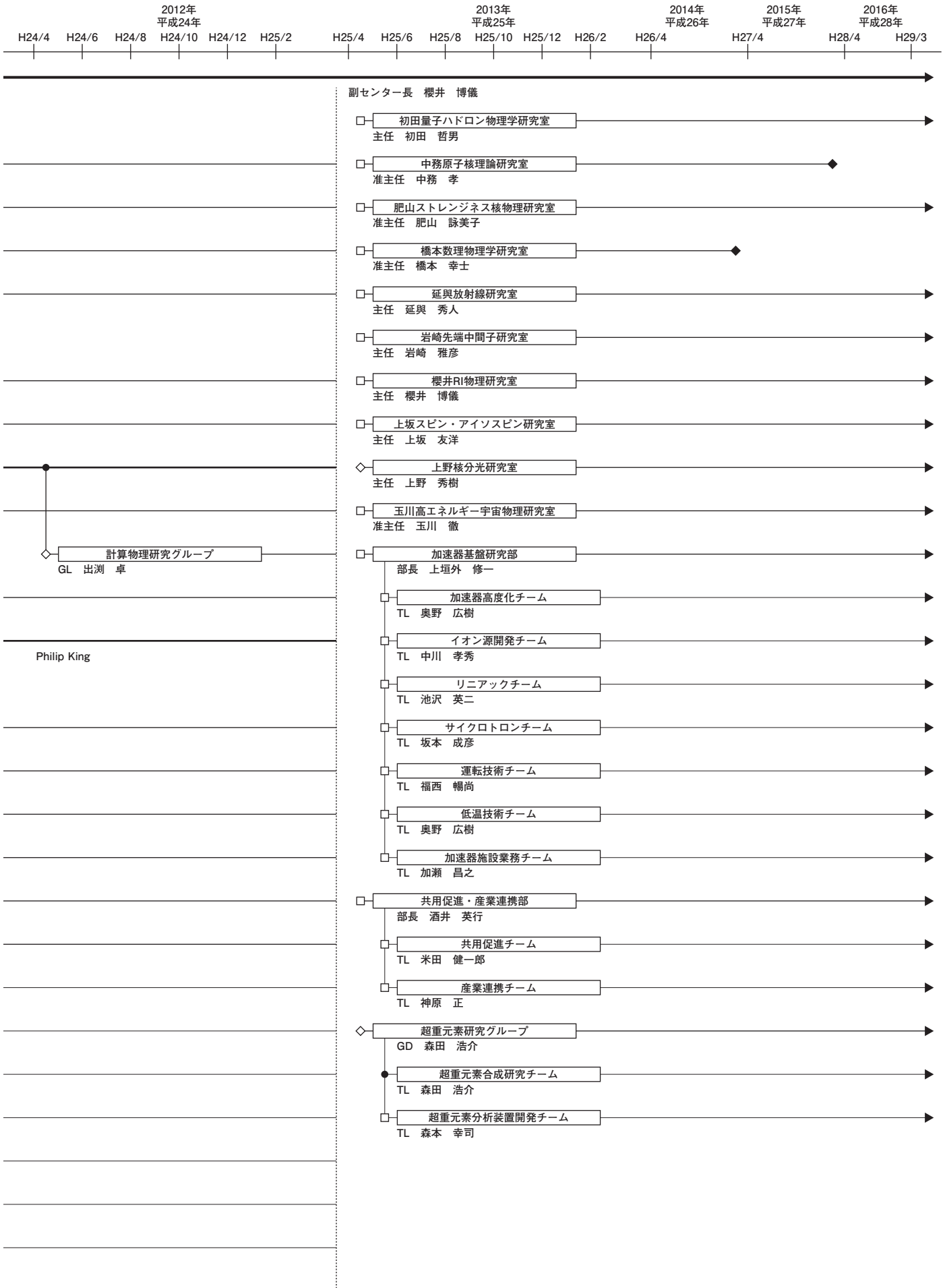
秋葉 康之

# 仁科加速器研究センター (3-1)



研究室の推移  
仁科加速器研究センター (3-1)

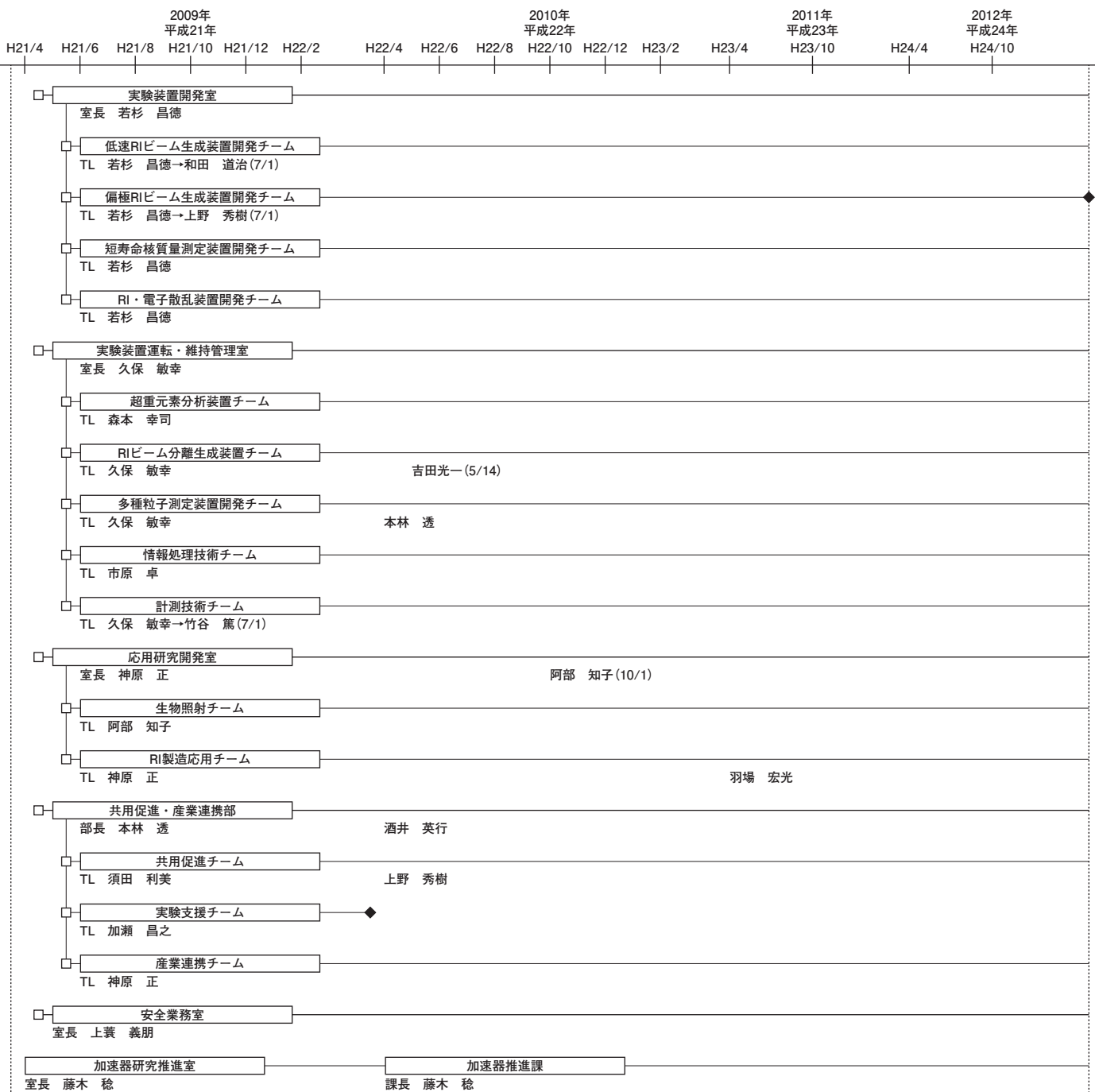




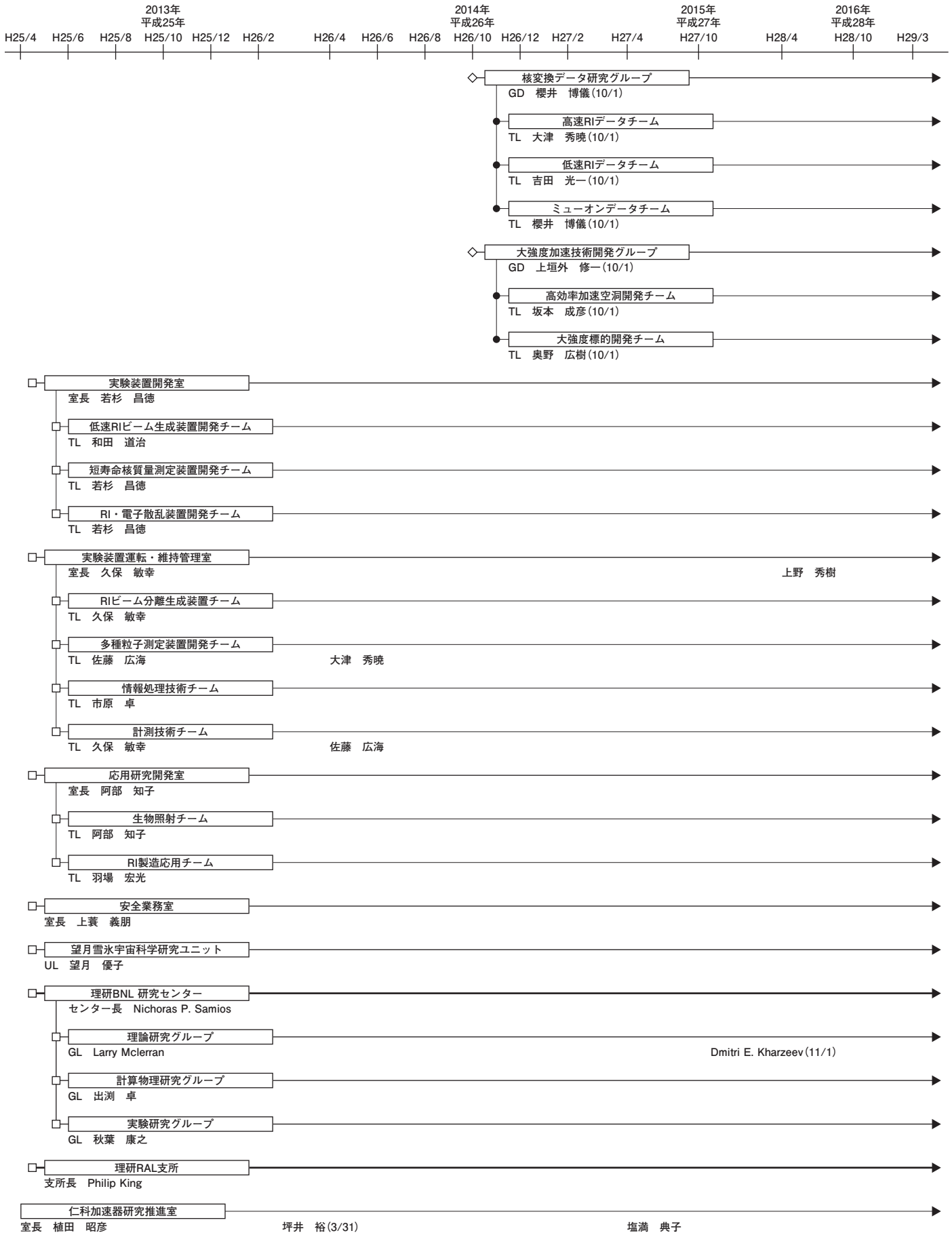
# 仁科加速器研究センター (3-2)



研究室の推移  
仁科加速器研究センター(3・2)



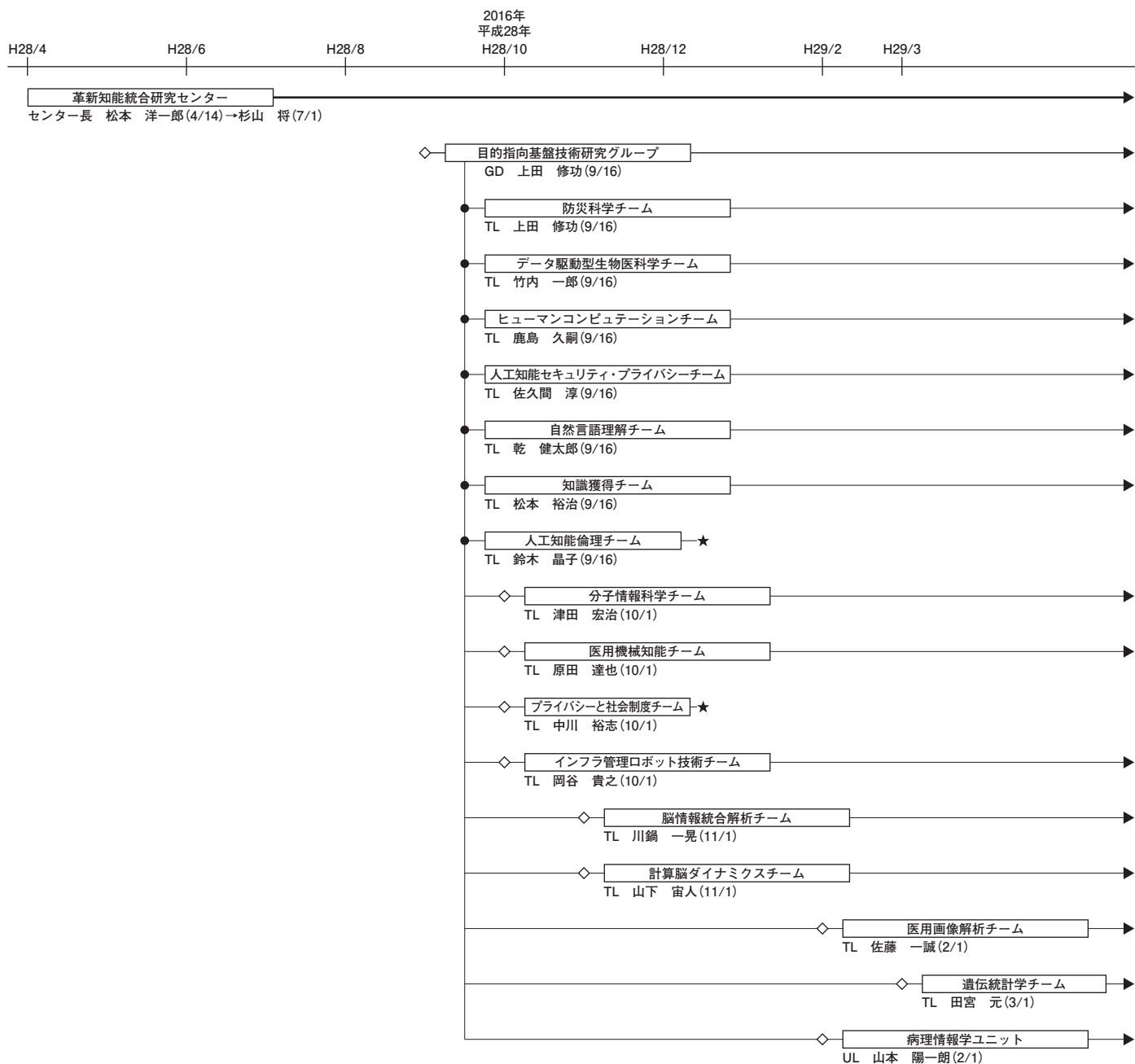


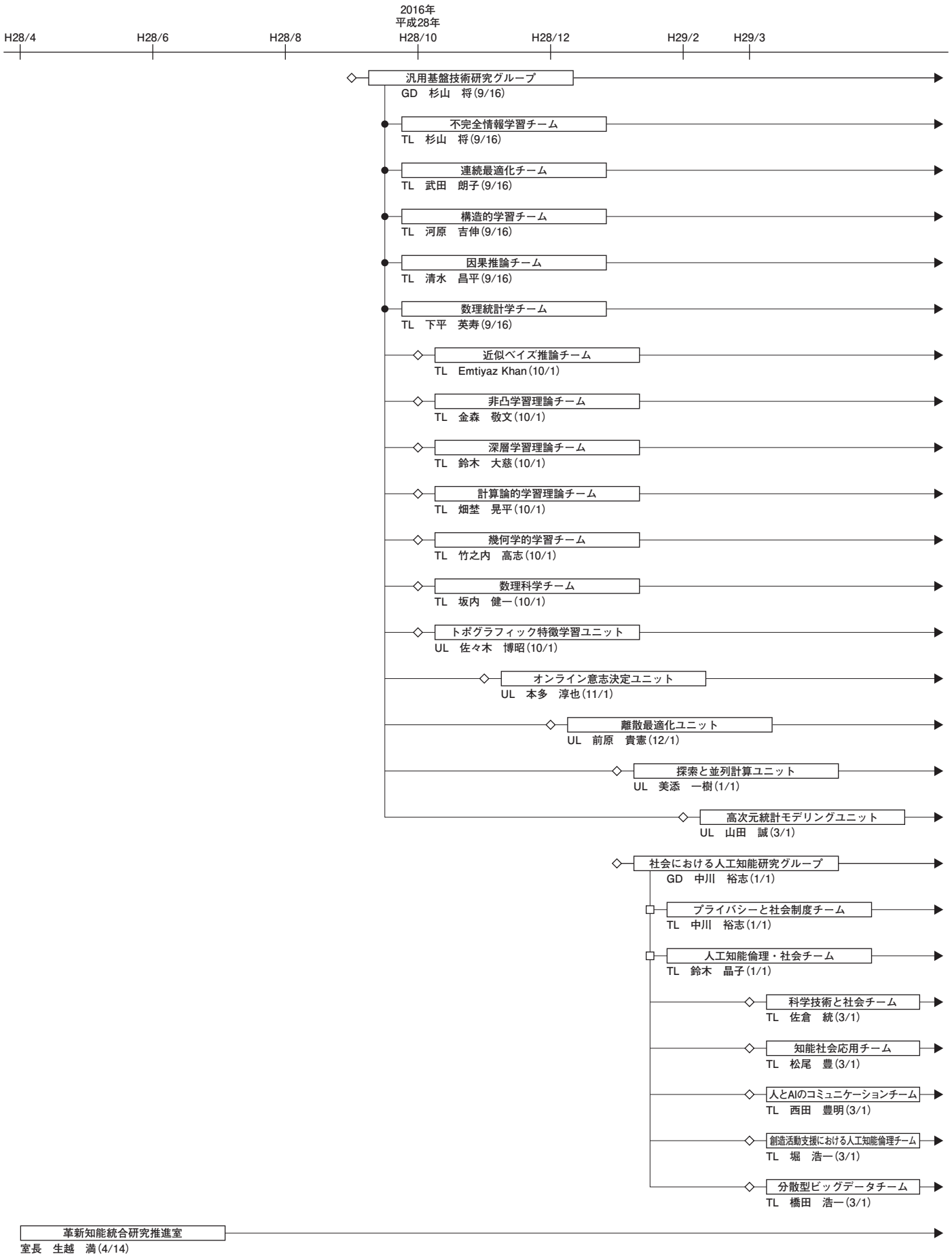


# 革新知能統合研究センター



研究室の推移  
革新知能統合研究センター



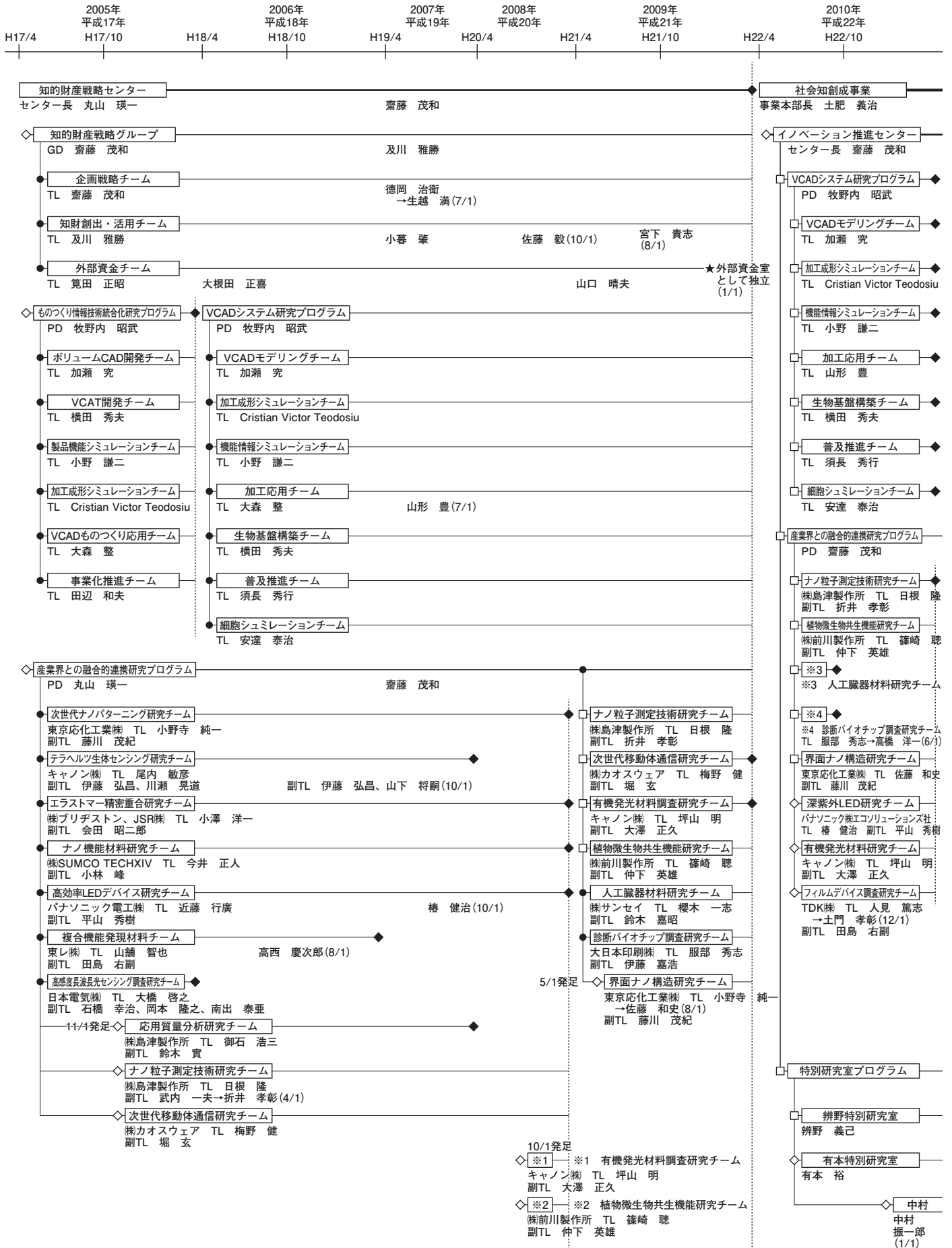


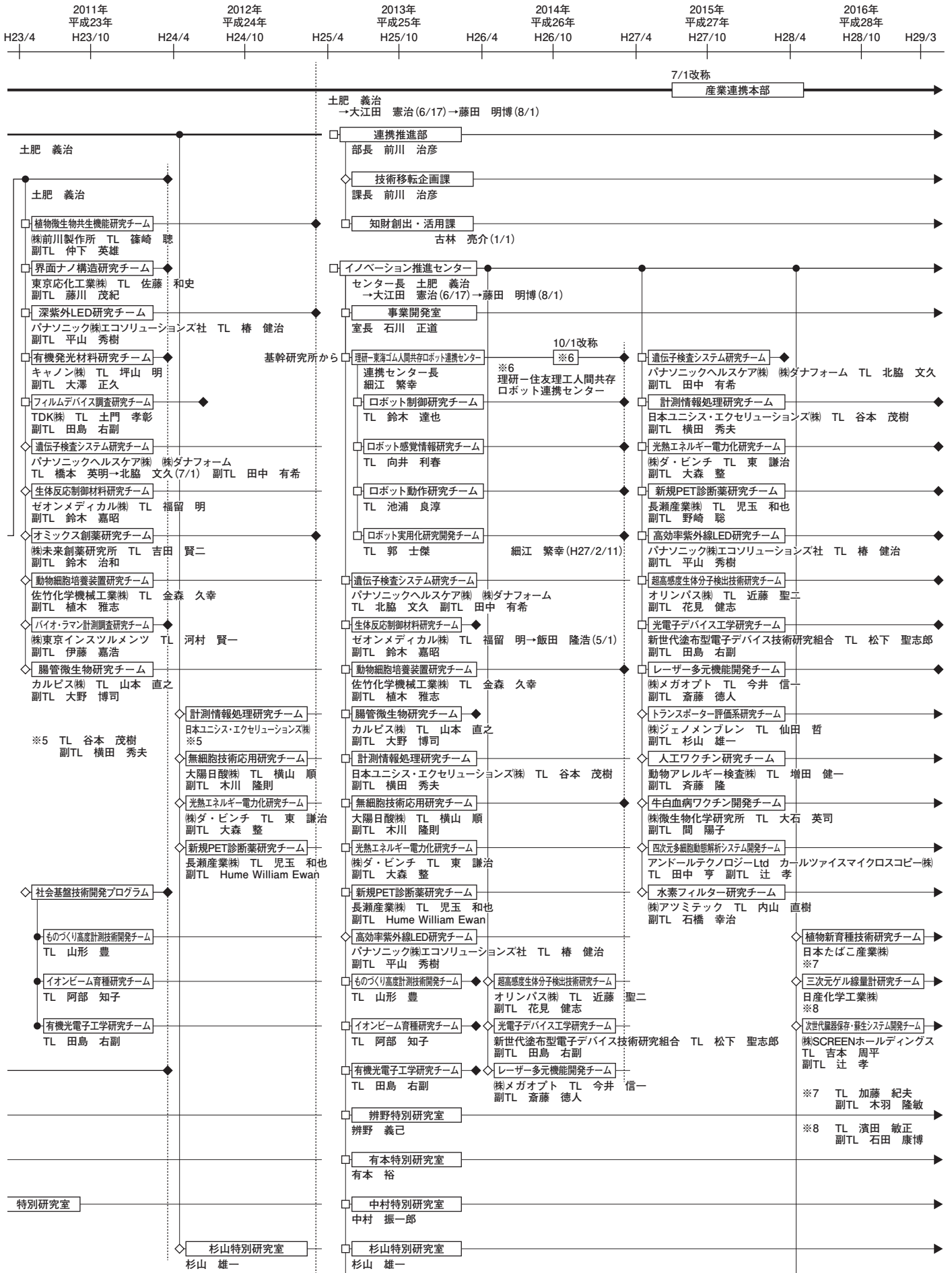
# 産業連携本部 (1)



研究室の推移

産業連携本部 (1)

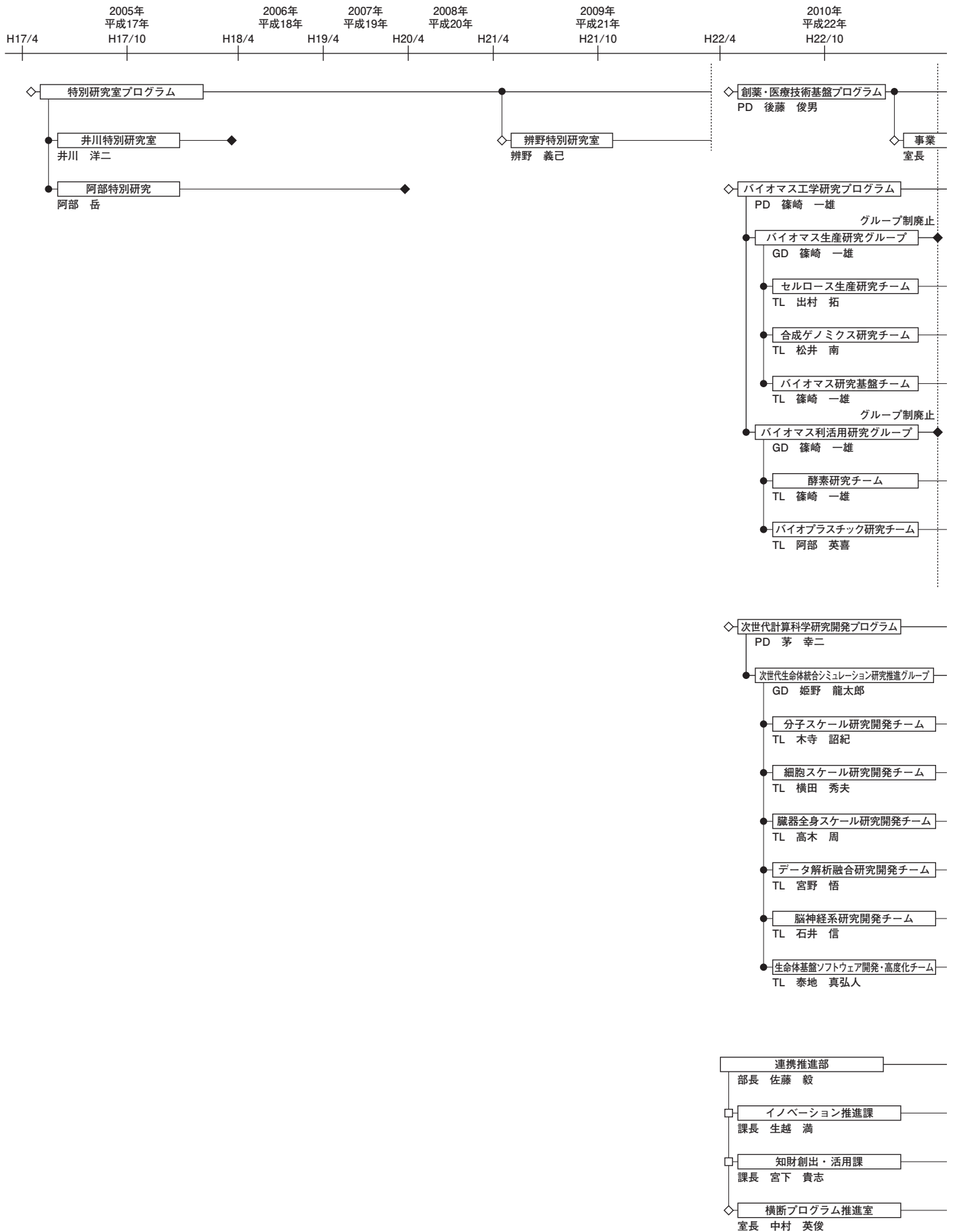


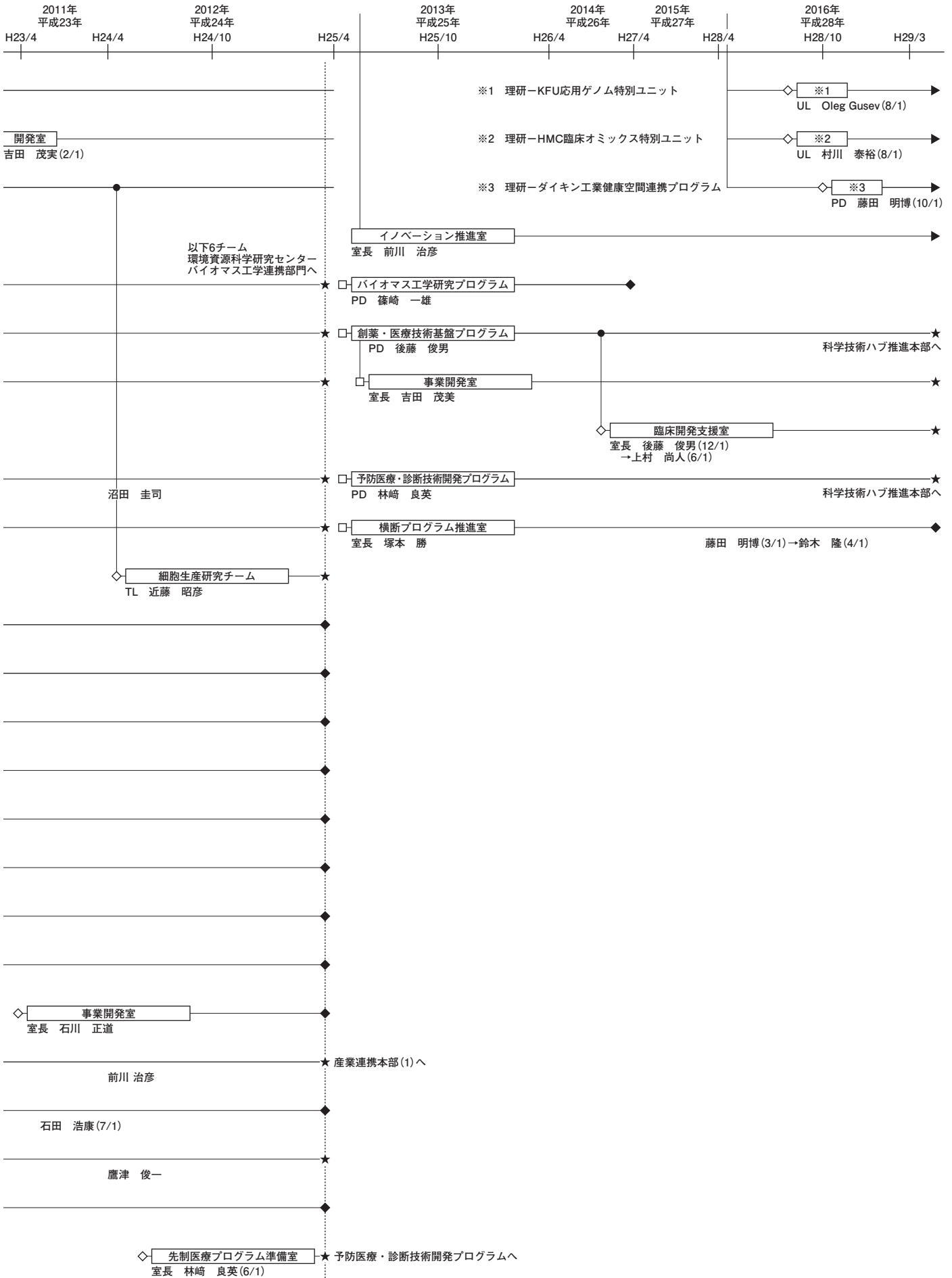


# 産業連携本部 (2)



研究室の推移  
産業連携本部 (2)

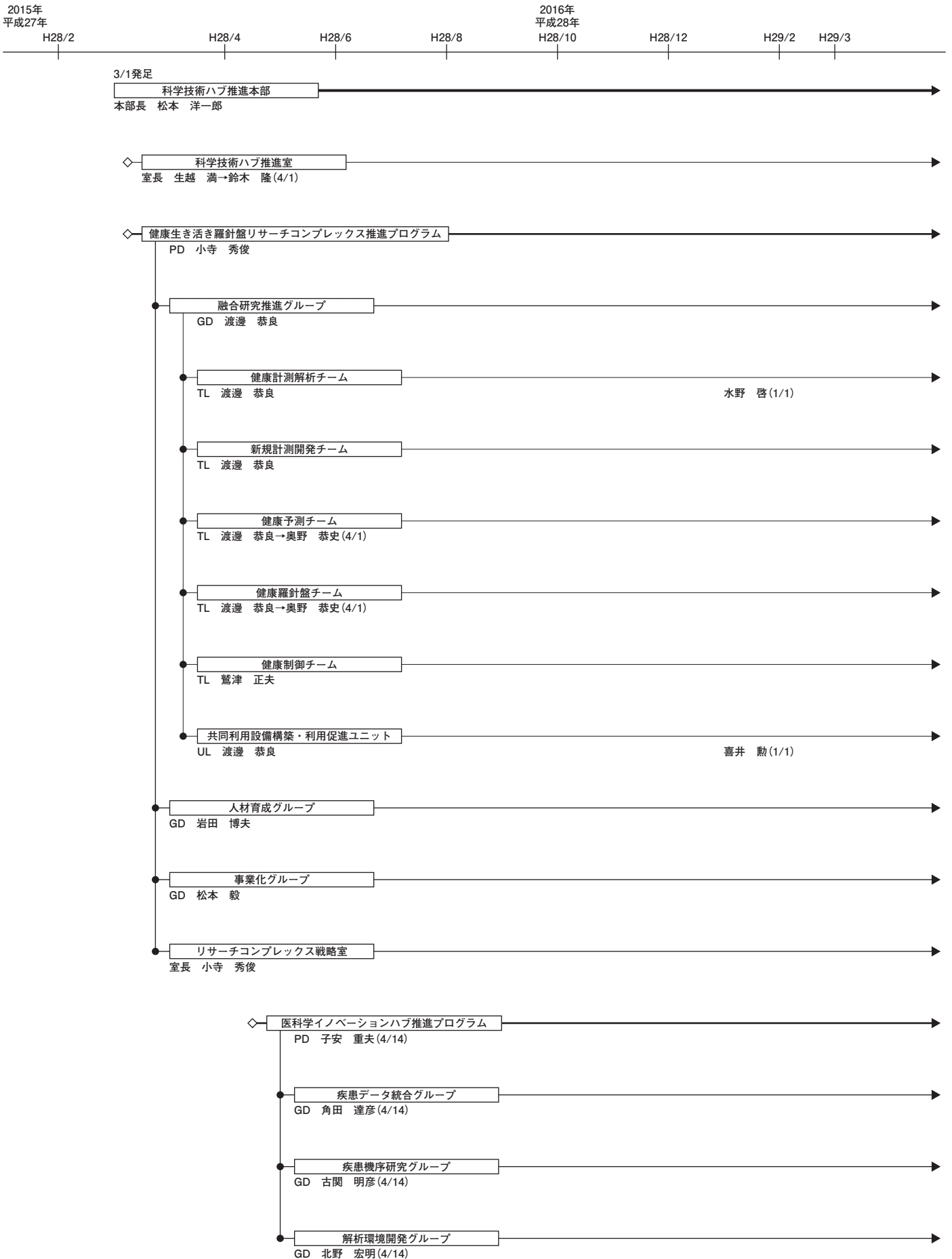




# 科学技術ハブ推進本部

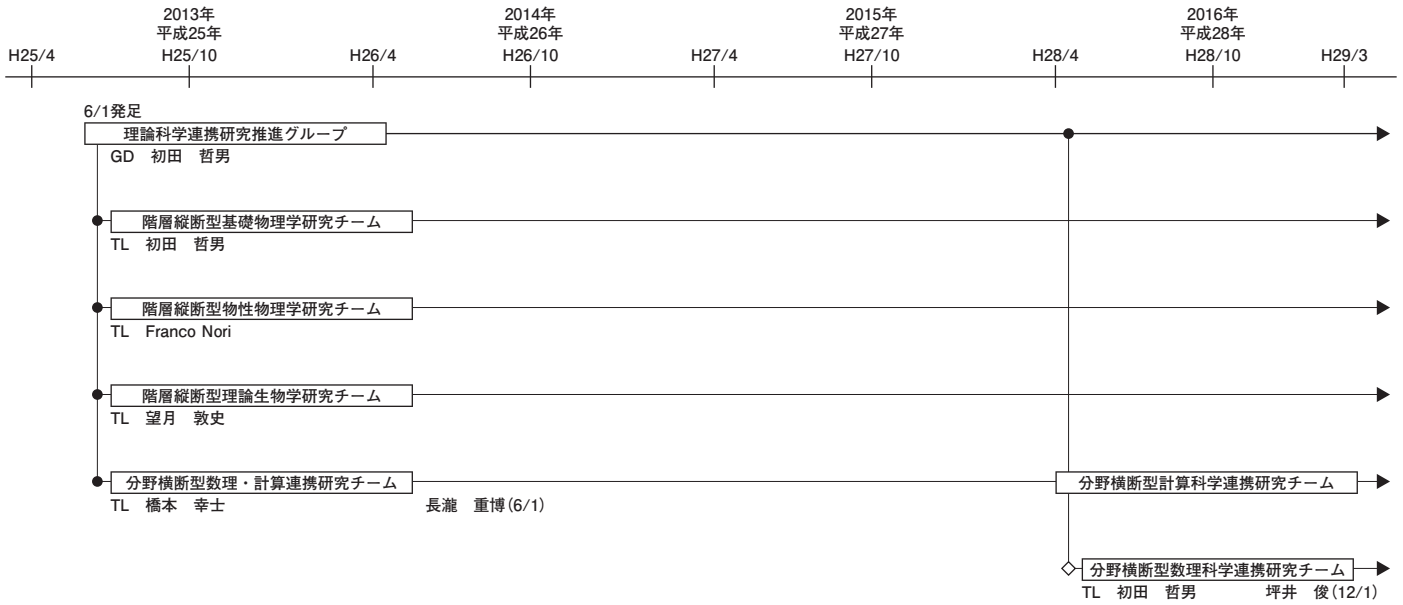


研究室の推移  
科学技術ハブ推進本部





# 理論科学連携研究推進グループ



研究室の推移  
理論科学連携研究推進グループ

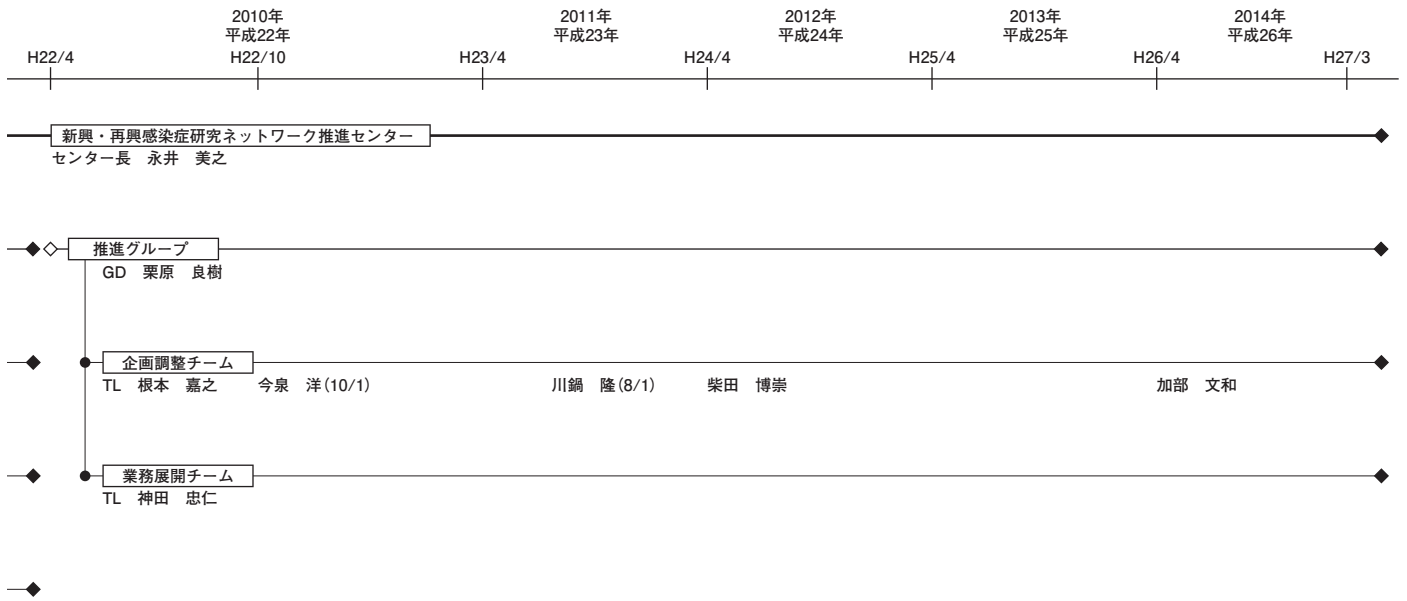
# ■新興・再興感染症ネットワーク推進センター



研究室の推移

新興・再興感染症ネットワーク推進センター

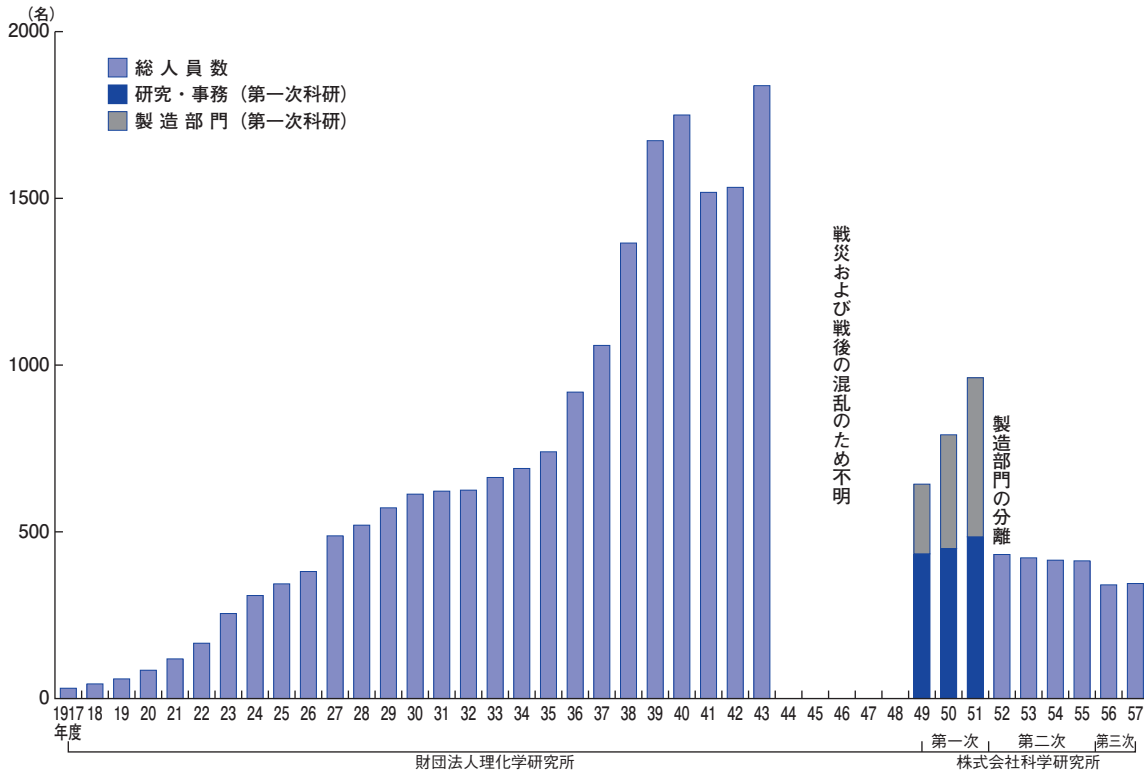




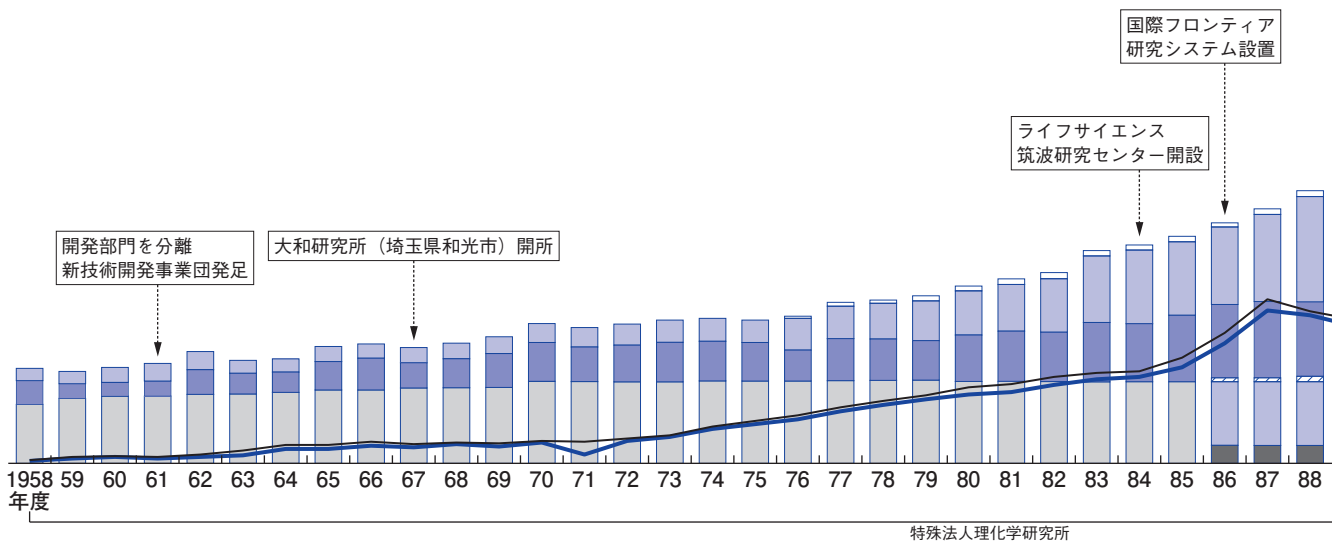
# 理研の収入と支出および人員の推移

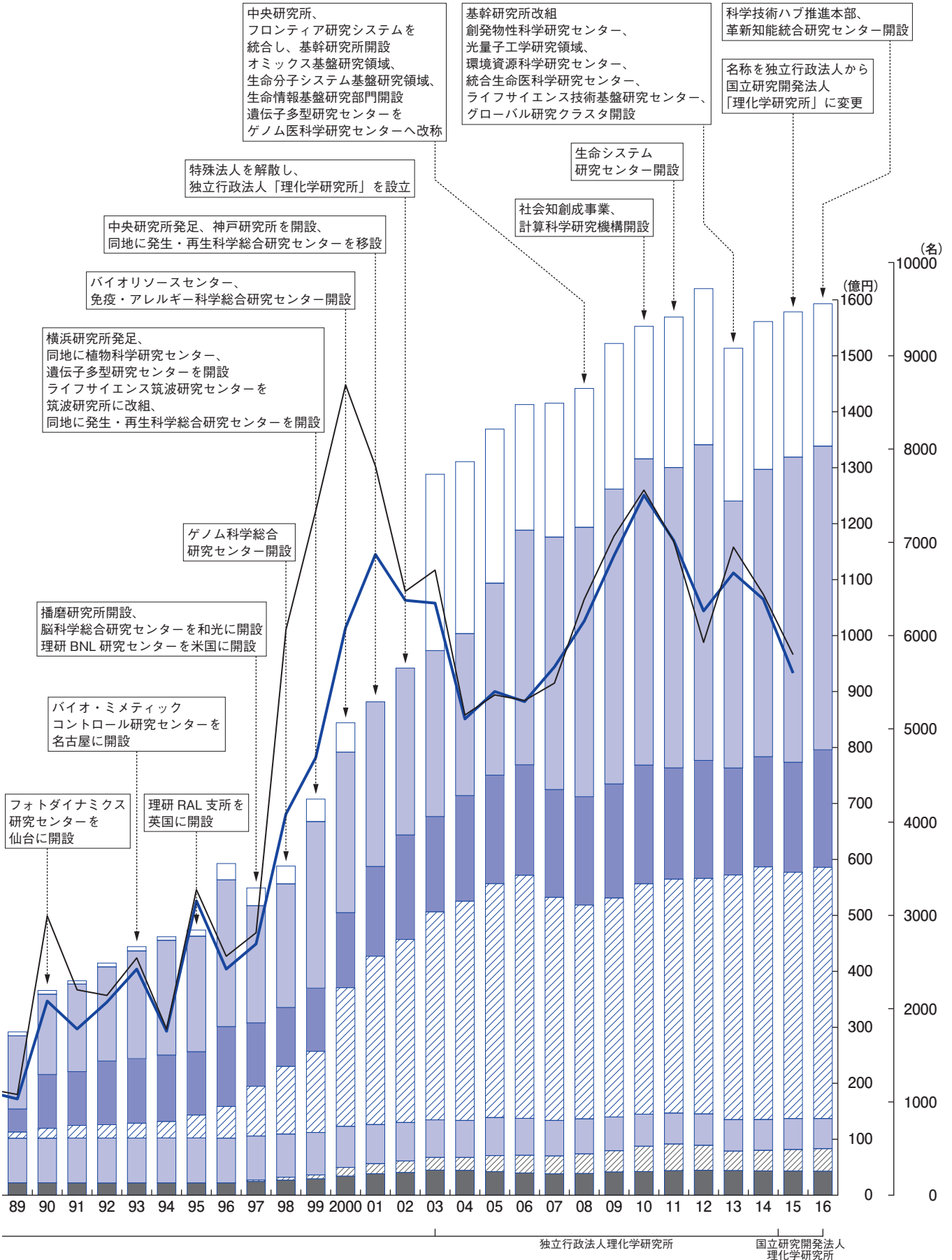


理研の収入と支出および人員の推移



- 定年制職員 (総数 1985年まで)
  - 定年制職員 (事務系)
  - ▨ 任期制職員 (事務系)
  - 定年制職員 (研究系)
  - ▨ 任期制職員 (研究系)
  - 研究生・研修生等
  - 客員等
  - その他
- 収入  
— 支出





注) 理研の収入と支出は p.15 の「財務資料から見る理研の経営の概況」の資料を再掲したものです。詳細はそちらをご覧ください。



鈴	木	治	和	坪	井	裕	早	瀬	文	江	宮	川	壽	夫
関	戸	恵	子	坪	山	イ	ピ	エ	カ	ル	宮	川	眞	言
袖	岡	幹	子	土	七	子	エ	ロ	野	龍	六	車	眞	子
染	谷	隆	夫	土	陽	治	姫	野	山	詠	薙	田	恵	誠
反	町	耕	記	十	義	好	肥	野	野	達	望	月	敦	史
泰	地	真	弘	富	好	悟	平	山	山	秀	望	月	優	子
高	木	英	典	富	久	行	廣	川	川	真	本	林	透	彦
高	梨	真	一	豊	久	眞	深	井	井	朋	桃	沢	幸	子
高	橋	一	篤	豊	佳	澄	深	萱	見	恵	森	永	千	佳
高	橋	恵	郎	永	美	之	深	見	島	竹	森	畑	美	穂
高	橋	勝	美	中	直	人	福	島	井	三	柳	本	幸	司
高	橋	政	緒	中	眞	一	藤	藤	田	智	矢	野	敏	雄
高	口	一	代	中	裕	志	藤	藤	原	明	矢	橋	安	重
田	市	雅	徳	永	礼	二	船	船	田	正	山	形	牧	名
竹	内	一	俊	長	重	博	船	船	橋	孝	山	岸	一	豊
武	谷	誠	夫	中	明	彦	古	古	崎	京	山	口	時	敦
竹	田	司	誠	永	光	崇	古	古	田	泰	山	口	芳	郎
多	中	彦	典	中	功	丞	古	星	屋	輝	山	口	泰	規
田	中	典	治	中	重	希	星	星	野	拓	山	崎	宏	一
田	中	治	男	中	祐	輔	星	屋	屋	繁	山	下	正	純
田	中	男	博	中	幸	夫	細	江	川	治	山	田	翔	太
田	中	博	均	西	直	樹	前	前	田	倫	山	根	一	眞
田	中	均	美	西	実	希	前	前	田	瑞	山	本	喜	代
谷	口	之	美	西	朋	純	牧	牧	島	一	山	佐	一	子
谷	口	克	之	温	勝	子	牧	野	内	昭	遊	谷	泰	明
田	原	平	平	根	嘉	敏	増	本	尾	義	油	山	茂	之
玉	尾	平	徹	野	岳	大	松	尾	岡	佳	横	木	識	淳
玉	川	徹	治	野	慎	一	松	岡	崎	文	吉	田	美	肇
樽	作	治	悟	野	しの	ぶ	松	崎	島	友	吉	田	代	稔
千	茶	悟	子	野	良	治	松	島	林	康	米	倉	子	実
佃	葉	穂	博	初	哲	男	松	林	本	洋	若	林	文	高
津	澤	文	一	花	文	雄	松	山	山	瑛	和	田	昭	允
辻	上	元	孝	羽	宏	光	丸	山	山	亮	渡	田	道	治
辻	屋	敏	邦	濱	博	司	丸	木	木	一		辺	恭	良
土	晴	精	文	林	茂	生	三	川	出	介				
堤	精	達	史	林	敬	之	緑	川		郎				
角	達	彦	彦	林	良	央	南			美				

## 編集後記

創立百周年を迎えた理化学研究所は、次の100年に向けて大きく変わろうとしています。この度、多くの方々のご協力を賜り、理研が百周年を迎えた区切りとして、『理化学研究所百年史』を編纂致しました。先ずはご協力頂いた皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、「正史」としての「理化学研究所百年」を編集したわけですが、2005年にまとめられた『理研精神八十八年』は大変貴重な礎となりました。そこには1917年に財団法人理化学研究所として発足以来、大きな学術的成果を上げてきた「科学者の楽園」としての理研が活写されていると同時に、研究所運営の「自律性」の重要さが示されています。

本書は当初、その後の12年史に100年通史を合わせて一冊にまとめる予定でしたが、創立百周年記念事業の進行と連動して理研100年の歴史をたどるうちに、未来に残すべき内容が次から次へと現れ、かなりの大部となりましたが、三編構成で編集することになりました。

第Ⅰ編では、1917年から2017年までの100年の歴史をできるだけ客観的に記述することに努め、『理研精神八十八年』には無かったテーマについては、別途取り上げて詳しい記述がなされています。第Ⅱ編では2005年以降の経緯と研究成果を、必要かつ十分に取り上げています。この時期は、理研を取り巻く状況が日本の科学技術政策の変遷とともに大きく変化した時期に対応します。「研究者の自律が理研を支え続ける」など、執筆者の理研に対する思いが込められています。

今の理研は、様々な意味でイノベーションの牽引役としての役割を期待されています。特定国立研究開発法人として国の科学技術政策を具現化するべく、自律した「科学者の楽園」を発展・充実させ、開かれた理研として、より社会に近づいた存在へと変わっていくことが期待されています。様々なイノベーションを闊達に起こしていくには、理研の研究者のみならず彼らを支える人々の多様性と柔軟性、開放性が強く求められます。「イノベーションは歴史に学ぶ」とも言われますが、本百年史がその役割の一部でも担うことができるとすれば、望外の幸せです。

改めて、執筆して頂いた方々、編集に携わって頂いた方々にお礼を申し上げ、筆をおくことにします。有難うございました。

理化学研究所百年史編集委員会  
委員長 松本洋一郎



## 理化学研究所百年史編集委員会

編集委員長 松本洋一郎

### 編集委員

有 信 睦 弘

板倉周一郎 (2017年4月～)

羽入佐和子 (～2016年3月)

六 戸 博

安 藏 俊 成

加 藤 重 治 (～2017年3月)

小 安 重 夫

小 谷 元 子 (2017年4月～)

坂口昭一郎

加賀屋 悟

りかがくけんきゅうしよひやくねんし  
**理化学研究所百年史** 第三編 資料

RIKEN's First Century, Volume III : Data

2018年3月20日発行

非売品

企画・編集：理化学研究所百年史編集委員会

こくりつけんきゅうかいはつほうじんりかがくけんきゅうしよ  
発 行：国立研究開発法人理化学研究所  
〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

印刷・製本：河北印刷株式会社

〒601-8461 京都市南区唐橋門脇町28

©RIKEN 2018 Printed in Japan

ISBN978-4-9910056-2-6  
RIKEN 2017-057

